

# 千原台ニュータウンⅧ

— 市原市草刈遺跡（東部地区縄文時代） —

平成 15 年 3 月

都 市 基 盤 整 備 公 団

財団法人 千葉県文化財センター

# 千原台ニュータウンⅧ

— 市原市<sup>くさかり</sup>草刈遺跡（東部地区縄文時代） —



## 序 文

財団法人千葉県文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究、文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立され、以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび、千葉県文化財センター調査報告第448集として、都市基盤整備公団の千原台地区土地区画整理事業に伴って実施した市原市草刈遺跡（東部地区縄文時代）の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では、縄文時代早期の炉穴群や中期の集落跡など多数の遺物・遺構が検出され、この地域の縄文時代の歴史を知る上で貴重な成果が得られております。

刊行に当たり、この報告書が学術資料として、また郷土研究の資料として広く活用されることを願っております。

終わりに、調査に際し御指導、御協力をいただきました地元の方々を初めとする関係の皆様や関係機関、また、発掘から整理まで御苦勞をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成15年 3月

財団法人千葉県文化財センター  
理 事 長 清 水 新 次

## 凡 例

- 1 本書は、都市基盤整備公団千葉地域支社による千原台地区におけるニュータウン建設計画に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 本書に収録したのは、千葉県市原市草刈字上切付1263-1（現ちはら台西3丁目3番）ほかに所在する草刈遺跡のうち、東部地区の縄文時代資料である。東部の範囲には以下の地区が含まれる。ただし、A区・B区についてはすでに報告書を刊行済みである。

遺跡名	遺跡コード
草刈遺跡C区	219-010
草刈遺跡D区	219-013
草刈遺跡E区	219-029
草刈遺跡G区	219-034
草刈古墳群	219-014 (P区)
草刈古墳群(保存区)	219-075 (N区)

- 3 発掘調査から報告書に至る業務は、都市基盤整備公団千葉地域支社の委託を受け、財団法人千葉県文化財センターが実施した。
- 4 発掘調査及び整理作業の経緯と組織・担当者は第1章第1節に記した。
- 5 本書の編集は、大谷弘幸が担当した。執筆は伊藤智樹、西野雅人、大谷が行った。縄文土器に関して上守秀明（千葉県教育委員会生涯学習部）、井上賢（木更津市富米田公民館）両氏の御教示を得た。
- 6 発掘調査から報告書の刊行に至るまで、千葉県教育庁生涯学習部文化財課、都市基盤整備公団千葉地域支社、市原市の御指導、御協力を得た。
- 7 第3図に国土地理院発行1/25,000地形図「蘇我」(N-54-19-15-2)を利用した。
- 8 本書で使用した図面の方位はすべて座標北である。
- 9 挿図に使用したスクリーン及び記号の用例は、挿図中または本文中に記した。
- 10 挿図の縮尺は、住居跡1/80、土坑等1/60または1/80とした。個別の遺構図を用意できなかったものについては、1/1,200全測図におおよその形状を示した。大縮尺の全測図も用意したがページ数の都合で掲載できなかった。今後刊行を予定しているC区・D区・E区・G区・草刈古墳群の報告書で、各区の全遺構を網羅した配置図を掲載する予定である。
- 11 本文および挿図中で使用した遺構・遺物番号は、例示のように表記した。

- (例) C058 → C区058号遺構  
14S-52 → 14S-大グリッド, 52-小グリッド  
13S-+ → 13S大グリッド一括出土  
T48 → 48確認トレンチ

# 本文目次

第1章	はじめに	
第1節	調査の概要	1
1	発掘調査の経緯	1
2	調査の方法	2
3	整理方針と報告の概要	2
第2節	遺跡の位置と環境	
1	遺跡の位置と周辺の地形	3
2	草刈遺跡と周辺の遺跡	3
第2章	遺構と出土遺物	
第1節	縄文土器の分類基準	15
第2節	縄文早期の遺構と出土遺物	
1	竪穴住居跡	16
2	小竪穴	16
3	土坑	17
4	方穴	17
5	陥し穴	20
6	遺物集中地点	21
第3節	縄文中期の遺構と出土遺物	
1	竪穴住居跡	42
2	小竪穴	50
3	土坑	55
4	溝	56
5	遺物集中地点	57
第3章	出土遺物	
第1節	遺構外出土の土器	91
第2節	石器・石製品・土製品	126
第4章	貝サンプルの分析結果	171
第5章	まとめ	
第1節	草刈遺跡群と東部の縄文時代遺構	175
第2節	縄文早期の遺構と遺物	175
第3節	縄文中期の遺構と集落の様相	176
参考文献		178
付表		
報告書抄録		巻末

## 挿 図 目 次

第1図 草刈遺跡グリッド配置図	4	第35図 中期竪穴住居 8	65
第2図 草刈遺跡東部グリッド配置	5	第36図 中期竪穴住居 9	66
第3図 草刈遺跡と周辺の遺跡	6	第37図 中期小竪穴 1	67
第4図 草刈遺跡東部全測図索引	7	第38図 中期小竪穴 2	68
第5図 草刈遺跡東部全測図(1)	8・9	第39図 中期小竪穴 3	69
第6図 草刈遺跡東部全測図(2)	10・11	第40図 中期小竪穴 4	70
第7図 草刈遺跡東部全測図(3)	12	第41図 中期小竪穴 5	71
第8図 早期竪穴住居・小竪穴	22	第42図 中期土坑	72
第9図 炉穴 1	23	第43図 中期遺構出土土器 1	73
第10図 炉穴 2	24	第44図 中期遺構出土土器 2	74
第11図 炉穴 3	25	第45図 中期遺構出土土器 3	75
第12図 陥し穴 1	26	第46図 中期遺構出土土器 4	76
第13図 陥し穴 2	27	第47図 中期遺構出土土器 5	77
第14図 陥し穴 3	28	第48図 中期遺構出土土器 6	78
第15図 陥し穴 4	29	第49図 中期遺構出土土器 7	79
第16図 陥し穴 5	30	第50図 中期遺構出土土器 8	80
第17図 陥し穴 6	31	第51図 中期遺構出土土器 9	81
第18図 陥し穴 7	32	第52図 中期遺構出土土器 10	82
第19図 陥し穴 8	33	第53図 中期遺構出土土器 11	83
第20図 陥し穴 9	34	第54図 中期遺構出土土器 12	84
第21図 陥し穴 10	35	第55図 中期遺構出土土器 13	85
第22図 陥し穴 11	36	第56図 中期遺構出土土器 14	86
第23図 陥し穴 12	37	第57図 中期遺構出土土器 15	87
第24図 陥し穴 13	38	第58図 中期遺構出土土器 16	88
第25図 早期遺構出土土器 1	39	第59図 中期遺構出土土器 17	89
第26図 早期遺構出土土器 2	40	第60図 中期遺構出土土器 18	90
第27図 早期遺構出土土器 3	41	第61図 縄文土器重量分布図	97
第28図 中期竪穴住居 1	58	第62図 遺構外縄文土器 1 早期	99
第29図 中期竪穴住居 2	59	第63図 遺構外縄文土器 2 早期	100
第30図 中期竪穴住居 3	60	第64図 遺構外縄文土器 3 早期	101
第31図 中期竪穴住居 4	61	第65図 遺構外縄文土器 4 早期	102
第32図 中期竪穴住居 5	62	第66図 遺構外縄文土器 5 早期	103
第33図 中期竪穴住居 6	63	第67図 遺構外縄文土器 6 早期	104
第34図 中期竪穴住居 7	64	第68図 遺構外縄文土器 7 早期	105

第69図	遺構外縄文土器 8	早期	106	第106図	剥片類 2	148
第70図	遺構外縄文土器 9	早期	107	第107図	剥片類 3	149
第71図	遺構外縄文土器 10	前期	108	第108図	剥片類 4	150
第72図	遺構外縄文土器 11	前期	109	第109図	打製石斧 1	151
第73図	遺構外縄文土器 12	前期	110	第110図	打製石斧 2	152
第74図	遺構外縄文土器 13	中期	111	第111図	打製石斧 3	153
第75図	遺構外縄文土器 14	中期	112	第112図	打製石斧 4	154
第76図	遺構外縄文土器 15	中期	113	第113図	打製石斧 5	155
第77図	遺構外縄文土器 16	中期	114	第114図	打製石斧 6	156
第78図	遺構外縄文土器 17	中期	115	第115図	打製石斧 7	157
第79図	遺構外縄文土器 18	中期	116	第116図	磨製石斧 1	158
第80図	遺構外縄文土器 19	中期	117	第117図	磨製石斧 2	159
第81図	遺構外縄文土器 20	中期	118	第118図	磨製石斧 3	160
第82図	遺構外縄文土器 21	中期	119	第119図	磨石類 1	161
第83図	遺構外縄文土器 22	中期	120	第120図	磨石類 2	162
第84図	遺構外縄文土器 23	中期	121	第121図	磨石類 3	163
第85図	遺構外縄文土器 24	中期	122	第122図	磨石類 4	164
第86図	遺構外縄文土器 25	中期	123	第123図	磨石類 5	165
第87図	遺構外縄文土器 26	中期	124	第124図	石皿 1	166
第88図	遺構外縄文土器 27	後・晩期	125	第125図	石皿 2	167
第89図	石鏃 1		131	第126図	石皿 3・その他の石器	168
第90図	石鏃 2		132	第127図	石製品・土製品	169
第91図	石鏃 3		133	第128図	C059C出土土器片鏃	170
第92図	石鏃 4		134	第129図	貝種組成	173
第93図	石鏃 5・その他の剥片石器		135	第130図	イボキサゴ計測値分布	174
第94図	槍先形尖頭器 1		136	第131図	マガキ計測値分布	174
第95図	槍先形尖頭器 2		137	第132図	遺構分布 (1)	180
第96図	楔形石器類 1		138	第133図	遺構分布 (2)	181
第97図	楔形石器類 2		139	第134図	遺構分布 (3)	182
第98図	楔形石器類 3		140	第135図	縄文中期掲載土器分布	184
第99図	搔器・削器類 1		141	第136図	掲載石器分布	185
第100図	搔器・削器類 2		142	第137図	D区遺物集中区 土器・縄分布	186
第101図	石核 1		143	第138図	C区遺物集中区の石器類分布	187
第102図	石核 2		144	第139図	黒曜石の長さ分布	188
第103図	石核 3		145			
第104図	石核 4		146			
第105図	剥片類 1		147			

## 表 目 次

第1表	遺構番号検索表	第10表	C区遺物集中区 黒曜石の平均的な大きさ
第2表	縄文土器出土量	第11表	C区遺物集中区 黒曜石器種別長さ分布
第3表	草刈遺跡東部縄文時代貝サンプル	第12表	草刈東部縄文遺構一覧
第4表	貝類種名一覧	第13表	遺構出土縄文土器
第5表	貝類同定結果	第14表	遺構外出土縄文土器
第6表	貝類計測値分布	第15表	縄文石器
第7表	草刈遺跡群縄文時代遺構集計結果	第16表	石製品・土製品
第8表	縄文石器 掲載資料器種・石材構成	第17表	土器片鏟
第9表	C区遺物集中区石器組成	第18表	59号埴土器片鏟と関連資料

## 図 版 目 次

図版1	住居跡1	図版22	陥し穴5
図版2	住居跡2	図版23	陥し穴6
図版3	住居跡3	図版24	陥し穴7
図版4	住居跡4	図版25	陥し穴8
図版5	住居跡5	図版26	陥し穴9
図版6	住居跡6	図版27	陥し穴10
図版7	小竪穴・土坑1	図版28	陥し穴11・包含層
図版8	小竪穴・土坑2	図版29	早期遺構出土土器1
図版9	小竪穴・土坑3	図版30	早期遺構出土土器2
図版10	小竪穴・土坑4	図版31	中期住居出土土器1
図版11	小竪穴・土坑5	図版32	中期住居出土土器2
図版12	小竪穴・土坑6	図版33	中期住居出土土器3
図版13	小竪穴・土坑7	図版34	中期住居出土土器4
図版14	小竪穴・土坑8	図版35	中期住居出土土器5
図版15	炉穴1	図版36	中期住居出土土器6
図版16	炉穴2	図版37	中期住居出土土器7
図版17	炉穴3	図版38	中期住居出土土器8
図版18	陥し穴1	図版39	中期小竪穴・土坑出土土器1
図版19	陥し穴2	図版40	中期小竪穴・土坑出土土器2
図版20	陥し穴3	図版41	中期小竪穴・土坑出土土器3
図版21	陥し穴4	図版42	中期小竪穴・土坑出土土器4

図版43 中期小竪穴・土坑出土土器 5

図版44 中期小竪穴・土坑出土土器 6

図版45 中期小竪穴・土坑出土土器 7

図版46 遺構外出土土器 1

図版47 遺構外出土土器 2

図版48 遺構外出土土器 3

図版49 遺構外出土土器 4

図版50 遺構外出土土器 5

図版51 遺構外出土土器 6

図版52 遺構外出土土器 7

図版53 遺構外出土土器 8

図版54 遺構外出土土器 9

図版55 遺構外出土土器10

図版56 遺構外出土土器11

図版57 遺構外出土土器12

図版58 遺構外出土土器13

図版59 遺構外出土土器14

図版60 遺構外出土土器15

図版61 遺構外出土土器16

図版62 遺構外出土土器17

図版63 遺構外出土土器18

図版64 遺構外出土土器19

図版65 遺構外出土土器20

図版66 遺構外出土土器21・土器片 1

図版67 土器片 2

図版68 土器片 3

図版69 土器片 4

図版70 土器片 5

図版71 土器片 6

図版72 土器片 7・土器片 凹板

図版73 石器 1

図版74 石器 2

図版75 石器 3

図版76 石器 4

図版77 石器 5

図版78 石器 6

図版79 石器 7

図版80 石器 8

図版81 石器 9

図版82 石器10

図版83 石器11

図版84 石器12

図版85 石器13

図版86 石器14

図版87 石器15

図版88 石器16・土製品

図版89 C059住居跡出土土器片 1

図版90 C059住居跡の土器片 1

# 第1章 はじめに

## 第1節 調査の概要

### 1 発掘調査の経緯

市原市と千葉市にまたがる丘陵上に、住宅・都市整備公団（現都市基盤整備公団）による千原台地区上地区画整理事業が計画された。このため、事業地内の埋蔵文化財の取扱いについて関係諸機関と協議した結果、可能な限り公園、緑地として現状保存に努める一方で、現状保存の困難な部分については、やむを得ず記録保存の措置を講ずることとなり、財団法人千葉県文化財センターが委託を受け発掘調査を実施することとなった。

今回報告する草刈遺跡東部地区は、約30haに及ぶ遺跡の東半分に相当し、調査は昭和53年度から平成8年度まで断続的に行った。このうちN区は、ちはら台公園として整備・保存され、確認調査・A区・B区については報告書が刊行されている。なお、発掘調査の実施内容・担当者は、次のとおりである。

昭和53年度

組織 班長 栗本佳弘

担当者 及川淳一・小久貫隆史 内容 確認調査 100,000㎡

昭和54年度

組織 班長 栗本佳弘

担当者 小久貫隆史・小宮 孟・梶 淳 内容 確認調査 20,000㎡

昭和56年度

組織 班長 三森俊彦

担当者 加藤修司 内容 P区本調査 古墳11基

昭和57年度

組織 班長 三森俊彦

担当者 C区 田村 隆・柴田龍司・今泉 潔・金子 進 P区 今泉 潔・金子 進  
D区 上守秀明・小林清隆・沢野 弘・今泉 潔・金子 進

内容 C区本調査 37,000㎡・古墳2基 D区本調査 12,000㎡ P区本調査 古墳5基

昭和58年度

組織 班長 三森俊彦

担当者 C区 田村 隆・榊原弘二 D区 田村 隆・小高春雄 P区 榊原弘二・山口典子

内容 C区本調査 古墳2基 D区本調査 30,000㎡ P区本調査 8,000㎡

昭和59年度

組織 班長 古内 茂

担当者 D区 山口典子 E区 小高春雄・波辺修一

内容 D区本調査 2,000㎡ E区本調査 20,000㎡

昭和60年度

組織 班長 阪田正一

担当者 川島利道 内 容 P区本調査 古墳5基

昭和61年度

組 織 班長 阪田正一

担当者 G区 高田 博・白井久美子・川島利道・今泉 潔

P区 雨宮龍太郎・西川 徹・福田 誠

内 容 G区本調査 18,000㎡ P区本調査 15,500㎡

昭和62年度

組 織 班長 阪田正一

担当者 西川博孝・加納 実 内 容 G区本調査 10,000㎡

平成2年度

組 織 班長 三浦和信

担当者 加藤正信 内 容 N区確認調査 4,000㎡

平成8年度

組 織 班長 藤崎芳樹

担当者 酒井 宏 内 容 N区確認調査 12,000㎡

## 2 調査の方法（第1・2図）

発掘区の設定に当たっては、国家座標を基準として40m×40mの大グリッドを設けて行った。確認トレンチは、この大グリッドを基準とし、2m幅のトレンチを10m間隔で設定した。長さについては、対象範囲に応じて任意で設定した。なお、トレンチの長さが長大なため、大グリッドに合わせてトレンチ内を四等分し遺物上げを行った。本調査は、調査年度・工事区を基本単位として6つの調査区（C・D・E・G・N・P区）に分けて実施し、遺構番号は各区ごとに001からはじまる3桁の通し番号で表記し、遺構の位置や遺構に伴わない遺物は、大グリッドを4m×4mに分割した小グリッドで示した。

## 3 整理方針と報告の概要

草刈遺跡は、面積が約30haに及び、検出された遺構数も約7,000基と他に例をみない膨大なものであった。このため報告書作成に当たっても、調査区を基本単位として作成することとした。しかしながら、A・B区の東側の縄文時代資料については、全体的に遺構密度が散在的で、かつ陥し穴等小規模な面積では全体を読み取ることが困難な遺構が多数認められることから、6地区を一括し「草刈遺跡東部地区縄文時代」としてまとめることとした。なお、報告書作成に当たって調査区単位のグリッド表記を遺跡全体のものに改め、事実記載についても新グリッドにしたがい表示した。また、遺構番号は調査時に使用した3桁番号をそのまま使用することとし、頭に各調査区のアルファベットを付けて表示した。

整理作業は昭和61年度から調査区を単位として継続的に実施し、平成10年度以降「東部地区縄文時代」としての作業へ移行した。縄文時代篇の作業実施年度ならびに担当者は以下のとおりである。

平成10年度

組 織 所長 石田廣美

担当者 伊藤智樹 内 容 実測・トレース・写真・レイアウト

#### (重点遺跡整理促進事業)

組織	資料副部長兼整理課長	佐久間豊	
担当者	渡邊修一	整理技術員	大久保奈々・木島桂子・二森喜知子
内容	実測		トレース
平成11年度			
組織	所長	石田廣美	
担当者	伊藤智樹	内容	実測・写真・レイアウト・原稿の一部
平成14年度			
組織	所長	谷 旬	
担当者	大谷弘幸	内容	原稿・刊行

## 第2節 遺跡の位置と環境

### 1 遺跡の位置と周辺の地形（第3図）

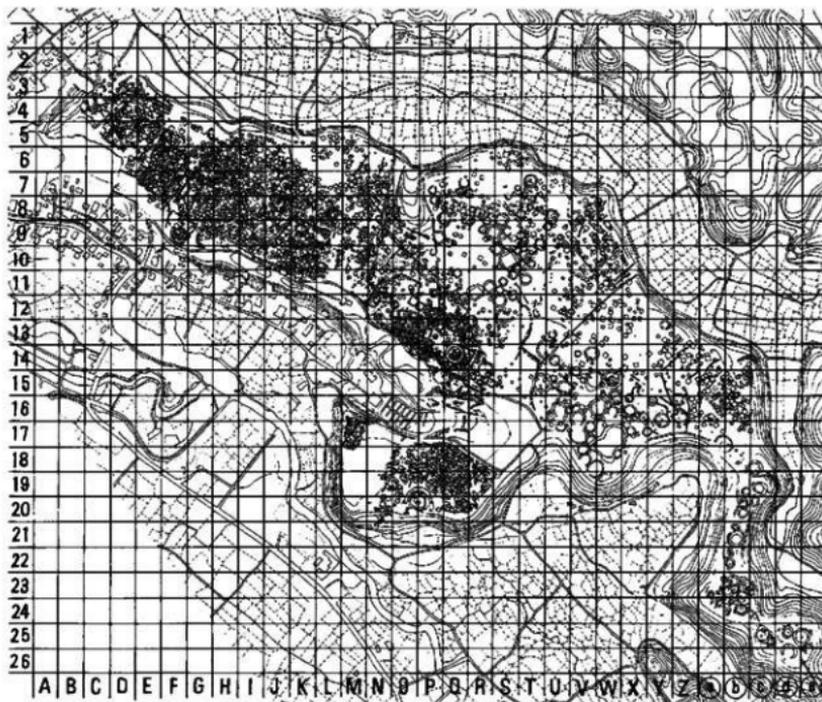
草刈遺跡は、ちはら台ニュータウン造成地域の西端、市原市草刈字上切付1,263-1ほかに所在し、現在の京成電鉄ちはら台駅を中心とする台地上に位置する。遺跡は南側を村田川に、北側を「茂呂谷津」と称される開折谷に挟まれた幅150m～400m、長さ1,500mの東西に長い台地上に展開する。標高は27m～40mを測り、東から西に向かって緩やかに傾斜している。沖積低地との比高差は15m～20mである。

草刈遺跡周辺の地形は、東京湾に面した海岸平野と東側の下総台地という二つの平坦面からなっており、台地は村田川と村田川に形成された支谷によって樹枝状に刻まれている。西に広がる河口低地は、縄文海進時には下潟となっており、台地の南側斜面はこのときに形成された波蝕崖と考えられる。大規模な貝塚が形成された中期中葉にも直接海岸に面していたとされる（松島1980）。

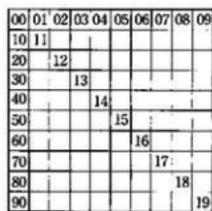
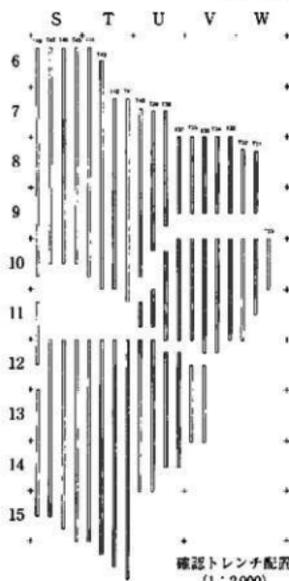
### 2 草刈遺跡と周辺の遺跡（第3図）

草刈遺跡からは総数7,000基を数える遺構が検出された。このうち堅穴住居跡は約4,000軒、古墳は168基を数える。その内容は、旧石器時代から中・近世に及ぶ大複合遺跡であり、主な遺構としては、縄文時代中期の貝塚と環状集落、弥生時代中期・後期の環壕集落、古墳時代の集落群と古墳群、奈良平安時代の集落と村落内寺院と考えられる掘立柱建物跡群などである。

本報告で扱う縄文時代の周辺遺跡としては、撫糸文期ではナキノ台遺跡、中永谷遺跡から堅穴住居跡・土坑が検出されているが、遺跡の分布密度は薄いといえる。早期末葉の条痕文期には遺構数が増え、村田川に面した草刈六之台遺跡のほか草刈遺跡や押沼遺跡群など「茂呂谷津」の谷筋に沿って広く炉穴群が展開している。前期は総じて検出例が少なく、押沼遺跡群や川焼台遺跡から若干遺物が出土している程度である。中期には再び遺跡数が増大し草刈貝塚や川焼台遺跡、草刈六之台遺跡で集落が検出されている。このうち草刈貝塚と川焼台遺跡は環状に巡った小堅穴群の周囲を数軒の住居が取り囲む構造をもった集落である。また、草刈六之台遺跡では小堅穴が環状に分布している。この時期には千葉市南部の有吉北貝塚や有吉南貝塚など大規模な貝塚を伴う環状集落が存在し、草刈貝塚と合わせて全国的にも有数の貝塚密集地帯を形成している。後期には千葉市の六通貝塚や大膳野南貝塚、木戸作貝塚などの貝塚集落が集中しているが、ちはら台周辺において集落遺跡は認められていない。晩期はさらに遺跡密度は低くなり、川焼台遺跡や押沼遺跡群で若干遺物が出土しているにすぎない。

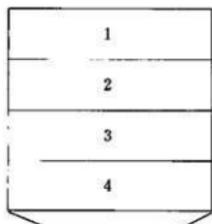


(1 : 8,000)



40m

小グリッド分割

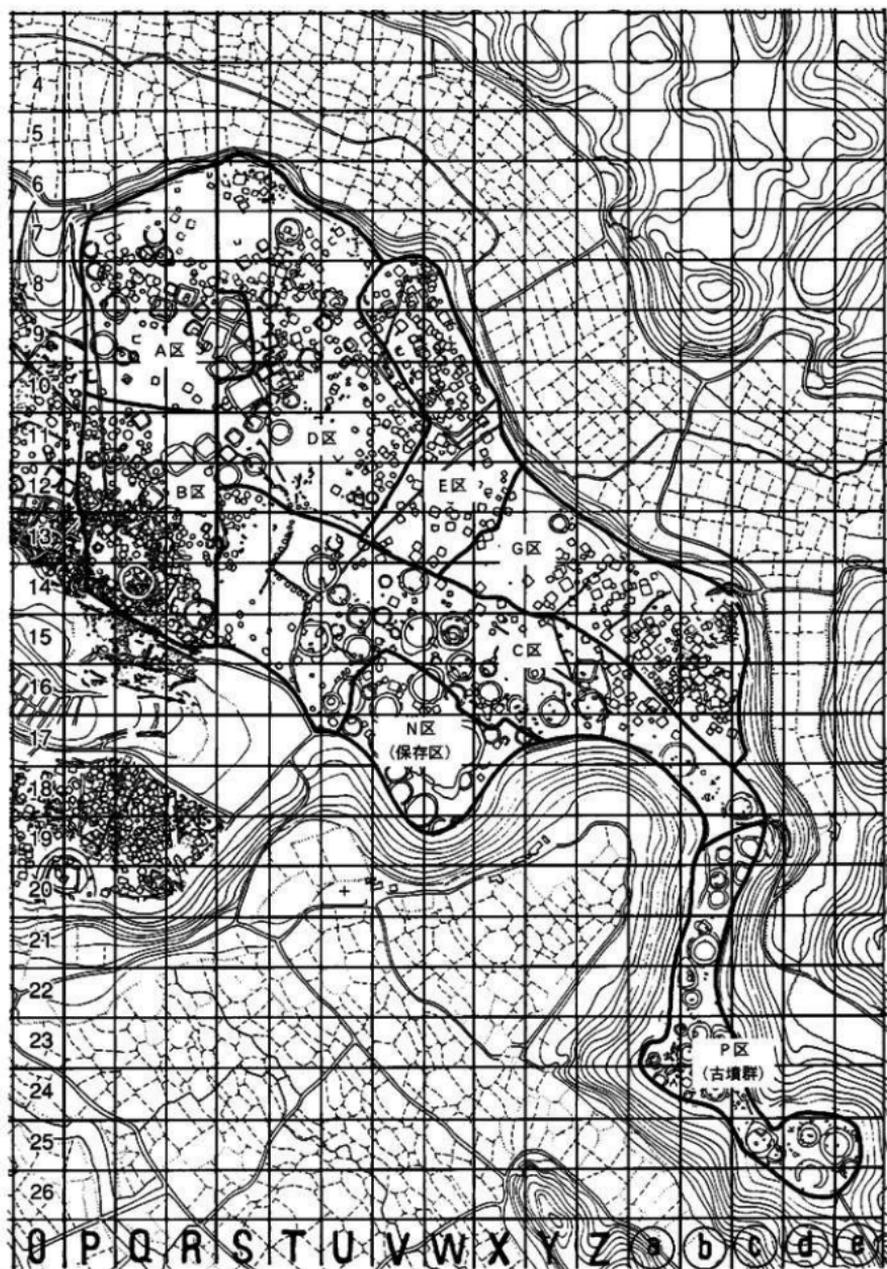


40m

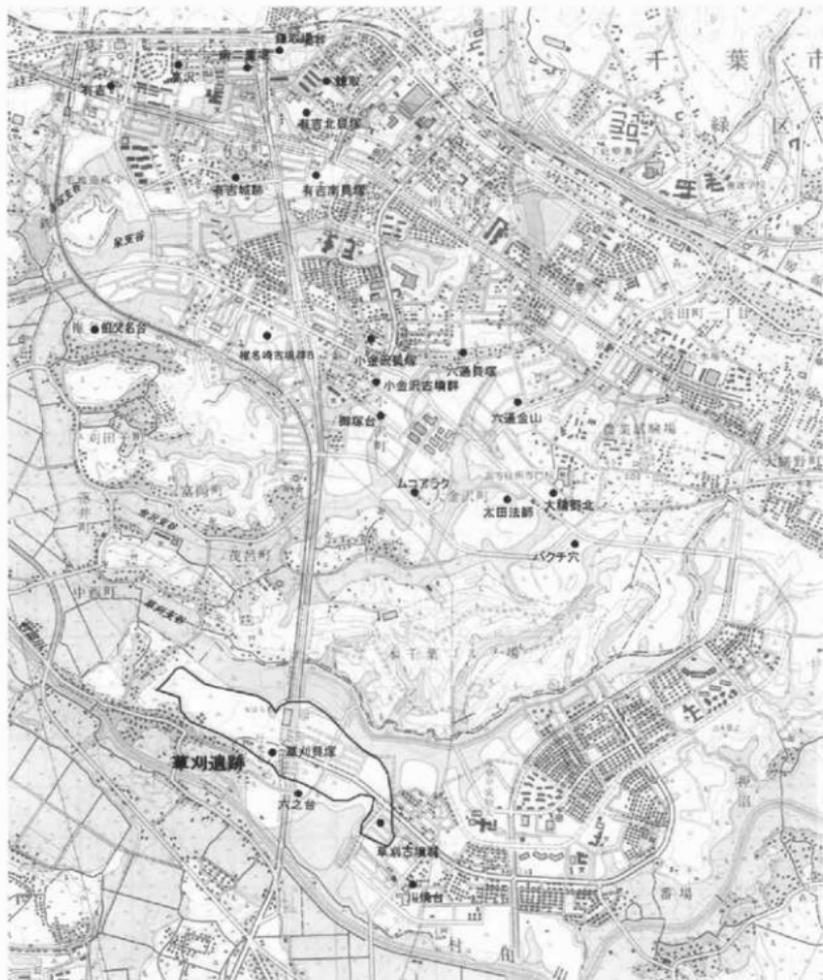
確認トレンチ分割

(1 : 1,000)

第1図 草刈道路グリッド配置図

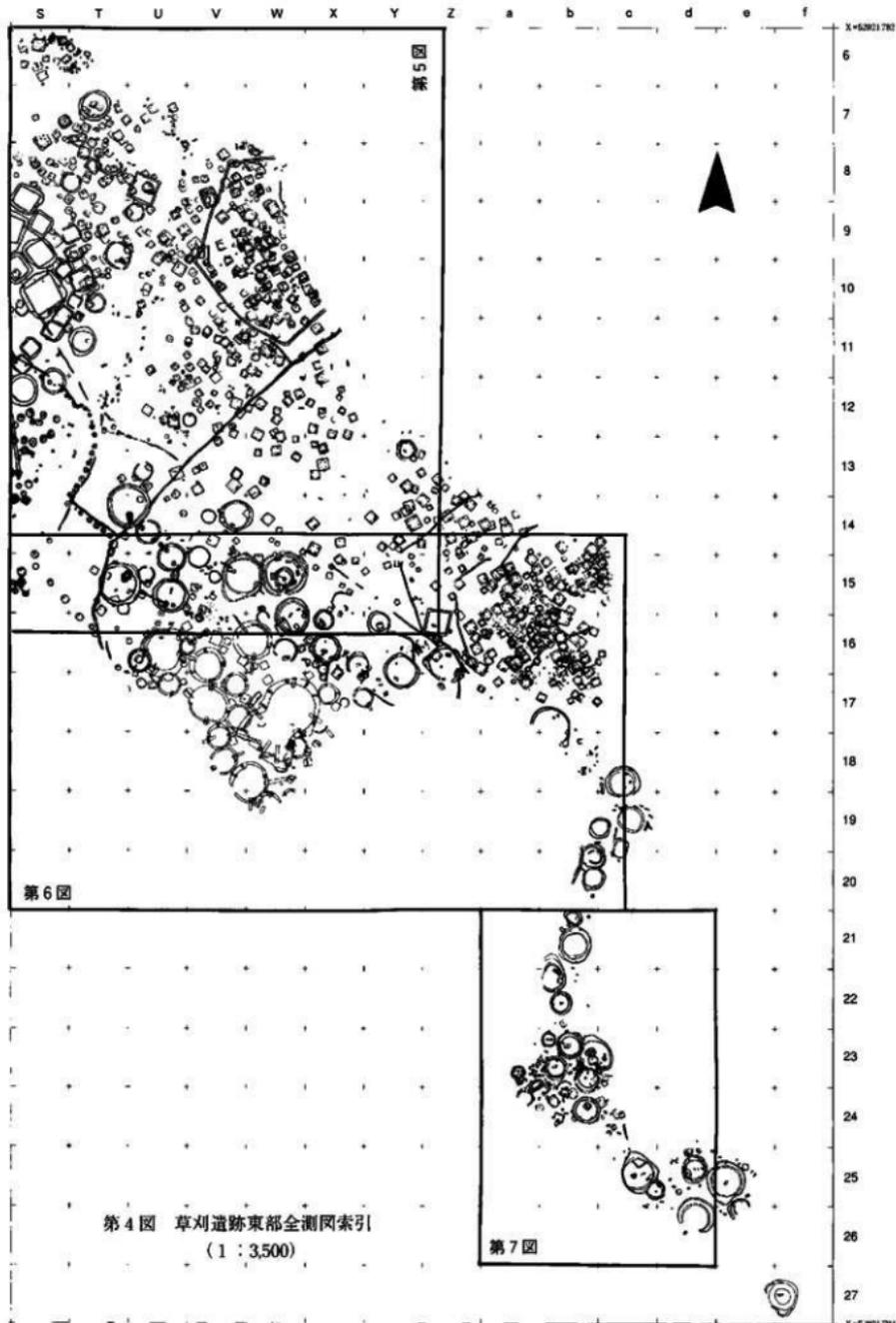


第2図 草刈遺跡東部グリッド配置 (1:4,000)

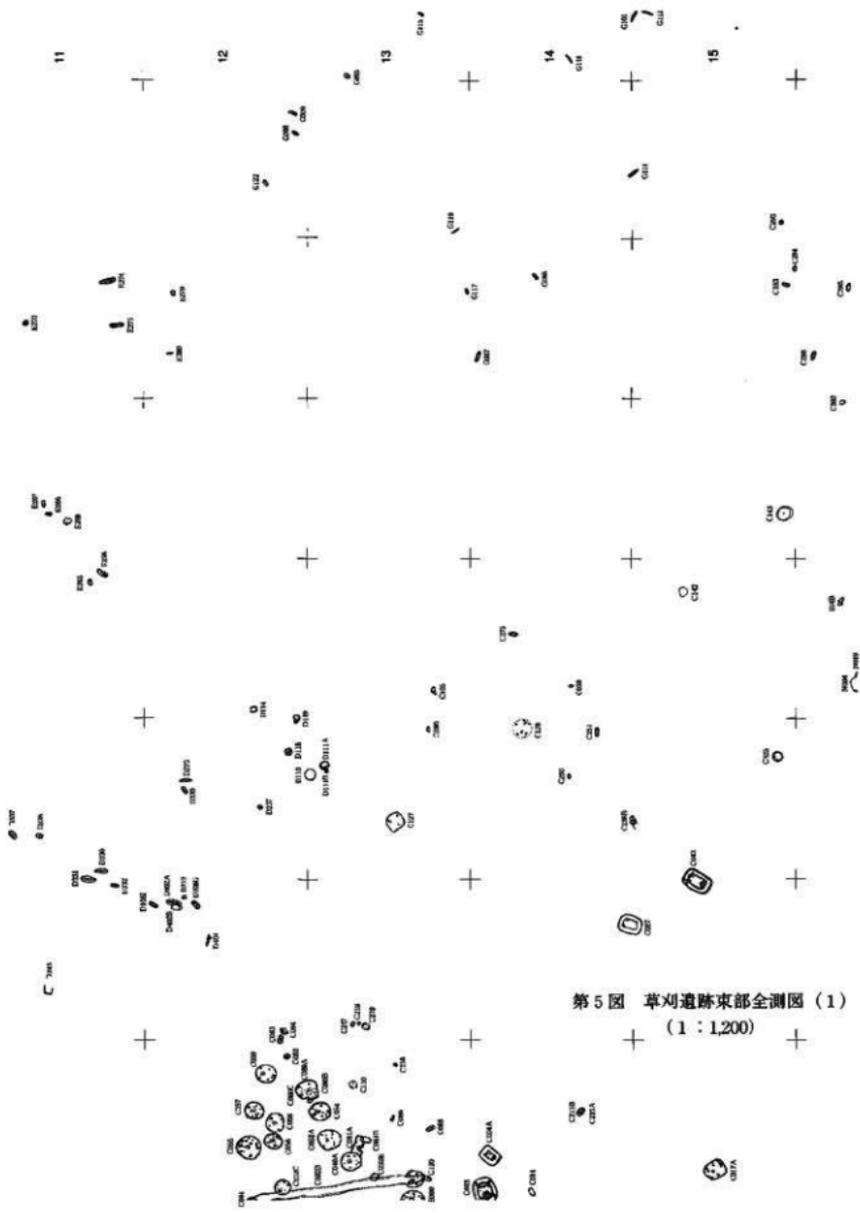


	早期後葉		中期中葉			早期後葉		中期中葉	
	住居跡	竈穴群	住居跡	小竈穴		住居跡	竈穴群	住居跡	小竈穴
有古					御保台				
高沢					ムコアラク				
南二重堀					六通貝塚				
鎌取場台					六通金山				
鎌取					太田法脚				
有古北貝塚	○	○○	○	○	大藤野北				
有古城跡		○○		○	バクチ穴				
有古南貝塚		○○		○	草刈貝塚				
鎌名崎古墳群B		○○		○	草刈遺跡東部	○	○	○	○
須父名台	○	○○			草刈六之台				
小金沢貝塚		○○			草刈古墳群				○
小金沢古墳群		○○			川城台				○

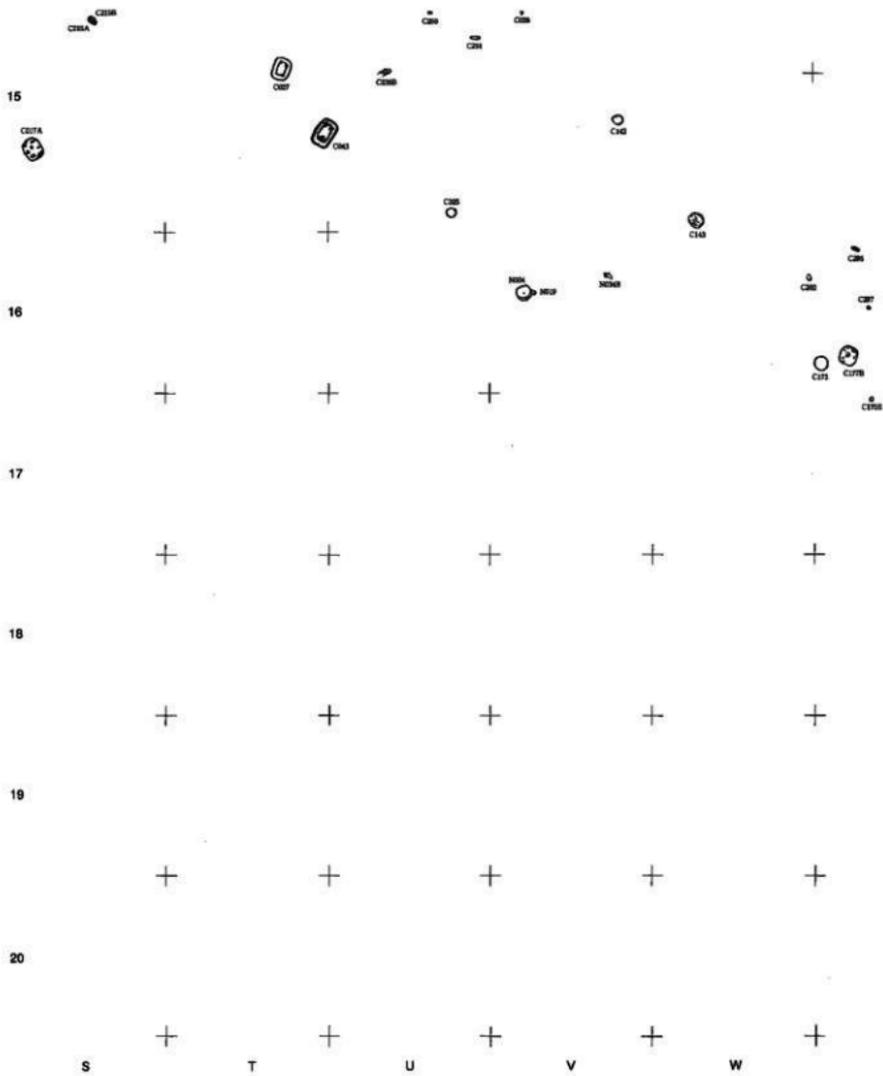
第3図 草刈遺跡群と周辺の遺跡

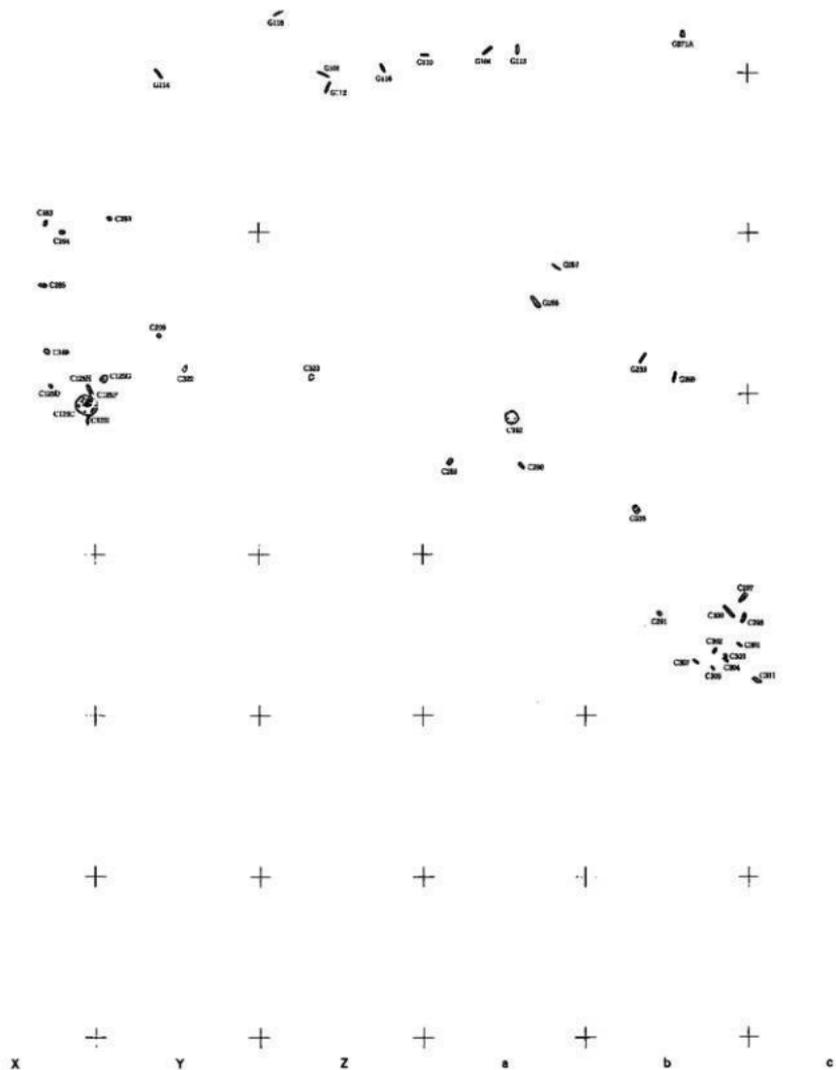




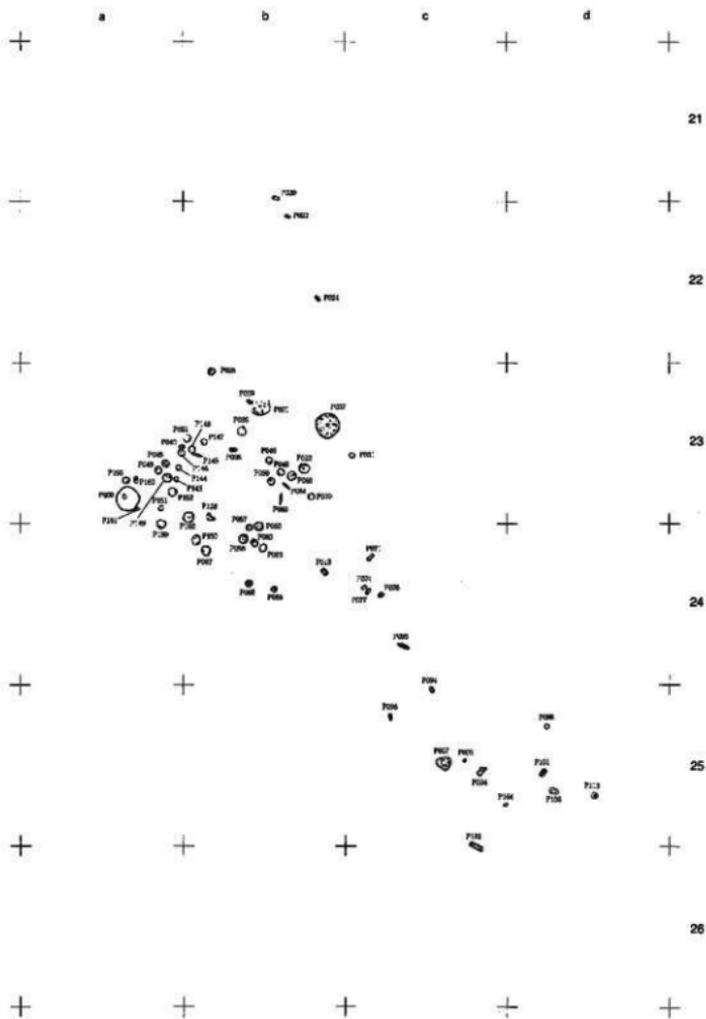


第5図 草刈遺跡東部全測図(1)  
(1:1,200)





第6図 草刈遺跡東部全測図(2)  
(1:1,200)



第7図 草刈遺跡東部全測図(3)  
(1:1,200)

第1表 遺構番号検索表

遺構No.	種類	時期	グリッド	遺構No.	種類	時期	グリッド	遺構No.	種類	時期	グリッド
<b>C区</b>				C218	土坑	不明	13T	D281	陥し穴	早期	07U
C014	土坑	中期	14S	C219	陥し穴	早期	13T	D282	炉穴	早期	07U
C015	竪穴住居	中期	14R	C236	陥し穴	早期	17b	D283	炉穴	早期	07U
C017A	竪穴住居	中期	15S	C238B	土坑	14U		D284	炉穴	早期	07U
C024A	竪穴住居	中期	14S	C250	土坑	不明	14U	D285	陥し穴	早期	07U
C027	竪穴住居	中期	14T	C251	土坑	不明	14U	D287	陥し穴	早期	08U
C032A	竪穴住居	中期	13S	C275	陥し穴	早期	14V	D294	陥し穴	早期	07U
C032B	溝	中期	12R	C285	陥し穴	早期	16X	D303	炉穴	早期	06S
C032C	竪穴住居	中期	12S	C286	陥し穴	早期	16X	D307A	土坑	早期	06S
C032E	小竪穴	中期	13S	C287	陥し穴	早期	16X	D307B	土坑	早期	06S
C038	土坑	中期	14V	C289	土坑	不明	17a	D308	土坑	早期	06S
C040A	竪穴住居	中期	13S	C290	土坑	不明	17a	D309	陥し穴	早期	06T
C043	竪穴住居	中期	15T	C291	土坑	不明	18b	D310	陥し穴	早期	06T
C044	土坑	中期	12R	C293	土坑	不明	15Y	D311	小竪穴	早期	06T
C052A	竪穴住居	中期	13S	C294	陥し穴	早期	15X	D321	陥し穴	早期	08Y
C054	竪穴住居	中期	12S	C297	陥し穴	早期	18b	D322	陥し穴	早期	07C
C055	竪穴住居	中期	12S	C298	陥し穴	早期	18b	D323	陥し穴	早期	07U
C056	竪穴住居	中期	12S	C300	陥し穴	早期	18b	D329	陥し穴	早期	08C
C057	竪穴住居	中期	12S	C301	陥し穴	早期	18b	D330	陥し穴	早期	11U
C058	竪穴住居	中期	12S	C302	土坑	不明	18b	D331	陥し穴	早期	11T
C059	竪穴住居	中期	12S	C303	陥し穴	早期	18b	D332	陥し穴	早期	11T
C080A	竪穴住居	中期	12S	C304	陥し穴	早期	18b	D336	土坑	中期	11U
C080B	小竪穴	中期	12S	C305	陥し穴	早期	18b	D337	陥し穴	早期	11U
C080C	土坑	中期	12S	C307	土坑	不明	18b	D339	陥し穴	早期	12U
C081A	土坑	中期	13S	C311	土坑	不明	18c	D342	炉穴	早期	07U
C081B	陥し穴	早期	13S	C313	陥し穴	早期	18c	D355	陥し穴	早期	06T
C082	陥し穴	早期	12S	C315	陥し穴	早期	18c	D356	陥し穴	早期	06T
C083	陥し穴	早期	12S	C322	土坑	早期	16Y	D358	炉穴	早期	06S
C084	土坑	中期	12T	C323	土坑	早期	16Z	D359	陥し穴	早期	06S
C085	陥し穴	早期	13S	C325	小竪穴	中期	15U	D360	陥し穴	早期	10U
C088	陥し穴	早期	13S					D361	陥し穴	早期	10U
C090	土坑	中期	13U	<b>D区</b>				D362	陥し穴	早期	10U
C105	土坑	中期	13V	D002	竪穴住居	中期	08S	D363	陥し穴	早期	10U
C110	小竪穴	中期	13S	D024B	竪穴住居	中期	09T	D364	土坑	不明	11U
C120	陥し穴	早期	13S	D038	陥し穴	早期	08T	D366	陥し穴	早期	10T
C125C	竪穴住居	中期	17X	D039	竪穴住居	中期	09T	D367	陥し穴	早期	09U
C125D	陥し穴	早期	16X	D043B	竪穴住居	中期	09T	D370	陥し穴	早期	09U
C125F	土坑	中期	17X	D064	小竪穴	中期	10S	D371	陥し穴	早期	09U
C125G	土坑	不明	16Y	D086B	竪穴住居	中期	10U	D372	陥し穴	早期	09U
C125H	陥し穴	早期	16X	D108G	陥し穴	早期	12T	D375	陥し穴	早期	09U
C125I	陥し穴	早期	17X	D1081	陥し穴	早期	12T	D376	陥し穴	早期	09U
C127	竪穴住居	中期	13U	D110	小竪穴	中期	12U	D378	陥し穴	早期	09U
C128	竪穴住居	中期	14U	D111A	小竪穴	中期	13U	D380	小竪穴	早期	06S
C142	小竪穴	中期	15V	D111B	土坑	中期	13U	D381	小竪穴	早期	06S
C143	小竪穴	中期	15W	D114	土坑	不明	12V	D382	土坑	早期	06S
C169	陥し穴	早期	16X	D118	土坑	中期	12U	D384	陥し穴	早期	06S
C173	竪穴住居	中期	16X	D119	土坑	中期	12V	D386	炉穴	早期	06S
C175E	陥し穴	早期	17X	D175	土坑	不明	09U	D389	土坑	不明	06T
C177B	竪穴住居	中期	16X	D212	陥し穴	早期	12T	D393	陥し穴	早期	06S
C183	陥し穴	早期	15X	D220	陥し穴	早期	07T	D399	陥し穴	早期	06S
C192	竪穴住居	早期	17a	D221	竪穴住居	中期	07T	D400	炉穴	早期	06S
C202	陥し穴	早期	16W	D230A	土坑	中期	08T	D402A	陥し穴	早期	12T
C209	陥し穴	早期	16Y	D233	陥し穴	早期	08T	D402B	陥し穴	早期	12T
C215A	陥し穴	早期	14S	D237	陥し穴	早期	12U	D403	陥し穴	早期	09U
C215B	陥し穴	早期	14S	D239	土坑	中期	10T	D404	陥し穴	早期	12T
C216	陥し穴	早期	13S	D245	竪穴住居	不明	11T	D406	陥し穴	早期	06T
				D267	陥し穴	早期	06S	D409	土坑	早期	06T

遺構No	種類	時期	グ'リット'	遺構No	種類	時期	グ'リット'	遺構No	種類	時期	グ'リット'
<b>E区</b>				G087	陥し穴	早期	14X	P066	小竪穴	中期	24b
E088C	陥し穴	早期	10W	G088	陥し穴	早期	14X	P067	小竪穴	中期	24b
E088D	陥し穴	早期	10W	G090	陥し穴	早期	13X	P068	小竪穴	中期	24b
E131	陥し穴	早期	07V	G091	炉穴	早期	13X	P069	陥し穴	早期	23b
E132D	陥し穴	早期	09V	G101	陥し穴	早期	15Z	P071	炉穴	早期	24c
E159B	炉穴	早期	09W	G104	陥し穴	早期	14a	P074	炉穴	早期	24c
E192	陥し穴	早期	09V	G108	陥し穴	早期	14Z	P076	炉穴	早期	24c
E193	陥し穴	早期	10V	G110	陥し穴	早期	14Z	P077	炉穴	早期	24c
E195	陥し穴	早期	10V	G112	陥し穴	早期	15Z	P086	小竪穴	中期	24b
E196	陥し穴	早期	10W	G113	陥し穴	早期	14a	P093	陥し穴	早期	24b
E197	陥し穴	早期	10W	G114	陥し穴	早期	14Y	P094	陥し穴	早期	25c
E200	土坑	不明	10V	G115	陥し穴	早期	13Z	P096	陥し穴	早期	25c
E201	土坑	不明	09V	G116	陥し穴	早期	14Z	P098	小竪穴	中期	25d
E202	陥し穴	早期	09V	G117	陥し穴	早期	13X	P101	陥し穴	早期	25d
E204	陥し穴	早期	17Y	G118	陥し穴	早期	14Z	P106	土坑	中期	25d
E212	陥し穴	早期	09V	G119	陥し穴	早期	13X	P113	陥し穴	早期	25d
E223	陥し穴	早期	10W	G120	土坑	不明	14Z	P118	陥し穴	早期	25c
E224	陥し穴	早期	10W	G122	陥し穴	早期	12Y	P143	小竪穴	中期	23a
E225	陥し穴	早期	10W	G233	陥し穴	早期	16b	P144	小竪穴	中期	23a
E228	陥し穴	早期	09V	G257	陥し穴	早期	16a	P145	陥し穴	早期	23b
E229	陥し穴	早期	09V	G266	陥し穴	早期	16a	P146	小竪穴	中期	23a
E230	陥し穴	早期	08V	G269	陥し穴	早期	16b	P147	小竪穴	中期	23b
E231	陥し穴	早期	08V	G271A	炉穴	早期	14b	P148	小竪穴	中期	23b
E232	陥し穴	早期	09W	<b>N区</b> (古墳群保存区)				P149	小竪穴	中期	23a
E233	土坑	不明	09W	N004	小竪穴	中期	16V	P150	小竪穴	中期	24b
E236	陥し穴	早期	08V	N019	陥し穴	早期	16V	P151	小竪穴	中期	23a
E238	陥し穴	早期	09W	N034B	陥し穴	早期	16V	P152	小竪穴	中期	23a
E240	陥し穴	早期	09W	<b>P区</b> (古墳群)				P155	小竪穴	中期	23a
E244	陥し穴	早期	09W	P001	竪穴住居	中期	23b	P158	炉穴	早期	23b
E245	陥し穴	早期	08W	P004	炉穴	早期	25c	P159	小竪穴	中期	23a
E246	陥し穴	早期	10W	P005	炉穴	早期	25c	P160	炉穴	早期	23a
E247	陥し穴	早期	10W	P007	土坑	不明	25c	P161	炉穴	早期	23a
E248	陥し穴	早期	09W	P008	陥し穴	早期	23b	P162	小竪穴	中期	23a
E249	陥し穴	早期	09W	P009	陥し穴	早期	23b	P164	炉穴	早期	25c
E251	陥し穴	早期	08W	P010	小竪穴	中期	23b				
E258	土坑	不明	11V	P013	陥し穴	早期	24b				
E259	陥し穴	早期	08V	P020	土坑	早期	21b				
E260	炉穴	早期	17Y	P022	土坑	早期	22b				
E261	土坑	不明	08W	P024	陥し穴	早期	22b				
E262	陥し穴	早期	08W	P028	小竪穴	中期	23b				
E263	土坑	不明	08W	P031	小竪穴	中期	23c				
E264	土坑	不明	08W	P035	小竪穴	中期	23b				
E265	土坑	不明	11V	P037	竪穴住居	中期	23b				
E266	陥し穴	早期	11W	P038	小竪穴	中期	23b				
E267	土坑	不明	11W	P039	竪穴住居	中期	23a				
E268	土坑	不明	11W	P040	陥し穴	早期	23a				
E270	陥し穴	早期	11X	P045	小竪穴	中期	23a				
E271	陥し穴	早期	10W	P046	小竪穴	中期	23b				
E272	陥し穴	早期	10W	P048	小竪穴	中期	23b				
E273	土坑	早期	10W	P049	小竪穴	中期	23a				
E274	陥し穴	早期	11X	P050	小竪穴	中期	23b				
E275	陥し穴	早期	11X	P052	小竪穴	中期	23b				
E279	土坑	不明	12X	P057	小竪穴	中期	24b				
E280	陥し穴	早期	12X	P058	小竪穴	中期	24b				
<b>G区</b>				P060	小竪穴	中期	23b				
G005	陥し穴	早期	13Z	P062	小竪穴	中期	23b				
G008	陥し穴	早期	12Y	P063	小竪穴	中期	24b				
G009	陥し穴	早期	12Y	P064	陥し穴	早期	23b				

## 第2章 遺構と出土遺物

### 第1節 縄文土器の分類基準

分類は、中野修秀氏が示した分類大綱（中野2000）に準じて群の大別を行った。そのため本遺跡において出土遺物のなかった群が生じている。細分は各群の数量に応じて類・種を設定した。分類群の内容については、その概要を第3節遺構外出土遺物に記載する。ここでは分類基準のみを示しておく。

#### 縄文土器分類基準

- 第1群 撫糸文系土器
- 第2群 沈線文系土器
- 第3群 条痕文系土器
  - 1類 野島式
  - 2類 渦ヶ島台式
  - 3類 早期末葉土器群
  - 4類 素文系土器・素文部破片
  - 5類 花積下層式
- 第4群 羽状縄文系土器
- 第5群 浮島・興津式系、諸磯式系土器
  - 1類 諸磯式
  - 2類 浮島式
  - 3類 興津式
- 第6群 前期末葉から中期初頭の上器
- 第9群 阿玉台式土器
  - 1類 阿玉台式直前、阿玉台Ia式・Ib式
  - 2類 阿玉台II式
  - 3類 阿玉台III式
  - 4類 阿玉台IV式
  - 5類 勝坂式・中峠系土器
- 第10群 加曾利E式土器
  - 1類 加曾利EⅠ式
  - 2類 加曾利EⅡ式
  - 3類 加曾利EⅢ式
  - 4類 加曾利E式鉢・浅鉢・その他
- 第12群 称名寺式土器
- 第14群 堀之内式土器
- 第15群 加曾利B式土器
- 第21群 晩期末葉土器

## 第2節 縄文早期の遺構と出土遺物

早期中葉から後葉の竪穴住居跡1軒、小竪穴3基、炉穴22群32基と、草創期から早期と推定される陥し穴159基を掲載する。なお、第12表に遺構の属性を示した。

### 1 竪穴住居跡

#### C192 (第8図, 図版5)

ごく浅い掘り込みとおおよそ円形に廻る小穴を検出した。底面はやや凹凸があり軟弱であるが、おおむね平坦な面と壁柱穴の存在から、竪穴住居跡の可能性が高い。炉は見られない。覆土中から条痕文土器が比較的多く出土しており、3・4は壁際の床面近くで折り重なっていた。ほかに沈線文土器(1・2)が出土している。6はP1に落ち込んでおり、その外側の攪乱から混入したか、またはP1自体が住居に関係ない可能性も考えられる。P1は深さ40cmほど、ほかの壁柱穴状の穴は深さ10cm~20cmのごく浅いものである。

出土遺物(第25図, 図版29) 土器6点、尖頭器1点(182)を掲載した。3~5は条痕文土器である。すべて胴部の小片であり、詳細な時期は不明である。ただし、3は貝殻条痕ではなく、器面をナデ調整した後、浅い沈線を引いたものである。6は単節縄文が施される。おおむね早期末葉土器群に伴うものである。

### 2 小竪穴

小竪穴としたのは早期後葉の円筒形の土坑2基と、ごく浅いがこれらに似た土坑1基の計3基である。この時期の小竪穴検出例には、野田市岩名第14遺跡の2例(岡田・落合1994)、船橋市佐倉道南遺跡の1例(領塚2000)がある。少ないとはいえ、植物質食料貯蔵の開始を示す最も古い証拠として重要である。土掘り具としての礫石斧の発達も植物質食料の利用を示すものであろう。3遺構に共通して壁際の小穴が検出されている。もし施設の一部であるとすれば、先細りの形状から杭が打ち込まれた可能性が高いが、類例を慎重に検討すべきであろう。

#### D311 (第8図, 図版14)

浅い皿状の掘り込みに小穴が伴う。掲載遺物はないが、条痕文土器が相当量伴っていた。形状がD380・D381に似ており、早期後葉の小竪穴であろう。小穴は先細りで深さは10cm~20cmある。壁際に斜めに打たれた杭状のものであろうか。2個一組で配置されたようにも見える。

#### D380 (第8図, 図版14)

古墳時代後期のD257竪穴住居跡に1/4ほど切られていたため、全体の形状は明確でない。70cmほどの掘り込みをもち、壁は垂直に近い。底も平坦である。D381とともに小竪穴と呼ぶべきであろう。壁の下に小穴をもつ。先細りの形状から杭状のものを打った痕跡とみられる。覆土は新时期テフラ由来の土が主体である。ただし、D381では純粋な水平堆積のテフラ層を形成していたのに対して、本遺構では覆土全体に暗褐色土と混じって入っており、上部の窪みにのみほぼ純粋なテフラが堆積していた。

出土遺物(第25図, 図版29) 土器2点は、いずれも内外面に弱い条痕のついた胴部小片である。

#### D381 (第8図)

やや不整な円形の土坑である。70cmほどの掘り込みをもち、壁は垂直に近い。底も平坦である。D380

とともに小堅穴と呼ぶべきであろう。壁の下の小穴は先細りで杭状のものを打った跡であろう。暗褐色土、新期テフラ、ハードロームブロックなどが混じった覆土の上に、純粋な新期テフラが水平堆積している。これは、遺構がほぼ埋まった後に火山灰の降下があったことを示すものである。

出土遺物（第25図、図版29） 土器3点を掲載した。各層に土器小片が含まれており、沈線文土器と条痕文土器がみられた。比較的残りがよいのは1～3の田戸ド層式である。しかし、いずれも表面はかなり摩滅しており、遺構の時期は決めがたい。早期中葉から後葉と推定しておく。

### 3 土坑

性格不明ながら、人為的な掘り込みと認められ、出土遺物や重複関係から縄文早期の遺構と考えられるものを抽出した。出土遺物はすべて小片であり、掲載していない。

#### D307A

不整形の土坑である。条痕文土器片が出土しており、早期の遺構の可能性がある。

#### D307B

D307Aと重複する不整形の土坑である。多量の焼土が堆積していた。

#### C322

不整形の土坑である。早期の土器片2点が出土している。包含層の範囲にあり、流れ込んだ可能性も考えられる。

#### C323

不整形の土坑である。16号墳の墳丘下で調査した早期の包含層域にあたるため明確な時期は不明である。

#### D308

円形の土坑である。303号炉穴を切る。条痕文土器片が出土している。

#### D382

楕円形の土坑である。条痕文土器片が出土しており、重複関係から260号炉穴より古い。

#### D409

円形の土坑である。条痕文土器片が出土している。

#### E273

不整形の土坑である。底面にはやや起伏が目立つ。小穴2基をもつ。

#### P020

長楕円形の土坑である。底面は平坦である。

#### P022

長楕円形の土坑である。底面は平坦である。

### 4 炉穴

#### E260（第9図）

燃焼部が4か所ある。足場をそのままに放射状に掘り足して燃焼部を作った可能性が高い。土器1点を掲載した。

出土遺物（第26図） 外面ナデ，内面条痕文の小片である。

**D282**（第9図，図版15）

単独の炉穴である。ほぼ底面全体が焼けていて足場と燃焼部の区別が明らかでない。

出土遺物（第26図，図版30） 確認面付近から土器大破片が出土した。土器2点を掲載した。少数ながら遺構の時期を示すものであろう。1は口縁直下に竹管による刺突列をもつ土器で，外面はナデ調整により，条痕文が痕跡的に残る。内面は劣化が著しく観察不能である。2は内外面条痕文の平底土器である。底面はわずかに上げ底になっている。子母口式の可能性を検討したが，2は器面調整が粗いことと平底土器を伴うことから，早期末土器群に含まれるものと考えられる。1も同時期の可能性が高い。

**D283**

単独の炉穴である。D284の西側1mに位置する。南側の底面に薄く焼土混じりのローム粒層が堆積していた。土器小片が出土している。

**D284**

単独の炉穴である。D283の東側1mに位置する。南側2/3ほどの床面に焼土が堆積し，壁際にむかって厚くなる。出土遺物はない。

**D303**（第9図，図版15）

D303～306，308，385の遺構ナンバーをつけて調査された一連の炉穴群である。燃焼部は5か所ある。Eとした燃焼部の上には一部天井が遺存していた。煙道ないし掛け口などの施設であろう。308は時期・性格不明の土坑であり，当遺構より新しい。なお，当炉穴群の周囲ではたくさんの柱穴が検出されており，この時期の堅穴住居跡や炉穴を覆う上屋などが存在した可能性がある。

出土遺物（第26図，図版30） 土器2点を掲載する。1は内外面条痕文施文後ナデ調整される。2は外面ナデ，内面条痕文で尖底部付近の破片である。

**D342**（第9図）

単独の炉穴である。平面形は長方形に近く，南寄りに燃焼部をもつ。

**D358**（第9図，図版15）

単独の炉穴である。南側に燃焼部をもつ。

**D386**（第10図，図版16）

2基の炉穴である。386・387の遺構ナンバーで調査された。掲載土器はない。

**D400**（第10図）

単独の炉穴である。皿状の浅い穴の中央部に焼土が堆積する。旧石器の確認グリッドによって壊されている。掲載土器はない。

**E159B**

単独の炉穴である。E159A住居跡の床面下に底面近くが残っていた。黒曜石製の石鏃が1点(122)出土。

**G091**（第10図）

単独の炉穴である。南側に燃焼部をもつ。遺構周辺で条痕文土器が出土している。

**G271**（第10図，図版16）

2基の炉穴である。Aは残りがよく，南側の壁にオーバーハングがみられる。遺物も伴っていた。

出土遺物（第26図，図版30） 土器6点を掲載する。第26図3は口縁直下に2列の押引文をもつ。押引

文の間は低い隆帯状をなす。条痕文は縦に揃えて施文しており、意匠的な効果をもっていたとみられる。内面は多方向の条痕文である。1・2・4・5は内外面に条痕文が施された土器である。6は底面にも条痕文が施された平底の土器である。

**P004** (第10図, 図版16)

25号墳丘下で検出した2基の炉穴である。掘り込みは不整形で、焼土層の残りもよくない。東側の燃焼部付近から土器片が出土した。

出土遺物 (第26図, 図版30) 土器4点を掲載する。1は外面に縄文が施文されているようであるが、判然としない。口唇上の一部には連続刺突がみられる。ほかの3点は内外面条痕文の胴部破片である。

**P005** (第10図, 図版16)

単独の炉穴である。最下部のみ遺存したものであろう。

**P071** (第10図, 図版16)

2基の炉穴である。

**P074** (第11図, 図版17)

単独の炉穴である。

**P076**

単独の炉穴である。壁際に深めの穴がある。P074・P076・P077はごく近接した位置で底面付近のみが検出されているので、本来は重複していた可能性がある。

**P077** (第11図, 図版17)

単独の炉穴である。南側に燃焼部がある。

**P158** (第11図, 図版17)

2基の炉穴である。土層断面から、東西軸の方が新しい。この炉穴の足場部から土器片が出土した。古墳時代以降のP053・059号土坑に切られている。

出土遺物 (第26・27図, 図版30) 土器6点を掲載した。1～4は同一個体である。内外面の口縁部付近に縄文施文帯をもち、以下は条痕文の施された緩い波状口縁の土器である。5は内外面条痕文のみの破片である。6は半截竹管の内側を使った押引文によって口縁部文様帯を区画し、矢羽根状の沈線を充填する。口唇上には刻みが施される。調整は内外面ともナデである。

**P160** (第11図, 図版17)

58号墳丘下で検出した単独の炉穴である。

貝層 貝の小ブロックが覆土層に入っていた。マガキが圧倒的に多く、ハマグリが混っていた。第4章参照。

出土遺物 (第122図) 叩石1点(481)を掲載した。

**P161** (第11図, 図版17)

2基の炉穴が重複しているとみられるが、焼土層は連続していて、それぞれの形状はよくわからない。

出土遺物 (第27・119・122図, 図版30) 土器片と石器類が出土している。土器3点、磨石類3点を掲載する。1は口唇上に刻みをもつ。2は平縁の小型土器、3は平底土器の底部付近である。1の外面はナデ、1の内面、2の内外面、3の外面は条痕のつく調整がされており、3の内面は凸門で無調整に近い。443は砂岩製、444は凝灰岩製、483は安山岩製の磨石類である。

単独の炉穴である。底面はほぼ平坦である。55号墳墳丘下で検出した。

## 5 陥し穴

形状から縄文時代の陥し穴である可能性の高い土坑を取り上げた。縄文時代草創期から早期を中心として造られたものと考えられるが、個々の遺跡単位で時期を検討するのは難しいのが現状である。陥し穴には、基本的に円型、楕円型、溝型の3つの系統がある(中村1998)という考えをもとにして分類を行い、さらに底面に穿たれた穴の有無とサイズ、個数などを観察して第12表に示した。個々の挿図は特徴的なものを中心に作成したが、漏れたものもある。ないものについては遺構配置図1/1.200を参照されたい。なお、挿図は溝型-楕円型:底面に穴をもつもの-穴をもたないもの順に示した。表の順とは合わない場合がある。

大別の結果は溝型33基、楕円型121基、円型4基、明確ではないが陥し穴の可能性のあるもの1基となった。楕円型が多いことが特徴といえる。個々の事実記載は省略し、タイプごとの概要を記すことにする。なお、分布について注目すべき点がみられたので、第5章まとめに記した。

### A. 溝型 (第12~14図, 図版26~28)

溝型陥し穴は下総台地を中心に発達しており、東京湾奥部に流入する河川の谷奥・帯はとくに多い場所のひとつである。遺物の確実な共存例が極めて少ないため、その年代については依然として解明されていない。しかし、燃糸文期の包含層との関係や、成田市木の根遺跡(空港No.6遺跡)での放射性炭素年代(2例ともB.P.年代で12,000年以前、宮他1981)などから、燃糸文期またはそれ以前の年代が与えられようとしている。今回の対象範囲では溝型陥し穴が33基確認されたが、出土遺物は皆無であり、すべてローム層由来の土で埋まっていた。これは楕円型陥し穴の一部に遺物を伴い、新时期テフラの堆積が見られることは対称的であり、帰属年代の占さを示すものと考ええる。

形状では、掘り込みの端部にオーバーハングが見られるもの(C297, C300, D330, D331, D366, E131, G087)、上端が楕円形に開くもの(D331)がある。底面に小穴をもつもの(C125H, D366)もあるが、いずれもごく小さく浅いもので逆茂木等の施設を想定できるものはみられない。

### B. 楕円型・C. 円型 (第15~24図, 図版18~26)

楕円型・円型陥し穴は、掘り込みの形状・サイズや、底面に穿たれた穴の有無とサイズ・個数など様々なものがみられる。時期的には草創期・早期から縄文時代を通じて存在したと思われるが、当地域では早期以前のものが中心と思われる。前期以降の包含層の範囲にあっては、遺物が出土する例は極めて少ない。今回報告するなかでは、12基でなんらかの遺物が見つかった。遺構に伴う可能性が高い土器が出土した8基(D309, D310, D329, D356, D399, E245, E259, G108)は、すべて早期後葉の条痕文土器が出土している。なお、中期の土器が見つかったC202, C215Bは、いずれも遺構に伴わない可能性が高い。そのほか、E251では被熱燻3点、G008では黒曜石片が出土した。

形態としては、無穴のものが12基ある。底面に穴をもつものには大きな四角い穴を掘り込んだもの、やや小ぶりの穴を掘り込んだもの、杭を打ったと思われる先細りの小穴をもつもの、これらの要素を併せもつものなどがある。第12表では大きな穴を「大穴」、やや小ぶりのものを「中穴」、杭状のものを「小穴」とした。ただし、区別は明確ではない。

大穴をもつものは48基を数える。穴の形状は方形のものが多く、2個並ぶものが中心である。小穴を併せもつ例も少なくない。大きめの穴を掘り、棒を立てて埋めたか、または埋め戻してから杭を打ったものであろう。中穴のものは1本の棒を立てたものが多かったであろう。33基のうち穴が1個のもの8基、2個のもの20基、3個のもの3基であり、やはり2個のものが中心である。杭状の小穴のみのものは27基ある。穴の数は1個から18個のものまでであるが、3個から6個程度のものが多い。

#### 陥し穴出土土器

4基から出土した土器を図示する。なお、D329、E245、E259、G108は小片のみであった。

#### D309 (第25図)

無文の口縁2点である。1の外面は条痕がナデによって消されている。2は低い隆帯をもつ。

#### D310 (第25図)

1・2は同一個体で、先端の平らな工具による条痕によって雑な意匠文が描かれている。横方向の区画線が2条廻り、内部に蛇行文、蕨手文を描く。下占井式土器であろう。3は無調整に近い状態で2本一組の条線を引く。6の内面の条痕調整具も2本一組のようである。4は刻みの入った貼付文をもつ。口縁部に隆帯意匠文をもつ土器であろうか。10は微隆帯の片側に沿って絡状体圧痕文がつく。そのほかは条痕文またはそれがナデ消された素文系の上器である。早期末葉土器群中のいくつかのタイプが共存する事例として注目されよう。

#### D356 (第25図)

1は縦の刻み隆帯2本が口縁上まで伸びて小突起となる。口唇形はくっきりとした角頭状で、緩やかな波状口縁の土器であろう。隆帯の左側には斜めの沈線らしいもの、その下端には刺突文らしいものが認められる。2は口縁部文様帯下端の隆帯と胴部の縄文、沈線がみえる。1と2は胎上と内面調整が酷似しており、同一個体の可能性がある。3は刻み隆帯をもつ、4は条痕のみの破片である。

#### D399 (第25図)

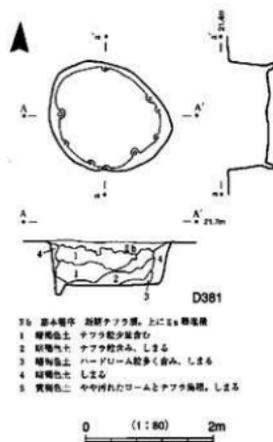
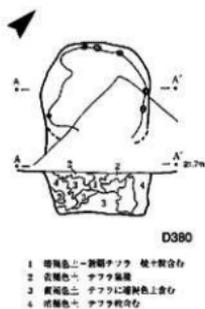
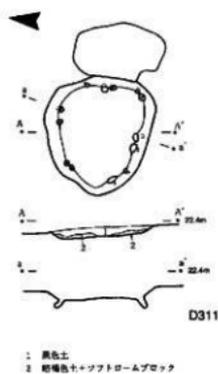
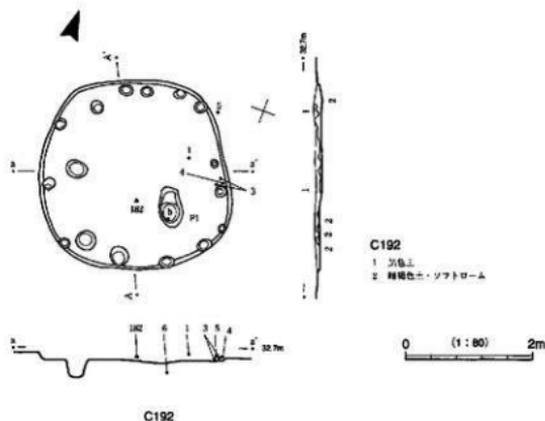
条痕のみの小片2点を掲載した。

## 6 遺物集中地点

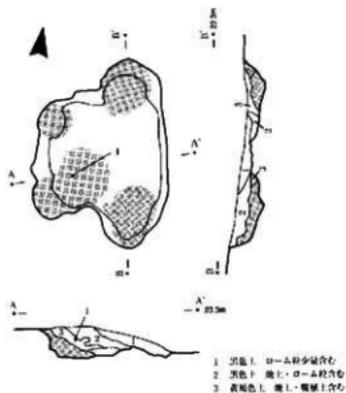
縄文早期末葉の遺物集中地点である。詳細な分析はできず、図・表等はまとめて掲載した。

### D区遺物集中区 (第132・137図)

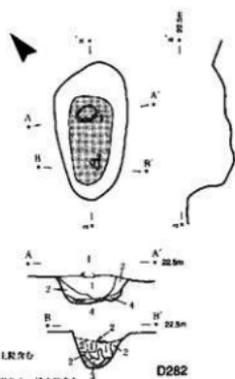
6S-35付近を中心とした径30mの範囲を縄文早期の包含層として調査し、多量の土器と礫の分布を確認した。両者の分布は範囲と集中度からみて全く一致しているといつてよい。最も密度が高い6S-16・17・26・27では、4mグリッド当たり300点以上が記録されている。土器は、前期から中期のものが若干混じるものの、早期末葉の土器が大半を占めている。石はほとんどが礫であり、焼けたものが多い。製品類や剥片類は極めて少ない。掲載したもののなかには石鏃と磨製石斧が数点、中期のものが若干混じる程度である。このような在り方は、付近で発見された如穴・小堅穴・楕円型陥し穴と併せて、早期末葉の居住システムを知る上でとても興味深い。この時期の土器はほかに草刈古墳群地区(23b付近)でもまとまって出土しており、やはり炉穴を伴っているが、いずれの地点でも堅穴住居跡は見つかっていない。D区遺物集中区は、堅穴住居跡を伴わない居住・生活空間であった可能性が高い。



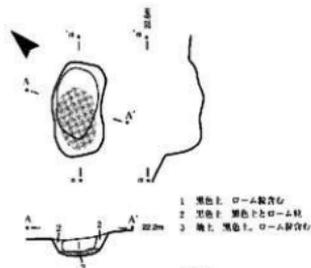
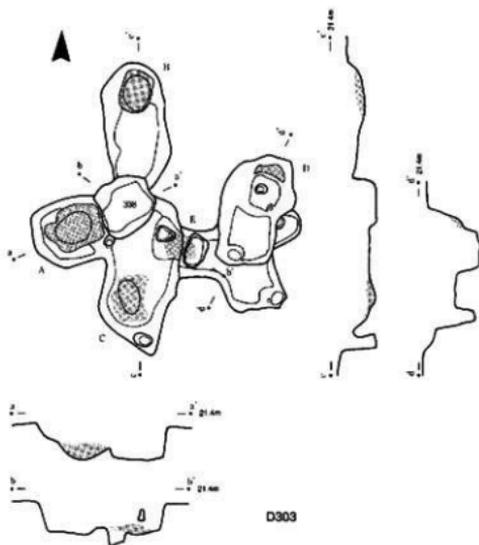
第8図 早期竪穴住居・小竪穴



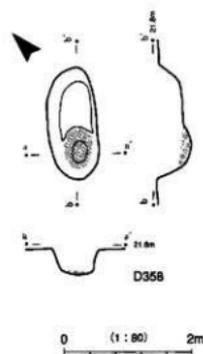
E260



D282

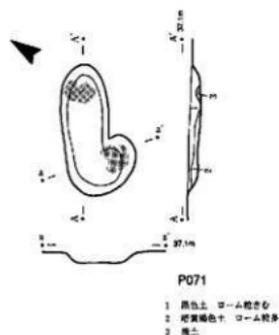
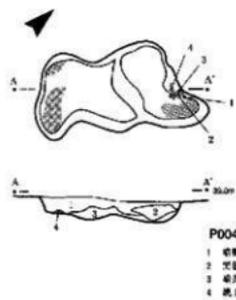
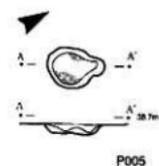
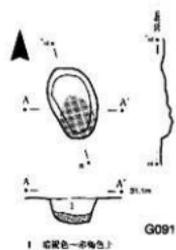
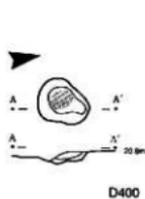
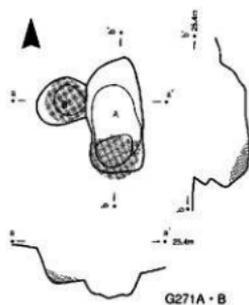
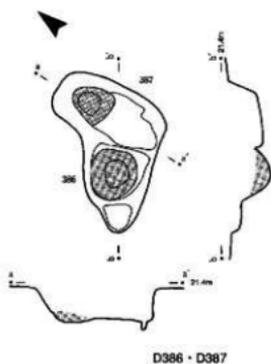


D342



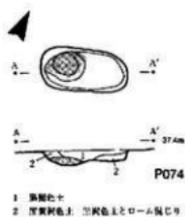
0 (1:80) 2m

第9図 炬穴1

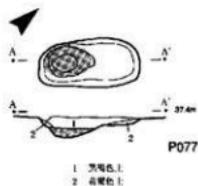


第10图 炉穴 2

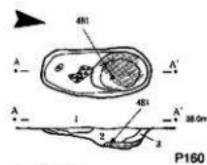
0 (1:80) 2m



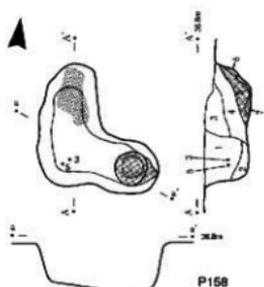
- 1 黒褐色土
- 2 浮葉褐色土 当院色土とローム層の間



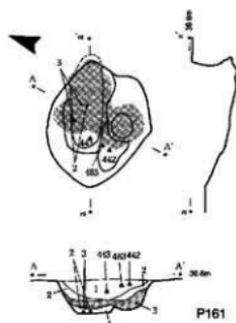
- 1 赤褐色土
- 2 黄褐色土



- 1 柱ブロック
- 2 黒褐色土 ローム層の中多
- 3 黄褐色土



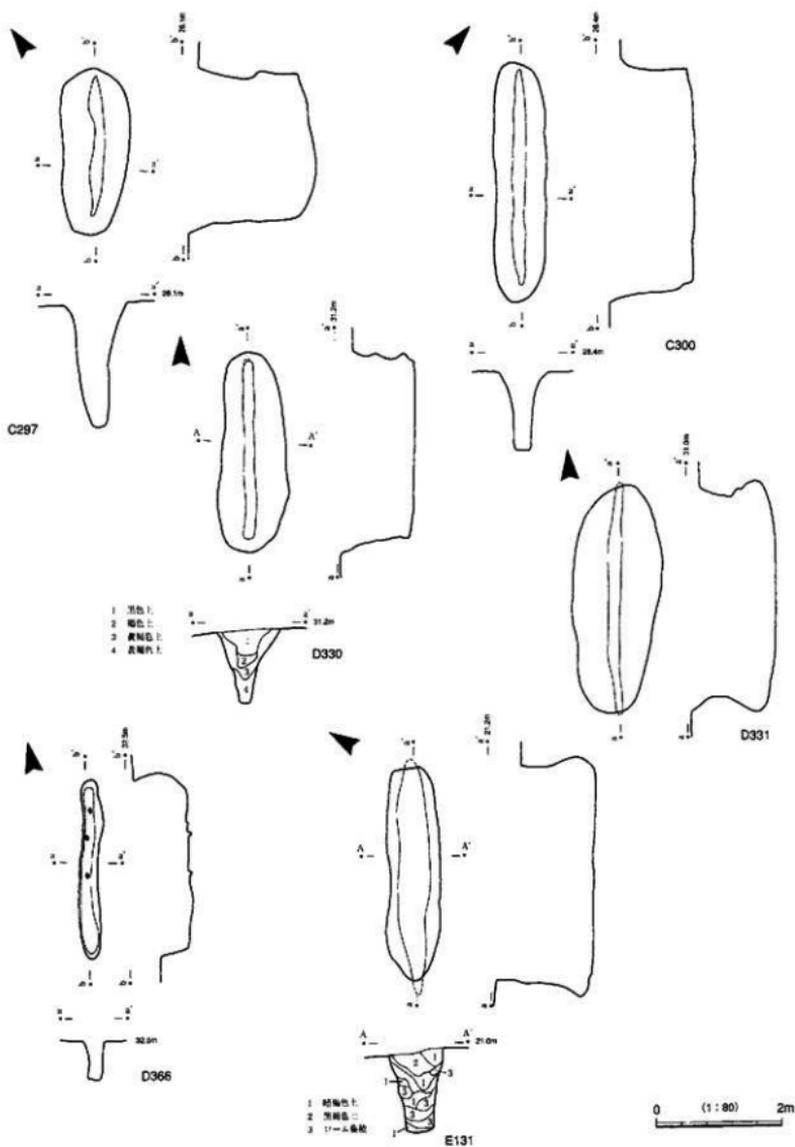
- 1 当院色土 ローム・黄土層多
- 2 黒色土
- 3 赤褐色土 赤・土層多
- 4 当院色土 床上部多
- 5 黄土
- 6 黄褐色土 塩けている
- 7 床上・ローム 黄土・赤・土に灰少量含む



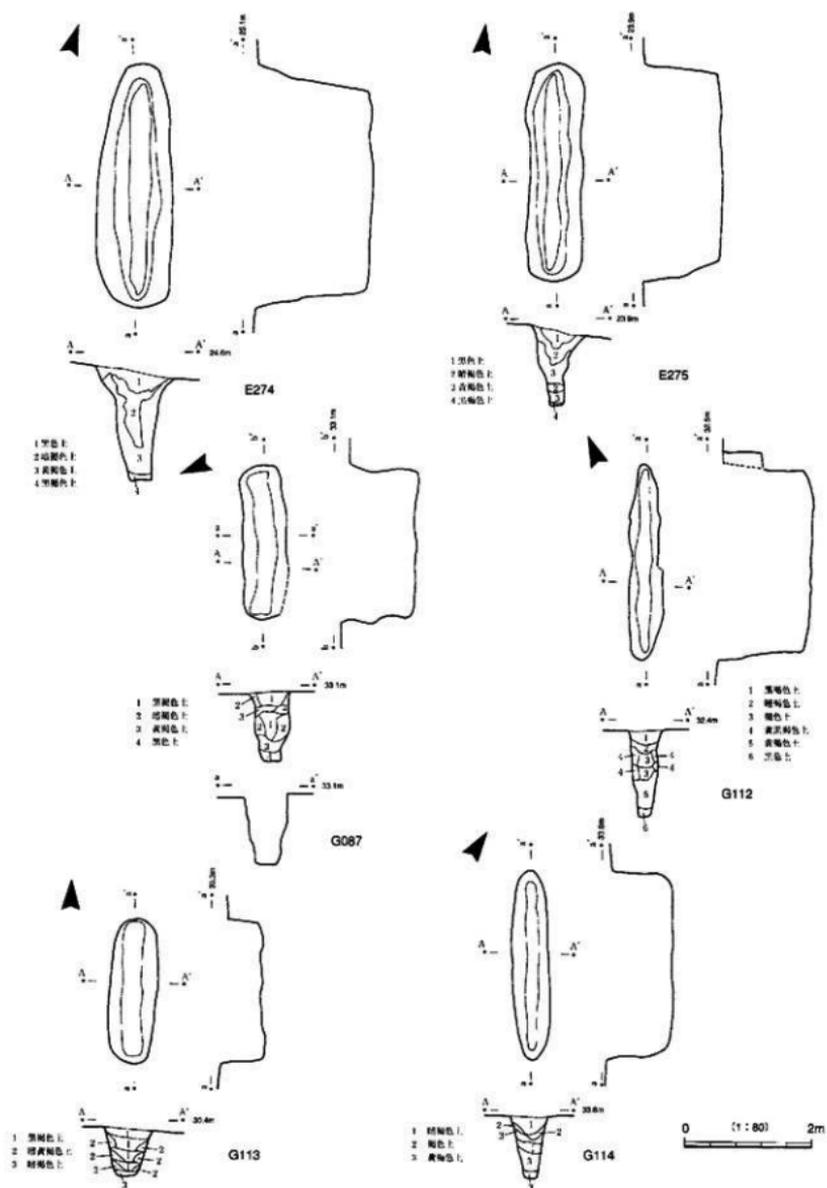
- 1 当院色土
- 2 赤褐色土 地上部多
- 3 黄土
- 4 当院色土 床上部多

0 (1:80) 2m

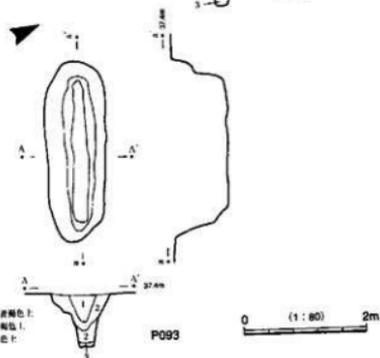
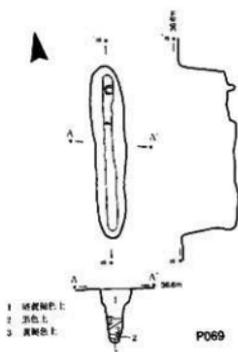
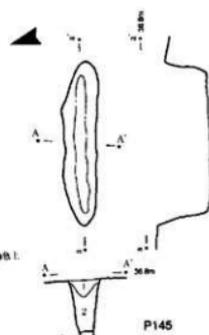
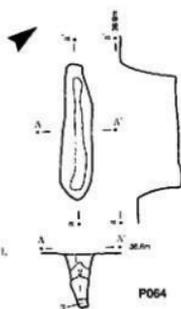
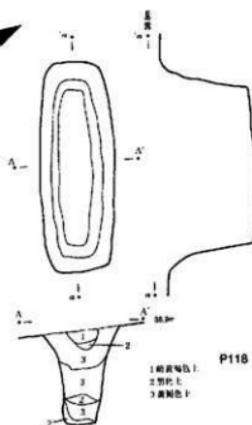
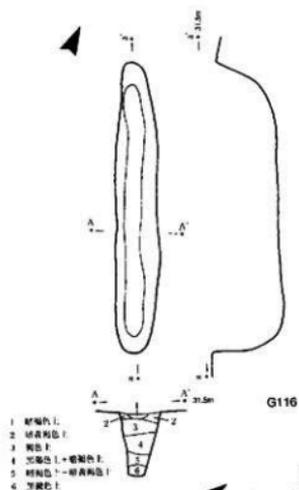
第11図 炉穴3



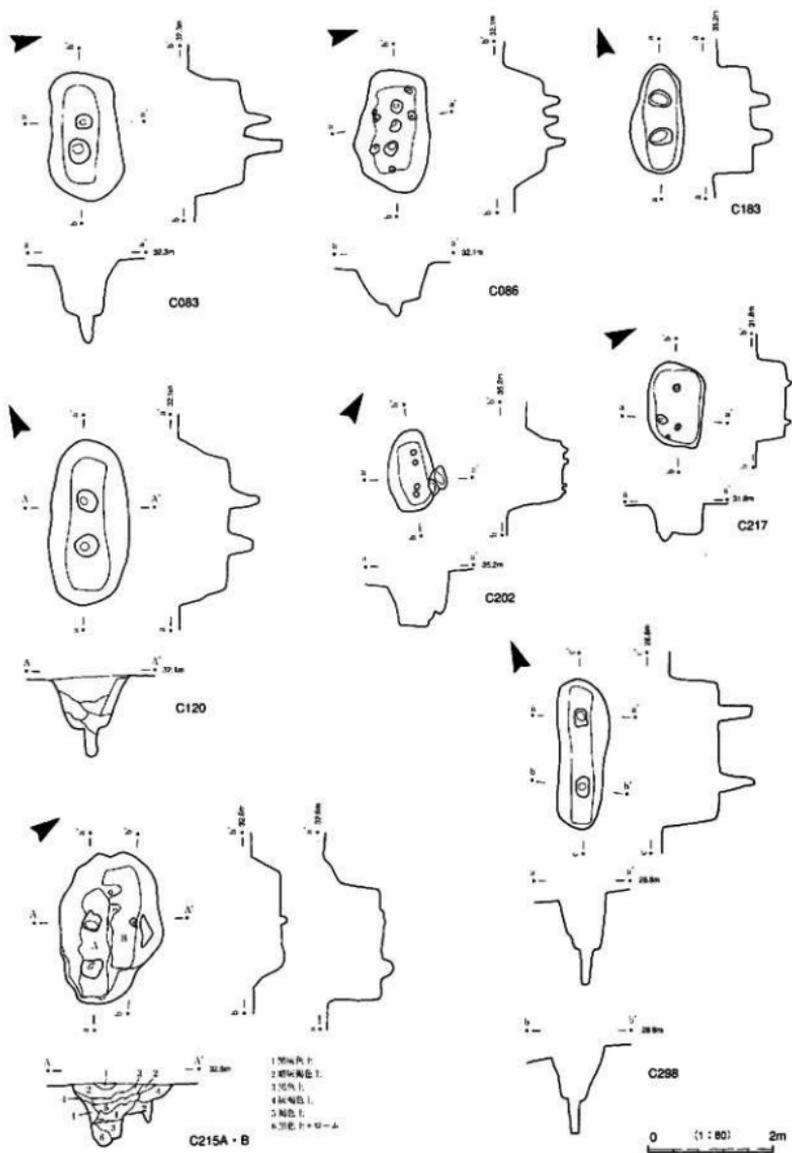
第12図 陥し穴1



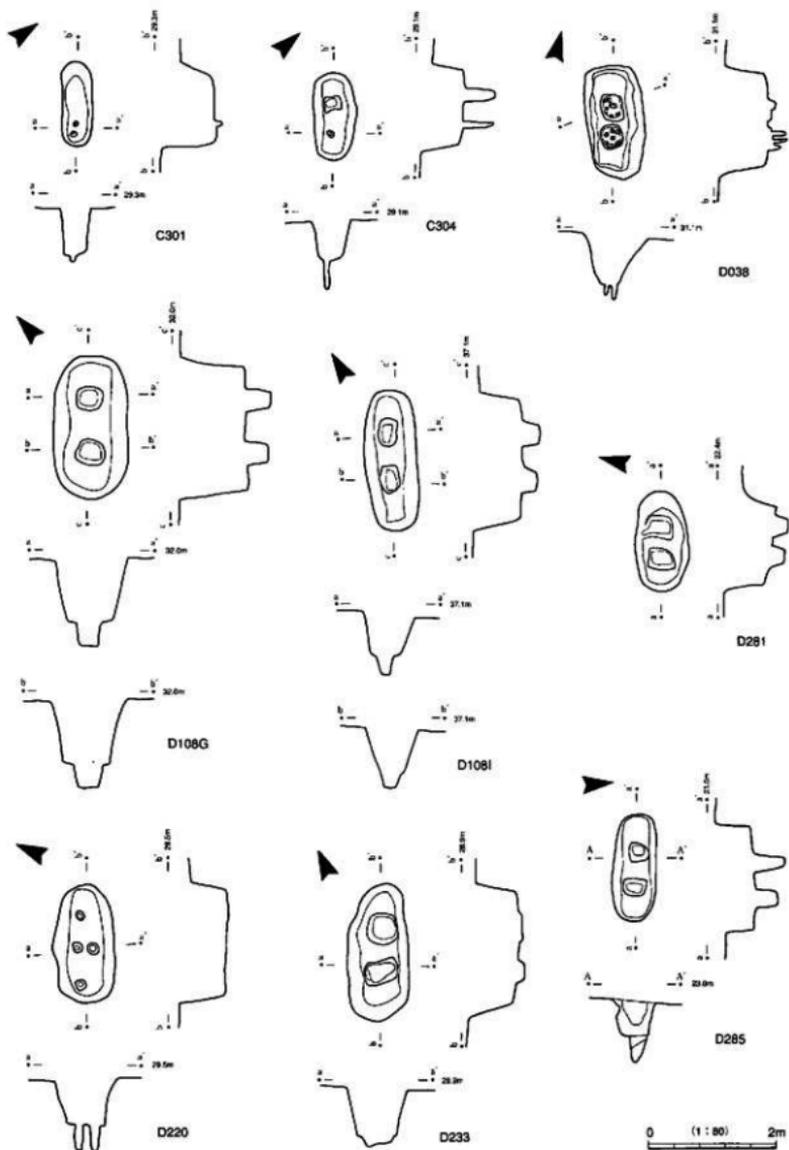
第13图 陶器 2



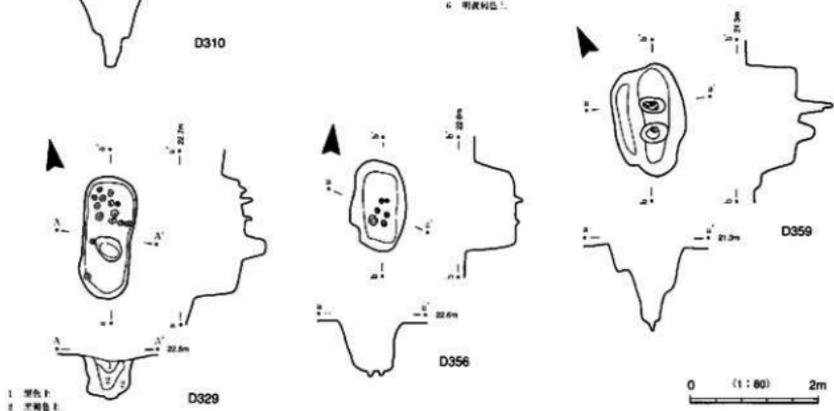
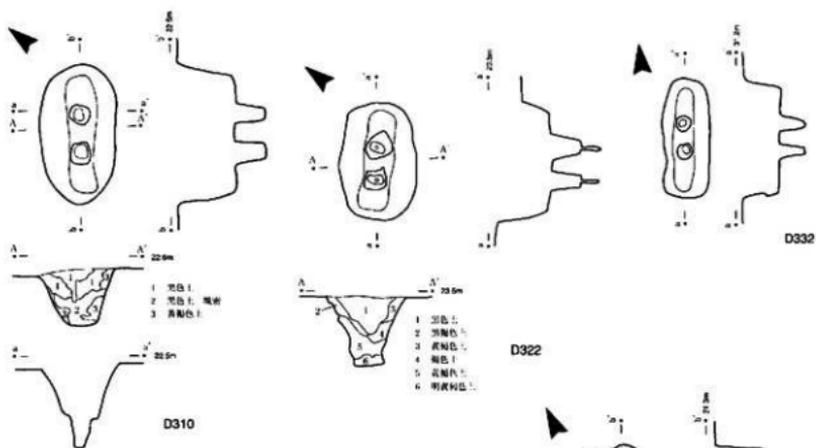
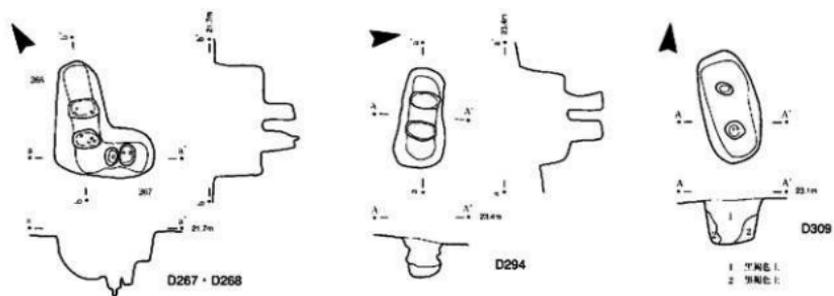
第14图 陷穴3



第15図 陥し穴 4

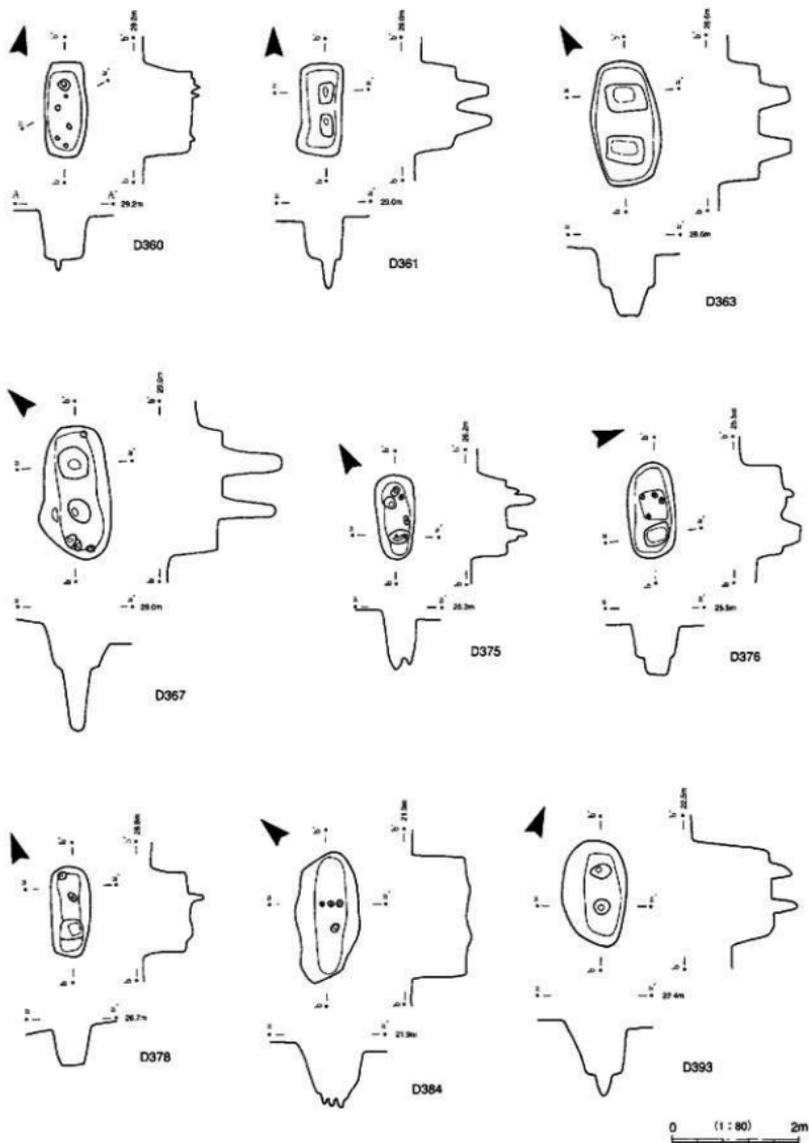


第16図 陥し穴5

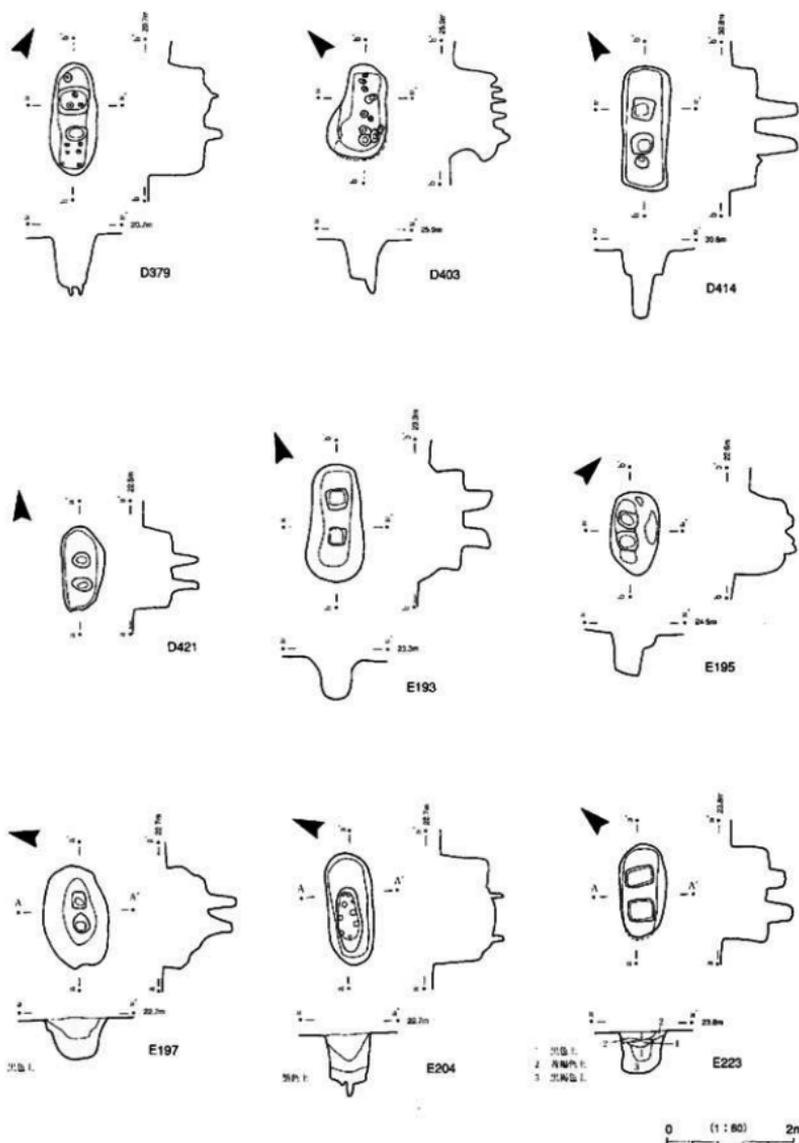


0 (1:80) 2m

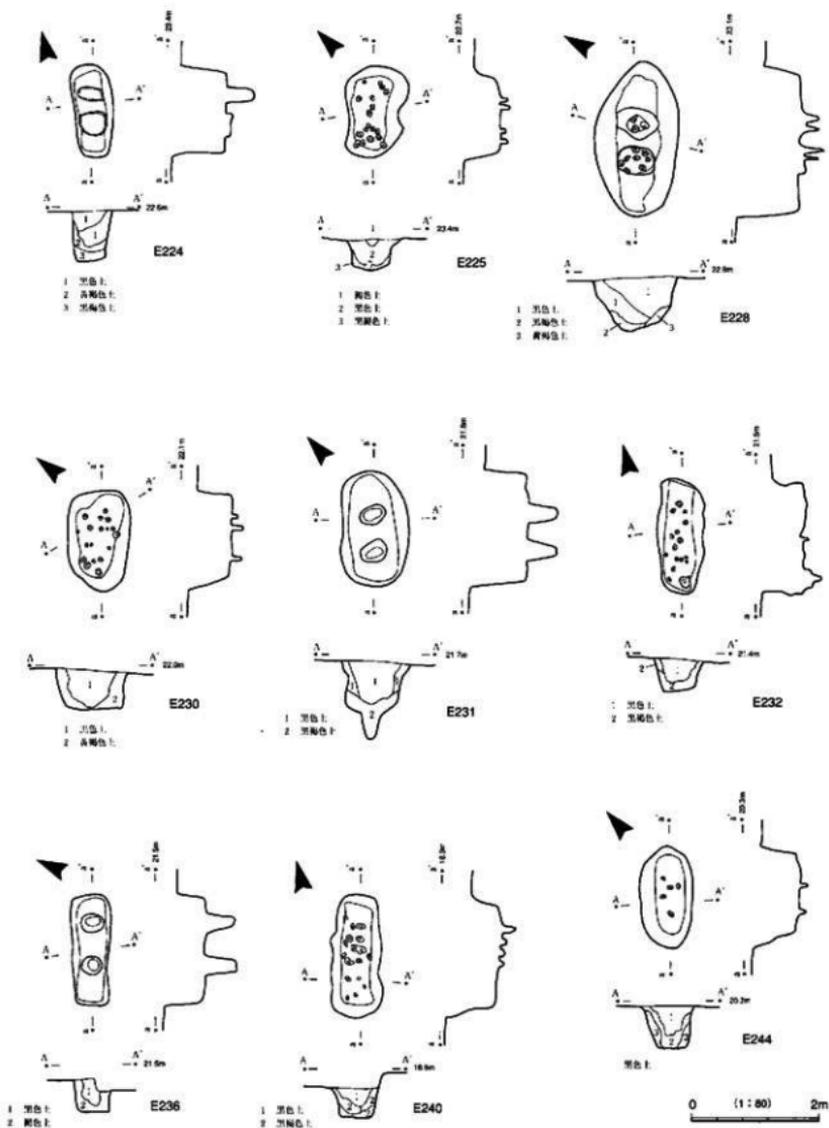
第17图 陷し穴 6



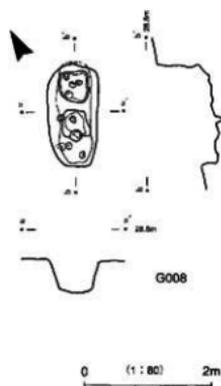
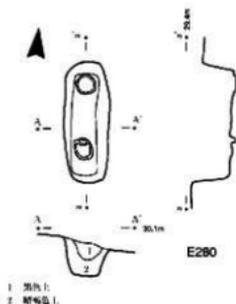
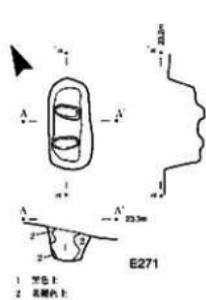
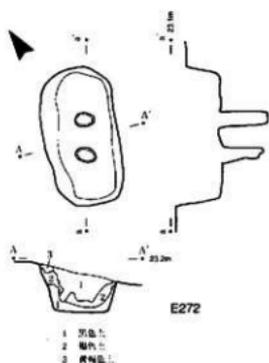
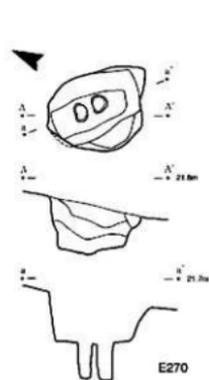
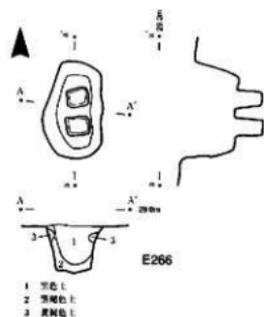
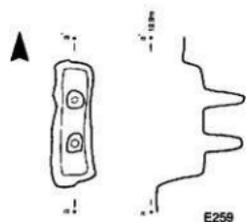
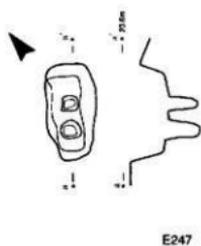
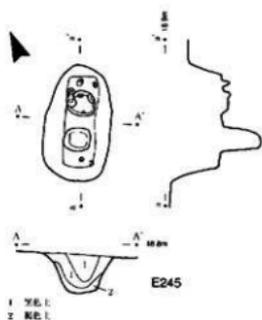
第18図 陥し穴7



第19図 陥し穴 8

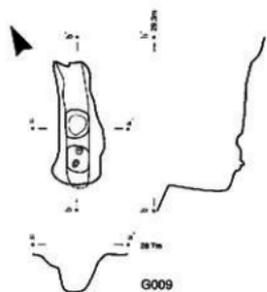


第20图 陷し穴 9

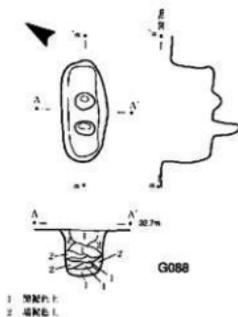


0 (1:80) 2m

第21图 陥し穴10

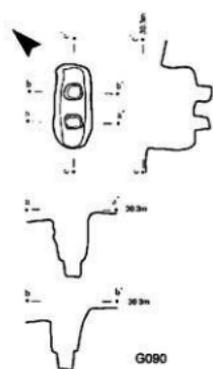


G009

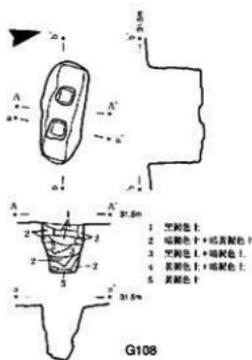


G088

1 穿洞土  
2 灰褐色土

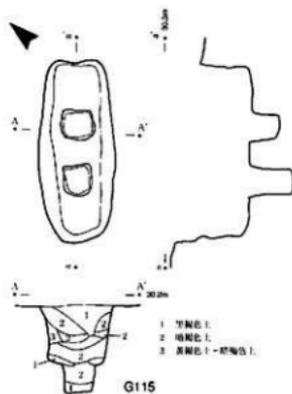


G090



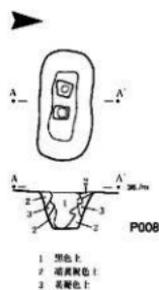
G108

1 穿洞土  
2 灰褐色土 + 灰黑色土  
3 穿洞土 + 灰褐色土  
4 灰褐色土 + 灰黑色土  
5 灰黑色土



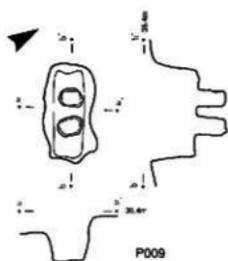
G115

1 穿洞土  
2 灰褐色土  
3 灰褐色土 + 碎陶片土

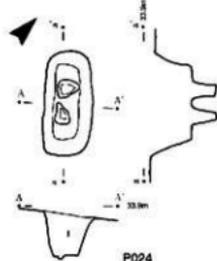


P008

1 穿洞土  
2 灰褐色土  
3 灰黑色土

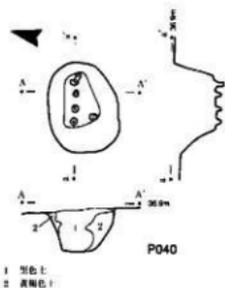


P009



P024

剖面:

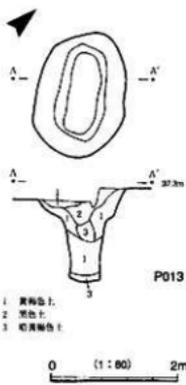
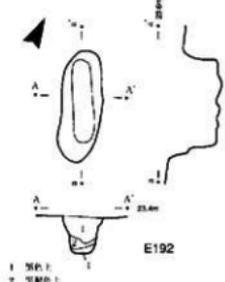
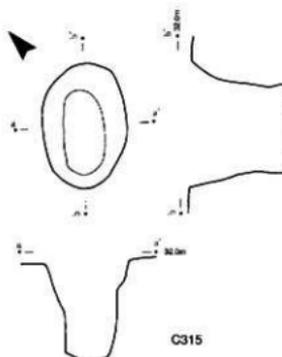
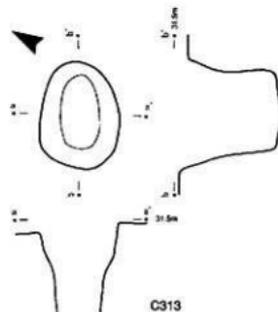
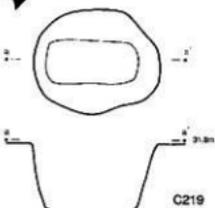
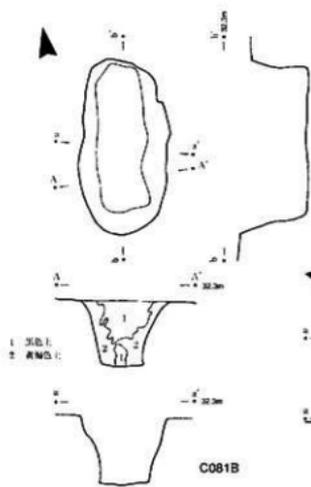
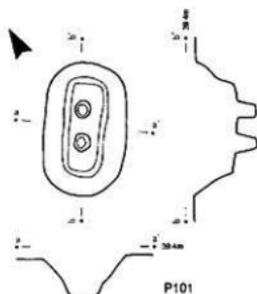
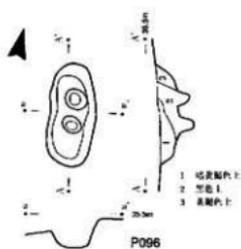
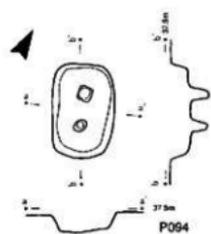


P040

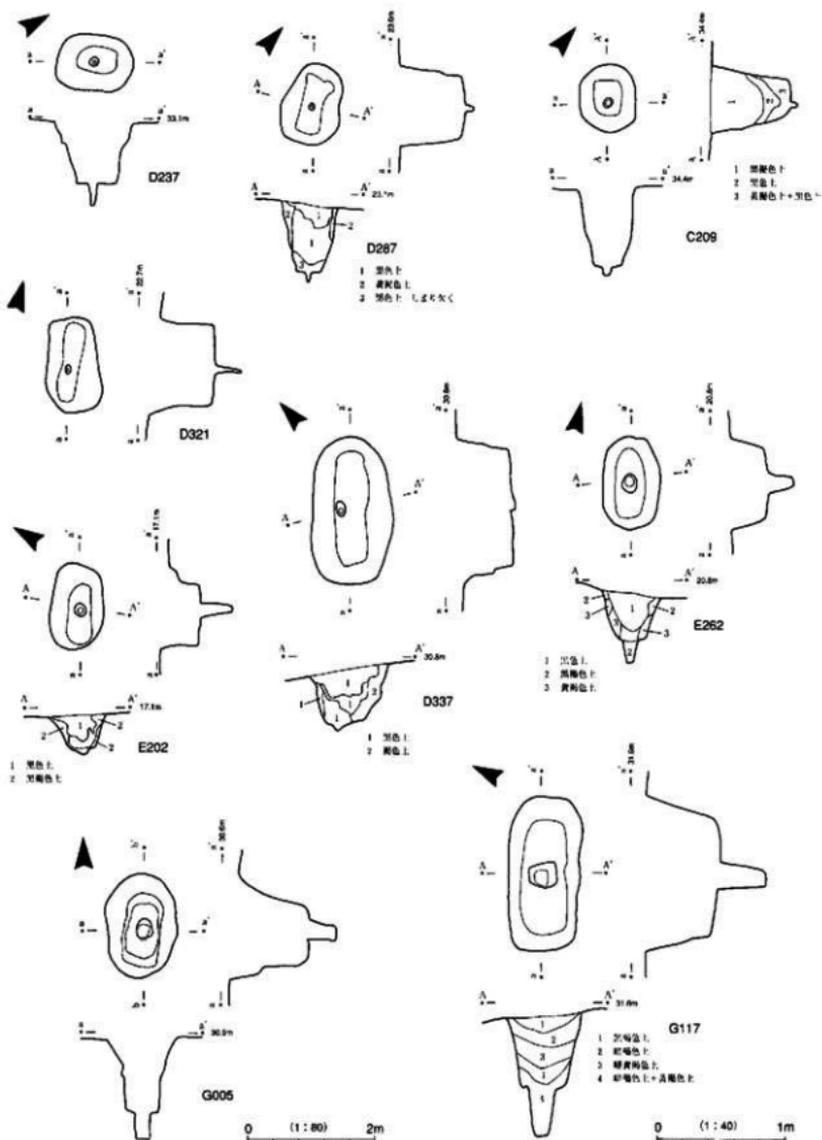
1 穿洞土  
2 灰褐色土

0 (1:80) 2m

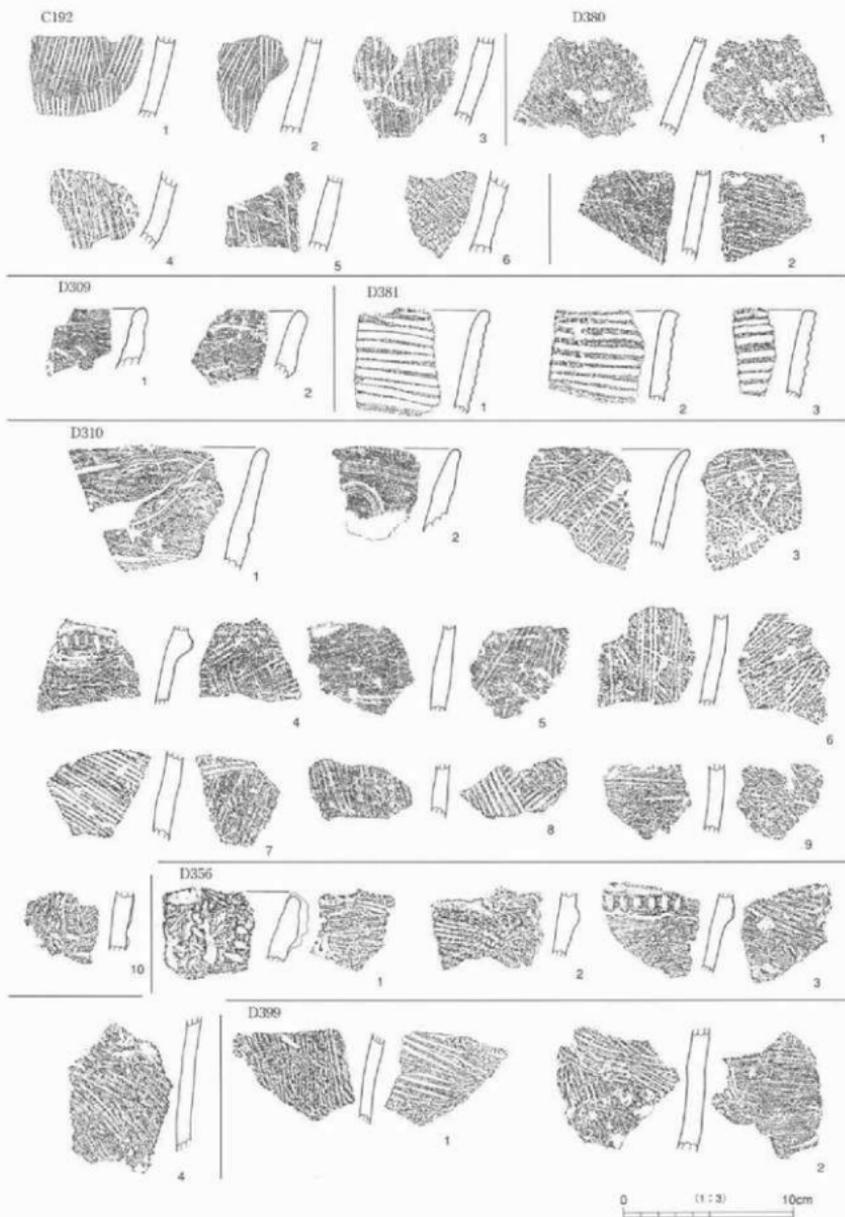
第22图 陷穴11



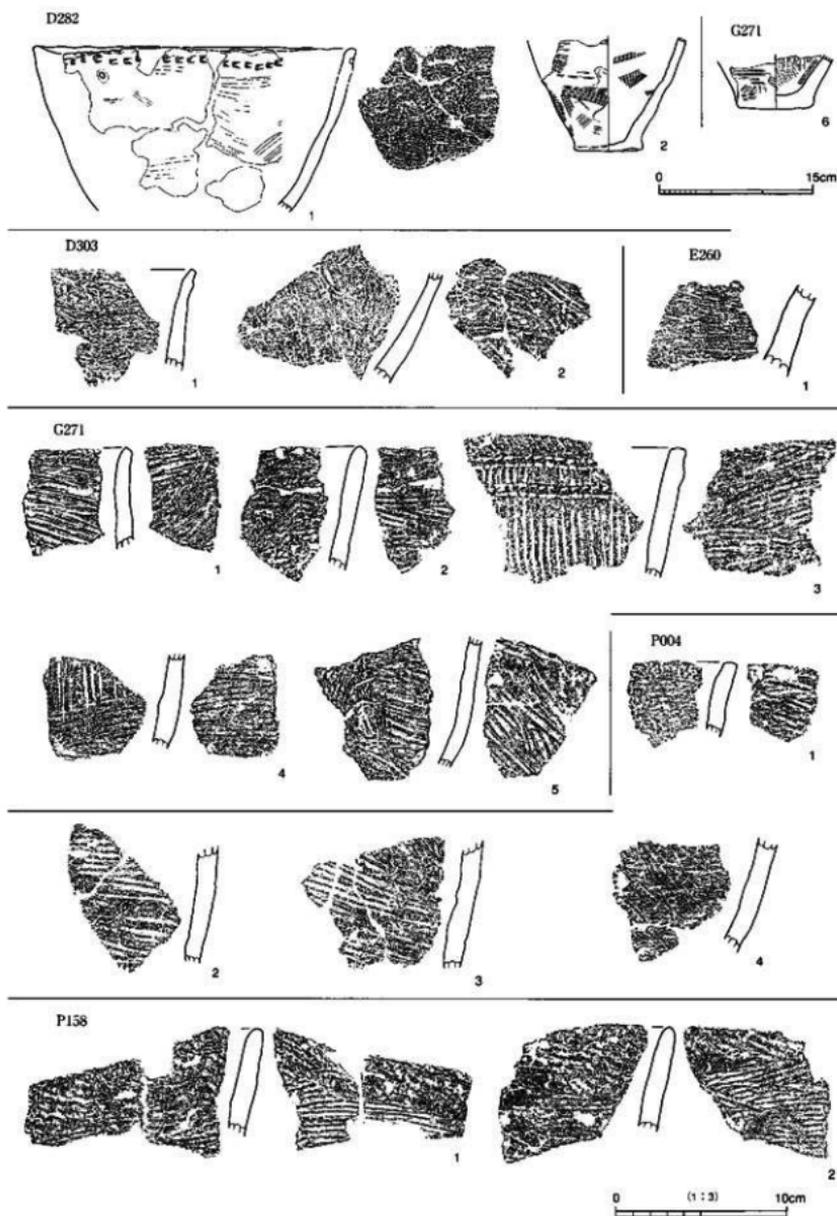
第23图 陷穴12



第24图 陪都穴13

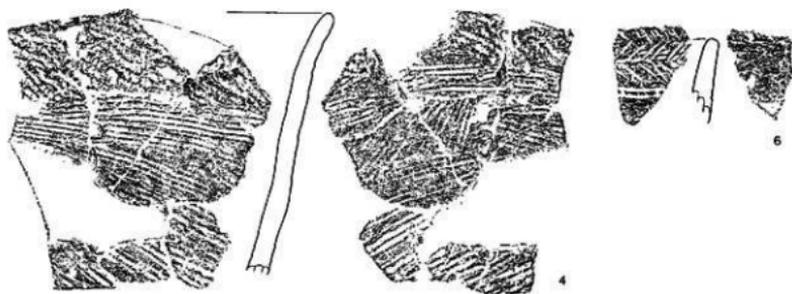
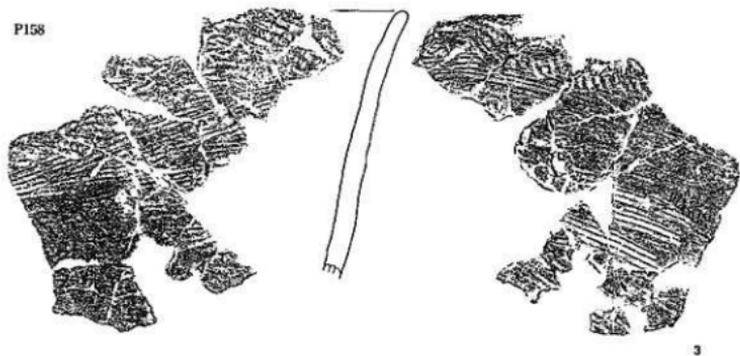


第25図 早期遺構出土土器 1

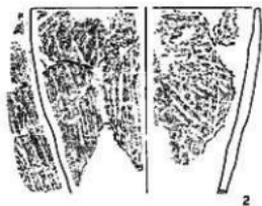


第26圖 早期遺構出土器 2

P158



P161



0 (1:3) 10cm

第27回 早期遺構出土土器 3

### 第3節 縄文中期の遺構と出土遺物

#### 1 竪穴住居跡

##### C015 (第28図, 図版1)

二段掘り込みの竪穴住居跡である。4基の主柱穴や、主柱穴から隅に向かって放射状に延びる上段部床面のわずかな高まり、杭状の小穴をもつこと、炬をもたないことなど、このタイプの住居跡の特徴がいくつも備わっている。平面形はわずかに胴の張る隅丸長方形である。各施設は、東西すなわち長軸方向を主軸としてほぼ線対称に位置する。上段床面の放射状の高まりは1cmから10cmほどのわずかなものである。南側と東側の壁際には先細りの材を打ち込んだとみられる小穴がある。下段床面は楕円形を呈し、さまざまな構造がみられる。主柱穴は下段掘り込みの周縁にあり、P1とP4が85cm、P2・P3が101cmの深さをもつ。また、杭状の小穴が東側に8個、北側に7個あり、西・南にも2・3個みられる。全体として小穴の配置は不規則である。P1とP2の間には若干の高まりが、P3とP4の間には窪みと馬蹄形の高まりがみられる。後者は千葉市有吉北貝塚の二段掘り込みの住居跡(SB208)にもみられた(小笠原他1999)。

出土遺物(第43・44・89・96・101・108・112図, 図版31・32・35) 確認面付近を中心に大量の遺物が出土している。第28図の遺物垂直分布で示すとおり、床面から45cm~80cm上にきわめて密度の濃い分布が認められる。集中部分の下端は水平に近く、あたかも遺構面が存在したかのようである。平面的な分布をみると遺構の北側にははっきりと偏っており、竪穴の範囲外にまで連続している。一方、住居床面から上45cmまでの層には極端に遺物が少ない。とくに床面付近では、図示したものに限ると石器のみである。

掲載したのは土器26点、石鏃6点、打製石斧1点、石核1点、楔形石器1点、剥片3点、土器片鏃9点である。そのほか、非掲載の黒曜石剥片類23点、石皿片3点、多量の土器片がある。土器は、勝坂式と加曾利EⅠ式が混在している。覆土上層の遺物集中層より下から出土した土器は少なく、19・26・13・18の4点である。これらはいずれも勝坂式であり遺構の時期を示す可能性が高い。二段掘り込み型の盛行時期とも矛盾しない。一方、遺物集中層の土器はほとんどが加曾利EⅠ式であり、若干勝坂・中峠段階の土器が混じる。破片ばかりであったが、1のキャリバー形土器は倒立した状態で置かれた可能性がある。遺存しない底部は確認面より高いレベルにあって失われた可能性がある。10・11・12・20・21も加曾利EⅠ式のキャリバー形土器である。8は胴部が膨らみ渦巻意匠をもつ。大木8b式であろうか。ほかに深鉢の14・16・22、浅鉢の4・5もこの時期のものであろう。2~7・17などは加曾利EⅠ式よりやや古い可能性がある。15はEⅡ式であるが摩滅しており出土レベルも最上部である。

石器は、石鏃(1~6, 179)、石核260、楔形石器213、剥片340~342が出土し、そのうち石鏃は5を除いたすべてが黒曜石製である。当遺構のある14S区は草刈遺跡東部のなかでもっとも石器類が多く出土しており、なかでも当住居跡周辺の14S-00, 01, 10付近では黒曜石の石鏃、石核・剥片類が集中している。石鏃製作の場であった可能性が高い。黒曜石以外では、石鏃5がチャート製、打製石斧375は擬型で片岩類製である。当住居跡がかなり埋まった段階、つまり加曾利EⅠ式期の土器廃棄の時期と、石鏃製作に伴う石器・剥片類の遺棄・廃棄の時期はおおむね一致するものと考えられる。

##### C017A (第29図, 図版1)

隅丸方形ないし楕円形の竪穴住居跡である。南壁は直線的であるのに対して、北壁は曲線的である。主柱穴はP1~P6の6基であろう。P1=60cm, P2=60cm, P3=47cm, P4=54cm, P5=43cm, P6=62cmの深さをもつ。そのほかに数多くの穴があり、壁寄りに多い。P3とP4間の穴は出入口施設の可能性がある。

炉は中央のやや北寄りにあり、土器片囲いを伴う。土器片は設置した状態で数点、炉内に落ち込んだものが1点あった。

出土遺物（第45・89・93・107・119図、図版35） 土器は床面より若干上の層位から覆土上層の範囲で出土し小片がほとんどである。ただし、2は柱穴（P2）の底面から出土している。土器9点、石鏝2点、磨石類1点、使用痕をもつ剥片1点、土器片錘9点を掲載する。比較的破片が大きく残りのよい土器5・9・2はみな加曾利EⅠ式である。遺構の時期を示すものであろう。3は隆帯上に縄文を施すもので前段階の土器である。6～8は阿玉台式・勝坂式である。石鏝7、175と剥片326は黒曜石製、磨石類439は埴り、叩きがみられるもので、安山岩製である。なお、非掲載のなかに石鏝破片2点、石皿片1点、黒曜石剥片・細片類約120点がある。

#### C024A（第29図、図版1）

二段掘り込みの竪穴住居跡である。上段部は長方形で広く、下段部は楕円形で狭い。上下段の比高差は10cm程度ある。上段部壁には壁溝と小穴がみられる。主柱穴はP1～P4の4基であり、深さは上段からの比高で、順に114cm、100cm、106cm、114cmある。P5も64cmあり、住居の中心部に若干傾いている。P6は深さ20cmほどの窪みで、下段への出入口施設の可能性がある。下段部は主柱穴の中心を結んだ狭い範囲に掘り込まれ、その底面には西側に4基、東側に3基、中央付近に3基の杭状小穴をもつ。杭によってなんらかの構造物を支えたものであろう。覆土は黒褐色土である。P5上の4層は、柱が立ったまま竪穴が埋まっていたことをうかがわせる。

出土遺物（第45・89図、図版35） 土器5点、石鏝1点を掲載する。1～4はいずれも勝坂・中峠段階ないし加曾利EⅠ式に伴う素文系の土器であろう。遺構の時期を示すものと考えられる。石鏝8は黒曜石製で先端が欠損する。

#### C027（第30図、図版1）

二段掘り込みの竪穴住居跡である。上段、下段とも楕円ないし小判形である。主柱穴4基で、深さは上段からの比高で順に93cm、75cm、89cm、81cmある。床面は全体的に堅緻であった。覆土は下半に褐色土、上半に黒褐色土が堆積していた。

出土遺物（第45図、図版35） 出土遺物は少なく、図示したのは土器2点である。2は覆土の最上部で出土しており、遺構に伴うものかどうか疑問である。1は地文のみの土器で、上段部の床面直上から出土している。大破片で残りもよく、時期を示す可能性をもつが、1点のみであり、詳しい時期もわかりにくい土器である。二段掘り込み型住居の崩れた形状とも考え併せて、帰属時期を加曾利EⅠ式と推定しておく。

#### C032A（第31図、図版2）

円形の竪穴住居である。主柱穴は5基がほぼ等間隔で並んでいる。深さは74cm、70cm、51cm、65cm、71cmとほぼ揃っている。中央部を大きくC032B溝に切られていたため、炉の有無は確認できない。

出土遺物（第45図） 土器3点、土器片錘6点を掲載する。土器1・2は南側の礫層床面直上で出土した加曾利EⅠ式のキャリバー形土器である。3は一括で取り上げられた磨消帯をもつ加曾利EⅡ式土器である。後者は溝（C032B）からの混入の可能性も考えられるので、帰属時期は加曾利EⅠ式の可能性が高い。

#### C032C（第31図、図版2）

円形の竪穴住居跡である。床面には7つの穴があるが、小穴が多く、深さもばらつきが大きいため配置を想定できない。深さは、深いものから79、44、42、36、23、18、12cmである。炉は床面より若干低いレ

ペルに楕円形の平坦な燃焼面をもつものである。燃焼面は掘り込みよりひとまわり小さく、焼けていない部分との境界は明瞭である。このような形態の炉は、右囲炉の石が抜き取られたものとしてよいであろう。覆土中からは阿玉台3式から加曾利EⅡ式までの土器が出土しているが、いずれも小片で掲載しなかった。住居の帰属時期は、堅穴が円形であること、右囲炉を伴うことから加曾利E式前半に絞ることができよう。

#### C040A (第30図, 図版2)

円形に近い堅穴住居である。西側で弥生時代の住居跡(C040B)に切られている。ほぼ等間隔に位置して深さも揃っているP1～P5の5基が主柱穴であろう。深さはP1から順に67cm, 52cm, 67cm, 68cm, 67cmである。P6も深さが41cmあって、重要なものであったかもしれない。あるいは深さ24cmのP7も含めて出入口施設の可能性も考えられる。堅穴の掘り込み形状は南側がやや直線状になっており、南北に軸線もっていたものとみられる。かとはほぼ中央にある。

#### 出土遺物(第45・116図, 図版32)

土器1点, 磨製石斧2点を掲載した。1は加曾利EⅠ式の胴部であろう。1点のみが時期を示す可能性が高い。磨製石斧は411が砂岩製, 412が粘板岩製で、いずれも基部を欠損する。

#### C043 (第31図, 図版2)

二段掘り込みの堅穴住居跡である。長軸約7mは今回報告する遺構のなかで最大である。上段部の掘り込みは隅丸長方形, 下段部の掘り込みは楕円形ないし小判形であり, 上下段の比高差は20cmほどある。堅穴の外側には3か所の張り出した掘り込みがみられる。南東側, 南西側のものは壁溝をもつものに対して, 北西側のものにはなく, 代わりに床面に小穴をもつ。西側の掘り込みは小堅穴の可能性も考えられるが, ほかの2つは, 第31図の上層断面のように, 堅穴本体とは切り合い関係が認められない。したがって, 堅穴住居の施設の一部である可能性が高い。上段部には壁溝が廻るが, 2つの小穴をもつ南西壁の一部と, 北隅部分のみ途切れている。下段部隔には主柱穴が4基ある。深さは, P1から順に(上段床面レベルからの比高で)103cm, 105cm, 136cm, 108cmを測る。いずれも上部が広がっているところをみると柱が抜き取られたのではないかと推察される。南西壁のP2とP3の間には下段への出入口施設と考えられる窪みが他の壁には杭状の小穴がみられる。床面は全体に硬くしまっていた。覆土は下段の床面黒色土, 上段の壁溝にローム主体の黄褐色土が堆積した後, 黒褐色土が広く覆っていた。

出土遺物(第45図, 図版32・36) 土器4点を掲載した。1は主柱穴(P2)内から出土した。胴中に三角区画文をもち, 胴部にクランク状の意匠文をもつ, 大木式系統の土器であろうか。2は中峠段階, 3は阿玉台Ⅱ式であろう。1・2の土器から, 遺構の時期は勝坂・中峠段階であろう。

#### C052A (第32図, 図版3)

楕円形の堅穴住居である。P1～P4は等間隔の位置にあつて深さも揃っているので, 主柱穴であろう。深さはP1から順に115cm, 106cm, 118cm, 111cmである。P5は46cm, P6は41cmで, そのほかはごく浅いものである。南壁は若干張り出しており, この部分にある窪みは浅くても出入口施設の可能性は否定できない。炉は中央やや北側にあつて, 長軸は堅穴と一致する。燃焼部の状態は不明である。なお, P2の東側には壁から伸びる若干の高まりがみられた。これは二段掘り込みの住居でしばしば認められるものと共通するものかもしれない。

出土遺物(第46図, 図版36) 土器2点, 土器片鏃1点を掲載した。土器1・2は加曾利EⅠ式～Ⅱ式の範囲で捉えられよう。このため遺構の時期は加曾利E式前半の可能性が高いといえる。

#### C054 (第32図, 図版3)

楕円形の竪穴住居跡である。位置と深さからP1~P4が主柱穴であろう。深さはP1から順に53cm, 80cm, 67cm, 47cmである。P2~P4の掘り込みにみられる段は建て替えか、柱の抜き取り痕跡であろう。ほかに40cm以上の深さをもつものはP5~P8である。南壁に近いP5・P6は近くの窪みも併せて出入口施設の候補となろう。炉は石囲炉である。大きな石材5個で「コ」の字形に組まれている。炉の掘り込みと石囲い施設の軸は異なっており、造り替えの可能性を示している。石囲い施設は竪穴の軸と合っている。

出土遺物 (第46図, 図版32・36) 床面から覆土下層の範囲で土器大破片が出土している。7点を掲載した。阿玉台式前半の上器(1・3・4)、後半の上器(5)、加曾利EⅠ式(2・7)が混在する。下限の時期を示す2・7が床面出土であり、遺構の帰属時期は加曾利EⅠ式の可能性が高い。

#### C055 (第33図, 図版3)

円形の竪穴住居跡である。床面には多数の穴があり、図では便宜的に50cm以上の深さをもつもの13基にナンバーをつけた。深さはP1から順に77cm, 54cm, 80cm, 70cm, 72cm, 51cm, 75cm, 31cm, 90cm, 65cm, 70cm, 51cm, 60cmである。主柱穴を特定するのは困難であり、建て替えも想定される。強いて規則的な配置を探すと、P1・P5・P10・P11の4基あるいはそれにP13やP8を加えた構成を指摘できよう。P8はいわゆる斜位埋設土器を伴う。炉とすべき状況はみられないことから、出入口に上器を埋設した可能性がある。炉は上器片囲いと、上器炉体をもつ炉である。床面は、炉の周辺のみ堅くしまっている。

出土遺物 (第46・47図, 図版32・33) 土器8点を掲載した。4は炉体上器である。炉内の焼上に埋って正立していた。内面の上から4分の1ほどの範囲のみが著しく劣化しており、炉体としての使用を示す。図示した部分のみ地文縄文が残るが、他の範囲は粗いナデによって消されて無文となる特異な土器である。3は胴下半部が意識的に除去された土器で、西側の壁を切る柱穴(P8)に斜めに入っていた。外面の約半分の範囲のみが著しく劣化しているのは、斜位埋設の状態で利用された可能性を示唆している。2は深さ65cmの柱穴上部から、1は床面より10cmほど上で出土した。5~8の阿玉台式・勝坂式は古い上器片が流れ込んだものであろう。これを除くと、有文で時期がわかるのは1・2の加曾利EⅡ式である。しかし、遺構の施設として使われた3・4は加曾利EⅠ式ないしその前段階の可能性が高い。おおむね加曾利EⅠ式前半代の竪穴住居としたい。

#### C056 (第33図)

楕円形の竪穴住居跡である。P1~P4(深さは順に73cm, 74cm, 73cm, 67cm)が主柱穴、P5(深さ30cm)が出入口施設であろう。炉をもつが、詳細はわからない。

出土遺物 (第47図, 図版33・36) 土器5点を掲載した。1・2は柱穴内から出土した。3~5は床面近くのレベルで出土している。2~4は阿玉台式前半の上器、5は勝坂式、1の鉢は加曾利EⅠ式に伴うものであろう。遺構の時期を示すのは1と5で、勝坂式から加曾利EⅠ式の可能性が高い。

#### C057 (第33図, 図版4)

楕円形の竪穴住居跡である。P1~P4(深さは順に66cm, 62cm, 66cm, 69cm)が主柱穴であろう。そのほかではP5が74cmあり、他の穴は40cm未満である。中央に炉をもつ。詳細は不明だが一部に焼けた面が存在したことは確実である。竪穴と炉の長軸とは若干ずれている。

出土遺物 (第47図, 図版36) 小片のみであるが、阿玉台式が主体のようである。遺構の形状から、加曾利EⅠ式の住居跡に流れ込んだ可能性も考えるべきであろうか。時期は阿玉台式であろうか。

#### C058 (第34図, 図版4)

円形の竪穴住居跡である。4基の主柱穴は、3基が73cm, 1基が65cmと深さがよく揃っている。炉は燃焼が認められた。床面は炉の付近が堅く、周囲部は軟弱であった。出土遺物は黒曜石片2点、礫1点のみで時期を特定できないが、中期の住居跡群に位置し、円形の形状と主柱穴構造をもつことから中期の住居跡の可能性が高い。

#### C059 (第34図, 図版4)

楕円形の竪穴住居跡である。中央やや北寄りに炉をもつ。P1~P4(深さは順に72cm, 70cm, 82cm, 77cm)の4基,あるいはP5(深さは56cm)を含めた主柱穴構造をもつ。P5は小穴2つも併せて出入口施設であろうか。炉はよく焼けているが、掘り込みの周囲は焼けていないので、何らかの囲い施設を伴っていたものと考えられる。床面は全体に堅緻であった。西壁の一部に壁溝がみられる。

#### 土器片錘の集中 (第128図, 図版67)

3か所で土器片錘やその素材とみられる土器片の集中か所を検出した。竪穴住居が廃絶され、壁際に若干の土が堆積したところに土器片錘の製作が行われたものとみられる。土器片が研磨されたのか否かを識別するのは困難な場合が多いが、本遺構では楕円形のものごとまとめて出土しており、自然に摩滅した疑いは排除しうる。制作行為の復元は第5章まとめに記すこととし、ここでは事実記載を行う。

土器片錘集中1 1~14の14点からなる。大半は折り重なった状態で出土した。切り込みをもつ土器片錘は14の1点のみである。そのほかの13点は1個のキャリバー形土器に由来する口縁部から胴部上半の破片が研磨されたものである。2と3, 11と3と10, 4と5, 6と7の組み合わせで直接接合する。そのほかの破片も含めて、口縁部から胴部上半に限られる。8と10には二次焼成による変色と劣化が顕著である。12以外はいずれも角が取れて摩滅しており、半数は楕円形に加工されている。12はやや離れた場所で、13はP4中から発見された。本来は一緒に廃棄または遺棄されたものであろうか。やや離れた12のみが摩滅していないのは意味があるかもしれない。このような在り方から、大きな土器片を折断し、周囲を研磨したことを復元しうる。なお、6と7は接合した状態で楕円形になるので、研磨中またはその後に破損したものであろう。

土器片錘集中2 15~18の4点が密着した状態で出土している。15と16は同一個体土器を素材とした可能性が高い。17と18は似ているが別個体である。

土器片錘集中3 19・20の2点に過ぎないが、便宜上集中地点とした。素材となった土器は同一である。切り込みの表面は磨滅しておらず、石器で加工したばかりのような印象である。この場所で切り込みが入れられた可能性を示唆する資料である。

なお、21・22は覆土一括で取り上げられたものである。22は土器集中1のキャリバー形土器と同一個体である。研磨は明確ではない。

#### その他の出土遺物 (第47図, 図版36)

土器片錘集中地点以外の出土遺物はわずかである。土器1は勝坂・中峠段階の土器, 2は加曾利EⅠ式である。遺構の時期は多くの土器片錘等と土器2から加曾利EⅠ式~EⅡ式と推定される。土器片錘集中1のキャリバー形土器は胴部の懸垂文間が一部、軽く磨り消されている。

#### C080A (第34図, 図版4・13)

楕円形ないし小判形の竪穴住居跡である。南西側4分の1ほどはC080B小竪穴と重複している。この部

分には貼床がされており、他の部分より若干下がっていた。壁の検出は困難であった。主柱穴はP1～P4の4基であろう。深さはP1から順に92cm, 98cm, 78cm, 80cmである。炉はよく焼けており、長軸は竪穴と一致している。

出土遺物（第47・48・119図、図版33・37） 土器9点、磨石類1点、土器片錘1点を掲載した。土器1・8・9はP1の内部から出土した。これらと2・3の土器が示す加曾利EⅠ式が遺構の時期であろう。4～7は阿玉台前半期の土器であり、時間差が大きい。磨石（440）は砂岩製で端部、側面に叩きの痕跡をもつ。

#### C125C（図版4）

円形の竪穴住居跡である。主柱穴規模の穴8基、堅緻な床面、炉などが検出されているが、主柱穴の規則的な配置や掘り込みの主軸方向などは想定できなかった。なお、C125F土坑、C125E土坑、C125B住居と重複しており、C125Fの上には貼床が認められた。C125E、C125Bは古墳時代の遺構である。

出土遺物（第90・116図） 土器片少数と石器2点が出土した。掲載したのは石鏃1点（63）、凝灰岩製の磨製石斧1点（413）で時期を示す遺物はない。

#### C127（図版5）

隅丸方形の竪穴住居跡である。掘り込みと柱穴3基を検出した。柱穴のうち2基は深さ95cm、もう1基は36cmと浅い。C124古墳に切られているほか、西側に大きな倒木痕があって、床面と壁を検出できなかった。炉も検出されず、住居跡とするには根拠が薄い。

出土遺物（第48・89図、図版36） 土器8点、石鏃1点を掲載する。土器1～7は隆帯と角押文、または角押文単独で椀状区画を形成する土器である。比較的幅狭の口縁部文様帯や、左右非対称の突起から阿玉台Ⅰa式～Ⅰb式の資料であろう。遺構の時期を示すものと思われる。石鏃（10）は黒曜石製である。

#### C128

床面、柱穴と炉を検出したものである。深さ50cm～60cmの主柱穴5基が等間隔に並ぶ。南東側の柱穴2基の間には深さ69cmの穴があり、出入口施設の可能性がある。その底面にあった阿玉台Ⅰb式土器の破片が唯一の出土遺物である。炉の床面近くには10cmほど焼土が堆積していた。時期を確定する要素に乏しいが、中期の竪穴住居跡の可能性が高いのではないかと。

#### C173（第35図、図版5）

円形の竪穴住居跡である。P1～P4の主柱穴4基は深さが順に56cm, 59cm, 64cm, 41cmである。主柱穴の位置としては、かなり壁に近接している。床面は平らである。炉は検出されていない。覆土は床面上からローム主体の土が厚く堆積していた。

出土遺物（第48図、図版33・36） 土器4点を掲載する。1は床面上に伏せた状態で潰れていた浅鉢である。復元の結果欠損部はほとんどないので、使用可能な土器が意識的に置かれた可能性が高い。埋葬遺体の頭部に被せたとも考えられる。4の土器片も共伴していた。2・3は覆土上層と一緒に出ている。すべて勝坂・中峠段階の土器であり、遺構の時期を示すものであろう。

#### C177B（第35図、図版5）

円形の竪穴住居である。中央に炉があり、深さ40cm～60cmの柱穴が8基ある。このうち、ほぼ等間隔に位置するP1～P4が主柱穴の候補となる。深さはP1から順に41cm, 54cm, 59cm, 41cmである。南壁の一部は弥生時代のC177A住居に切られていた。遺構の中央付近は14号墳の溝溝があって、覆土の3分の2ほど

は失われていたが、床面レベルには及んでいなかった。

出土遺物（第48・49図、図版37） 出土遺物が多いが、小片主体でありすべて一括取り上げである。土器23点、土器片鏝9点を掲載する。土器は勝坂・中峠段階から加曾利E I式にかけての土器がまとまっている。2・4・5は背割隆帯をもつキャリパー形の上器であるが、口縁部文様帯の区画が明瞭でなく、交互刺突帯をもつ。遺構の時期は、勝坂～加曾利E I式の間と考えられる。なお、土器片鏝は同一個体の土器を素材としたものが多数みられる。

#### D002（第35図）

円形の竪穴住居跡である。床面は平坦で堅くしめる。D001に北壁を切られ、西壁は攪乱により破壊されている。柱穴は3基あり、炉や焼土の分布は認められない。

出土遺物（第49・89図、図版33・38） 土器5点、石鏝2点を掲載する。1は4単位の扇状把手をもつ大型深鉢である。床面から覆土上層まで多数の破片となっていた。北壁床面に大破片があって、南に行くほど高い位置から出土しているところを見ると、北壁付近に廃棄または遺棄された土器の破片が覆土形成中に南側に散らばったのではないかと考えられる。完形で手放された可能性も考えられる。2も1の破片とともに出土している。遺構の時期は阿玉台I b式とみられる。これより新しい段階の土器（3・4）は一括取り上げであり、遺構に伴うものではないであろう。石鏝（11）は黒曜石製の凹基形である。基部が欠損する。

#### D024B（第35図、図版5）

径2mほどの円形遺構である。炉・柱穴は認められず底面は軟弱である。阿玉台式にはこのサイズの住居跡が知られているが、柱穴も踏みしめもみられないので、住居跡と判断するのは無理があるかもしれない。フラスコ状小竪穴の下端部の可能性も考えられる。北側を古墳時代のD024A住居に切られる。

出土遺物（第50図、図版38） 土器5点、石鏝2点、土器片鏝1点を掲載する。底面から15cmほど上の部分で1～5の土器が出土している。阿玉台I a式ないしI b式が主体をなし、遺構の時期を示すものであろう。石鏝（12、13）は黒曜石とチャート各1点である。

#### D039（第36図、図版6）

楕円形の遺構である。8基の小穴を記録したが、中央に柱穴1基をもつタイプの竪穴住居跡であろう。柱穴の深さは49cmである。ほかの7基は小さく、ごく浅いものである。南東壁には床面より若干高い段がある。覆土は自然堆積の様相であり、上層には黒色土が厚く堆積している。

出土遺物（第50図、図版34・38） 土器11点を掲載する。いずれも覆土の中位、2層と3層の境界付近で出土しており、時期的にも揃っている。1は中央の柱穴上部から出土した小型深鉢で、ほぼ完全な形に復元できた。使用可能な状態の土器が遺棄された可能性がある。遺構の時期は阿玉台I b式であろう。

#### D086B（第36図、図版6）

楕円形ないし隅丸長方形の竪穴住居跡である。壁近くに、径は小さいが深い柱穴が5基みられる。しかし、規則性は認められない。炉も検出できなかった。

出土遺物（第50図、図版38） 土器5点を掲載する。いずれも一括取り上げであるが、時期的に揃っている。遺構の相属時期を阿玉台I b式と推定される。

#### D221（第36図）

不整形の掘り込みであるが、炉をもち、その周囲が踏み固められていたことから竪穴住居跡が存在した可能性が高い。

出土遺物（第50・117図、図版38） 土器3点、磨製石斧1点、土器片錘1点を掲載する。1は加曾利EⅢ式土器であろう。2・3のキャリバー形土器もこの時期の可能性がある。磨製石斧（430）は砂岩製で、叩石に転用されている。

#### P001（第36図、図版6）

擾乱が多く、壁や床面は一部しか遺存しないため、形状は不明であるが、炉や柱穴の存在から竪穴住居の可能性が大きい。図に示した穴のうち、P1～P4は深いもので柱穴の可能性が大きい。深さはP1から順に63cm、59cm、82cm、58cmである。規則的な配列は想定できない。そのほかはごく浅いものである。炉は石囲土器が体炉である。石材は軟砂岩が多く、石皿片や燧片が混じる。

貝層 P3とP4に小さな貝ブロックがみられた。2例とも、柱穴の上部が柱を抜き取ったように広がっており、P3がほぼ床面レベル、P4では床面より20cmほど下に貝ブロックがあった。おそらく、竪穴が埋まる過程で柱穴部分にできた窪みに堆積したものであろう。貝サンプルの分析成果は第4章に示した。

出土遺物（第51・89・125図、図版34） 土器6点、石鏃2点、磨石類1点、使用痕をもつ剥片1点、土器片錘2点を掲載する。土器1・3・5は加曾利EⅡ式のキャリバー形土器である。2・4は加曾利EⅡ式に伴う連弧文土器、曾利系土器である。2は炉内から出土しており、上端部のみ被熱による劣化がみられる。炉内に使われたものであろうか。4は体土器であり、全面劣化が著しい。弧状沈線は横に連続しておらず、文様の崩れが目立つ。これらの土器群は遺構と貝層の時期を示すものであろう。石鏃（15）はチャート製、16は黒曜石製である。石皿（505）は炉に転用された破片で、多くのくぼみをもつ。石核（279）は黒曜石製である。

#### P037（図版6）

楕円形ないし円形の竪穴住居跡である。柱穴の配置は規則性を捉えられないが、中央に炉があり、踏みしめによる硬化面の一部を検出した。南壁の若干張り出した部分には、出入口施設の可能性をもつ小穴群を検出した。炉は床面より若干低い部分に比較的平坦な燃焼面を形成する。被熱範囲は炉の掘り込みの周囲に及ばないため石囲が可能性もある。

出土遺物（第51・52・89・109図、図版34・38） 出土遺物は多く、土器12点、石鏃1点、打製石斧2点、土器片錘6点を掲載する。遺物はすべて一括で取り上げられているが、土器の時期は揃っており、遺構の時期は加曾利EⅡ式である。2・7・8はキャリバー形土器、3は連弧文土器、4・10は曾利系土器、6は曾利系の器形に縄文が施されている。12は有孔鈣付土器である。石鏃（17）はチャート製の未成品である。打製石斧（350・352）はともに流紋岩製で、350は分銅形、352は刃部の破片である。

#### P039（図版6）

ほぼ正円形の掘り込みであり、中央付近に硬化面が確認された。炉は、北西に寄っており中央の窪む燃焼面を形成していた。柱穴は検出できなかった。

出土遺物（第52図、図版38） 土器2点を掲載する。2点のみであるが、同時期の土器であり、残りのよい大破片を含むことから、遺構の時期として加曾利EⅡ式の可能性が考えられる。

## 2 小竪穴

### C032E

整った円筒形の小竪穴である。掲載遺物はない。032B溝に切られる。

### C080B (第37図)

円形の小竪穴である。柱穴状の穴1基と杭状の小穴26基を検出した。C080Cは別の遺構であろう。

### C110

平面形はやや歪な円形をし壁は垂直で底面は平坦である。小竪穴の可能性が高い。底面の穴は不規則で、中央の穴は浅い。東側の先細りの穴は深さ40cmほどある。掲載遺物はない。

### C142 (第37図, 図版7)

不整形の小竪穴である。

出土遺物 (第53図, 図版39) 中央付近で多量の土器が出土している。小さく割れた破片が多数接合するものが多いが、復元率は低く、使用可能な土器を廃棄した形跡はない。12点を掲載した。床面から覆土中まで出土層位には幅があるが、土器の時期はまとまっている。遺構の時期は阿玉台Ia式であろう。

### C143 (第37図, 図版7)

楕円形の小竪穴である。底面に小穴が41基あり、中央付近のやや大きめの1基を除くとあとは杭状に打ち込まれたものらしい。

出土遺物 (第53図, 図版41) 土器片が14点出土しており、そのうち5点を掲載する。区画文を形成せず、非対称の波状口縁を呈す2・3は阿玉台Ia式、区画を有す1・4・5はIa式からIb式の土器であろう。時期はまとまっているので、遺構の時期を阿玉台I式の範囲で捉えることが可能であろう。

### C325 (図版7)

円形の小竪穴である。底面にはわずかな起伏があり、穴を4基もつ。遺物が出土したが詳細不明で、掲載土器はない。

### D064 (第37図, 図版14)

円形の小竪穴である。壁際に大きな穴が穿たれている。

出土遺物 (第60図, 図版45) 1は断面三角形の隆帯と角押文によって胴部に意匠を描く。2は三角形の隆帯と角押文による楕円区画と朝顔形の把手をもつ。いずれも阿玉台Ib式土器であろう。

### D110 (第37図, 図版7)

整った円形の小竪穴である。

出土遺物 (第54・89図, 図版41) 覆土の中位から多くの遺物が出土している。土器12点、石鏃1点を掲載する。土器1・4は幅狭の口縁部文様帯をもつ。2は左右非対称の意匠と波状口縁をもつ。これらは阿玉台Ia式に特徴的な要素である。6～8は口縁部の杵状区画が発達しているかどうか不明であり、3・5・9・10はひだ状文を残す素文系の土器または、素文部位破片である。遺構の時期は阿玉台Ia式の可能性が高い。石鏃(14)は黒曜石製で、基部に欠損がある。

### D111A (第38図)

やや歪な楕円形の小竪穴である。東側壁の一部に若干のオーバーハングが認められる。

出土遺物 (第54・55図, 図版42) 覆土の上部から多量の土器片が出土した。土器15点を掲載する。土器の時期はまとまっている。遺構の時期は阿玉台Ia式であろう。

#### N004

ほぼ円形の掘り込みをもち、壁は垂直に立ち上がる、北半分は未調査区域であるが、小竪穴であろう。壁に沿って多くの小穴をもつ。

#### P010 (第38図, 図版8)

円形の小竪穴である。穴が5基ある。周囲の擾乱坑とともに不整形の落ち込みを掘り下げたところ、下部で円形の掘り込みを確認できた。底面は住居跡の床面のように硬化していた。中には貝層と焼上の堆積が見られた。焼上の出土レベルは不明である。

貝層 覆上層に80cm×50cm、厚さ20cmほどの貝層を形成している。遺構がかなり埋まってから貝や土器が投棄されている。共存する土器から、貝層の時期は加曾利EⅡ式であろう。

出土遺物 (第55・103図, 図版42) 土器3点, 石核1点を掲載する。土器は3点とも覆土の上部, 貝ブロックのレベルでまともまっていた。1は加曾利EⅡ式またはEⅢ式のキャリバー形土器である。2は曾利系, 3は連弧文系の加曾利EⅡ式に伴う上器である。それほど新しい段階でない曾利系・連弧文系土器を伴うことから遺構の帰属時期は加曾利EⅡ式の可能性が高い。石核(279)は黒曜石製である。

#### P028 (第38図, 図版8)

楕円形の遺構である。大穴を2基もつ。底面は起伏が目立つが硬化している。小竪穴か疑問である。

#### P031 (第38図, 図版8)

整った円形の小竪穴である。底面は平坦で硬くしまる。焼土が廃棄されている。

出土遺物 (第55図, 図版42) 掲載した土器は3点に過ぎないが大破片であり時期もまともまっている。2・3は加曾利EⅡ式のキャリバー形土器, 1はこの時期の曾利系土器である。

#### P035 (第38図, 図版8)

円形の小竪穴である。中央の柱穴, 壁際の大穴をもつ。

出土遺物 (第55図, 図版43) 掲載できたのは上器1点に過ぎない。1は加曾利EⅡ式に並行する大木8b式であろう。中央に柱穴をもつ円筒形の小竪穴は加曾利E式前半に特徴的なものである。遺構の時期はその範囲で捉えておきたい。

#### P038

基準杭にかかっていたため一部のみ調査した。おそらく円形の小竪穴であろう。壁際に穴をもつ。底面は硬くしまっていた。

出土遺物 (第55図, 図版43) 掲載したのは土器3点で, 時期は揃っている。2・3は加曾利EⅡ式のキャリバー形土器, 1はこの時期の連弧文系土器である。

#### P045 (第38図, 図版8)

楕円形の小竪穴である。中央の柱穴と大小の穴をもつ。底面は平坦で硬い。

出土遺物 (第55図) 土器1点を掲載した。キャリバー形土器の底部に似るが判然としなない。中央に柱穴をもつ小竪穴の形態から, 遺構の時期は加曾利E式前半の可能性が高い。

#### P046 (第38図, 図版8)

円形の小竪穴である。大小の穴が10基ある。うち2基は壁際の大穴である。底面は硬い。

#### P048 (第39図, 図版9)

円形の小竪穴である。壁際の大穴を1基検出した。

出土遺物(第55図, 図版43) 土器2点を掲載した。いずれも覆土一括で取り上げられた。2は加曾利EⅡ式のキャリバー形土器の底部である。1もこの時期の土器で、連弘文系とキャリバー形の折衷的な土器である。遺構の時期を示す可能性が高い。

**P049** (第39図, 図版9)

円形の小竪穴である。大穴1基はやや壁から離れている。中心付近には若干底が高まった部分がある。それ以外は平坦で硬くしまっている。

出土遺物(第55・122図, 図版43) 土器5点, 磨石類1点, 土器片鏟1点を掲載する。1~3(同一個体)と5は加曾利EⅡ式~Ⅲ式のキャリバー型土器であろう。大破片を含むことから遺構の時期を示すと考えられる。P区全体でも加曾利EⅢ式とはっきりわかる土器が見当たらないことから、加曾利EⅡ式の新段階とみてよいかも知れない。磨石類(479)は両面の中心に窪みをもち、周囲に擦り面、端部に叩きみられる典型的なものである。

**P050** (第39図, 図版9)

円形の小竪穴である。図に示した穴6基のうち、南壁にある大穴以外はごく小さく浅いもので施設とは考えにくい。

**P052** (第39図, 図版9)

円形の小竪穴である。壁はほぼ垂直に立ち上がり、全体として円筒形をなすが、一部にはオーバーハングがみられる。底面には大きさの異なる穴が6個あり、中央柱穴と壁際に大穴をもつタイプである。

貝層と完形の深鉢 覆土上層に貝層をもち、貝層サンプルを採取している。分析の結果は第4章に示した。注目されるのは、貝層が中央柱穴を避けるように位置する点である。おそらく柱が立ったまま埋め戻され、あるいは埋まっていき、上部の窪みに貝殻が投棄されたものであろう。床面には完形の深鉢が正立していた。

出土遺物(第56・94・118図, 図版39・43) 土器10点, 尖頭器1点, 磨製石斧1点, 土器片鏟3点を掲載した。2・3・5は南壁に近い床面から出土した。1は覆土上層出土であり、貝層の時期を示すものであろう。全体として加曾利EⅡ式に伴う土器がまとまっている。1は有孔鋤付土器である。2は床面上に伏せた状態で置かれていた深鉢である。ほとんど欠損はなく、使用可能な土器を意図的に置いたとみられる。底面のみで器表面の劣化が見られる。土器は胴部意匠文をもつキャリバー形で、大木8b式に比定される。3は地文縄文のみの大破片、5はキャリバー形土器の底部片である。そのほか、一括で取り上げられた6~10も加曾利EⅡ式としてよいであろう。尖頭器(186)は分厚く、湾曲をもつ縦長剥片を利用したものとみられる。磨製石斧(432)は砂岩製で半分欠損しているほか、片面に剥離がみられる。

**P057** (第39図, 図版10)

円形の小竪穴である。中央に柱穴、壁際にも小穴がある。

**P058** (第39図, 図版10)

円形の小竪穴である。大小の穴が12基検出された。P1~P6としたものは深さ30cm以上のものである。ほかは15cm未満である。P1は壁際の大穴、P3~P5のいずれかは中央の柱穴の可能性が大きい。

出土遺物(第57図, 図版39・43) 土器3点, 土器片鏟1点を掲載する。土器1・3は同一個体で、底面近くで潰れていた。加曾利EⅡ式のキャリバー形土器である。復元してもなお欠損部は全体の1/3以上あり、使用可能な土器を意図的に置いたものとは判断できない。外面の上部1/2と、内面の括れ部~底面

の若干上に黒色化がみられる。煮炊きに使用された痕跡であろう。2も同様の土器の底部破片である。2点の土器から、遺構の時期は加曾利EⅡ式と考えられる。

**P060 (第40図, 図版10)**

やや歪な、円形の小竪穴である。中央の柱穴のほかに小穴が7基ある。

**P062 (第40図, 図版10)**

やや歪な、円形の小竪穴である。中央の柱穴と壁際の大穴、小穴10基がある。底面は硬化しており平坦だが、中央の柱穴の周囲は掘り残して高くなっている。

出土遺物(第57図, 図版43) 土器1点を掲載する。1は連弧文系土器の胴部片である。加曾利EⅡ式に伴うものであるが、遺構の詳細な時期を推定するには無理がある。

**P063 (第40図, 図版10)**

円形の小竪穴である。南壁際に大穴をもつ。その他の穴はごく浅い。底面は平坦で硬い。

**P066 (第40図, 図版11)**

楕円形の小竪穴である。底に穴をもたない。

**P067 (第40図, 図版11)**

一部が変形した円形の小竪穴である。壁際に穴が4基ある。

**P068 (図版11)**

円形ないし楕円形の掘り込みで、穴2基と攪乱の落ち込みがある。攪乱部以外にも底面に起伏があり、小竪穴であるか若干疑問が残るが、南西壁際の大穴は小竪穴の特徴を示している。

**P086 (第40図, 図版11)**

円形の遺構である。底の小穴はいずれも貧弱なものである。円形で底が平坦なため、小竪穴の可能性が高いものと考えた。

**P098 (第40図)**

円形の掘り込みである。底に穴はなく、やや起伏と傾斜をもち、小竪穴であるかどうかは疑問が残る。

**P143 (図版11)**

楕円形の小竪穴である。底に穴をもたない。やや壁の立ち上がりが緩やかであるが、底は平坦である。

**P144 (図版11)**

円形の小竪穴である。底に穴をもたない。やや壁の立ち上がりが緩やかであるが、底は平坦である。

**P146 (第40図, 図版12)**

円形の小竪穴である。小穴2基はごく浅い。掘り込みは整った円筒形である。

出土遺物(第57図, 図版43) 土器5点、土器片鏟1点を掲載した。土器の出土位置は不明であるが、時間的にまとまっており、遺構の時期を示すものと思われる。1は胴部意匠をもつキャリバー形土器で、加曾利EⅡ式並行の大木8b式であろう。2は加曾利EⅡ式のキャリバー形深鉢である。4・5は同時期の土器で4は曾利系、5は連弧文系である。

**P147 (第41図, 図版12)**

円形の小竪穴である。壁際に大小2基の穴がある。条痕文土器1片(第57図)が出上しているが、流れ込みである。

**P148 (第41図, 図版12)**

円形の小さな穴である。小穴が壁際に1基みられる。

出土遺物（第57図、図版40） 深鉢が伏せられた状態で出土している。1は胴部に意匠文をもつ加曾利EⅡ式並行の大木8b式である。埋葬遺体の頭部に被せられた可能性がある。なお、外面の下半部には赤色化、内面の括縁部以下には黒色化・劣化が認められる。煮炊きによる被熱の結果であろう。底面には灰が付着している。

**P149（第41図、図版12）**

円形の小さな穴である。大小の穴が3基ある。1基は不整形で浅い。

出土遺物（第57図、図版43・44） 土器4点、土器片錘2点を掲載する。3・4は加曾利EⅡ式ないしEⅢ式のキャリバー形土器である。胴部の磨消帯がそれほど広くなく、EⅡ式としてよいか。1は口縁部文様帯をもたないものである。2は加曾利EⅡ式に伴う連弧文系土器である。以上から、遺構の時期は加曾利EⅡ式であろう。

**P150（第41図）**

円形の小さな穴である。壁際の相対する位置に大穴が1基づつある。

出土遺物（第58図、図版44） 土器3点を掲載する。いずれも一括取り上げであるが時代的にまとまっており、遺構の時期を示すものであろう。3は加曾利EⅡ式のキャリバー形土器、1は曾利系、2は連弧文系の系譜を引く土器である。

**P151**

円形の小さな穴である。底は平坦で穴をもたない。黒曜石製の石鏝（18）が出土している。

**P152（第41図、図版12）**

円形の小さな穴である。壁際の相対する位置に大穴が1基づつ、中央には柱穴がある。底面に段をもつ。

出土遺物（第58・118・119・122図、図版44） 土器2点、叩石1点、磨製石斧1点、磨石類1点を掲載する。土器1は曾利系の土器、2はキャリバー形土器の把手である。加曾利EⅡ式であろう。叩石（482）は砂岩製、磨製石斧（436）は砂岩製の破片、磨石類（441）は流紋岩製である。

**P155（第41図）**

円形の小さな穴である。壁際に大穴が2基ある。北側の穴の周囲は若干の高まりがある。

出土遺物（第58図、図版44） 土器2点を掲載する。1は加曾利EⅡ式のキャリバー形土器である。2は燃糸文の地文のみが施された深鉢である。口縁部のみ、施文方向を変えているのは曾利系の土器の影響を受けたものであろうか。遺構の時期を推定するには資料が乏しいが、大破片の存在から加曾利EⅡ式の可能性を指摘しておきたい。

**P159（第41図）**

円形の小さな穴である。中央の柱穴と壁際の大穴をもつ。大穴の周囲は若干の高まりを有す。

出土遺物（第58図、図版44） 土器10点、土器片錘1点を掲載する。土器は加曾利EⅡ式でまとまっており、遺構の時期を示すものであろう。1・7・8・10はキャリバー形土器である。6は曾利系、2・3（同一個体）、9は連弧文系土器である。4は曾利系の器形に連弧文系の燃糸文が使われた折衷的な土器である。

**P162（第41図）**

円形の小さな穴である。中央の柱穴と壁際の大穴2基をもつ。

出土遺物（第58図，図版44） 土器4点を掲載する。加曾利EⅡ式がまとまっている。2はキャリパー形，1はキャリパー形または連弧文系，4は曾利系土器である。3は無文の浅鉢である。

### 3 上坑

小竪穴や陥し穴といった具体的な性格を特定できない上坑のうち，縄文時代のものである可能性が高いものを集めた。全部で16基あるが，出土遺物があるものについて事実記載を行う。

#### C014

楕円形の掘り込みである。覆土の上部に掘り込みの範囲を大きく超えた縄文中期の土器包含層があり，当掘り込みのなかにも土器小片が入っていた。

#### C038（第42図，図版13）

楕円形の掘り込みをもつ。ごく小さく浅いので性格は不明である。しかし，多くの土器を伴っている。

出土遺物（第59図，図版40・45） 阿玉台式土器3点を掲載する。1は左右非対称の双山突起をもつ波状口縁の土器である。口縁部の枠状区画文にずれがみられる。2も左右非対称を意識している。3は区画文が不完全なものである。いずれも阿玉台Ⅰa式からⅠb式にいたる時期のものであろう。

#### C044（第42図）

長方形の土坑である。溝032Bと切り合う。

出土遺物（第59図，図版45） 土器5点を掲載する。1は加曾利E式に伴う有孔鈎付土器である。4は阿玉台または勝坂式，2は勝坂・中峠段階の土器であろう。小片のみで時期に幅があるため時期決定は難しい。

#### C080C

円形の土坑である。C080B陥し穴に伴うものか。出土遺物はない。

#### C081A

不整形の掘り込みである。底面の起伏は著しく，人為的なものではないかもしれない。

#### C084

不整形の土坑である。穴が6個ある。覆土下層で阿玉台式土器の破片2点が出土している。

#### C090（第42図，図版13）

長方形の土坑である。底面にわずかな起伏がある。

出土遺物（第59図，図版40・45） 覆土下層から底面で39点の土器片が出土した。1は幅状の口縁部文様帯，2は口縁の区画が発達せず，角押文による意匠文が特徴的なもので，阿玉台Ⅰa式に比定される。

#### C105（第42図，図版13）

不整形の土坑である。2基が重複している可能性がある。西側の穴は底面から40cmの深さをもつ。

出土遺物（第59・60図，図版40） 土器片27点が覆土上面で出土した。土器2点は，覆土中で小さく割れていたもので，接合の結果1は底部以外，2はほぼ全体が復元された。1は低い隆帯と角押文による楕円区画，扇状把手が特徴的な阿玉台Ⅰb式である。2は4単位の大波状口縁をもつ鉢である。突起は左右非対称である。阿玉台Ⅰa式からⅠb式であろう。

#### C125F

楕円形の土坑である。石炭1点が覆土中から出土している。

**C125G**

不整形の土坑である。縄文土器片が3点出土した。

**C169**

楕円形の上坑である。縄文土器片が出土しているが、掲載資料はない。

**D111B**

円形の土坑である。底面中央部が窪む。D111Aと並んでいる小さな掘り込みである。D118に似る。

**D118**

円形の土坑である。阿玉台式土器が出土しており、形状はD111Bに似ている。

**D119**

不整形の土坑である。黒曜石と土器片錘が出土した。

**C218**

楕円形の小さな土坑である。穴が1基ある。掘り込みは浅く、出土遺物はない。

**D230A**

不整形の土坑である。覆土中より縄文土器片1点が出土した。

**D239** (第42図)

不整形の上坑である。底面は平滑で踏みしめられたようであった。

出土遺物(第60図、図版45) 阿玉台式前半の土器片2点を掲載した。遺構であるかどうか不明である。

**C251**

長楕円形の土坑である。穴が1基あり、阿玉台式土器片が2点出土した。掲載遺物はない。

**D338**

楕円形の土坑である。底面は起伏が大きい。

出土遺物(第60図、図版45) 阿玉台式前半の上器片1点を掲載した。

**P106**

楕円形の浅い掘り込みである。底面はほぼ平坦。

**G120** (第42図、図版14)

円形のごく小さな上坑であるが、土器大破片が出土している。

出土遺物(第60図) 1は地文のみの土器であるが、器形から阿玉台式直前段階の土器であろう。

**4 溝**

**C032B**

加曾利E I式の住居(C032A)、加曾利E式前半の住居(C032C)と小竅穴(C032E)を切っており、弥生時代の住居跡(C032D)には切られている。遺構内から縄文中期の完形に近い浅鉢が出土していることから、縄文時代の溝である可能性が高いと言えよう。黒曜石の石核1点(第102図272)、土器片錘5点を掲載した。

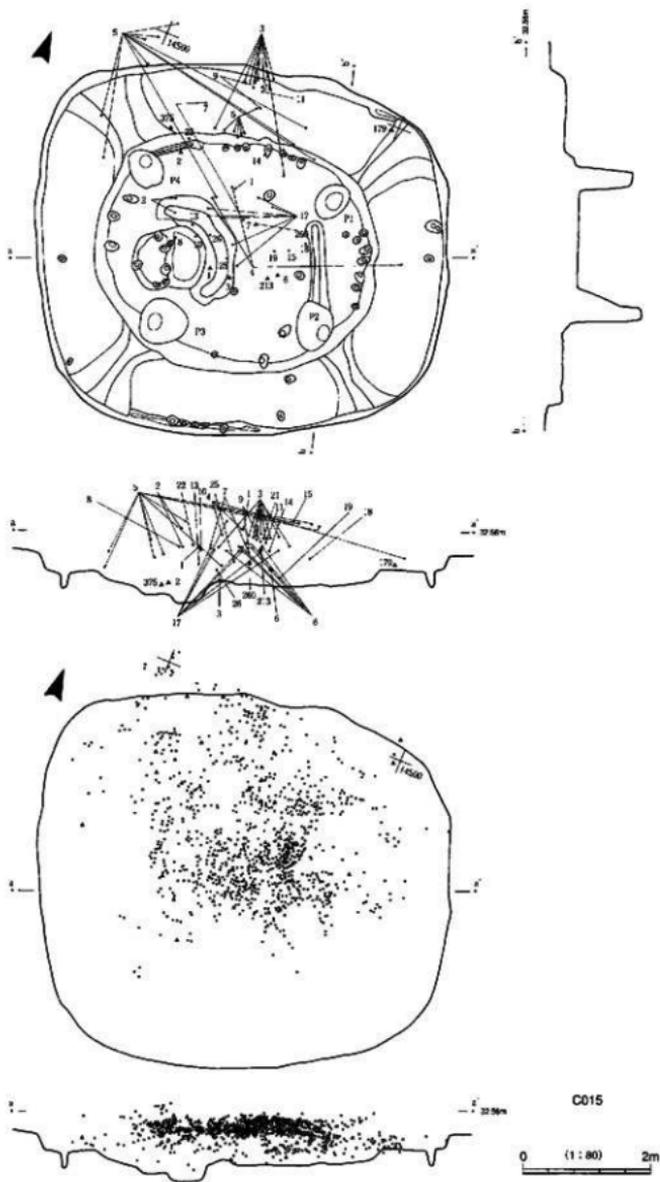
## 5 遺物集中地点

加曾利E1式の遺物集中地点である。詳細な分析はできず、図・表等はまとめて掲載した。

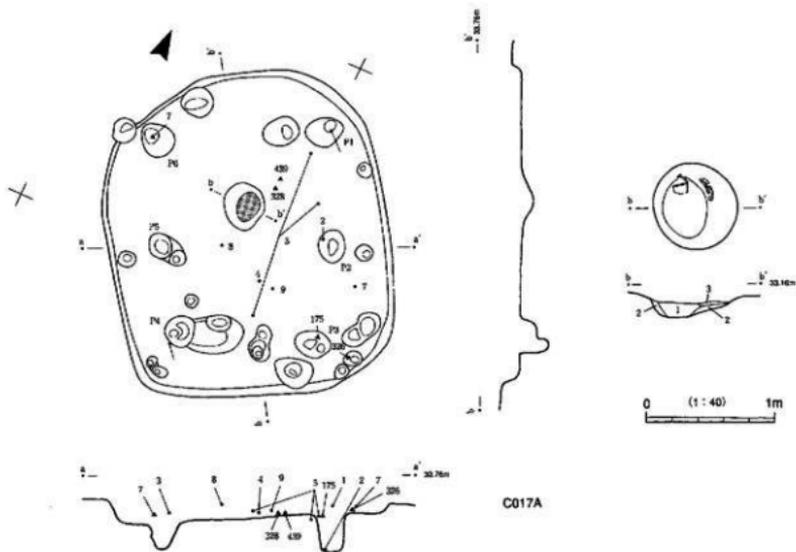
### C区遺物集中地点(第133・138・139図、第9・10・11表)

第138図に小グリッドごとの石器類の分布を示した。右側が礫の、左側はそれ以外の石器類の分布である。第9表で礫以外の石器組成をみると、900点余りのうち、黒曜石が853点とそのほとんどを占める。剥片類・石核類と石鏃が中心であり、石鏃以外には定型的な石器は見当たらない。大きさは、全体的にみると平均で長さ1.3cm、幅1.2cm、厚さ4mmであり、最大のものでも長さ4.4cmに過ぎない(第10表)。器種別に長さをみたのが、第11表のヒストグラムとグラフである。石鏃は1cm～2.5cmほどの範囲をもち、平均は1.8cmである。加工痕・使用痕をもつ剥片や楔形石器類(両極石核や剥片)も同じくらいである。両極石核を除いた石核はもう少し大きくて平均2.2cm、剥片類はずっと小さく、平均1.2cmで石鏃分布と重なるサイズのは少ない。この器種・サイズ構成をみると、両極打法を含めた剥片剥離により石鏃の製作が行われたこと、石鏃製作が可能なサイズの剥片類は少ないことがわかる。また、石鏃と同じくらいの大きさの不定形な剥片が使用されていたこともわかった。

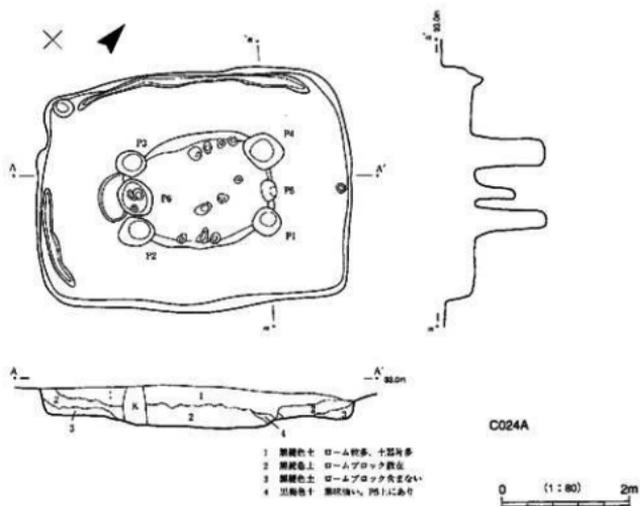
多数の土器と礫を伴い、土器片腫も14S区のみで136点と多量に見られている。これらのことから、石鏃製作跡を含む生活の場あるいは廃棄場と考えられる。



第28圖 中期竪穴住居 1



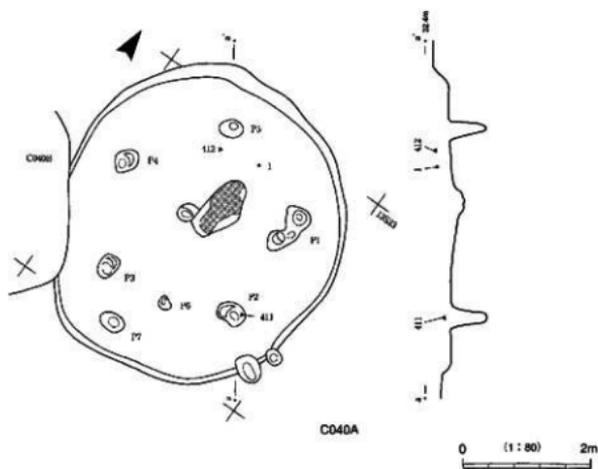
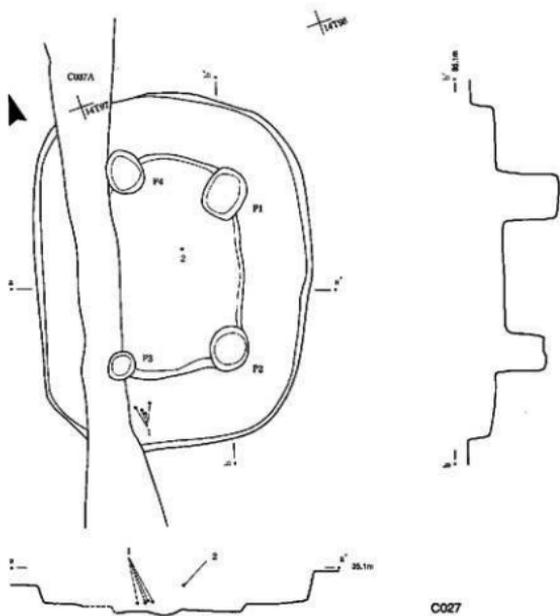
C017A



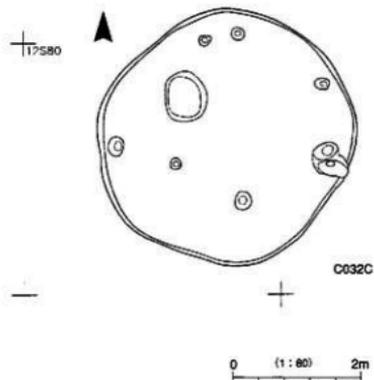
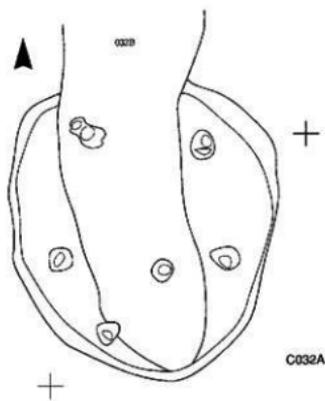
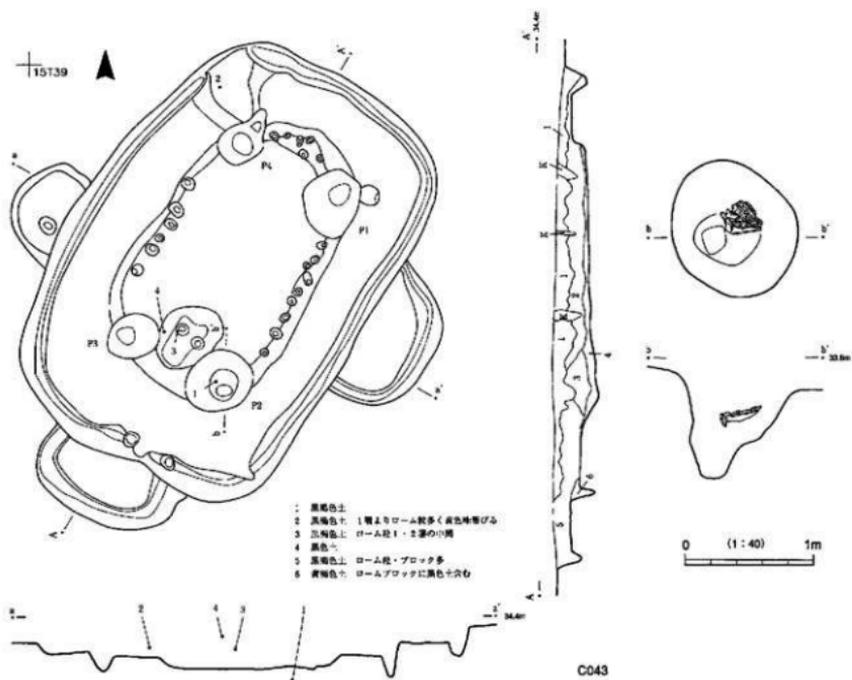
C024A

- 1 黒褐色土 ロームが多、土器が多
- 2 黒褐色土 ロームが少く土器は
- 3 黒褐色土 ロームが少く土器が多い
- 4 黒褐色土 土器は多い、P1にあり

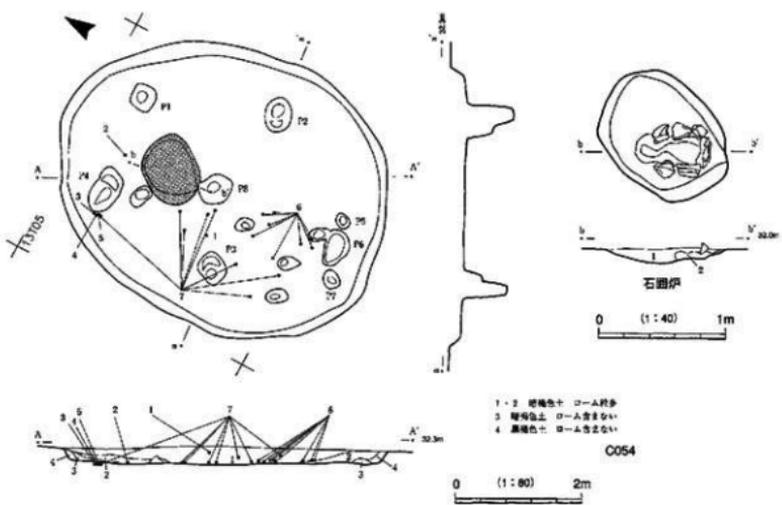
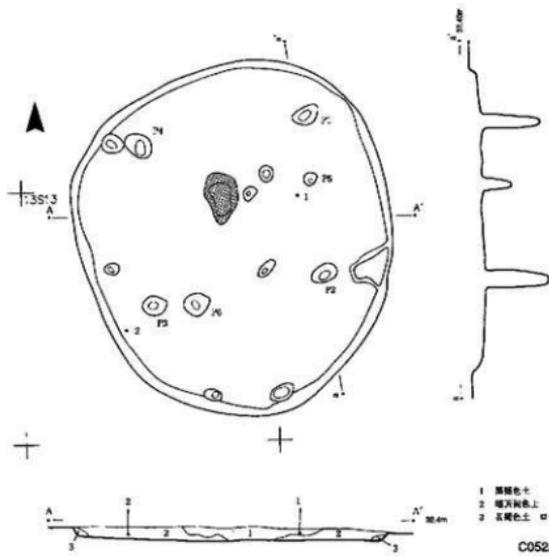
第29図 中期竪穴住居 2



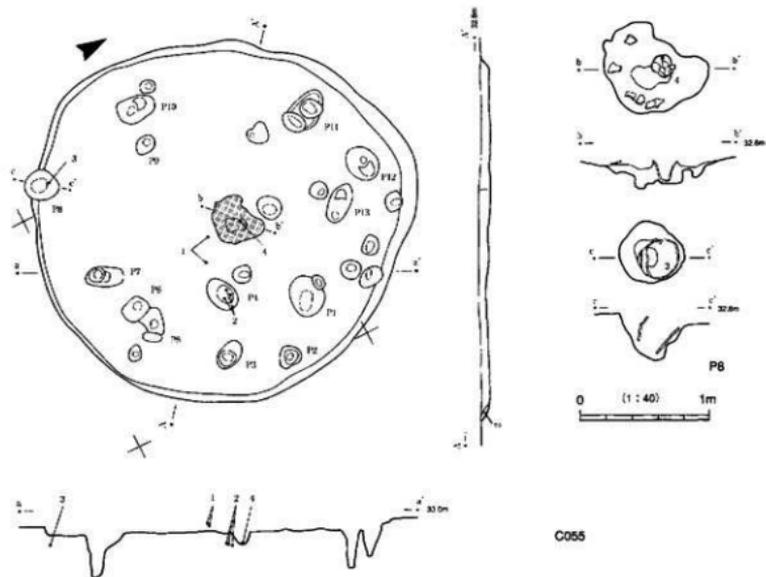
第30圖 中期整穴住居 3



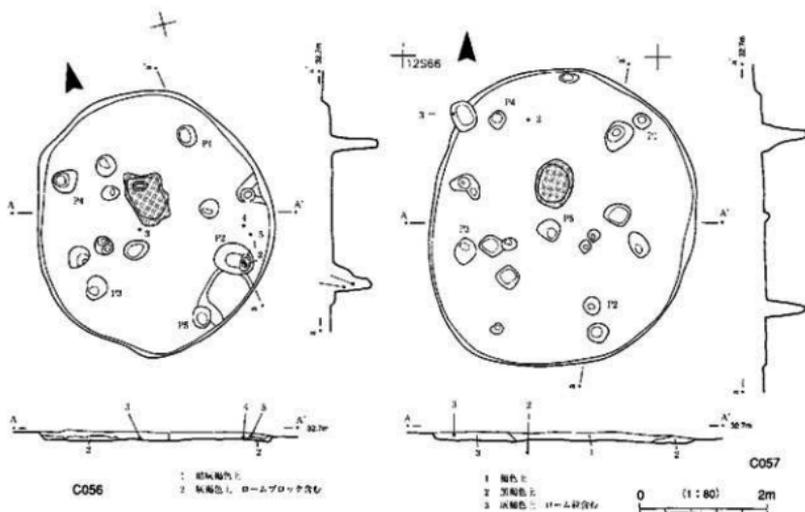
第31図 中期堅穴住居 4



第32図 中期竪穴住居 5



C055



C056

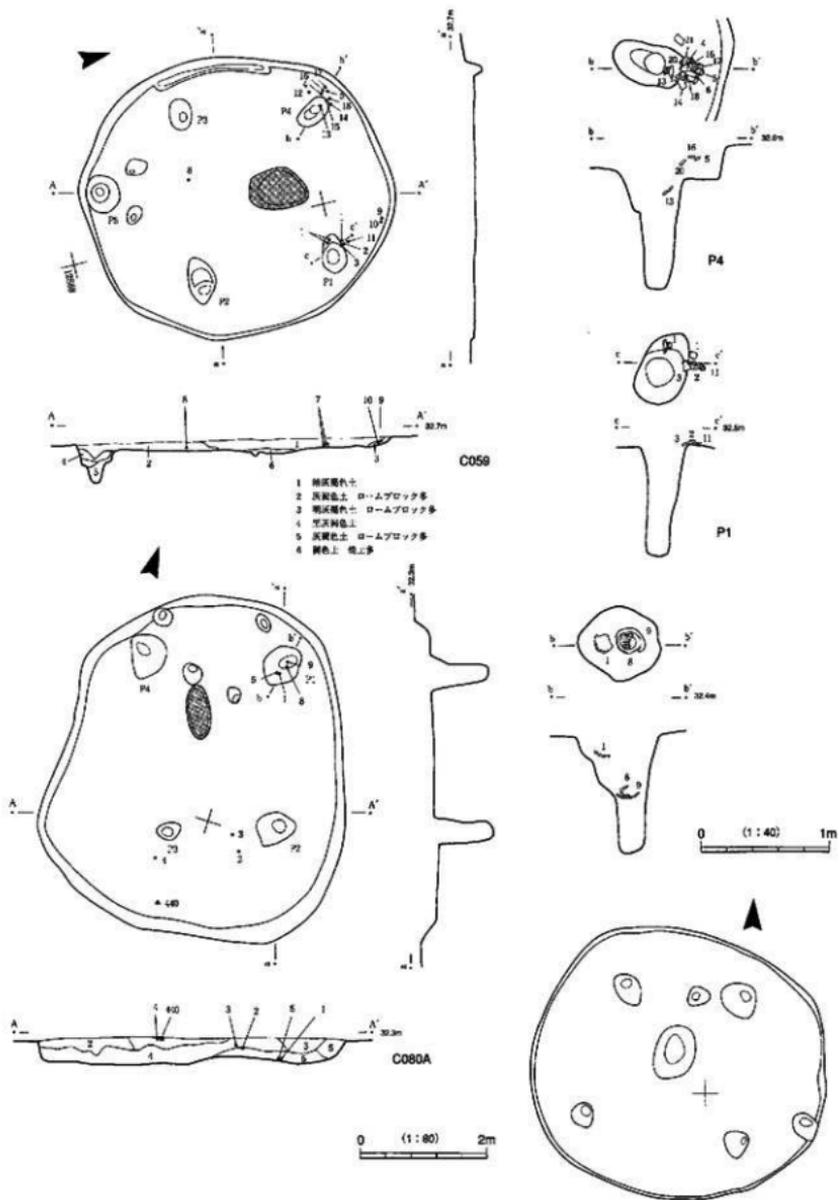
1 褐色土  
2 灰褐色土、ロームブロック含む

1 褐色土  
2 灰褐色土  
3 灰褐色土  
4 ローム結合体

C057

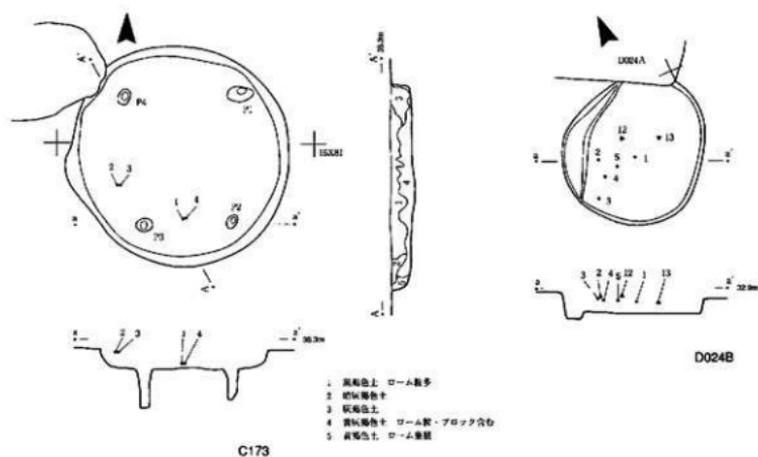
0 (1:80) 2m

第33図 中期堅穴住居 6



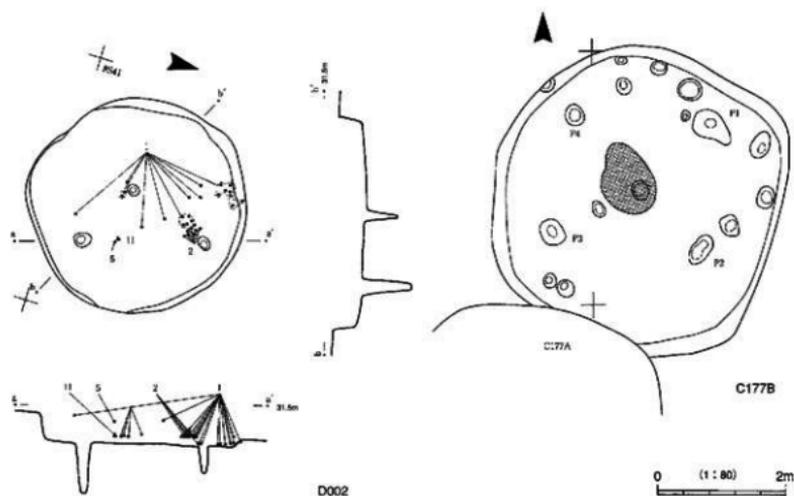
第34図 中期堅穴住居 7

C058



C173

D024B

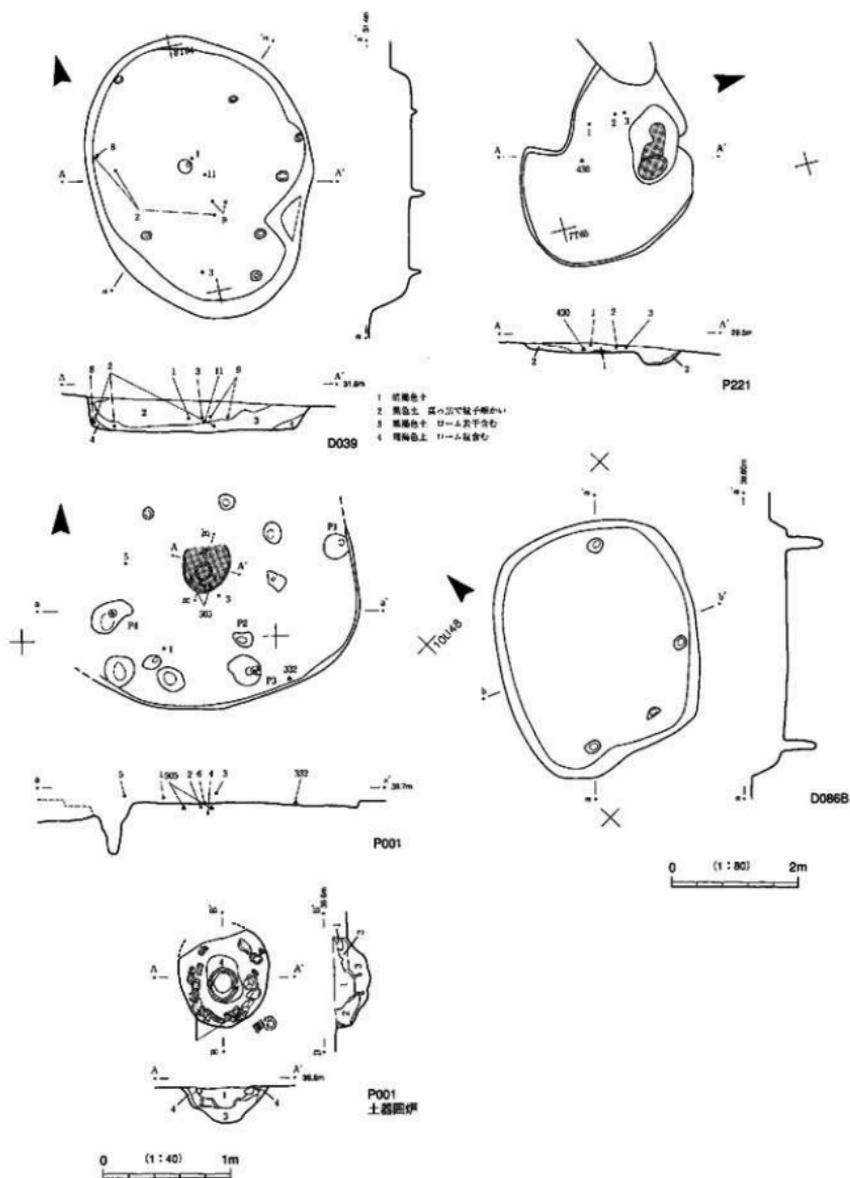


D002

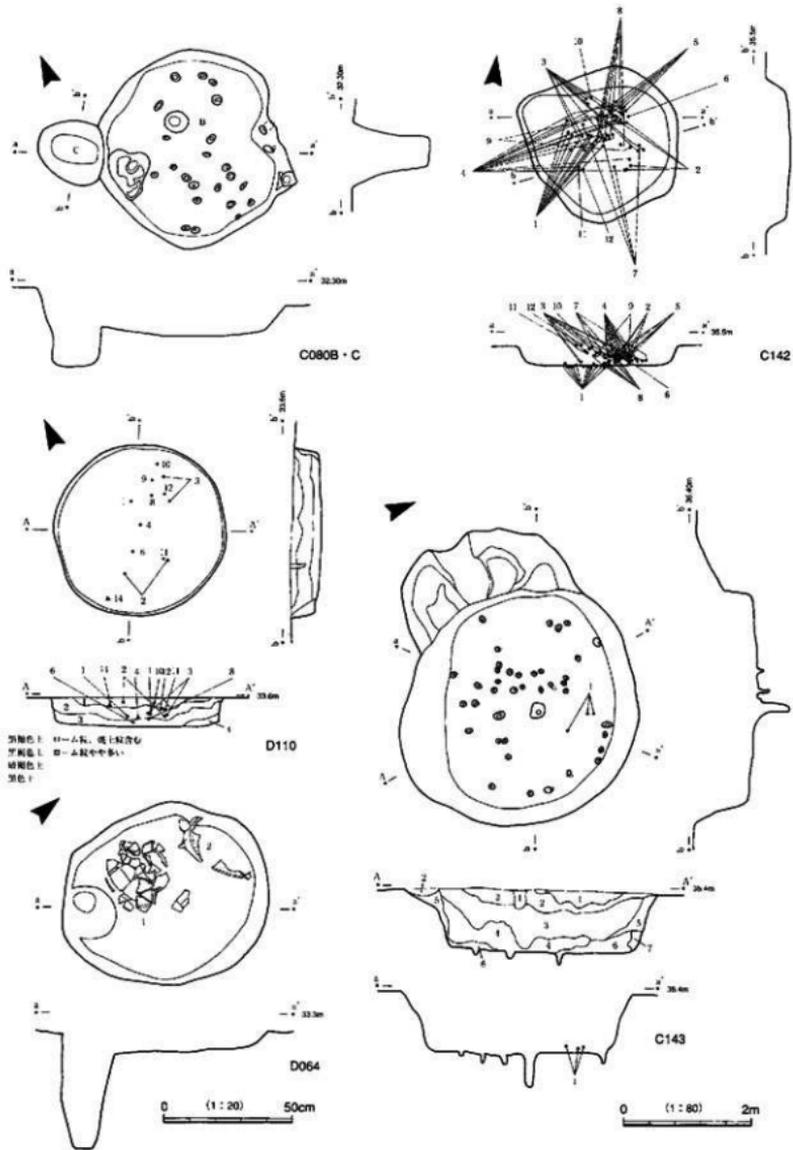
C177A

C177B

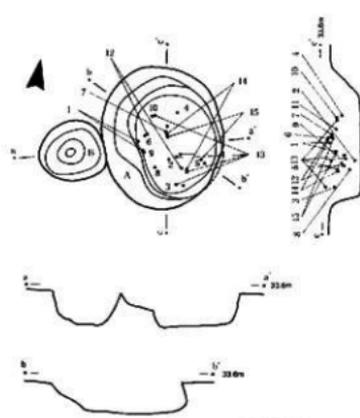
第35図 中期壺穴住居 8



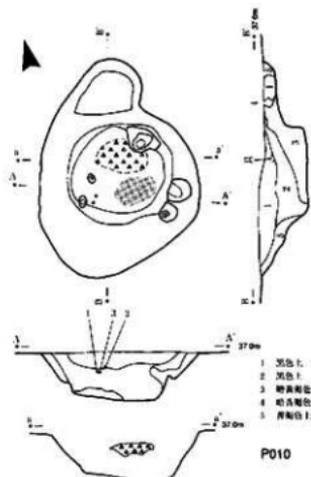
第36図 中期竪穴住居 9



第37图 中期小竖穴 1

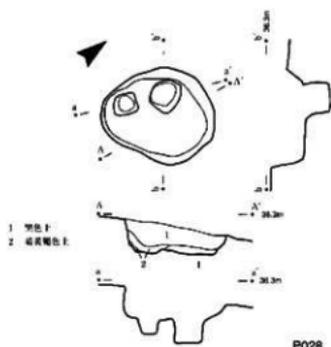


D111A・B



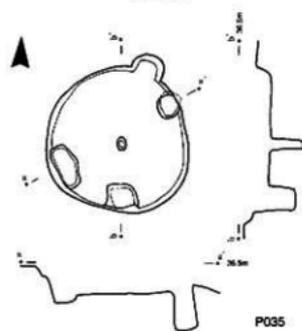
- 1 彩色土
- 2 コーム跡底に含む
- 3 網罟形土 土ごれにコーム土様
- 4 網罟形土 コーム多く含む
- 5 瓦敷土 コーム敷

P010

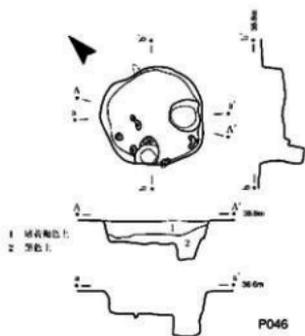


- 1 彩色土
- 2 網罟形土

P028

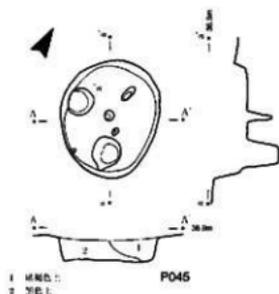


P035



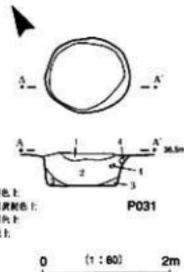
- 1 網罟形土
- 2 彩色土

P046



- 1 網罟形土
- 2 彩色土

P045

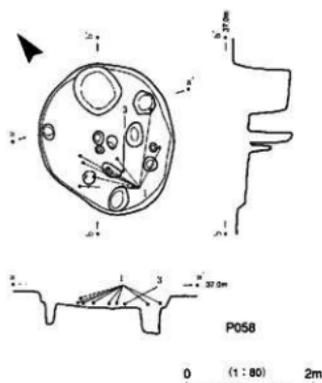
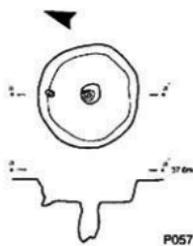
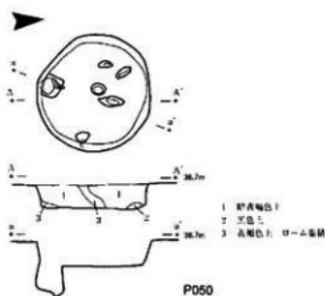
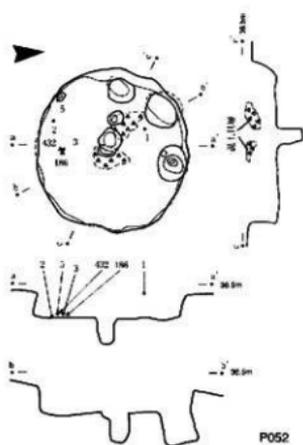
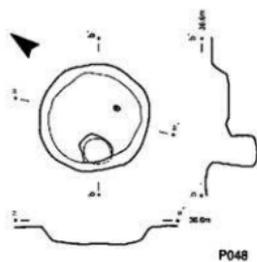
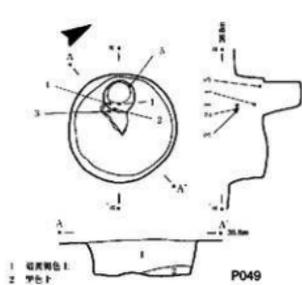


- 1 彩色土
- 2 網罟形土
- 3 網向上
- 4 礎土

P031

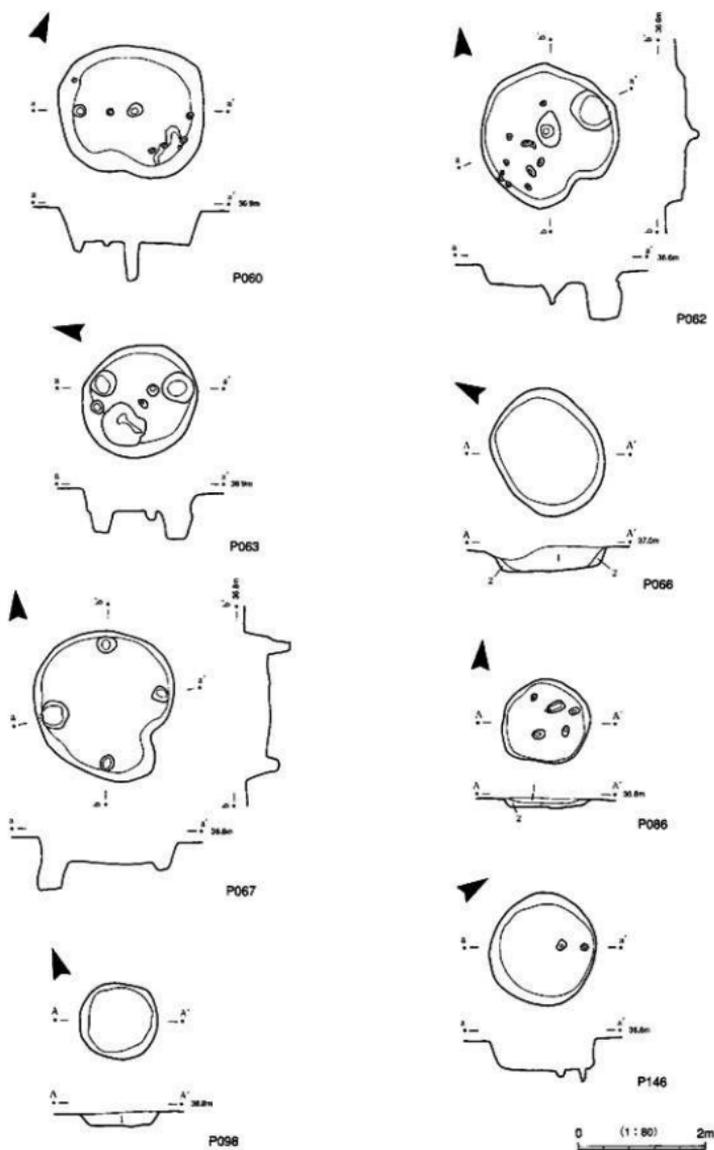
0 (1:60) 2m

第38図 中期小堅穴 2

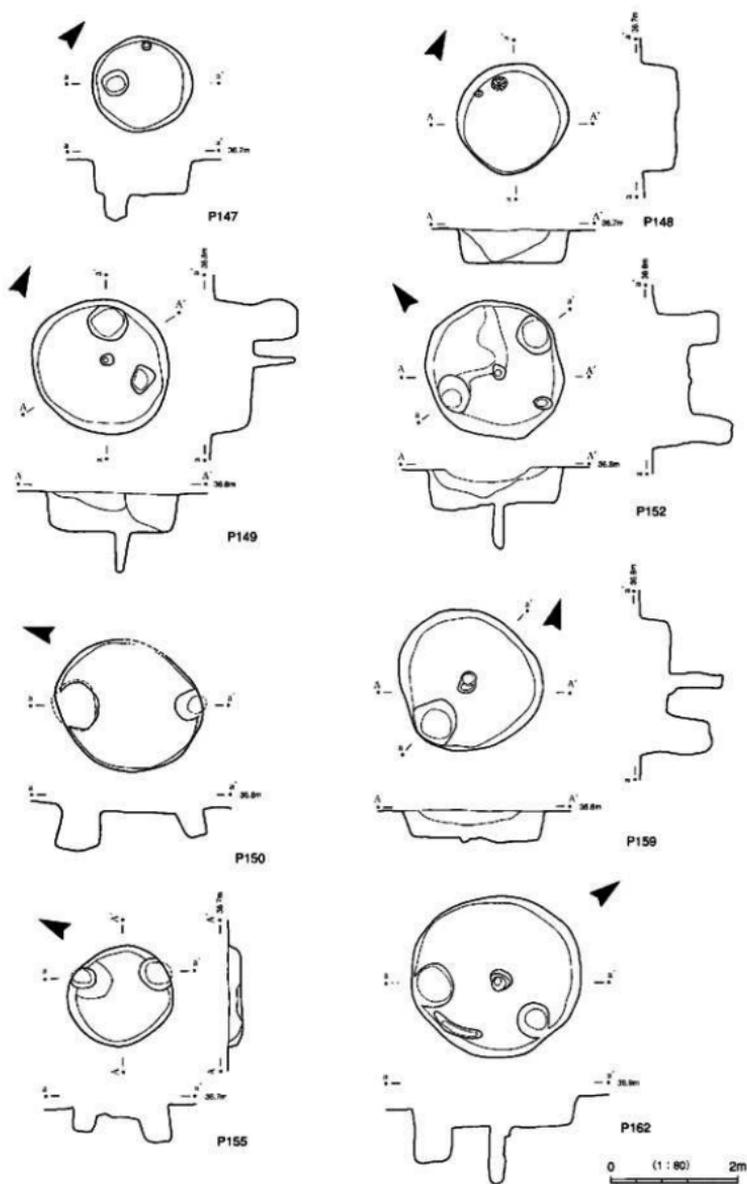


0 (1:80) 2m

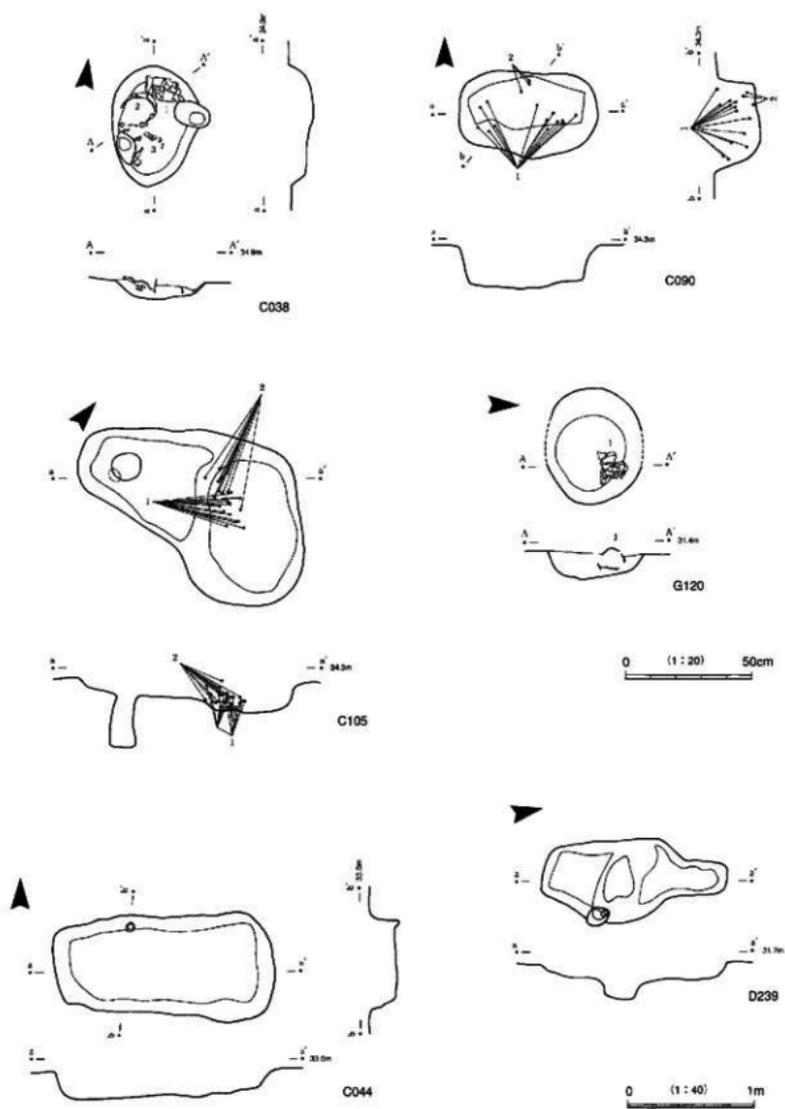
第39图 中期小竖穴 3



第40图 中期小竖穴 4

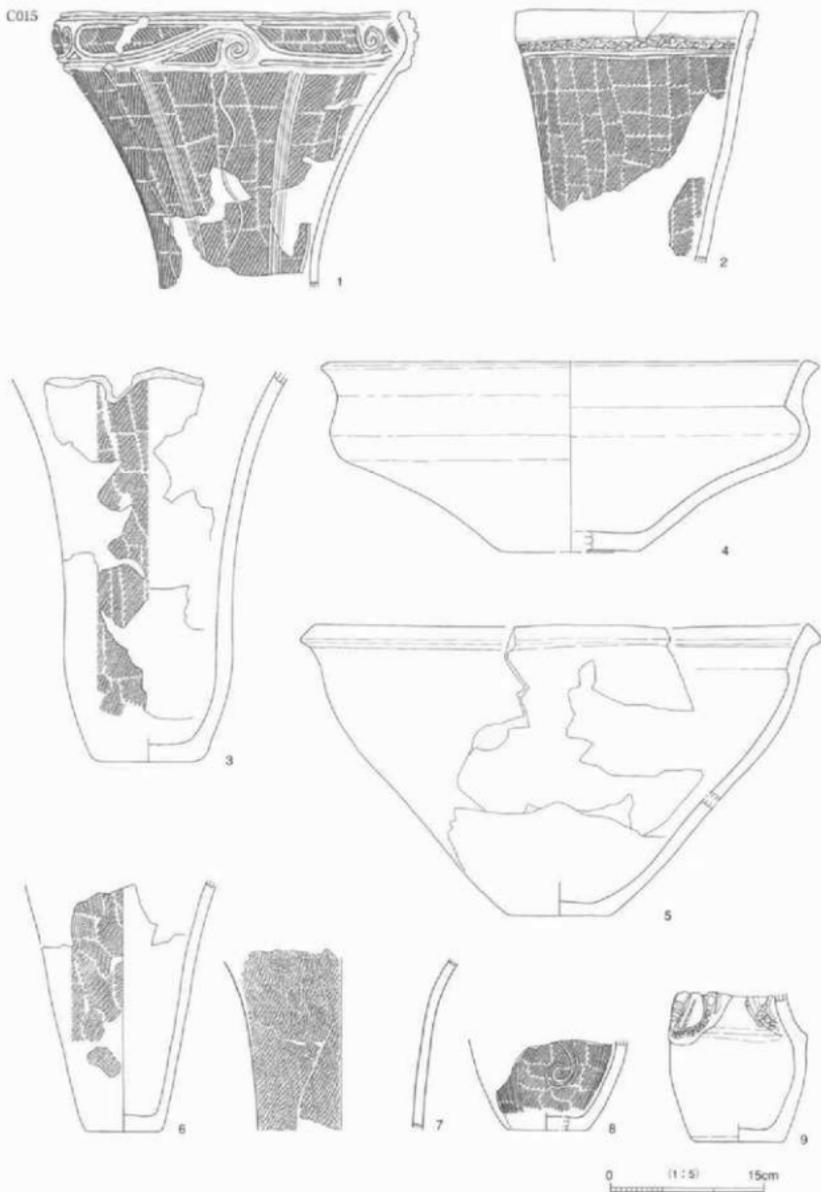


第41图 中期小竖穴5



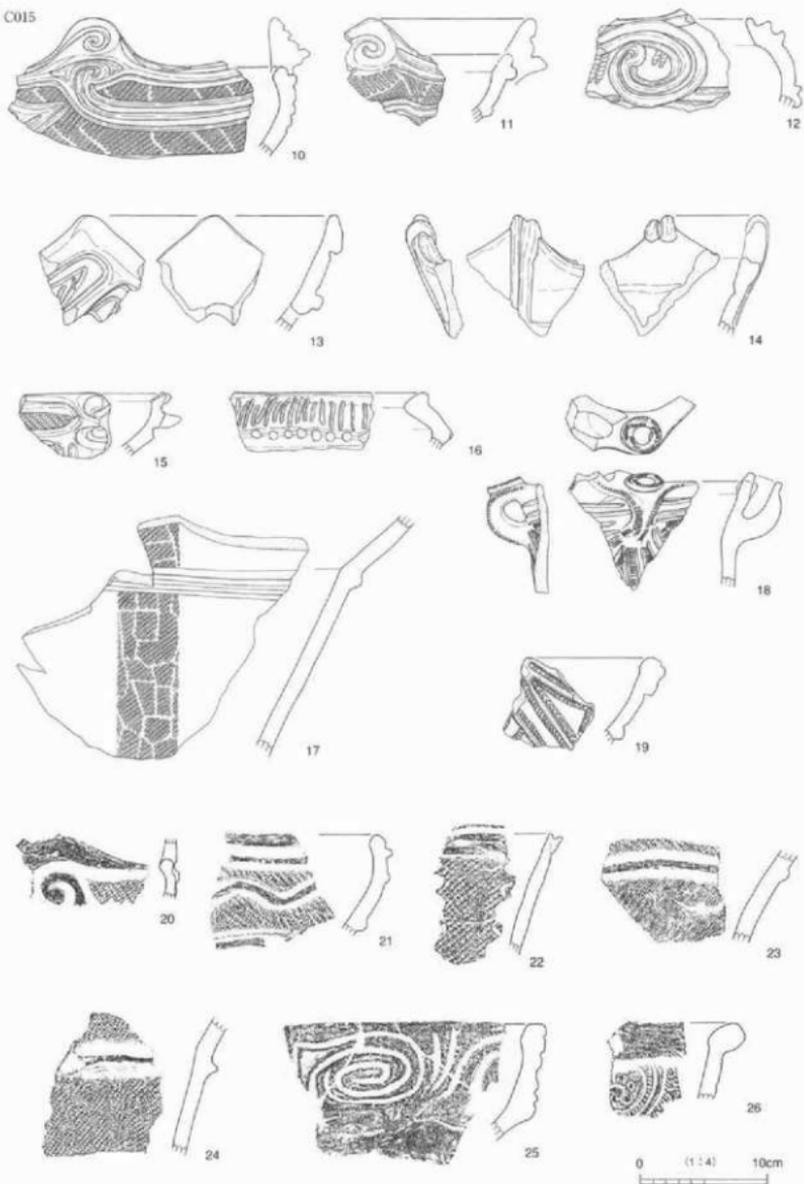
第42図 中期上坑

C015

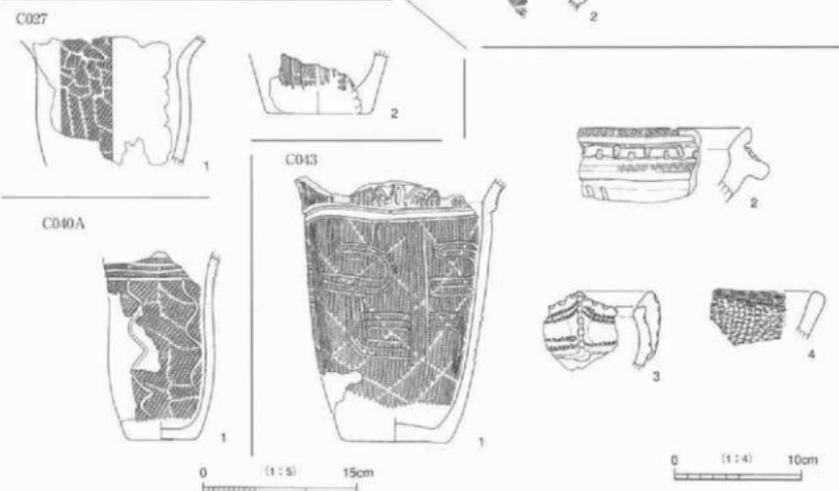
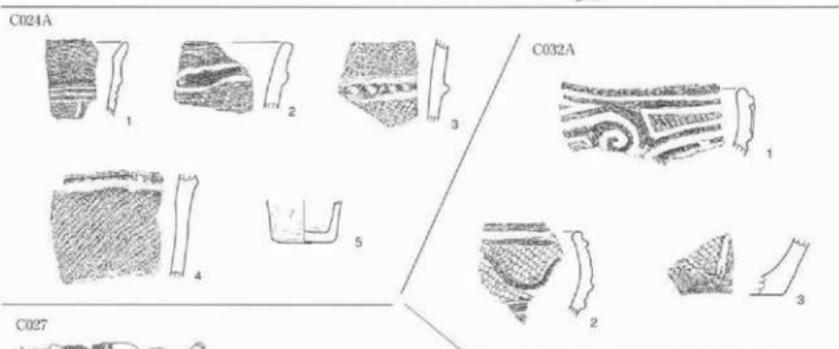
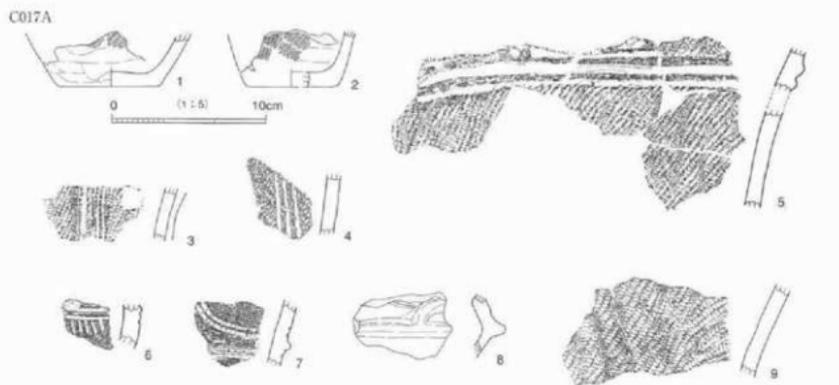


第43圖 中期遺構出土土器 1

C015

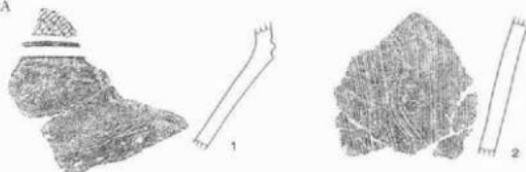


第44图 中期遺構出土土器2

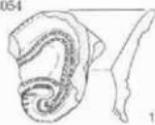


第45圖 中期遺構出土土器 3

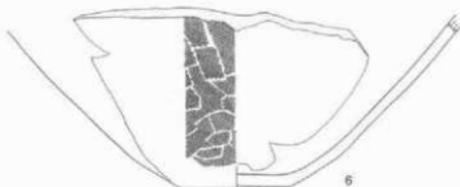
C052A



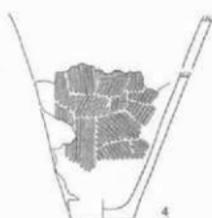
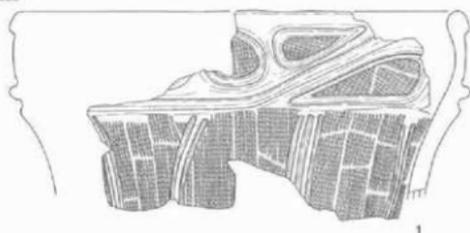
C054



0 (1:4) 10cm

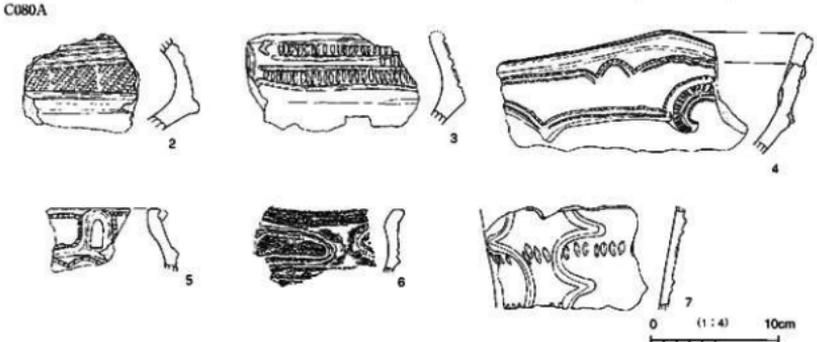
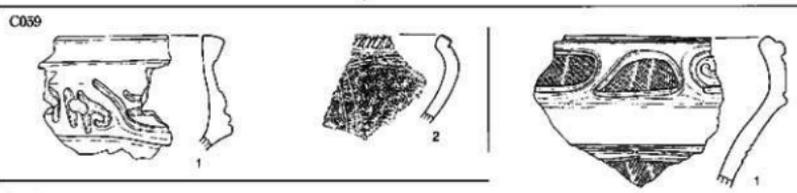
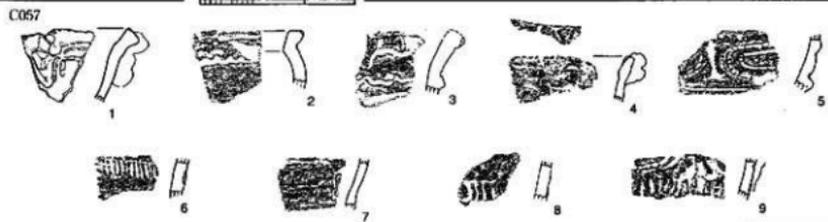
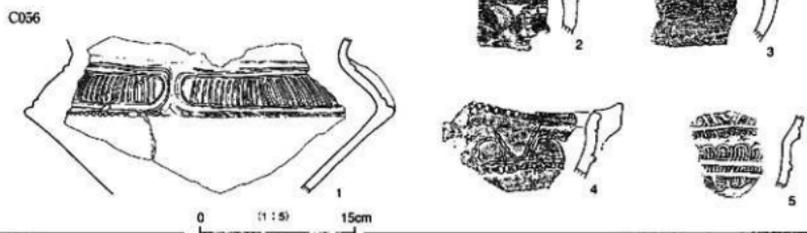
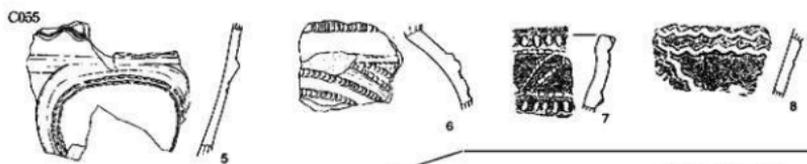


C055

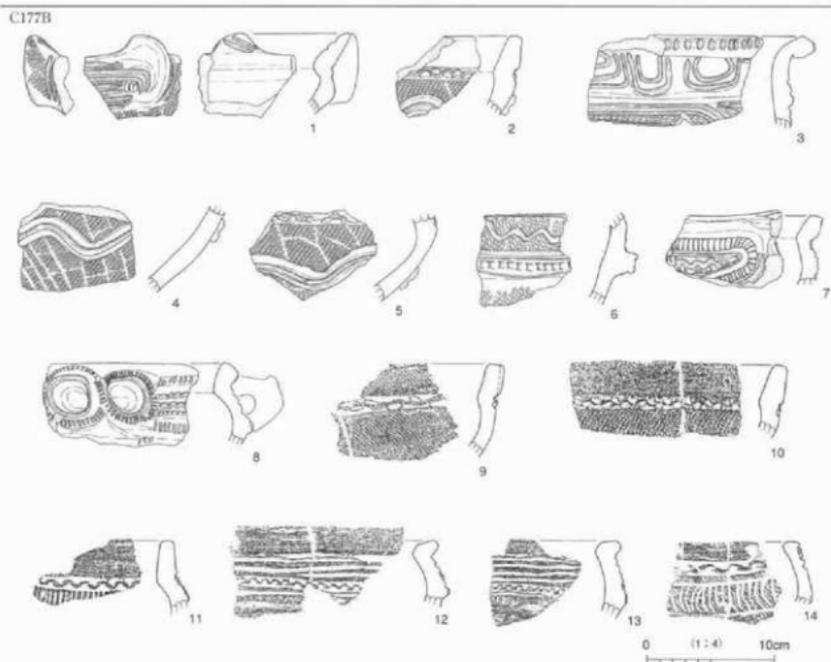
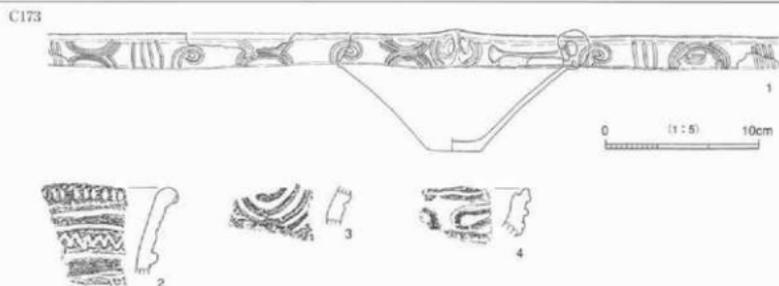
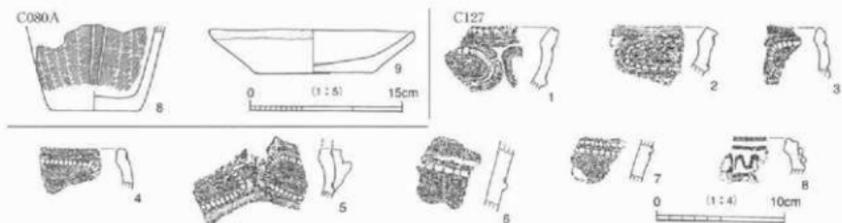


0 (1:5) 15cm

第46图 中期遺構出土土器 4

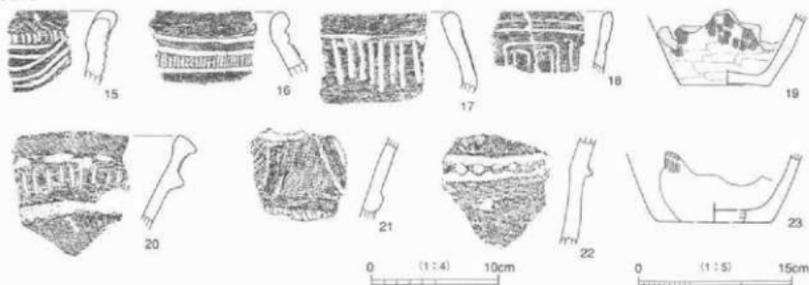


第47圖 中期遺構出土土器 5

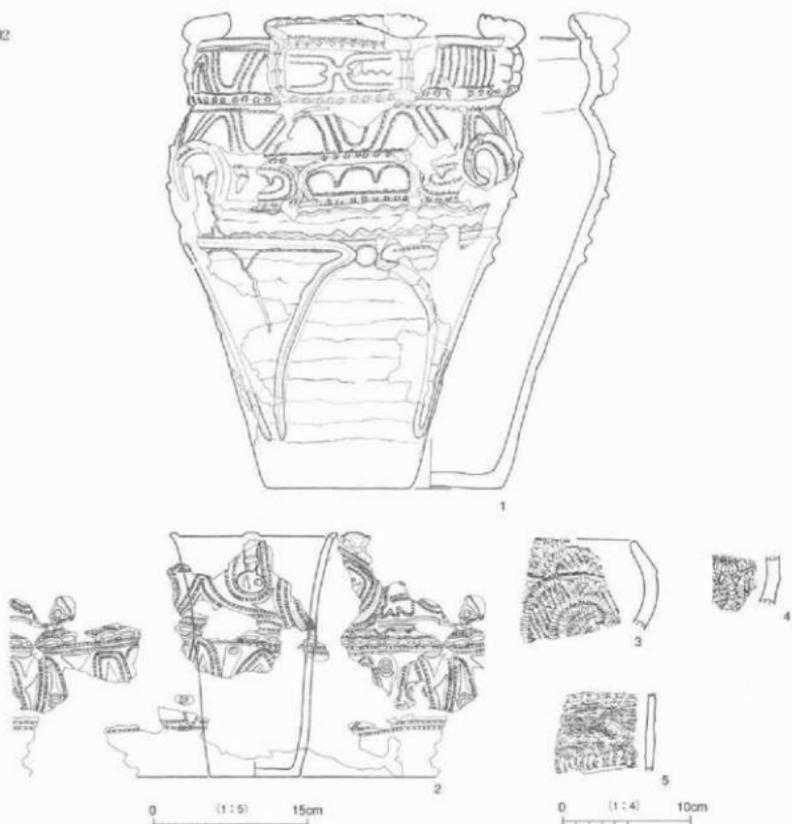


第48图 中期遺構出土土器 6

C177B

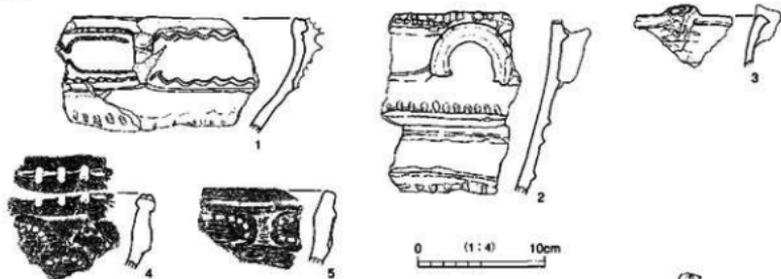


D002

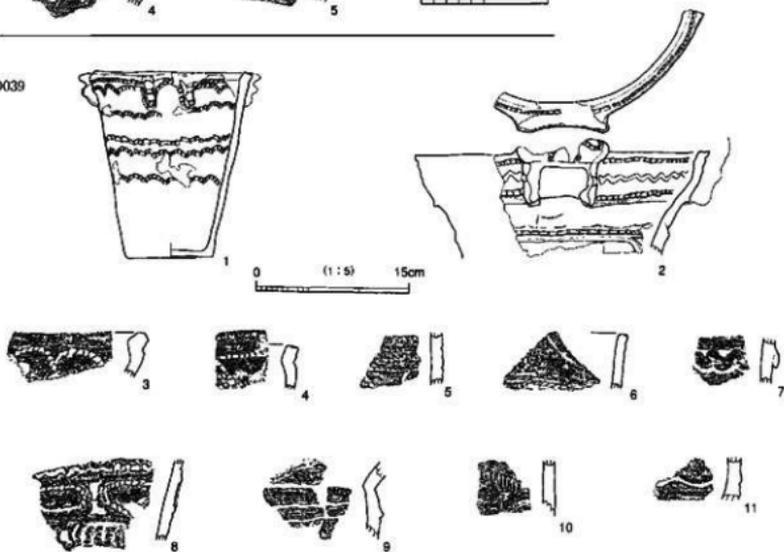


第49圖 中期遺構出土土器 7

D024B



D039



D086B

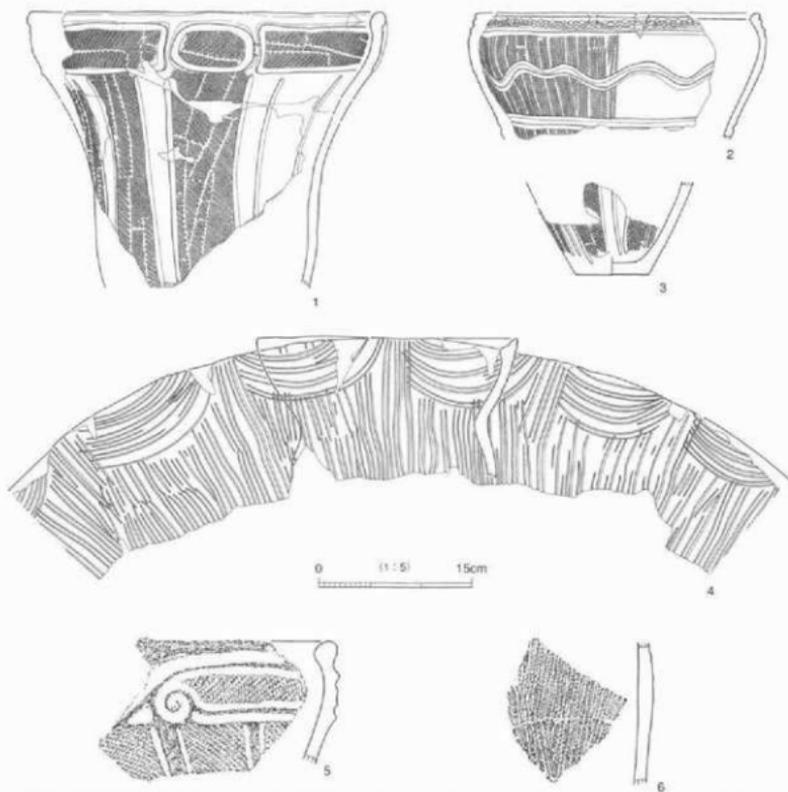


D221

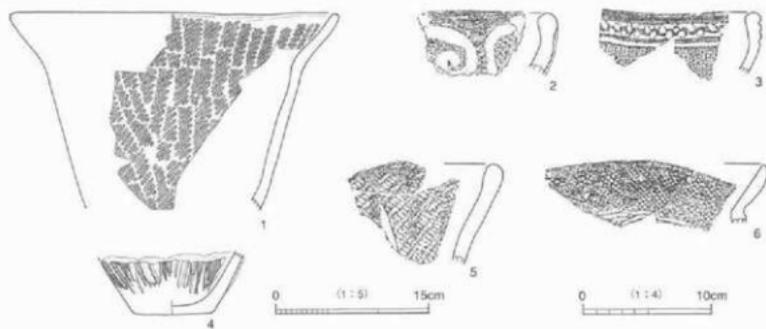


第50圖 中期遺構出土土器 8

P001

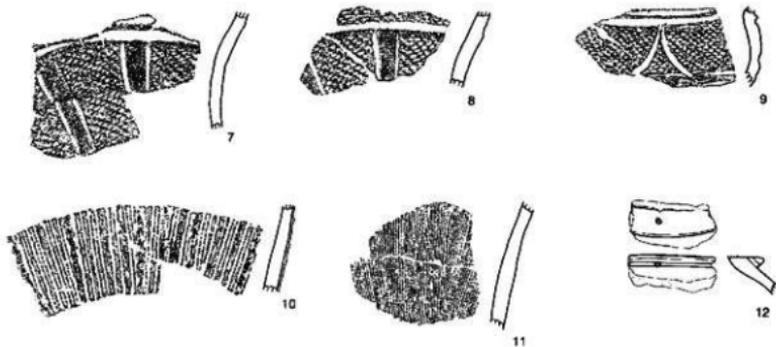


P037



第51圖 中期遺構出土土器 9

P037

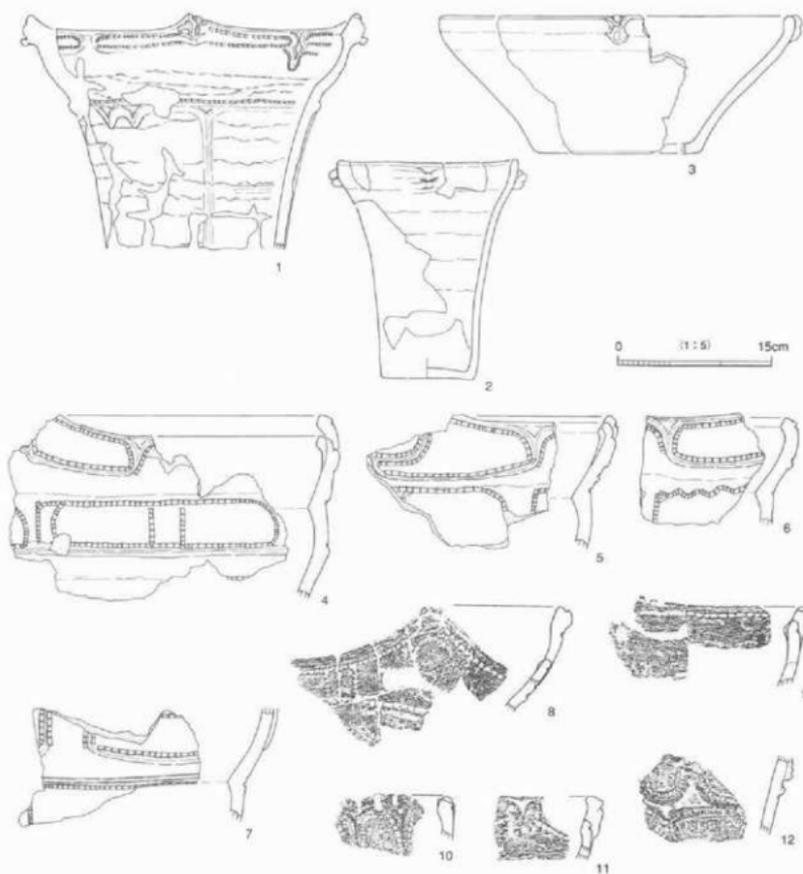


P039

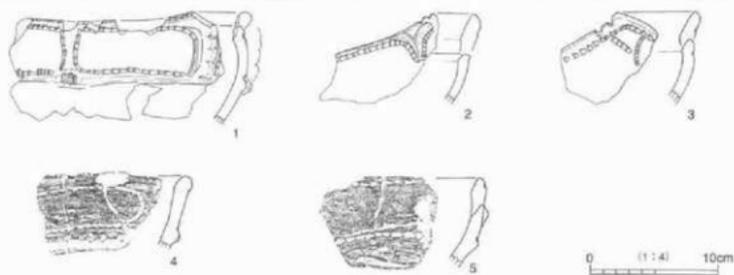


第52図 中期遺構出土上器10

C142

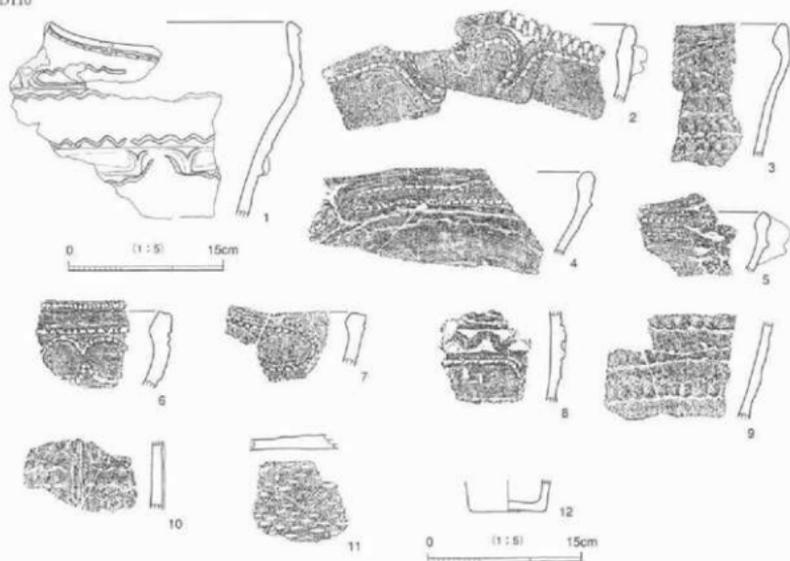


C143

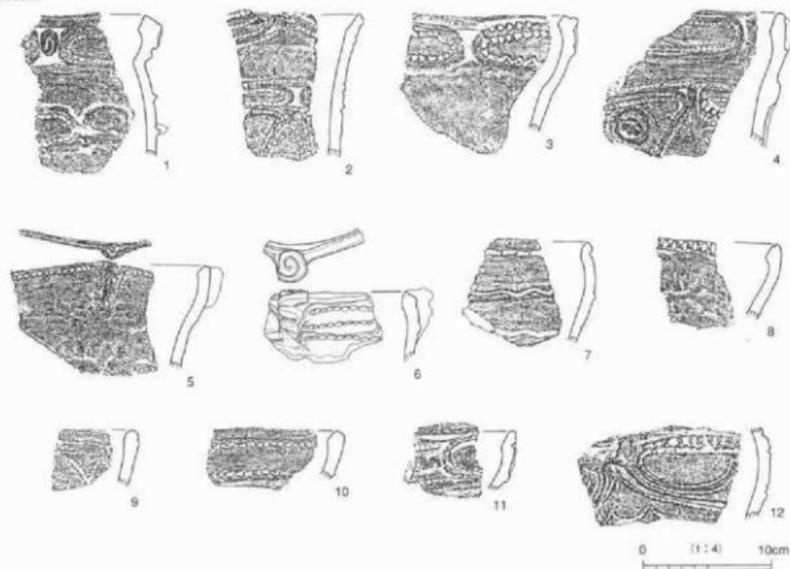


第53圖 中期遺構出土土器11

D110

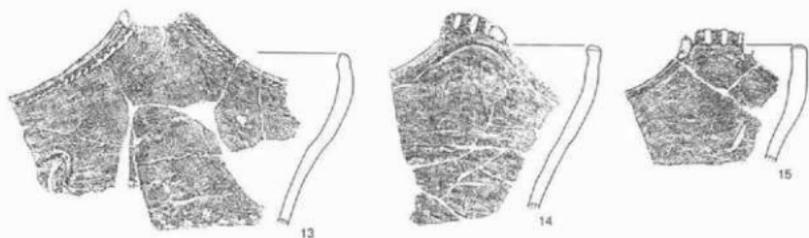


D111A



第54図 中期遺構出土土器12

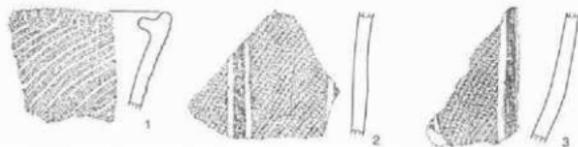
D111A



P010



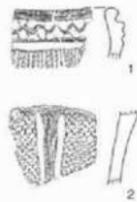
P031



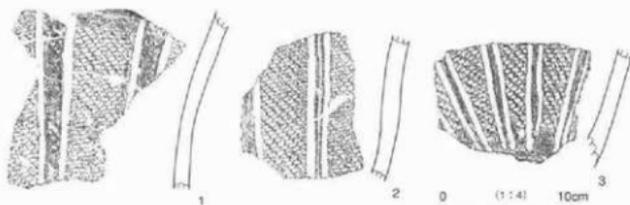
P035



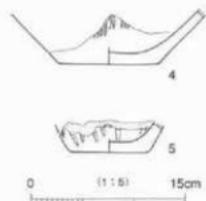
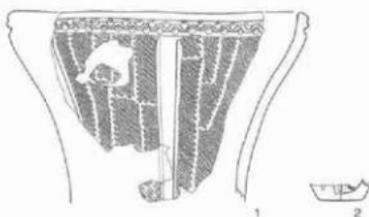
P038



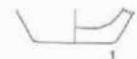
P049



P048



P045

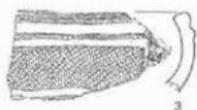
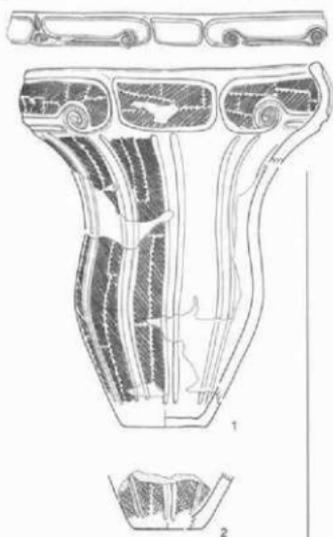


第55圖 中期遺構出土土器13



第56图 中期遺構出土器14

P068



P062



P146



P148



0 (1:5) 15cm

P147



P149



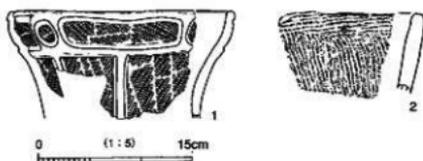
0 (1:4) 10cm

第57図 中期遺構出土土器15

P150



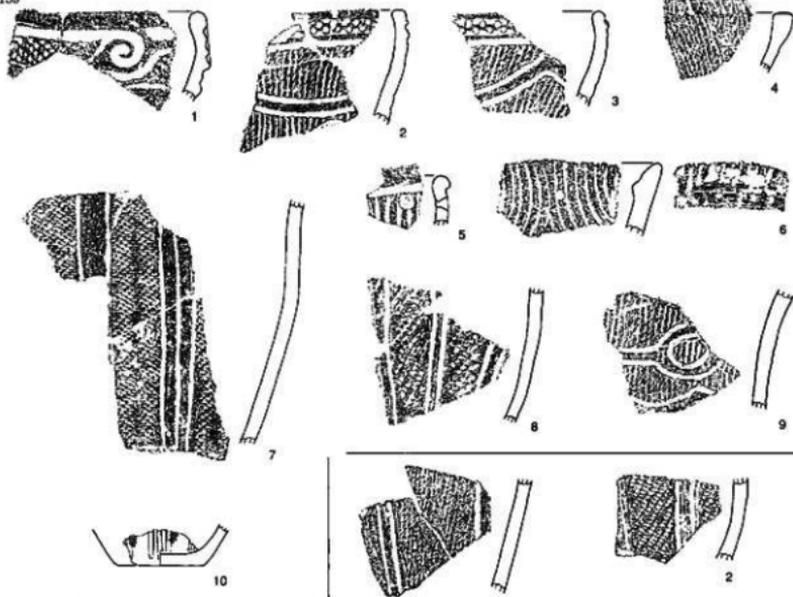
P155



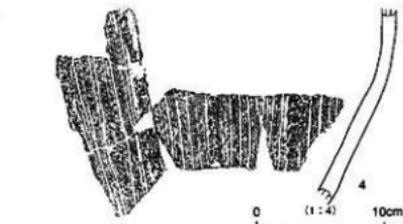
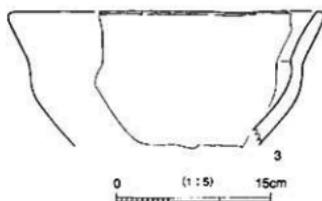
P152



P159

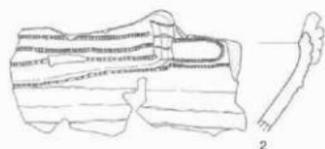
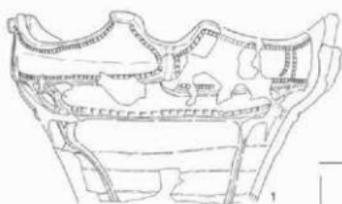


P162

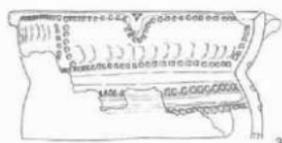


第58图 中期遺構出土土器16

C038



2



3

C044



1

2

3



4



5

0 (1:4) 10cm

C090



1



2

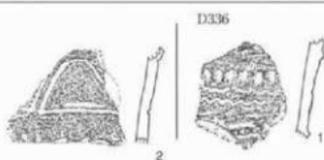
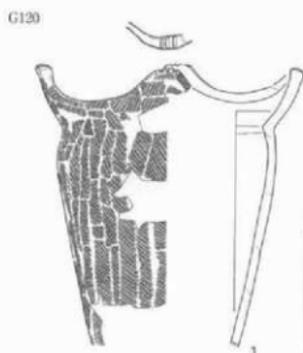
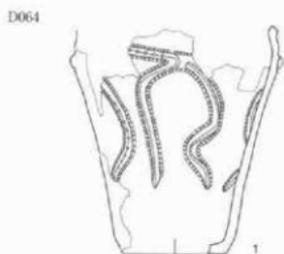
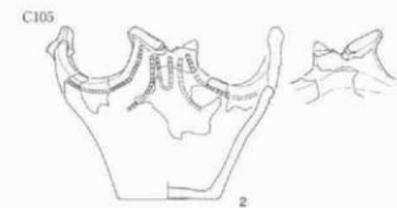
C105



1

0 (1:5) 15cm

第59图 中期遺構出土土器17



第60圖 中期遺構出土土器18

## 第3章 出土遺物

### 第1節 遺構外出土の土器

遺構外出土の土器については、すべての資料を縄文時代の5期区分及び不明に分け、大グリッド単位で重量を記録した。第2表に集計の結果を、第61図には重量分布の傾向を示した。分類の単位は粗いが、各時期とも、多くの土器型式が揃っているのではなく、比較的短い時期にまとまっている。早期では後葉の条痕文系の後半、前期では黒浜式、中期では初頭から加曾利E式前半が大半を占める。したがって、おおむねこれらの時期の傾向と読み替えることが可能である。なお、C区とD区の一部では早期と中期の遺物集中区を調査し、全点ドットで遺物を取り上げられていたが、今回は大グリッド単位での分析にとどまった。

図及び表に掲載した資料は早期遺構出土53点、中期遺構出土301点、遺構外出土707点の合計1,061点である。その属性は第14表に示した。

#### 第1群 撚糸文土器（第62図1～9、図版48）

1～9はすべて撚糸文土器後半の資料である。3以外は撚糸文、3は単節縄文を比較的密に施文する。9のみは内面を研磨するが、他はナデ調整である。多くは夏島式であろう。

#### 第2群 沈線文土器（第62図10～第63図48、図版48～49）

器面の劣化したものが多いが、内面を丁寧なナデ調整したものが中心である。

##### 1類 三戸式（11・12）

太沈線のみ施文して、内面の調整が弱い11・12は三戸式であろうか。

##### 2類 田戸下層式（10、13～40）

10、13、30～35は外削ぎ状の口唇形態から田戸下層式か。4～22、27～29、36～40も田戸下層式を中心とした胴部片である。器面調整後に細沈線を引くものが多い。ある程度文様構成がわかる土器としては、13の土器と、30～35の同一個体がある。13は外削ぎ状の口唇上に鋸歯状の集合沈線を施す。30～35は、3本の沈線で口縁部を区画し、その上には斜め状から次第に弧状となる沈線が描かれる。区画の下には梯子状、斜め状の沈線意匠文が描かれている。沈線文系土器はC192、D381からも出土しており、後者はこの時期の遺構であるかもしれない。なお、10～40のうち、23は5群、26は3群土器である。

##### 3類 子母口式（41～48）

曲線状、直線状の集合沈線を施した土器である。胎土に微量の繊維を含む。外面は丁寧な調整後に施文、内面は弱いナデのあと刷毛目状の擦痕がついている。おそらく43～48は同一個体であり、41または42がその口縁部の可能性がある。櫛状の施文具痕は歯の間隔、施文の深さが共通したものが多いが、変化したものもあって可動性をもっていたようである。歯の数は7本まで数えられる。

#### 第3群 条痕文土器（第63図49～第71図188、図版49～53）

早期後葉の繊維上器を一括する。以下のように小分類を設定した。

- 1類 野島式
- 2類 鶴ヶ島台式
- 3類 早期末葉土器群
- 4類 素文系土器・素文部破片
- 5類 花積下層式

3類・4類がほとんどを占める。3類は茅山上層式、下吉井式、打越式などを含む早期末葉土器群である。4類は文様をもたない土器、あるいはもたない部分の破片をまとめた。個々の時期を決定するのは難しいが、有文土器のほとんどが3類であることからみて、これに伴うものが主体とみてよい。

なお、施文原体として用いられる貝類の「アナダラ属」、文様としての「貝殻背圧痕文」は、貝類学的にみると不適当であり、それぞれ「フネガイ科」、 「貝殻殻表圧痕文」とした。最近では、施文に使われたと推定される2種のうち、ハイガイはリュウキュウサルボウ属 (Tegillarca)、サルボウガイはサルボウガイ属 (Scaphaca) と、別の属に分類されている。分類群の学名・和名はしばしば変化するものであり、必ずしも整合が必要とは思わないが、どの貝類図鑑にも掲載のない名称を用いるのは適切でないとする。

### 1類 野島式 (49・50)

微隆起線と1本引きの集合沈線をもつ胴部片である。胎土中の繊維は微量である。

### 2類 鶴ヶ島台式 (51)

横方向の一次区画沈線と格子状沈線による区画文内に押引文や条痕文を充填する。平縁の土器である。

### 3類 早期末葉土器群 (52~184の一部)

早期末葉の有文土器をまとめた。型式認定は難しく、器形・口縁部形態・文様構成など多くの要素を検討するのも困難であったため、施文原体によって便宜的な区分を行った。排他的な区分ではなく、複数の要素を併せもつ場合がある。

**3類a種** (138, 第27図P158-1~4) 口縁部に縄文施文帯をもつものである。138とP158の1~4 (1個体)の土器は、波状口縁である点、口唇上から内面も施文する点で共通する。138の上端の窪む大きな山形把手は、139と似ている。

**3類b種** (56~58, 62~66, 69・71・72・74・76~79・137・150~153・158・147・149, 第25図D356-1)

口縁部に隆帯による意匠文をもつ土器である。隆帯上には竹管による刻みや刺突・押圧文、または緒状体圧痕文が施される。意匠は口縁に沿う隆帯 (または肥厚した口縁) と口縁部文様帯を区画する横方向の隆帯に蛇行する隆帯が加わったものが多い。波状口縁と平縁の土器がある。そのほかに隆帯が垂下するもの (137・150・158)、斜め (64・149) や弧状 (151)、蛇行状 (152・153) などの意匠がみられる。ひとまとめにしたが、さまざまな器形・口縁形状のものを含んでいる。137は、唯一全体の器形が復元された。2単位の波状口縁をもつ丸底の土器である。文様は隆帯によって形成される。口縁の上端を廻る隆帯は波頂部で平らな突起となる。2本の垂下隆帯と樽掛け状の隆帯によって、長方形の文様帯を構成する。このような文様帯をもつ事例は見当たらない。縦に垂下する隆帯はほかに76・150・158, D356-1に、樽掛け状の隆帯は147にみられる。なお、147・149は種とした貝殻文も併せもつ。

**3類c種** (145・156, 第25図D310-1・2) 口縁部に沈線による意匠文をもつ土器。145は隆帯より上の狭い文様帯に斜めの沈線意匠文をもつものである。貝殻文をもつものなかによく似た形状がみられる。156は外反する口縁の下に斜めの沈線をもつ。その構成は例えば隆帯文の149に似ている。なお、53にも沈

線がみられる。

3類d種 (67・70・144, 第26図D282-1, G271-3) 口縁部に押引文・刺突文をもつ上器である。70・D282-1・G271-3は刺突列が1条ないし2条廻る。144は口縁の肥厚した部分に押引文が充填されている。67は傾きが不明確であるが、波頂部となり、刺突列が水平になるものと推定した。いずれも口唇上には刻みが入っている。

3類e種 (53・75・80・81・154・155, 第25図D310-10) 口縁部に縄の原体圧痕をもつ上器である。なお、b種(隆帯文)のなかには、隆帯上、原体圧痕を施し、意匠的な効果をもつものがみられた(76)。53は2段の縄の圧痕を、75・155, D310-10は絡状体の圧痕を施す。54・55は胴部片であるが、口縁部の文縁帯であろうか。154は絡状体の側面をやや引きずったものであろうか。

3類f種 (52・54・55・59・141・146) 口縁部に貝殻文をもつ土器である。52・54・55は同一個体である。口縁の肥厚部下端に刺突列がある。原体は当初先端を斜めに切断した竹管を想定したが、弧状の角度が一定でない点疑問であった。佐倉市太田・大笹塚遺跡によく似た施文の土器があり、「貝殻文」とされていた(神奈川県考古同人会縄文研究グループ1983, 千葉県図版7)。小形の二枚貝を回転しながら施文するとほぼ同様になるが、詳細は不明である。これ以外はフネガイ科の放射肋が観察されるものである。59, 146は腹縁圧痕を斜めに施文している。147・149はb種とした隆帯文も併せもつもので、147は斜めに、149は鋸歯状に施文する。141は腹縁文を横に、不規則に施文する。

3類g種 (73・181) 打越式上器である。f種に含めるべきものであるが、胎土に繊維を含まず、質感もまったく異なっているため別に区分を設けた。73は弧状と鋸歯状、181は鋸歯状に腹縁文を施文する。鋸歯状の施文法は2点で異なっている。181は腹縁を垂直に立て、山形の1単位を2回の施文でつくるのに対して、73では1単位を1回で施文している。おそらく、貝殻の腹縁後端部の尖った部分の内側を使って、やや回転しながら器表面を引き上げるように施文したものであろう。回転させた痕跡と、器表面の高まりが観察される。

3類h種 (68・135・142・143・148・180) 口縁部に隆帯による区画をもつ土器。隆帯で意匠を描くb種とはかなり異なるものがあり、別の区分を設けた。135・142は肥厚した口縁部の上下端に刻みをもつ素文系の土器である。143もこれに近い。148は左右非対称の三角形の突起をもつ。180は2列の隆帯上にフネガイ科の腹縁圧痕による刻みをもつ。胎土には少し繊維が認められるが、73の打越式に似た印象がある。

3類i種 (98・139・140・157, 第27図P161-1) 素文系の土器であるが、口唇上の刻みをもつもの。98・139はフネガイ科の腹縁圧痕を施文する。157も波状口縁の高い部分のみ同様に施文している。140, P161-1は斜めの刻みである。140の広い平坦部をもつ山形波状口縁は138・139と共通する。

3類j種 (129・132・205・130・132・134) 縄文を施文したものである。130・132・134は同一個体であり、LR縄文と、この縄文によく似たフネガイ科の殻表圧痕文が施文されている。

3類k種 (176・179・182) 胴部に貝殻文をもつ土器である。176は縄文に似ていて、一部は若干引きずっている。179は斜めに、182は横に連続的に腹縁圧痕文を施す。

3類l種 (84・85・86) 胴部に沈線文をもつ上器である。84・85は同一個体である。外面の刷毛目状の調整痕は他に見られず、かなり厚みがある。繊維は目立つ。沈線は直線状と蛇行線がある。86は前期の上器かもしれない。

#### 4類 素文系土器・素文部 (82~184の一部)

無文または調整痕のみの土器を集めた。遺構外で65点を掲載した。尖底土器と平底土器がある。内外面とも条痕がよく残るものは少なく、口唇の形態は尖るか、丸いかいずれもあまりはっきりしないものが多い。有文土器に茅山下層式までの個体が極めて少ないことから、早期末葉のものが多いであろう。

#### 第5類 花積下層式 (185~188)

格状体の側面圧痕による意匠文をもつ土器である。185・186は同一個体である。肥厚した口縁部と、折返しの下端に施文している。187は刻み隆帯による区画をもつ。189は口唇上に原体圧痕をもつ。

#### 第4群 羽状縄文系土器 (第71図190~207, 図版53)

すべて前期中葉の黒浜式とみられる。胎土に繊維を含む。193・196・197・201は同一個体である。沈線によって区画したなかに菱形文を描く。外面にシダ類圧痕が観察される。195は付加条縄文施文後、半截竹管により平行沈線を描く。なお、204は胎土に繊維を含まず、貝殻腹縁文が不規則に施文されたものである。沈線文系や中期初頭などに類例がある。

#### 第5群 浮島・興津式系, 諸磯式系土器 (第72図209~第73図262, 図版54・55)

諸磯式系は少なく、浮島・興津式系は古いものから新しいものまでみられる。

##### 1類 諸磯式系

210~213は対角線上に斜めの沈線を埋めていくもので、諸磯a式であろう。209は爪形文で扇手状の文様を描く。220~222は浮線文で弧状や渦巻文を描く。これらは諸磯b式であろう。

##### 2類 浮島・興津式系

214~218は熱糸文施文後、平行沈線による区画文と波状または弧状の充填文を施す。228~230もよく似たものであるが、区画文は有節平行沈線である。これらは浮島Ⅰ式であろう。238~242はおそらく同一個体で平行沈線・有節平行沈線の幅が広く、低隆帯がみられる。浮島Ⅱ式であろう。223・232~237もⅠ式からⅡ式の同じような土器と思われる。246~248は肥厚する口縁上に結節平行沈線を、その下に幅広の変形爪形文をもつ。249~259は貝殻文の土器である。249~252はフネガイ科の腹縁を鋸歯状に施文する。254~256は粗らしながら引く。249~251はきわめて密に施文するもの、257・258は口縁に条線帯と三角文の土器であり、浮島Ⅲ式または興津式であろう。

#### 第6群 前期末から中期初頭の土器 (第74図268~273, 280・281・283, 図版55)

268~270, 272・273はRI縄文と結節回転圧痕をもつ。口唇上にも施文される。271は網目状熱糸文が施文される。283は印刻文をもつ五領ヶ台式、274・275・280・281もこの時期のものであろう。

#### 第9群 阿玉台・勝坂式土器 (第74図274~279, 282, 284~第79図469, 図版55~60)

阿玉台式直前の土器から加曾利E式前半の土器まで途切れなく出土している。当遺跡でもっとも出土量の多い時期である。

##### 1類 阿玉台式直前, 阿玉台Ⅰa式・Ⅰb式

276~372の一部。断面三角形の隆帯に単列の角押文が沿うものを中心とする。282・284・285・301は波

状口縁の土器で、角押文が区画をなさず、単位文となって非対称の意匠を構成する。284は浅鉢である。291は弧状の角押文と貼付隆帯による意匠文をもつ。308は平縁で、角押文の意匠は絵画にもみえる。287・288・369は口縁に2条の角押文をもち、胴部に隆帯+角押文の意匠をもつ。300・307・337は口縁部文様帯の上端を区画せず、下端を区画する。290・342は上端に隆帯をもつが、下端の区画がはっきりしない。342の突起は朝顔形把手の粗形であろう。373は上下の区画内に角押文意匠を施したものであろう。内面には印刻状沈線を施す。これらの区画文が未発達な段階の土器は阿玉台I a式であろう。295・298・302～304は杵状区画の幅が狭いもので、やはり阿玉台I a式であろう。隆帯が低く横の区画同士が離れており、区画が不明瞭なものもある。292・297は杵状区画文が片側だけに施され、左右非対称のもの。289・344は区画文がやや幅状である。口縁上に粘土を継ぎ足して三角形にしている。阿玉台I a式からI b式であろう。

阿玉台I b式は数が多い。310・311・351・358は、左右非対称の構成は残るが、扇状把手が付いたものとみられ、阿玉台I b式であろう。309の突起は鳥の頭部を模したものである。平縁の上器は隆帯と1列の角押文による杵状区画をもつ293・296・322・332、隆帯が発達しない318・320・349・350・366がある。322は頸部が括れ、胴部上端が張り出す変形の土器である。波状口縁の土器では様々な突起、把手が発達している。口縁部は隆帯+角押文などによって楕円区画を構成する(323～326, 328～331, 353・357・371・372・397)ものと、三角区画を構成するもの(313・314・392)がある。

## 2類 阿玉台II式

327, 384～395など隆帯に沿う複数の角押文が施文されたものである。大きく、尖った把手の付く波状口縁の土器が多い。隆帯は低く、丸みを帯びたものが多くなる。

## 3類 阿玉台III式

383, 403～481など。幅広い角押文、キャタピラ文が施文されている。大きく板状に開いた波状口縁の土器が多い。隆帯は断面形が丸みを帯びている。角押文の代わりに沈線(383)や、楔状の押引文(404)が使われたものもみられる。384・387・417は複数の角押文であるが、隆帯が低く幅広である。387は区画内に縄文を、417は隆帯上に刻みを施文している。

## 4類 阿玉台IV式

396～402, 416・421～427・429・434など。縄文施文の土器が多くなる。勝坂式、大木式の影響が見られ、中峠系の土器が伴うなど多くの系統が入ってきて区別が難しい。

## 5類 勝坂式・中峠系土器

277・278・286は勝坂式の古い段階のものであろう。430～469は阿玉台IV式～加曾利E I式直前段階のいくつかの系譜を引くと思われるものを集めた。

## 第10群 加曾利E式土器(第80図470～第87図679, 図版61～65)

### 1類 加曾利E I式

470～510は加曾利E I式の深鉢である。キャリパー形がほとんどであり、直線的に開くものが伴う。470～475は隆帯上への施文、交互刺突文という古い要素と、背割隆帯という新しい要素を併せもつものである。472・473・477は口縁部下端の区画がないか、または口縁部文様帯が広い。このような特徴は、476・478・480・482・486・487・492にもみられる。環状と眼鏡状が組み合わさった大きな把手が付くも

のが多くみられる。509は頸部に無文帯をもつものか。胴部をみると、懸垂文をもたないものと、2本1組の直線文・単独の蛇行線文をもつものがみられる。縄文原体は圧倒的に単節RLが多く、2類に比べると回転方向を揃え、単位間の間隔があくものが多い。

## 2類 加曾利EⅡ式

512～622、635・638・639・642、652～660は加曾利EⅡ式の深鉢である。キャリバー形、連弧文系土器、曾利系土器が安定して使われた時期である。キャリバー形土器は複雑な把手がみられなくなり、口縁部の区画文が単純化する。胴部の垂下沈線の間は磨消される。口縁部文様帯の区画が失われたもの(517・520・521・527・528・532・533)、胴部の磨消帯の広いものは3類との識別が困難である。538～547・550は口縁部文様帯をもたないもの。562・565・566は胴部に渦巻文をもつもので、大木8b式またはその影響のある土器といわれている。以上はキャリバー形土器またはその系譜上にある土器である。地文は単節RLが多く、複節LRLもみられる。口縁部の隆帯や胴部の磨消帯の幅などからEⅡ式としたものと、EⅡ式～EⅢ式としたものがある。564～579は連弧文系土器である。地文は燃糸文。582～611は曾利系土器ないしその系譜にあると思われる土器である。

## 3類 加曾利EⅢ式

横位連弧線文系土器、意匠充填文系土器が見られず、確実に加曾利EⅢ式といえるものは存在しなかった。キャリバー形土器の一部を2類または3類としたものである。なお、確実なEⅢ式が見当たらず、曾利系土器、連弧文系土器が多数見られることから、キャリバー形土器の多くはEⅡ式期の資料なのであろう。

## 4類 加曾利E式鉢・浅鉢・その他

612～622に素文系の土器を集めた。613・614・616・618は曾利系土器であろうか。627は有孔鐔付土器である。623・624もその胴部かと思われる。675・676は台付深鉢の底部から台部か。677～679は器台型土器である。677・678は底面の摩滅が顕著であり、回転方向の線条痕が明瞭に観察された。実用品であり、回転させて使ったことを示すものと考えられる。

## 第12群 称名寺式土器 (第88図682, 図版66)

682は波状口縁の深鉢で、称名寺式であろう。

## 第14群 堀之内式土器 (第88図680, 681, 683, 684, 図版66)

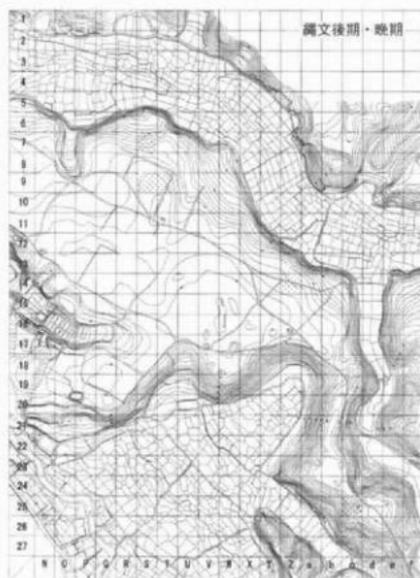
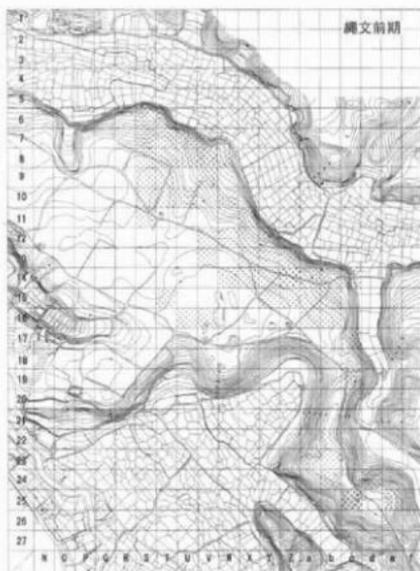
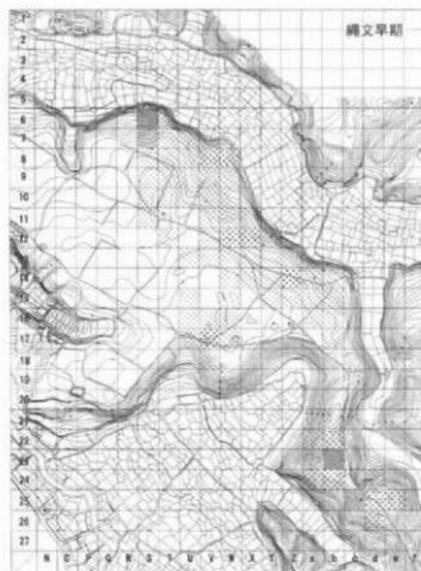
683・684は同一個体で堀之内1式の深鉢。681は堀之内2式のラッパ形に開く深鉢である。680も堀之内式に伴う素文系の土器であろう。

## 第15群 加曾利B式土器 (第88図687, 図版66)

687は内面に施文する波状口縁の深鉢である。

## 第21群 晩期末葉土器 (第88図685～707, 図版66)

晩期末葉から、弥生時代にかけての資料である。688～695は口縁部に網状ないし平行する浮線文を施文する。697は口縁部に沈線文を施文する。685・686、698～707は燃糸文が施文される。口縁部に燃糸文帯をもつ深鉢ないし壺形土器であろう。685・686は平行沈線間に刺突文をもつもので深鉢であろうか。



0.01kg~1.0 kg未満

1.0 kg~5.0 kg未満

5.0 kg~10.0kg未満

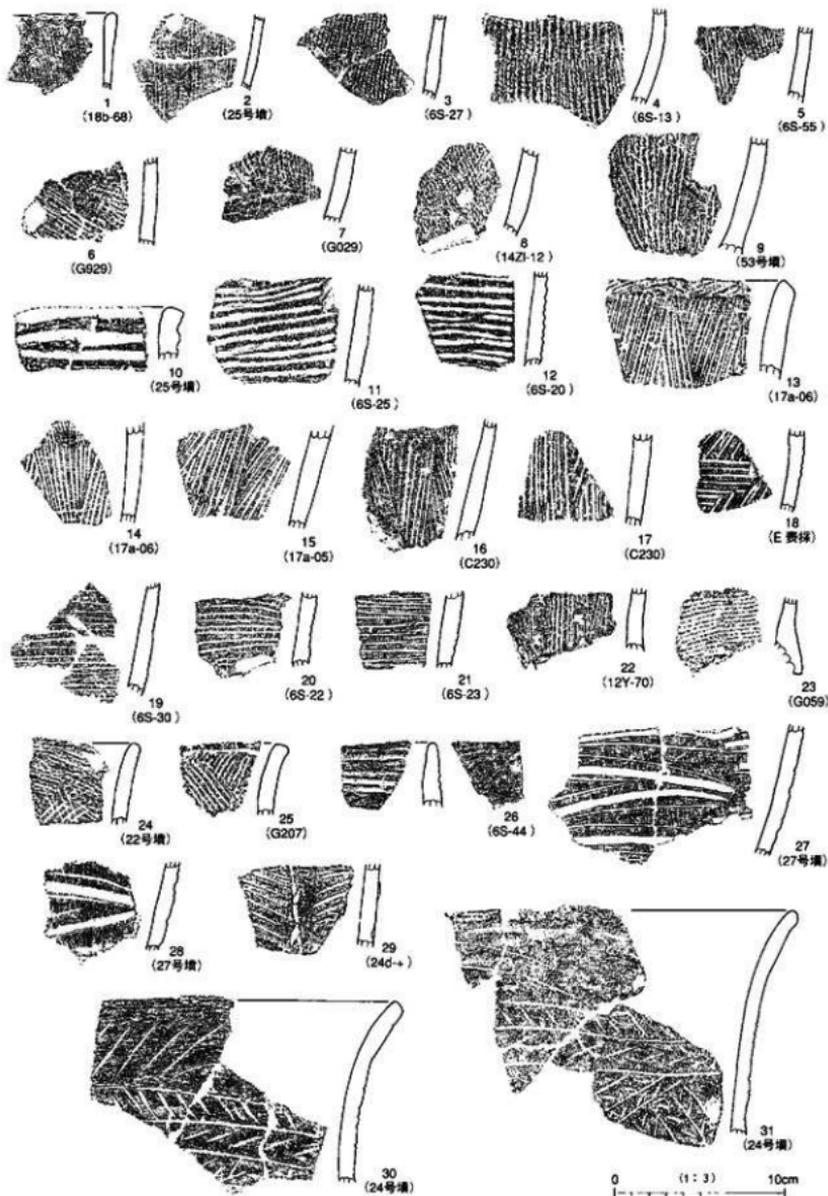
10.0kg以上

第61図 縄文土器重量分布 (1 : 5,000)

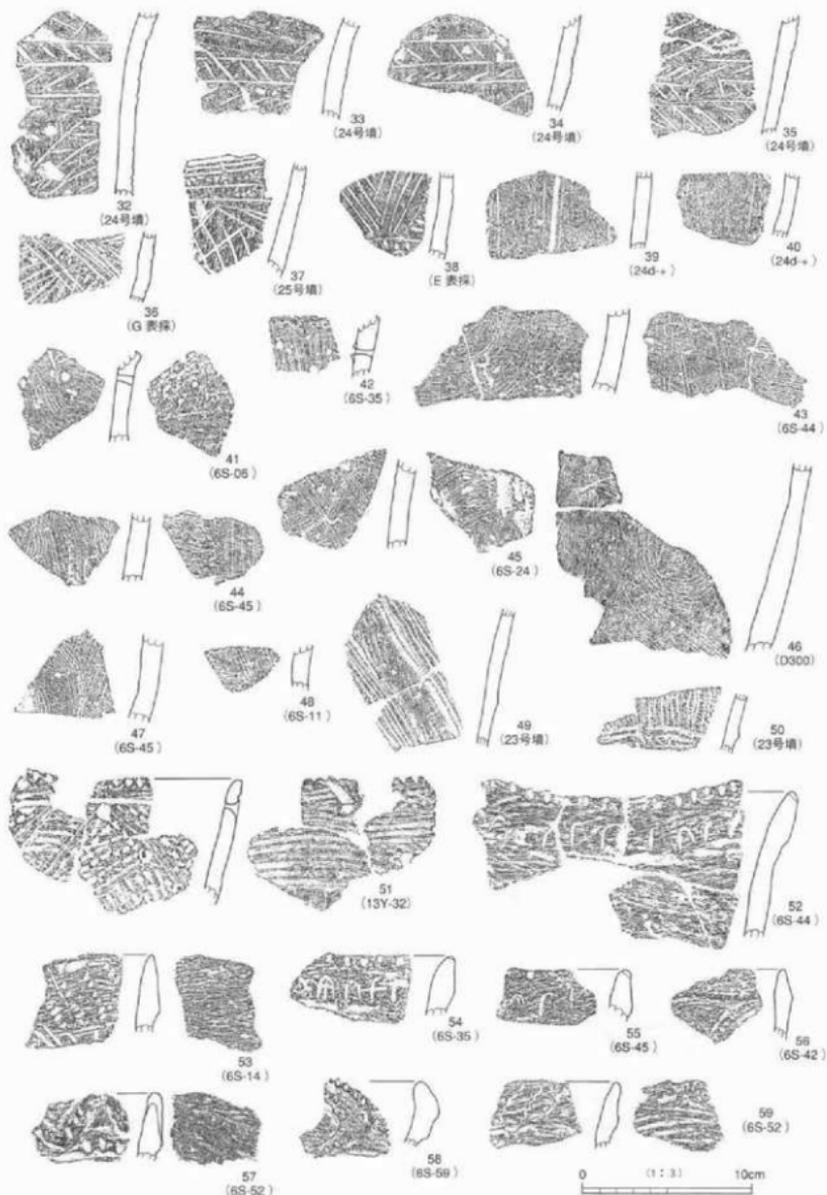
第2表 縄文土器出上量

単位 (Kg)

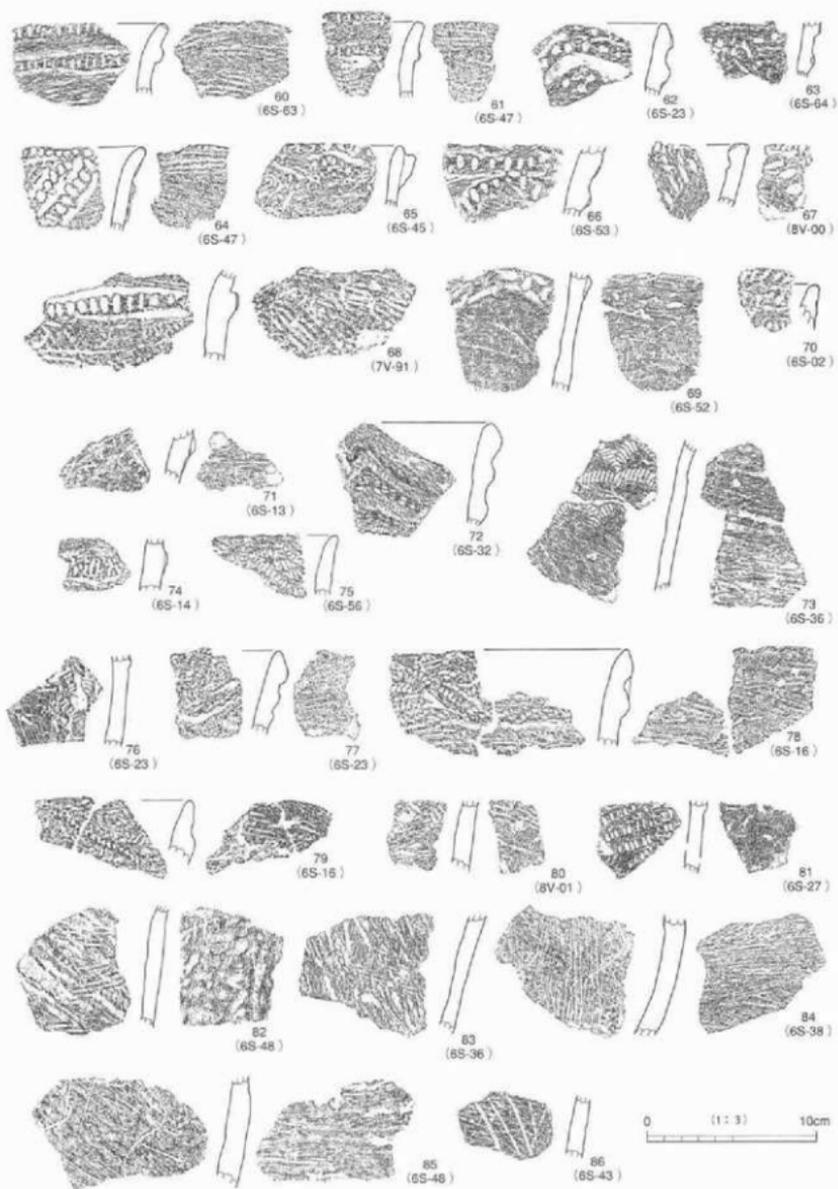
グリッド	早期	前期	中期	後期	晩期	グリッド	早期	前期	中期	後期	晩期
総計	78.95	12.94	399.23	0.24	0.07						
06S	0.94	0.65	4.00			14a	0.79	0.47	0.81		
06T	0.32	0.05				14b		0.19	0.42		
07S	6.46	0.58	4.86	0.02		14c	0.09	0.11	0.38		
07T	0.12	0.07	3.57			14U			0.03		
07U	0.07	0.10	0.20			14W	0.11	0.01	0.43		
07V	0.51	0.17	0.25			14X	0.14	0.09	0.37		
08S	0.01	0.02	1.04			14Y	0.32	0.25	1.88		
08T	0.04	0.07	5.65			14Z	2.77	2.68	10.92	0.01	0.01
08U	0.26	0.01	1.26			15a	0.56	0.02	0.74		
08V	3.84	1.09	7.42			15b	0.25	0.01	0.65		
08W	1.33	0.68	3.97			15c			0.02		
08X	0.02	0.03	6.75	0.20		15T		0.02	0.30		
08Y	0.22	0.26	22.96	0.01		15U	0.14		1.05		
09U	0.30		2.53			15V			0.44		
09V	0.34	0.31	6.97			15Y	0.02	0.04	0.03		
09W	0.19		7.47			15Z	0.47	0.10	0.64		
10S	0.05	0.04	1.14			16a	0.67	0.08	0.52		
10T	0.04	0.11	10.97			16b	0.26	0.12	0.29		
10U	0.02	0.06	12.89			16U	0.53	0.14	5.21		
10V	0.04		2.51			16V	0.52	0.14	10.08		
10W	0.51	0.28	9.29			16W	0.07		1.15		
11S	0.02	0.09	37.12			17b	0.07		0.19		
11T			0.96			17c		0.02	0.03		
11U			0.23			17U	0.16				
11V	0.04		0.50			17V	1.18		1.67		
11W	0.17		0.54			17W	0.30		0.24		
11X	0.06	0.12	0.01			18V	0.01				
12S			5.83			18c		0.02			
12T	0.03		1.68			21b	0.05		0.83		
12U			2.22			22a	0.40		1.72		
12V	0.98	0.02	2.73			22b	2.42	0.10	13.11		
12W	1.31	0.06	2.40			23a	7.94	0.21	27.44		
12X	1.55	0.19	0.41			23b	18.16	0.50	81.38		
12Y	0.09	0.07	0.12			23c			3.42		
13a			0.03			24a	1.46		3.93		
13T			0.19			24b	3.90	0.04	23.44		
13U	0.23		1.84			24c	0.03		0.07		
13V	0.68	0.17	16.80			24d	0.29	0.03	0.36		
13W	0.63		4.28			25c	7.28	1.71	4.88		0.06
13X	0.65	0.18	0.23			25d	1.06		0.24		
13Y	0.91	0.13	1.11			25e	1.43	0.02	2.6		
13Z	0.27	0.19	0.74			26d	2.05		1.34		
						27f			0.31		



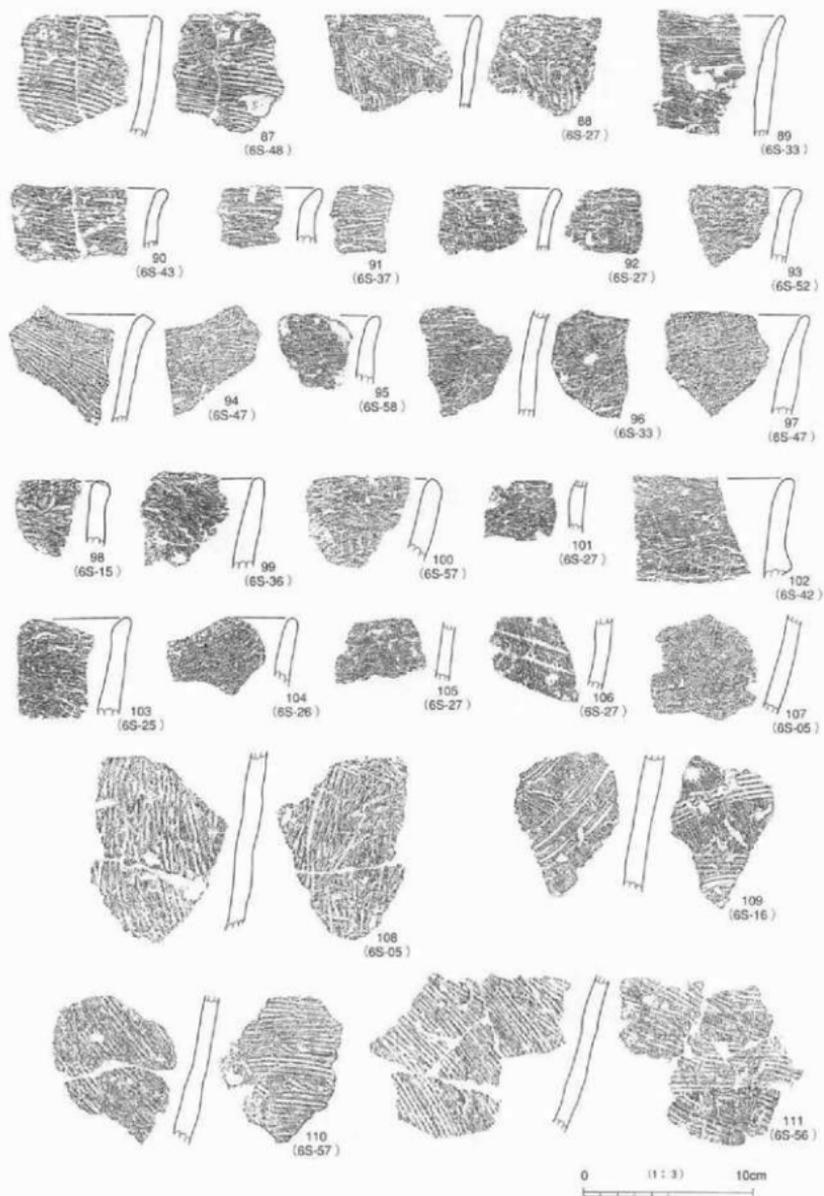
第62图 遺構外縄文土器 1 早期



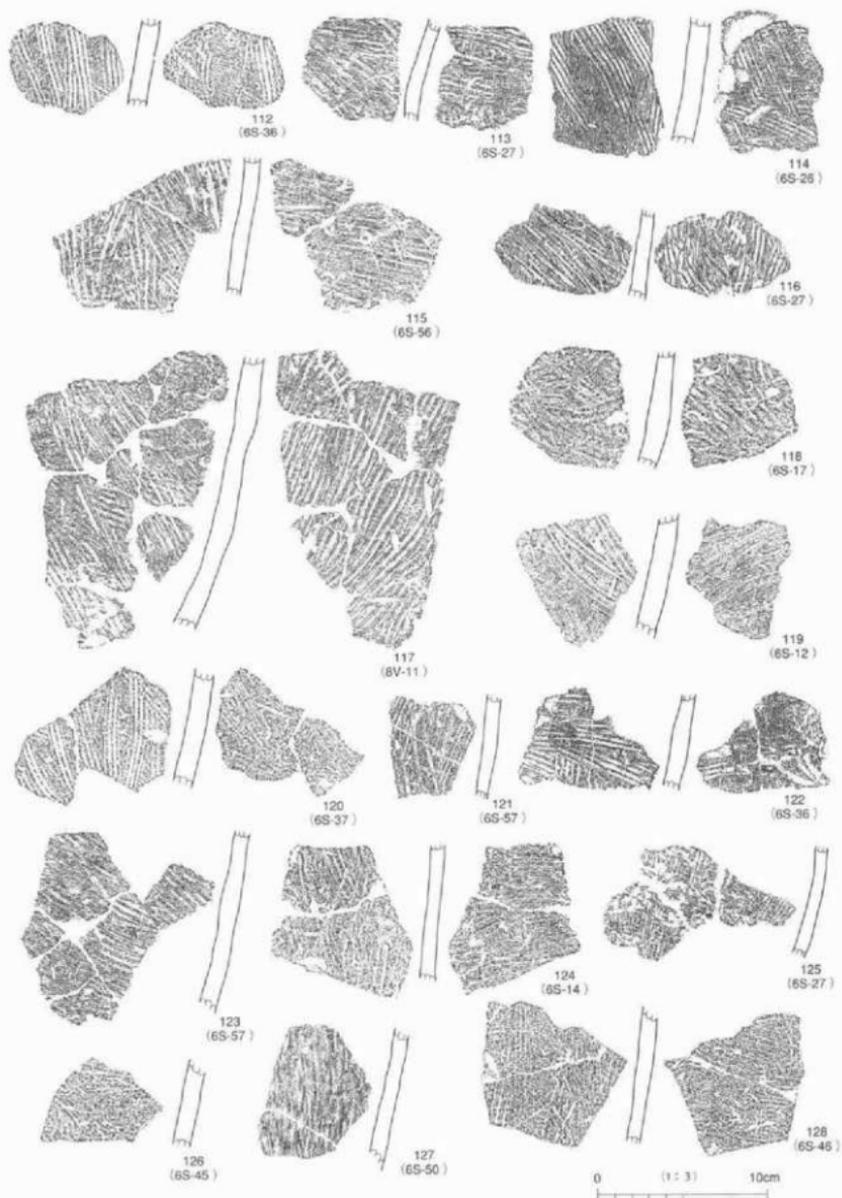
第63図 遺構外縄文土器 2 早期



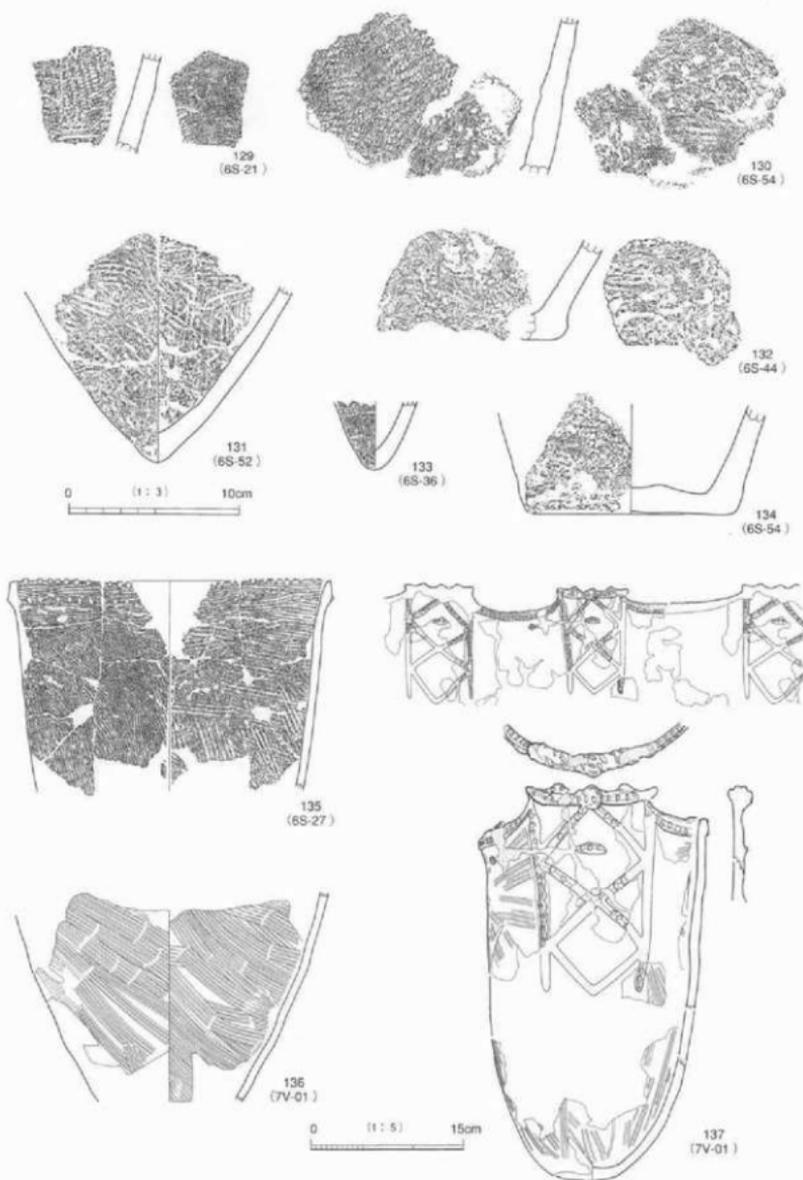
第64圖 遺構外繩文土器3早期



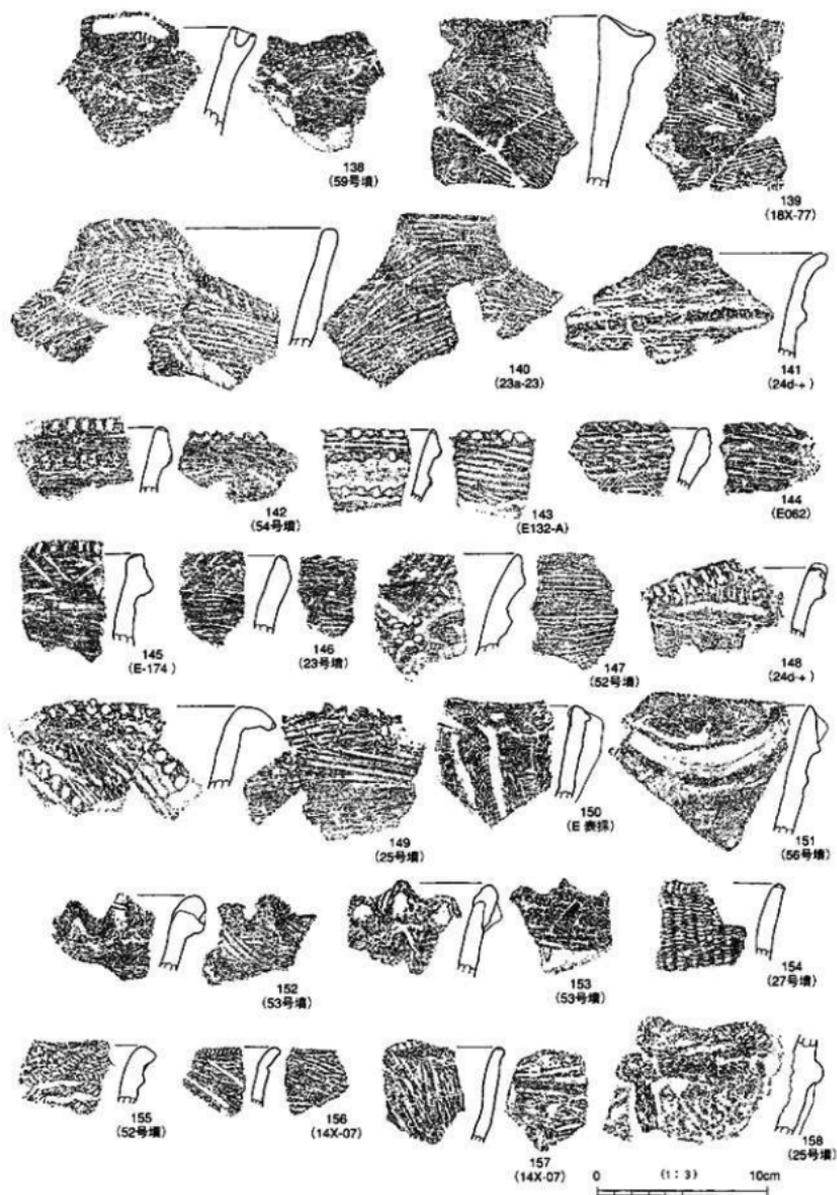
第65圖 遺構外繩文土器 4 早期



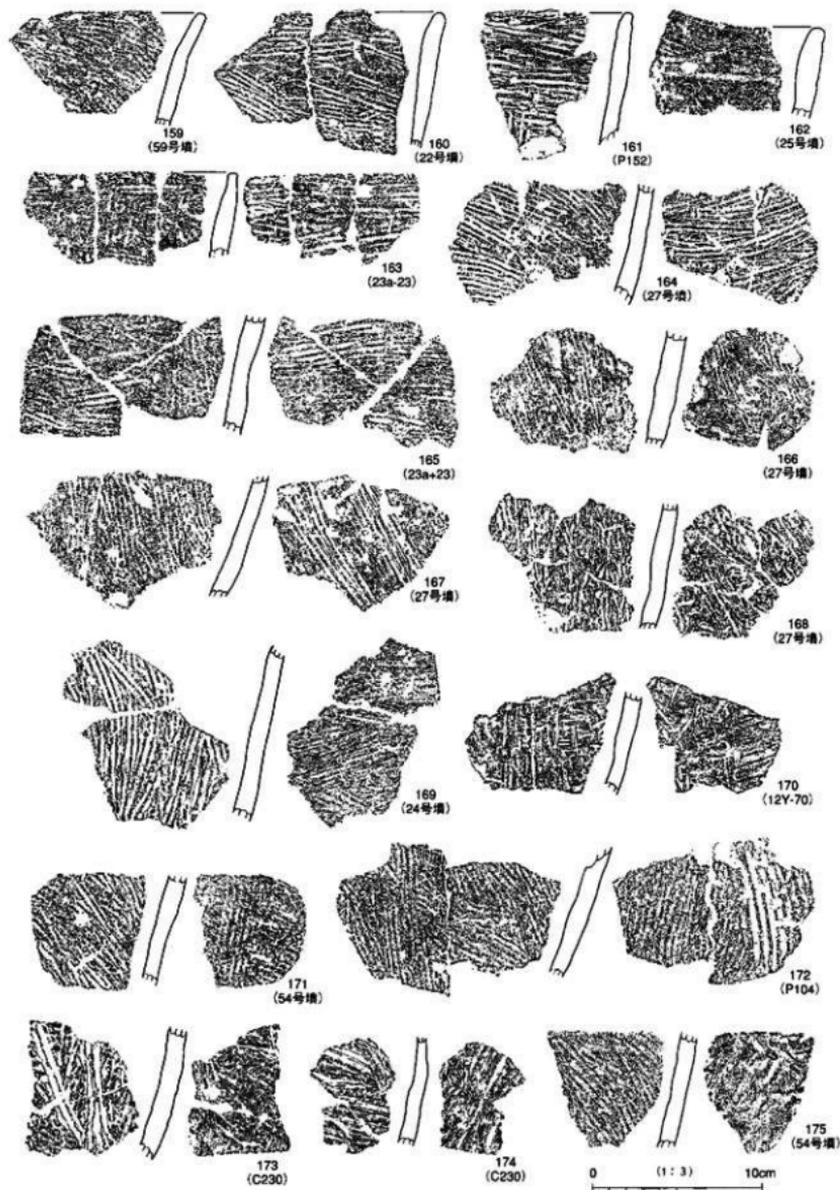
第66圖 遺構外繩文土器5早期



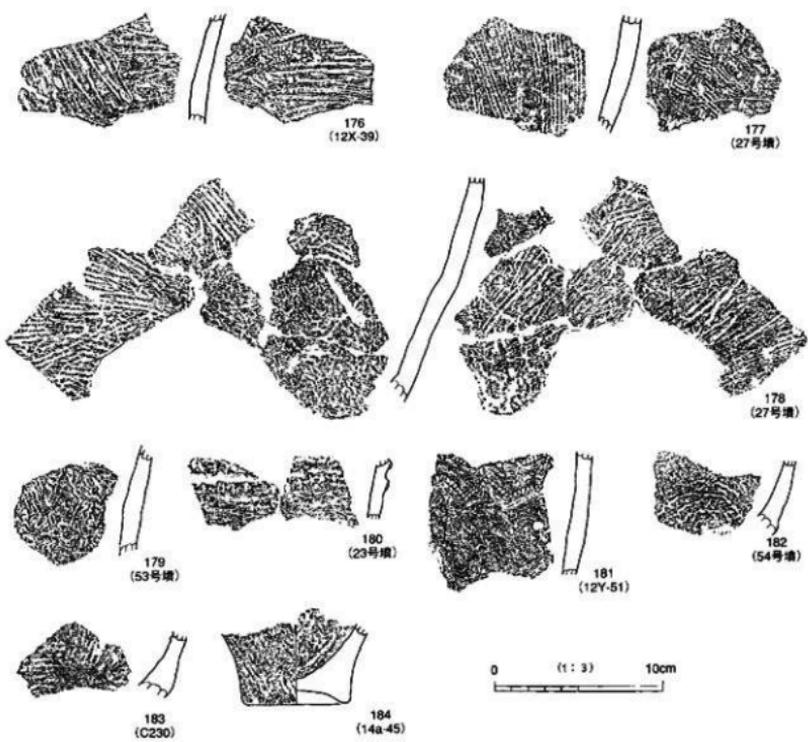
第67図 遺構外縄文土器 6 早期



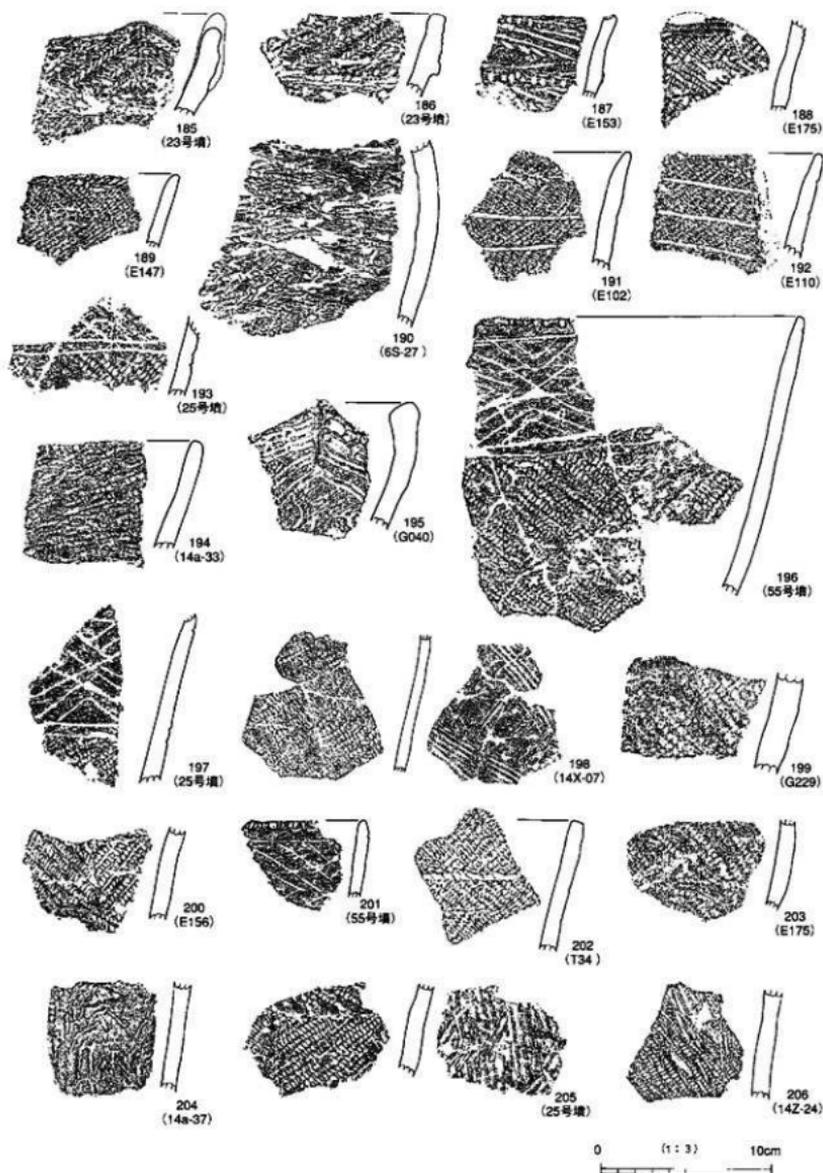
第68図 道橋外縄文土器7早期



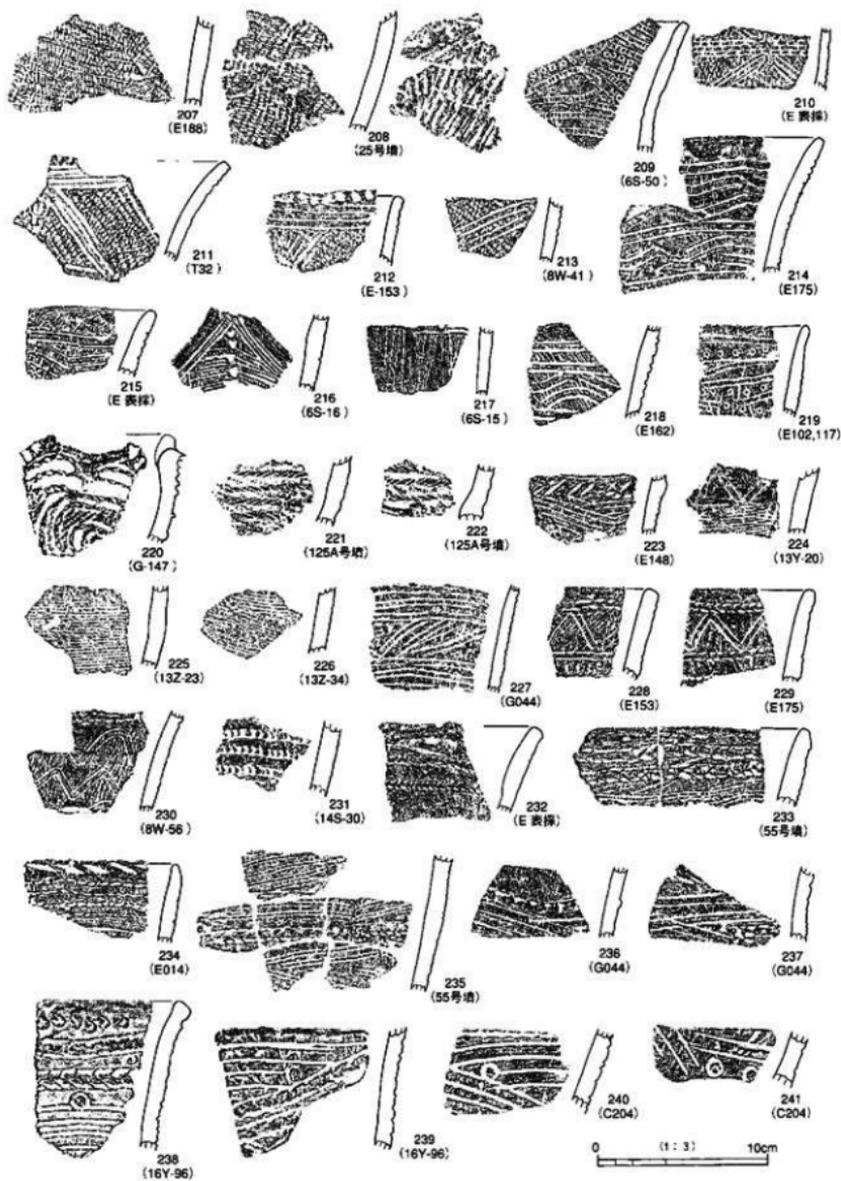
第69図 遺構外縄文土器 8 早期



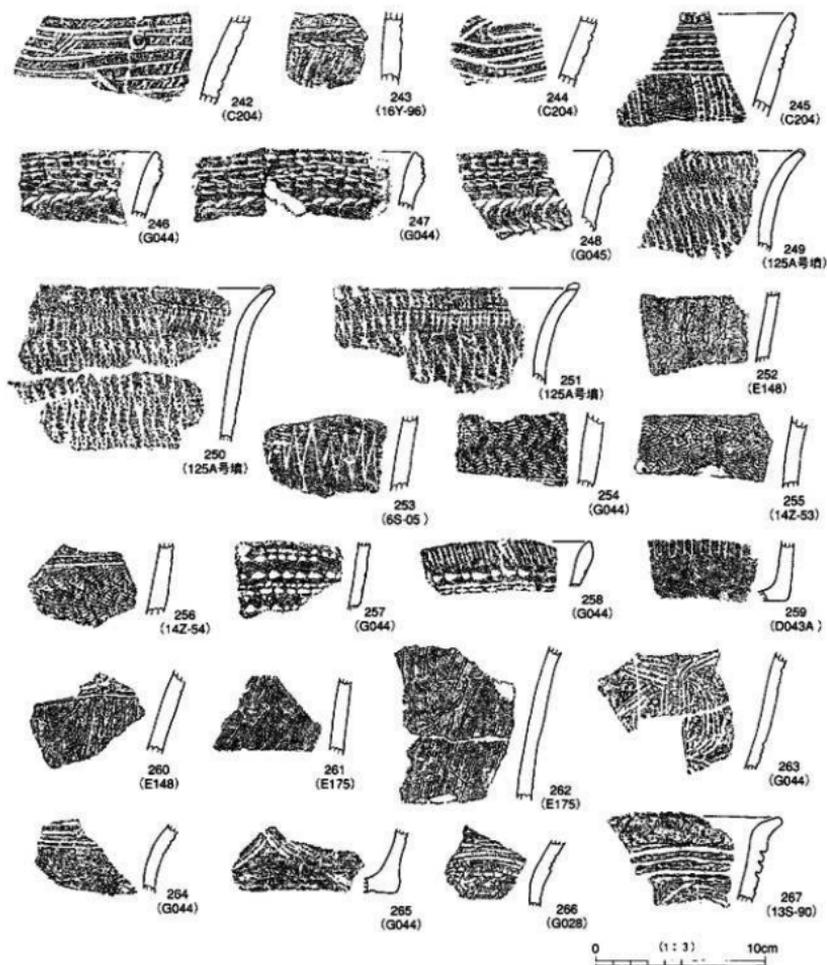
第70图 遺構外繩文土器 9 早期



第71図 道橋外縄文土器10前期



第72图 透模外绳文十器11前期



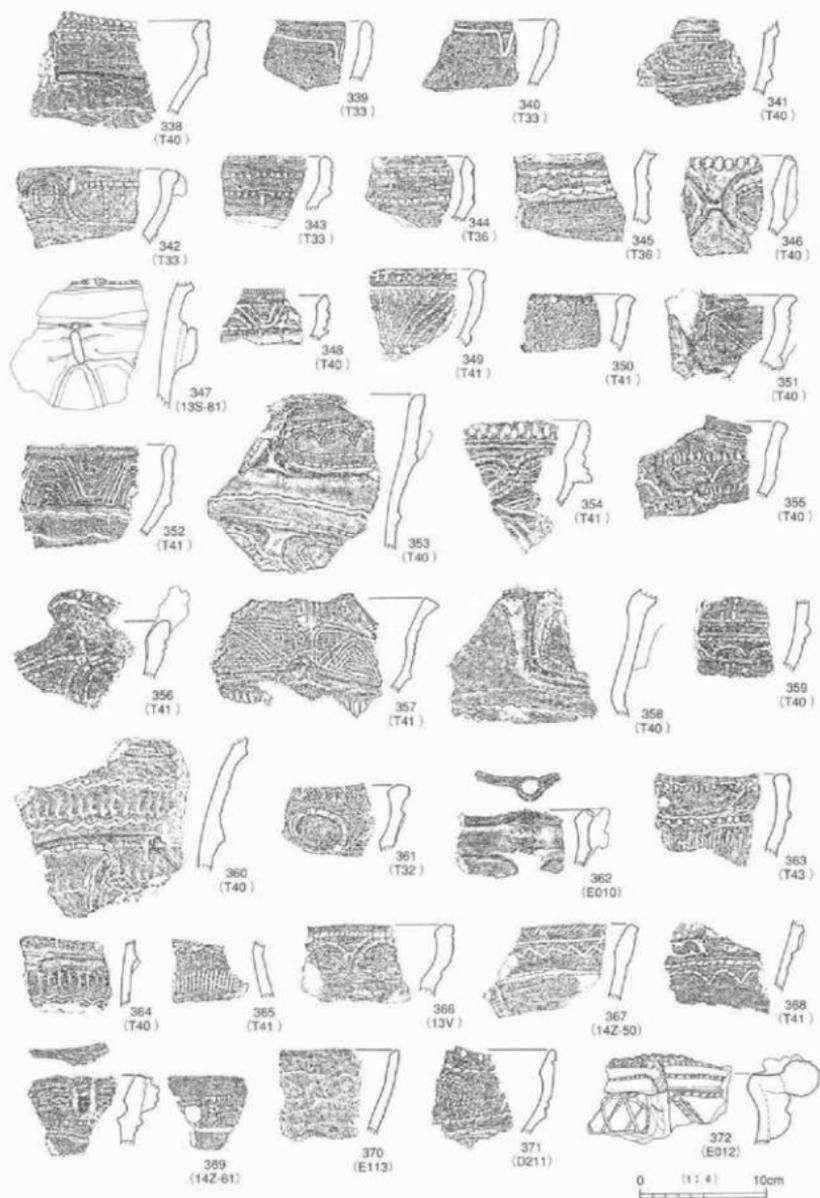
第73図 遺標外縄文土器12前期



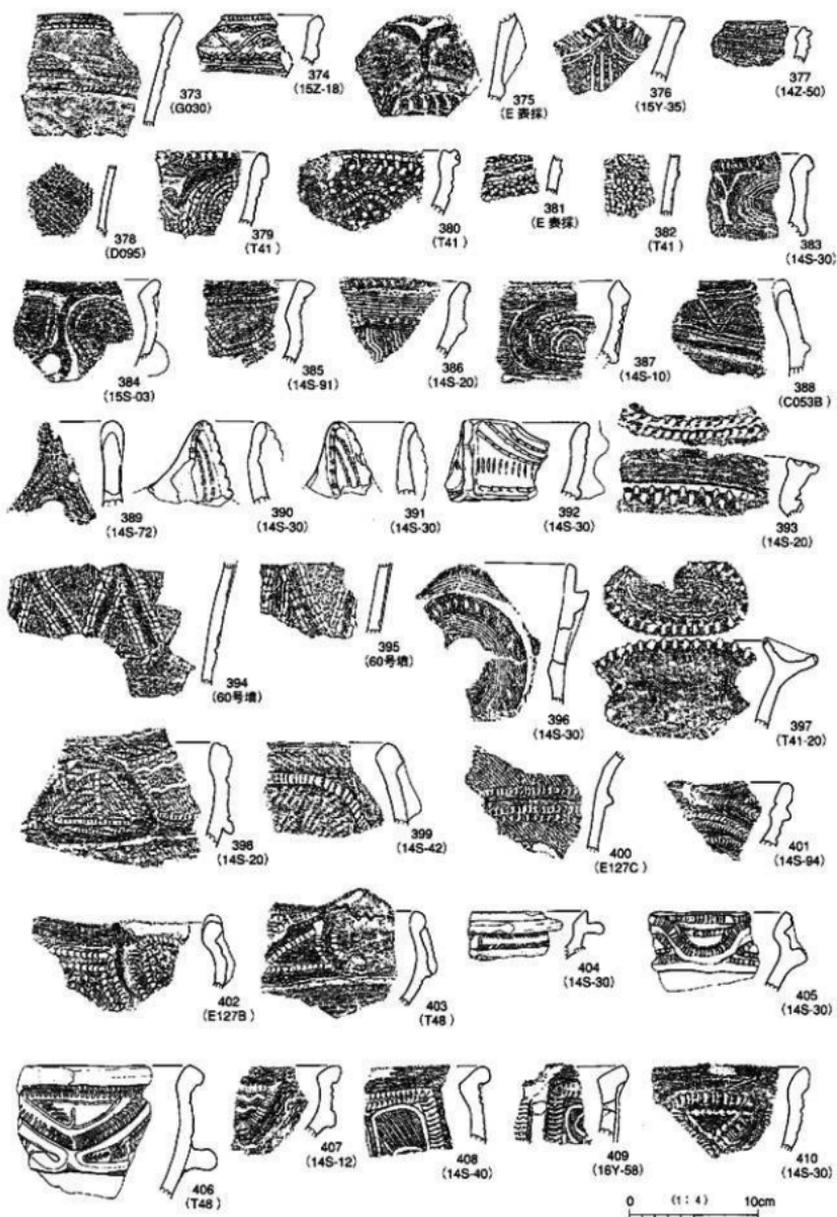
第74図 遺構外縄文土器13中期



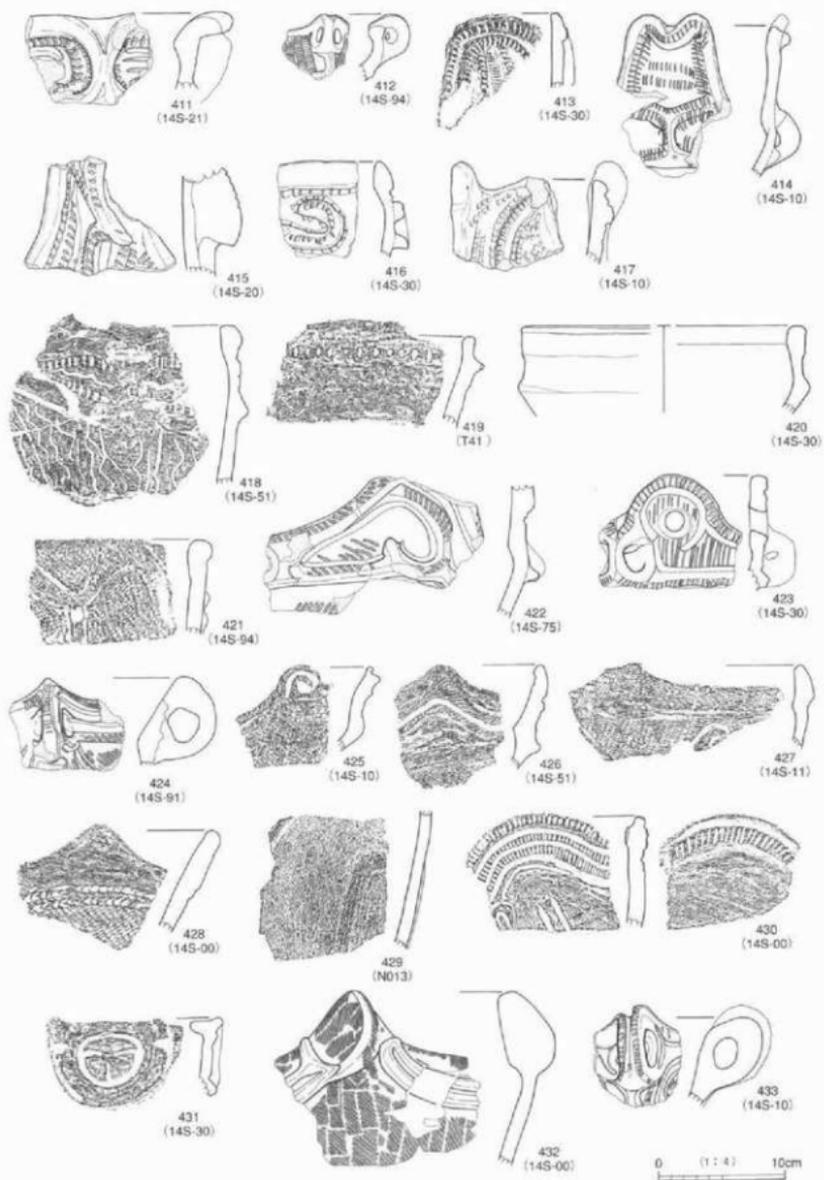
第75图 遺構外視文土器14中期



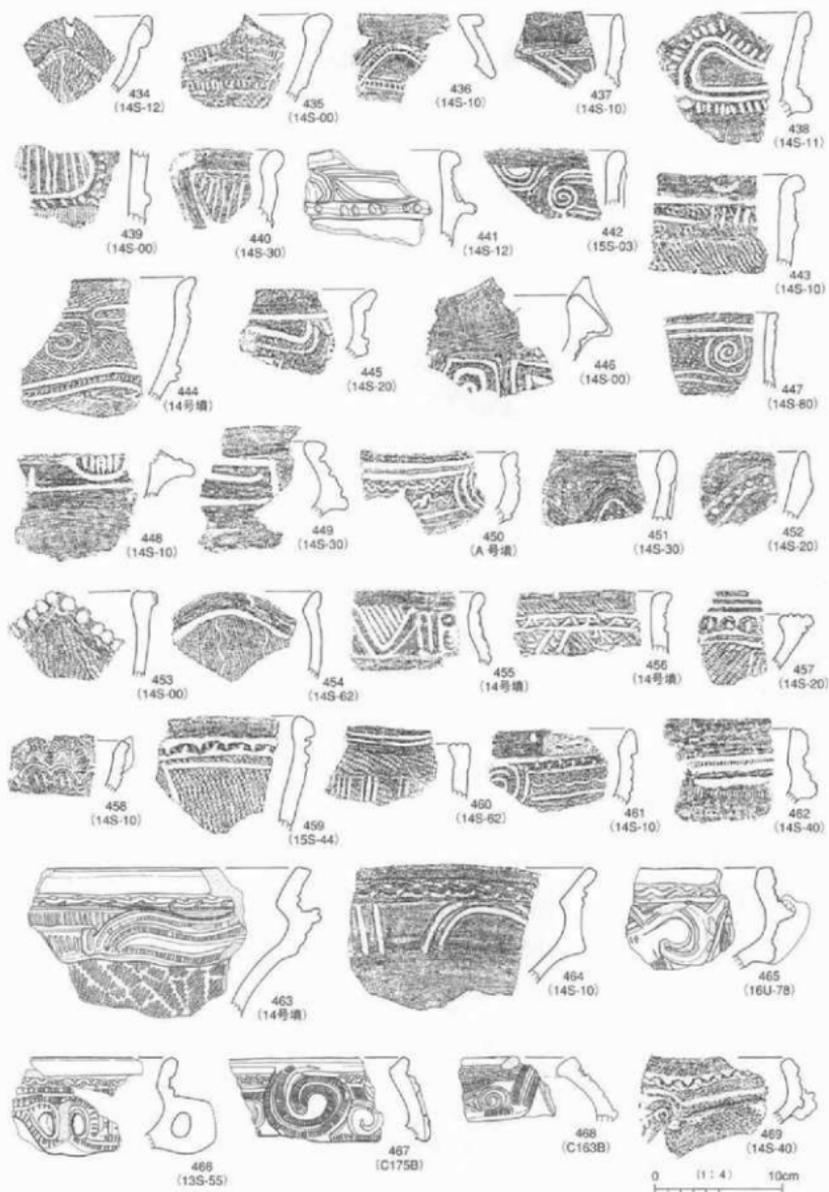
第76圖 遺構外繩文土器15中期



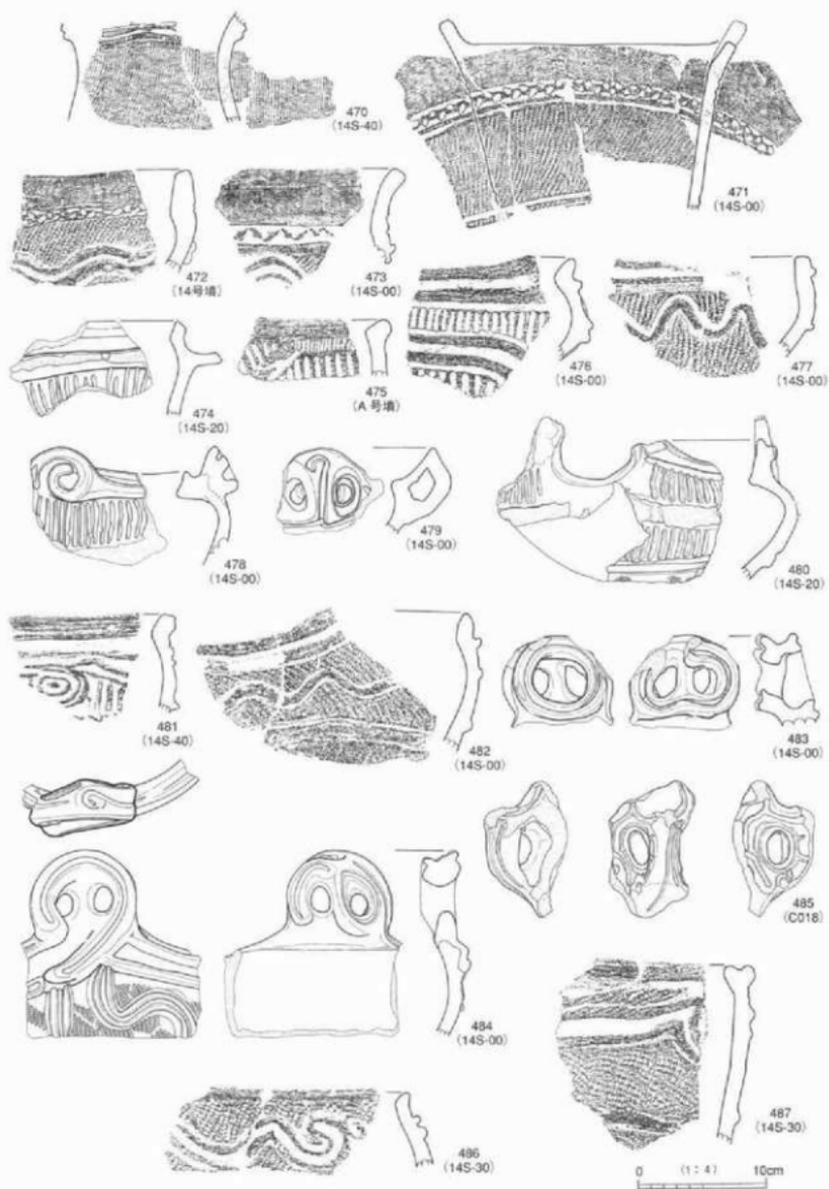
第77图 遗物外绳文土器16中期



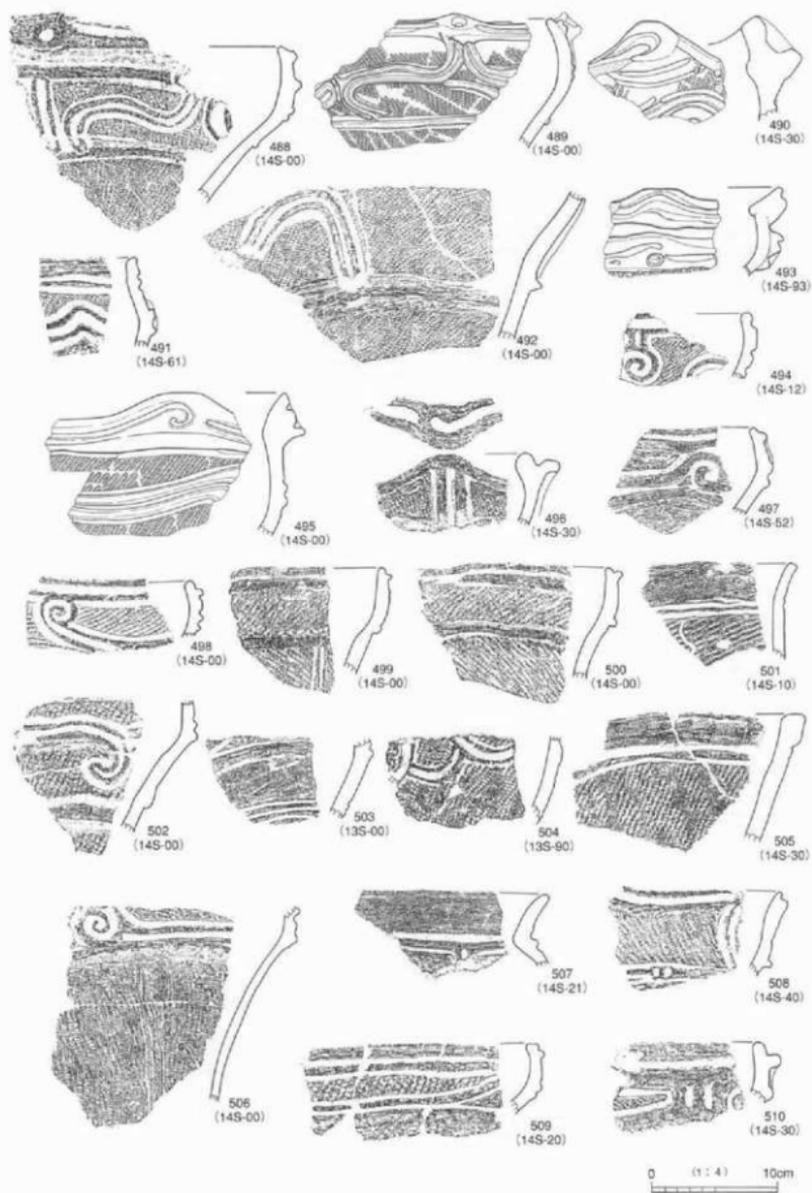
第78圖 遺構外繩文土器17中期



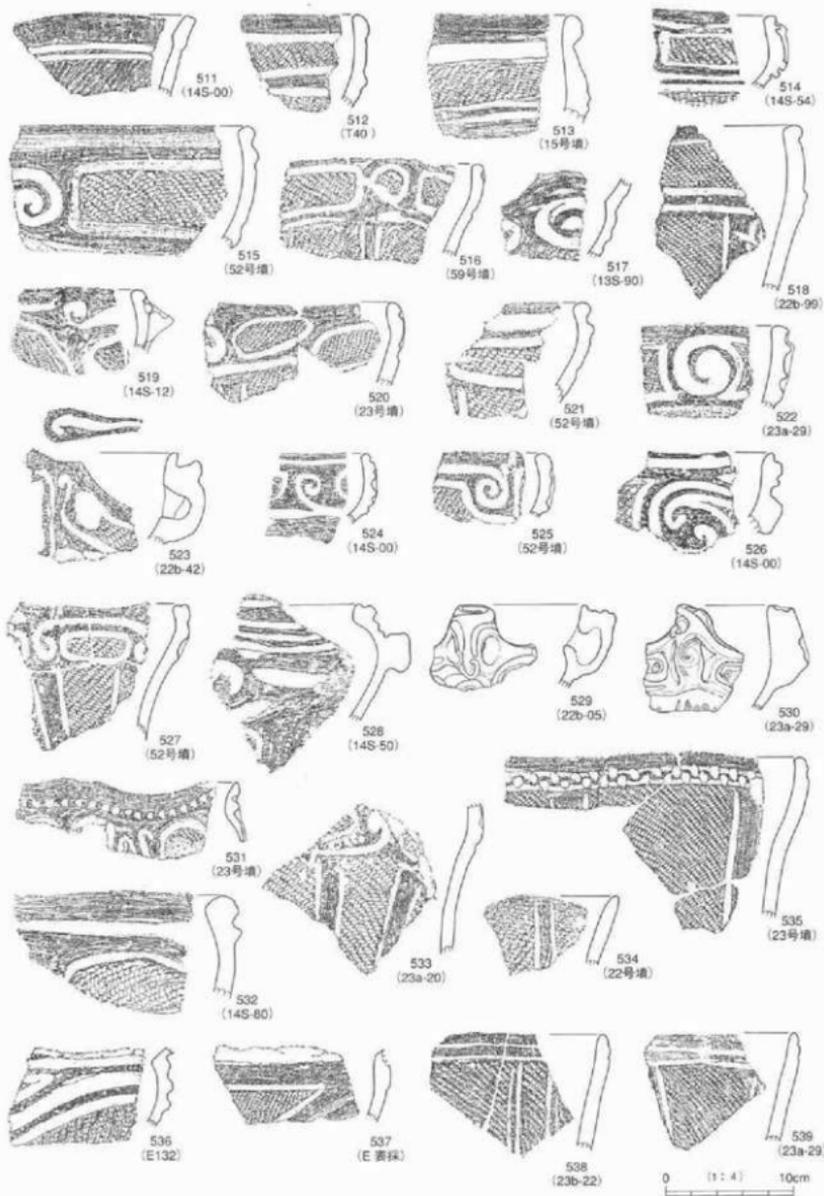
第79図 遺構外縄文土器18中期



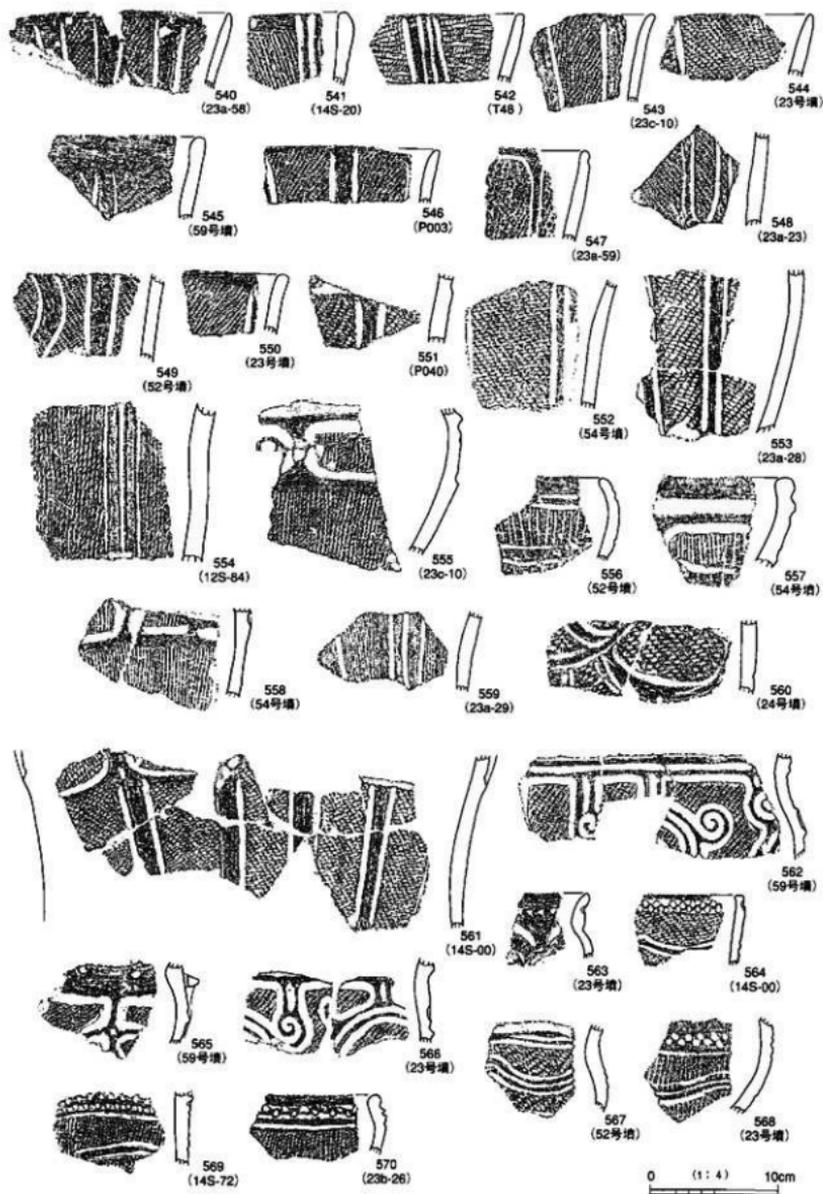
第80图 遺構外繩文土器19中期



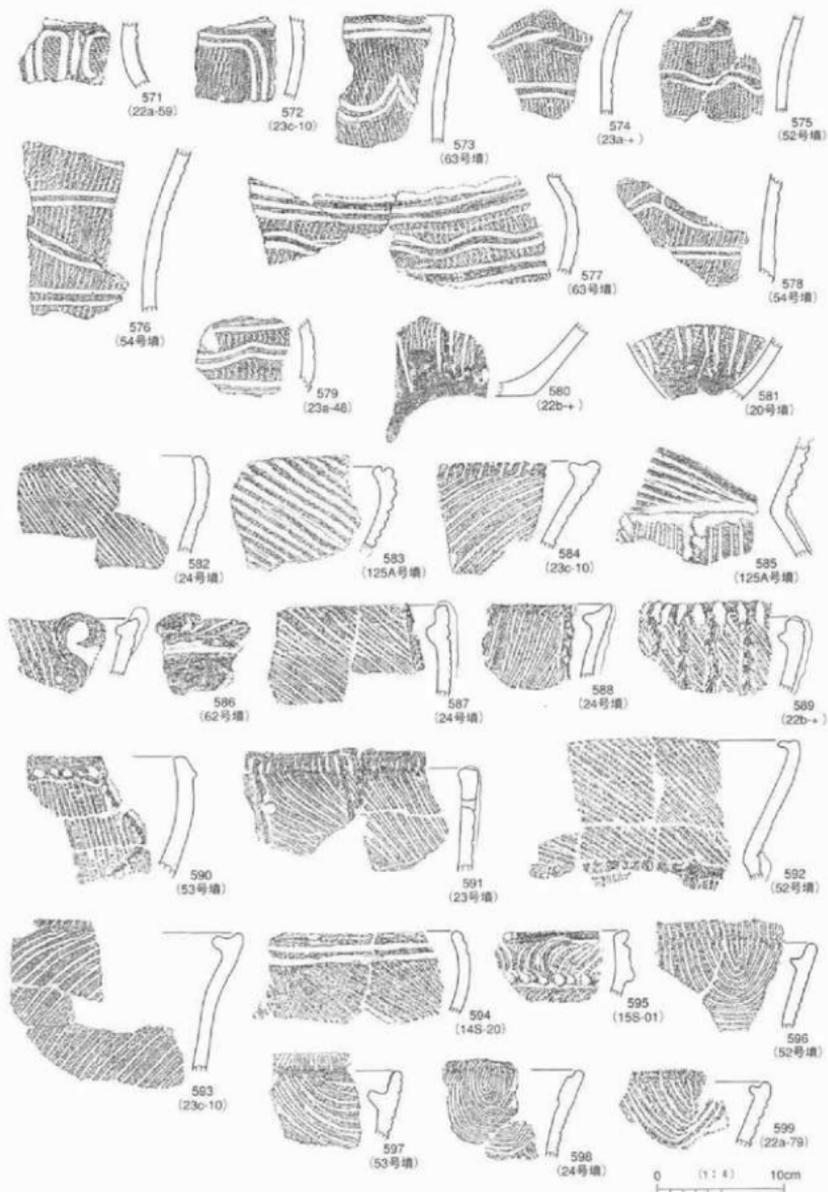
第81図 遺構外繩文土器20中期



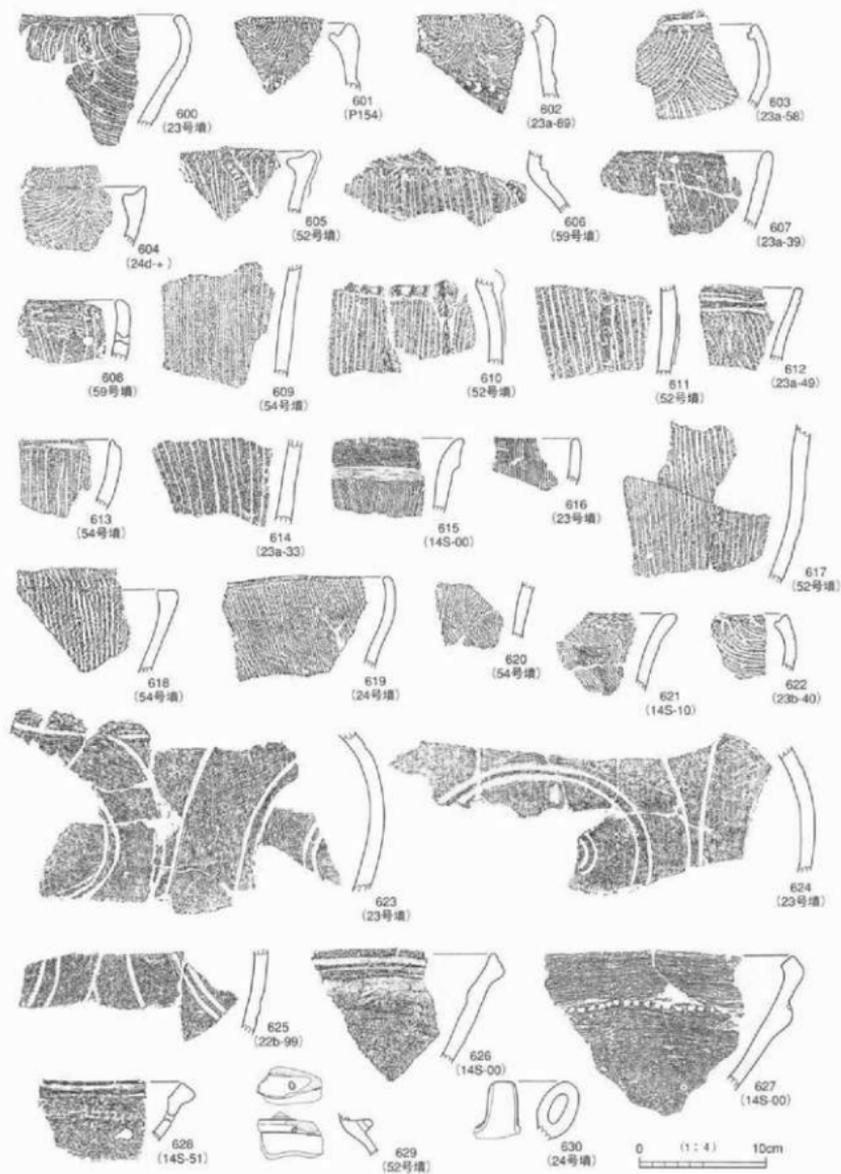
第82図 遺構外繩文土器21中期



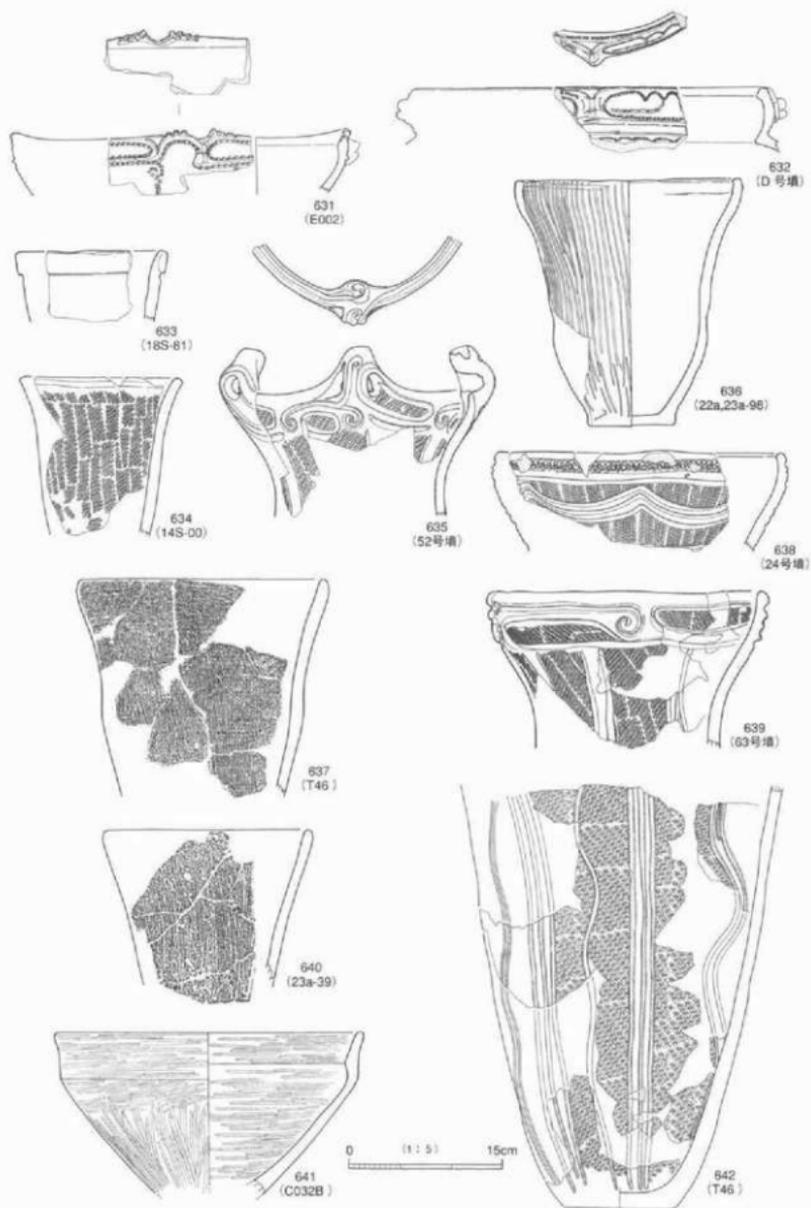
第83图 遺構外繩文土器22中期



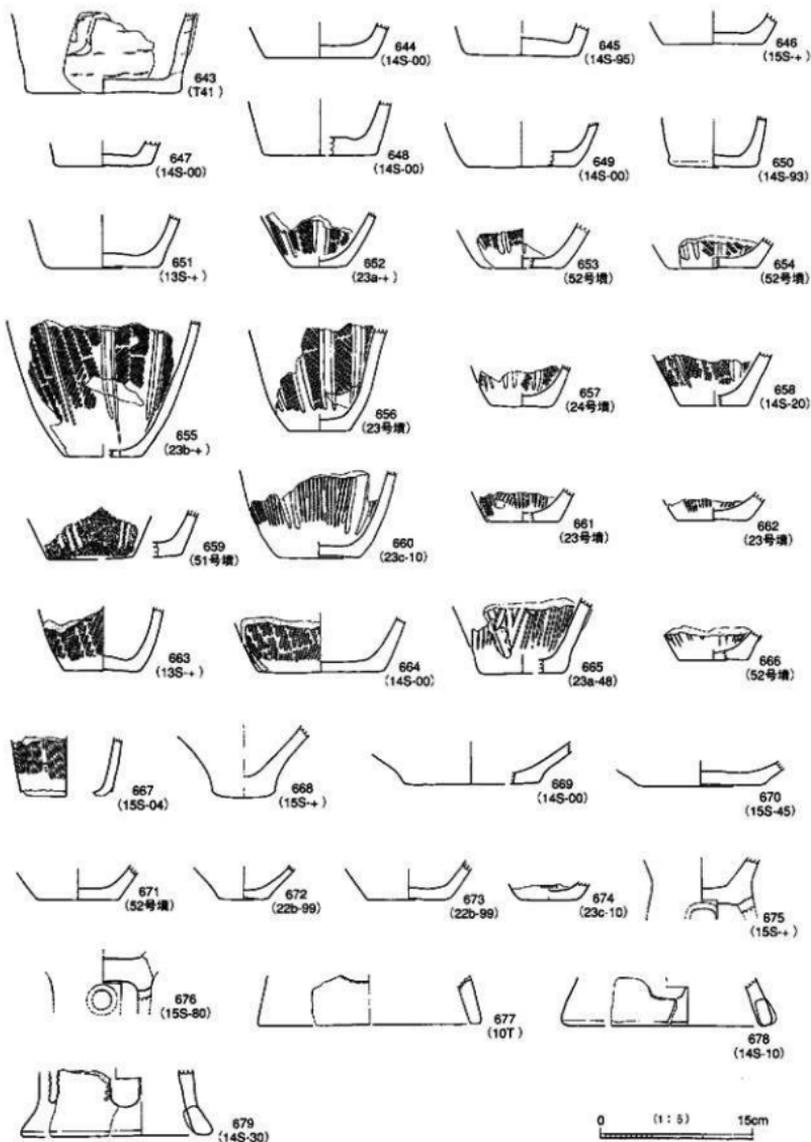
第84図 遺構外縄文土器23中期



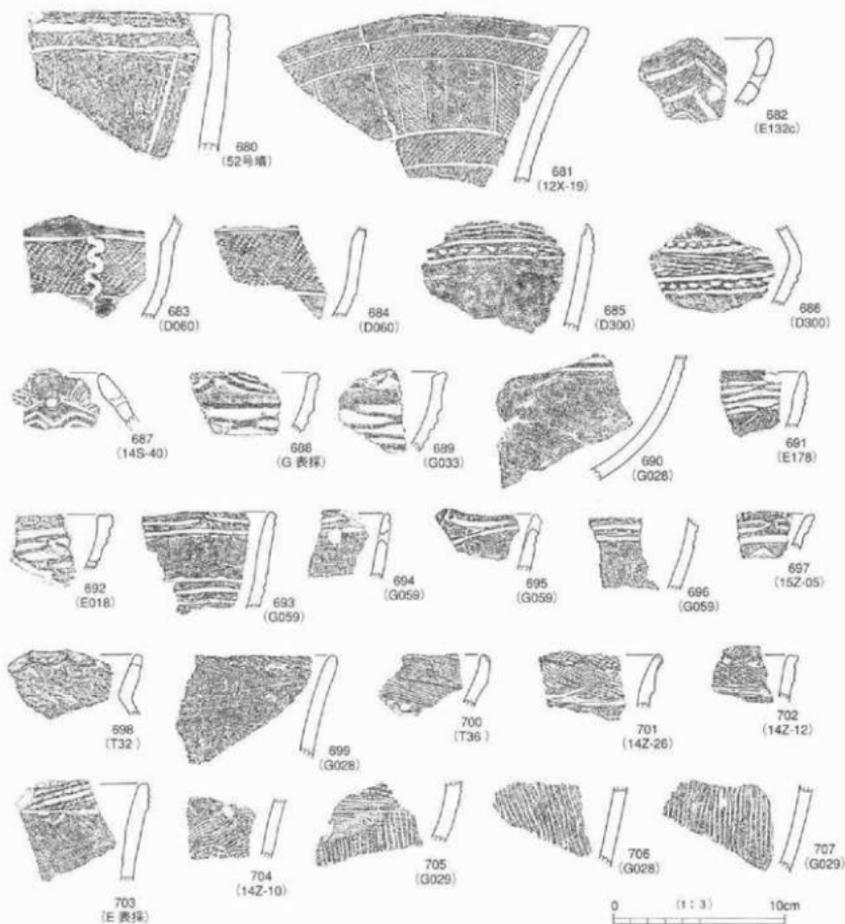
第85图 遺構外繩文土器24中期



第86图 道構外繩文土器25中期



第87图 遺構外縄文土器26中期



第88図 遺構外縄文土器27後・晩期

## 第2節 石器・石製品・土製品

### 1 石器 (第89～126図, 図版73～88)

多数の縄文時代石器が出土している。実測が必要として抽出された518点について報告を行う。石器群の内容を把握するためには、本来礫や剥片・砕片類を含めた全体を扱うべきであるが、今回は果たせなかった。ただし、詳細な計測と分布の検討が行われたC区遺物集中心地点と、D区遺物集中心地点の隣については、作成した資料をもとに概要のみをまとめて掲載する。

掲載資料については、計測値等の属性を第15表に示した。図および表の配置は、器種ごとに、縄文時代遺構出土資料、遺構外出土資料の順としている。大半は遺構外で出土したものである。出土土器の時期的な傾向からみて、縄文時代早期と中期の資料が多いことは間違いない。さらに石器の器種構成からみれば、中期の石器が圧倒的に多く、若干早期の石器が含まれているものと思われる。製品では石鏃、磨石類、打製石斧、磨製石斧が大半を占める。また、黒曜石の石核・剥片類が多いことも特徴で、大半は14S区を中心としたC区遺物集中心区から出土している。その概要はすでに第2章第3節5に記載した。加曾利E1式期に黒曜石による石鏃製作が行われている。「草刈貝塚」と呼ばれる広場集落の外側にこのような地点が存在することが明らかになった。

なお、実測・トレースを終了した後、器種の確認と事実記載のために8～40倍の双眼実体顕微鏡による観察を行った。その結果は以下の記載および表に示したものがすべてであり、抽出や実測に当たって全体について一律に行ったものではない。ところで、一部の石器については縄文時代以降に使われたものが混じっている可能性が高い。例えば、古墳時代の住居跡から出土した磨石類等は時代を特定するのが難しい。

#### (1) 石鏃 (第89図1～第93図177, 図版73～75)

177点を掲載した。石材別では黒曜石(112点)とチャート(41点)が大半を占める。形態別では凹基形(124点)が最も多く、平基形(27点)もみられ、凸基形はわずか(4点)であった。黒曜石ではほとんどが凹基形であるのに対して、チャートでは平基形も多くみられる。石鏃の未成品と推定された資料も多く、遺跡内で石鏃製作が行われたことを示している。また、欠損品が多いことも特徴としてあげることができる。未成品を除く155点のうち、89点(57%)が欠損していた。内訳は脚欠損36点、先端欠損28点、先端・脚欠損21点、側縁欠損4点である。

122は縄文早期のE159B号炉穴より出土した。黒曜石製で、薄く小さな剥片の縁辺のみに微細な調整を施す。1～8、10～18、63は中期の遺構から出土した。1～6はC015号住居出土である。石材や形態、サイズをみると、中期の遺構出土資料のなかで様々なものがみられ、全体的な特徴と変わりが無い。65は特異な形状である。

#### (2) その他の剥片石器 (第93図178・179, 図版75)

178は仮に石錐としたが、器種の明確でない黒曜石製品である。図の上側が錐状に加工されている。下側には一方の側縁に調整加工がみられ、もう一方の側縁は鋭く刃部状である。回転穿孔を行ったような痕跡は認められない。刃部状の部分には0.1mm程度の微細剥離が連続的に認められるので、使用された可能性がある。179は中期のC015Aから出土したもので、右匙に似た黒曜石製品である。図の下側には摩滅面の形成と粗面化が明瞭に認められる。もともとステップがあって平坦であった部分には線条痕も観察された。方向は剥片に対して縦方向が中心で、横や斜め方向のものもある。スクレイパー類として使われたものであろう。

### (3) 尖頭器 (第94図180～第95図194, 図版75・76)

縄文草創期から早期の資料であろう。180・181は安山岩製の大型尖頭器である。比較的扁平だが181は一部稜や素材の面を残す。182は早期のC192住居から出土した。表裏および左右の対称性が低く、剥離も不揃いである。石材はチャートに似る。遺構に伴う時期のものであろうか。186は中期のP052小堅穴から出土した。真っ赤な不明の石材を用いており、尖頭器の未成品の可能性がある。遺構に伴うものかどうか判断は難しい。187は身部の破片であろう。190は小形の本葉形尖頭器である。丁寧な剥離で薄くされた後に、両面を研磨によってさらに薄くしている。縦方向のきわめて細かい線状痕が観察された。191～194は有茎尖頭器である。

### (4) 楔形石器類 (第96図195～第98図243, 図版76・77)

両極打法のみられる石核・剥片類を一括した。多くは区別が難しい。195～209, 211, 213, 219, 232, 236～243は黒曜石である。232を除くと小さく、薄いものが目立っている。自然面を残すものがみられない。10S区と14S区で、石鏃・石核剥片類とともにまとまって出土している。素材面を残す石鏃の多くは、剥片の主要剥離面がみられることから、石鏃は主に剥片素材のものが主体であったろう。楔形石器は石鏃の素材として一部は使われた可能性が高いが、別の目的があったのかもしれない。チャートも小さなものが多いが、半数ほどには自然面がみられる。多くは円礫面をもち、焼けたものも複数見られる。小さな円礫から石鏃等の素材を得たものが多かったであろう。227は平坦な自然面をもつ。南房総嶺岡座の扇状チャートと推定されているもの(成田他1999)の剥離面と特徴が一致する。213は中期のC015住居から出土した。

### (5) 掻器・削器 (第99図244～第100図259, 図版77)

246は一方の側縁に不純物があり、それ以外の側縁は片面から調整剥離が行われている。細かく入念な歯状の加工である。図の下側は欠損するが尖っていたとみられる。尖頭器などの可能性も考えられる。248は比較的細かい調整剥離により直線的な刃部をつくる。249は1か所連続的な剥離があり、最も張り出した幅6mmほどの部分が白く潰れている。使用を示すものであろうか。250は全周に調整剥離がみられる。比較的厚みのある部分では白く潰れた箇所がみられ、これも使用痕と推定される。252は一方の側縁に調整剥離が行われ、他方は直角に近い刃部が残される。微細な剥離がみられる。253は比較的粗い調整剥離が施され、その一部や切断面の縁に微細な剥離が観察された。254は形の整った掻器である。刃状の加工のほかに、ごく先端の細かい潰れがみられた。これらの微細な剥離や潰れは使用痕である可能性が高い。256は明瞭な加工はみられないが、尖った縁の多くが潰れ、一部はかなり丸まっている。258は剥片の打面を残して他の側縁に調整剥離を施している。250・254・255・258は掻器であろう。このほかの資料は不規則な剥離が認められるのみであった。石材は、248が珪質頁岩製、ほかは黒曜石製である。

### (6) 石核 (第101図260～第104図286, 図版78)

260～270, 272～282は黒曜石の石核である。打面と作業面を頻繁に入れ替えながら、小形不定型の剥片を生産しており、残核はサイコロ状になっているものが多い。とくに小形のものには水和した面がみられない。剥片剥離後に残核として廃棄されたものが多かったであろう。270には打面以外にも側縁の潰れ、微細な剥離がみられる。一方、人形のもの交互剥離によって、碟器状の残核となっている。260はC015住居から、272はC032B溝、279はP010小堅穴から出土した。いずれも縄文中期の遺構である。

#### (7) 剥片類 (第105図287～第108図349, 図版79)

287～306, 310は使用痕と考えられる微細剥離のある剥片である。312～339は調整痕と考えられる二次剥離のある剥片である。326はC017A住居, 332はP001住居, 340～342はC015住居から出土した。いずれも中期の遺構である。中期の遺構・遺物集中区では黒曜石の石鏃製作に伴う剥片・砕片が多量に見つかっている。微細剥離のある剥片は、小さな不定形の剥片が加工, 使用されたことを示すものである。

#### (8) 打製石斧 (第109図350～第115図410, 第118図432・433, 図版80～83)

60点を掲載する。自然の円礫を加工したもの, 片理をもつ板状の素材を加工したもの, 破損した礫石器を再利用したものなど多様である。素材となった礫石器には磨製石斧, 磨石類, 石棒がある。表では, 両面に自然面をもつものを礫素材と判断し, 片面のみ自然面が残るものは礫とした。割合を見ると礫を素材としたことがわかるもの(円礫・焼け礫片・板状礫計10点)と, 礫石器を素材としたもの(13点)がほぼ半ばする。

形状は分銅形, 撥形, 短冊形, 楕円形に分けた。区分しえたものでは, 分銅形4点, 撥形5点, 短冊形21点, 楕円形7点となった。全体の形状を大まかに区分したものであり, 例えば, 着柄(装着用)加工があっても挟りが小さいものは短冊形とし, どちらかに区分しにくいものは撥または短冊とした。着柄加工としたのは, 分銅形の挟り部に特徴的にみられるもので, 調整剥離の後, 研磨によって側縁の稜を取り去る350のようなものが多い。例外的に, 353ではむしろ強い稜を作出している。刃部には部分的に研磨が行われたものがあり, 磨製石斧との区別が難しい。360・367・370の刃部には摩滅と光沢が認められた。磨製石斧のような線状痕はみられない。素材別には, 砂岩19点, ホルンフェルス13点, 安山岩・粘板岩・流紋岩各5点の順に多い。

350・352はP037住居から, 375はC015住居から出土した。いずれも中期の遺構である。多くの資料は時期を判断できないが, 打製石斧が発達し, 多くの土器が出土している縄文中期から後期のものが大半であろう。楕円形とした小形のものには, 早期末の資料が含まれている可能性がある。早期後葉の打製石斧(岡田・落合1994), 礫斧(蜂屋1998)とされているものに似たものがみられる。

#### (9) 磨製石斧 (第111図369・第372, 116図411～第118図438, 図版81～83)

23点を掲載する。定角式が中心である。全面が研磨されて素材や剥離の面を残さない。製品として持ち込まれたものが多いであろう。一方, 372・416・417・425・429は円礫素材の形状を活かしたものであり, 加工の手法はまちまちである。369は磨製石斧の破損面に調整剥離を加え, さらに刃部を再生したものとみられる。371は破損したのち打製の刃を利用した可能性があり, 打製石斧としておく。石材別には, 砂岩9点, 蛇紋岩・ホルンフェルス各4点, 凝灰岩3点の順に多い。多くの資料で刃部の先端に強い(深く, 比較的幅のある)線状痕と光沢が認められる。伐採具としての使用痕であろう。411・412はC040A住居から, 413はC125C住居から, 430はD221住居から, 432はP052小壜穴から, 436はP152小壜穴から, それぞれ出土した。いずれも中期の遺構である。

#### (10) 磨石類 (第119図439～第123図500, 第125・126図510～515, 図版84～87)

擦り, 敲き具および, その台となったとみられるものを一括した。67点ある。砂岩24点, 安山岩22点, 流紋岩16点でほとんどを占める。石材の選択性が強いといえるだろう。ほとんどは円礫を素材としており, 焼け礫や礫石器の破損品から転用されたものもみられる。表には, 擦り(研磨)・被研磨(研磨台)・敲き(敲打)・被敲打(敲打台)の観察結果を, 器種2にはその組み合わせを示した。様々な組み合わせが

あり、一定のものに偏らないのが特徴である。また、砂岩・安山岩・流紋岩の3種類の石材をとくに使い分けた形跡は認められない。

488は円柱状の礫の両端を擦り用と敲き用に使い分けている。側面の剥離は意識的に行われたものとみられる。擦り面を下にすると握りやすく、搦り粉木状にやや回転しながら使うのに適している。一方、敲打面を下にすると、太い部分を持つことになり、握りやすく手の中でずれにくい。磨石類のほとんどが目的を限定せずに使われた計画性・規格性の弱い道具であり、このような事例は数少ない。

443・444はP161竈穴から、481はP160竈穴から出土した。いずれも早期の遺構である。439はC017A住居、440はC080A住居、441はP152小竈穴から、479はP049小竈穴から出土した。これらは中期の遺構である。なお、弥生時代、古墳時代の遺構から出土したものは、その時代に使われた可能性がある。時期の判断は困難であり、便宜上縄文時代の遺物として掲載した。

#### (11) 石皿 (第124図501～126図515、図版86・87)

9点を掲載した。多孔質なものを中心として安山岩がよく用いられている。大きな石皿の小片が主体である。蜂の巣石状の窪みをもつものも多い。505は中期のP001住居から出土した。

#### (12) 石冠 (第126図517、図版88)

多孔質で軽い安山岩製である。著しく摩滅しており、実用品なのであろう。

### 2 石製品 (第126図516～第127図、図版88)

1～6は蛇紋岩製のけつ状耳飾である。前期の資料であろう。すべて破損しており、破損後も加工を加えて使用した痕跡をもつものが多い。石材の色調は様々であるが、研磨された面に黒色鉱物が浮き出ている点で一致する。これは南房総嶺岡産とされる蛇紋岩にみられる特徴である。5も含めて、研磨による粗い線状痕が明瞭につく。線状痕は1・5・6の割れ口にもみられる。欠損後、そのまま放棄されたもの(4)もあれば、割れ口を研磨、両端に穿孔して使用したもの(1・5)、再び破損して放棄されたもの(2・3・6)もあったという想定が可能であろう。1の割れ口付近の穿孔部には表裏面に紐ずれ痕跡が明瞭に認められる。7・8は垂飾である。漆黒で7には黒色鉱物の浮き出しがみられる。線状痕が明瞭であるが、けつ状耳飾に比べるとずっと細かく、人念に研磨されている。8は勾玉であろうか。9～12は円筒形ないし臼形をしており、あえて分類すれば9と11は管玉の部類、10と12は丸玉となろう。弥生時代～古墳時代の遺構から出土しているが、形状から縄文時代の遺物として掲載する。いずれも黒色鉱物の浮き出しがみられ、蛇紋岩であろう。9は滑石に似る。12は漆黒だが薄らと斑紋がみえる。10～12はいずれも細かい線状痕がついており、人念に研磨されている。とくに10は顕著である。12は破損面が研磨されており、破損後も使用されたことがわかる。9・10には紐ずれがみられる。なお、10は穿孔が直線的で回転穿孔時の段が付いていない。当地域の縄文の玉には少ないタイプであり、出土遺構(弥生時代)に伴う可能性もある。

#### 3 土製品 (第127図、図版88)

16は熱糸文土器末期のバイオリン形土偶であろう。中間に括れをつけて腰の括れと臀部を表現している。上半身には乳房の表現がある。左胸部分の中心がむしろ窪むのは貼りつけた粘土が剥がれたものとみられる。周囲では、表面にごく薄い赤く発色した層を形成しているのに対して、この窪んだ部分にはなく、擬口線状を呈す。上面には10本前後の細い刻みがある。これが頭髮の表現であるとすれば、全身像というこ

とになる。下半身にはとくに表現がみられないが、この中央部にのみ白い付着物がある。性的な儀礼に使われた可能性も皆無とはいえないだろう。

#### 4 土器片錘 (第128図, 図版66~72)

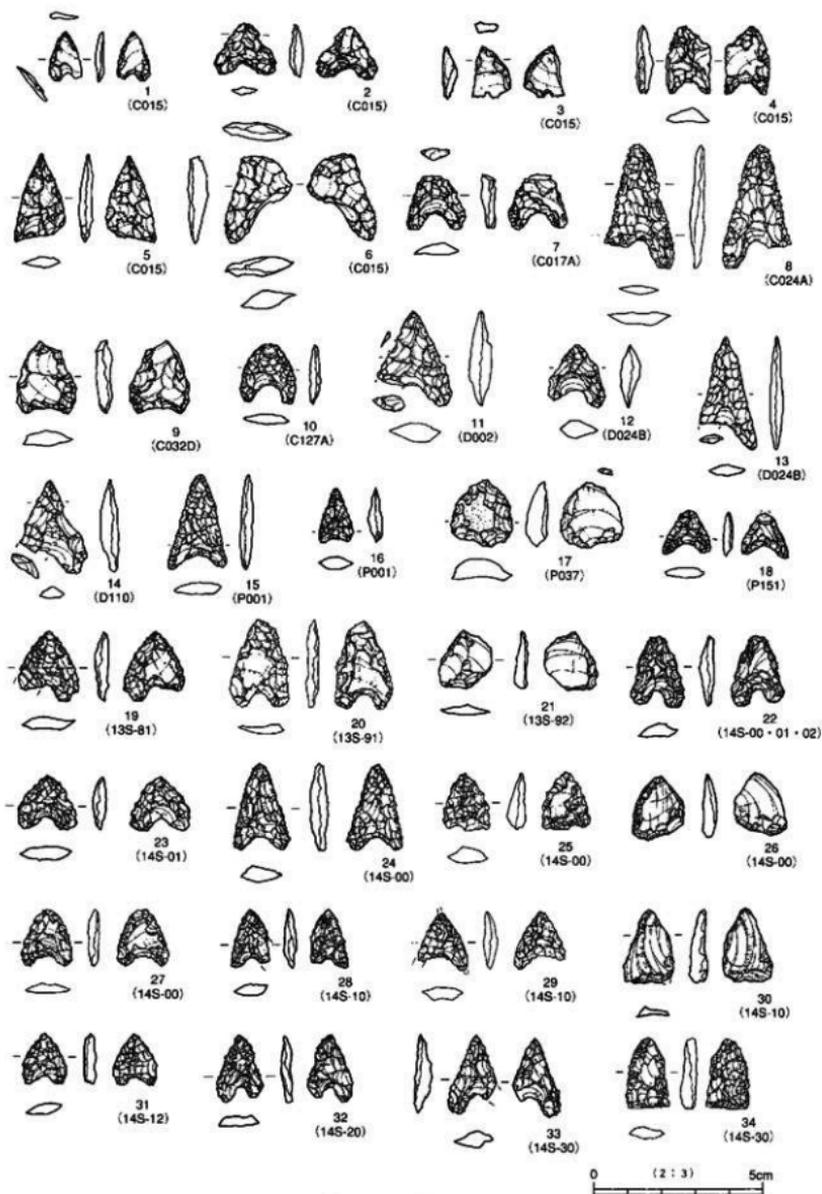
第17・18表と写真図版に492点を掲載したが、再度確認したところ加工の認められない土器片が多数混じっており、残った数は424点である。ただし、このなかには後で述べる未製品を含んでいる。なお、第18表に別に示した59号墳出土資料のうち、第17表から漏れたものが24点あるので、これを併せると448点となる。都合によりC059出土資料のみを図化している。大グリッド単位でみると、14Sで138点、23bで92点、15Sで35点、13Sで32点、23aで26点、12Sで24点、24bで20点の順に多い。これらの地区では阿玉台式から加曾利EⅡ式の土器が集中的に出土している。14S区の資料は、C区遺物集中地点に伴うものが中心である。報告済みの草刈遺跡B区で2,403点出土しており、未整理のH区でも多量に出土している。遺跡全体の数は全国でも最多となるだろう。

大きさ 計測値と重量を第17表に示す。長さとは幅は切込軸を長軸として計測した。欠損が明らかなものは空欄とし、表の末尾には基本的な統計量を示した。これによると、平均的なサイズは長さ5.08 ( $\pm 1.13$ ) cm, 幅4.35 ( $\pm 1.03$ ) cm, 厚さ1.09 ( $\pm 0.17$ ) cm, 重さ33.16 ( $\pm 16.93$ ) gである(カッコ内は1標準偏差を示す)。

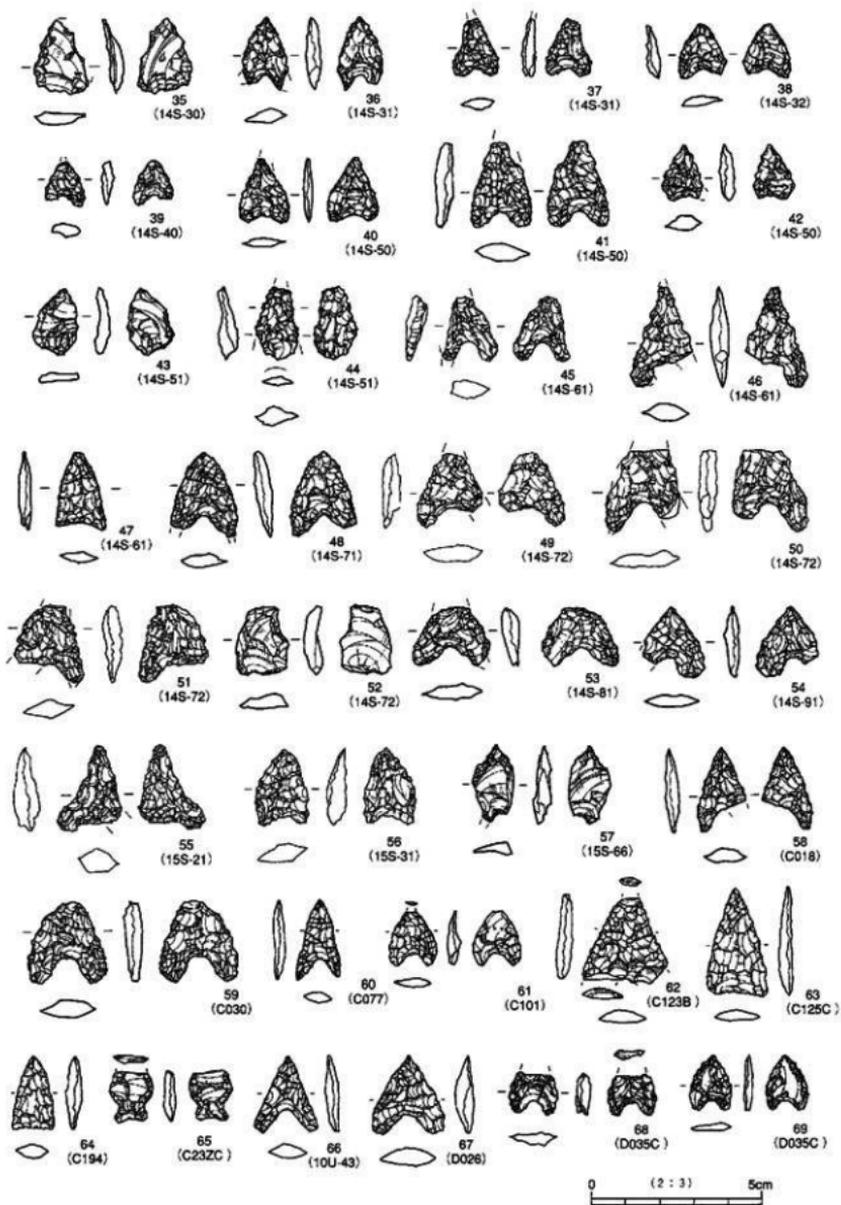
時期 阿玉台式前半から加曾利EⅡ式までの土器がほとんどである。1点のみ早期条痕文土器片を用いたものがあるが、これも切り込みの状態がよく似ていて中期のものと同様である。これは例外的であって、条痕文土器片もたくさん利用できたはずであるが、加工当時の土器を使う意識が存在したらしい。

製作跡 発掘調査の際に、C059住居で土器片錘やその未製品と思われる土器片がまとまって発見された。この点については、第2章第3節1で事実記載を行ったので繰り返さない。整理作業では、同様のまとまりをほかに数例発見した。59号墳出土資料は、占墳の調査に伴って墳丘および墳丘下や周溝内一括で取り上げられたものである。縄文土器は早期条痕文土器と加曾利EⅡ式土器があり、後者は大破片が多く遺存状態もよい。取り上げた層位は、墳丘盛土内であるか、墳丘下からであるかは不明だが、状態からみれば墳丘下のⅡ層中に包含層を形成していた可能性が高い。59号墳は墳丘の径15mの比較的小規模な円墳である。土器片錘の多くは以下のように北西側1/4から取り上げられているので、まとまった状態で埋まっていた可能性もある。見つかったのは土器片錘29点、その未製品と考えられる周縁を研磨した土器片は18点ある。同一個体の土器破片を素材とする組み合わせは4例ある。写真から漏れたものも含めて、別表に素材土器A~Dとしておいた。Aは3点のうち434と435が接合する。Bでは3点のうち436・437が接合する。なお、AとBも同一個体であった可能性が高い。比較的大きさが揃っており、研磨や成形の程度も似ている。Dとした24と25はいずれも周囲が丁寧に研磨され、24のみは切込みが入っている。このほか、明らかに研磨された後に欠損したものが多数見つかっている。

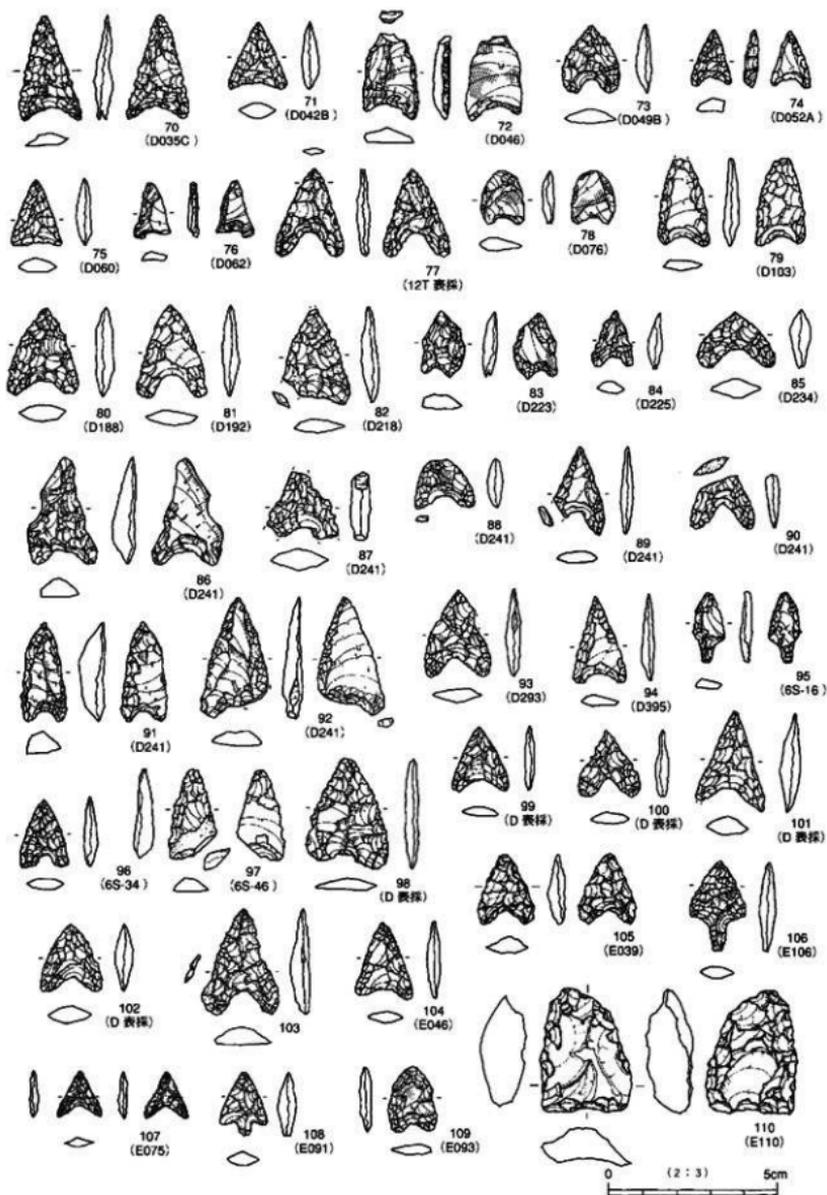
同様の事例はC177B住居にもみられた。占墳時代の177A住居で取り上げられたものもふくめて、74・75・76・79・80の5点が同一個体の土器から作られている。形状はみな小判形でよく似ているが、大きさはやや幅がある。74の割れ口は新しい。78と84も同一個体の土器を使っているし、81は14号墳から取り上げられた87と同一個体である。素材となった土器の示す時期は、勝坂・中峠段階~加曾利EⅠ式であり、他の出土土器と一致する。



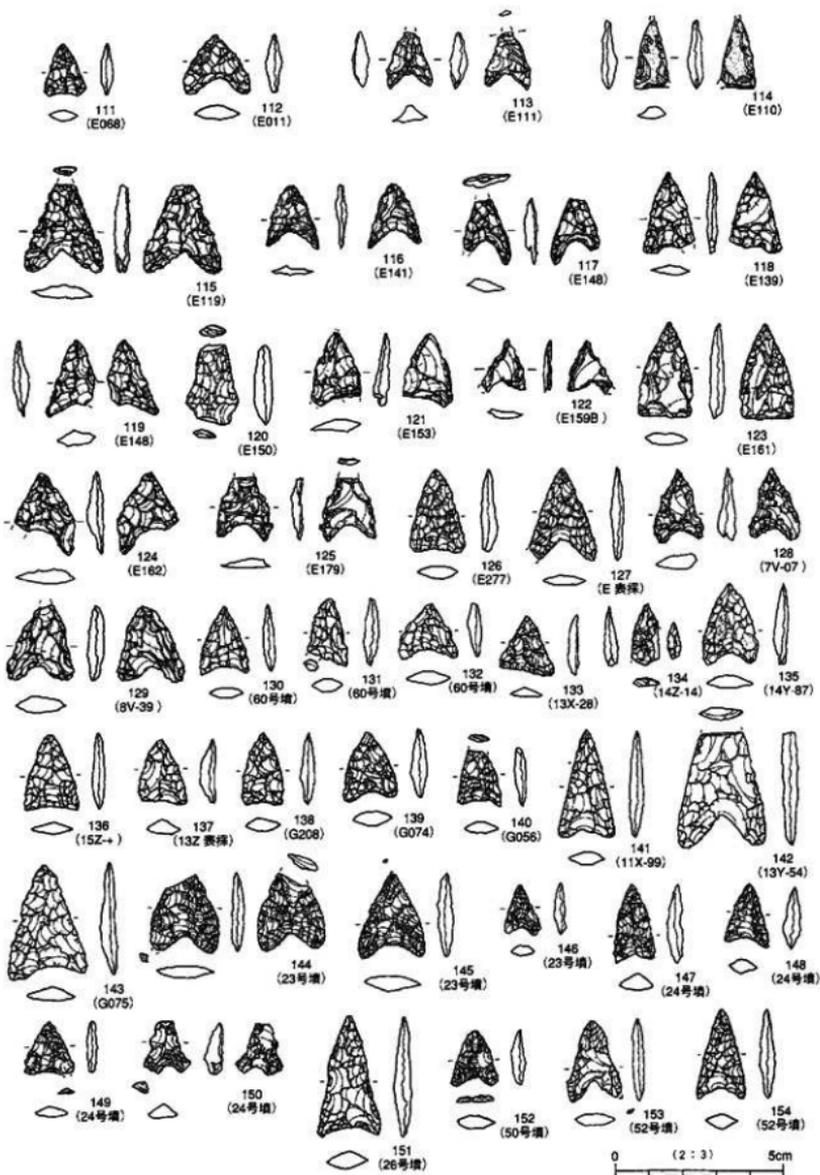
第89图 石鏃 1



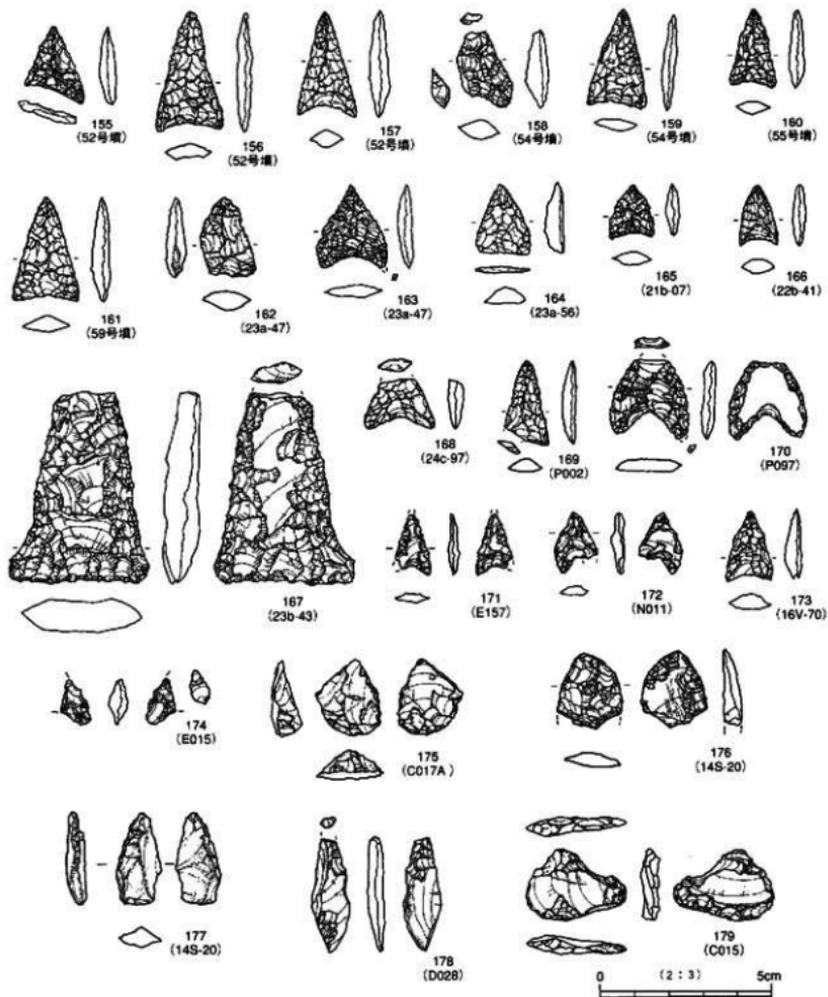
第90図 石鏃 2



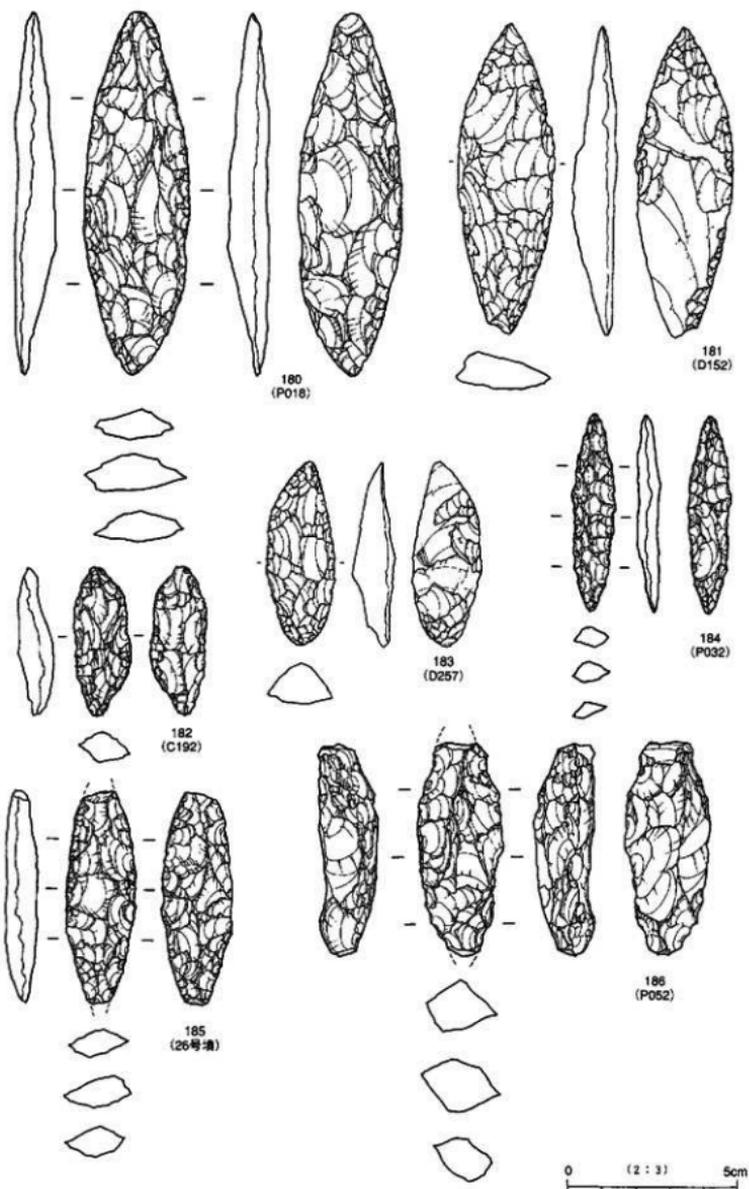
第91图 石藏3



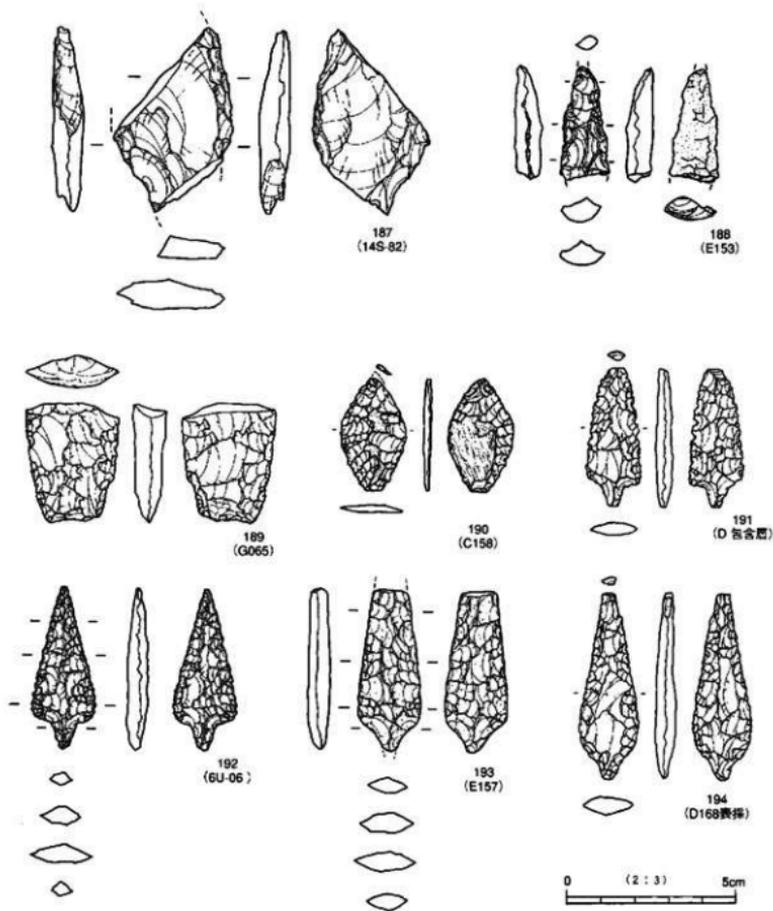
第92図 石鏃 4



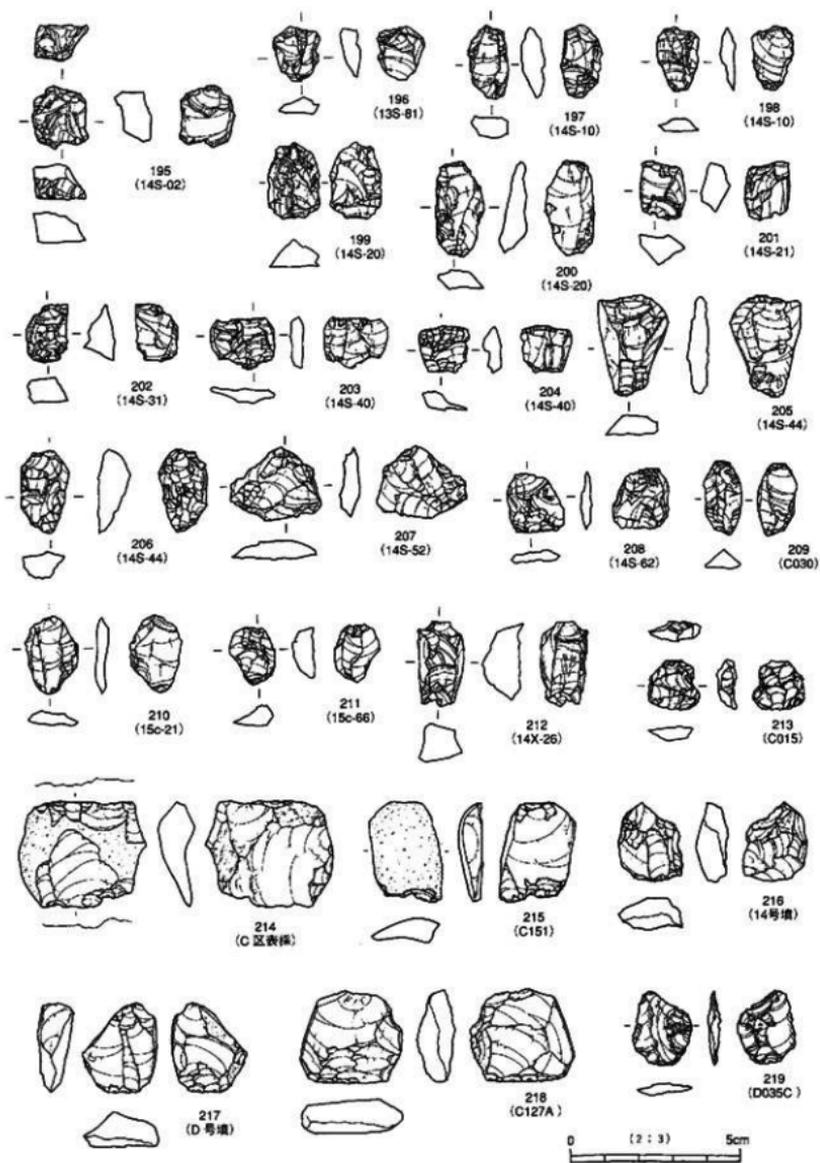
第93図 石鏃 5 その他の剥片石器



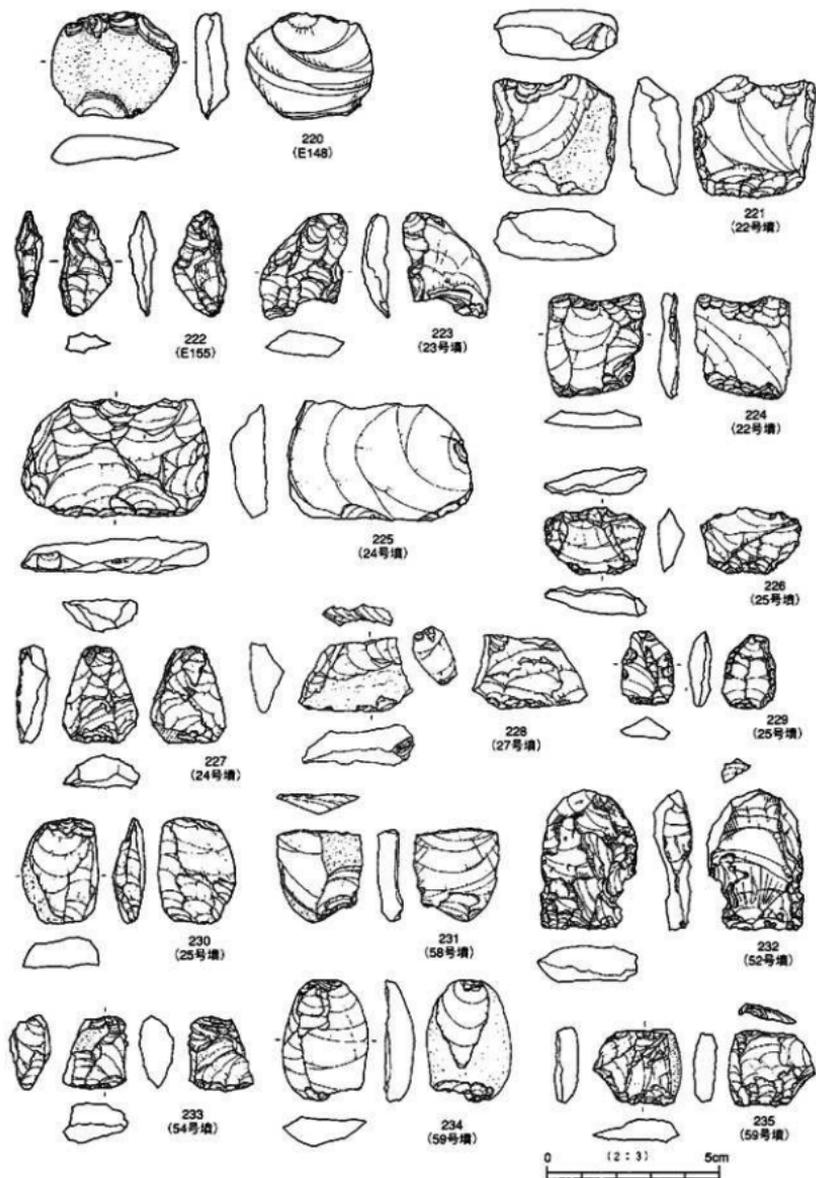
第94圖 槍先形尖頭器 1



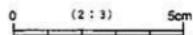
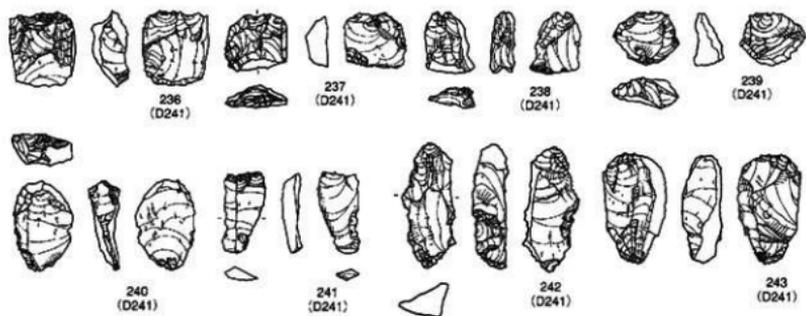
第95図 槍先形尖頭器 2



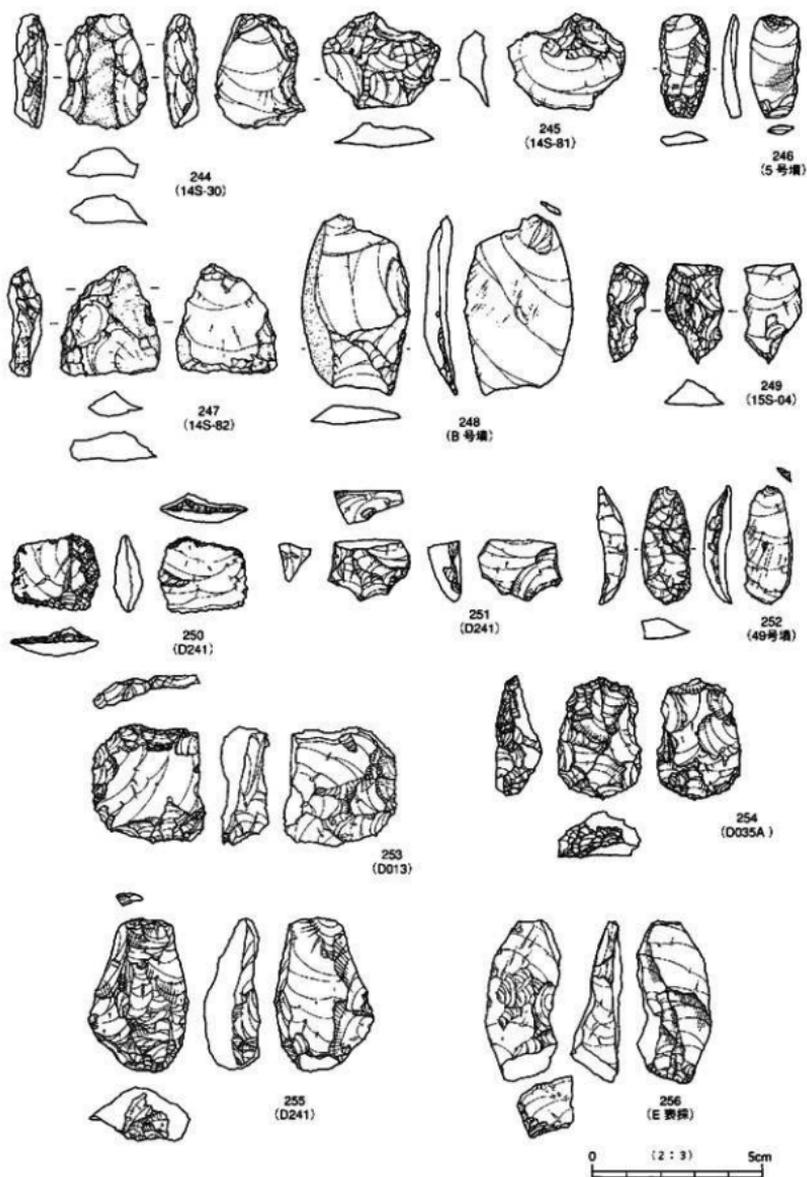
第96图 楔形石器類 1



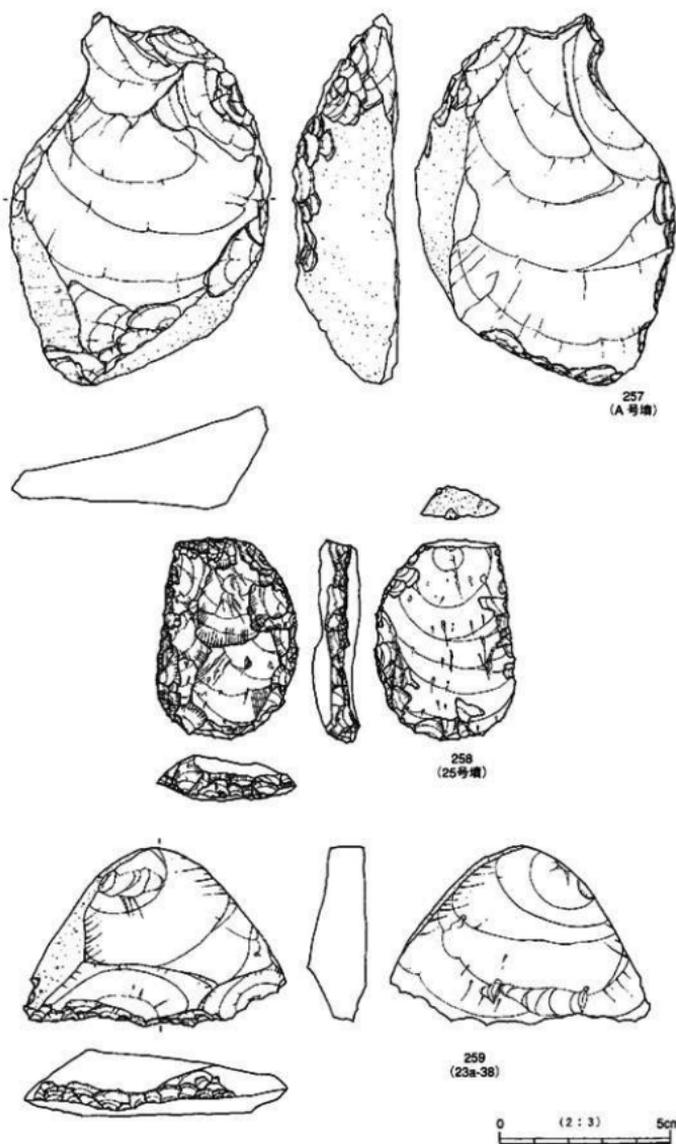
第97图 楔形石器類 2



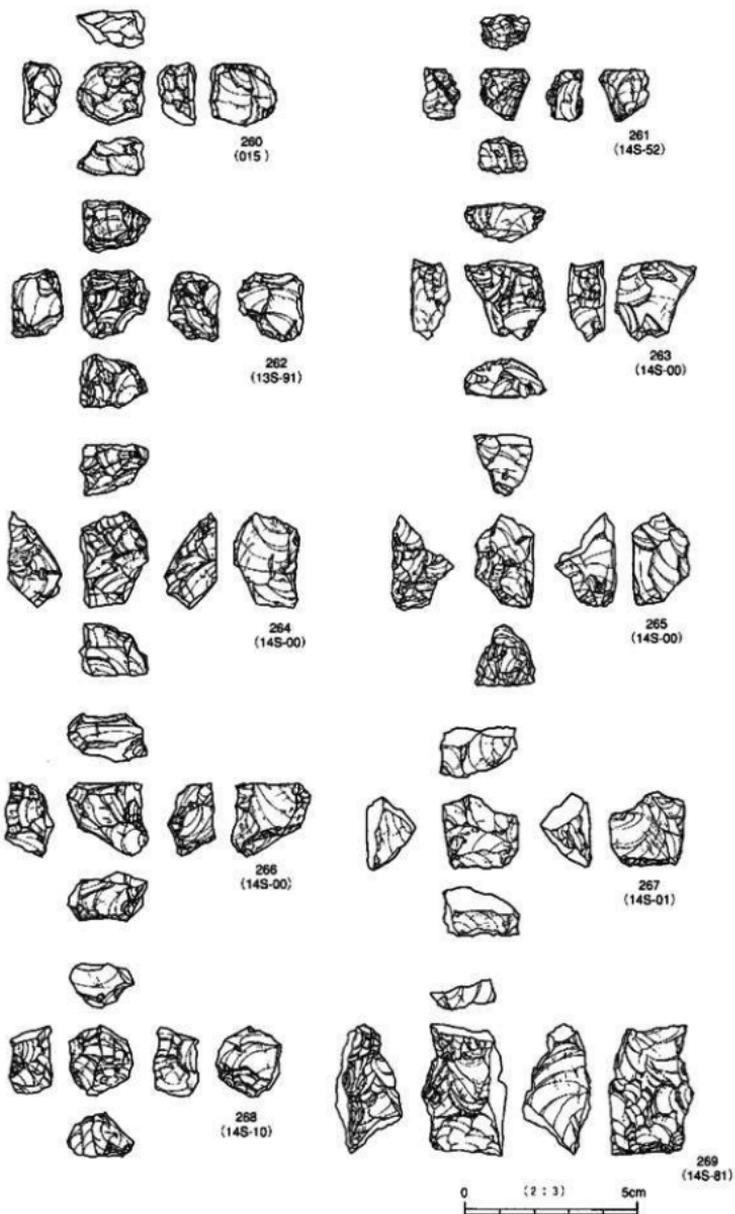
第98図 楔形石器類 3



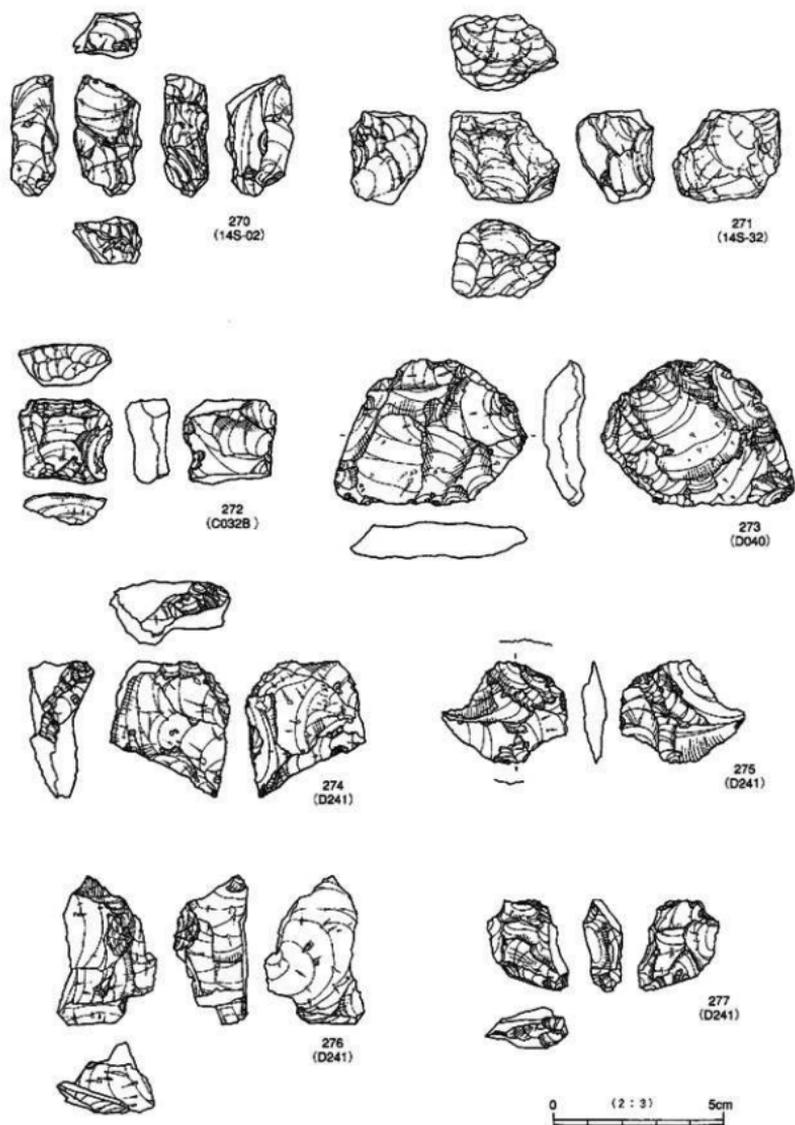
第99図 撞器・削器類 1



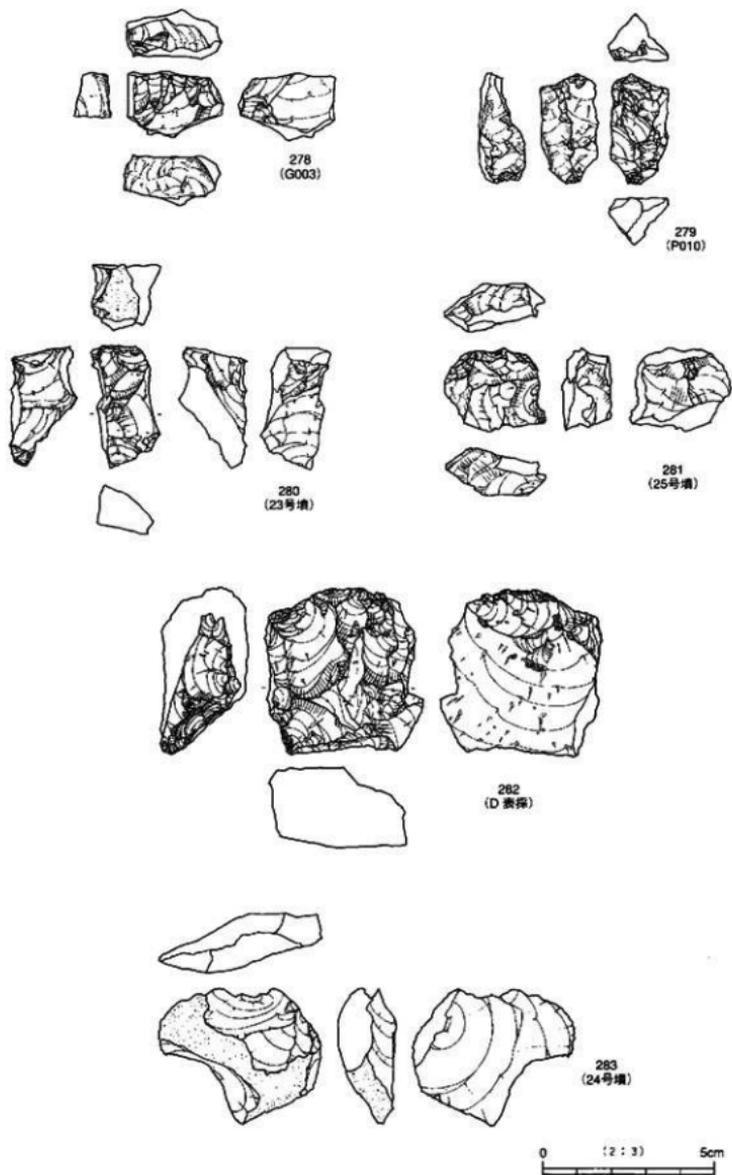
第100图 搔器·削器類 2



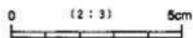
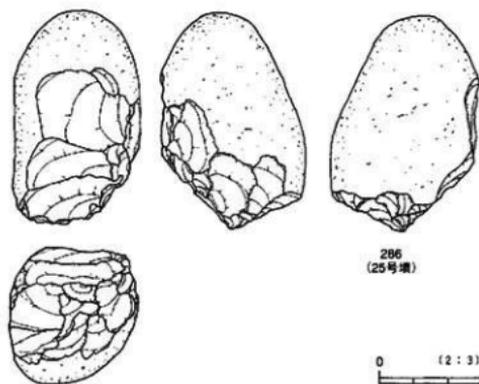
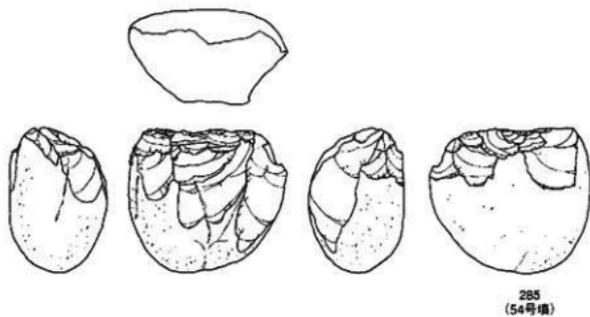
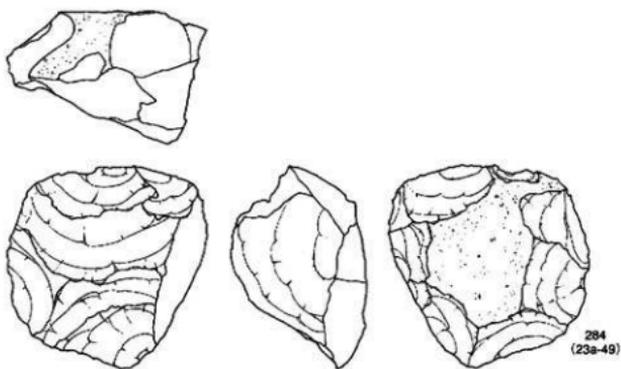
第101网 石核 1



第102圖 石核 2



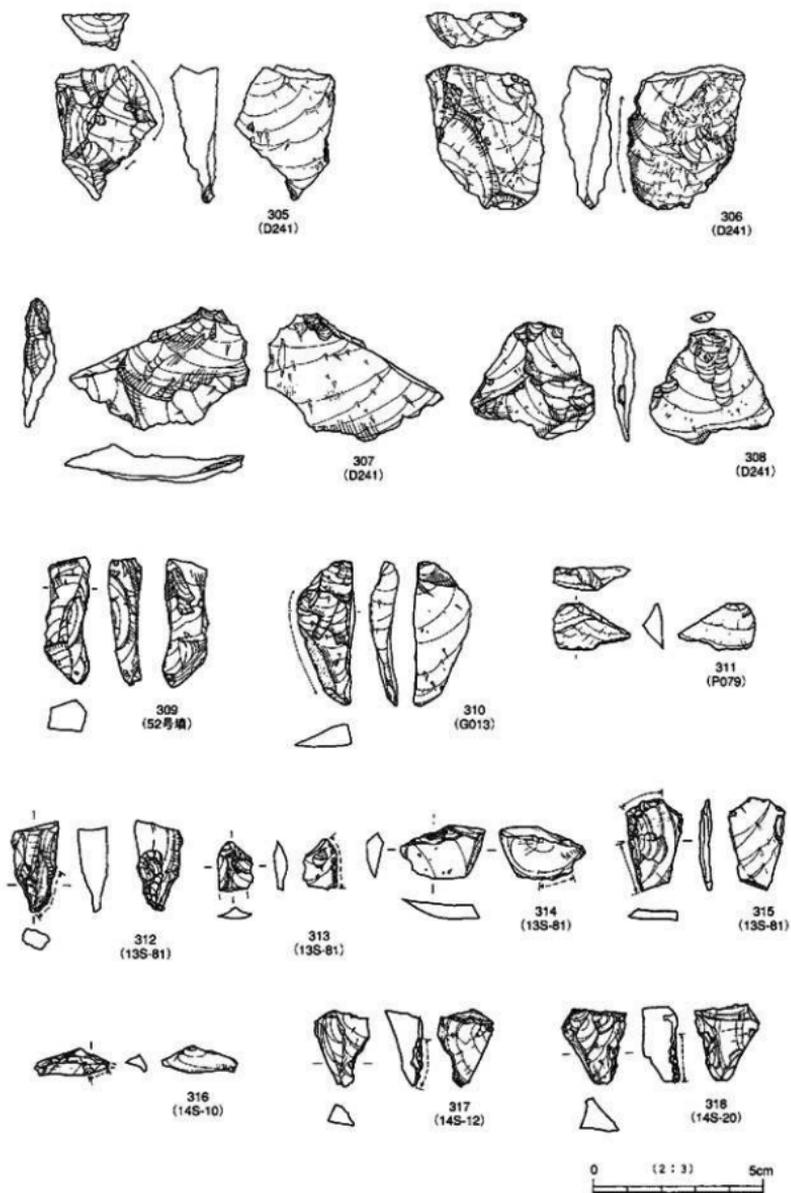
第103图 石核 3



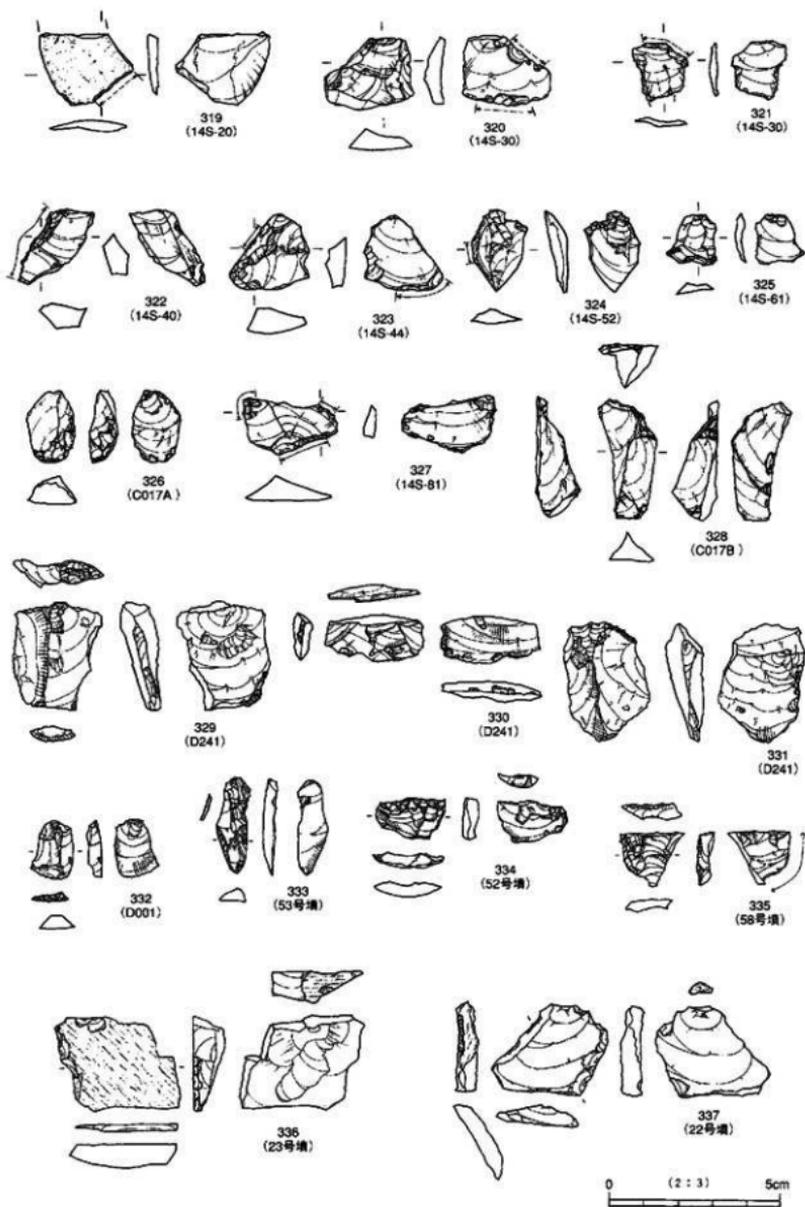
第104図 石核 4



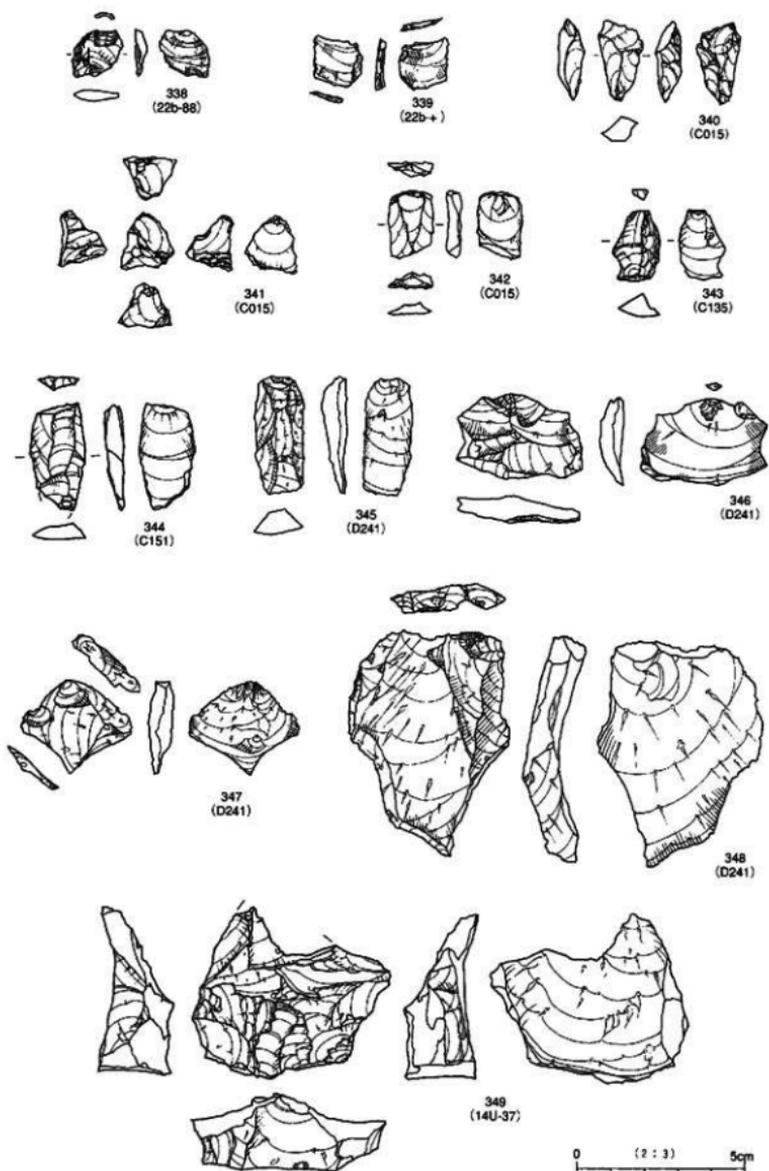
第105图 剥片類1



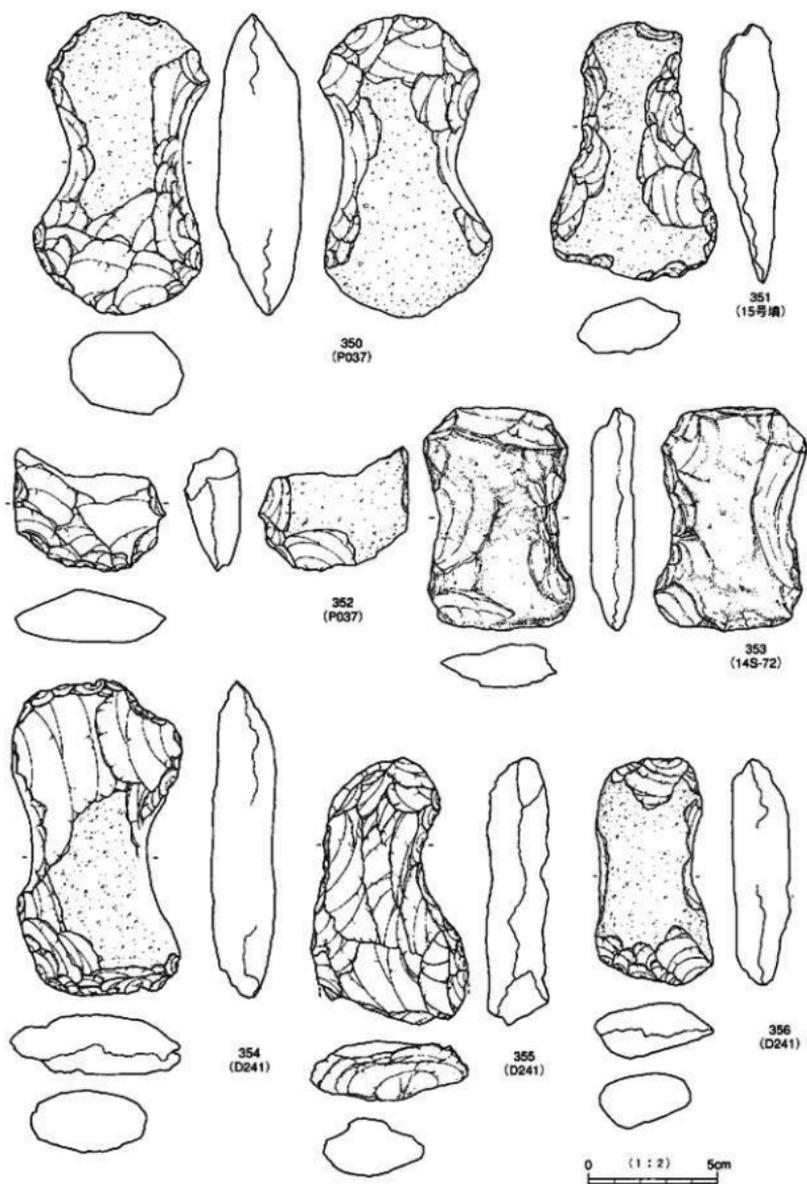
第106图 剥片類 2



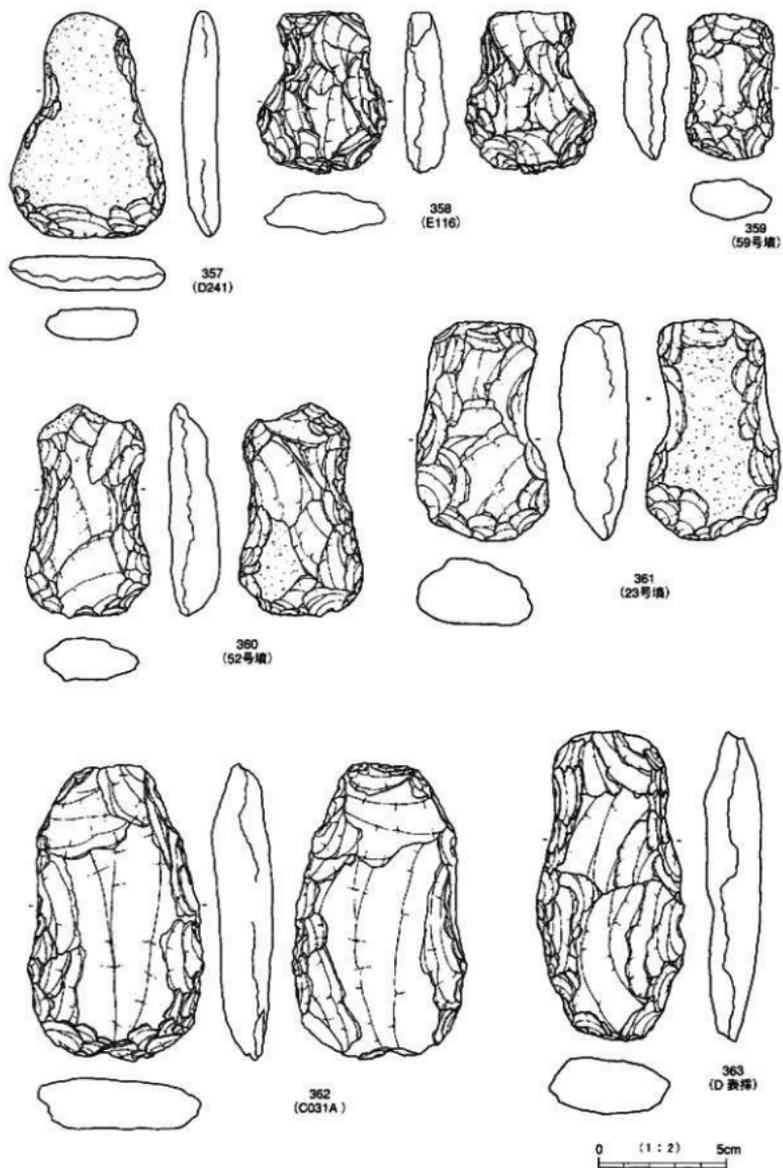
第107图 剥片類 3



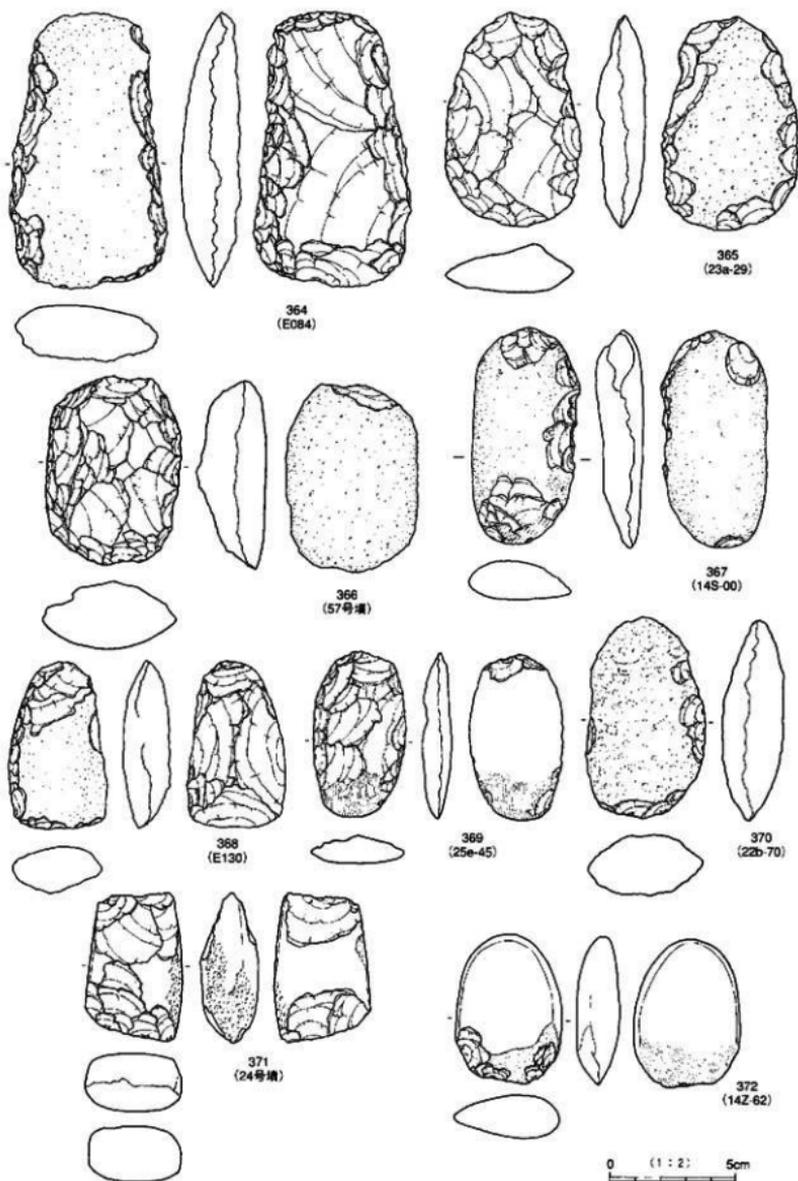
第108图 剥片類 4



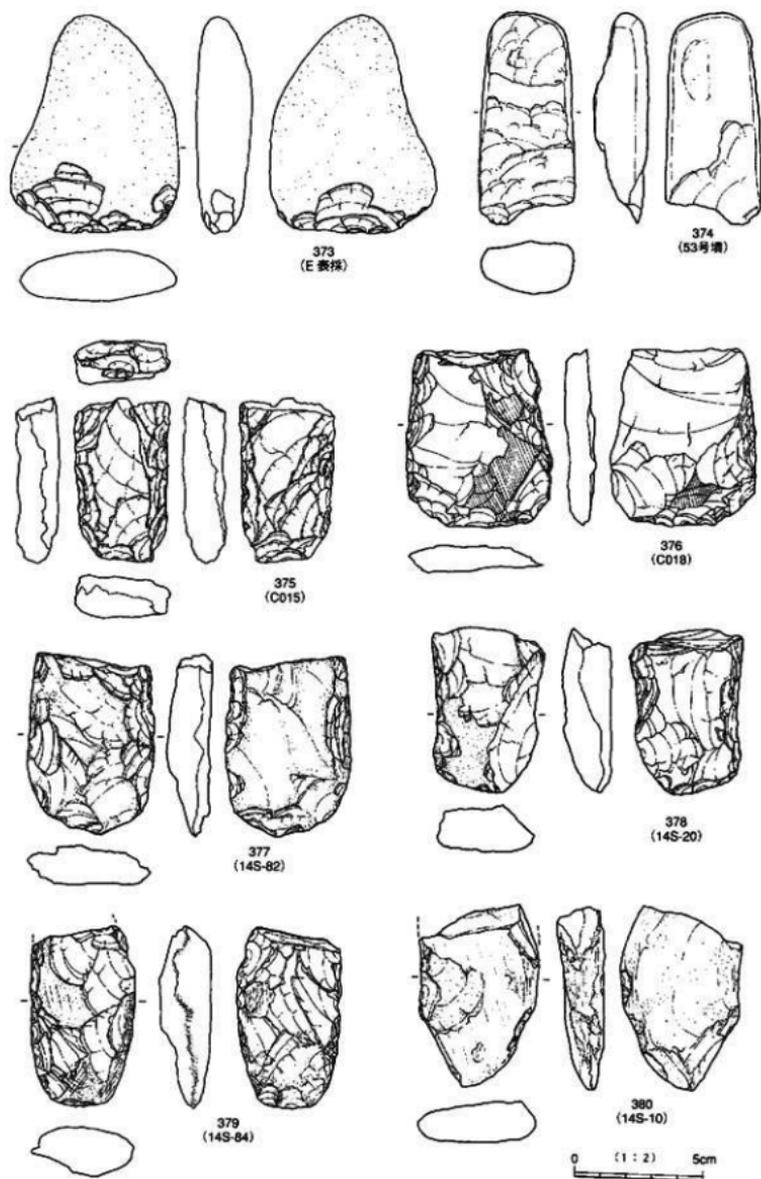
第109 図 打製石斧 1



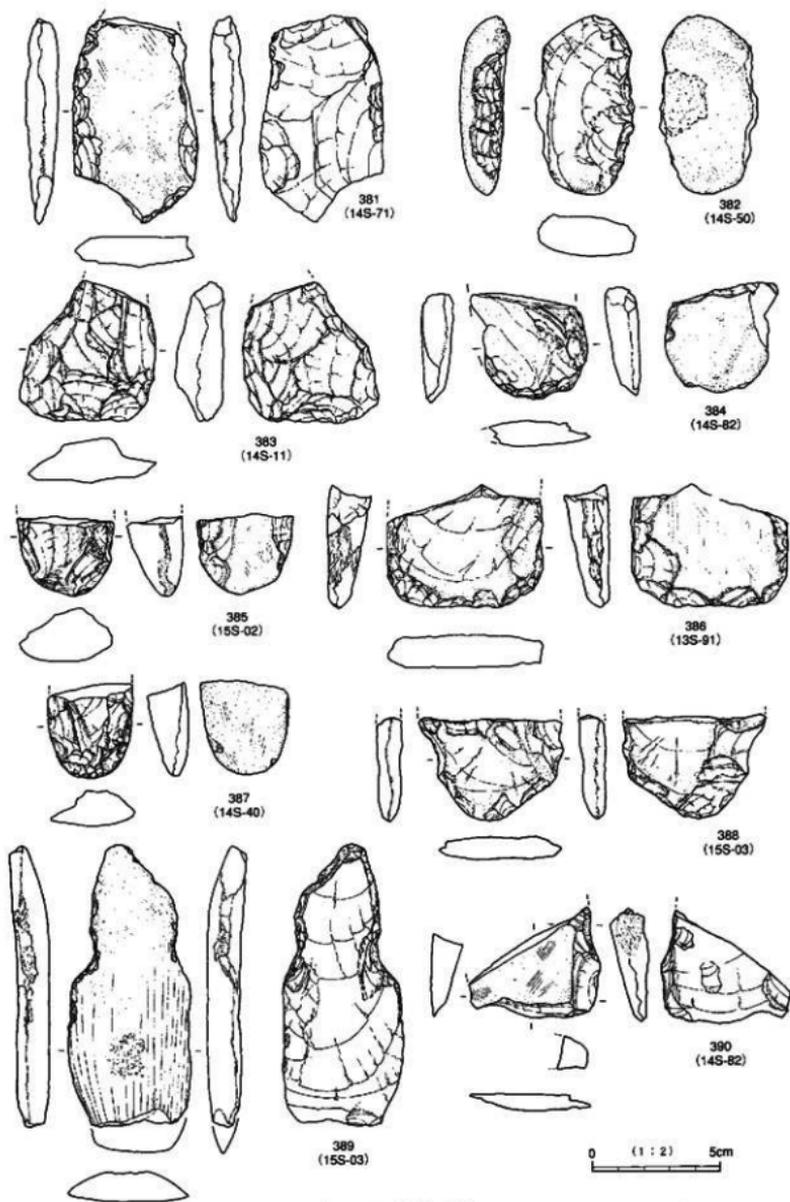
第110图 打製石斧 2



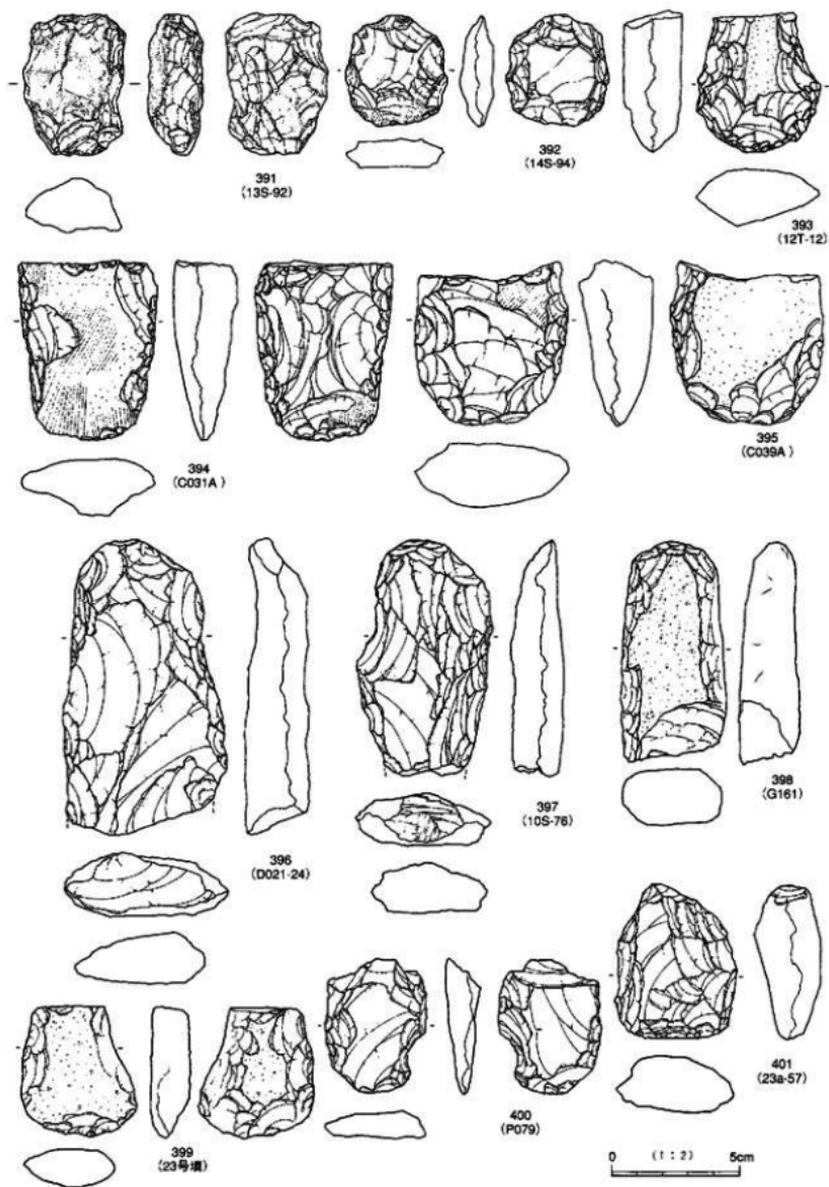
第111 図 打製石斧 3



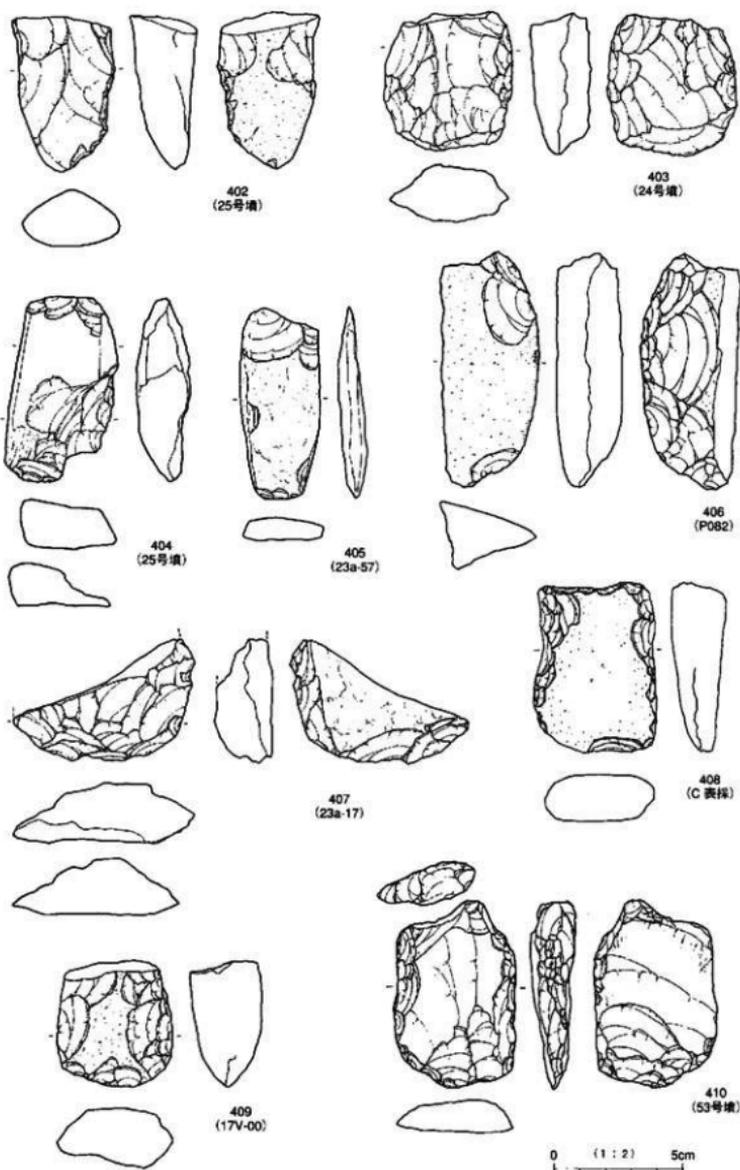
第112圖 打製石斧4



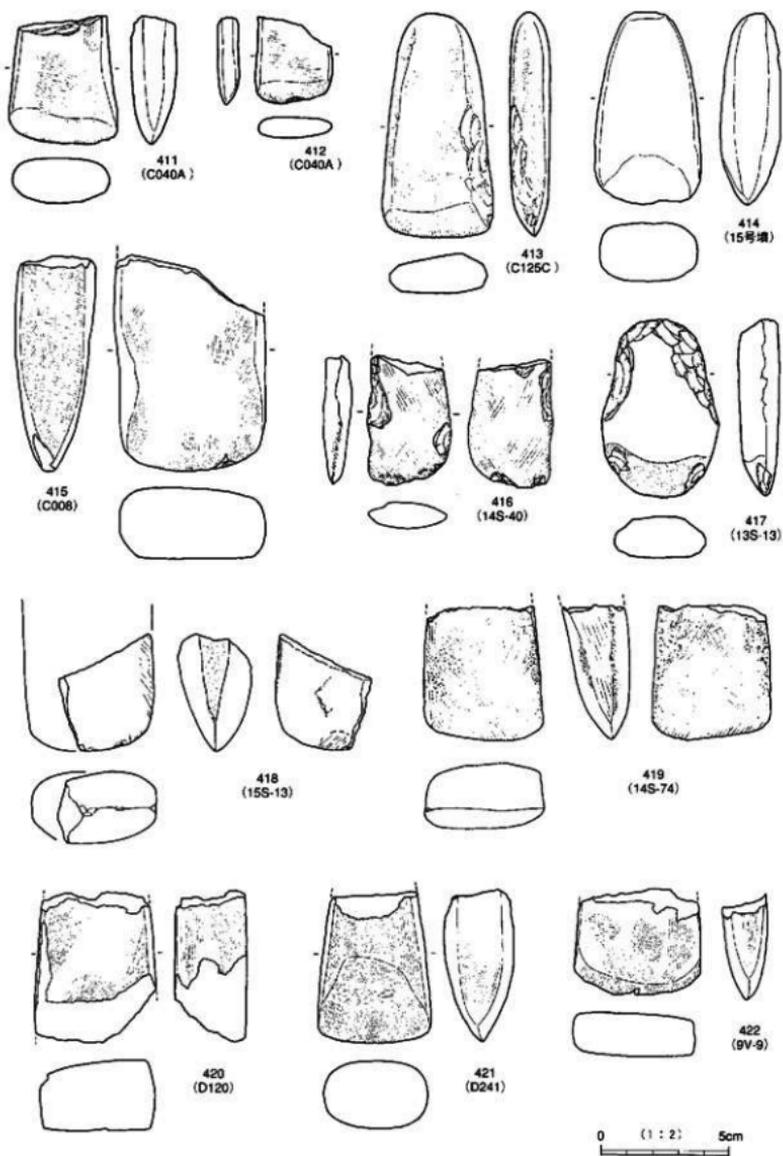
第113图 打製石斧 5



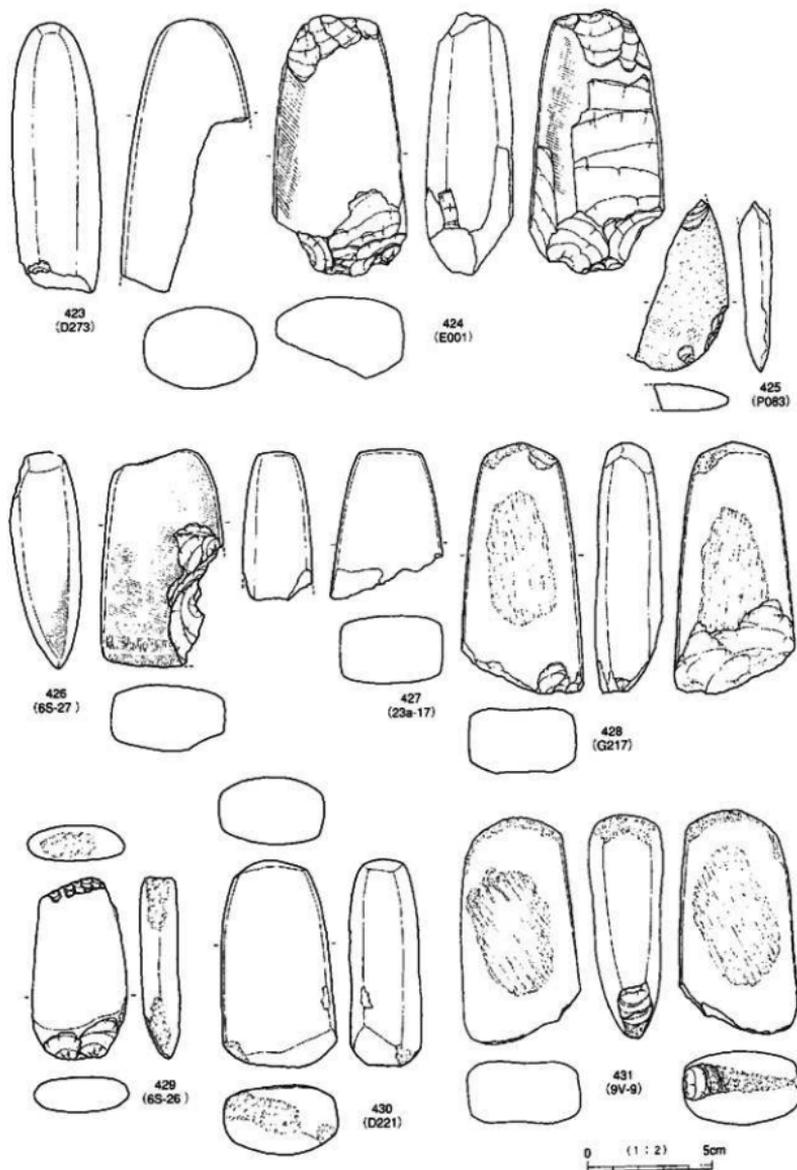
第114 図 打製石斧 6



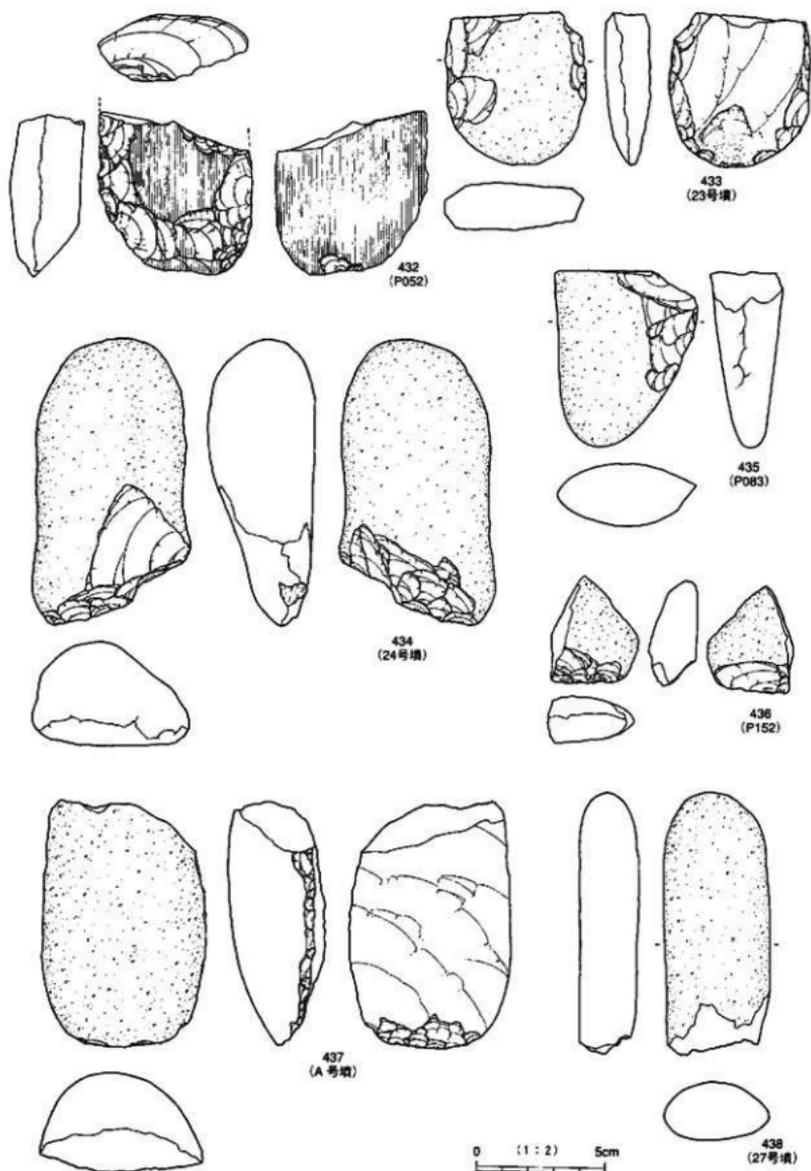
第115图 打製石斧 7



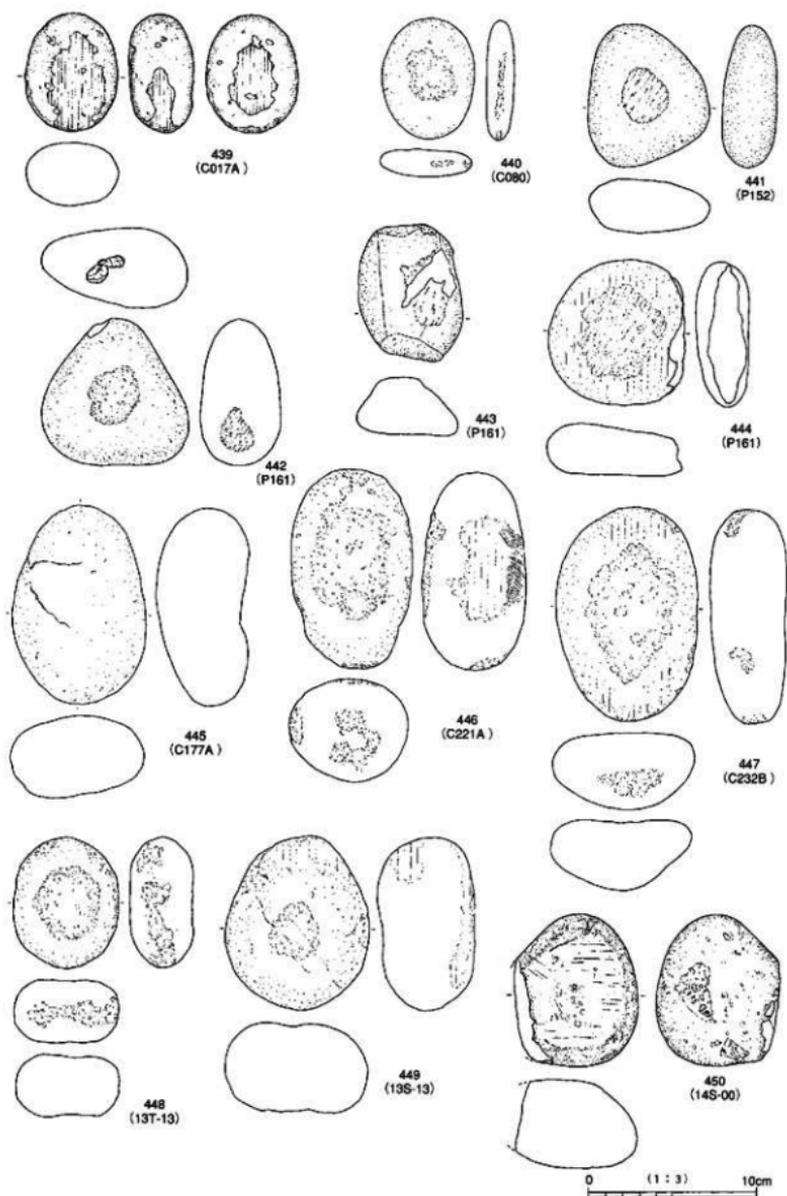
第116図 磨製石斧1



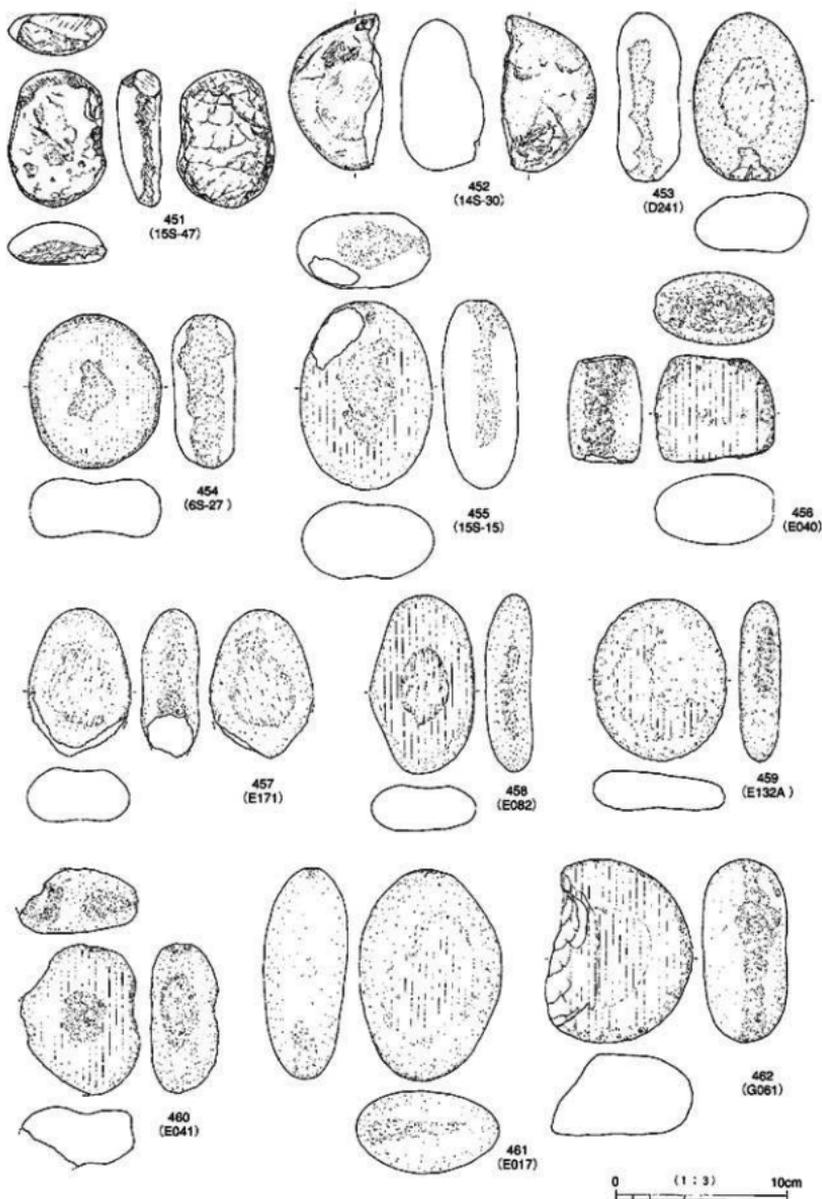
第117图 磨製石斧2



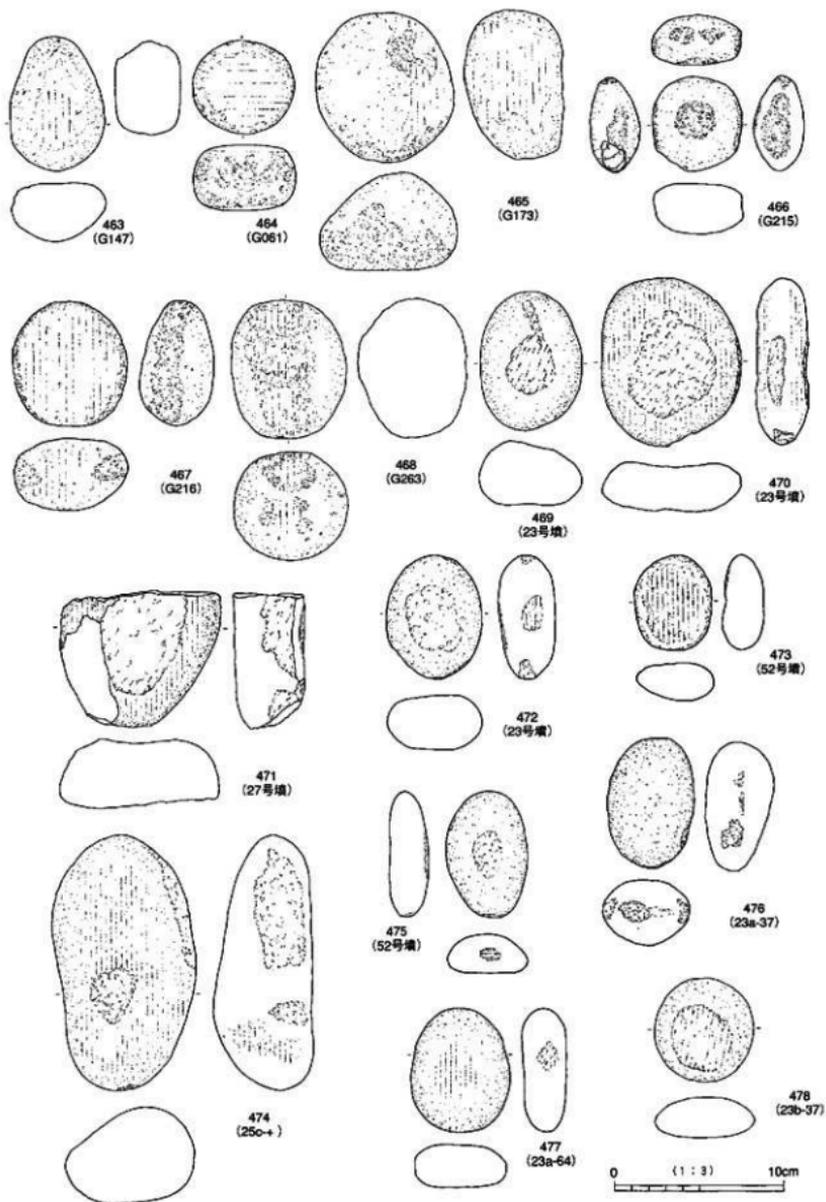
第118 図 磨製石斧 3



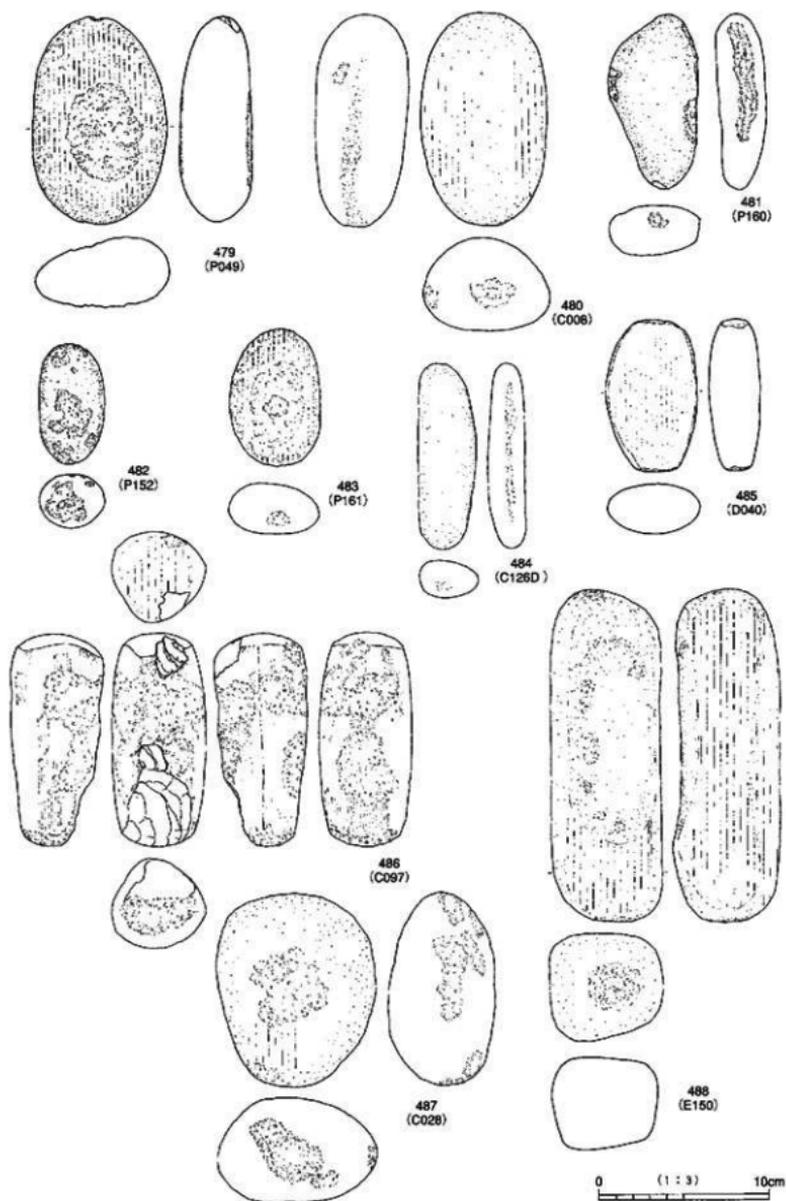
第119 圖 磨石類 1



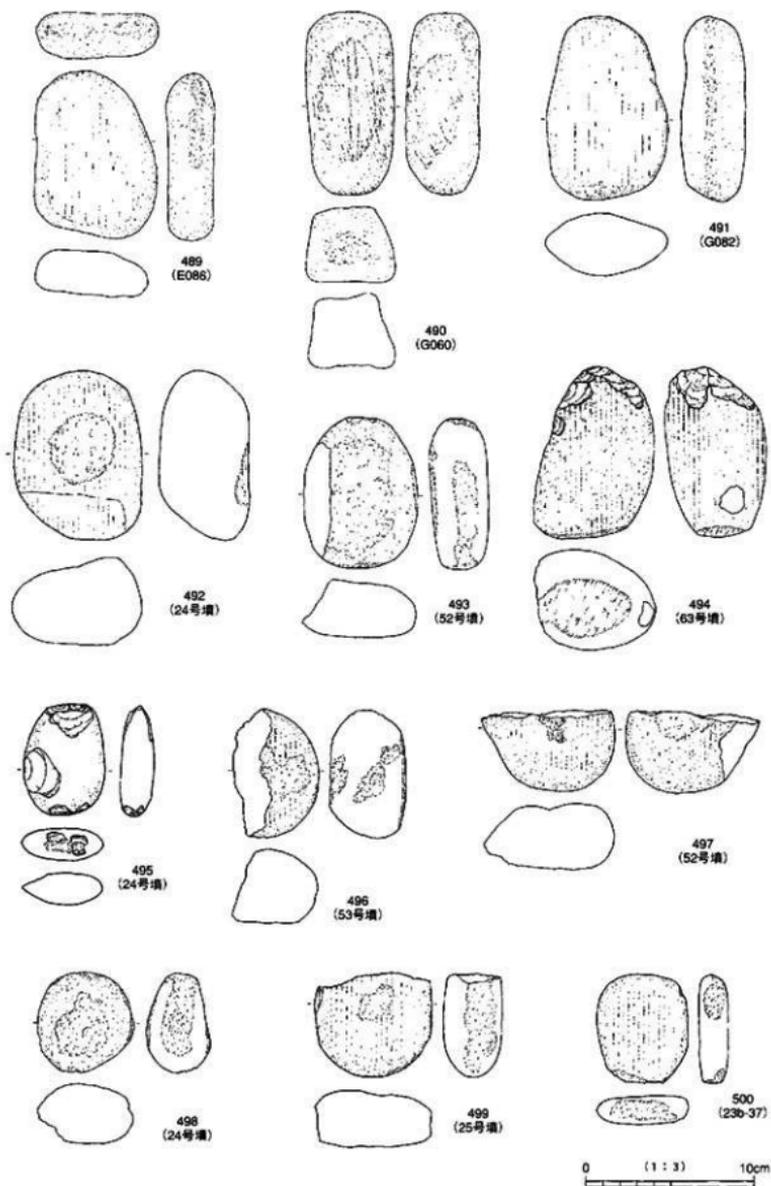
第120 岡 磨石類 2



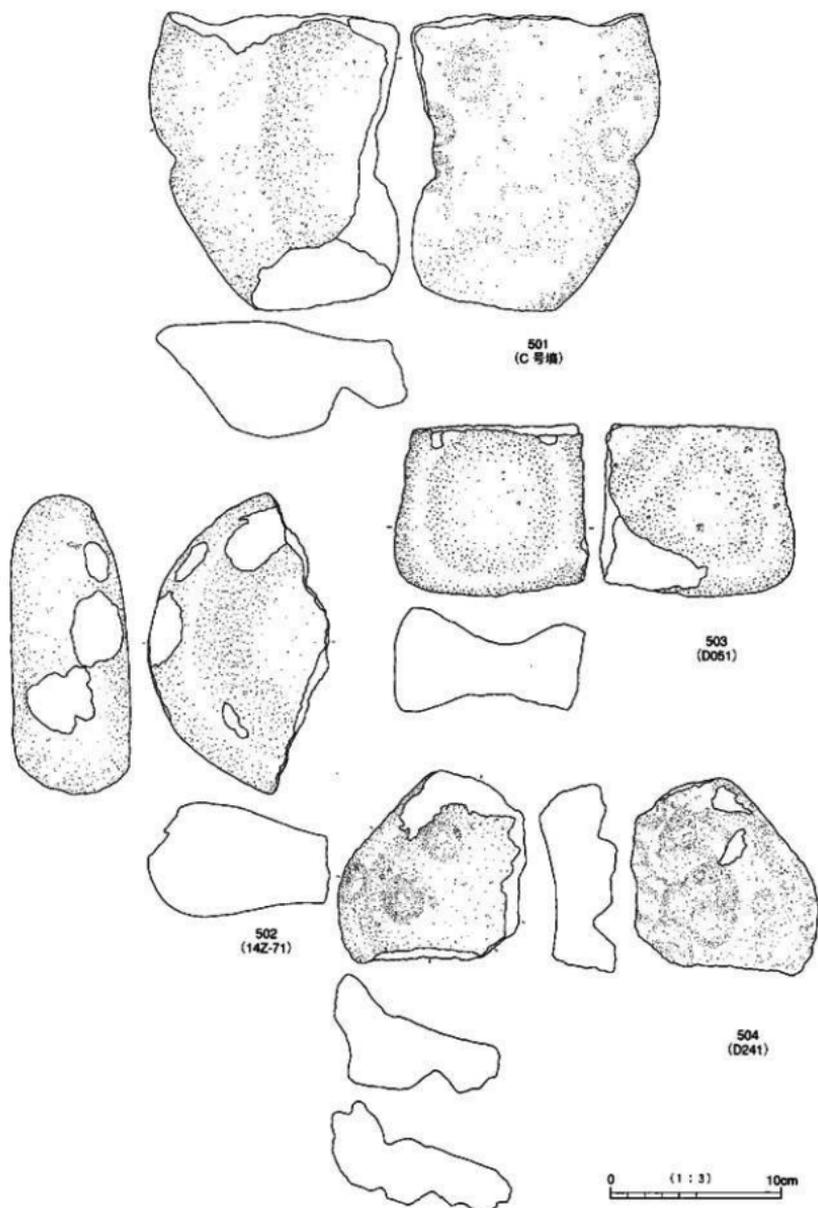
第121图 磨石類 3



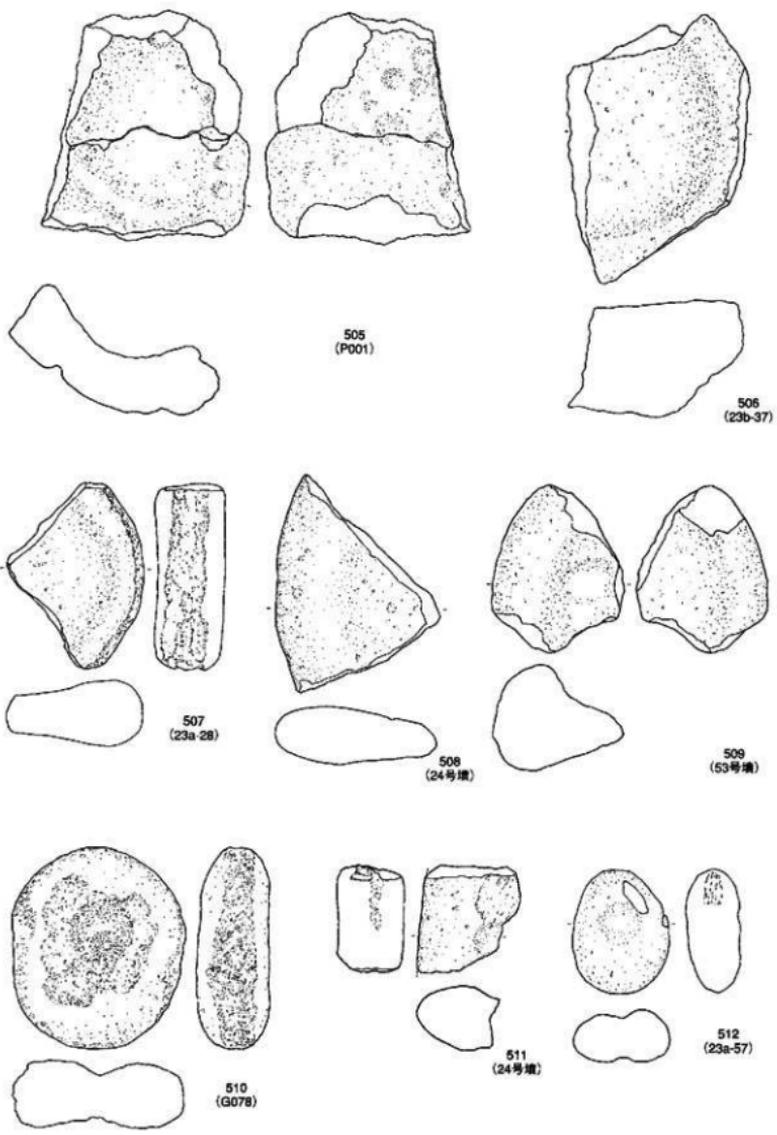
第122图 磨石類 4



第123 図 磨石類 5

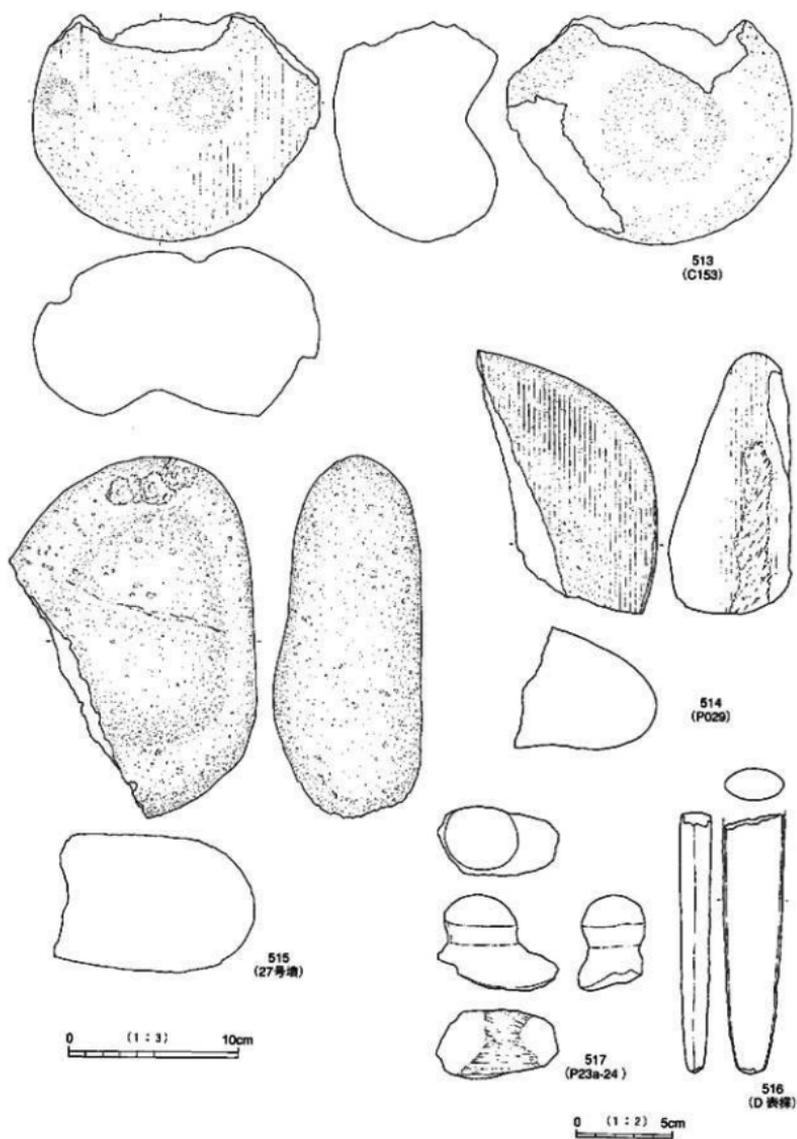


第124図 石皿1

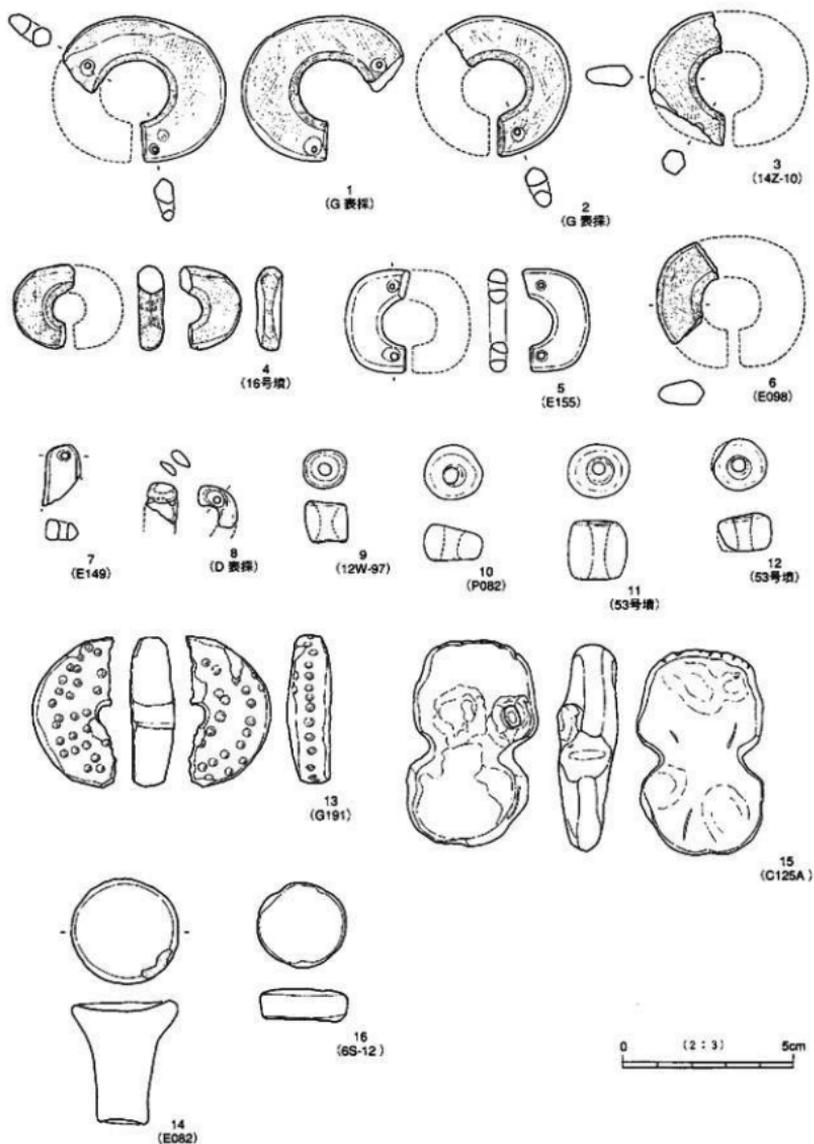


0 (1:3) 10cm

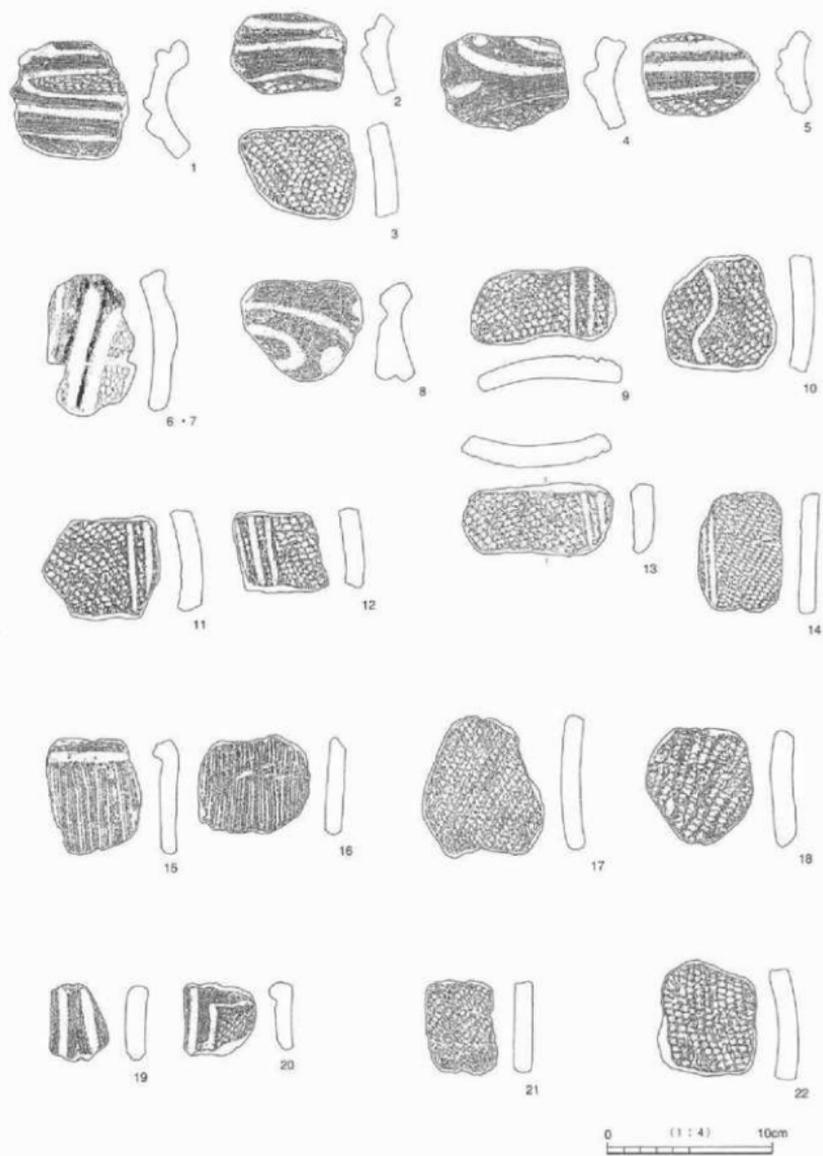
第125 図 石皿 2



第126図 石皿3・その他の石器



第127 岡 石製品・土製品



第128图 C059C 出土石器片锤

## 第4章 貝サンプルの分析結果

草刈遺跡東部で貝層が検出された遺構は、縄文早期の炉穴1基と、中期後葉の竪穴住居跡1軒、小竪穴2基である。いずれも草刈古墳群（P区）として調査された区域にあり、小規模なブロック貝層である。中期後葉の3例は比較的接近しており、中央広場をもつ小規模な集落の周縁部に位置するものとみられる。貝サンプルは、9.52mm・4mm・2mm・1mmメッシュの試験フルイによる水洗分離を経て選別を行った。貝類の同定は西野雅人が行い、第4表に示した12科16種以上を検出した。草刈遺跡群における貝類の分析成果はすでに草刈遺跡B区（小宮1986）、千葉急行線調査区（小宮1990）、草刈六之台遺跡（西野1994、西野2002）で公表されている。縄文早期の炉穴、縄文中期の竪穴住居跡・土坑出土貝層のほかに、弥生時代、古墳時代前期・後期、中世の貝層のデータもある。今回初めて同定された貝種はサルボウガイ、ハザクラガイの2種である。

貝類のほかに、P001号で53.2gのフジツボを検出した。食用に持ち込まれたものであろう。微小貝はP052でややまとまっていたが、今回は分析を実施できなかった。

第3表 草刈遺跡東部縄文時代貝サンプル

貝層名	時期	遺構	カ少数	採取量	備考
P160	早期後葉	炉穴	1	3.8%	
P001	中期中葉	加曾利EII 住居跡	2	41.0%	
P010	中期中葉	加曾利EII 小竪穴	1	7.8%	
P052	中期中葉	加曾利EII 小竪穴	2	12.4%	

第4表 貝類種名一覧

腹足綱	原始腹足目	ニシキウズガイ科	イボキサブ	<i>Umbonium (Suchium) moniliferum</i>
	中腹足目	ウミナナ科	ウミナナ科種不明	<i>Potamididae gen. &amp; sp. indet.</i>
	新腹足目	アケキガイ科	アカニシ	<i>Rapana venosa</i>
		ムシロガイ科	アラムシロガイ	<i>Reticunassa festiva</i>
二枚貝綱	フネガイ目	フネガイ科	サルボウガイ	<i>Scapharca subcrenata</i>
			ハイガイ	<i>Tegularca granosa</i>
	ウグイスガイ目	イタボガキ科	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>
	マルスグレガイ目	バカガイ科	シオフキガイ	<i>Mactra quadrangularis</i>
			イチョウシロトリガイ	<i>Merisca capsoides</i>
		ニッコウガイ科	ニッコウガイ科種不明	<i>Tellinidae gen. &amp; sp. indet.</i>
		シオサザナミガイ科	ハザクラガイ	<i>Psammathea minor</i>
		マチガイ科	マチガイ	<i>Solen strictus</i>
		マルスグレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>
			ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i>
			オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>
		オオノガイ科	オオノガイ	<i>Mya arenaria oonogai</i>
計		12科	16種	

## 1. 貝層出土状況

**P160号炉穴** (第11図) 早期後葉の炉穴覆土に小規模な混貝土層が認められた。遺構に伴う土器は中期の口縁部破片とされる。しかし、遺構の形態は早期後葉の炉穴と判断できる上、マガキがほとんどでイボキサゴを全く伴わない貝種構成も当地域の早期貝層に普通であり、中期貝層にはみられないものである。混貝土層は、2つの貝ブロックとして記録され別々に一括採取されたが、断面図のように連続したものであり、一方はきわめて小規模なため、サンプルは1カットとして扱った。炉穴群全体を通した考察の結果から、貝層の時期も茅山上層式以降の早期末葉である蓋然性が高い。

**P001号堅穴住居跡** (第36図) 中期後葉の堅穴住居跡内から2か所の貝ブロックを検出した。2か所とも柱が抜き取られたように上場が広がった柱穴上にある。ブロックAがほぼ床面レベル、ブロックBは床面より20cmほど下に位置する。おそらく、住居の廃絶後、堅穴の掘り込みが埋まる過程で柱穴部分にできた窪みに堆積したものであろう。したがって、貝層の時期は、住居跡覆土内に入っていたたくさんの土器が示す、加曾利EⅡ式後半であろう。

**P010号小堅穴** (第38図) 覆土上層に80cm×50cm、厚さ20cmほどの貝層を形成している。図のように遺構がかなり埋まってから貝や土器が投棄されている。共伴する土器から、貝層の時期は加曾利EⅡ式であろう。

**P052号小堅穴** (第39図) 覆土上層に50cm×30cm、厚さ10cm～20cmほどの貝層2か所を形成している。C-C'断面に示されるように、貝層は中央の柱穴に立ったままであった柱を避けて堆積しているようである。同様の例は千葉市有吉北貝塚のSK095・SK775などにみられる(小笠原他1998)。出土土器は床面近くに多く、加曾利EⅡ式である。貝層のレベルでは有孔鏝付土器(1)がみられるにすぎないが、貝層の時期は加曾利EⅡ式としてよいであろう。

## 2. 貝種組成 (第5表, 第130図)

全体で12科16種以上を検出した。早期はハイガイ・マガキを中心とした湾奥泥底干潟種が主体である。一方、中期はイボキサゴを中心とした内湾砂底種が主体である。それぞれの時期に特徴的な組成といえる。早期のP160はマガキが圧倒的に多く、ハマグリがわずかに混じる。中期の3例はイボキサゴ主体であり、これにハマグリ・アサリ・シオフキガイ・マガキが混じる。これらは湾奥沿岸砂底で採取可能なものばかりである。イボキサゴを除く貝種組成には差がみられるが、試料が少ないため遺跡群内の別地点との比較の中で評価されるべきである。

## 3. 貝殻のサイズと特徴 (第6表, 第131・132図)

中期の3遺構のイボキサゴは平均15mmほどあり、当地域の中期の例としてはかなり大きめといえる。マガキは、早期後葉のP160ではサイズのばらつきが大きく、80mmほどのかなり大きなものまで採取されたのに対して、中期の2例では30mm～50mmほどの小さな個体にまとまっている。殻高が小さく寸詰まりなものが中心である。左殻に顕著な付着痕がなく、他のマガキに付着したとみられるものが多いが、あまり大きくは成長できない環境が想定できる。中期にマガキが多い例は同じ草刈遺跡群の草刈遺跡B区163A住居跡にあり、やはり加曾利EⅡ期である。村田川本流において、海退期に小さなカキ礁が形成された可能性を示す点で興味深い。

第5表 貝類同定結果

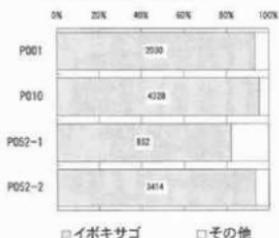
縄文早期		縄文中期				
種名	P160	種名	P001	P010	P052-1	P052-2
ハイガイ		イボキサゴ	2030	4328	852	3414
ハマグリ	4	ハマグリ	38	182	149	17
マガキ	75	アサリ	21	2	8	90
その他	0	シオフキガイ	18	1	14	72
		マガキ	42		6	19
		その他	22	20	7	29
ウミナナ科		ウミナナ科	8	8	1	6
シオフキガイ		アカニシ	1			
イチョウシラトリ		アラムシロガイ	11	11	6	16
マテガイ		サルボウガイ		1		
アサリ		ニッコウガイ科	2			
オキシジミ		ハザクラガイ				1
合計	79	オキシジミ				4
		オオノガイ				2
		合計	2193	4553	1043	3570

縄文早期

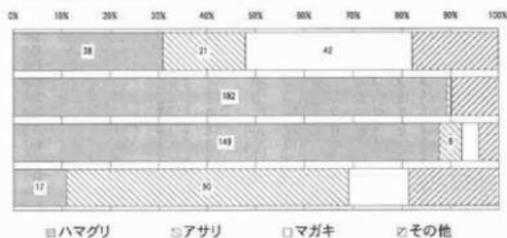


縄文中期

a. イボキサゴとその他



b. イボキサゴ以外



第129図 貝種組成

第6表 貝類計測値分布

イボキサゴ殻径			
No.	P001	P010	P052
-6.0			
-7.0			
-8.0			
-9.0			
-10.0			
-11.0			1
-12.0	4		
-13.0	7	2	11
-14.0	33	14	55
-15.0	34	44	117
-16.0	16	58	85
-17.0	13	58	48
-18.0	8	20	36
-19.0	2	3	7
-20.0			3
-21.0			
-22.0			

試料数	117	200	342
平均	14.66	15.60	15.19
標準偏差	1.48	1.18	1.41

マガキ殻高

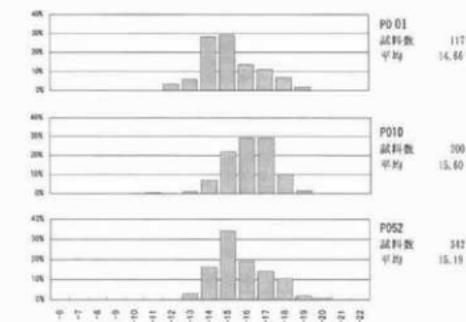
No.	P160	P001	P052
-5.0			
-10.0			
-15.0			
-20.0		1	
-25.0	1	2	2
-30.0	1	4	2
-35.0		3	1
-40.0		5	3
-45.0	1	3	2
-50.0	4	3	2
-55.0		1	
-60.0	6		
-65.0	4		
-70.0	2		
-75.0	1		
-80.0	1		
-85.0	1		
-90.0			
-95.0			

試料数	23	12	12
平均	55.44	39.42	35.66
標準偏差	16.19	9.74	8.83

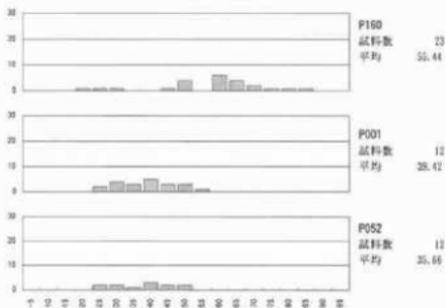
ハマグリ殻長

No.	P001	P010	P052
-5.0			
-10.0			
-15.0			
-20.0		1	
-25.0			
-30.0	2	6	11
-35.0	6	14	22
-40.0	1	7	10
-45.0	1	2	
-50.0	1		
-55.0			
-60.0			
-65.0			
-70.0			

試料数	12	20	43&M
平均	32.93	33.03	32.91
標準偏差	7.49	5.57	3.23



第130図 イボキサゴ計測値分布



第131図 マガキ計測値分布

シオキガイ殻長

No.	P001	P052
-5.0		
-10.0		
-15.0		
-20.0		
-25.0		
-30.0	2	
-35.0	3	4
-40.0	1	25
-45.0	1	6
-50.0	1	1
-55.0		
-60.0		
-65.0		
-70.0		

試料数	8	36
平均	35.45	37.93
標準偏差	6.90	2.56

アサリ殻長

No.	P001	P052
-5.0		
-10.0		
-15.0		
-20.0		
-25.0		
-30.0		1
-35.0	1	20
-40.0	2	30
-45.0		4
-50.0		
-55.0		
-60.0		
-65.0		
-70.0		

試料数	3	55
平均	37.14	36.19
標準偏差	3.04	2.93

## 第5章 まとめ

### 第1節 草刈遺跡群と東部の縄文時代遺構

第7表に示したように遺跡群全体でも東部地区でも時期の判明した遺構は草創期～早期と中期に限られる。陥し穴と炉穴の分布は遺跡群全体に広がっている。陥し穴はK区とD区～E区の北側緩斜面及び谷に向かう斜面部に多い。おそらく草創期の、ほかの遺構や遺物を伴わない溝型陥し穴の時期と、早期後葉の炉穴を伴う時期のものが中心であろう。炉穴はF区、六之台地区に集中がみられる（第7表）。

中期の遺構は大規模な広場集落である「草刈只塚」とその周辺に集中する。住居跡は350軒以上、貯蔵穴とみられる小堅穴は1,000基を超える（第7表）。今回の報告により、集落の形成は阿玉台式期初頭まで遡ることが明らかになった。この時期の住居跡や小堅穴は広範囲に散在する。広場集落を本格的に形成するのは阿玉台Ⅲ式ころからであろう。

### 第2節 縄文早期の遺構と遺物

#### 1. 陥し穴

溝型33基、楕円型・円型125基を検出している。すでに述べたとおり、溝型は撫糸文期またはそれ以前の年代が考えられる。楕円型・円型については、8基から条痕文土器が出土していること、中期の遺物集中地域にあっても中期の土器が入っていないことから、炉穴やD区遺物集中などの遺構・遺物と同時期のものが中心であったと考えられる。両者の分布を第132・133図に示す。図の範囲は、特徴的な分布がみられた東部地区の西側半分と、その西側の西部地区東端部である。

溝型の分布は、図の範囲外も含め概して分散的である。2基から数基のまとまりが多数みられる。2・3基が並んでいるものもあり、E274-E275、G257-G266、G269-G233は規模・形態の似たものが軸を合わせて並ぶ。おそらくセットで仕掛けられたものであろう。西部地区では070・080に北側の谷（茂呂支谷）から入り込んだ小谷の付近にやや集中がみられる。

楕円型・円型の分布は特徴的である。北側の谷に面する広範囲の集中と、谷から台地中央に向かう2か所の集中がみられる。前者では緩斜面にとくに多く、後者では向斜面（谷形斜面）に集中する。谷から台地上りやすい場所を選んでいるようである。おそらく、けもの道などに仕掛けられたものであろう。6S・7Uの早期末遺構・遺物集中域も楕円型陥し穴の集中地区内に存在する。

#### 2. 早期末葉土器群

掲載した早期末葉土器（第3群）191点のうち、80点は6Sを中心とした「D区遺物集中区」から、11点は同区の遺構から、16点は6Tにある陥し穴（D309・D310・D356）から発見されており、この付近で半数程度を占める。6S区にはこの時期の炉穴・小堅穴・楕円型陥し穴が存在する。一方、「草刈古墳群」地区では50点ほど出土しており、やはり炉穴が検出されている。古墳中がもっとも多く、P004・P158・P161炉穴からも出土している。

土器の内容は、ごく数片の1類・野島式、2類・鶴ヶ島台式を除くと、ほとんどが3類とした条痕文系土器末期の資料と思われる。この時期の土器がかなりまとまって出土したこと自体が重要であろう。特徴

としては、文様のバラエティが豊かであることをまずあげることができる。

文様要素から、以下のような特徴に区分した。

- a種 Ⅰ緑部に縄文施文をもつもの
- b種 Ⅰ緑部に隆帯による意匠文をもつもの
- c種 Ⅰ緑部に沈線による意匠文をもつもの
- d種 Ⅰ緑部に押引文・刺突文をもつもの
- e種 Ⅰ緑部に縄の原体圧痕をもつもの
- f種 Ⅰ緑部に貝殻文をもつもの
- g種 打越式土器 k種のうち胎土に繊維を含まず、質感の異なるもの
- h種 Ⅰ緑部に隆帯による区画をもつ土器
- i種 素文系の土器
- j種 縄文を施文したもの
- k種 胴部に貝殻文をもつ土器
- l種 胴部に沈線文をもつ土器

異なる文様の共伴関係を検討し得るのは、D310、D356、P158、D区遺物集中地点である。ただし、D区遺物集中地点については出土状況の検討結果を掲載できなかった。

### 3. D区遺物集中区の土器と礫集中

第2章第2節6において事実記載を行った。そこでは、径30mの範囲で多量の土器と礫が出土し、両者の分布は範囲と集中度からみて全く一致していること、早期末葉の土器が大半を占めることを述べた。また、竪穴・小竪穴・楕円型陥し穴を伴うが竪穴住居跡は見つかっていないことから、竪穴住居を伴わない居住・生活空間であった可能性が高いことを指摘した。この様子から想定される居住システムは、遊動的なものであることは疑いないが、どの程度の期間利用されたのかはもちろん、回帰性や行動範囲などを知るには今後さらなる検討が必要である。発見された早期末葉土器群の編年的・空間的な研究とともに、当遺跡内での分布や出土状況の検討の必要性が痛感される。

## 第3節 縄文中期の遺構と集落の様相

### 1. 石器の分布と構成

第136図は草刈遺跡東部地区全体について、石器掲載資料数の分布を示したものである。明らかな集中は、14S区を中心として13S・15S区に跨るものと、23b区付近の2か所にある。前者は「C区遺物集中区」とした加曾利EⅠ式期の石鏃製作に伴うものであり、次項で述べる。後者は「草刈古墳群」地区の加曾利EⅡ式期の集落と伴うと考えられる。若干のまとまりは10S・8V・9T・10Wにも存在する。また、その周辺の広範囲で若干の分布がみられる。これらの多くは古墳時代の遺構から発見されたものである。したがって、遺構の密度が濃い部分では相対的に多くの石器が回収された疑いが強い。ただし、ある程度の空間的なまとまりをもち、周囲には分布の空白が認められるのも事実である。この分布は阿玉台・勝坂式段階の土器の分布（第135図上段）とよく重なる。石器の内容をみて中期のものが中心とみてよい。黒曜石の石鏃、剥片類が中心である。この時期では、黒曜石の製作が広範囲で行われたらしい。加曾利EⅠ式、

加曾利EⅡ式期の集中した在り方とは対照的である。一方、チャートは、楔形石器類としたなかに両極打法によって石鏃の素材を得たと思われるものが存在する。しかし、その数は製品に比して少なく、石鏃製作がそれほど行われた形跡はない。

## 2. C区遺物集中区

第2章第3節5において事実記載を行った。そこでは、多量の石器類が出土し、加曾利EⅠ式土器を伴っていること、石器類の構成から黒曜石による石鏃製作に伴う可能性が高いことを述べた。また、付近では同時期の竪穴住居跡が見ついているものの、むしろ分布の薄い部分であることも確認した。遺物の内容では剥片類のほかには鏃も多く（第138図右）、土器片鏃も多い。したがって、この場所は居住地縁辺の作業空間ないし廃棄場であった可能性が高い。なお、分布状態をみると遺物の集中範囲はB区の14R区に広がっていたことが明らかである。

## 3. 土器片鏃の製作に関わる出土状態

勝坂式～加曾利EⅠ式のC177B住居、EⅠ式のC059住居と、59号墳の加曾利EⅡ式土器の集中範囲で土器片鏃や土器片鏃の未製品と思われる資料がまとまって発見された。いずれも一箇体の土器からいくつも素材を得ているのが特徴である。

C059住居の資料は出土状況が明らかであり、第2章第3節1で詳しく紹介した。ここではこの場所で行われた行為の復元を行ってみたい。まず、3か所に分かれていたとはいえ、同一素材から作られた土器片鏃の製品と未製品がまとまって出土していることから、この場所で土器片鏃製作が行われたことは疑いないであろう。床面から若干だけが浮いており、住居廃絶後のことであつたらう。ところで、この住居の片はやや掘り込みをもち、よく焼けているが周囲は焼けていない。炉体土器または土器片圓が抜き取られた可能性が高い。「土器片鏃集中1」に折り重なっていた、折断－研磨された土器は副部上半のみであった。この土器は炉から抜き取られたものではないだろうか。研磨された破片には二次焼成のうけ方に顕著な差が認められたので、土器片圓の蓋然性が高い。このような在り方は、千葉市御塚台遺跡でもみられた。時期は加曾利EⅡ式であり、本例より具体的に炉体を利用された経緯を復元することができる。

土器片鏃には大きさや仕上げの状態にかなりの幅があつて、それが使用目的の差を示すものなのか、それほど気にしなかった結果のばらつきなのかは興味深いところである。同一素材から作られた製品の形状は、その意味を知る上でヒントになるはずである。今回の資料をみると、全体の大きさは必ずしも一定ではないが比較的揃っており、仕上げの状態はよく似ている。製作時点では、ある程度大きさや形状を合わせる意図があつたようだ。

## 4. 草刈貝塚縁辺部の遺構群

C区遺物集中地点は、草刈貝塚と呼ばれる広場集落の縁辺部にあたる。草刈貝塚は、南側に村田川低地を望む広い台地上に位置する。中央の広場を貯蔵穴群が囲んでいる。住居跡は貯蔵穴群の外側に集中し、貯蔵穴と住居跡が環状の遺構帯を形成している。住居跡はその周囲に広く点々と存在するが、時期的にみると広場集落形成期より古いものが多い。貝層は環状の遺構帯のもっとも外側にある遺構内に形成され、やはり環状の帯を形成している。その外側の遺構には貝層が形成されることはなかった（西野2000）。

C区には広場集落形成期の住居跡が比較的集中しており、その近くにC区遺物集中地点が存在する。やはり遺構内貝層は皆無である。貝殻や生ゴミの廃棄場所が単に集落の外というだけでなく、廃棄する空間がある程度決まっていたらしい。C区の住居群と石器製作の場はその外側に位置したことになる。

ところで、千葉市おゆみ野地区の広場集落とその周辺の小規模な居住区の間で、廃棄の仕方に差があることが指摘されているが（西野2001）、前者の代表である有吉北貝塚や草刈貝塚では、廃棄物を決まった空間にまとめて棄てることが徹底して行われた。長期間一定の場所に居住するための工夫であると思われる。一方、後者の御塚台遺跡、鎌取台遺跡では、土器片錘を作った場所がそのまま残されるなど、広場集落には見られないケースがいくつも認められた。

C区の住居群に廃屋が埋め戻されずに作業が行われ、土器片錘の製作に関わる遺物が遺棄されたこと、また石鏃製作の場が残されたことは、「草刈貝塚」の近隣であっても、性格的には拠点的な通年定住集落の外側であったことを示すと考える。移動・回帰を伴う居住様式をもった集団が残したとすれば、それは拠点集落の集団内部のことであったのだろうか。縄文中期の生産・居住システムを考える上で、今後当遺跡の重要性は益々高まることと信じる。

なお、六之台遺跡を含めた草刈遺跡群全体の遺構数を集計したところ、中期の住居跡は357軒、小竪穴は1,007基となった（第7表）。

#### 5. 草刈古墳群地区の加曾利EⅡ式期の集落

草刈貝塚の周辺には、広場集落を形成した時期にいくつかの遺構集中区が形成された。南東へ200mの位置には六之台遺跡、600mの位置には今回報告した草刈古墳群地区、900mの位置には川焼台遺跡がある。いずれも貯蔵穴群が円形ないし環状に集中しており、周囲に数軒の住居跡が囲む小形の環状構造をもった集落である。草刈古墳群地区の遺構は住居跡3軒と貯蔵穴（小竪穴）32基である。時期はすべて加曾利E式前半期で、限定できたものはすべて加曾利EⅡ式であった。草刈貝塚の広場集落形成期の後業にあたる。

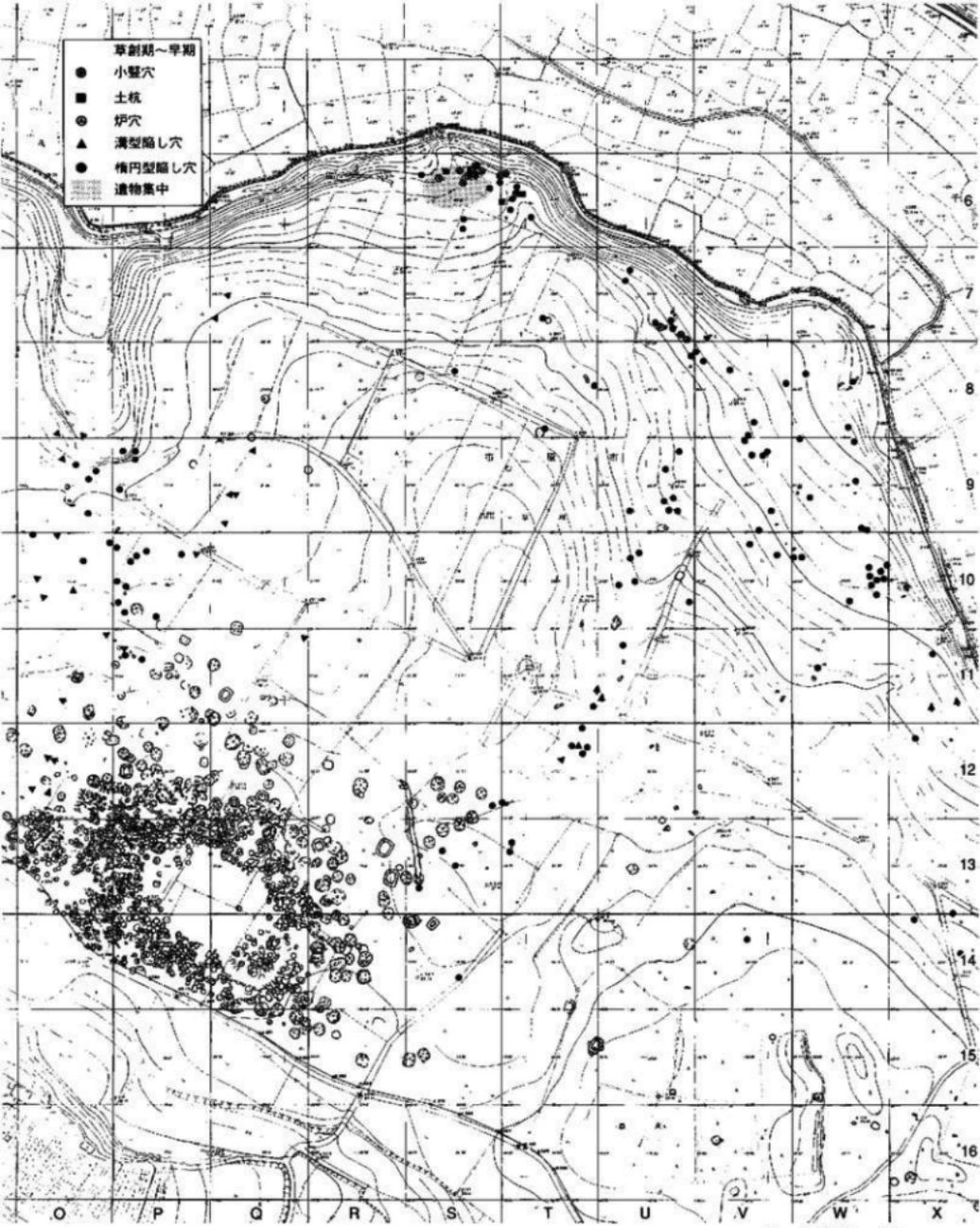
広場集落と小規模な集落がある程度の範囲にまとまって存在するあり方は、東京湾東岸に大規模な貝層を形成した中期集落群に共通したものである。59号墳出土の土器片錘は、製作に関わる遺棄状態が想定された。拠点的な広場集落から離れた小規模な広場集落のあり方を示すものであろう。

#### 参考文献

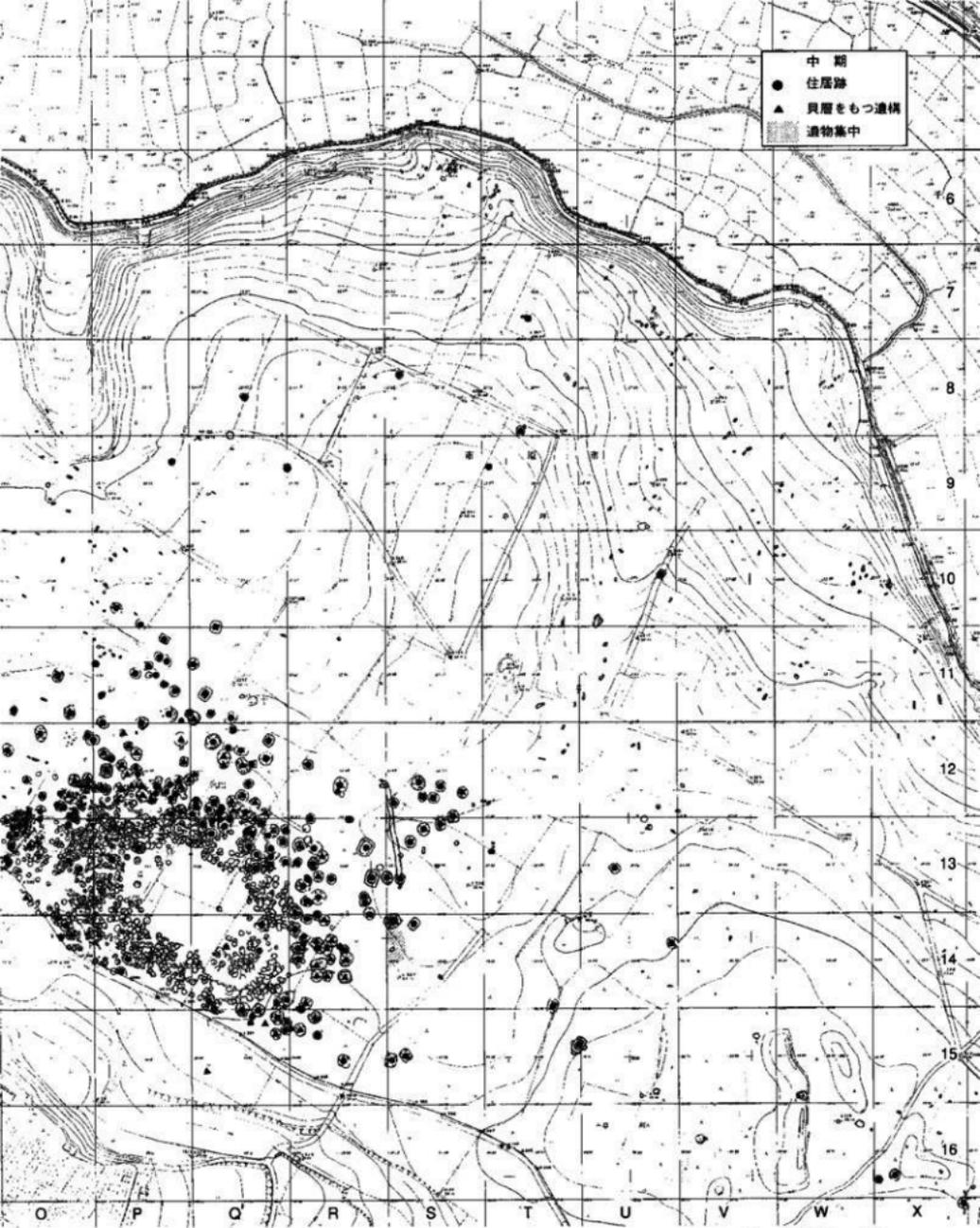
- 小笠原永隆他 1999 「千葉東南部ニュータウン19 - 千葉市有吉北貝塚(旧石器・縄文時代) -」  
岡田光弘・落合章雄 1994 「野田市岩名第14遺跡」  
小久貫隆史 1980 「千原台ニュータウンⅠ 野馬堀遺跡 ばあ山遺跡 他」  
神奈川考古同人会縄文研究グループ 1983 「シンポジウム'83 縄文時代早期末・前期初頭の諸問題 土器資料集成図集」  
上守秀明 1990 「根之神台遺跡出土土器」「根之神台遺跡の縄文時代-阿玉台Ⅰa式前後の土器群について-」  
「松戸市野見塚遺跡・前原Ⅰ遺跡ほか-北総開発鉄道埋蔵文化財調査報告書Ⅲ-」  
小林清隆 1990 「市原市草刈貝塚 -千葉急行線内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ-」  
小宮孟 1986 「コラムサンプル出土の動物遺存体」『千原台ニュータウンⅢ 草刈遺跡(B区)』  
小宮孟 1990 「コラムサンプル出土の動物遺存体」『市原市草刈貝塚 -千葉急行線内埋蔵文化財発掘

調査報告書Ⅳ-」

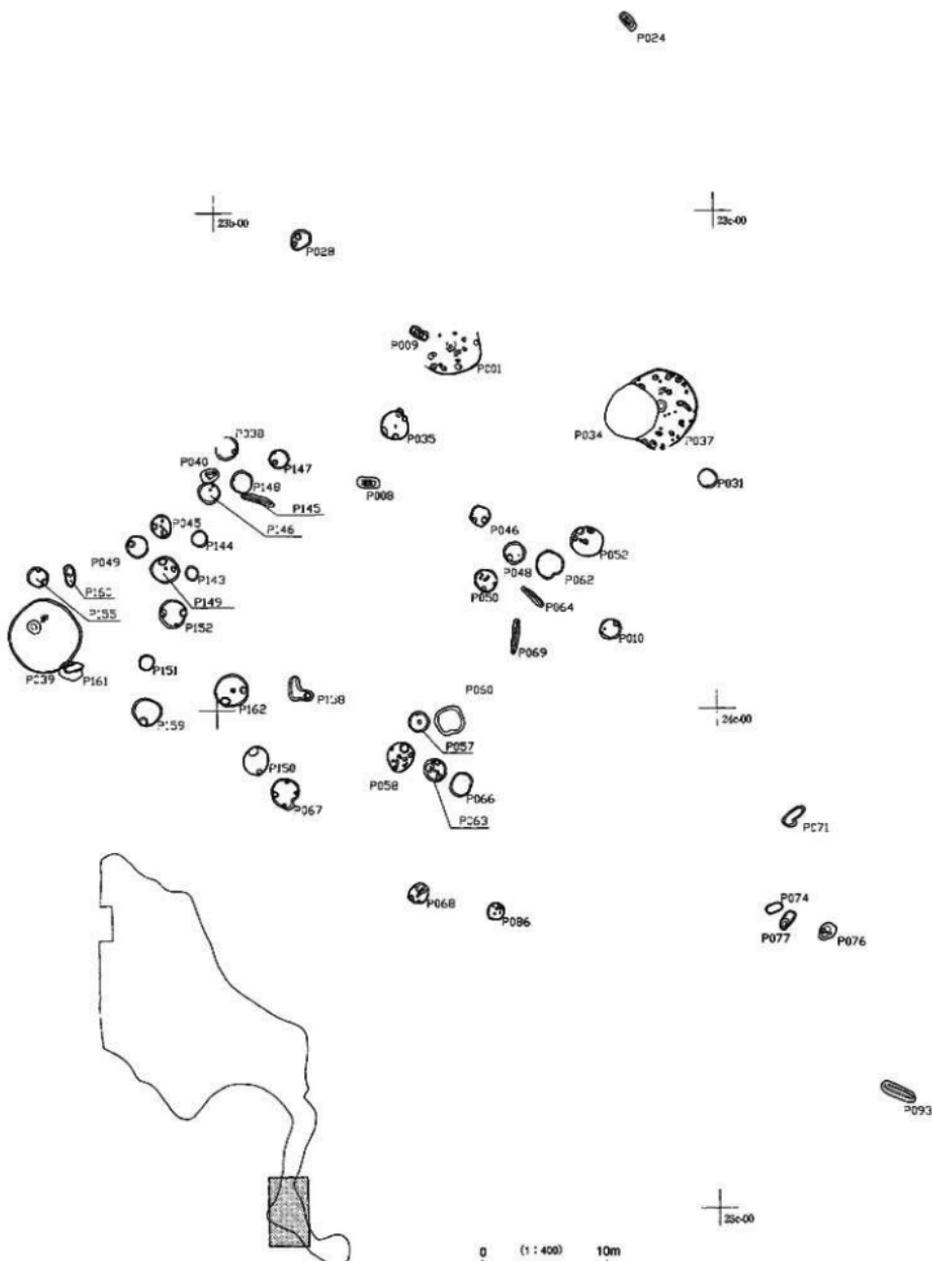
- 高橋康男 1985 「千葉県市原市 草刈遺跡」
- 高田博也 1986 「千原台ニュータウンⅢ 草刈遺跡 (B区)」
- 中村信博 1998 「溝型陥し穴研究序説 - 関東地方における溝型陥し穴の基礎的研究 -」 栃木県考古学会誌19
- 中野修秀 2000 「遺構外出上の遺物」『寄掛貝塚遺跡-金谷郷遺跡群Ⅲ-』
- 成出英吉他 1999 「石器石材の分析」『千葉県市原市祇園原貝塚』
- 西野雅人 1994 「貝サンプルの分析」『千原台ニュータウンⅥ - 草刈六之台遺跡-』
- 西野雅人 2000 「草刈貝塚」『千葉県の歴史 資料編 考古1 (旧石器・縄文時代)』
- 西野雅人 2001 「縄文時代中期の通年定住集落周辺遺跡群 - 千葉市有吉北貝塚と中期遺跡群における居住・生産様式の検討-」 史館31
- 西野雅人 2002 「市原市草刈六之台遺跡の縄文早期貝層-補遺-」 研究連絡誌61
- 蜂屋孝之 1998 「桜井平遺跡」『干潟工業団地埋蔵文化財調査報告』
- 松島義章 1980 「千原台地区の沖積低地」『千原台ニュータウン1 野馬堀遺跡・ばあ山遺跡・他』
- 宮重行他 1981 『木の根 - 成田市木の根No.5, No.6 遺跡発掘調査報告書-』
- 領塚正浩 2000 「佐倉道南遺跡」『千葉県の歴史 資料編考古1』



第132図 遺構分布(1)



第133図 遺構分布(2)



第134図 遺構分布 (3)

P096

第7表 草刈遺跡群縄文時代遺構集計結果

平成14年集計、今後の整理作業により変更される

時期 遺構	西部*							事業外**				東部							総計	
	F区	I区	J区	M区	L区	K区	H区	S区	Q区	R区	A区	B区	D区	C区	E区	G区	N区	P区		
早期 竪穴住居	3	1								2			1					7		
小竪穴													3					3		
炉穴	72		4		1	5				108			13	2	3		14	222		
陥し穴***	1		5	9	3	64	14			1			7	49	34	39	23	2	14	265
土坑	5					3							5	2	1			16		
中期 竪穴住居						3	104	9	21	8	5	177	6	21				3	357	
小竪穴						1	347	6	9	29		573	3	6				33	1007	
土坑						4	3			1			6	9				1	24	
斜面貝層						1													1	
不明 竪穴住居	1									1			1						3	
小竪穴																		1	1	
土坑	1	1		1		7	94			8	11	4	12	11	1			1	152	

\*西部地区は整理作業が未了である。H区の時期不明土坑は中期の土坑が中心である。

\*\*仮に、市原市調査区をS区、千葉急行線調査地区をQ区、六之台遺跡をR区とした。

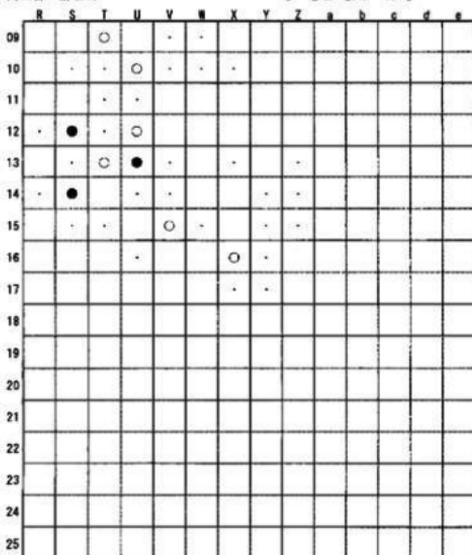
\*\*\*陥し穴は便宜上すべて早期に入れた。草創期～早期が中心であったと考えられる。

第8表 縄文石器 掲載資料器種・石材構成

器種I	器種II	黒曜石	片岩	安山岩	砂岩	流紋岩	凝灰岩	花崗岩	頁岩	珪質頁岩	砂岩	花崗岩	片岩	凝灰岩	不明	総計		
石鏃	凹基底 平基底 凸基底 不明 未成基	84 8 7 1 17	27 12 : : 9	5 1 : : :	: : : : :	1 : : : :	1 : : : :	2 : : : :	3 : : : :	1 : : : :	4 2 1 : :	134 27 4 : 21						
石鏃		1														1		
穴通器		1	3		2		1	2	3	1						15		
磨石磨盤		27	10	4			1	2	3							45		
磨石磨		10	1		1	1			1							15		
石鏃		22	2	1						1	1					27		
割片類	M B 一	25 20 10	3 : :					1								38		
打製石斧		1	5	19	5	13	5	2	2				1	1	1	56		
磨製石斧			1	9	4	4	3	1								23		
磨石類		1	22	24	16		1			1	1					67		
石鏃			7													7		
総計		227	61	45	53	22	20	7	4	11	9	12	2	2	1	1	19	603

## 阿玉台・腰板式

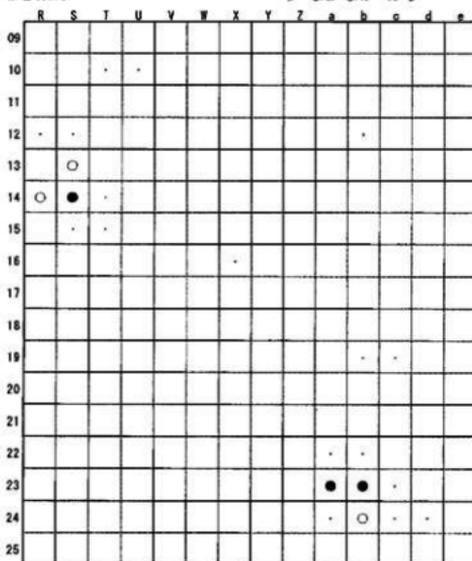
多 ●○◎○◎○◎○◎○少



- 阿玉台・腰板式の遺構
- 09T D0248 住居 阿玉台 1
  - D029 住居 阿玉台 1 b
  - 10S D084 小竪穴 阿玉台 1 a
  - 10U D0868 住居 阿玉台 1 a?
  - 12S C067 住居 阿玉台?
  - 12U D110 小竪穴 阿玉台 1 a
  - 13U C080 土坑 阿玉台 1 a
  - C127 住居 阿玉台 1
  - D111A 小竪穴 阿玉台 1 a
  - 13V C105 土坑 阿玉台 1 b
  - 14V C028 土坑 阿玉台 1
  - 15V C142 小竪穴 阿玉台 1 a
  - 15W C143 小竪穴 阿玉台 1
  - 16X C172 住居 腰板・中層

## 加曾利E式

多 ●○◎○◎○◎○◎○少



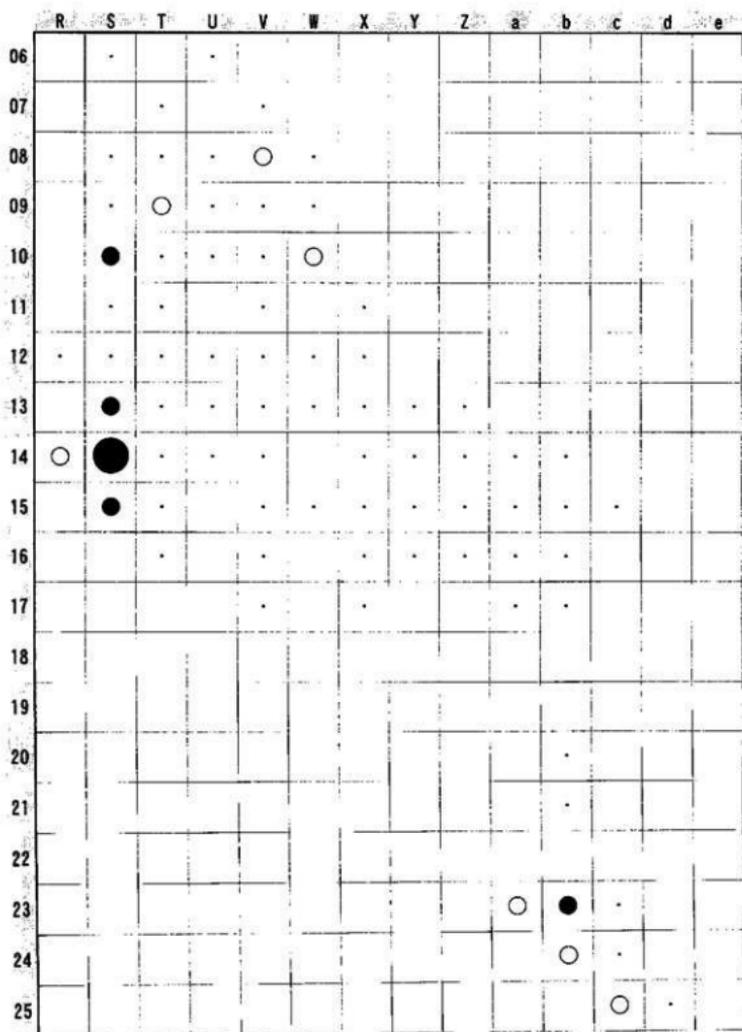
- 加曾利E式の遺構
- 12S C022C 住居 加曾利E式
  - C064 住居 加曾利E?
  - C065 住居 加曾利E跡
  - C066 住居 腰板・加曾利E?
  - C069 住居 加曾利E跡
  - C082A 住居 加曾利E?
  - C032A 住居 加曾利E?
  - C049A 住居 加曾利E?
  - C023A 住居 加曾利E跡
  - 14S C024A 住居 加曾利E?
  - 14T C027 住居 加曾利E?
  - 15S C017A 住居 加曾利E?
  - 16X C172B 住居 腰板・加曾利E?
  - 23a P029 住居 加曾利E?
  - P045 小竪穴 加曾利E跡
  - P049 小竪穴 加曾利E?
  - P146 小竪穴 加曾利E?
  - P148 小竪穴 加曾利E?
  - P152 小竪穴 加曾利E?
  - P153 小竪穴 加曾利E?
  - P159 小竪穴 加曾利E?
  - P182 小竪穴 加曾利E?
  - P001 住居 加曾利E?
  - P010 小竪穴 加曾利E?
  - P028 小竪穴 中層
  - P025 小竪穴 加曾利E跡
  - P027 住居 加曾利E?
  - P028 小竪穴 加曾利E?
  - P048 小竪穴 加曾利E?
  - P052 小竪穴 加曾利E?
  - P148 小竪穴 加曾利E?
  - 23c P031 小竪穴 加曾利E?
  - P058 小竪穴 加曾利E?
  - P156 小竪穴 加曾利E?

以下の小竪穴も加曾利E式とみられる  
 23a=P028-048-020-080-082-147  
 24b=P037-043-086-087-088-089

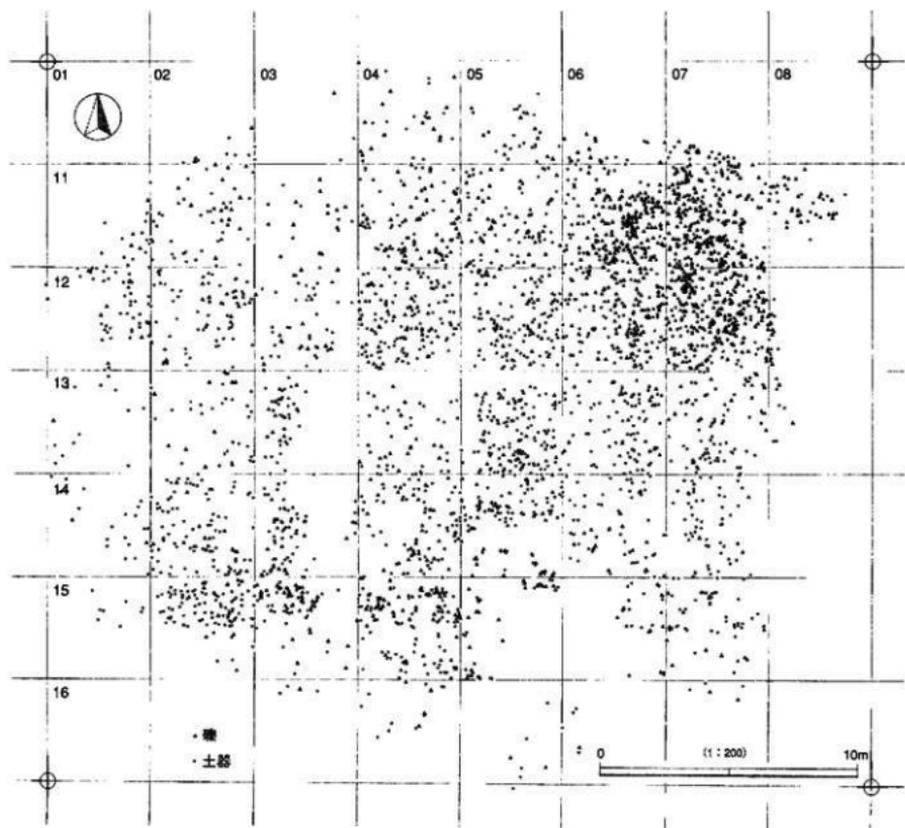
第135図 縄文中期掲載土器分布

掲載石器全体 n=1,438

多 ● >500 - ● >30 - ○ >10 - · >0 少



第136图 掲載石器分布



第137图 D区遗物集中区 土器·骨分布

## 1. 礫以外

n=941

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
<b>13S</b>										
10										
20										
30										
40										
50										
60										
70										
80	1	<b>22</b>	4							
90	1	<b>30</b>	1							
<b>14S</b>	<b>36</b>	10	6		5					
10	<b>75</b>	<b>11</b>	<b>12</b>	8						
20	147	7	6							
30	188	<b>32</b>	6							
40	<b>47</b>	<b>14</b>	<b>17</b>							
50	<b>54</b>	8	<b>16</b>		4					
60	1	<b>15</b>	1		1					
70		<b>24</b>	8		3					
80		8	<b>19</b>		4					
90		9	1	1	2	1				
<b>15S</b>		1	3	2	1	1				
10		4	8	1						
20	4	5			3					
30	2	1	1		1	1				1
40			2	2					1	
50			1			4			1	
60						2				
70										
80	1									
90	1									

## 2. 礫

n=390

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
<b>13S</b>										
10										
20										
30										
40				1						
50						1				
60										
70										
80	7	9	1							
90	<b>14</b>	8								
<b>14S</b>	<b>15</b>	1	2		1					
10	<b>29</b>	2	2	1						
20	<b>56</b>	1	4							
30	<b>42</b>	8	1							
40	<b>25</b>	5	2		4					
50	<b>12</b>	3	6		1					
60	1	6	8		3					
70		3	7		4	2				
80		1	7	4	9	2				
90		2	1	1	4	4				
<b>15S</b>		5	5	1	2	2	2	1		1
10		2	4		1	1	4	4		
20		1	2		3			2	1	
30		1	4	2	1	1	1			
40					2	2				
50									4	1
60										
70										
80										
90										

第138図 C区遺物集中区の石器類分布

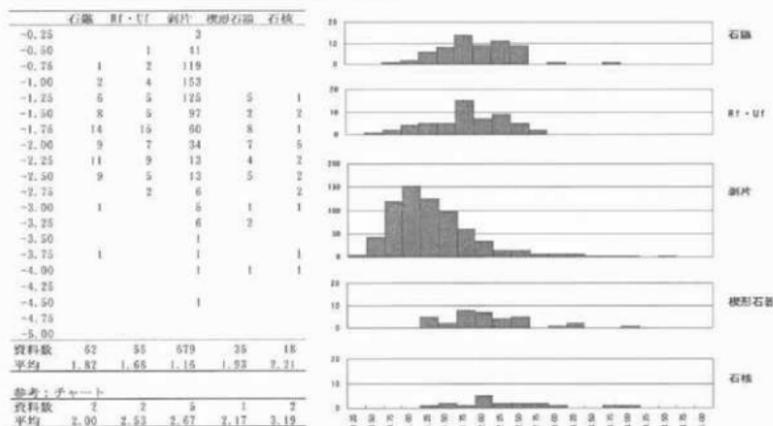
第9表 C区遺物集中区石器組成

器種	黒曜石	チャート	安山岩	石英	ホルンフェルス	砂岩	閃緑岩	流紋岩	花崗岩	ハンレイ岩	蛇紋岩	石英斑岩	凝灰岩	緑色凝灰岩	粘板岩	緑色片岩	合計
石鏃	62	2	1	1													68
尖頭器	1				1												2
石鏃					1												1
削器	2	2															4
加工痕ある剥片	26	2															28
使用痕ある剥片	30																30
剥片	679	5			5	5	1								1		696
楔形石器	35	1		1	1												38
石杖	18	2															20
打製石斧		1	1		8	10								1	1		22
磨製石斧						1			1		1			1	1		5
磨石類		3	4			8	1	2	1	1		1					21
石皿			1														1
合計	853	18	7	2	16	24	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1	934

第10表 C区遺物集中区 黒曜石の平均的な大きさ

	長さ	幅	厚さ	重さ	打面幅	打面厚
平均	1.30	1.17	0.39	0.74	0.66	0.28
最大	4.42	3.39	1.99	15.70	2.46	1.28
最小	0.17	0.24	0.02	0.10	0.07	0.03
試料数	853	853	853	853	219	163

第11表 C区遺物集中区 黒曜石器種別長さ分布



第139図 黒曜石の長さ分布

第12表 草刈東部縄文遺構一覽

遺構No	種別	施設	時期	発見	施設	出土遺物	所在	平面形	長	幅	高さ	土厚	備考	
<b>1期穴住居</b>														
C197	1期穴住居	1期	縄文	居住	土器(丸)		西の方	300	300	10	3-240*	17a	8	
D111	2期穴	2期	縄文	炊飯床に伏せ穴、小穴?	糸織文、屈ねなし		311-332	不詳	130	165	15	3-15*	087	8
D130	2期穴	2期	縄文	炊飯床に伏せ穴	土器?		289-288, 287	門	174	140	45	3-40*	063	8
D161	2期穴	2期	縄文	炊飯床に伏せ穴	土器?		門	262	187	85	3-203*	063	8	
<b>2期穴</b>														
C238	3期穴	3期	縄文											
C322	3期穴	3期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器3、屈ねなし、粘土		238, 238(2)掘部	不詳	(250)	147	58	3-44*	143	8
C323	3期穴	3期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2、屈ねなし		232(1)付道	不詳	146	95	7	3-25*	167	8
D307A	3期穴	3期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2、屈ねなし		232(1)付道	不詳	164	121	30	3-162*		8
D307B	3期穴	3期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2、屈ねなし		232(1)付道	不詳	205	119	18	3-240*	063	8
D389	3期穴	3期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2、屈ねなし		232(1)付道	不詳	178	113	30	3-250*	063	8
D392	3期穴	3期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2、屈ねなし		232(1)付道	不詳	148	116	15	3-311*	067	8
D409	3期穴	3期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2、屈ねなし		232(1)付道	不詳	202	114	29	3-44*	063	8
E273	3期穴	3期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2、屈ねなし		232(1)付道	不詳	172	163	33	3-203*	109	8
P070	3期穴	3期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2、屈ねなし		232(1)付道	不詳	178	55	28	3-203*	210	8
P072	3期穴	3期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2、屈ねなし		232(1)付道	不詳	142	53	18	3-252*	226	8
<b>4期穴</b>														
D262	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		門	222	114	60	3-43*	070	8	
D283	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		門	153	81	32	3-25*	070	8	
D284	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		門	185	97	44	3-117*	070	8	
D304	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		門	204	105	44	3-167*	063	8	
D347	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		385-386(3)	不詳	158	78	58	3-45*	070	8
D358	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	124	75	48	3-44*	063	8	
D366	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	(240)	108	60	3-50*	063	8	
O400	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	82	68	48	3-36*	063	8	
F158b	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	90	78	7	3-217*	099	8	
E260	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	202	213	29	3-351*	109	8	
G091	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	115	72	13	3-135*	131	8	
G271A	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	183	85	83	3-17*	74b	10	
P084	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	120	136	35	3-41*	25c	10	
P085	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	80	63	14	3-31*	25c	10	
P071	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	200	118	14	3-32*	24c	10	
P074	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	128	72	47	3-28*	24c	10	
P076	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	103	118	32	3-62*	24c	10	
P077	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	143	82	32	3-38*	24c	10	
P158	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	233	118	26	3-202*	23b	11	
P160	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	171	80	32	3-303*	23a	11	
P161	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	200	163	47	3-57*	23a	11	
P164	4期穴	4期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	122	84	13	3-22*	24c	10	
<b>5期穴</b>														
C0018	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	278	139	119	3-311*	135	22	
C007	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	154	113	112	3-358*	125	22	
C083	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	212	117	86	3-277*	125	22	
C086	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	200	121	85	3-285*	125	22	
C088	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	182	92	55	3-228*	125	22	
C120	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	268	128	82	3-134*	135	22	
C120d	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	96	72	50	3-321*	161	22	
C129	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	(225)	84	84	3-332*	161	22	
C129f	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	284	69	60	3-4*	172	22	
C129i	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	117	86	85	3-19*	161	22	
C179e	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	95	87	65	3-227*	172	22	
C183	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	117	86	85	3-19*	161	22	
C202	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	128	96	78	3-232*	160	22	
C209	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	110	88	123	3-319*	167	22	
C215a	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	172	—	84	3-388*	165	22	
C216	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	184	—	84	3-388*	165	22	
C218	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	105	94	97	3-46*	132	22	
C217	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	131	91	48	3-209*	131	22	
C219	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	138	187	111	3-32*	131	22	
C236	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	177	152	132	3-335*	176	22	
C275	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	208	95	63	3-4*	149	22	
C285	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	193	99	85	3-283*	161	22	
C286	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	221	86	73	3-20*	161	22	
C287	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	88	(13)	65	3-348*	161	22	
C284	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	131	93	55	3-271*	161	22	
C297	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	272	110	138	3-36*	161	22	
C288	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	238	82	90	3-19*	161	22	
C300	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	385	84	139	3-319*	161	22	
C301	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	137	68	82	3-388*	161	22	
C304	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	141	85	80	3-212*	161	22	
C305	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	118	37	38	3-228*	161	22	
C313	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	172	127	112	3-15*	161	22	
C315	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	191	130	134	3-62*	161	22	
O038	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	184	82	73	3-337*	081	22	
O108c	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	228	118	107	3-45*	127	16	
O108f	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	228	85	73	3-21*	127	16	
O212	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	(162)	74	102	3-338*	127	16	
D220	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	188	95	78	3-48*	071	16	
D233	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	214	86	72	3-25*	087	16	
D237	5期穴	5期	縄文	居住不明、包含部中にある	土器2		不詳	122	88	149	3-15*	121	16	

原簿No.	原簿	種別	時定所見	原簿所見	担当項目	新国債簿	平定簿	長巻帳	貸借表	貸出	主簿	G10	原簿
0275	5601小六	権内型		大六, 中六小六		287-288	権内	153	79	10	5-301		063
C183	5601小六	権内型		大六, 大六或小六	権内上置なし		権内	137	86	5-16			165
C202	5601小六	権内型		小六	権内上置なし, 中置上置	207	権内	128	34	18	5-322		166
C215A	5601小六	権内型		大六	なし	219C215A	長巻	172		94	5-300		142
C215B	5601小六	権内型		小六(種し)	中置小六, 置入	219C215A	長巻	164		83	5-306		145
C216	5601小六	権内型		小六, 月巻に並い	なし		長巻	105		94	5-48		140
C217	5601小六	権内型		小六	なし		長巻	135		91	48	5-288	137
C218	5601小六	権内型		小六	なし		長巻	158		111	5-48		151
C219	5601小六	権内型		種し	種し, 或まて不定形種し, 種し		長巻	177		152	182	5-350	173
C275	5601小六	権内型		大六	権内上置なし		権内	210		95	43	5-48	147
C285	5601小六	権内型		大六	なし		権内	169		83	5-283		143
C286	5601小六	権内型		大六	なし	299C(経苦)種し	権内	221		83	71	5-280	144
C284	5601小六	権内型		大六	なし		権内	151		93	65	5-27	153
C288	5601小六	権内型		中六	なし		権内	239		82	90	5-19	189
C301	5601小六	権内型		小六	なし		権内	137		82	87	5-285	188
C304	5601小六	権内型		小六(小六小六)	なし		権内	141		81	60	5-212	189
C305	5601小六	権内型		小六	なし		権内	174		87	28	5-226	189
C313	5601小六	権内型		種し, 或平置	なし	313C18号種	権内	174		127	102	5-55	182
C315	5601小六	権内型		種し, 或平置	なし	313C18号種	権内	169		130	134	5-48	182
C028	5601小六	権内型		大六, 中六小六	権内上置なし		長巻	184		92	13	5-337	067
C106G	5601小六	権内型		大六	権内上置なし		権内	228		118	107	5-43	127
C106H	5601小六	権内型		大六	権内上置なし		権内	174		87	28	5-226	189
C212	5601小六	権内型		種し, 種置(種置種置)で種置	なし	312C18号種	長巻	1030		34	102	5-335	127
0220	5601小六	権内型		小六		220C21	権内	189		95	10	5-25	071
0223	5601小六	権内型		大六			権内	214		96	12	5-25	067
0227	5601小六	権内型		中六			権内	184		98	5-29		24
0267	5601小六	権内型		大六, 中六小六		267-268	権内	153		79	10	5-301	063
0268	5601小六	権内型		大六, 中六小六		268-267	権内	183		79	10	5-26	063
0281	5601小六	権内型		大六	上置(種し種し)		権内	159		85	65	5-74	070
0285	5601小六	権内型		大六			権内	131		89	84	5-278	076
0287	5601小六	権内型		大六	小六, 伊染に1尺足が横状		長巻	100		96	120	5-238	080
0284	5601小六	権内型		大六			権内	168		85	65	5-256	075
0309	5601小六	権内型		中六			長巻	177		90	69	5-34	061
0310	5601小六	権内型	条取文	中六			長巻	225		118	54	5-51	061
0321	5601小六	権内型		小六, 裏種し			長巻	147		85	94	5-333	079
0322	5601小六	権内型		大六			権内	199		123	14	5-27	080
0323	5601小六	権内型		小六			長巻	174		97	84	5-31	079
0329	5601小六	権内型	条取文	大六(小六小六)	条取反上置片		長巻	184		91	64	5-11	067
0332	5601小六	権内型		中六			長巻	191		79	57	5-8	111
0337	5601小六	権内型		種し, 中長種着下下の種し			権内	230		128	86	5-45	130
0339	5601小六	権内型		大六			長巻	195		90	69	5-26	120
0355	5601小六	権内型		小六			長巻	282		91	70	5-38	067
0356	5601小六	権内型	条取文	小六			長巻	143		88	72	5-315	061
0359	5601小六	権内型		小六		356-388	長巻	177		111	15	5-28	065
0360	5601小六	権内型		小六		369C300, 権内型	権内	147		111	15	5-28	065
0361	5601小六	権内型		中六			権内	157		87	73	5-348	189
0362	5601小六	権内型		中六		361C304	長巻	161		89	60	5-318	189
0363	5601小六	権内型		中六(小六)		363C300	長巻	199		100	62	5-25	189
0367	5601小六	権内型		大六(小六)		367C216	権内	214		116	72	5-30	080
0370	5601小六	権内型		大六			長巻	164		57	21	5-38	080
0371	5601小六	権内型		小六			長巻	135		88	94	5-38	080
0375	5601小六	権内型		中六(小六)		375C79, 381	権内	135		51	60	5-28	080
0376	5601小六	権内型		大六(小六)		376C81	権内	182		73	15	5-28	080
0378	5601小六	権内型		大六(小六)			長巻	142		62	75	5-21	080
0384	5601小六	権内型		小六		384C215	長巻	197		101	92	5-41	063
0393	5601小六	権内型		中六			権内	165		103	118	5-349	063
0399	5601小六	権内型	条取文	大六(小六小六)			権内	181		72	80	5-322	063
0402B	5601小六	権内型		種し		1089	長巻	101					121
0403	5601小六	権内型		小六		409-292	不燃簿	153		93	63	5-42	080
0406	5601小六	権内型		小六			権内	155		91	76	5-348	061
0414	5601小六	権内型		大六(小六)		414C42	長巻	286		112	29	5-27	108
0421	5601小六	権内型		中六		421C41B	権内	139		69	55	5-41	063
E088C	5601小六	権内型		大六		088C088A	長巻	142		67	33	5-37	108
E088D	5601小六	権内型		中六		088D088A	権内	210		85	108	5-14	108
E137D	5601小六	権内型		小六(小六), 不燃簿, 種し小六		137D121A, 138, 218	不燃簿	184		97			089
E192	5601小六	権内型		種し, 或起状あり	種し上置なし	192C61	権内	174		83	70	5-342	089
E193	5601小六	権内型		大六	種し上置なし	193C12, 121, 123	権内	187		88	68	5-19	189
E195	5601小六	権内型		大六(種し), 種し種置	種し上置なし		権内	130		75	76	5-218	089
E196	5601小六	権内型		中六	種し上置なし	196C12	長巻	182		75	42	5-278	108
E197	5601小六	権内型		中六	種し上置なし		長巻	156		69	64	5-29	089
E202	5601小六	権内型		中六	種し上置なし		権内	135		83	60	5-43	089
E204	5601小六	権内型		大六, なかに小六	種し上置なし	202-180	権内	175		71	94	5-59	189
E212	5601小六	権内型		中六	種し上置なし		権内	181		91	58	5-304	089
E223	5601小六	権内型		大六	種し上置なし	223C947	長巻	142		74	72	5-14	189
E224	5601小六	権内型		大六	種し上置なし		長巻	74		64	80	5-17	189
E225	5601小六	権内型		小六	種し上置なし		不燃簿	151		100	42	5-45	189
E228	5601小六	権内型		大六(中六小六)	種し上置なし	228C88	長巻	250		130	95	5-45	089
E229	5601小六	権内型		大六(小六)	種し上置なし	229C37	権内	125		60	80	5-71	089
E230	5601小六	権内型		小六	種し上置なし	230C81B	権内	130		69	65	5-47	089
E231	5601小六	権内型		中六	種し上置なし	231C85A	権内	186		117	87	5-42	089
E232	5601小六	権内型		小六	種し上置なし	232C88, 214A, 214B	長巻	179		74	76	5-14	089
E236	5601小六	権内型		中六	種し上置なし		長巻	177		94	60	5-48	089
E238	5601小六	権内型		大六(中六小六)	種し上置なし		長巻	123		60	41	5-49	089
E240	5601小六	権内型		中六	種し上置なし		長巻	195		78	72	5-20	089
E244	5601小六	権内型		小六	種し上置なし		権内	169		88	47	5-42	089
E245	5601小六	権内型	条取文	大六(小六)		245-341	長巻	186		106	71	5-27	089

道路No.	道路I	道路II	所屬所見	施設形式	出土遺物	新目録号	宇原郡	長軸長	短軸長	厚さ	土層	GRD	標高
E247	3編し穴	横河原		大穴I	埴輪土器なし		横河	154	78	34	3-10*	100	21
E248	3編し穴	横河原		大穴I	埴輪土器なし	249C088	横河	128	87	26	3-54*	099	-
E249	3編し穴	横河原		中穴I	埴輪土器なし	249C090		156	43	25	3-48*	099	-
E251	3編し穴	横河原		中穴I	埴輪土器なし	211C178	北方	123	40	27	3-28*	088	-
E259	3編し穴	横河原	赤飯文	中穴I, 船袋I	土器片I, 埴輪土器なし		東方	200	66	47	3-2*	085	21
E262	3編し穴	横河原		中穴I	埴輪土器なし		横河	145	90	57	3-245*	089	21
E268	3編し穴	横河原		大穴I	埴輪土器なし		横河	154	90	82	-	119	21
E270	3編し穴	横河原		大穴I	埴輪土器なし	219C00713	東方	(154)	101	80	3-214*	113	21
E271	3編し穴	横河原		大穴I	埴輪土器なし	211:106A, 104B	横河	143	107	55	3-21*	100	21
E272	3編し穴	横河原		大穴I	埴輪土器なし	212:121	横河	322	118	66	3-30*	106	21
E280	3編し穴	横河原		中穴I	埴輪土器なし		東方	191	79	47	3-316*	123	21
G005	3編し穴	横河原		中穴I		005C004	横河	183	111	129	-	132	24
G008	3編し穴	横河原		大穴I+小穴I	埴輪石片-埴輪なし		東方	183	89	73	3-21*	127	21
G009	3編し穴	横河原		大穴I, 中に小穴I			本陣門	202	14	128	3-24*	129	21
G068	3編し穴	横河原		中穴I			横河	165	71	25	3-18*	143	21
G090	3編し穴	横河原		大穴I			東方	130	72	70	3-96*	131	21
G108	3編し穴	横河原	赤飯文	大穴I	赤飯文土器破片		北方	160	68	84	3-232*	142	22
G110	3編し穴	横河原		大穴I		110C109	横河	183	93	25	3-278*	146	-
G115	3編し穴	横河原		大穴I			東方	142	81	35	3-48*	132	21
G117	3編し穴	横河原		大穴I, 中央に台穴			北方	121	53	58	3-68*	133	24
G122	3編し穴	横河原		大穴I			東方	(120)	143	45	3-19*	137	-
M019	3編し穴	横河原		小穴I		019:004	東方					187	-
P008	3編し穴	横河原		中穴I, 穴の形状は断面だが小さい		008C83号墳	横河	173	81	57	3-176*	216	22
P009	3編し穴	横河原		大穴I	なし	009C001:台号墳	東方	171	18	72	3-202*	211	22
P011	3編し穴	横河原		大穴I, 敷面平坦, 土層大きく傾く	なし	011C24号墳, 20号	横河	204	41	123	3-229*	246	22
P024	3編し穴	横河原		中穴I			東方	180	19	65	3-222*	226	22
P040	3編し穴	横河原		小穴I			横河	146	28	53	3-48*	226	22
P084	3編し穴	横河原		中穴I			東方	115	34	26	3-21*	225	22
P086	3編し穴	横河原		中穴I			横河	164	75	30	3-348*	236	22
P101	3編し穴	横河原		中穴I, 土層立がる			横河	215	127	83	3-28*	254	22

第13表 遺構出土縄文土器

区	資料No.	分類	分類2	器種	部位	形態・文様等	GR10	注記	備考・特記
25	C192	-1	02群 2器	深鉢	胴	行の短底鉢	17a	C192/1	
		-2	02群 2器	深鉢	胴	行の短底鉢	17a	C192/12	
		-3	05群 4器	深鉢	胴	外郭赤灰、内面行、線状土器	17a	C192/2, 4	
		-4	05群 4器	深鉢	胴	外郭赤灰、内面行、線状土器	17a	C192/3	
		-5	05群 4器	深鉢	胴	外郭ナデー泡い状態、垂直状、内面行、線状土器	17a	C192/11	
		-6	03群 2器	深鉢	胴	外郭行状短底、内面行 厚縁2本の太きなる、線状	17a	C192/8	
D309	-1	03群 4器	深鉢	口縁	外郭赤灰一行、内面行、平縁 線状土器	06T	0309/1		
		-2	03群 4器	深鉢	口縁	外郭行、内面行状、垂直状口縁、線状土器	06T	0309/2	
		-3	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰 一行外高底平足(輪郭)工具先跡 線状土器	06T	0310/1	1-2周-1
		-4	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰一行外高底平足 線状土器	06T	0310/1	1-2周-
		-5	03群 4器	深鉢	胴	内外赤灰一行、外高底平足-泡着、線状土器	06T	0310/1	
		-6	03群 4器	深鉢	胴	外郭赤灰一行、内面赤灰、線状土器	06T	0310/1	
		-7	03群 4器	深鉢	胴	外郭赤灰一行(本組)、内面赤灰、線状土器	06T	0310/1	
		-8	03群 4器	深鉢	胴	内外赤灰、線状土器	06T	0310/1	
		-9	03群 4器	深鉢	胴	外郭赤灰一行、内面赤灰、線状土器	06T	0310/1	
		-10	03群 2器	深鉢	胴	内外赤灰一行、線状土器	06T	0310/1	
D310	-1	03群 2器	深鉢	口縁	外郭赤灰一行、内面赤灰、線状土器	06T	0310/1		
		-2	03群 2器	深鉢	口縁	外郭赤灰一行、内面赤灰、線状土器	06T	0310/1	
		-3	03群 2器	深鉢	口縁	外郭赤灰一行、内面赤灰、線状土器	06T	0310/1	
		-4	03群 2器	深鉢	口縁	外郭赤灰一行、内面赤灰、線状土器	06T	0310/1	
D380	-1	03群 4器	深鉢	胴	内外赤灰、線状土器	06S	0380/1		
		-2	03群 4器	深鉢	胴	内外赤灰、線状土器	06S	0380/4	
		-3	03群 4器	深鉢	口縁	垂直状の太底鉢、線状土器	06S	0381/1	1-2周-
		-4	03群 4器	深鉢	口縁	垂直状の太底鉢、線状土器	06S	0381/1	1-2周-
D381	-1	02群 2器	深鉢	口縁	垂直状の太底鉢、線状土器	06S	0381/1	1-2周-	
		-2	02群 2器	深鉢	口縁	垂直状の太底鉢、線状土器	06S	0381/1	1-2周-
		-3	02群 2器	深鉢	口縁	垂直状の太底鉢、線状土器	06S	0381/1	1-2周-
D399	-1	03群 4器	深鉢	胴	内外赤灰、線状土器	06S	0399/1		
		-2	03群 4器	深鉢	胴	外郭赤灰、内面赤灰、一部赤灰、線状土器	06S	0399/1	
26	D282	-1	03群 2器	深鉢	口縁	口縁に研削状、外郭赤く強1行一高底足、内面赤灰、線状土器	06S	0282/1	輪郭あり
		-2	03群 4器	深鉢	胴-底	外郭赤灰、内面赤灰、一部赤灰、平底でやや中底、垂直状、線状土器	06S	0282/1, 2	
D303	-1	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰一行、線状土器	06S	0303/1		
		-2	03群 4器	深鉢	胴-底	外郭赤灰、内面赤灰、線状土器	06S	0303/1	
E260	-1	03群 4器	深鉢	胴	外赤行、内面赤灰、線状土器	17T	E260/2		
		-2	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰、線状土器	17T	E271/A/1	
G271	-1	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰、線状土器	17T	G271A/1		
		-2	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰、線状土器	17T	G271A/1	
		-3	03群 2器	深鉢	口縁	行状2本の短底地味、外郭行の赤灰、内面赤灰、線状土器	17T	G271A/1	
		-4	03群 4器	深鉢	胴	内外赤灰、線状土器	17T	G271A/1	
		-5	03群 4器	深鉢	胴	内外赤灰、線状土器	17T	G271A/1	
		-6	03群 4器	深鉢	底	内外赤灰、線状土器	17T	G271A/1	
P004	-1	03群 4器	深鉢	口縁	外郭赤灰一行、内面赤灰、口縁上一行行線状土器	25c	P004/1		
		-2	03群 4器	深鉢	胴	内外赤灰、線状土器	25c	P004/1	
		-3	03群 4器	深鉢	胴	外郭赤灰、内面赤灰、線状土器	25c	P004/1	
		-4	03群 4器	深鉢	胴	外郭赤灰、内面赤灰、線状土器	25c	P004/1	
P158	-1	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰線状土器、以下赤灰、泡い垂直状口縁、線状	23b	P158/2	1-4周-	
		-2	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰線状土器、以下赤灰、泡い垂直状口縁、線状	23b	P158/2	1-4周-
		-3	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰線状土器、以下赤灰、泡い垂直状口縁、線状	23b	P158/2	1-4周-
27	-1	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰線状土器、以下赤灰、泡い垂直状口縁、線状	23b	P158/2	1-4周-	
		-2	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰線状土器、以下赤灰、泡い垂直状口縁、線状	23b	P158/2	1-4周-
		-3	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰線状土器、以下赤灰、泡い垂直状口縁、線状	23b	P158/2	1-4周-
		-4	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰線状土器、以下赤灰、泡い垂直状口縁、線状	23b	P158/2	1-4周-
		-5	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰線状土器、以下赤灰、泡い垂直状口縁、線状	23b	P158/2	1-4周-
		-6	03群 4器	深鉢	口縁	内外赤灰線状土器、以下赤灰、泡い垂直状口縁、線状	23b	P158/2	1-4周-
P161	-1	03群 4器	深鉢	口縁	外赤行、内面赤灰、口縁上一行、線状土器	23a	P161/1		
		-2	03群 4器	深鉢	胴-底	外赤行高底足、内面赤灰、平縁の小型土器、線状土器	23a	P161/12, 13, 14	
		-3	03群 4器	深鉢	胴-底	外赤行高底足、内面赤灰、平縁の小型土器、線状土器	23a	P161/12, 13, 14	

## 中期遺構出土土器

区	資料No.	分類	分類2	器種	部位	形態・文様等	GR10	注記	備考・特記
43	C015	-1	10群 1器	口縁-形	口縁-胴	平縁、地味赤灰、成器、電対磁器-胴行新製黒漆文	14R	C015/184	
		-2	10群 1器	深鉢	口縁-胴	口縁無文、3-5片状、交互刻文片断 胴部、地文のみ	14R	C015/186, 476	最大径56.9
		-3	9, 10	口縁-形	胴-底	地文のみ	14R	C015/227, 588, 649, 626, 530, 566, 3, 760, 770, 529, 915	
		-4	9, 10	深鉢	全体	内面から口縁上赤灰	14R	C015/185, 184, 593	最大径41.2
		-5	9, 10	深鉢	全体	赤灰のみ	14R	C015/756, 306, 350, 380, 357, 371, 5, 538, 140, 149, 145	最大径51.2
		-6	9, 10	口縁-形	胴-底	太い厚縁の地文のみ	14R	C015/752, 498, 566, 369, 439, 50	
		-7	9, 10, 10-1?	口縁-形	胴	地文のみ	14R	C015/408, 829	
		-8	11群	深鉢	胴	胴部のみ、胴部に沈線並行	14R	C015/447	大径36
		-9	09群 2器	深鉢	胴-底	胴部付加赤灰、沈線、胴下沈線文	14R	C015/537, 964	最大径13.5
		-10	10群 1器	口縁-形	口縁	赤灰と黒漆-赤灰赤文、乳	14R	C015/452	
		-11	10群 1器	口縁-形	口縁	赤灰と黒漆-赤灰赤文、乳	14R	C015/534	
		-12	10群 1器	口縁-形	口縁	地味赤灰、赤灰赤文、乳	14R	C015/749, 1274	
		-13	09群 7	深鉢	口縁	赤い厚縁内面沈線、乳、土質赤文の線	14R	C015/355	
		-14	10群 1器	深鉢	口縁	垂直状口縁、地味赤灰面に赤い口縁無文、電対、地味赤灰内面赤文	14R	C015/650	
-15	10群 1器	口縁-形	口縁	平縁、地味赤灰、乳	24R	C015/28			
-16	10群 1器	口縁-形	口縁	地味赤灰、内面赤灰、平縁と沈線並行	24R	C015/7, 40, 1274			
-17	10群 1器	深鉢	胴	赤灰、乳	14R	C015/409, 271, 465, 303, 179, 81, 6, 940			



区	資料No.	分類	分類2	種別	部位	形態・文種等	GRID	注記	備考・特記	
C173	-2	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文	130	C173/1		
	-3	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文	130	C173/2	4-6-6同-1	
	-4	09群	1類	深鉢	口縁	角押文付口縁部	130	C173/3	4-6-6同-1	
	-5	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	130	C173/4	4-6-6同-1	
	-6	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	130	C173/5		
	-7	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	130	C173/6		
	-8	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	130	C173/7		
	-1	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	130	C173/8		
	-2	09群	5?類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C173/9	伏鉢, 宛形, 最大径25.0	
	-3	09群	2or3類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C173/10		
	-4	09群	3?類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C173/11		
	C177B	-1	09群	4類	深鉢?	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/1	
		-2	10群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/2	2-4-6-8同-1
		-3	9.10	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/3	
-4		10群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/4	2-4-6-8同-1	
-5		10群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/5	内面欠による(白)色	
-6		09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/6	2-4-6-8同-1	
-7		09群	3類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/7		
-8		09群	5類	深鉢?	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/8		
-9		09群	5類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/9		
-10		09群	5類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/10		
-11		09群	5類	深鉢?	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/11		
-12		09群	5類	深鉢?	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/12	12-13同-1	
-13		09群	5類	深鉢?	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/13	12-13同-1	
-14		09群	5類	深鉢?	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/14		
49 C177B	-15	09群	5類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/15		
	-16	09群	5類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/16		
	-17	09群	5類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/17		
	-18	09群	5類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/18		
	-19	9.10	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/19		
	-20	09群	4類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/20		
	-21	09群	4類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/21		
	-22	9.10	4類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/22		
	-23	9.10	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	16X	C177B/23		
	D002	-1	09群	1類	深鉢	口縁・胴	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	08S	0002/1, 3, 6, 10, 12, 19, 24, 26, 2, 7, 29, 30, 31, 32, 36, 39, 42, 45, 4, 18	
		-2	09群	5類	深鉢	胴	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	08S	0002/1, 23, 25, 26, 28, 44, 47	
		-3	09群	3類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	08S	0002/2	130-137同-1
		-5	09群	3類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	08S	0002/2	130-137同-1
	50 D002s	-1	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0024B/107, 10	
-2		09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0024B/101		
-3		09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0024B/109		
-4		09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0024B/103		
-5		09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0024B/105		
D039	-1	09群	1類	深鉢	全体	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/13	伏鉢, 底面付付着	
	-2	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/1, 5, 14, 15		
	-3	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/3		
	-4	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/2		
	-5	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/2		
	-6	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/2		
	-7	09群	5?類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/2		
	-8	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/15		
	-9	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/2, 7, 9		
	-10	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/1		
	-11	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	09T	0039/11		
D096B	-1	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	100	D096B/2		
	-2	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	100	D096B/4		
	-3	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	100	D096B/1		
	-4	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	100	D096B/2		
	-5	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	100	D096B/2		
	-6	09群	1類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	100	D096B/2		
D221	-1	10群	2or3類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	07T	D221/4		
	-2	10群	2or3類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	07T	D221/14		
	-3	10群	2or3類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	07T	D221/11		
	-4	10群	2or3類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	07T	D221/11		
51 P001	-1	10群	3or3類	深鉢	口縁・胴	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	196	P001/18, 527/19		
	-2	10群	2類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	196	P001/22		
	-3	10群	2類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	196	P001/7, 527/4, 9, 19	上層部のみ残存, 二次焼成による表面化現象	
	-4	10群	2類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	196	P001/46	全面表面化現象	
P037	-5	10群	2類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	196	P001/26	全面表面化現象	
	-6	10群	2類	深鉢	口縁	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	196	P001/2		
	-1	10群	3類	深鉢	口縁・胴	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	236	P037/1, 4, 237/14, 15, 16		
	-2	10群	3類	深鉢	口縁・胴	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	236	P037/1, 2		
	-3	10群	3類	深鉢	口縁・胴	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	236	P037/1, 2		
	-4	10群	3類	深鉢	口縁・胴	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	236	P037/2		
52 P037	-5	10群	3類	深鉢	口縁・胴	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	236	P037/4		
	-6	10群	3類	深鉢	口縁・胴	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	236	P037/2, 4, 237/2		
	-7	10群	3or3類	深鉢	口縁・胴	施青・角押文, 井戸状突起, 裾み状突起	236	P037/2, 3, 4	3-7同-1	

部	資料No.	分類	分類2	種名	部位	形態・文種等	冊数	注記	備考・特記		
P039	-8	10冊	2or3	和文+和	刷	沈雄区画, LRL, 仏書類	23b	P037/2	7-8階		
	-9	10冊	2or3	和文+和	刷	原文に録写, 沈雄区画, 徳文原註, LRL	23b	P037/4			
	-10	10冊	2冊	漢語	刷	1本引き集合字簿上に徳語原註	23b	P037/4			
	-11	10冊	1冊	漢語	刷	日本語上の読みつ成文	23b	P037/4			
	-12	10冊	4冊	和文+和	刷	彩色不写	23b	P037/2			
	-1	10冊	2冊	和文+和	口説	区画区画等, 6冊以上上の漢文原註	23a	P038/1, 46/37/1, 44/46/1			
	-2	10冊	2冊	和文+和	刷	徳語原註	23a	P038/1			
	C142	-1	09群	1冊	漢語	口説	区画不完全, 漢語の角押文, 漢語原註, 特別付口説, つまみ状訳詞-漢語下読用, ひだ文	16V		C142/7, 8, 9, 20, 54, 121, 122, 13, 2, 133, 137, 163	区画区画2
		-2	09群	1冊	漢語	全体	読み訳原註, 和語付, 内訳丁寧原註, 巻物多	16V		C142/12, 14, 109, 155	巻物巻物2
		-3	09群	1冊	漢語	全体	読み訳原註, 和語付, ひだ文	16V		C142/136, 124, 6, 39, 42, 16, 18, 196, 132, 152	最大区画17.5
		-4	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文, 一部区画, 特別付漢語口説	16V		C142/4, 12, 161, 106, 111, 104, 1, 5, 117, 118, 138, 129, 152	47階一
		-5	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文	16V		C142/105, 110, 117, 129, 161	47階一
-6		09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文	16V	C142/158	47階一		
-7		09群	1冊	漢語	刷	漢語	16V	C142/11, 17, 49, 64	47階一		
-8		09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文または角押文区画区画, 漢語区画	16V	C142/55, 65, 95, 112, 141, 145, 1, 46, 157	漢語原註区画		
-9		09群	1冊	漢語	口説	角押文, 読みつ成文	16V	C142/28, 149			
-10		09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文, 読みつ成文	16V	C142/43			
-11		09群	1冊	漢語	口説	角押文, 読み訳原註, 下巻原註	16V	C142/4			
-12		09群	1冊	漢語	刷	漢語+角押文区画区画, 読み訳原註, 内外原註, ひだ文	16V	C142/3			
C143	-1	09群	1冊	漢語	口説	漢語区画, 角押文+特別付区画, 読みつ成文	15V	C143/5, 6, 3, 15			
	-2	09群	1冊	漢語	口説	17字改題+角押文, 読みつ成文	15V	C143/15			
	-3	09群	1冊	漢語	口説	角押文, 読みつ成文	15V	C143/15			
	-4	09群	1冊	漢語	口説	漢語区画, 角押文+特別付区画	15V	C143/15			
	-5	09群	1冊	漢語	口説	漢語区画, 角押文+特別付区画	15V	C143/15			
	-6	09群	1冊	漢語	口説	漢語区画, 角押文+特別付区画	15V	C143/15			
D110	-1	09群	1冊	漢語	口説	漢語口説, 漢語区画, 角押文, 沈雄原註, 漢語(1冊)	12b	D110/16			
	-2	09群	1冊	漢語	口説	漢文原註, 角押文+漢語, 漢語	12b	D110/2, 23, 26			
	-3	09群	1冊	漢語	口説	漢語区画, 角押文原註, 17階付, 口説原註	12b	D110/18, 25			
	-4	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文+角押文原註+漢語区画+漢語原註	12b	D110/11			
	-5	09群	1冊	漢語	口説	読み訳原註	12b	D110/36			
	-6	09群	1冊	漢語	口説	角押文, ひだ文	12b	D110/30			
	-7	09群	1冊	漢語	口説	角押文+特別付区画, 区画	12b	D110/36			
	-8	09群	1冊	漢語	刷	漢語区画, 角押文, 角押文原註, 巻物多	12b	D110/22			
	-9	09群	1冊	漢語	刷	ひだ文	12b	D110/36, 24			
	-10	09群	1冊	漢語	刷	ひだ文, 漢語	12b	D110/27			
	-11	09群	1冊	漢語	刷	漢語原註	12b	D110/12			
	-12	09群	1冊	漢語	刷	漢語原註	12b	D110/26	漢語原註区画		
D111A	-1	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文, 漢語原註, 漢語原註+漢語+角押文+特別付	13b	D111A/15, 20			
	-2	09群	1冊	漢語	口説	漢語口説, 漢語+角押文, 漢語原註, 漢語+角押文+特別付	13b	D111A/4			
	-3	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文+漢語+角押文+特別付	13b	D111A/25			
	-4	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文+漢語+角押文+特別付	13b	D111A/34			
	-5	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文+漢語+角押文+特別付	13b	D111A/36			
	-6	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文+漢語+角押文+特別付	13b	D111A/21			
	-7	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文+漢語+角押文+特別付	13b	D111A/15			
	-8	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文+漢語+角押文+特別付	13b	D111A/17			
	-9	09群	1冊	漢語	口説	ひだ文, 区画上原註	13b	D111A/9			
	-10	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文	13b	D111A/43			
	-11	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文, 特別付	13b	D111A/41			
	-12	09群	1冊	漢語	口説	漢語+角押文, 特別付, 巻物多	13b	D111A/21, 37			
D111A	-13	09群	1冊	漢語	口説	漢語口説, 口説漢語+角押文+漢語, 漢語+角押文+特別付	13b	D111A/1, 5, 8, 36, 43, 45			
	-14	09群	1冊	漢語	口説	漢語口説, 読みつ成文	13b	D111A/1, 15, 45	14-15階一		
	-15	09群	1冊	漢語	口説	読みつ成文	13b	D111A/4, 15, 45	14-15階一		
	-1	10冊	2or3	和文+和	刷	LRL	23b	P038/2			
	-2	10冊	2冊	漢語	刷	集合改題(半紙)管内訳-一重下足巻物付	23b	P038/1, 5427/11			
	-3	10冊	2冊	漢語	刷	LRL	23b	P038/2			
P031	-1	10冊	2冊	和文+和	刷	漢字改題(半紙)管内訳	23c	P031/1			
	-2	10冊	2冊	和文+和	刷	LRL	23c	P031/1	2-3階一		
	-3	10冊	2冊	和文+和	刷	LRL	23c	P031/1	2-3階一		
P035	-1	10冊	2冊	和文+和	刷	漢語+漢語原註文, LRL	23b	P035/1			
	-1	10冊	2冊	漢語	刷	文と訳, 漢文	23b	P035/1	本文形式		
	-2	10冊	2冊	和文+和	刷	LRL, 沈雄原註	23b	P035/1			
	-3	10冊	2冊	和文+和	刷	LRL, 沈雄原註	23b	P035/1, 48/36/2	外巻改題		
P045	-1	10冊	2冊	和文+和	刷	漢文	23a	P045/1			
	-1	10冊	2冊	漢語	口説	漢語+漢文+特別付漢語+漢文+和文+特別付漢語	23b	P045/1			
	-2	10冊	2冊	和文+和	刷	漢文	23b	PC46/1	外巻改題		
P049	-1	10冊	2冊	和文+和	刷	LRL, 沈雄原註	23a	P049/1, 4			
	-2	10冊	2冊	和文+和	刷	LRL, 沈雄原註	23a	P049/1			
	-3	10冊	2冊	和文+和	刷	LRL, 沈雄原註	23a	P049/1			
	-4	10冊	2冊	漢語	刷	漢文	23a	P049/1	4-5階一		
	-5	10冊	2冊	和文+和	刷	漢語	23a	P049/2	4-5階一		
	-6	10冊	2冊	和文+和	刷	漢語	23a	P049/2			
P052	-1	10冊	4冊	和文+和	口説	漢語+特別付	23b	P052/2, 38/38/1			
	-2	10冊	2冊	和文+和	全体	漢語+漢語原註文, LRL	23b	P052/1	巻物, 火の巻物		
	-3	10冊	2冊	漢語	口説	漢語	23b	P052/3			
	-4	10冊	2冊	漢語	口説	口説漢語	23b	P052/1			
	-5	10冊	2冊	和文+和	刷	沈雄	23b	P052/4			
	-6	10冊	2冊	和文+和	刷	漢語, 沈雄原註	23b	P052/1	5-9-10階一		
	-7	10冊	2冊	漢語	口説	口説上漢語+漢語+特別付+特別付漢語	23b	P052/1			

誌	資料No.	分類	分冊数	器種	部位	形態・文様等	6&ID	注記	備考・特記		
57	P058	-8	10冊	2冊	漆鉢	口縁	沈唐文様内, 沈唐文様, L&L	23b	P062/1	8-9-10冊一 8-9-10冊一 口縁1/2文, 丹塗上段 1/2と内面柄付, 漆色 黒色化, 内面下段は青	
		-9	10冊	2冊	木刀ノ形	胴	陶製, 沈唐陶唐文	23b	P062/1, 2		
		-10	10冊	2冊	木刀ノ形	胴	陶製, 沈唐陶唐文	23b	P062/1, 2		
	P062	-2	10冊	2冊	木刀ノ形	全体	口縁区不明, 沈唐内面区一帯唐草, 陶文L	24b	P062/2, 1, 10, 3, 6, 17 /L, 48/70/L	1と青一	
		-3	10冊	2冊	木刀ノ形	底	L, (区狭り), 沈唐陶唐文	24b	P068/12, 617/1		
		-10	10冊	2冊	漆匱	口縁	沈唐, 唐文	24b	P068/9		
		-1	10冊	2冊	漆匱	口縁	唐文	23a	P062/1		
		-2	10冊	2冊	木刀ノ形	底	陶唐文による唐草唐文, 唐草文, L	23a	P146/1, 4A/20/1, 4A/20/1		内面黒色化
		-1	10冊	2冊	木刀ノ形	底	陶唐文による唐草唐文, 唐草文, L	23a	P146/1, 4A/20/1		
		-2	10冊	2冊	木刀ノ形	底	陶唐文による唐草唐文, 唐草文, L	23a	P146/1, 4A/20/1		内面黒色化
		-3	10冊	2冊	木刀ノ形	底	陶唐文による唐草唐文, 唐草文, L	23a	P146/1, 4A/20/1		
		-4	10冊	2冊	漆鉢	胴	唐文沈唐(半唐竹笠)一帯行唐唐草付	23a	P146/1		
		-5	10冊	2冊	漆鉢	胴	唐文沈唐陶唐文	23a	P146/1, 149/1		内面, 木部沈唐, 外面下 半唐文, 内面内面 以下黒色化, 唐草文付
		-1	10冊	2冊	木刀ノ形	全体	唐文陶唐文の口縁, 唐草唐文, 陶唐文による唐草唐文	23b	P148/1		
		P149	-1	10冊	2冊	漆鉢	口縁	L&L, 沈唐陶唐文	23a		P149/1, 4A/20/2
-2	10冊		2冊	漆匱	口縁	文土陶唐文, 区沈唐, 唐内	23a	P149/1			
-3	10冊		2冊	木刀ノ形	底	L, 沈唐陶唐文	23a	P149/1			
-10	10冊		2冊	木刀ノ形	底	L&L唐草, 沈唐陶唐文	23a	P149/1			
58 P150	-1	10冊	2冊	管筒系	口縁	唐文沈唐	24b	P150/1, 2, 3	漆匱文柄の影響		
	-2	10冊	2冊	漆鉢	口縁	沈唐のみ, 以下唐文	24b	P150/1			
	-3	10冊	2冊	木刀ノ形	底	二線区唐草, L&L, 沈唐陶唐文	24b	P150/1			
P152	-1	10冊	2冊	管筒系	口縁	唐文・沈唐陶唐文	23a	P152/1			
	-2	10冊	2冊	木刀ノ形	把手	唐文, 唐文のみ	23a	P152/1			
P155	-1	10冊	2冊	木刀ノ形	口縁	唐文沈唐(半唐竹笠)	23a	P155/1			
	-2	10冊	2冊	漆鉢	口縁	沈唐のみ	23a	P155/1			
P159	-1	10冊	2冊	木刀ノ形	口縁	唐文沈唐, 沈唐陶唐文	23a	P159/1	金堂草履 2-3冊一 2-3冊一 管筒系と漆匱文柄系		
	-2	10冊	2冊	漆匱	口縁	文土陶唐文, 区沈唐, 唐内	23a	P159/1, 2, 4A/50/1			
	-3	10冊	2冊	漆匱	口縁	文土陶唐文, 区沈唐, 唐内	23a	P159/2			
	-4	10冊	2冊	管筒系	口縁	唐文, L, 口縁上沈唐	23a	P159/2			
	-5	10冊	2冊	漆鉢	口縁	唐文沈唐陶唐文	23a	P159/2			
	-6	10冊	2冊	管筒系	口縁	唐文沈唐(半唐竹笠)	23a	P159/2			
	-7	10冊	2冊	木刀ノ形	底	L&L, 沈唐陶唐文	23a	P159/1			
	-8	10冊	2冊	木刀ノ形	底	L, 沈唐陶唐文	23a	P159/1			
	-9	10冊	2冊	漆匱	口縁	唐文	23a	P159/1			
	-10	10冊	2冊	木刀ノ形	底	L, 沈唐陶唐文	23a	P159/1			
P162	-1	10冊	2冊	漆鉢	口縁	唐文, 沈唐陶唐文	23a	P162/1, 4A/50/1			
	-2	10冊	2冊	木刀ノ形	底	L&L, 沈唐陶唐文	23a	P162/1			
	-3	10冊	4冊	漆鉢	口縁	唐文	23a	P162/1, 4A/50/1			
	-4	10冊	2冊	管筒系	口縁	唐文沈唐(半唐竹笠)一帯唐, 唐草唐文	23a	P162/1, 62/7, 6A/49/1			
59 0038	-1	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文沈唐二線, 唐草・唐文区唐草唐文一帯の沈唐文, 唐下唐	14V	0038/1, 2			
	-2	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文沈唐二線区唐草, 唐文, 唐下唐	14V	0038/3			
	-3	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文沈唐二線区唐草, 唐文, 唐下唐	14V	0038/2, 4			
0044	-1	10冊	4冊	有孔器	胴	唐文沈唐, 唐下唐	12B	0044/1			
	-2	10冊	4冊	漆鉢	胴	唐文・L&L沈唐, L&L唐	12B	0044/1			
	-3	10冊	17	漆鉢	胴	沈唐陶唐文沈唐	12B	0044/1			
	-4	10冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文陶唐文内唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐	12B	0044/1			
	-5	10冊	17	漆鉢	胴	沈唐, L	12B	0044/1			
0090	-1	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文・唐文区唐草唐文, 唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐	14V	0090/41, 42, 43, 18, 32, 35, 6, 3, 5, 4, 8, 6, 26, 11, 14, 50, 51, 52, 54, 49, 37, 35, 15, 31, 10, 7, 62	漆匱		
	-2	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文沈唐二線区唐草, 唐文, 唐下唐	13V	0090/56, 60, 61, 63			
0105	-1	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文・唐文区唐草唐文, 唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐	13V	0105/72, 3, 8, 9, 9, 11, 12, 13, 14, 1/5唐文区唐草唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐			
60 0105	-2	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文・唐文区唐草唐文, 唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐	13V	0105/34, 35, 32, 31, 27, 28, 26, 2, 5, 19, 59			
	-1	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文・唐文区唐草唐文, 唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐	10V	0064/1			
0239	-1	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文・唐文区唐草唐文, 唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐	10V	0064/2			
0336	-1	09冊	3冊	漆鉢	胴	唐文, 唐文区唐草唐文, 唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐	10V	0239/1			
	-2	09冊	3冊	漆鉢	胴	唐文, 唐文区唐草唐文, 唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐	10V	0239/2			
0120	-1	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文・唐文区唐草唐文, 唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐	11V	0336/1			
0120	-1	09冊	1冊	漆鉢	口縁	唐文・唐文区唐草唐文, 唐文沈唐(唐文陶唐文付), 唐下唐	14Z	0120/1			

第14表 遺構外出土縄文土器

図	No.	位置	分類1	分類2	形状	部位	形態・文様等	リット	産記	備考・附記
62	1	18b	01群	—	陶鉢	口縁	内外面ナデ	16b	58/68/1	
62	2	06C	01群	—	陶鉢	胴	内外面ナデ	—	○125A/竹土100A	
62	3	06C	01群	—	陶鉢	胴	内外面ナデ	06C	○12340/27/358	
62	4	06C	01群	—	陶鉢	胴	内外面ナデ	06C	○12340/12/32	
62	5	06C	01群	—	陶鉢	胴	内外面ナデ	06C	○12340/35/32	
62	6	04Z	01群	—	陶鉢	口縁	内外面ナデ	14Z	○2029/318	
62	7	04Z	01群	—	陶鉢	口縁	内外面ナデ, 底辺近く	17A	○262/256	
62	8	14Z	01群	—	陶鉢	胴	内外面ナデ	14Z	○129/1241	
62	9	03b	01群	—	陶鉢	胴	内外面, 底辺近く	23b	○50号/39	
62	10	05c	02群	2類	陶鉢	胴	太成焼, 口唇上ナデ, 膝ナデ	25c	○25号/46, 11, 13	
62	11	06C	02群	1類	陶鉢	胴	太成焼, 中面ナデ	06C	○12340/25/231	
62	12	06C	02群	1類	陶鉢	胴	太成焼, 全面ナデ	06C	○12340/20/47	
62	13	17a	02群	2類	陶鉢	口縁	口唇上, 片側縦線状突起, 口唇片側ナデ	17a	○115/56/1	
62	14	17a	02群	2類	陶鉢	胴	加成焼	17a	○115/56/2	
62	15	17a	02群	2類	陶鉢	胴	加成焼, 全面ナデ	17a	○115/56/1	
62	16	06a	02群	2類	陶鉢	胴	加成焼, 全面ナデ	16a	○230/○230/P13	16-17図
62	17	06a	02群	2類	陶鉢	胴	加成焼, 全面ナデ	16a	○230/○230/P13	
62	18	表探	02群	2類	陶鉢	胴	加成焼, 全面ナデ	表探	表探	
62	19	06C	02群	2類	陶鉢	胴	加成焼, 全面ナデ	06C	○12340/20/23/34, 33/21, 35/	
62	20	06C	02群	2類	陶鉢	胴	加成焼, 全面ナデ	06C	○12340/22/43	
62	21	06C	02群	2類	陶鉢	胴	加成焼	06C	○12340/23/30	
62	22	127	02群	2類	陶鉢	胴	加成焼, 全面ナデ	127	○128/70/5	
62	23	04Z	02群	2類	陶鉢	胴	集合状焼, 単発射管貫孔, 縦線なし, 産記式	14Z	○605/337	
62	24	0b2	02群	2類	陶鉢	口縁	単発射管貫孔状焼	10b	○23号/18	
62	25	06c	02群	2類	陶鉢	口縁	片側突起, 内面ナデ, 口唇上ナデ, 縦線土器	10c	○209/37	
62	26	06c	03群	4類	陶鉢	口縁	内外面突起状焼	06C	○12340/44/49	
62	27	05d	02群	2類	陶鉢	口縁	入念な縦線→太成焼→加成焼	25d	○27号/40/1	27-28図
62	28	05d	02群	2類	陶鉢	胴	縦線→太成焼, 加成焼	25d	○27号/40/1	27-28図
62	29	03b	02群	1類	陶鉢	胴	加成焼(中ナデ), 内面ナデ	24d	90/1	
62	30	04b	02群	2類	陶鉢	口縁	加成焼産記式, 横線・輪子目, 加成焼産記式, 全面ナデ リットナデ	24b	○24号	24-31図
62	31	04b	02群	2類	陶鉢	口縁	加成焼産記式, 横線・輪子目, 加成焼産記式, 全面ナデ リットナデ	24b	○24号/468, 468, 468, 468/1, 2 竹土4	
63	32	04b	02群	2類	陶鉢	口縁	加成焼産記式, 横線・輪子目, 加成焼産記式	24b	○24号	24-31図
63	33	04b	02群	2類	陶鉢	口縁	加成焼産記式, 横線・輪子目, 加成焼産記式	24b	○24号	24-31図
63	34	04b	02群	2類	陶鉢	口縁	加成焼産記式, 横線・輪子目, 加成焼産記式	24b	○24号	24-31図
63	35	04b	02群	2類	陶鉢	口縁	加成焼産記式, 横線・輪子目, 加成焼産記式	24b	○24号	24-31図
63	36	表探	02群	2類	陶鉢	口縁	加成焼産記式(片側突起), 内面ナデ	表探	表探	
63	37	03c	02群	2類	陶鉢	口縁	加成焼産記式+78°(斜線焼産記式(中ナデきず))	25c	○25号/表面土3	
63	38	表探	02群	2類	陶鉢	口縁	加成焼産記式, 横線・輪子目, 斜交	表探	表探	
63	39	24d	02群	2類	陶鉢	口縁	太成焼(口縁), 内面突起	24d	90/1	39-40図
63	40	24d	02群	2類	陶鉢	口縁	太成焼(口縁), 内面突起	24d	90/1	39-40図
63	41	05C	02群	3類	高鉢	口縁	口唇→片側突起, 片側突起, 内面突起, 縦線産記式, 片側突起	05C	○12340/46/17	
63	42	06C	02群	3類	高鉢	口縁	口唇突起(縦線なし)の程度, 片側突起状焼→片側突起 焼上層	06C	○12340/35/159	縦線土器
63	43	06C	02群	3類	高鉢	口縁	片側突起状焼, 内面突起, 縦線土器	06C	○12340/44/16	43-45図
63	44	06C	02群	3類	高鉢	口縁	片側突起状焼, 内面突起(ナデ)→片側突起, 縦線土器	06C	○12340/45/144	43-45図
63	45	06C	02群	3類	高鉢	口縁	片側突起状焼, 内面突起, 縦線土器	06C	○12340/34/39	43-45図
63	46	06C	02群	3類	高鉢	口縁	片側突起状焼, 内面突起, 縦線土器	06C	○300/52	43-45図
63	47	06C	02群	3類	高鉢	口縁	片側突起状焼, 内面突起, 縦線土器	06C	○12340/48/145	43-45図
63	48	06C	02群	3類	高鉢	口縁	片側突起状焼, 内面突起, 縦線土器	06C	○12340/47/119	43-45図
63	49	03b	03群	1類	陶鉢	胴	片側突起→片側突起(ナデ)→片側突起, 内面突起, 内面突起, 縦線土器	23b	○23号/51/8, 9	49-50図
63	50	03b	03群	1類	陶鉢	胴	片側突起→片側突起(ナデ)→片側突起, 内面突起, 内面突起, 縦線土器	23b	○23号/250/13	49-50図
63	51	13X	03群	2類	陶鉢	口縁	縦線土器→片側突起(片側突起, 片側突起)→片側突起, 内面突起, 内面突起, 縦線土器	13X	○32号/12	
63	52	06C	03群	3類a	高鉢	口縁	口唇突起, 上縁ナデ, 下縁竹葉状焼, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/44/21, 45/84	52-54-55図
63	53	06C	03群	3類a	高鉢	口縁	口唇突起, 上縁ナデ, 下縁竹葉状焼, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/44/21, 45/84	
63	54	06C	03群	3類a	高鉢	口縁	口唇突起, 上縁ナデ, 下縁竹葉状焼, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/44/21, 45/84	
63	55	06C	03群	3類a	高鉢	口縁	口唇突起, 上縁ナデ, 下縁竹葉状焼, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/44/21, 45/84	
63	56	06C	03群	3類a	高鉢	口縁	口唇突起, 上縁ナデ, 下縁竹葉状焼, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/44/21, 45/84	
63	57	06C	03群	3類a	高鉢	口縁	口唇突起, 上縁ナデ, 下縁竹葉状焼, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/44/21, 45/84	
63	58	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/39/17	
63	59	06C	03群	3類c	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/32/1137	
63	149	05c	03群	3類b	高鉢	口縁	口唇突起, 上縁ナデ, 下縁竹葉状焼, 内外面ナデ, 縦線土器	25c	○23号/1, 7	
64	60	05C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	05C	○12340/43/2	
64	61	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2	
64	62	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2	
64	63	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2	
64	64	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2	
64	65	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2	
64	66	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2	
64	67	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2	
64	68	077	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	077	○42/91/5	
64	69	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2/57	
64	70	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2	
64	71	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2	
64	72	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2	
64	73	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2/22	72-73図
64	73	06C	03群	3類b	高鉢	口縁	片側突起, 縦線土器, 突起, 輪子目, 内外面ナデ, 縦線土器	06C	○12340/43/2/22, 93	

図	No.	尺貫	分類1	分類2	種別	部位	名称・文様等	年代	注記	備考・特記
64	74	065	03群	350b	図様	扉	心窓割の横に横帯の上に扇外、内内瓦ナブ、扇 唐土器	065	C7266/14/72	
64	75	065	03群	350b	図様	口縁	横帯の上に扇外、心窓割、内面横溝縁なし、 扇唐土器	065	C7266/56/12	
64	76	065	03群	350b	図様	柄	扇唐土器、心窓割、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/23/94	
64	77	065	03群	350b	図様	扉	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/22/74	72-77間一か
64	78	065	03群	350b	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/16/229, 278	76-79間一
64	79	065	03群	350b	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/16/252, 197	78-79間一
64	80	065	03群	350c	図様	扉	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/41/21	
64	81	065	03群	350c	図様	扉	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/47/27	
64	82	065	03群	450	図様	扉	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/22/11	62-83間一か
64	83	065	03群	450	図様	扉	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/38/99	82-83間一か
64	84	065	03群	350L	図様	扉	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/38/99	84-85間一
64	85	065	03群	350L	図様	扉	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/38	84-85間一
64	86	065	03群	350L	図様	扉	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/64/101	扇唐土器
65	87	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/48	扇唐土器
65	88	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/27/167	扇唐土器
65	89	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/24/41	扇唐土器
65	90	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/42/43, 68	89-90間一
65	91	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/37/18	
65	92	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/27/148	
65	93	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/52/168	
65	94	065	03群	350L	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/49/74	
65	95	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/137/147	
65	96	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/33/59	
65	97	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/47/28	
65	98	065	03群	350L	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/15/117	
65	99	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/36/80	
65	100	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/27/54	
65	101	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/27/298	
65	102	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/42/95	
65	103	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/25/218	
65	104	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/25/218	
65	105	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/47/27	
65	106	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/47/25	
65	107	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/45/22	
65	108	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/57/17, 16/27	
65	109	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/16/55	
65	110	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/37/10, 11	
65	111	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/58/247	
65	112	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/36/113	
65	113	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/27/195	
65	114	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/26/199	
65	115	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/16/17, C7266/47/71	
65	116	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/27/542	
65	117	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	543/11/35, 56, 16, 11	
65	118	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/17/92	内面にシラビロ模様 内面にシラビロ模様の 意匠
65	119	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/12/142	
65	120	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/37/11, 69	
65	121	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/37/2, 56	
65	122	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/30/29	
65	123	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/37/17, 27, 68, 92 C7266/36/19	
65	124	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/14/21, 22	
65	125	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/27/146, 247	
65	126	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/45/116	
65	127	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/26/92	
65	128	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/46/64, 82	
65	129	065	03群	350J	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/27/114	
67	130	065	03群	350jk	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/54/11	130-132-134間一
67	131	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/25/25, 191	
67	132	065	03群	350jk	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/44/61	130-132-134間一
67	133	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/26/92	
67	134	065	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/54/18, 124	130-132-134間一
67	135	065	03群	350h	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	C7266/27/75, 76, 78, 75, 190 191, 105, 104, 236, 237	
67	136	074	03群	450	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	074	F43/1/F42/1/87, 88, 89, 96, 2 F42/94/28, 34	
67	137	074	03群	350h	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	074	F43/1/87, 88, 89, 96, 2 F43/94/28, 34	
68	138	076	03群	350a	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	22b	19号棟/1	
68	139	076	03群	350L	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	19	19号棟/1	
68	140	236	03群	350L	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	236	44/23/1, 33/1	
68	141	234	03群	350L	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	234	44/23/1, 33/1	
68	142	036	03群	350h	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	23b	54号棟/5	
68	143	065	03群	350h	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	E132A/1491	
68	144	025	03群	350L	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	12X	R62/27	
68	145	065	03群	350L	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	065	E147/149	
68	146	036	03群	350L	図様	口縁	心窓割の上に扇外、心窓割、心窓割、心窓割、 心窓割、扇唐土器	23b	25号棟/416	

図	№	位置	分類	分類2	種別	部位	形態・文様等	ページ	注記	備考・特記
68	147	03b	03群	3群d	図様	紙	織物中央部に横に長條縞模様。下部に横帯文。其下ナド、内外面縞。縹緞土部	23b	5号巻/7	
68	148	24a	03群	3群b	図様	口縁	縦帯。上部に横帯。三角帯。上部に横帯。内外面縞。縹緞土部	24a	50/1	
68	150	表紙	03群	3群b	図様	口縁	内帯にナド。垂下縞帯。上部に横帯。内外面縞。縹緞土部	表紙	表紙/16	
68	151	05d	03群	3群b	図様	図	植物文。乳首。上部に横帯。内外面縞。縹緞土部	25d	56号巻/9	
68	152	03a	03群	3群a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	23a	50号巻/10	182-183頁一
68	153	03b	03群	3群b	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	23b	50号巻/10	182-183頁一
68	154	05d	03群	3群b	図様	口縁	植物文。乳首。上部に横帯。内外面縞。縹緞土部	25d	56号巻/10	
68	155	03b	03群	3群b	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	23b	52号巻/14	
68	156	14f	03群	3群a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	14f	43/3/17/14	
68	157	12X	03群	3群f	図様	口縁	植物文。乳首。上部に横帯。内外面縞。縹緞土部	12X	44/17/1	
68	158	05c	03群	3群b	図様	図	植物文。乳首。上部に横帯。内外面縞。縹緞土部	25c	55号巻/12	
69	159	03b	03群	3群b	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	23b	59号巻/6	
69	160	06c	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	20c	22号巻/17	
69	161	P152	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	23a	P152/1	
69	162	05c	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	25c	25号巻/13	
69	163	23a	03群	4群	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	23a	44/23/1/33/1	
69	164	05d	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	25d	22号巻/10	
69	165	23a	03群	4群	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	23a	44/23/1/33/1	
69	166	05d	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	25d	22号巻/10	
69	167	05d	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	25d	22号巻/10	
69	168	05d	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	25d	22号巻/10	
69	169	04b	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	24b	24号巻/472, 472/	
69	170	12Y	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	12Y	A12/70/33	
69	171	03b	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	23b	54号巻/15	
69	172	05d	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	25d	54号巻/15	
69	173	06a	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	16a	5230/2230/9/3	
69	174	06a	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	16a	5230/2230/9/6	
69	175	03b	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	23b	54号巻/15	
70	176	12X	03群	3群f	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	12X	A/739/10	
70	177	05d	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	25d	22号巻/10	
70	178	05c	03群	4群	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	25c	22号巻/106, 401, 54号巻/13	
70	179	03b	03群	3群d	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	23b	55号巻/19	
70	180	03b	03群	3群d	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	23b	22号巻/436, 340	
70	181	12Y	03群	3群g	図様	図	外面縞。内帯にナド。縹緞土部	12Y	A12/51/1	
70	182	03b	03群	3群d	図様	底	底。具段縞縹緞土。内外面縞。縹緞土部	23b	54号巻/10	
70	182	06a	03群	4群	図様	底	底。具段縹緞土。内外面縞。縹緞土部	16a	5230/2230/9/6	
70	184	14a	03群	4群	図様	底	底。具段縹緞土。内外面縞。縹緞土部	14a	CV/48/24	
71	185	03b	03群	5群	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	23b	29号巻/476	
71	186	03b	03群	5群	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	23b	29号巻/476	
71	186	05b	03群	5群	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	23b	29号巻/476	
71	186	06X	03群	5群	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06X	P153/24	
71	188	06X	03群	5群	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06X	R175/43	
71	188	06X	03群	5群	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06X	R175/43	
71	190	06S	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06S	472860/27/77, 82	
71	191	06F	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	10F	R192/522	
71	192	06F	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	10F	P116/8, 252	
71	193	05c	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	25c	25号巻/220	
71	194	14a	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	14a	CV/33/22	
71	195	04a	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	14a	6040/54	
71	196	05c	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	25c	65号巻/3	
71	197	05c	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	25c	65号巻/3	
71	198	14X	03群	3群f	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	14X	55号巻/4, 6	
71	199	06a	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	16a	CV/19/44	
71	200	06F	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	16F	6250/3	
71	201	05c	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	25c	65号巻/3	
71	201	05c	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	25c	65号巻/3	
71	202	06Y	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06Y	134/7/1	
71	203	06X	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06X	9175/31	
71	204	14a	2-6	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	14a	CV/27/35	
71	205	06c	03群	3群f	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	25c	25号巻/2	208-208頁一
71	206	142	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	142	CV/24/69	
71	207	09Y	04群	-	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	09Y	R188/29	
71	208	05c	03群	3群f	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	25c	25号巻/2	
71	209	06S	03群	3群f	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06S	472860/50	208-208頁一
71	210	表紙	9a群	18a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	表紙	表紙/18	
71	211	06Y	05群	18a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06Y	732/7/2	211-212頁一
71	212	06Y	05群	18a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06Y	732/7/2	
71	213	06Y	05群	18a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06Y	732/7/2	
71	213	06Y	05群	18a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06Y	732/7/2	
71	214	06Y	05群	18a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06Y	732/7/2	
71	215	表紙	06群	25a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	表紙	表紙/18	
71	216	06S	06群	25a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06S	472860/16, 18	
71	217	06S	06群	25a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06S	472860/16, 18	
71	218	06Y	05群	25a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	06Y	72840/16, 18	
71	219	08F	06群	25a	図様	口縁	口縁に横帯。内外面縞。縹緞土部	10F	R192/520, 71	



題	№	位置	分類	分類	種別	部位	形態・文種等	P(1)	注記	備考・特記
74	304	13F	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録	10P	E119/138	
74	305	09F	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録, ひだ状文	10P	C48/5	
74	306	09F	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, ひだ状文	10P	E119/122	
74	307	04Y	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録, ひだ状文	14Y	C28/38	
74	308	表紙	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	17Y	B209/5	
75	309	表紙	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	表紙	表紙/1	鳥居啓成
75	310	02S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	12S	C50/8	
75	311	02S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	12S	C50/8	
75	312	C2E	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	0E	0E	
75	313	14S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14S	F78/40/28	
75	314	14S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14S	F78/40/24	
75	315	14S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14S	F78/40/128	
75	316	14S	10群	15B	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14S	C79/3/0	
75	317	14S	10群	4群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14S	C79/3/2	
75	318	13S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	13S	C78/2/9	
75	319	14S	09群	2群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14S	C79/29/1786	
75	320	03T	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10T	P9巻/序/2E	
75	321	03T	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10T	P9巻/序/2E	
75	322	14D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14D	C58/2	
75	323	10D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
75	324	14S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14S	C79/29/1578	
75	325	10T	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10T	T41/9/9	
75	326	15S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	15S	C80/0/0	
75	327	10D	09群	2群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
75	328	10T	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10T	T41/9/4	
75	329	03T	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10T	D9巻/序/2C	
75	330	10D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
75	331	10T	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10T	T41/9/4	
75	332	13V	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	13V	F45/12/2	
75	333	14S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14S	C79/12/0	
75	334	10V	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10V	T33/9/2	
75	335	14S	09群	6?	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14S	C79/19/1243	
75	336	02S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	12S	C50/8	
75	337	14Z	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14Z	C79/46/189	
76	338	10D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
76	339	10V	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10V	T33/9/2	339-340群一
76	340	10V	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10V	T33/9/2	339-340群一
76	341	10D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
76	342	10V	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10V	T33/9/2	
76	343	10V	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10V	C33/9/2	
76	344	13V	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	13V	F45/12/2	
76	345	13V	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	13V	F45/12/2	
76	346	10D	09群	2群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
76	347	13S	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	13S	C79/29/0	
76	348	10D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
76	349	11T	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	11T	T41/9/1	
76	350	11T	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	11T	T41/9/1	
76	351	10D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
76	352	11T	09群	1e+2	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	11T	T41/9/1	
76	353	10D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
76	354	10T	09群	2群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10T	T41/9/1	
76	355	10D	09群	2群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
76	356	11T	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	11T	T41/9/1	
76	357	11T	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	11T	T41/9/1	
76	358	10D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
76	359	10D	09群	1群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
76	360	10D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	T40/9/3	
76	361	09D	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	09D	T32/9/1	
76	362	03T	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	13V	E619/12	
76	363	12T	09群	?	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	12T	T40/11/1	
76	364	14C	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14C	T40/9/3	
76	365	12T	09群	1e+2	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	12T	T41/9/1	
76	366	13V	09群	1群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	13V	C48/5	
76	367	14Z	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14Z	C79/29/75	
76	368	11T	09群	1群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	11T	T41/9/1	
76	369	14Z	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14Z	F78/41/82	
76	370	03T	09群	1群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10X	H13/109	
76	371	1E	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	0E	C28/2E	
76	372	03V	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	13V	P912/29E	
77	373	03Z	09群	1a	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	13Z	C50/8	
77	374	15Z	09群	?	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	15Z	WV/18/44	
77	375	表紙	09群	1b	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	表紙	表紙/1	
77	376	15V	09群	?	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	15V	C48/5	
77	377	14Z	09群	6?	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14Z	C79/26/53	
77	378	10D	09群	6群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10D	C95/70	
77	379	10T	09群	2e+5	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10T	T41/9/1	
77	380	11T	09群	6群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	11T	T41/9/1	
77	381	表紙	09群	6群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	表紙	表紙/1	381-382群一
77	382	10T	09群	6群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	10T	T41/9/1	381-382群一
77	383	14S	09群	3群	図録	口録	薩摩+角野支度図録, 口録	14S	F79/30/1199	

項	No	位置	分類1	分類2	種別	部位	形態・文様等	頁数	注記	備考・特記
77	384	15S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様で縁飾の区画を	155	DMO/870	
77	386	14S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草文様, 有刺状光文様, 扇の柄筋付組合成柄	145	CT9/20/1366	
77	387	14S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 風文光文, 雲母多	145	CT9/20/965	
77	388	02S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 雲母多	125	05S/11	
77	389	14S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 雲母多	145	CT9/22/281	
77	390	14S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 雲母多	145	CT9/30/1982	
77	391	14S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 雲母多	145	CT9/30/2024	
77	392	14S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 雲母多	145	CT9/30/915	
77	393	14S	09線	2or3	漆鉢	口縁	文様・植物文様, 交互斜文文	145	CT9/20/1474	
77	394	03X	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文	13X	80号簿/19916676194	294-296頁→
77	395	03X	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文	13X	80号簿/19916676194	294-296頁→
77	396	14S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文	145	CT9/30/1638, 1700	
77	397	10T	09線	1b	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	10T	741/9/1	
77	398	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/20/1765	
77	399	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/42/70	
77	400	09F	09線	4線	漆鉢	胴	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	09F	8127/75	
77	401	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/94/9	
77	402	09F	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	09F	8127/11	
77	403	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1590	
77	404	14S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	405	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	406	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	407	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	408	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	409	16Y	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	16Y	222/59/10	409-410頁→?
77	410	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	409-410頁→?補修済
77	411	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	412	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	413	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	414	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	415	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	416	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	417	14S	09線	2線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	418	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	419	10T	09線	1線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	10T	741/9/4	
77	420	14S	09線	5線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	421	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	422	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	423	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	424	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	425	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	426	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	427	14S	09線	5線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	428	14S	09線	5線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	429	13N	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	13N	8	
77	430	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	431	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	432	14S	09線	5線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	433	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	434	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	435	14S	09線?	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	436	14S	09線	3線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	437	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	438	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	439	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	440	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	441	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	442	15S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	15S	09F/9/9	
77	443	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	444	06X	09線	8線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	06X	14号簿/28X1	
77	445	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/20/942	
77	446	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/60/232	
77	447	13S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	13S	07S/8	
77	448	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	449	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	450	05W	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	05W	09F/30/1080	
77	451	14S	09線	2or3	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	452	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/30/1991	
77	453	14S	09線	5線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/20/2891	
77	454	14S	09線	4線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/60/45	
77	455	06X	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	06X	17/42/187	
77	456	06X	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	06X	14号簿/28X1	
77	457	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	06X	14号簿/18X1	
77	458	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/20/1919	
77	459	15S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	15S	09F/30/2254	
77	460	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/44/47	
77	461	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/42/36	
77	462	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	145	CT9/10/2155	
77	463	06X	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	06X	CT9/40/10032	
77	464	14S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	06X	14号簿/28X1	
77	465	10U	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	10U	CT9/30/1149	
77	466	13S	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	13S	06S/75/1	
77	467	07X	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	07X	17/6-1-1	
77	467	07X	09線	6線	漆鉢	口縁	海草・植物文様, 交互斜文, 内面は縦線付手	07X	17/6-1-4	

編	No.	位置	分類1	分類2	種別	部位	形態・文種等	頁	注記	備考・特記
79	468	C区	09群	1類	図録	口録	海軍海軍文、英文文、海軍上級語、海軍、交互文書文	145	C区	
79	469	145	09群	2類	図録	口録	海軍海軍文、交互文書文、海軍、	145	PT8/60/257	
80	470	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/100, 624, 16, 323	
80	471	145	10群	1類	図録	口録	口録海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/115, 241, 16/1156, 219 16/50/152, 152	
80	472	06X	10群	1類	図録	口録	口録海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	06X	14/50/262	
80	473	145	10群	1類	図録	口録	口録海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/912	
80	474	145	10群	1類	図録	口録	口録海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/20/2902	
80	475	05F	09群	10類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	10F	A/60/163	
80	476	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/215	
80	477	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/242, 315	
80	478	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/291	
80	479	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/145	
80	480	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/2/1319, 1394, 21/1129	
80	481	145	10群	1類	図録	口録	口録海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/1920	
80	482	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/996, 997	
80	483	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/873	
80	484	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/906	
80	485	03B	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	13B	70/81/3	
80	486	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/20/1478, 1479	
80	487	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/20/110, 1099	
80	488	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/20/121	
81	488	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/606	458-489同一種本
81	489	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/609	458-489同一種本
81	490	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/912	
81	491	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/166	
81	492	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/125	
81	493	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/61	
81	494	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/270	
81	495	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/77, 548	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、
81	497	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/126	
81	498	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/665	
81	499	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/257	459-500同一
81	500	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/257	459-500同一
81	501	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/1805	
81	502	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/612, 608	
81	503	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	13B	70/81/82	
81	504	235	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	13B	70/81/82	
81	505	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/20/1164, 1171	
81	506	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/20/296, 1031	
81	507	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/21/199	
81	508	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/501	
81	509	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/20/1294, 1322, 1316	
81	510	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/20/373	
82	511	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/20/1244	
82	512	100	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	100	PT8/9/3	
82	513	06Y	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	06Y	PT8/60/122	
82	514	145	10群	1or2	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/1	
82	515	03b	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	50/50/611	
82	516	03b	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	50/50/615	
82	517	135	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	135	PT8/60/6	
82	518	145	10群	1類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/22/270	
82	520	03b	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	
82	521	03b	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	
82	522	23a	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23a	23/20/29/21	
82	523	22b	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	22b	23/20/29/21	
82	524	145	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/831	
82	525	03b	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	
82	526	145	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/225	
82	527	03b	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	
82	528	145	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/116	
82	529	22b	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	22b	23/20/29/21	
82	530	23a	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23a	23/20/29/21	
82	531	03b	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	
82	532	145	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/60/725	
82	533	23b	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	
82	534	03b	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	
82	535	03b	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	
82	536	06Y	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	06Y	PT8/60/1, 20/26/1	
82	537	表録	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	表録	PT8/20/2	
82	538	23b	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	538-539同一
82	539	23b	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	538-539同一
83	540	23a	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23a	23/20/29/21	月並り化種本
83	541	145	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/20/108	
83	542	145	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	145	PT8/13/1	
83	543	21C	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	21C	21/20/29/21	543-544種本
83	544	03b	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	
83	545	03b	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	
83	546	03b	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23b	23/20/29/21	543-544種本
83	547	23a	10群	2類	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23a	23/20/29/21	
83	548	23a	10群	2c-3	図録	口録	海軍海軍文、海軍上級語、海軍文、海軍、	23a	23/20/29/21	

国	元	位置	分類1	分類2	種別	評定	形態・文種等	JFL1	注記	備考・補記
83	549	03b	10級	2級	漢語	漢語	LL 文法問題集	23b	12年修7	
83	550	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法英文 C, LL 文法問題集	23b	12年修21	
83	551	03a	10級	2級	漢語	漢語	Rice LL 文法問題集	23a	10年修1	
83	552	03b	10級	2級	漢語	漢語	LL 文法問題集	23b	14年修14	
83	553	23a	10級	2級	漢語	漢語	LL 文法問題集	23b	14年修2	
83	554	125	10級	2級	漢語	漢語	漢文文法問題集	125	17年修7	
83	555	03b	10級	2級	漢語	漢語	英文文法問題集, 漢語上編, 漢語上編, 漢語上編, 漢語上編, 漢語上編, 漢語上編	23b	14年修2	
83	556	03b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語	23b	12年修11	
83	557	03b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法問題集, 漢語文法	23b	14年修7	
83	558	03b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法問題集, 漢語文法	23b	14年修10	
83	559	23a	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法問題集, LL	23a	14年修2	
83	560	04b	10級	2級	漢語	漢語	漢語上編, 漢語上編, 漢語上編, 漢語上編, 漢語上編, 漢語上編	14b	24年修1385/18, 19/178	
83	561	145	10級	2級	漢語	漢語	漢語上編, 漢語上編, 漢語上編, 漢語上編, 漢語上編, 漢語上編	145	17年修728, 165, 312, 10/118 6, 1320, 1323, 11/198	561-562同 -
83	562	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	10年修12, 612, 70	562-566同 -
83	563	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	12年修610, 389/1	562-566同 -
83	564	145	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, LL	145	17年修01, 89/2	
83	565	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	10年修19	
83	566	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	10年修12, 612, 70	562-566同 -
83	567	03b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, LL	23b	12年修2	
83	568	03b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	23b	12年修24, 386	
83	569	145	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	145	17年修233	
83	570	23b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	23b	14年修2	
84	571	22a	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	22a	10年修1	
84	572	24C	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	24c	24年修2	
84	573	03a	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	23a	10年修2	
84	574	23a	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	23a	14年修18/1	
84	575	03b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	23b	12年修19	
84	576	03b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	23b	14年修26	
84	577	03b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	23b	13年修15, 44/42, 44/58/1	9と同一書体
84	578	03b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	23b	14年修26	
84	579	23a	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	23a	14年修2	
84	580	22b	10級	2級	漢語	漢語	漢語文法, 漢語, 交互判別, 漢語文	22b	10年修1	
84	581	09c	10級	2級	漢語	漢語	LL, 文法問題集	19c	10年修/修22	
84	582	04b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL	24b	24年修/469	
84	583	06X	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	16X	1128a/19区付159	583-585同 -
84	584	24C	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	24c	47/10/2	
84	585	06X	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	16X	1128a/19区付159	583-585同 -
84	586	04a	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	24a	62年修10	
84	587	04b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	24b	14年修468, 473	
84	588	04b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	24b	14年修354	
84	589	22b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	22b	10年修1	
84	590	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	10年修/28, 52, 41	
84	591	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	13年修385, 105/1, 11/1	
84	592	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	12年修/10, 14, 18	
84	593	24C	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	24c	47/10/1, 2	
84	594	145	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	145	17年修2084, 2320	
84	595	15S	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	15S	10年修1/261	
84	596	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	12年修/19	
84	597	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	13年修/32	
84	599	23a	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23a	14年修/7	
85	600	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	13年修436, 538, 608	
85	601	03a	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23a	11年修/2	601-602同 -
85	602	23a	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23a	11年修/2	601-602同 -
85	603	23a	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23a	14年修/1	603-625同 -
85	604	24d	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	24d	14年修/1	603-625同 -
85	605	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	12年修/2	
85	606	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	10年修/5, 10	
85	607	23a	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23a	14年修/1	
85	608	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	10年修/5	
85	609	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	14年修/1	
85	610	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	10年修/15, 6	
85	611	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	12年修/17	
85	612	23a	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23a	14年修/1	
85	613	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	14年修/15	
85	614	23a	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23a	14年修/1	
85	615	145	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	145	17年修/692	
85	616	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	10年修/1	
85	617	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	12年修/4, 14, 19	
85	618	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	14年修/26	
85	619	04b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	24b	24年修/468	
85	620	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	14年修/5	620-621同 -
85	621	145	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	145	17年修/1587, 1458	622-621同 -
85	622	23b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	14年修/1	622-621同 -
85	623	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	13年修/847	623-625同 -
85	624	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	13年修/113, 49, 2, 4, 38/9/1	623-625同 -
85	625	22b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	22b	10年修/1	623-625同 -
85	626	145	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	145	17年修/611	
85	627	145	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	145	17年修/513	
85	628	145	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	145	17年修/1264	
85	629	03b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	23b	10年修/9	
85	630	04b	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	24b	24年修/472	
86	631	03V	95級	1a	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	19V	10年修/5, 11	10級2次試験用書
86	632	03T	95級	1b	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	13T	10年修/104	
86	633	145	10級	2級	漢語	漢語	口譯文法, 漢語上編, LL, 大和式訳行	145	17年修/1	

図	%	位置	分類1	分類2	種別	部位	形名・文種等	P+1	注記	備考・記号
86	634	145	10群	4群	仮称	口縁	口縁	145	179/6/372	
86	635	036	10群	2群	仮称	口縁	口縁	225	92号標/1, 4, 19, 38/9/1	
86	636	22a	10群	2群	仮称	全体	集合体	22a	38/1, 44/79/1	
86	637	135	10群	4群	仮称	口縁	口縁	135	146/12/4	
86	638	04b	10群	2群	仮称	口縁	口縁	21a	24号標/2, 449, 並上/4	
86	639	03a	10群	2群	仮称	口縁	口縁	21a	24号標/2, 44/79/1	
86	640	23a	10群	4群	仮称	口縁	口縁	23a	14/79/1	
86	641	C03D3	10群	4群	仮称	口縁	口縁	128	93/38/3, 4, 5, 6, 8, 9, 26	03D3編入7種生土
86	642	135	10群	2群	仮称	口縁	口縁	135	146/12/4	
87	518	22b	10群	2or3	仮称	口縁	口縁	22b	38/39/1	
87	643	11T	10群	6群	仮称	底	底	11T	74/13/1	底面灰付者
87	644	145	10群	4群	仮称	底	底	145	179/6/6, 7/43	底面灰付者
87	645	145	10群	4群	仮称	底	底	145	179/6/6, 7/43	
87	646	155	10群	4群	仮称	底	底	155	179/6/145	
87	647	145	10群	4群	仮称	底	底	145	179/6/6/996	
87	648	145	10群	4群	仮称	底	底	145	179/6/6, 61, 62/6	
87	649	145	10群	4群	仮称	底	底	145	179/6/6, 61, 62/6	
87	650	145	10群	1or2	仮称	底	底	145	179/9/9/6	
87	651	135	10群	4群	仮称	底	底	135	179/1/底	底面灰付者
87	652	23a	10群	2群	仮称	底	底	23a	44/6/6/1	内外面2枚焼成磁器
87	653	03b	10群	2群	仮称	底	底	03b	32号標/1	
87	654	03b	10群	2群	仮称	底	底	03b	32号標/14	
87	655	23b	10群	2群	仮称	底	底	23b	32号標/14	内面2枚焼成磁器
87	656	03b	10群	2群	仮称	底	底	03b	32号標/23	
87	657	04b	10群	2群	仮称	底	底	04b	24号標/47上B	
87	658	145	10群	2群	仮称	底	底	145	179/23/1295	
87	659	02b	10群	2群	仮称	底	底	02b	18/65/12b	
87	660	24C	10群	2群	仮称	底	底	24C	42/10/2, 10/1	底面灰付者
87	661	03b	10群	2群	仮称	底	底	03b	23号標/53a, 38/39/1, 38/39	
87	662	03b	10群	2群	仮称	底	底	03b	23号標/912	
87	663	135	10群	2群	仮称	底	底	135	178/1	
87	664	145	10群	1or2	仮称	底	底	145	179/6/6/925, 583, 484, 927	
87	665	23a	10群	2群	仮称	底	底	23a	44/48/2	
87	666	03b	10群	2群	仮称	底	底	03b	32号標/14	底面灰付者
87	667	155	10群	4群	仮称	底	底	155	179/6/477	底面灰付者
87	668	155	10群	4群	仮称	底	底	155	179/6/1	全面灰付, 底面灰
87	669	145	10群	4群	仮称	底	底	145	179/6/6/1261	
87	670	12b	10群	4群	仮称	底	底	12b	32/45	底面灰付者
87	671	03b	10群	4群	仮称	底	底	03b	32号標/19	
87	672	22b	10群	4群	仮称	底	底	22b	38/39/2	
87	673	22b	10群	4群	仮称	底	底	22b	38/39/1	
87	674	24C	10群	4群	仮称	底	底	24C	42/10/2	
87	675	155	10群	4群	合符図様	底・台	底・台	155	179/1	
87	676	135	10群	4群	合符図様	底・台	底・台	135	178/8	
87	677	10T	10群	4群	群台	台	底面磁器, 磁器片等の碎片等	10T	05	
87	678	145	10群	4群	群台	台	底面磁器, 磁器片等の碎片等	145	179/19/1459	
87	679	145	10群	4群	群台	台	底面磁器, 磁器片等の碎片等	145	179/20/1296	
88	680	03b	14群	-	仮称	口縁	口縁	03b	32号標/1	
88	681	12X	14群	-	仮称	口縁	口縁	12X	4/17/1/1, 2	
88	682	08V	12群	-	仮称	口縁	口縁	08V	93/22/7	
88	683	105	14群	-	仮称	口縁	口縁	105	90/6/11	883-684群
88	684	105	14群	-	仮称	口縁	口縁	105	90/6/25	883-684群
88	685	065	21群	-	仮称	口縁	口縁	065	30/4/32	883-684群
88	686	065	21群	-	仮称	口縁	口縁	065	30/4/72	883-684群
88	687	145	15群	-	仮称	口縁	口縁	145	179/40/40	
88	688	表托	21群	-	群	口縁	浮線絞文, 内面赤影	表托	48/2/15	888-690表・?
88	689	032	21群	-	群	口縁	浮線絞文, 内面赤影	032	50/33/82	888-690表・?
88	690	042	21群	-	群	口縁	浮線絞文, 内面赤影	042	50/28/47, 62	888-690表・?
88	691	09F	21群	-	群	口縁	浮線絞文	09F	51/26/56	
88	692	042	21群	-	群	口縁	浮線絞文	042	50/8/30	
88	693	042	21群	-	仮称	口縁	絞文, 底面赤影	042	50/5/281	893-694群
88	694	042	21群	-	仮称	口縁	絞文	042	50/5/208	893-694群
88	695	042	21群	-	仮称	口縁	絞文, 底面赤影	042	50/5/68	893-694群
88	696	042	21群	-	仮称	口縁	絞文	042	50/5/157	893-694群
88	697	152	21群	-	群?	口縁	口縁	152	30/5/5/77	
88	698	09F	21群	-	群	口縁	小波絞	09F	72/2/6/1	
88	699	042	21群	-	群	口縁	小波絞	042	50/2/37	
88	700	09F	21群	-	群	口縁	口縁	09F	72/4/3/2	
88	701	142	21群	-	群	口縁	口縁	142	17/26/153	
88	702	142	21群	-	群	口縁	口縁	142	17/26/153	
88	703	表托	21群	-	群	口縁	口縁	表托	48/2/25	
88	704	142	21群	-	群	口縁	口縁	142	17/11/177	
88	705	042	21群	-	群	口縁	口縁	042	50/29/193	
88	706	042	21群	-	群	口縁	口縁	042	50/29/17	
88	707	042	21群	-	群	口縁	口縁	042	50/29/86	
90	938	04b	14群	2群	仮称	口縁	口縁	24b	24号標/49/476	

第15表 縄文石器

品名	数量	種類	材質	形状	長さ	幅	厚さ	重さ	出土状況	調査者	年代	保存場所	備考
第9925	9	石鏃	輝石	不明	21.5	17.4	4.8	1.9	C0320	---	---	---	---
第9926	19	石鏃	輝石	長楕円形	21.0	16.9	3.9	1.2	135-81	C78-81-006A	---	---	---
第9927	20	石鏃	輝石	長楕円形	25.9	16.3	3.1	1.6	135-91	C78-91-019C	---	---	---
第9928	21	石鏃	輝石	長楕円形	17.7	15.6	4.3	6.9	135-92	C78-92-0006	---	---	---
第9929	22	石鏃	輝石	長楕円形	21.1	15.5	4.5	1.1	145-90	C79-90-011-002-002	---	---	---
第9930	23	石鏃	輝石	長楕円形	15.1	17.0	4.5	6.9	145-91	C78-91-0408	---	---	---
第9931	24	石鏃	輝石	長楕円形	25.0	16.2	5.6	1.9	145-90	C79-90-0088	---	---	---
第9932	27	石鏃	輝石	長楕円形	16.6	14.5	3.6	0.7	145-90	C79-90-0871	---	---	---
第9933	28	石鏃	輝石	長楕円形	16.5	11.0	3.6	0.6	145-10	C79-10-0073	---	---	---
第9934	29	石鏃	輝石	長楕円形	16.8	14.2	3.9	0.7	145-10	C79-10-0231	---	---	---
第9935	31	石鏃	輝石	長楕円形	15.0	12.8	3.5	0.6	145-12	C79-12-094A	---	---	---
第9936	32	石鏃	輝石	長楕円形	19.5	13.1	3.9	0.7	145-20	C79-20-1320	---	---	---
第9937	33	石鏃	輝石	長楕円形	23.6	14.0	5.1	1.9	145-20	C79-20-0738	---	---	---
第9938	34	石鏃	輝石	長楕円形	21.0	12.5	4.2	1.2	145-50	C79-50-0944	---	---	---
第9939	25	石鏃	輝石	長楕円形	17.0	13.4	5.8	1.1	145-50	C79-50-1231	---	---	---
第9940	26	石鏃	輝石	長楕円形	17.8	15.0	3.5	1.2	145-50	C79-50-1264A	---	---	---
第9941	30	石鏃	輝石	長楕円形	21.4	14.8	4.9	2.1	145-10	C79-10-0693	---	---	---
第9942	1	石鏃	輝石	長楕円形	15.3	9.7	2.2	0.2	0015	50	佐野	縄文中期	輝石
第9943	2	石鏃	輝石	長楕円形	16.4	17.8	4.0	0.9	0015	709	佐野	縄文中期	輝石
第9944	4	石鏃	輝石	長楕円形	20.6	13.2	4.9	1.1	0015	916	佐野	縄文中期	輝石
第9945	6	石鏃	輝石	長楕円形	24.8	22.3	6.0	1.9	0015	302	佐野	縄文中期	先附・輝石
第9946	5	石鏃	輝石	長楕円形	25.9	15.1	4.3	1.3	0015	460	佐野	縄文中期	輝石
第9947	3	石鏃	輝石	長楕円形	16.2	11.8	3.5	0.5	0015	972	佐野	縄文中期	輝石
第9948	7	石鏃	輝石	長楕円形	16.3	17.4	4.4	1.0	0015A	18	佐野	縄文中期	輝石
第9949	8	石鏃	輝石	長楕円形	26.9	20.1	4.5	2.2	0024A	001A	佐野	縄文中期	輝石
第9950	10	石鏃	輝石	長楕円形	17.2	15.9	3.2	0.9	0127	1	佐野	縄文中期	先附・輝石
第9951	11	石鏃	輝石	長楕円形	28.4	21.5	6.7	2.4	0062	47	佐野	縄文中期	輝石
第9952	12	石鏃	輝石	長楕円形	18.8	16.7	5.6	1.1	0024B	37	佐野	縄文中期	輝石
第9953	13	石鏃	輝石	長楕円形	34.2	19.4	3.4	1.4	0024B	24	佐野	縄文中期	輝石
第9954	14	石鏃	輝石	長楕円形	28.0	19.7	5.6	1.9	0110	1	小笠原	縄文中期	輝石
第9955	15	石鏃	輝石	長楕円形	28.2	16.0	3.5	1.3	0061	21a	佐野	縄文中期	輝石
第9956	16	石鏃	輝石	長楕円形	16.1	9.8	4.0	0.4	0061	21b	佐野	縄文中期	輝石
第9957	17	石鏃	輝石	長楕円形	18.4	17.8	4.5	2.2	0067	45	佐野	縄文中期	輝石
第9958	18	石鏃	輝石	長楕円形	12.5	13.4	2.3	0.5	0163	1	佐野	縄文中期	先附・輝石
第9959	47	石鏃	輝石	長楕円形	23.1	21.3	5.2	1.7	0026	0026-3	佐野	古墳	古墳
第9960	48	石鏃	輝石	長楕円形	12.5	14.3	4.2	0.7	0036C	0036C-1	佐野	古墳	古墳
第9961	49	石鏃	輝石	長楕円形	20.7	13.7	4.4	0.6	0036C	0036C-2	佐野	古墳	古墳
第9962	46	石鏃	輝石	長楕円形	22.1	16.4	4.0	0.8	100-43	21-43-7b	佐野	古墳	古墳
第9963	58	石鏃	輝石	長楕円形	25.5	14.0	4.4	0.9	0018	30	佐野	古墳	古墳
第9964	60	石鏃	輝石	長楕円形	24.1	12.4	3.4	0.7	0077	1	佐野	古墳	古墳
第9965	62	石鏃	輝石	長楕円形	24.5	24.4	4.3	2.2	0128B	C128B-2	佐野	古墳	古墳
第9966	36	石鏃	輝石	長楕円形	21.3	13.9	4.6	1.0	145-31	C79-31-0027	---	---	---
第9967	37	石鏃	輝石	長楕円形	16.9	12.2	3.2	0.6	145-31	C79-31-0405	---	---	---
第9968	38	石鏃	輝石	長楕円形	16.2	13.9	3.5	0.6	145-32	C79-32-0042	---	---	---
第9969	39	石鏃	輝石	長楕円形	12.8	11.2	3.8	0.4	145-40	C79-40-0395	---	---	---
第9970	40	石鏃	輝石	長楕円形	19.0	15.8	3.1	0.6	145-50	C79-50-0286A	---	---	---
第9971	41	石鏃	輝石	長楕円形	25.0	17.5	5.8	1.9	145-50	C79-50-0376A	---	---	---
第9972	42	石鏃	輝石	長楕円形	16.5	11.4	4.6	0.7	145-50	C79-50-0621	---	---	---
第9973	44	石鏃	輝石	長楕円形	21.0	12.5	4.9	1.1	145-51	C79-51-0310	---	---	---
第9974	43	石鏃	輝石	長楕円形	18.9	16.9	4.9	1.2	145-51	C79-51-0208	---	---	---
第9975	45	石鏃	輝石	長楕円形	30.0	17.1	5.5	1.8	145-51	C79-51-0285	---	---	---
第9976	48	石鏃	輝石	長楕円形	23.5	19.1	5.5	1.8	145-71	C79-71-0249	---	---	---
第9977	49	石鏃	輝石	長楕円形	22.0	19.0	5.5	1.7	145-72	C79-72-0082	---	---	---
第9978	50	石鏃	輝石	長楕円形	24.5	21.5	5.6	2.1	145-72	C79-72-0078	---	---	---
第9979	51	石鏃	輝石	長楕円形	21.5	20.5	5.5	1.7	145-72	C79-72-0110	---	---	---
第9980	53	石鏃	輝石	長楕円形	17.5	22.3	5.0	1.3	145-81	C79-81-0061	---	---	---
第9981	54	石鏃	輝石	長楕円形	19.7	18.1	4.5	1.2	145-91	C79-91-0065	---	---	---
第9982	59	石鏃	輝石	長楕円形	23.8	22.6	5.8	2.2	0700	013A	佐野	古墳	古墳
第9983	47	石鏃	輝石	長楕円形	22.9	12.9	3.5	0.9	140-91	C79-91-0287	---	---	---
第9984	39	石鏃	輝石	長楕円形	21.5	15.0	4.5	1.1	145-50	C79-50-1012	---	---	---
第9985	43	石鏃	輝石	長楕円形	19.0	13.0	4.5	0.9	145-51	C79-51-0277	---	---	---
第9986	52	石鏃	輝石	長楕円形	19.1	14.3	5.9	1.3	145-72	C79-72-0125	---	---	---
第9987	61	石鏃	輝石	長楕円形	16.2	1.4	0.3	0.6	0701	G101 3A	佐野	古墳	古墳
第9988	66	石鏃	輝石	長楕円形	25.0	17.0	7.8	2.0	105-21	C30 21 0056	---	---	---
第9989	56	石鏃	輝石	長楕円形	21.5	14.6	6.0	1.8	105-31	C80-31-075	---	---	---
第9990	37	石鏃	輝石	長楕円形	22.2	12.0	5.1	0.9	105-46	C76 46-0004	---	---	---
第9991	45	石鏃	輝石	長楕円形	15.3	12.7	3.4	0.6	0202	C202-09	佐野	古墳	古墳

序號	品名	規格	廠牌	單位	數量	原價	備註	品名	規格	廠牌	單位	數量	原價	備註	品名	規格	廠牌	單位	數量	原價	備註
第01號	442	442	442	442	21.3	18.6	8.7	1.1	0181	0181-4	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
第02號	442	442	442	442	11.7	10.4	4.4	1.1	0182	0182-4	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
第03號	442	442	442	442	24.1	21.3	2.7	2.7	005實	005實	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
第04號	442	442	442	442	19.1	16.6	2.9	0.8	005實	005實	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
第05號	442	442	442	442	20.2	18.5	4.9	0.9	005實	005實	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
第06號	442	442	442	442	20.9	18.4	4.5	0.9	005實	005實	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
第07號	442	442	442	442	20.0	18.2	5.4	1.5	005實	005實	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4
第08號	442	442	442	442	28.6	15.5	3.7	1.1	0095	0095-129	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
第09號	442	442	442	442	20.9	14.8	4.0	0.9	065-54	065-54	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
第10號	442	442	442	442	20.5	9.4	3.2	0.5	065-16	065-16	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
第11號	442	442	442	442	27.2	13.2	5.6	2.0	065-48	065-48	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
第12號	442	442	442	442	25.9	21.0	8.5	2.2	0188	0188-13	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5
第13號	442	442	442	442	17.2	23.4	6.0	1.4	024	024-36	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
第14號	442	442	442	442	28.4	19.1	4.0	1.5	0218	0218-4	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
第15號	442	442	442	442	19.4	12.2	4.1	1.0	0023	0023-29	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
第16號	442	442	442	442	21.5	17.8	5.8	1.5	0035	0035-7	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8
第17號	442	442	442	442	20.2	7.1	4.9	1.2	00428	00428-30	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
第18號	442	442	442	442	17.1	12.3	4.2	0.6	00225	00225-29	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
第19號	442	442	442	442	16.4	13.1	3.7	0.7	0095	0095-31	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
第20號	442	442	442	442	20.8	21.1	6.0	2.0	0241	0241-43	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
第21號	442	442	442	442	14.6	17.9	6.5	6.9	0241	0241-35	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5
第22號	442	442	442	442	36.2	14.0	3.6	4.1	0241	0241-33	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
第23號	442	442	442	442	16.5	13.7	3.7	0.8	0241	0241-44	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
第24號	442	442	442	442	22.2	12.8	7.1	2.3	0241	0241-44	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
第25號	442	442	442	442	19.8	14.3	4.4	1.1	0060	0060-136	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
第26號	442	442	442	442	16.7	16.2	2.5	0.4	0062	0062-1	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
第27號	442	442	442	442	31.7	26.3	6.5	2.4	0041	0041-35	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5
第28號	442	442	442	442	36.9	19.2	6.1	2.2	0241	0241-44	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1
第29號	442	442	442	442	26.2	18.7	4.9	1.9	0045	0045-16	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
第30號	442	442	442	442	20.4	16.9	4.4	1.1	0048	0048-2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
第31號	442	442	442	442	17.2	12.1	4.5	0.6	0052A	0052A-14	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
第32號	442	442	442	442	22.1	14.9	4.3	1.1	0046	0046-091	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
第33號	442	442	442	442	20.9	16.5	4.7	1.4	0020	0020-30	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
第34號	199	199	199	199	28.8	14.2	3.5	1.0	0095	0095-002	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
第35號	199	199	199	199	26.0	16.4	4.9	1.5	0106	0106-25	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
第36號	199	199	199	199	36.7	20.1	13.9	13.2	0119	0119-1	13.9	13.9	13.9	13.9	13.9	13.9	13.9	13.9	13.9	13.9	13.9
第37號	199	199	199	199	26.1	19.9	4.1	1.5	0297	0297-11	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
第38號	199	199	199	199	32.0	22.2	6.2	2.1	117-11	117-11-4	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2
第39號	199	199	199	199	34.0	14.1	6.8	0.6	0045	0045-9	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
第40號	199	199	199	199	25.9	19.8	3.6	1.2	027	027-18	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
第41號	199	199	199	199	37.7	20.4	4.4	1.8	0292	0292-12	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
第42號	199	199	199	199	15.2	13.1	3.9	0.5	0075	0075-84	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
第43號	199	199	199	199	28.9	13.9	8.5	8.4	0097	0097-41	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5
第44號	199	199	199	199	28.0	19.7	3.4	1.2	015	015-33	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
第45號	199	199	199	199	21.7	15.4	5.3	1.2	077-07	077-07	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
第46號	199	199	199	199	18.6	16.2	3.9	0.6	0141	0141-34	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
第47號	199	199	199	199	32.9	17.2	3.7	1.6	0248	0248-9	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
第48號	199	199	199	199	24.2	14.4	3.5	0.9	0149	0149-42	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
第49號	199	199	199	199	22.8	12.2	4.9	1.1	0148	0148-9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
第50號	199	199	199	199	18.9	16.5	3.9	0.8	0179	0179-225	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
第51號	199	199	199	199	21.9	19.6	5.5	1.9	007	007-19-1	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5
第52號	199	199	199	199	21.7	14.9	4.1	1.2	0153	0153-2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
第53號	199	199	199	199	25.9	18.0	5.0	1.4	0082	0082-156	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
第54號	199	199	199	199	28.6	15.6	4.2	1.7	0141	0141-6	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
第55號	199	199	199	199	24.0	15.9	5.2	1.8	0149	0149-1201	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2
第56號	199	199	199	199	17.4	14.9	4.8	0.8	0111	0111-25	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
第57號	199	199	199	199	25.7	23.2	4.6	2.0	0119	0119-72	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
第58號	199	199	199	199	21.0	16.8	3.7	0.7	0119	0119-169	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
第59號	199	199	199	199	32.5	16.9	4.5	1.9	119-99	119-99-26	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
第60號	199	199	199	199	34.9	16.2	4.5	1.4	0277	0277-5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
第61號	199	199	199	199	15.9	12.7	3.6	0.5	0048	0048-105	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
第62號	199	199	199	199	17.8	19.5	4.5	1.0	0011	0011-274	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
第63號	199	199	199	199	19.6	14.8	3.5	0.8	004	004-90	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
第64號	199	199	199	199	18.5	18.8	4.7	0.9	004	004-90	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
第65號	199	199	199	199	26.1	16.4	3.1	0.9	004	004-9											



編號	面	樓	樓層	用途	石料	石料	樓高	樓	樓高	面	樓高	樓層	用途	樓層	樓層	樓層	樓層
第9937號	54	107	樓上	樓上	麻石	麻石	35.7	23.9	12.6	16.1	3625A	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9938號	250	105	樓上	樓上	麻石	麻石	22.3	24.6	7.6	3.6	3243	P041-35	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9939號	151	105	樓上	樓上	麻石	麻石	18.5	22.0	8.3	5.6	3243	P041-35	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9940號	255	110	樓上	樓上	麻石	麻石	45.1	27.8	35.1	17.1	3243	Q041-26	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9941號	244	147	樓上	樓上	沙石	沙石	34.3	24.8	9.8	16.2	145-16	C79-50-145	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9942號	145	145	樓上	樓上	沙石	沙石	28.6	34.2	11.2	8.5	145-19	C79-81-44	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9943號	145	145	樓上	樓上	沙石	沙石	31.5	28.8	10.3	145-12	C79-82-182	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9944號	249	155	樓上	樓上	麻石	麻石	25.0	16.8	11.8	4.5	155-04	C80-14-155	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9945號	248	159	樓上	樓上	法蘭石	法蘭石	54.1	31.9	6.1	9.9	159-07	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9946號	246	157	樓上	樓上	麻石	麻石	31.4	14.1	3.8	2.1	157-02	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9947號	252	219	樓上	樓上	麻石	麻石	34.5	14.1	6.5	3.5	149-06	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9948號	257	158	樓上	樓上	麻石	麻石	11.5	25.4	3.3	242.9	1-4	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9949號	239	234	樓上	樓上	麻石	麻石	53.0	76.8	18.8	36.8	234-58	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9950號	238	254	樓上	樓上	麻石	麻石	78.2	41.5	12.2	32.5	254-05	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9951號	252	132	樓上	樓上	麻石	麻石	18.5	21.9	15.4	6.0	132-91	C79-81-1818	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9952號	261	145	樓上	樓上	麻石	麻石	14.9	14.0	9.8	2.9	145-52	C79-82-41	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9953號	253	145	樓上	樓上	麻石	麻石	23.5	23.0	11.0	3.5	145-09	C79-80-2814	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9954號	264	145	樓上	樓上	麻石	麻石	26.5	20.8	15.5	7.1	145-09	C79-80-918	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9955號	265	148	樓上	樓上	麻石	麻石	25.5	17.5	17.6	6.5	145-09	C79-80-1262	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9956號	266	145	樓上	樓上	麻石	麻石	21.2	23.1	15.5	5.9	145-09	C79-80-1137	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9957號	257	145	樓上	樓上	麻石	麻石	21.5	21.2	14.9	5.1	145-01	C79-81-87	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9958號	268	145	樓上	樓上	麻石	麻石	18.8	18.4	12.3	4.3	145-10	C79-10-2197	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9959號	269	145	樓上	樓上	麻石	麻石	38.9	24.8	19.9	15.7	145-81	C79-81-6	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9960號	290	144	樓上	樓上	麻石	麻石	15.4	19.1	11.1	4.1	144-11	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9961號	272	147	樓上	樓上	麻石	麻石	23.2	25.2	11.5	10.5	146-02	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9962號	274	165	樓上	樓上	麻石	麻石	46.2	34.4	15.0	19.4	164-1	D041-26	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9963號	275	165	樓上	樓上	麻石	麻石	29.8	36.2	9.3	6.3	164-1	D041-35	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9964號	276	165	樓上	樓上	麻石	麻石	44.2	25.8	20.7	17.9	164-1	D041-37	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9965號	277	165	樓上	樓上	麻石	麻石	25.1	24.4	11.6	6.4	164-1	D041-38	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9966號	279	143	樓上	樓上	麻石	麻石	37.9	20.9	13.7	8.6	143-02	C79-82-1	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9967號	271	145	樓上	樓上	沙石	沙石	27.8	33.8	25.2	23.8	145-32	C79-82-146	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9968號	272	145	樓上	樓上	麻石	麻石	25.4	28.9	12.1	9.4	145-02	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9969號	282	82E	樓上	樓上	麻石	麻石	49.2	40.7	25.2	41.1	82E-03	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9970號	128	128	樓上	樓上	麻石	麻石	27.6	20.1	15.5	9.1	66C3	G03-369	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9971號	288	254	樓上	樓上	麻石	麻石	36.9	16.8	19.9	10.2	254-06	H032	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9972號	283	246	樓上	樓上	沙石	沙石	41.4	47.7	19.3	24.3	244-04	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9973號	281	254	樓上	樓上	沙石	沙石	24.4	24.8	15.3	6.1	254-04	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9974號	279	143	樓上	樓上	麻石	麻石	32.4	16.5	13.5	5.0	143-16	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9975號	294	234	樓上	樓上	沙石	沙石	60.9	38.5	40.1	121.5	234-49	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9976號	295	236	樓上	樓上	沙石	沙石	43.9	44.9	26.5	79.1	234-04	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9977號	296	236	樓上	樓上	沙石	沙石	41.5	47.2	40.3	132.2	236-06	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9978號	304	146	樓上	樓上	沙石	沙石	23.7	23.2	5.2	1.9	146-1	D041-37	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9979號	287	155	樓上	樓上	麻石	麻石	11.2	15.2	3.1	0.5	155-81	C79-81-88	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9980號	288	135	樓上	樓上	麻石	麻石	24.3	30.8	7.9	4.1	135-91	C79-81-1214	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9981號	299	135	樓上	樓上	麻石	麻石	18.9	16.8	5.9	1.2	135-91	C79-81-1416	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9982號	299	145	樓上	樓上	麻石	麻石	20.1	12.9	4.1	0.6	145-19	C79-10-389	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9983號	294	145	樓上	樓上	麻石	麻石	20.9	14.8	6.5	1.3	145-19	C79-10-425	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9984號	292	145	樓上	樓上	麻石	麻石	16.8	14.6	6.5	1.9	145-13	C79-15-6	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9985號	295	145	樓上	樓上	麻石	麻石	25.8	17.5	7.9	2.7	145-13	C79-15-80	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9986號	294	145	樓上	樓上	麻石	麻石	15.6	18.1	7.6	3.4	145-20	C79-20-400	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9987號	296	145	樓上	樓上	麻石	麻石	18.9	19.1	5.0	1.4	145-20	C79-20-2236	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9988號	296	145	樓上	樓上	麻石	麻石	11.8	20.8	6.9	0.7	145-20	C79-20-543	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9989號	297	143	樓上	樓上	麻石	麻石	16.0	28.0	5.8	1.6	143-30	C79-20-706	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9990號	298	143	樓上	樓上	麻石	麻石	12.9	26.9	7.8	1.1	143-30	C79-20-1588	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9991號	299	143	樓上	樓上	麻石	麻石	21.0	27.0	13.2	2.3	143-71	C79-21-291	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9992號	300	143	樓上	樓上	麻石	麻石	21.3	14.9	11.1	2.8	143-74	C79-21-1	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9993號	301	143	樓上	樓上	麻石	麻石	13.8	20.9	6.2	1.2	143-44	C79-44-4	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9994號	303	143	樓上	樓上	麻石	麻石	20.9	16.5	3.5	1.0	143-41	C79-41-91	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9995號	302	143	樓上	樓上	沙石	沙石	44.8	27.9	15.4	18.0	143-95	C28-95-1	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9996號	307	110	樓上	樓上	麻石	麻石	32.8	52.5	5.4	10.9	8241	D041-35	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9997號	309	110	樓上	樓上	麻石	麻石	34.3	34.2	4.4	5.1	10741	D041-35	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9998號	306	105	樓上	樓上	沙石	沙石	41.0	29.0	13.3	9.8	10241	D041-13	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第9999號	306	105	樓上	樓上	沙石	沙石	44.0	34.8	14.7	17.0	10241	D041-35	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第10000號	312	120	樓上	樓上	沙石	沙石	37.9	12.9	5.9	2.7	120-81	C79-81-49A	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第10001號	313	120	樓上	樓上	沙石	沙石	18.3	16.3	3.9	6.4	120-91	C79-81-360	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第10002號	313	120	樓上	樓上	沙石	沙石	16.1	18.5	6.1	1.7	120-91	C79-81-361	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第10003號	315	135	樓上	樓上	沙石	沙石	16.6	26.2	2.9	1.4	135-81	C79-81-291	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第10004號	318	145	樓上	樓上	沙石	沙石	7.7	21.5	6.5	6.9	145-16	C79-10-728	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第10005號	317	145	樓上	樓上	沙石	沙石	22.5	18.3	11.1	3.2	145-12	C79-12-40	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第10006號	315	147	樓上	樓上	沙石	沙石	16.5	18.5	3.3	145-20	C79-20-295	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	
第10007號	310	147	樓上	樓上	沙石	沙石	43.1	17.0	3.9	4.0	147-1	G03-3	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第10008號	309	225	樓上	樓上	沙石	沙石	37.8	12.9	5.9	4.4	225-04	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅	
第10009號	311	241	樓上	樓上	沙石	沙石	11.1	22.8	6.8	1.6	241-9	P079-15C	住宅	住宅	住宅	住宅	住宅
第10010號	329	195															

期次	%	得意	種別	種別	材料	材料	長さ	幅	厚さ	重量	山土質量	電機%	山土重量	商号	製造業者/備考
第107次	332	236	鋼板	好	鋼板	鋼板	28.4	8.5	3.5	0.8	52号機	44	吉備	吉備	
第107次	336	236	鋼板	好	鋼板	鋼板	27.6	31.1	7.1	10.9	23号機	49	吉備	吉備	
第107次	326	207A	鋼板	好	鋼板	鋼板	21.1	24.0	8.9	1.9	GO17A	18	住友	福文中期	
第107次	332	209B	鋼板	好	鋼板	鋼板	16.7	12.0	3.7	5.8	PO91	16	住友	福文中期	
第108次	345	165	鋼板	好	鋼板	鋼板	34.2	14.2	7.5	3.3	DO41	10	吉備	吉備後期	
第108次	346	165	鋼板	好	鋼板	鋼板	25.2	37.4	7.2	4.7	DO41	10	吉備	吉備後期	
第108次	347	165	鋼板	好	鋼板	鋼板	27.6	32.6	7.4	4.4	DO41	10	吉備	吉備後期	
第108次	348	165	鋼板	好	鋼板	鋼板	87.2	48.5	17.3	34.9	DO41	10	吉備	吉備後期	
第108次	348	165	鋼板	好	鋼板	鋼板	46.8	38.8	32.4	40.1	140-37	10	吉備	吉備後期	
第108次	343	152	鋼板	好	鋼板	鋼板	20.6	13.6	7.2	1.6	2155	7	住友	吉備後期	
第108次	344	152	鋼板	好	鋼板	鋼板	31.2	16.1	5.1	2.5	1181	7	住友	不明	沢谷倉 有馬通産製作
第108次	328	225	鋼板	好	鋼板	鋼板	14.1	14.5	5.2	3.5	225-20	8	吉備	吉備後期	
第108次	328	225	鋼板	好	鋼板	鋼板	15.8	14.6	2.3	0.4	225	26	吉備	吉備後期	
第108次	348	K015	鋼板	好	鋼板	鋼板	24.9	13.4	8.7	1.8	CO15	33	住友	福文中期	
第108次	341	K015	鋼板	好	鋼板	鋼板	17.2	15.7	13.2	2.3	CO15	3018	住友	福文中期	
第108次	342	K016	鋼板	好	鋼板	鋼板	20.9	13.5	5.1	1.1	CO15	493	住友	福文中期	
第109次	355	165	打撃石	不選	砂岩	砂岩	106	61	24	176	DO41	DO41-34	吉備	吉備後期	近所石場、倉田製石
第109次	354	165	打撃石	分類	DO7A	砂岩	126	66	25	205	DO41	DO41-11	吉備	吉備後期	大石石場の再加工、倉田製石
第109次	356	165	打撃石	分類	DO7A	砂岩	96	45	23	121	DO41	DO41-11	吉備	吉備後期	片盛加工、刀盛は西尾、おひら石専業加工
第109次	353	167	打撃石	分類	DO7A	砂岩	89	58	16	115	146-72	DO41-72-161	吉備	吉備後期	一宮製石の再加工、倉田製石
第109次	351	167	打撃石	分類	DO7A	砂岩	163	65	24	122	167号機	167-16	吉備	吉備後期	中や平石を片盛加工、片盛全面と片盛再加工、倉田製石
第109次	352	PO37	打撃石	好	砂岩	砂岩	49	59	21	56	PO37	64	住友	福文中期	福文中期に刀盛加工、刀盛片
第109次	350	PO37	打撃石	分類	砂岩	砂岩	120	66	33	304	PO37	3	住友	福文中期	福文中期に片盛加工、片盛全面と片盛再加工、倉田製石
第110次	363	162	打撃石	不選	DO7A	砂岩	124	58	23	203	DO6製機	製機	吉備	吉備後期	二層におひら石専業加工
第110次	358	169	打撃石	分類	DO7A	砂岩	87	52	17	66	1116	1116-100	住友	吉備後期	全面加工、山土再加工、選別可能な石あり
第110次	357	165	打撃石	不選	DO7A	砂岩	92	59	13	113	DO41	DO41-9	吉備	吉備後期	刀盛・倉田製のみ加工、倉田製、片盛全面と片盛再加工の再加工、倉田製は倉田製加工
第110次	362	165	打撃石	不選	DO7A	砂岩	118	65	24	242	CO16A	CO16A-006	吉備	吉備後期	全面加工、倉田製のみ加工、倉田製、片盛全面と片盛再加工の再加工、倉田製は倉田製加工
第110次	359	236	打撃石	不選	DO7A	砂岩	60	35	17	47	59号機	10	吉備	吉備	全面加工、おひら石専業加工
第110次	356	236	打撃石	不選	DO7A	砂岩	85	49	20	86	52号機	136	吉備	吉備	福文中期を再加工、福文中期に片盛加工、倉田製
第110次	361	236	打撃石	不選	砂岩	砂岩	87	52	27	157	23号機	328	吉備	吉備	全面加工と片盛再加工、倉田製と片盛再加工、倉田製
第111次	368	167	打撃石	不選	DO7A	砂岩	87	39	19	62	1126	1126-84	住友	吉備後期	全面加工、片盛加工、倉田製
第111次	364	167	打撃石	不選	砂岩	砂岩	112	61	23	207	1104	1104-61	住友	吉備後期	片盛加工と片盛再加工以外の全面加工、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製
第111次	367	145	打撃石	不選	砂岩	砂岩	86	40	18	101	145-09	179-60-1118	吉備	吉備後期	片盛加工、經典の再加工、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製
第111次	372	144	打撃石	不選	砂岩	砂岩	59	41	17	54	144-62	179-62-114	吉備	吉備後期	片盛加工、經典の再加工、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製
第111次	366	206	打撃石	不選	DO7A	砂岩	75	55	27	131	57号機	14	吉備	吉備	大石石場の片盛加工、倉田製
第111次	370	226	打撃石	不選	DO7A	砂岩	81	47	24	119	220-79	167-70-1	吉備	吉備後期	全面加工（倉田製は片盛加工は片盛加工）、倉田製
第111次	365	236	打撃石	不選	DO7A	砂岩	96	54	13	97	236-29	48 29-16	吉備	吉備	片盛加工と片盛再加工以外の全面加工、倉田製
第111次	371	246	打撃石	不選	砂岩	砂岩	99	38	23	69	24号機	467	吉備	吉備	全面加工、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製
第111次	369	256	打撃石	不選	砂岩	砂岩	66	37	11	46	256-45	62 45-1	吉備	吉備	倉田製のみ倉田製から片盛加工、全面に倉田製の片盛加工
第112次	373	162	打撃石	不選	砂岩	砂岩	59	66	21	171	162製機	35	吉備	吉備	刀盛のみ再加工
第112次	376	125	打撃石	不選	砂岩	砂岩	70	57	12	95	CO18	362	住友	学生後期	全面加工（倉田製は片盛加工は片盛加工）、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製
第112次	377	145	打撃石	不選	DO7A	砂岩	70	43	17	75	145-92	179-92-195	吉備	吉備	全面加工、倉田製、倉田製
第112次	378	143	打撃石	不選	DO7A	砂岩	64	45	19	74	143-20	179-20-2562	吉備	吉備	刀盛加工、倉田製、倉田製
第112次	375	145	打撃石	不選	砂岩	砂岩	73	49	21	58	145-94	179-94-143	吉備	吉備	倉田製、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製
第112次	380	145	打撃石	不選	砂岩	砂岩	70	47	19	78	145-19	179-19-2215	吉備	吉備	倉田製、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製
第112次	374	236	打撃石	不選	DO7A	砂岩	85	38	21	84	52号機	36	吉備	吉備	倉田製、倉田製、倉田製、倉田製
第112次	375	CO15	打撃石	不選	砂岩	砂岩	66	37	17	58	PO15	713	住友	福文中期	倉田製のみ打撃石
第112次	380	133	打撃石	不選	砂岩	砂岩	44	61	18	64	133-91	179 91 584	吉備	吉備	倉田製加工、片盛加工、倉田製、倉田製、倉田製
第112次	390	145	打撃石	不選	砂岩	砂岩	44	51	15	28	145-82	179 82 8	吉備	吉備	倉田製加工、片盛加工、倉田製、倉田製、倉田製
第113次	382	145	打撃石	不選	砂岩	砂岩	72	38	18	62	145-50	179-50-364	吉備	吉備	倉田製加工と片盛加工、倉田製、倉田製、倉田製
第113次	381	145	打撃石	不選	砂岩	砂岩	83	47	12	64	145-71	179 71 0	吉備	吉備	倉田製のみ再加工
第113次	384	145	打撃石	不選	砂岩	砂岩	10	41	12	36	145-92	179-92-005	吉備	吉備	倉田製のみ再加工、倉田製、倉田製、倉田製、倉田製



種別	%	高度	距離	設置	名称	所在地	緯度	経度	高さ	直径	設置位置	電圧	出力	備考
第110区	432	P152		設置	行脚石	行脚石	66	53	50	146	P052	3	小電力	設置
第110区	432	P152		設置	行脚石	行脚石	41	34	17	28	P132	20	小電力	設置
第110区	447	P152		設置	行脚石	行脚石	131	85	45	750	150-13			
第119区	448	13T		設置	行脚石	行脚石	80	63	28	301	137-13	164-13-1C		
第119区	450	14E		設置	行脚石	行脚石	92	73	53	854	145-00	179-00-056		
第119区	446	16a		設置	行脚石	行脚石	123	71	63	790	C232B	C232B-26	設置	器具
第119区	449	16a		設置	行脚石	行脚石	104	86	59	790	C232A	C232A-1	設置	器具
第119区	445	16T		設置	行脚石	行脚石	121	80	55	730	C019	C019-10	設置	器具
第119区	444	16T		設置	行脚石	行脚石	89	52	32	387	C177A	C177A-1	設置	器具
第119区	439	C017A		設置	行脚石	行脚石	72	54	38	226	C017A	85	設置	器具
第119区	440	C066A		設置	行脚石	行脚石	76	56	17	109	C066A	18	設置	器具
第119区	441	P152		設置	行脚石	行脚石	88	73	33	278	P152	20	小電力	設置
第119区	443	P161		設置	行脚石	行脚石	83	62	36	377	P161	7	小電力	設置
第119区	442	P161		設置	行脚石	行脚石	89	56	48	490	P161	3	小電力	設置
第120区	434	06E		設置	行脚石	行脚石	93	77	36	393	06E-27	C7266-27		
第120区	450	08F		設置	行脚石	行脚石	91	87	40	280	E132A	E132A-1371	設置	器具
第120区	457	08F		設置	行脚石	行脚石	90	62	34	262	08E2	E042-2797	設置	器具
第120区	458	09F		設置	行脚石	行脚石	109	60	27	287	E171A	48	設置	器具
第120区	453	10E		設置	行脚石	行脚石	104	68	56	384	0041	0241-28	設置	器具
第120区	459	10F		設置	行脚石	行脚石	98	78	24	197	E041	E041-46	設置	器具
第120区	461	12V		設置	行脚石	行脚石	128	85	45	740	D017	D017-72	設置	器具
第120区	456	13F		設置	行脚石	行脚石	68	71	43	324	E040	E040-165	設置	器具
第120区	462	14a		設置	行脚石	行脚石	116	87	49	700	0061	0061-37	設置	器具
第120区	462	14E		設置	行脚石	行脚石	95	54	49	337	14E-30	C79-30-1305		
第120区	456	15E		設置	行脚石	行脚石	113	79	45	590	15E-15	E05-15-4		
第120区	451	15E		設置	行脚石	行脚石	83	57	25	174	15E-47	C80-47-1		
第121区	464	14a		設置	行脚石	行脚石	58	52	39	227	0061	0061-30	設置	器具
第121区	463	14a		設置	行脚石	行脚石	93	56	26	227	E147	E147-27	設置	器具
第121区	468	15a		設置	行脚石	行脚石	94	69	65	555	0263	0263-27	設置	器具
第121区	465	16a		設置	行脚石	行脚石	95	82	59	436	E173	E173-9	設置	器具
第121区	466	17a		設置	行脚石	行脚石	58	54	51	142	C218	C218-1	設置	器具
第121区	467	17a		設置	行脚石	行脚石	74	49	44	326	C216	C216-12	設置	器具
第121区	476	25a		設置	行脚石	行脚石	78	51	41	211	25a-37	48-37-1		
第121区	477	25a		設置	行脚石	行脚石	73	53	38	181	25a-64	48-64-1a		
第121区	472	25b		設置	行脚石	行脚石	74	57	74	211	25a-64	22	設置	器具
第121区	478	25b		設置	行脚石	行脚石	74	43	24	129	52a-64	19a	設置	器具
第121区	473	25b		設置	行脚石	行脚石	57	46	24	87	52a-64	16	設置	器具
第121区	479	25b		設置	行脚石	行脚石	64	59	25	129	25b-27	48-27-1b		
第121区	470	25b		設置	行脚石	行脚石	64	53	32	400	21a-64	20	設置	器具
第121区	469	25b		設置	行脚石	行脚石	85	41	40	276	25a-64	49E-1	設置	器具
第121区	474	25b		設置	行脚石	行脚石	185	85	58	1190	25a-64	6C-1		

探洞	坑名	所在地	層位	年代	形状	長さ	幅	高さ	開口位置	遺物	土質	時期	備考
第112窟	471 254	磨石塚	磨石塚	砂土	横穴式	82	93	42	496 27号棟	288a	古墳	古墳前期	鏡面等・金貨 鉄製土師器(びん, 壺, 土師器)
第112窟	485 057	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	92	34	31	227 3040	9040-28	住居	古墳前期	阿波・丹波銅器文化, 鎌倉
第112窟	488 059	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	201	66	64	1606 3150	5150-1206	住居	古墳前期	まねび銅器, 北宮平埴 やまゆき銅器(丹波銅器), 磨石
第112窟	486 337	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	129	54	55	586 3397	3397-2	住居	古墳前期	一握広く丸い「壺」等文化器 類(一握広く丸い「壺」, 丹波 銅器の中央の半環に2より 持ちやすい)
第112窟	487 147	磨石塚	磨石塚	砂土	横穴式	117	94	44	976 3398	3398-1	住居	古墳前期	丹波銅器, 丹波銅器, 丹波 銅器(一握広く丸い「壺」, 丹波 銅器)
第112窟	480 157	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	131	75	56	756 3398	3398-17	住居	古墳前期	磨石の2箇所に準理化するも, 丹波銅器, 丹波銅器, 丹波 銅器(一握広く丸い「壺」, 丹波 銅器)
第112窟	484 162	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	113	35	23	143 33240	33240-44	土坑	古墳前期	丹波銅器文化, 磨石, 一握広 く丸い「壺」
第112窟	479 409	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	127	79	42	606 3349	3349-8	小竈穴	縄文中期	丹波銅器, 丹波銅器, 丹波 銅器(一握広く丸い「壺」, 丹波 銅器)
第112窟	482 012	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	72	39	31	141 3192	3192-2a	小竈穴	縄文中期	丹波銅器, 丹波銅器文化, 磨 石
第112窟	481 016	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	107	54	29	223 3190	3190-2	竈穴	縄文中期	磨石から銅器(丹波銅器) の出土と関連
第112窟	483 014	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	83	33	31	187 3161	3161-5	竈穴	縄文中期	丹波銅器, 丹波銅器文化, 磨 石
第112窟	489 104	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	103	73	29	354 3386	3386-15	住居	古墳前期	丹波銅器, 丹波銅器, 丹波 銅器(一握広く丸い「壺」, 丹波 銅器)
第112窟	490 142	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	112	53	45	478 3460	3460-160	住居	古墳前期	丹波銅器, 丹波銅器(丹波銅器) の出土と関連
第112窟	481 147	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	114	72	38	494 3382	3382-47	住居	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 一握広く丸い「壺」
第112窟	494 234	磨石塚	磨石塚	砂土	横穴式	104	72	46	579 33307	33307-1	古墳	古墳前期	丹波銅器文化, 磨石, 丹波 銅器
第112窟	497 233	磨石塚	磨石塚	砂土	横穴式	50	77	39	201 32307	32307-1a	古墳	古墳前期	丹波銅器文化, 磨石, 丹波 銅器
第112窟	496 230	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	77	51	45	228 33307	33307-7b	古墳	古墳前期	丹波銅器文化, 磨石, 丹波 銅器
第112窟	492 233	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	92	83	24	331 32307	32307-12a	古墳	古墳前期	丹波銅器文化, 磨石, 丹波 銅器
第112窟	500 233	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	64	55	18	99 32307	32307-13a	古墳	古墳前期	丹波銅器文化, 磨石, 丹波 銅器
第112窟	495 245	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	67	48	19	87 24号棟	24号棟	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第112窟	490 245	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	102	76	32	379 24号棟	24号棟	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第112窟	498 245	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	66	52	36	108 24号棟	24号棟	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第112窟	499 256	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	63	70	36	205 25号棟	25号棟	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第114窟	504 105	石塚	石塚	砂土	円形	118	113	68	626 3041	3041-45	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第114窟	503 107	石塚	石塚	砂土	円形	101	115	64	1106 3061	3061-1	住居	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第114窟	502 147	石塚	石塚	砂土	円形	178	148	49	1656 2号棟	2号棟	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第114窟	502 142	石塚	石塚	砂土	円形	178	107	48	1766 147-71	71-71-204	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第115窟	510 147	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	122	104	43	646 3078	3078-407	住居	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第115窟	507 234	石塚	石塚	砂土	円形	112	81	41	446 23a-28	23a-25	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第115窟	512 234	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	75	57	30	138 23a	48 37-1c	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第115窟	508 235	石塚	石塚	砂土	円形	105	109	71	1459 23a-37	48-37-1c	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第115窟	509 235	石塚	石塚	砂土	円形	101	77	64	544 33307	33307-32a	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第115窟	508 240	石塚	石塚	砂土	円形	131	99	38	937 24号棟	24号棟	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第115窟	511 246	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	65	62	41	229 24号棟	24号棟	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第115窟	506 3094	石塚	石塚	砂土	円形	145	122	60	996 3091	28-34	住居	縄文中期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第116窟	813 157	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	139	172	142	3549 3155	3155-3	住居	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第116窟	814 236	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	157	85	75	1290 3129	3129-1	住居	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第116窟	818 234	磨石塚	磨石塚	砂土	円形	217	142	53	342 27号棟	288b	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第116窟	814 814	石塚	石塚	砂土	円形	64	54	41	125 62号棟	62	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器
第116窟	817 235	石塚	石塚	砂土	円形	138	122	47	83 23a-44	44-44-0001	古墳	古墳前期	丹波銅器(丹波銅器)の出土と 関連, 丹波銅器

81 高野山と「石塚」次郎の墓のある所  
82 高野山と「石塚」次郎の墓のある所  
83 高野山と「石塚」次郎の墓のある所

84 高野山と「石塚」次郎の墓のある所  
85 高野山と「石塚」次郎の墓のある所  
86 高野山と「石塚」次郎の墓のある所

第16表 石製品・土製品

序號	No	出土位置	編號	動物No	器種	石材	残存寸法mm	重量g	出土遺構	時期	ブロン	備考
127	1	G表掘	G1C	—	けつ状耳飾	蛇紋岩	44×48×6	12.9	—	—	G1C	破損面研磨。3層に穿孔し 木貫通し。紐すれあり 1層に穿孔。破損面そのま ま。
127	2	G表掘	G1C	50	けつ状耳飾	蛇紋岩	41×37×6	10.4	—	—	G1C	破損面研磨。3層に穿孔 1層に穿孔。破損面そのま ま。
127	3	14E-10	14E	CIV-10	けつ状耳飾	蛇紋岩	40×22×7	7.4	—	—	14E-10	破損面研磨。破損面研磨。紐すれあり そのま。
127	4	16号墳	14E	3, 4K	けつ状耳飾	蛇紋岩	25×18×8	4.4	古墳	古墳	14E/52	欠損。別れ口そのま。
127	5	E155	09F	315	けつ状耳飾	蛇紋岩	21×20×5	4.8	聖穴住居	古墳	09F/78	破損面研磨。3層に穿孔 1層に穿孔。破損面研磨。木貫 通し。紐すれあり。
127	6	3398	09F	1815	けつ状耳飾	蛇紋岩	20×18×8	5.5	聖穴住居	古墳	09F/87	破損面研磨。木貫通し。紐 すれあり。
127	7	E149	V08	170	耳飾	蛇紋岩	15×10×6	1.8	聖穴住居	古墳	09F/56	破損面研磨。穿孔部に紐 すれあり。
127	8	D1C表掘	D1C	表掘	勾玉	蛇紋岩	12×10×最小径2	1.4	—	—	D1C表掘	内面穿孔。下部の1/2欠 損。
127	9	E28-97	E28	C36-97	碧玉	蛇紋岩	径13×11×高13	2.5	—	—	E28-97	やや歪な円筒形。紐すれ あり。
127	10	P082	24c	0009	丸玉	蛇紋岩	径:7×16×高11	4.6	聖穴住居	弥生	24c/11	やや割裂りの白彩。入念 に研磨。赤生時代?
127	11	53号墳	23b	21	碧玉	蛇紋岩	径:8×16×高18	7.9	古墳	古墳	23b/41	円筒形
127	12	53号墳	23b	42	丸玉	蛇紋岩	径:5×高11	3.1	古墳	古墳	23b/41	やや割裂りの白彩。破損 面も研磨して使用
127	13	G151	a16	15	けつ状耳飾	土製	45×24×13	13.1	聖穴住居	古墳	16a/76	外面・中央孔とも円形。表 裏面部に突突
127	14	E082	09F	3727	耳栓	土製	32×21×高37	20.9	聖穴住居	古墳	09F/99	扁平形。基部径 13.3× 13.9mm
127	15	C125A	14E	44	土製	土製	60×36×16	37.3	古墳	古墳	14E/40	扁平形。側・脚部を表 現。上部に凹み
127	16	E5-12	04S	C7280- 12-35	土器片円板	土器片	25×25×9	4.1	—	—	04S/12	阿玉台式? 入念に研磨
—	17	145/1	145	C79-11	土器片円板	土器片	27×25×7	6.4	—	—	145/1	阿玉台式? 入念に研磨
—	18	107	107	T41-10-1	土器片円板	土器片	34×30×10	12.5	—	—	107	阿玉台式
—	19	145/2	145	C79-12-84	土器片円板	土器片	23×30×8	10.4	—	—	145/2	阿玉台式
—	20	097/21	097	D0264-8	土器片円板	土器片	30×30×9	10.0	聖穴住居	古墳	097/21	阿玉台式。かなり入念に 研磨
—	21	097	097	D026-3	土器片円板	土器片	28×28×7	8.3	古墳	古墳	097	阿玉台式。かなり入念に 研磨
—	22	107	107	D054-3	土器片円板	土器片	22×22×8	12.4	古墳	古墳	107	阿玉台式。かなり入念に 研磨

第17表 七器片鉢

瓦版 No	陶名	変形	品物No	長さmm	幅mm	厚さmm	高さg	切込	形状	備考	年代	
<b>C015</b>												
66下-1	---	---	25	4.0	3.7	1.1	21.7	2	割		8歳	
66下-2	---	---	47	4.6	4.7	1.0	21.7	2	割		140/09	
66下-3	---	---	47	5.1	3.9	0.9	27.8	2	割		140/09	
66下-4	---	---	121	4.4	3.8	1.1	20.3	2	割		140/09	
66下-5	---	---	130	4.4	3.4	1.1	19.2	2	割		140/09	
66下-6	---	---	281	4.5	4.3	1.1	27.9	2	割		140/09	
66下-7	---	---	945	3.9	3.6	1.1	21.0	2	割		140/09	
66下-8	---	---	967	4.2	3.5	1.1	18.9	2	割		140/09	
66下-9	---	---	78							土器片鉢でない		
<b>C017A</b>												
66下-10	---	住居	117, 118	5.9	5.2	1.2	53.7	2	割		7歳	
66下-11	---	---	23	4.6	4.4	1.2	27.7	2	割		155/41	
66下-12	---	---	24	6.4	5.1	1.0	36.8	2	割		155/41	
66下-13	---	---	25	5.9	5.2	1.2	51.2	2	割		155/41	
66下-14	---	---	26	5.6	5.4	1.2	50.3	2	割		155/41	
66下-15	---	---	77	5.1	5.1	1.0		2	割		155/41	
66下-16	---	---	76	5.7	5.4	1.0	38.5	2	割		155/41	
66下-17	---	---	141							土器片鉢でない		
66下-18	---	---	141							土器片鉢でない		
<b>C032A</b>												
66下-29	---	住居	1	5.9	5.2	1.3	56.3	2	割		8歳	
66下-30	---	---	1	5.8	5.5	1.1	53.3	2	割		135/50	
66下-31	---	---	1		4.4	1.3		1	割	平欠	135/50	
66下-32	---	---	1		3.7	0.8		1	割	平欠	135/50	
66下-33	---	---	1	5.0	5.0	0.9	27.8	2	割		135/50	
66下-34	---	---	11	3.6	2.9	0.8	9.8	2	割		135/50	
<b>C032B</b>												
66下-35	---	住居	25	4.8	4.4	1.1	23.9	2	割		138/09	
66下-36	---	---	25	3.0	2.8	0.8	9.6	2	割		138/09	
66下-37	---	---	27	4.3	4.1	1.0	18.8	2	割		138/09	
66下-38	---	---	29	5.9	4.6	1.0	31.2	2	割		138/09	
66下-39	---	---	30	4.5	3.9	0.8	18.9	2	割		138/09	
<b>C032A</b>												
66下-42	---	住居	1	3.6	3.6	1.1	16.2	2	割		1歳	
<b>C059</b>												
67上-44	50-01	住居	23	6.9	6.7	1.1	92.6	なし	口縁	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-45	50-02	---	31	6.5	5.9	1.3	69.1	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-46	50-03	---	19	6.8	5.5	1.3	65.4	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-47	50-04	---	22	7.3	6.0	1.3	88.5	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-48	50-05	---	15	6.9	5.1	1.4	62.0	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-49	50-06	---	18	5.7	5.6	1.1	49.5	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-50	50-07	---	25					なし	割	口縁合付 形	125/67	
67上-51	50-08	---	27	7.3	5.9	1.0	76.4	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-52	50-09	---	24	4.3	4.3	1.3	67.3	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-53	50-10	---	20	6.9	6.8	1.1	72.6	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-54	50-11	---	17	7.0	6.0	1.4	72.1	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-55	50-12	---	14	5.2	5.9	1.1	41.3	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-56	50-13	---	21	9.0	4.4	1.3	63.5	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
67上-57	50-14	---	25	7.1	5.0	0.9	44.1	2	割		125/67	
67上-58	50-15	---	6	6.5	5.4	1.0	49.9	2	割		15-16H 素材?	125/67
67上-59	50-16	---	9	6.1	5.9	1.1	48.5	1	割		15-16H 素材?	125/67
67上-60	50-17	---	7	6.5	7.3	1.2	81.9	2	割		125/67	
67上-61	50-18	---	8	7.0	6.4	1.2	69.4	2	割		125/67	
67上-62	50-19	---	4	4.7	3.5	1.2	20.4	2	口縁	19-20H 素材	125/67	
67上-63	50-20	---	5	4.4	4.3	1.0	25.7	2	口縁	19-20H 素材	125/67	
67上-64	50-21	---	30	6.8	4.0	1.1	33.8	2	割		125/67	
67上-65	50-22	---	31	6.7	4.9	1.3	61.9	なし	割	末成品, 1-13, 23H 素材	125/67	
<b>C060A</b>												
67下-66	---	住居	12	4.4	4.2				割	平欠	1歳	
<b>C177B</b>												
67下-76	---	住居	1	7.3	6.1	1.1	74.6	2	割		74-6-79-80H 素材	183/62
67下-77	---	---	1	7.0	6.1	1.1	68.6	2	割		183/62	
67下-78	---	---	1	4.7	8.9	1.2	35.7	2	割		78-84H 素材	183/62
67下-79	---	---	1	6.7	5.1	1.1	56.3	2	割		74-6-79-80H 素材	183/62
67下-80	---	---	1	5.4	4.1	1.1	37.7	2	割		74-6-79-80H 素材	183/62
67下-81	---	---	1	6.0	5.7	1.3	42.1	2	割		81-87H 素材	183/62
67下-82	---	---	1	3.0	4.6	1.0	34.7	2	割		183/62	
67下-83	---	---	1	3.3	3.0	0.9	10.8	2	割		183/62	
67下-84	---	---	1	8.8	6.8	1.6	92.5	2	割		78-84H 素材	183/62
<b>C024B</b>												
69上-291	---	住居	107	3.6	3.3	1.2	15.1	2	割		807/29	
<b>D119</b>												
70上-302	---	土坑	4	5.1	3.6	0.9	17.5	2	割		129/90	
<b>P001</b>												
70上-330	---	住居	21	2.8	2.9	0.9	7.9	2	割		23b/24	
70上-331	---	---	21	4.5	4.6	1.4	29.5	2	割		23b/24	
<b>P037</b>												
70上-339	---	住居	2	6.1	5.0	1.0	35.8	2	割		23b/28	
70上-340	---	---	15	5.0	5.4	0.9	32.3	2	割		23b/28	
70上-341	---	---	4	4.8	4.9	1.3	38.1	2	割		23b/28	
70上-342	---	---	4	5.4	3.7	1.1	27.9	2	割		23b/28	
70上-343	---	---	2	5.2	4.0	1.2	30.3	2	割		23b/28	

層名	No	区分	位置	道幅	長さm	幅m	長さm	高さm	切込	部位	備考	下層		
70上-344			P037	2	5.6	5.8	1.0	47.1	2	削		23b/38		
			P040								小堀穴	削文中層	1点	
70下-345			P043	4	6.9	1.5				片方2	削	平穴	23b/38	
			P052								小堀穴	削文中層	3点	
70下-346			P052	1	6.0	1.2			1	削		平穴	23b/37	
70下-347			P052	1	4.0	1.2			1	削		平穴	23b/37	
70下-348			P052	なし		0.9			1	削		平穴	23b/37	
			P058								小堀穴	削文中層	1点	
70下-349			P058	112	3.3	1.9			1	削		平穴	24b/33	
			P146								小堀穴	削文中層	1点	
70下-350			P146	11	5.1	3.9	1.1	28.4	2	削			23a/39	
			P149								小堀穴	削文中層	2点	
70下-357			P149	11	5.2	4.8	1.2	34.5	2	削			23a/38	
70下-358			P149	11	6.1	1.0					削	平穴	23a/38	
			P159								小堀穴	削文中層	1点	
70下-359			P159	11	6.2	1.1					削	平穴	23a/38	
			P068								小堀穴	削文中層	1点	
-482			P068		6.8	5.3	1.3	43.4	2	削			24a/33	
			14号墳								古墳	古墳時代(滲入)	163区	2点
67下-86			14号墳		5.3	5.0	1.1	36.7	2	削			163区	1点
67下-87			14号墳		5.9	5.0	1.3	67.1	2	削		石1削一素材	162区	2点
			A号墳								古墳	古墳時代(滲入)	169区	2点
67下-88			A号墳		5.1	5.1	1.3	48.3	2	削			167区	2点
67下-89			A号墳		5.6	5.0	1.1	45.6	2	削			167区	2点
			B号墳								古墳	古墳時代(滲入)	167区	2点
67下-90			B号墳		3.7	3.1	1.3	18.7	2	削			167区	2点
67下-91			B号墳		5.6	4.3	1.0	30.5	2	削			167区	1点
			D号墳								古墳	古墳時代(滲入)	167区	1点
67下-92			D号墳		2.9	1.0			1	削			167区	1点
			古墳								古墳	古墳時代(滲入)	23b区	20点
70下-360			23号墳	25	7.1	6.1	1.3	60.4	2	削			23b/37	
70下-361			23号墳	420	5.7	5.5	1.1	49.3	2	削			23b/37	
70下-362			23号墳	610									土器片数でない	
70下-363			23号墳	612	5.1	3.2	1.6	36.1	2	削			23b/37	
70下-364			23号墳	611	5.2	4.1	1.8	41.7	2	削			23b/37	
70下-365			23号墳	433	5.0	4.0	1.0	26.2	2	削			23b/37	
70下-366			23号墳	288	4.5	4.4	1.0	24.8	2	削			23b/37	
70下-367			23号墳	383	3.9	3.3	1.1	21.0	2	削			23b/37	
70下-368			23号墳	21	4.6	2.8	0.8	14.2	2	削			23b/37	
70下-369			23号墳	303	3.5	1.0			1	削		平穴	23b/37	
70下-370			23号墳	512	3.2	1.2			1	削		平穴	23b/37	
70下-371			23号墳	5磯土	4.1	4.2	1.0	22.7	1	削			23b/37	
70下-372			23号墳	683	4.8	1.1			1	削		平穴	23b/37	
70下-373			23号墳	175	4.4	3.9	1.0	20.0	2	削			23b/37	
70下-374			23号墳	24	4.9	4.0	1.0	22.9	2	削			23b/37	
70下-375			23号墳	25	4.2	3.9	1.1	23.3	2	削			23b/37	
70下-376			23号墳	433	3.3	1.2			1	削		平穴	23b/37	
70下-377			23号墳	610	4.1	4.2	1.1		1	削		平穴	23b/37	
70下-378			23号墳	24	4.1	4.1	1.3	31.2	2	削			23b/37	
70下-379			23号墳	5磯土									土器片数でない	
70下-380			23号墳	12	4.3	3.4	1.0	17.9	2	削			23b/37	
70下-381			23号墳	213	3.0	2.7	1.0	8.3	2	削			早期弥生土器片利用	
			24号墳								古墳	古墳時代(滲入)	24b区	11点
70下-382			24号墳	坂-50	4.6	4.0	1.0	25.3	1	削			24b/36	
70下-383			24号墳	470	6.7	4.4	0.8	35.1	2	削			24b/36	
70下-384			24号墳	474	5.3	3.8	1.0	25.0	2	削			24b/36	
70下-385			24号墳	465									土器片数でない	
70下-386			24号墳	476	3.9	3.3	1.2	22.7	2	削			24b/36	
70下-387			24号墳	388	4.1	2.9	1.0	15.6	2	削			24b/36	
70下-388			24号墳	468	5.8	1.3			1	削		平穴	24b/36	
70下-389			24号墳	志土-2									土器片数でない	
70下-390			24号墳	坂-219	4.8	3.9	1.0	22.7	2	削			24b/36	
70下-391			24号墳	坂-14	6.0	4.2	1.2	37.5	2	削			24b/36	
71上-392			24号墳	468	5.2	5.2	1.0	37.0	2	削			24b/36	
71上-393			24号墳	476	6.1	5.0	1.0	36.7	2	削			24b/36	
71上-394			24号墳	468	4.7	4.1	0.9	23.4	3	削			24b/36	
			25号墳								古墳	古墳時代(滲入)	0点	
71上-395			25号墳	坂1-6									土器片数でない	
			51号墳								古墳	古墳時代(滲入)	22b区	5点
71上-396			51号墳	34									土器片数でない	
71上-397			51号墳	22	5.2	5.1	1.3	44.7	2	削			22b/33	
71上-398			51号墳	15								平穴	22b/33	
71上-399			51号墳	24	4.2	3.4	1.1	20.6	2	削			22b/33	
71上-400			51号墳	23	4.7	3.4	1.1	23.2	2	削			22b/33	
71上-401			51号墳	13	3.7	3.3	1.0	16.3	2	削			22b/33	
			52号墳								古墳	古墳時代(滲入)	22b区	17点
71上-402			52号墳	4									土器片数でない	
71上-403			52号墳	9	6.3	4.7	1.1	41.5	2	削			22b/34	
71上-404			52号墳	2	5.2	3.3	1.2	24.2	2	削			22b/34	
71上-405			52号墳	4	3.9	3.0	1.1	16.4	2	削			22b/34	
71上-406			52号墳	17	7.3	3.4	1.3	44.4	2	削			406-407同一直材付	
71上-407			52号墳	4	3.9	3.5	1.2	24.1	2	削			406-407同一直材付	
71上-408			52号墳	16								平穴	22b/34	
71上-409			52号墳	11	5.4	4.0	0.9	25.6	2	削			22b/34	

尺取 No	部 No	尺取	遺跡 No	尺取 No	部 No	尺取 No	部 No	尺取 No	部 No	尺取 No	部 No	備考	尺取 No	
71上-410		52号墳	17	4.9	3.9	1.3	24.8	2	1	1	1	1	230/04	
71上-411		52号墳	17	4.9	3.9	2.5	28.6	2	1	1	1	1	230/04	
71上-412		52号墳	10	4.9	4.7	0.9		2	1	1	1	1	230/04	
71上-413		52号墳	3	5.1	5.9	1.0		1	1	1	1	1	230/04	
71上-414		52号墳	19	5.1	4.2	1.3	33.3	2	1	1	1	1	230/04	
71上-415		52号墳	19	4.3	3.7	1.3	27.7	2	1	1	1	1	230/04	
71上-416		52号墳	19	4.4	3.4	0.9	16.6	2	1	1	1	1	230/04	
71上-417		52号墳	9	4.9	3.0	0.9		1	1	1	1	1	230/04	
71上-418		52号墳	9	4.9	4.5	1.3	39.8	2	1	1	1	1	230/04	
71上-419		52号墳	17					1	1	1	1	1	230/04	
71上-420		53号墳	41	古墳	古墳時代(混入)	4.9	4.1	1.0	22.0	2	1	1	230区	2点
71上-421		53号墳	38			4.9	3.3	1.2		1	1	1	230/41	1点
71上-422		54号墳	8	古墳	古墳時代(混入)	6.4	5.9	0.8	30.6	1	1	1	230区	6点
71上-423		54号墳	9			3.7	1.1	1.1		1	1	1	230/66	
71上-424		54号墳	17			5.2	3.7	1.0	23.6	2	1	1	230/66	
71上-425		54号墳	15			4.4	4.4	1.1		1	1	1	230/66	
71上-426		54号墳	25			3.7	3.5	1.1	16.5	2	1	1	230/66	
71上-427		54号墳	12							1	1	1		土器片類でない
71上-428		54号墳	16			6.8	5.6	1.0	55.4	2	1	1	230/66	
71上-429		54号墳	5							1	1	1		土器片類でない
71上-430		54号墳	17							1	1	1		土器片類でない
71上-431		54号墳	9							1	1	1		土器片類でない
71上-432		58号墳	1	古墳	古墳時代(混入)	6.0	5.7	1.1	37.3	2	1	1	230区	1点
71上-433		59号墳	13	古墳	古墳時代(混入)	7.5	7.7	1.3	95.0	2	1	1	230区	23点
71上-434		59号墳	13			6.0	5.4	1.3	73.8	2	1	1	433-435-447河-素材	230/00
71上-435		59号墳	13			6.4	6.5	1.2	67.2	2	1	1	433-435-447河-素材	230/00
71上-436		59号墳	9			6.6	5.9	1.3	64.2	2	1	1	433-435-447河-素材	230/00
71下-437		59号墳	13			5.9	6.0	1.4	65.1	2	1	1	433-437-440河-素材	230/00
71下-438		59号墳	8			6.2	4.9	0.9	39.5	2	1	1	230/00	
71下-439		59号墳	12			6.4	4.6	0.9	36.3	2	1	1	230/00	
71下-440		59号墳	8			6.4	5.0	1.2	53.7	2	1	1	435-437-440河-素材	230/00
71下-441		59号墳	9			6.5	4.8	1.0	36.9	2	1	1	441-442-445河-素材	230/00
71下-442		59号墳	13			4.6	5.3	1.0	33.2	2	1	1	441-442-445河-素材	230/00
71下-443		59号墳	13			5.2	4.4	1.1	31.5	2	1	1	230/00	
71下-444		59号墳	6			5.2	5.2	1.0	31.4	2	1	1	230/00	
71下-445		59号墳	13			5.1	5.0	0.9	31.1	2	1	1	441-442-445河-素材	230/00
71下-446		59号墳	5			6.2	4.4	1.1	31.7	2	1	1	230/00	
71下-447		59号墳	15			6.3	6.3	1.2		1	1	1	433-435-447河-素材	230/00
71下-448		59号墳	13			6.0	6.0	1.0		1	1	1	230/00	
71下-449		59号墳	6			5.2	5.2	1.2		1	1	1	230/00	
71下-450		59号墳	6			4.9	4.9	1.1		1	1	1	230/00	
71下-451		59号墳	5			3.8	3.8	1.0		1	1	1	230/00	
71下-452		59号墳	11			5.0	4.2	1.1	28.7	2	1	1	230/00	
71下-453		59号墳	13			4.3	3.7	0.9	19.9	2	1	1	230/00	
71下-454		59号墳	9			3.5	3.5	1.1		1	1	1	230/00	
71下-455		59号墳	11			3.4	3.4	1.0		1	1	1	230/00	
71下-456		62号墳	19	古墳	古墳時代(混入)	6.2	6.2	1.2		1	1	1	240区	1点
71下-457		63号墳	19	古墳	古墳時代(混入)	5.7	5.7	0.9		1	1	1	230区	1点
72-489		60号墳	1635E72	古墳	古墳時代(混入)	4.1	3.5	1.5	15.6	2	1	1	130区	1点
72-490		11号墳	1164	古墳	古墳時代(混入)	4.7	3.5	1.1	20.3	2	1	1	170区	2点
72-491		11号墳	1175			4.7	4.3	1.0	24.8	2	1	1	170/28	
86下-19		CO17B	119	住居	古墳時代(混入)									0点
86下-20		CO29	24	住居	弥生時代(混入)	3.7	3.3	1.4	18.7	2	1	1	150区	4点
86下-21		CO29	37			4.5	4.2	1.4	30.3	なし	1	1	150/21	
86下-22		CO29	37			5.1	5.0	1.1	40.8	2	1	1	150/21	
86下-23		CO29	37											土器片類でない
86下-24		CO29	37			4.1	3.9	1.2	21.1	2	1	1	150/21	
86下-25		CO29	37											土器片類でない
86下-26		CO30	13	住居	弥生時代(混入)	5.1	4.9	1.1	33.6	2	1	1	145区	2点
86下-27		CO30	13			4.0	3.4	1.0	18.0	2	1	1	145/30	
86下-28		CO31B	13	土坑	近世時代(混入)	2.5	2.4	1.1	66.1	2	1	1	147区	1点
86下-28		CO31B	13											147/7
86下-28		CO40B	6	住居	弥生時代(混入)	8.8	8.5	1.1	86.8	2	1	1	130区	1点
86下-28		CO40B	6											130/21
86下-41		CO50	35	住居	弥生時代(混入)	8.0	7.5	1.1	77.5	2	1	1	150区	1点
86下-41		CO50	35											150/78
86下-43		CO52B	13	住居	弥生時代(混入)	2.3	2.3	1.0		1	1	1	120区	1点
86下-43		CO52B	13											120/6
87下-47		C125A	44	古墳	古墳時代(混入)									0点
87下-48		C125A	44											土器片類でない
87下-49		C125A	83			4.7	3.6	1.1	24.4	なし	1	1		土器片類でない
87下-70		C125A	84											土器片類でない

国庫No.	種別	位置	遺物No.	長さm	幅m	厚さm	重量kg	切込	部位	備考	年代		
67下-71	-	C125A	53	4.1	3.9	1.1	21.9	2	厨		160/90		
67下-72	-	C125A	63	4.4	3.6	0.7	14.2	2	厨		160/90		
67下-73	-	C144	13	住居	古墳時代(混入)		40.5	なし	厨	160区	1点		
67下-74	-	C177A	1	住居	古墳時代(混入)				厨	74-6-75-1009-高野、平次 74-6-75-8019-高野	160区 160/91		
67下-75	-	C177A	1		6.0	5.3	1.1	46.9	2	厨	160区	1点	
-	-	C203	2	土坑	不明時代(混入)				厨		160区	1点	
-	-	C203	2		4.4	4.0	1.0	22.2	2	厨		160/18	
67下-83	-	C26	T41-14-3	5.9	5.5	1.5	64.4	2	厨		160区	2点	
67下-84	-	C26	T45-12-1	5.5	5.1	1.1	48.8	2	厨		-	-	
67下-85	-	C26	T47-12-2	5.8	4.6	0.8	21.7	2	厨		-	-	
67下-86	-	C26	T47-13-2	5.2	4.5	1.0	30.3	2	厨		-	-	
67下-87	-	C26	T47-13-2		3.4	1.5		1	厨	平次	-	-	
67下-88	-	C26	T47-13-4		4.5	1.2		1	厨	平次	-	-	
67下-89	-	C26	T48-12-4		2.6	0.9		1	厨	平次	-	-	
67下-100	-	C26	T48-12-4	4.9	4.8	1.2	55.0	2	厨		-	-	
67下-101	-	C26	T48-13-1		3.2	1.1		1	厨	平次	-	-	
67下-102	-	C26	T48-13-1						厨	土層片鏝でない	-	-	
67下-103	-	C26	T48-13-1	4.3	3.8	0.9	20.0	2	厨		-	-	
67下-104	-	C26	T48-13-2						厨	土層片鏝でない	-	-	
67下-105	-	C26	T48-13-3	4.2	4.1	1.2	25.5	2	厨		-	-	
67下-106	-	C26	T48-13-4	4.0	3.9	1.0	18.1	2	厨		-	-	
67下-107	-	C26	T48-13-4						厨	土層片鏝でない	-	-	
67下-108	-	C26	T48-13-4	5.1	5.0	1.0	37.9	2	厨		-	-	
67下-109	-	C26	T48-13-4		4.4	1.2		1	厨	平次	-	-	
67下-110	-	C26	T48-13-4		3.2	1.0		1	厨	土層片鏝でない(持ち火さの みの痕)	-	-	
69下-292	-	D041	1	住居	古墳時代(混入)		4.0	4.0	0.8	11.9	2	厨	98区 107/22
69下-293	-	D046	1	古墳	古墳時代(混入)						103区	2点	
69下-294	-	D046	2		3.8	3.2	0.7		2	厨	107/11	1点	
69下-295	-	D054	1	古墳	古墳時代(混入)		5.0	4.0	1.1	25.0	2	厨	107区 107/53
69下-296	-	D054	1		5.1	3.8	0.8	22.7	2	厨	107/53	1点	
69下-297	-	D054	2		4.5	3.2	1.4	28.0	2	厨	107/53	1点	
70上-298	-	D060	17	古墳	古墳時代(混入)		4.7	4.2	1.2	26.5	2	厨	103区 105/94
70上-299	-	D060	23								土層片鏝	-	
70上-300	-	D077	115	住居	古墳時代(混入)		4.3	3.8	1.3	24.6	2	厨	100区 106/18
70上-301	-	D094	152	住居	古墳時代(混入)		5.7	3.6	0.8	21.1	2	厨	100区 106/94
70上-303	-	D221	1	小塚穴	縄文中期(土層片鏝なし)							9点	
70上-304	-	D241	12	古墳	古墳時代(混入)		4.5	3.9	1.0	25.5	2	厨	103区 105/29
70上-305	-	D241	11								土層片鏝でない	-	
70上-306	-	D241	19		2.7	3.9	1.5	16.9	2	厨	105/29	1点	
70上-307	-	D241	20		4.3	3.1	1.2	20.5	2	厨	105/29	1点	
70上-308	-	D241	20								土層片鏝でない	-	
70上-309	-	D241	43		3.8	4.2	1.0	21.0	2	厨	105/29	1点	
70上-310	-	D241	52		4.5	4.1	1.4	29.0	2	厨	105/29	1点	
70上-311	-	D241	57		2.5	2.0	0.8	8.2	2	厨	105/29	1点	
70上-312	-	D241	38		4.6	4.4	0.9	19.3	2	厨	105/29	1点	
70上-313	-	D246	24	方形周溝	古墳時代(混入)		5.4	4.8	0.8	28.9	2	厨	103区 105/04
70上-314	-	D26	2P-4	4.4	2.7	1.3	18.3	2	厨		1点	2点	
70上-315	-	D26	2P-19	3.8	3.4	1.1	18.5	2	厨		-	-	
70上-316	-	D26	2P-32								土層片鏝でない	-	
70上-317	-	D26	2I-30								土層片鏝でない	-	
70上-324	-	E014	336	欠番溝溝	(混入)		3.1	3.8	0.9	16.4	2	厨	1点
70上-325	-	E132A	450	住居	古墳時代(混入)		4.3	3.5			1	厨	98区 107/13
70上-326	-	E153B	358	住居	古墳時代(混入)		6.9	5.9	1.8	35.8	2	厨	98区 109/41
70上-328	-	E26	32	E区一編			4.8	3.4	1.0	18.6	2	厨	2点
70上-329	-	E26	12		5.6	5.1	1.2	35.8	2	厨		1点	
72-488	-	G010	32	住居	古墳時代(混入)		4.9	5.3	1.0	33.0	2	厨	133区 133/18
70上-332	-	IP03	5	住居	弥生時代(混入)		4.9	1.0			1	厨	236区 236/18
71上-333	-	IP015	4	住居	弥生時代(混入)		4.6	5.5	1.2	37.7	2	厨	246区 246/04
70上-334	-	IP018	118	住居	弥生時代(混入)		5.0	1.0			1	厨	226区 226/13
70上-335	-	IP019	4	住居	弥生時代(混入)							0点	
70上-335	-	IP019	4								土層片鏝でない	-	
70上-335	-	IP029	4	住居	弥生時代(混入)							2点	

地区No	区名	住数	道幅No	長さm	幅m	高さm	電圧k	明込	部材	備考	アクリル
70上-336	--	P029	5	6.2	3.4	0.9		1	鋼	平火	25/20
70上-337	--	P029	16		5.0	1.5	54.3	2	鋼		25/23
P036											
住居 発生時代(混入)											
70下-338	--	P036	2							土留片継でない	0点
P079											
住居 古墳時代(混入)											
70下-350	--	P079	14		5.1	4.9	1.2	32.9	2	11線	24b区 25/15
P082											
住居 発生時代(混入)											
70下-351	--	P082	1		5.3	1.0			鋼	平火	25/11
P083											
方形周溝 古墳時代(混入)											
70下-352	--	P083	3		3.4	1.2			鋼	平火	25/12
70下-353	--	P083	1		3.9	1.1	20.9	2	鋼	平火	25/12
70下-354	--	P083	3			1.0			鋼	平火	25/12
P084											
住居 発生時代(混入)											
70下-355	--	P084	1		5.2	4.3	1.0	20.8	2	鋼	24c区 26/13
P084											
住居 発生時代(混入)											
71下-458	--	PKK	3A-38-1		7.7	4.5	1.2	48.3	1	鋼	7点
71下-459	--	PKK	3B-39-1								
71下-460	--	PKK	3B-5-2		5.0	3.9	1.2	31.6	2	鋼	土留片継でない
71下-461	--	PKK	3B-38-1		5.0	5.5	0.9	31.0	2	鋼	
71下-462	--	PKK	3B-7-1		5.6	4.9	1.5	69.0	2	鋼	
71下-463	--	PKK	3B-7-1		5.4	5.0	1.0	36.0	2	鋼	
71下-464	--	PKK	3B-39-1		5.3	3.5	1.1	26.3	2	鋼	
71下-465	--	PKK	3B-7-1		5.6	3.9	1.1	27.6	2	鋼	
090区											
70上-370	--	090	T14C-3-2							土留片継でない	0点
105区											
70上-318	--	105	C75C-1		4.8	3.8	1.2	23.3	2	鋼	1点
107区											
70上-321	--	107	T41-10-1		2.8	2.9	0.8	7.1	2	鋼	1点
70上-322	--	107	T41-10-1							土留片継でない	
127区											
70上-319	--	127	T135-12-1							土留片継でない	0点
133区											
68上-114	--	133	43-1			2.8	1.1		1	鋼	19点
68上-115	--	133	80-8		5.4	4.1	1.4	35.2	2	鋼	平火
68上-116	--	133	80-8		5.1	4.5	0.9	26.2	2	鋼	平火
68上-117	--	133	80-8		6.5	4.2	1.1	42.9	2	鋼	
68上-118	--	133	80-8		6.6	5.9	1.2	56.6	2	鋼	
68上-119	--	133	81-0							土留片継でない	
68上-120	--	133	81-0			3.7	1.1		1	鋼	平火
68上-121	--	133	81-379			2.6	1.0		1	鋼	平火
68上-122	--	133	81-384			4.2	0.8		1	鋼	平火
68上-123	--	133	92-126		3.4	3.1	1.0	15.9	2	鋼	
68上-124	--	133	92-158		4.1	3.4	1.2	15.3	2	鋼	
68上-125	--	133	93-158		3.8	2.8	1.2	3.8	1	11線	
68上-126	--	133	93-217							土留片継	
68上-127	--	133	93-234		4.3	2.8	1.0	6.5	2	鋼	
68上-128	--	133	93-437		3.2	2.7	1.1	12.8	2	鋼	
68上-129	--	133	93-280			4.0	1.0		1	鋼	平火
68上-130	--	133	93-292		4.7	4.0	0.9	21.3	2	鋼	
68上-131	--	133	93-327		6.5	5.2	1.2	55.6	2	鋼	
68上-132	--	133	91-2							土留片継でない	
68上-133	--	133	91-567		4.2	3.4	1.0	20.4	2	鋼	
68上-134	--	133	91-578							土留片継でない	
68上-135	--	133	92-0							土留片継でない	
68上-136	--	133	不明		4.0		1.0		1	鋼	
70上-323	--	133	T148-13-4		4.3	4.0	1.1	23.7	2	鋼	
137区											
70上-327	--	137	C148-1							土留片継でない	0点
145区											
68上-137	--	145	00-01-02		4.7	3.9	1.1	25.0	2	鋼	113点
68上-138	--	145	00-01-02		3.2	2.7	1.1	11.9	2	鋼	
68上-139	--	145	00-01-02		4.3	3.4	1.1	23.3	2	鋼	
68上-140	--	145	00-01-02		4.8	4.2	1.1	30.1	2	鋼	
68上-141	--	145	00-01-02		5.3	3.9	1.0	25.4	2	鋼	
68上-142	--	145	00-01-02		4.9	4.5	1.1	34.0	2	鋼	
68上-143	--	145	00-01-02							土留片継でない	
68上-144	--	145	00-112		3.9	3.3	1.0	15.7	2	鋼	
68上-145	--	145	00-149		4.2	3.5	1.0	19.7	2	鋼	
68上-146	--	145	00-636		3.5	3.0	1.1	33.4	2	鋼	
68上-147	--	145	00-755			6.5	1.0		1	鋼	平火
68上-148	--	145	00-1007		4.8	4.0	1.3	30.0	2	11線	
68上-149	--	145	00-1224							土留片継でない	
68上-150	--	145	不明		5.8	4.9	1.1	37.5	2	鋼	
68上-151	--	145	不明		4.8	4.2	1.3	28.4	2	鋼	
68上-152	--	145	不明		6.6	5.9	1.1	57.1	2	鋼	発掘前の使用込再生
68上-153	--	145	不明			2.8	1.1		1	鋼	平火
68上-154	--	145	02-0			3.6	1.0		1	鋼	平火
68上-155	--	145	02-1		5.7	4.1	1.0	42.9	2	11線	
68上-156	--	145	10-783							土留片継でない	
68上-157	--	145	10-1121			6.0	1.3		1	鋼	平火
68上-158	--	145	10-1320			3.2	1.3		1	鋼	平火
68上-159	--	145	10-1387			3.8	1.0		1	鋼	平火
68上-160	--	145	10-1473		5.7	5.1	1.2	41.0	2	鋼	

原簿No.	国No.	税則	品名No.	数量m	価格	数量m	数量m	切込	単位	備考	フリ付
55D-161	-	145	10-1763	5.7	4.0	1.4	37.1	2	割	-	-
55D-162	-	145	10-1815	5.7	5.5	1.0	44.9	2	割	-	-
55D-163	-	145	10-1914	4.4	4.1	1.1	23.0	2	割	-	-
55D-164	-	145	10-1972		3.0	0.9		1	割	平次	-
55D-165	-	145	10-2014		3.5	1.0		1	割	平次	-
55D-166	-	145	10-2068	4.1	4.0	1.4	26.8	2	割	-	-
55D-167	-	145	10-2120	4.2	3.8	1.2	27.0	2	割	-	-
55D-168	-	145	10-2179		1.2			1	割	平次	-
55D-169	-	145	10-2287		6.9	1.3		1	割	土庫片替でない	-
55D-170	-	145	10-716		6.9	1.3		1	割	平次	-
55D-171	-	145	10-1374	4.8	4.7	1.0	28.4	2	割	-	-
55D-172	-	145	10-1945	5.3	4.5	1.3	38.5	2	割	-	-
55D-173	-	145	10-2075		2.4	1.1		1	割	土庫片替でない	-
55D-174	-	145	11-0		2.4	1.1		1	割	平次	-
55D-175	-	145	11-351	2.7	3.1	1.0	13.9	2	割	-	-
55D-176	-	145	12-0	6.6	4.9	1.2	37.0	2	割	-	-
55D-177	-	145	12-0	3.8	3.1	1.4	18.1	2	割	-	-
55D-178	-	145	20-446	2.7	3.1	1.3	18.5	2	割	-	-
55D-179	-	145	20-532	4.7	3.0	1.1	19.8	2	割	-	-
55D-180	-	145	20-709		3.8	1.2		1	割	平次	-
55D-181	-	145	20-910	4.7	3.7	1.0	21.9	2	割	-	-
55D-182	-	145	20-1904	4.5	4.4	1.1	30.6	2	割	-	-
55D-183	-	145	20-1358							土庫片替でない	-
55D-184	-	145	20-1380		4.2	1.2		1	割	平次	-
55D-185	-	145	20-1683	7.1	4.4	1.0	40.9	2	割	-	-
55D-186	-	145	20-1829			1.1		1	割	平次	-
55D-187	-	145	20-1873							土庫片替でない	-
55D-188	-	145	20-1780	2.7	3.5	1.0	14.2	2	割	-	-
55D-189	-	145	20-1956	6.3	5.6	1.2	52.8	2	割	-	-
55D-190	-	145	20-2059	4.6	4.1	1.0	26.7	2	割	-	-
55D-191	-	145	20-2172	4.0	3.6	1.0	19.0	2	割	-	-
55D-192	-	145	20-2391	5.4	4.2	1.1	26.9	2	割	-	-
55D-193	-	145	20-2391	4.5		1.0		2	割	-	-
55D-194	-	145	20-2391		3.3	1.1		1	割	平次	-
55D-195	-	145	20-2391	2.7	3.5	1.0	18.0	2	割	-	-
55D-196	-	145	20-2391	2.9	2.8	0.9	8.5	2	割	-	-
55D-197	-	145	20-1356							土庫片替でない	-
55D-198	-	145	20-1794							土庫片替でない	-
55D-199	-	145	20-1912							土庫片替でない	-
55D-200	-	145	20-1987							土庫片替でない	-
55D-201	-	145	21-256			1.1		1	割	平次	-
55D-202	-	145	121-324	5.4	4.5	0.9	33.2	2	割	-	-
55D-203	-	145	21-350							土庫片替でない	-
55D-204	-	145	21-357	5.5	4.5	1.1	34.9	2	割	片方2	-
55D-205	-	145	22-0	6.4	4.5	0.9	37.2	2	割	1.1	-
55D-206	-	145	22-0	4.4	3.9	1.1	25.9	2	割	-	-
59L-207	-	145	22-0	6.8	5.3	1.0	39.2	2	割	-	-
59L-208	-	145	22-169	4.8	4.3	1.0	29.1	2	割	-	-
59L-209	-	145	22-169							土庫片替でない	-
59L-210	-	145	22-169	5.7	5.5	1.3	58.4	2	割	-	-
59L-211	-	145	22-0							土庫片替でない	-
59L-212	-	145	30-923	5.1	4.9	1.1	37.8	3	割	-	-
59L-213	-	145	30-1113	5.9	4.0	1.0	32.5	2	割	-	-
59L-214	-	145	30-1205	4.1	4.0	0.9	17.4	2	割	-	-
59L-215	-	145	30-1433	4.3	4.2	1.2	26.1	2	割	-	-
59L-216	-	145	30-1813	4.4	4.2	1.0	23.3	2	割	-	-
59L-217	-	145	30-1867	5.3	4.2	1.1	23.6	2	割	-	-
59L-218	-	145	30-1753	3.7	3.5	1.0	15.7	2	割	-	-
59L-219	-	145	30-1832			0.9		1	割	平次	-
59L-220	-	145	30-2037	3.9	3.5	1.0	19.2	2	割	-	-
59L-221	-	145	30-89		4.6	1.3		1	割	平次	-
59L-222	-	145	30-247		3.5	0.8		1	割	平次	-
59L-223	-	145	30-924		4.3	1.2		1	割	平次	-
59L-224	-	145	30-927							土庫片替でない	-
59L-225	-	145	30-1240		4.5	1.3		1	割	平次	-
59L-226	-	145	30-1278		4.4	1.2		1	割	平次	-
59L-227	-	145	30-1515			1.0		1	割	平次	-
59L-228	-	145	30-1792							土庫片替でない	-
59L-229	-	145	30-1573							土庫片替でない	-
59L-230	-	145	31-12	4.9	4.2	1.2	33.7	2	割	-	-
59L-231	-	145	31-251			1.1		1	割	平次	-
59L-232	-	145	31-285	6.6	5.4	1.0	45.0	2	割	-	-
59L-233	-	145	31-302	4.2	3.8	1.1	20.9	2	割	-	-
59L-234	-	145	31-343	4.6	4.6	1.1	34.0	2	割	-	-
59L-235	-	145	31-344	5.2	3.8	1.4	28.4	2	割	-	-
59L-236	-	145	32-0	5.8	4.1	1.0	31.7	2	割	-	-
59L-237	-	145	33-0	3.9	3.4	1.1	15.2	2	割	-	-
59L-238	-	145	32-55	5.7	5.4	1.1	47.5	2	割	-	-
59L-239	-	145	40-0	7.7	5.3	1.2	65.4	2	割	-	-
59L-240	-	145	40-0	4.1	3.9	1.2	21.3	2	割	-	-
59L-241	-	145	40-0	3.7	3.2	1.0	12.7	2	割	-	-
59L-242	-	145	40-5	4.2	3.7	1.0	18.4	2	割	-	-
59L-243	-	145	40-421	4.4	3.9	1.1	20.3	2	割	-	-
59L-244	-	145	40-10009	2.6	2.2	0.9	7.6	2	割	-	-
59L-245	-	145	40-10023	4.8	4.4	1.2	34.3	1	割	-	-

図号 No	図名	位置	図面No	長さmm	幅mm	厚さmm	寸法	単位	備考	寸法
69上-246	--	14S	40-10166	4.7	3.9	1.3	32.6	2	鋼	--
69上-247	--	14S	40 0	4.4	4.1	1.1	25.8	2	鋼	--
69上-248	--	14S	42-0	5.5	4.5	1.3	40.6	2	鋼	--
69上-249	--	14S	44-不明	4.5	3.1	0.8	16.0	2	鋼	--
69上-250	--	14S	50-156	4.8	4.1	1.1	31.7	2	鋼	--
69上-251	--	14S	50-301	4.7	3.9	1.0	17.5	2	鋼	--
69下-252	--	14S	50-446	4.9	4.5	0.8	20.3	2	鋼	--
69下-253	--	14S	50-509	6.3	6.1	1.2	1	1	鋼	半欠
69下-254	--	14S	50-10053	4.7	3.9	1.0	30.7	2	鋼	--
69下-255	--	14S	50-10152	4.5	3.7	1.4	27.3	2	鋼	--
69下-256	--	14S	50-275							土留片継でない
69下-257	--	14S	50-510							土留片継でない
69下-258	--	14S	50-532		6.7			1	鋼	半欠
69下-259	--	14S	51-254	4.5	4.0	1.1	27.9	2	鋼	--
69下-260	--	14S	54-14							土留片継
69下-261	--	14S	60-1	4.5	4.1	1.0	22.9	2	鋼	--
69下-262	--	14S	61-188	4.0	3.1	0.9	18.2	2	鋼	--
69下-263	--	14S	71-204	4.3	3.2	0.8	15.3	2	鋼	--
69下-264	--	14S	71-262	5.7	4.8	1.0	42.7	2	鋼	--
69下-265	--	14S	74-0	4.7	4.3	1.2	37.1	2	鋼	--
69下-266	--	14S	75-不明		2.4	0.9		1	鋼	--
69下-267	--	14S	75		4.2	0.8		1	鋼	半欠
69下-268	--	14S	93-0	4.9	4.5	0.9	26.4	2	鋼	--
69下-269	--	14S	94-0		3.4	1.0		1	鋼	半欠
69下-270	--	14S	94-58							土留片継でない
69下-271	--	14S	94-83	6.0	4.1	1.0	28.2	2	鋼	--
69下-272	--	14S	95-58							土留片継でない
<b>140区</b>										
68上-111	--	14L	不明B-2	3.4	2.6	0.9	11.7	2	鋼	1点
<b>155区</b>										
69下-273	--	15S	01	6.4	5.3	1.0	54.6	2	鋼	16点
69下-274	--	15S	01	4.2	3.9	1.1	22.1	2	鋼	--
69下-275	--	15S	01	4.2	4.2	0.9	1	1	鋼	半欠
69下-276	--	15S	02	4.7	4.3	1.2	29.1	1	鋼	--
69下-277	--	15S	03	4.8	4.8	1.2	1	1	鋼	半欠
69下-278	--	15S	-02-247	4.6	4.2	1.1	31.8	2	鋼	--
69下-279	--	15S	02-350	3.5	3.2	0.9	13.0	2	鋼	--
69下-280	--	15S	03-0	6.3	5.5	1.0	51.4	2	鋼	--
69下-281	--	15S	13-0	4.2	4.1	1.4	34.2	2	鋼	--
69下-282	--	15S	14-50	5.9	4.9	1.0	35.1	2	鋼	--
69下-283	--	15S	15-41							土留片継
69下-284	--	15S	17-59		4.8	1.1		1	鋼	半欠
69下-285	--	15S	22-32	5.0	4.6	1.2	37.6	2	鋼	--
69下-286	--	15S	24-0	4.6	3.0	1.0	21.3	2	鋼	--
69下-287	--	15S	47-4	5.0	4.4	1.1	33.7	2	鋼	--
69下-288	--	15S	47-9		3.4	1.0		1	鋼	半欠
69下-289	--	15S	57-1	4.6	4.4	1.0	24.5	2	鋼	--
69下-290	--	15S	58-4							土留片継
<b>167区</b>										
68上-112	--	16T	1-7	5.8	4.9	1.0	41.3	2	鋼	2点
68上-113	--	16T	21-5	4.6	3.7	1.1	25.5	2	鋼	--
<b>230区</b>										
71下-466	--	23a	4A-75-1	6.2	5.7	1.3	49.7	2	鋼	1点
71下-467	--	23a	4A-79-1	4.0	4.0	1.1	1	1	鋼	半欠
71下-468	--	23a	4A-37-1	6.8	5.8	1.3	63.8	2	鋼	--
71下-469	--	23a	4A-58-1	4.5	4.5	1.3	1	1	鋼	半欠
71下-470	--	23a	4A-67-1	5.0	5.0	1.5	1	1	鋼	半欠
71下-471	--	23a	4A-28-2	6.7	6.3	0.9	32.8	2	鋼	--
71下-472	--	23a	4A-59-1	5.5	4.2	0.8	24.6	2	鋼	--
71下-473	--	23a	4A-178-1	4.1	4.1	1.2	1	1	鋼	半欠
72-474	--	23a	4A-16-2		7.3	1.1		1	鋼	半欠
72-475	--	23a	4A-58-1		2.5	1.1		1	鋼	半欠
72-476	--	23a	4A-29-1	6.1	6.1	0.9	25.5	2	鋼	476-484同一素材土留
72-477	--	23a	4A-45-1	5.3	3.6	1.0	41.4	2	鋼	--
72-478	--	23a	4A-67-1	4.2	4.1	1.0	24.5	2	鋼	--
72-479	--	23a	4A-28-2	4.2	3.7	1.0	19.3	2	鋼	--
72-480	--	23a	4A-19-1		1.3			1	鋼	半欠
72-481	--	23a	4A-20-1		1.0			1	鋼	半欠
72-482	--	23a	4A-32-1		4.0	1.1		1	鋼	半欠
72-483	--	23a	4A-67-1	3.5	3.1	1.0	13.3	2	鋼	--
72-484	--	23a	4A-48-2		4.8	0.9		1	鋼	476-484同一素材土留、半欠
<b>240区</b>										
72-485	--	24d	4B-50-1							土留片継でない
<b>244区</b>										
72-486	--	24d	5B-5-1	5.3	3.7	1.1	28.5	2	鋼	1点
<b>246区</b>										
72-487	--	24d	5D-1							土留片継でない

	個体数	長さ	幅	厚さ	寸法
材料数	474	394	409	424	371
平均		5.08	4.35	1.09	33.15
最大		9.01	8.96	1.90	55.00
最小		2.48	2.22	0.71	7.07
標準偏差		1.19	1.09	0.17	16.92

第18表 59号埴土器片鏝と関連資料

No	図版No	注記	種類	切込	成形	備考	出土位置
1	433		13 土器片鏝	2	研磨明瞭	素材土器A	埴丘北西部一括
2	434		13 土器片鏝	2	研磨明瞭	素材土器A	埴丘北西部一括
3	435		13 土器片鏝	2	研磨明瞭	素材土器A	埴丘北西部一括
4	447		5 土器片鏝	2	研磨明瞭	素材土器A	周溝内北西部一括
5	437		13 土器片鏝	2	研磨明瞭	素材土器B	埴丘北西部一括
6	436		8 土器片鏝	2	研磨明瞭	素材土器B	トレンチ一括
7	440		8 土器片鏝	2	研磨明瞭	素材土器B	トレンチ一括
8	441		5 土器片鏝	2	研磨	素材土器C	周溝内北西部一括
9	445		13 土器片鏝	2	研磨	素材土器C	埴丘北西部一括
10	442		13 土器片鏝	2	研磨	素材土器C	埴丘北西部一括
11	438		11 土器片鏝	2			埴丘南東部一括
12	439		12 土器片鏝	2			埴丘北東部一括
13	443		13 土器片鏝	2			埴丘北西部一括
14	444		6 土器片鏝	2	研磨		周溝内南西部一括
15	446		5 土器片鏝	2			周溝内北西部一括
16	448		13 土器片鏝	1		半欠	埴丘北西部一括
17	449		6 土器片鏝	1	劣化	半欠	周溝内南西部一括
18	450		8 土器片鏝	1	打欠き	半欠	トレンチ一括
19	451		5 土器片鏝	1		半欠	周溝内北西部一括
20	452		11 土器片鏝	2			埴丘南東部一括
21	453		13 土器片鏝	2			埴丘北西部一括
22	454		9 土器片鏝	1			ベルト内南東部一括
23	455		13 土器片鏝	1		半欠	埴丘北西部一括
24	-		10 土器片鏝	2	研磨明瞭	素材土器D	周溝内北西部一括
25	-		10 未成品	なし	研磨明瞭	素材土器D	周溝内北西部一括
26	-		6 土器片鏝	2	研磨明瞭		周溝内南西部一括
27	-		13 土器片鏝	1	研磨	半欠	埴丘北西部一括
28	-		12 土器片鏝	2	研磨明瞭		埴丘北東部一括
29	-		13 土器片鏝	2	研磨明瞭		埴丘北西部一括
30	-		土器片鏝	1	研磨明瞭	半欠	古墳一括
31	-		8 未成品	なし	研磨?	半欠	トレンチ一括
32	-		7 未成品	なし	研磨明瞭		周溝内南東部一括
33	-		10 未成品	なし	研磨明瞭	小片	周溝内北西部一括
34	-		8 未成品	なし	研磨明瞭	小片	トレンチ一括
35	-		13 未成品	なし	研磨明瞭	半欠	埴丘北西部一括
36	-		10 未成品	なし	研磨明瞭	半欠	周溝内北西部一括
37	-		8 未成品	なし	研磨明瞭	一部欠	トレンチ一括
38	-		13 未成品	なし	研磨明瞭	半欠	埴丘北西部一括
39	-		11 未成品	なし	研磨明瞭	半欠	埴丘南東部一括
40	-		10 未成品	なし	研磨明瞭		周溝内北西部一括
41	-		8 未成品	なし	研磨明瞭	小片	トレンチ一括
42	-		4 未成品	なし	研磨明瞭	小片	周溝内北東部一括
43	-		12 未成品	なし	研磨明瞭	半欠	埴丘北東部一括
44	-		5 未成品	なし	研磨明瞭	一部欠	周溝内北西部一括
45	-		10 未成品	なし	研磨明瞭	一部欠	周溝内北西部一括
46	-		5 未成品	なし	研磨明瞭	一部欠	周溝内北西部一括
47	-		10 未成品	なし	研磨明瞭		周溝内北西部一括

# 写 真 图 版



C015



C015上層遺物集中



C017A



C017A



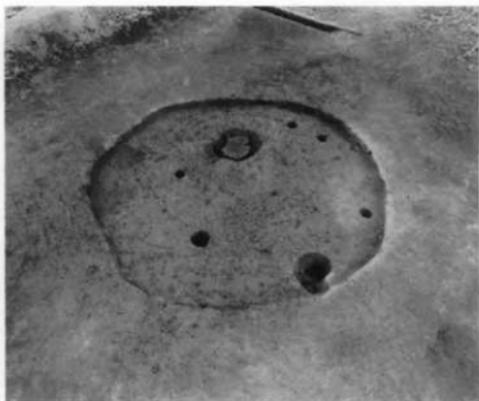
C021A



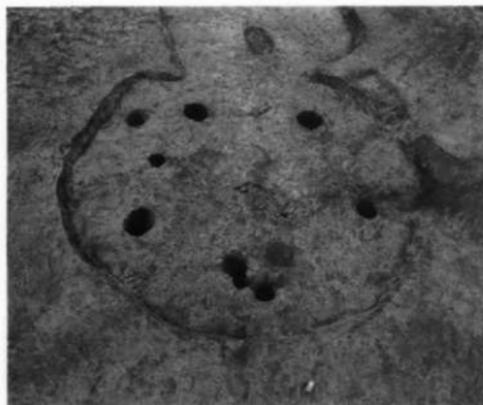
C027



C032A



C032C



C040



C041



C043



C043土器1



C052A



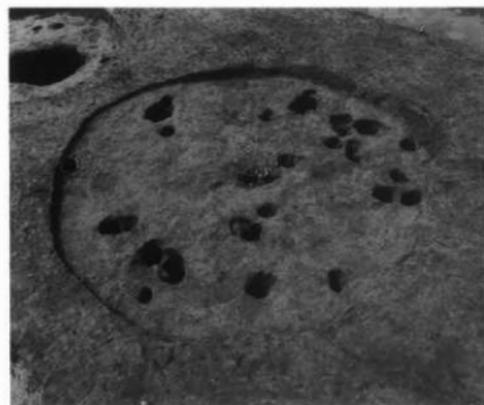
C054



C054 P4 と土器 3 ~ 5



C054石圍炉



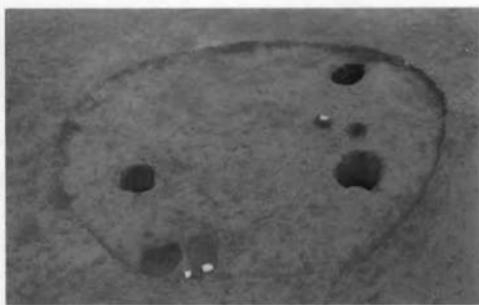
C055



C055土器の体部



C057



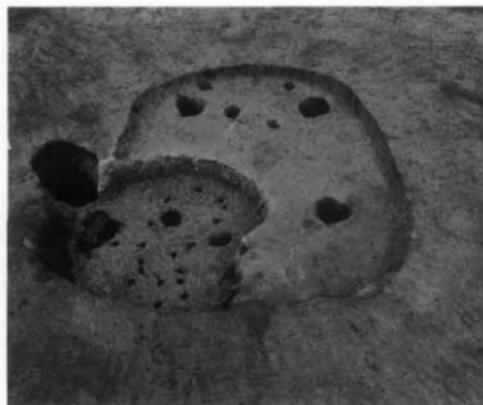
C058



C059



C059土器片鋪集中1



C080A・B・C



C125C



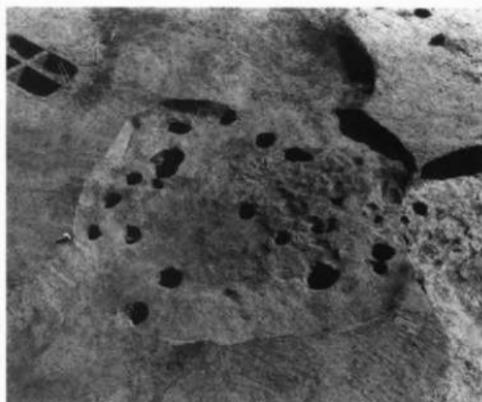
C127



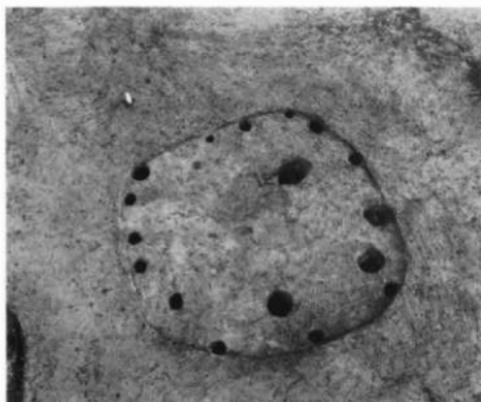
C173



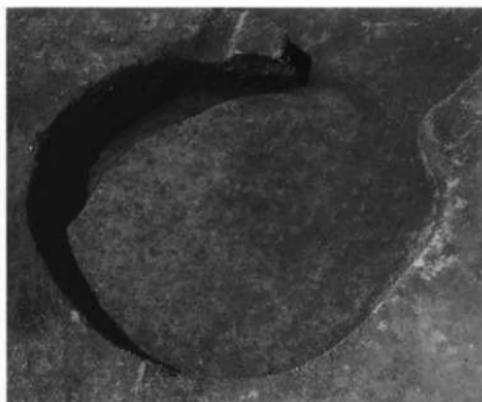
C173定形浅钵



C177B



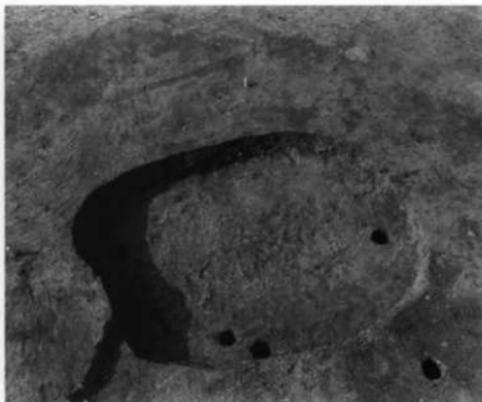
C192



D024B



D039



D086



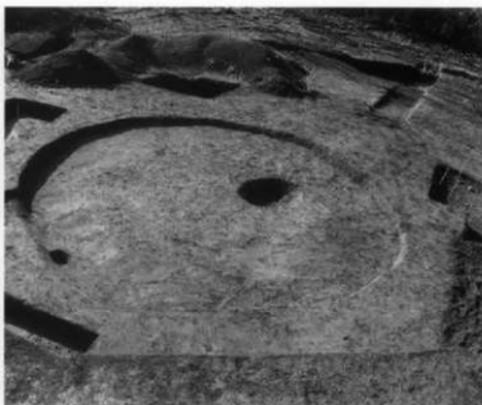
P001



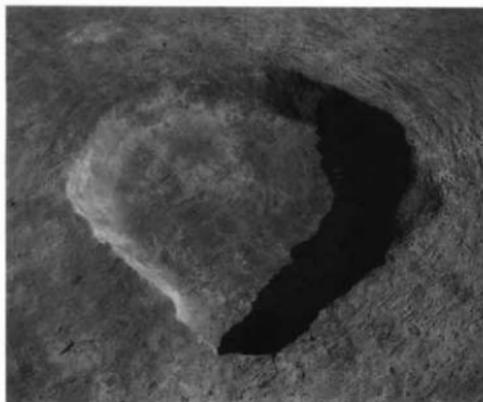
P001 石圈土器炉体炉



P037



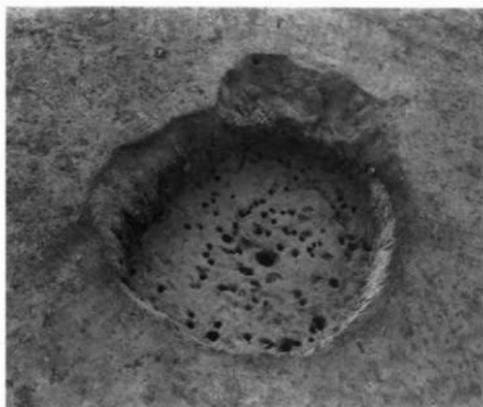
P039



C142



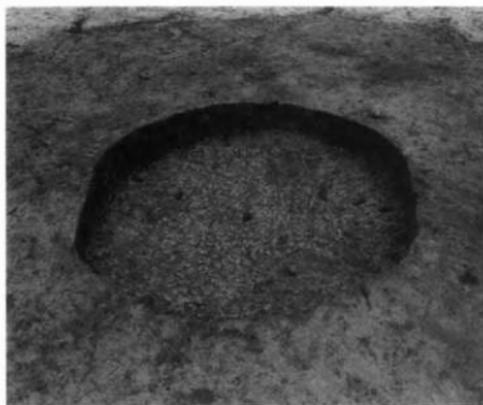
C142土器出土状況



C143



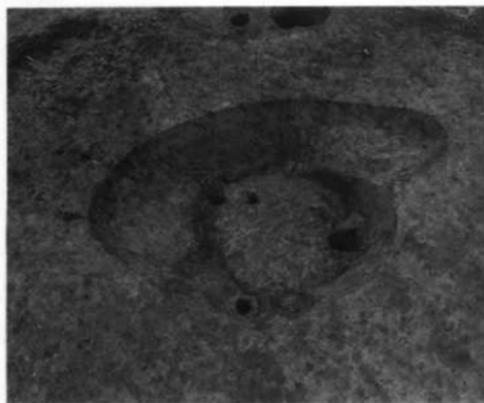
C325



D110



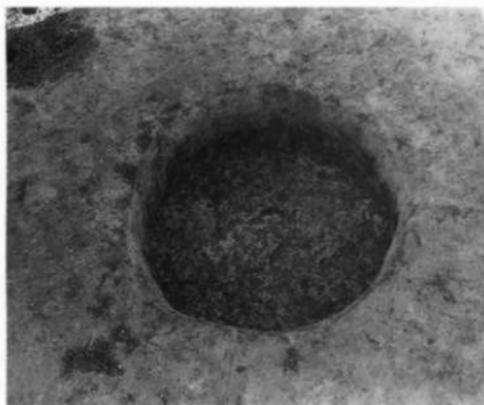
D110土器出土状況



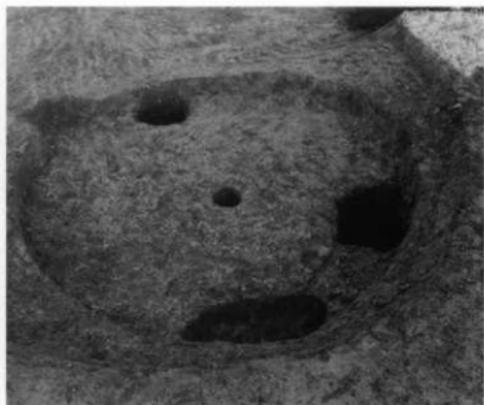
P010



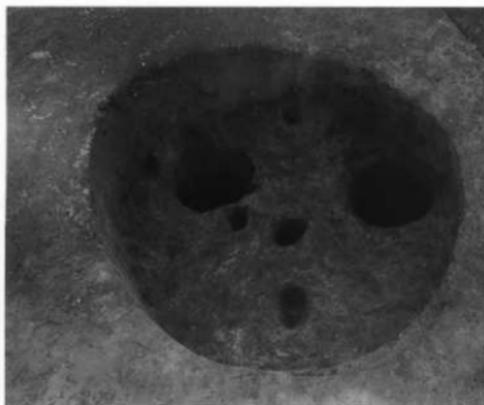
P028



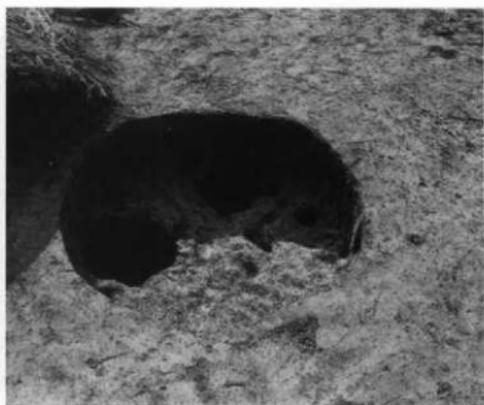
P031



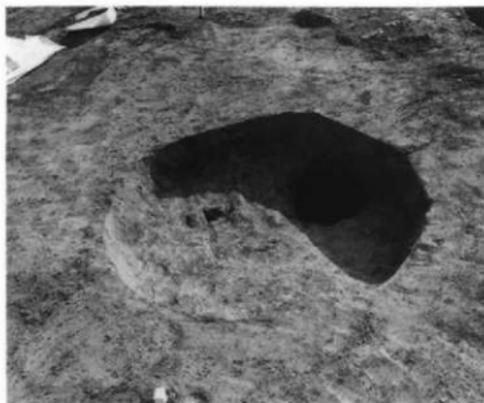
P035



P045



P046



P048



P049



P049土器 1~3



P050



P052



P052貝層と完形漂鉢



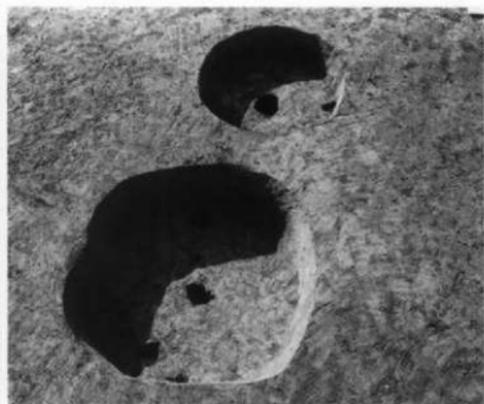
P057



P058



P058土器出土状況



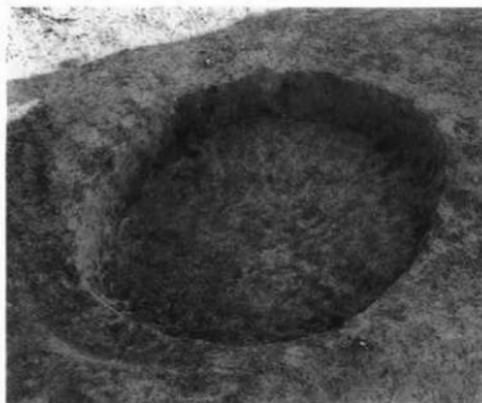
P060



P062



P063



P066



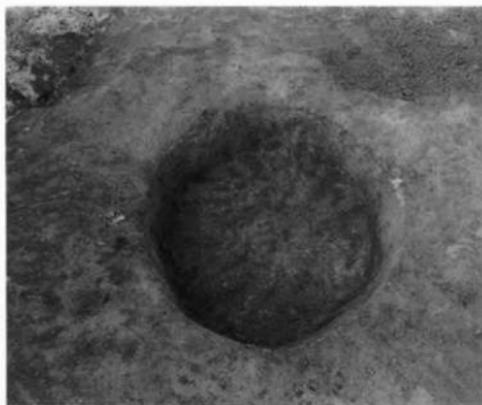
P067



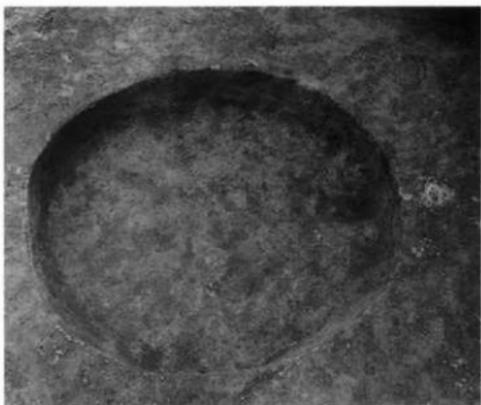
P068



P086



P143



P144



P146



P147



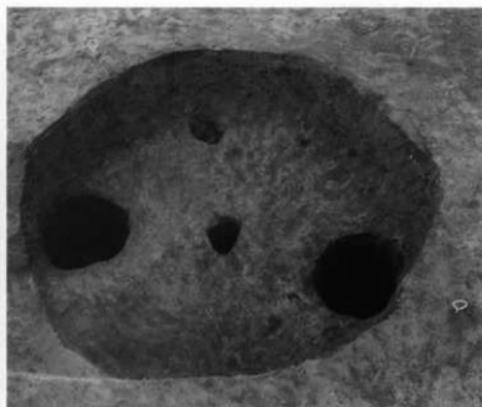
P148



P148完形深鉢



P149



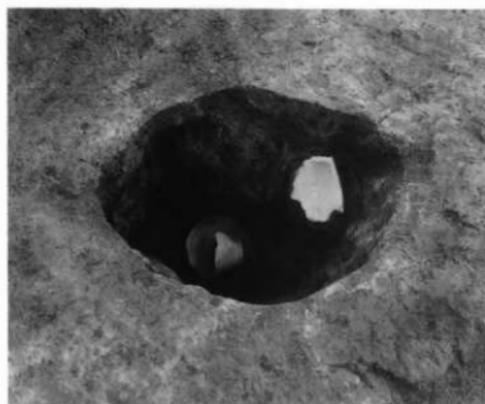
P152



P159



C038土器出土状況



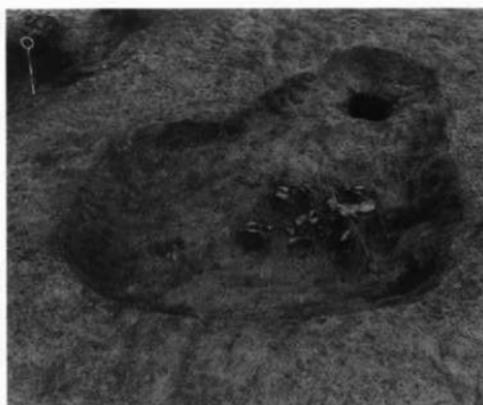
C080A P1と土器1・8・9



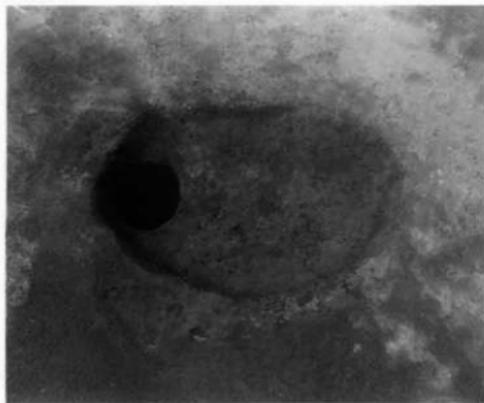
C090



C090土器出土状況



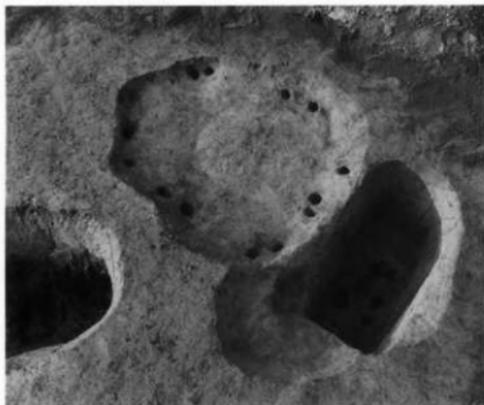
C105土器出土状況



D064



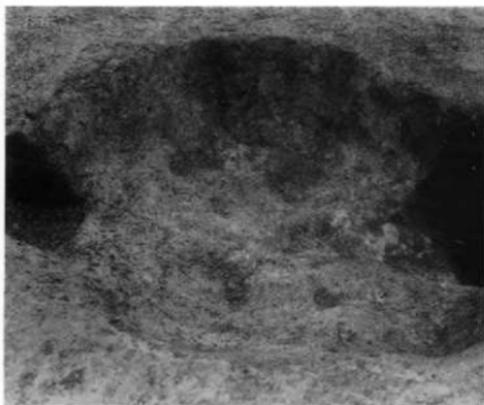
D064土器出土状况



D311 · 356 · 389



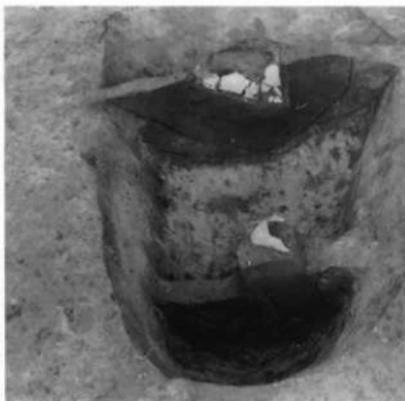
D380



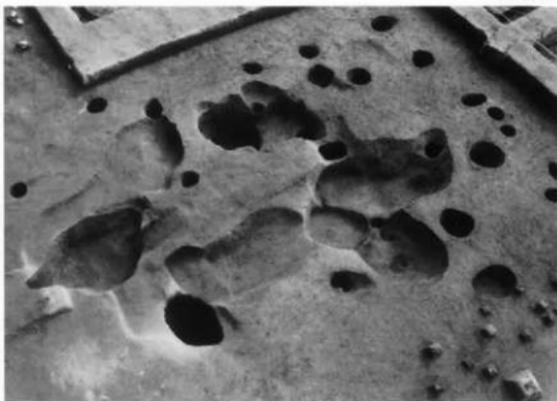
G120



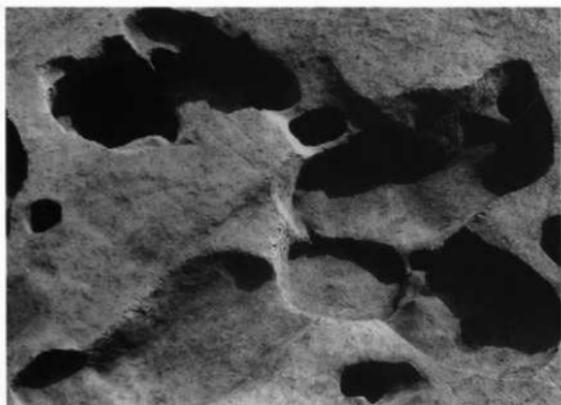
G120土器出土状况



D282



D303と周辺の柱穴群



D303全景



D303 E



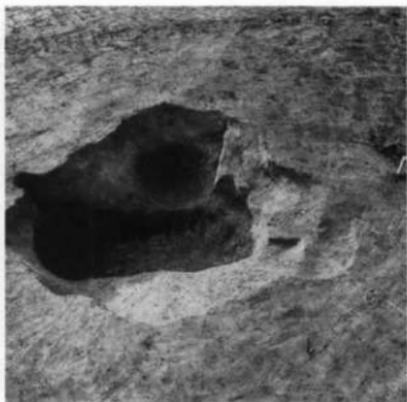
D303 Eの煙道部



D358



D386 · 387



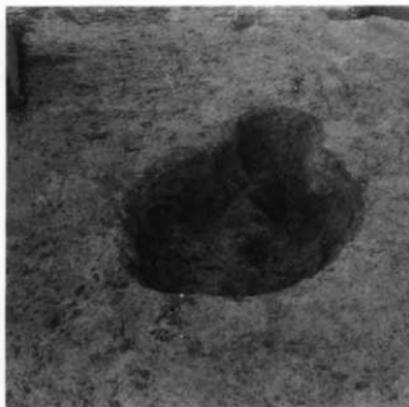
G271A · B



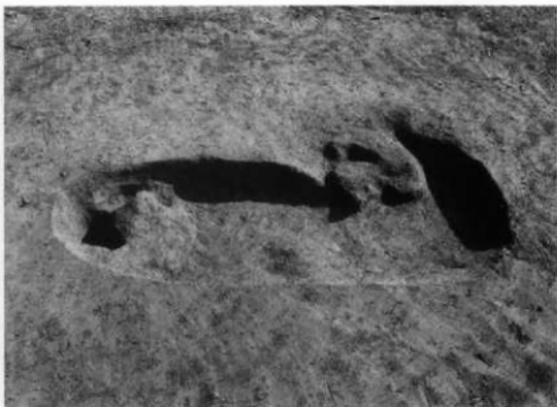
P004



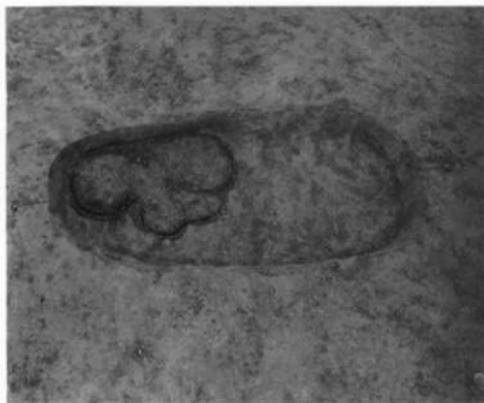
P004土器出土状况



P005



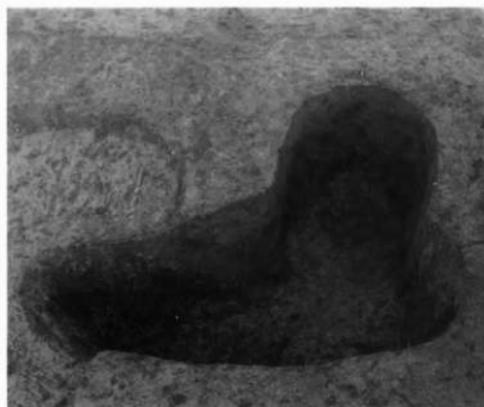
P071



P074



P077



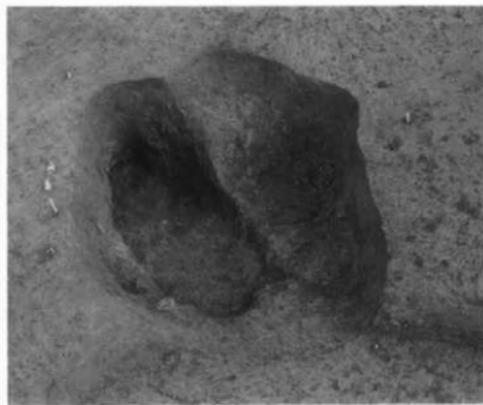
P158



P158出土状况



P160



P161



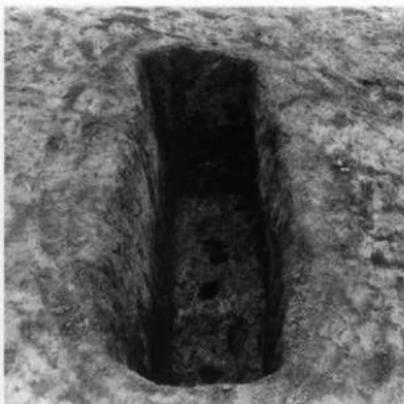
07U 区陥し穴・炉穴群



D309



D281・284・285



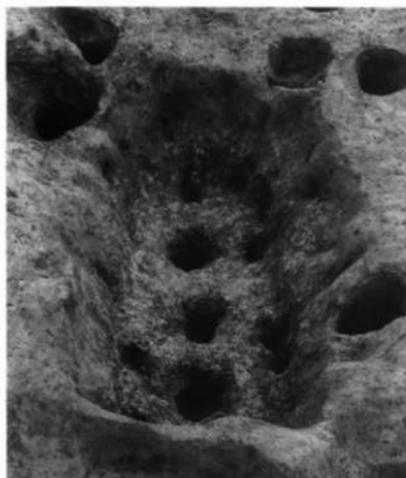
D360



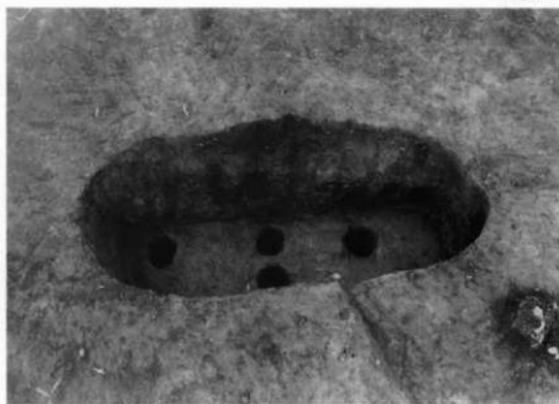
C298



D038



C086



D220



C120



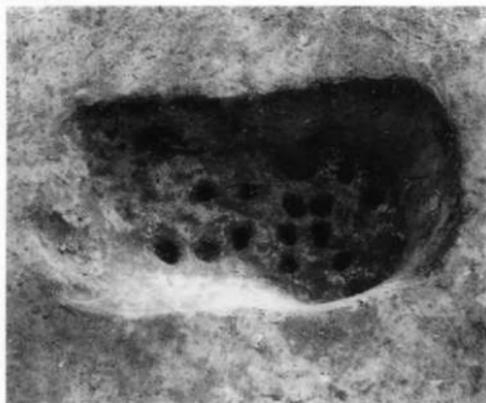
D322



D1081



D267・268



D323



D361



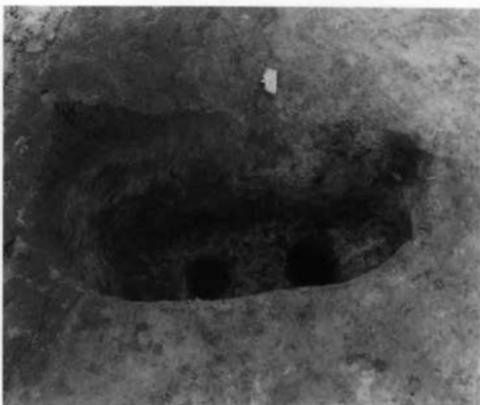
D363



D371



D375



D393



D399



D406



D421



E193



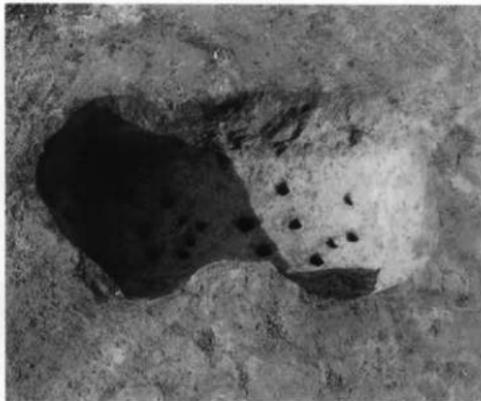
E204



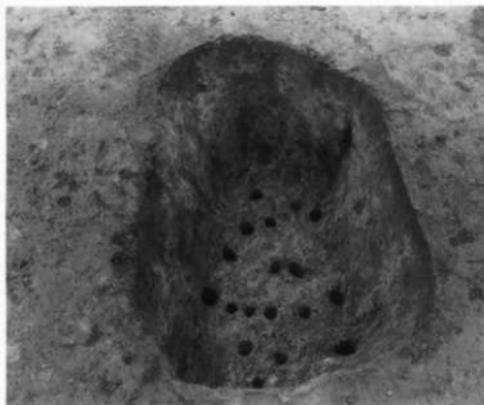
E223



E224



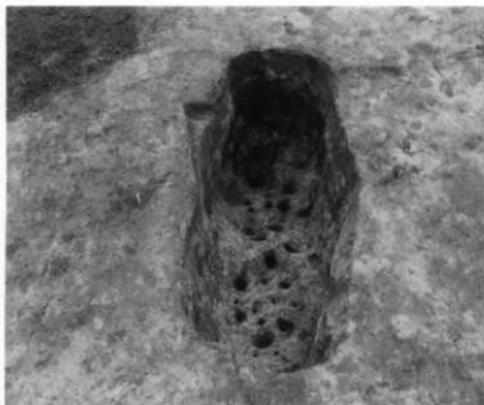
E225



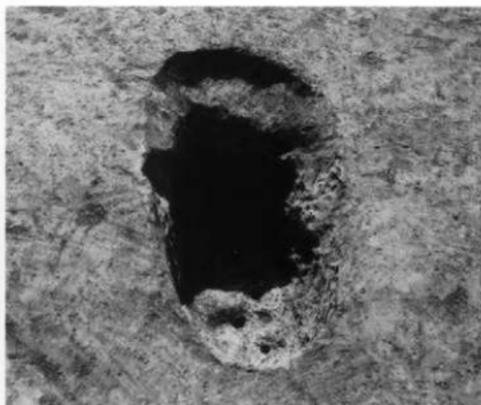
E230



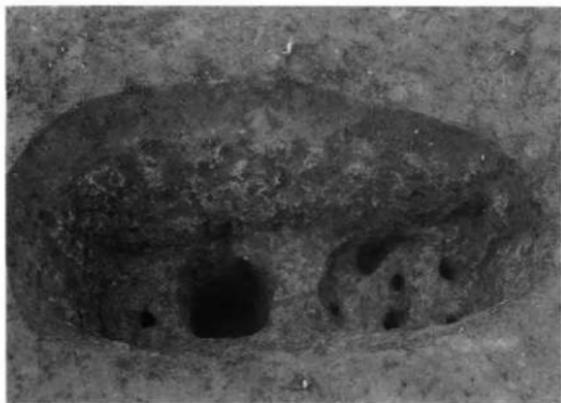
E231



E232



E244



E245



E271



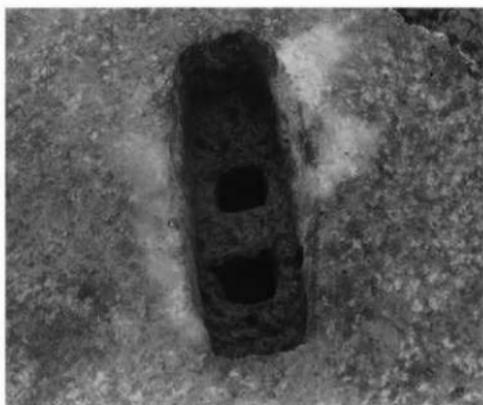
E266



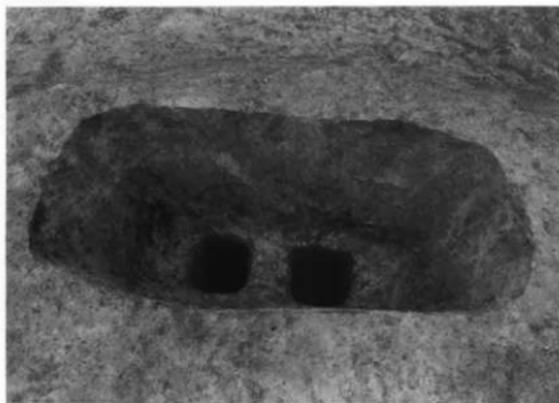
G008



G090



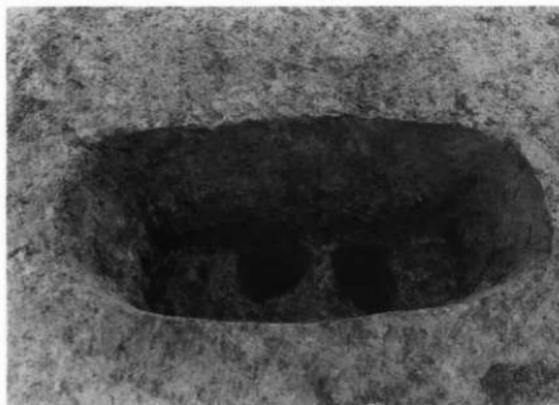
G115



P008



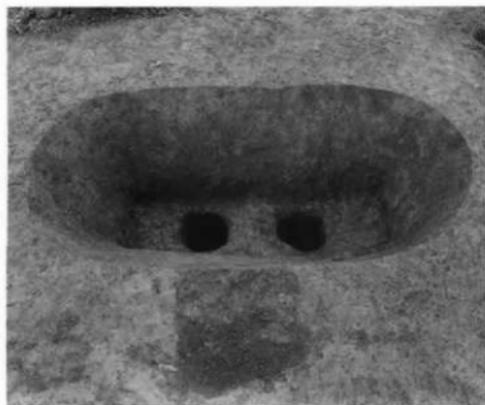
P010



P024



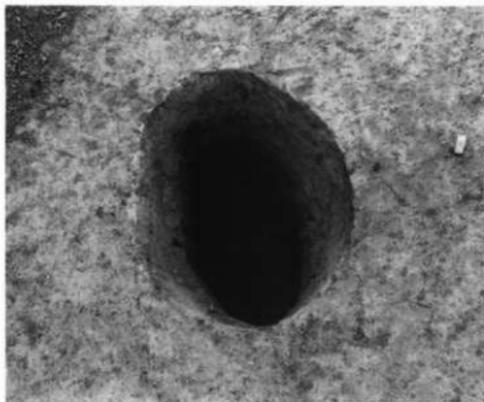
P094



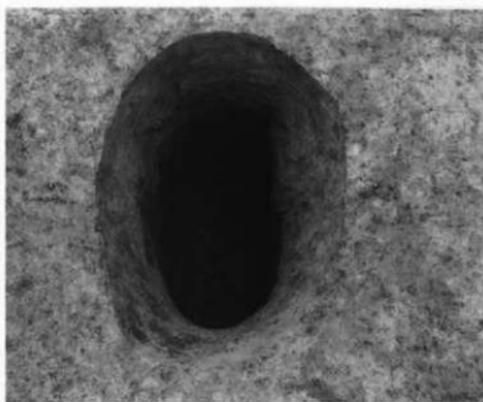
P101



C219



C313



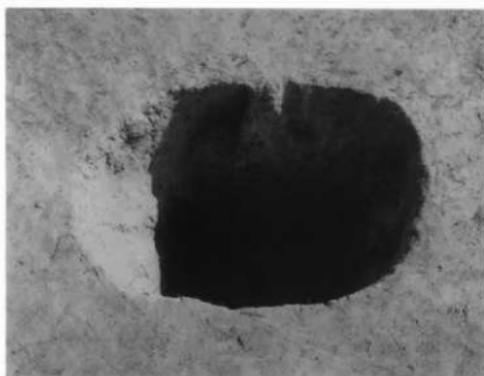
C315



F013



C209



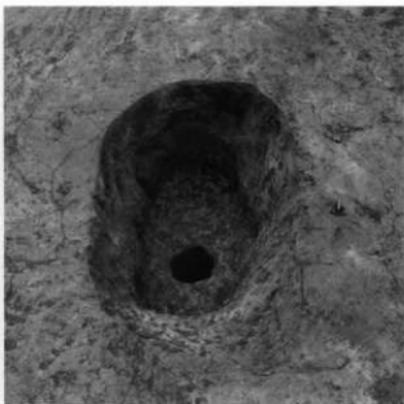
D237



D321



D337



E202



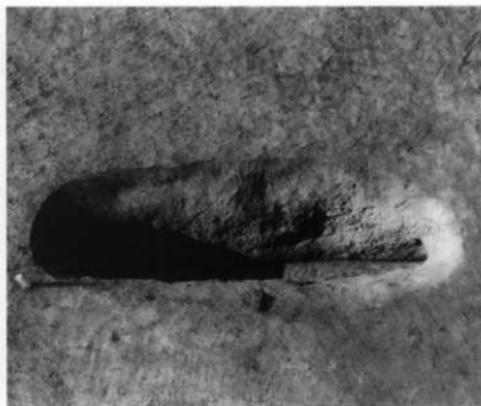
E262



G005



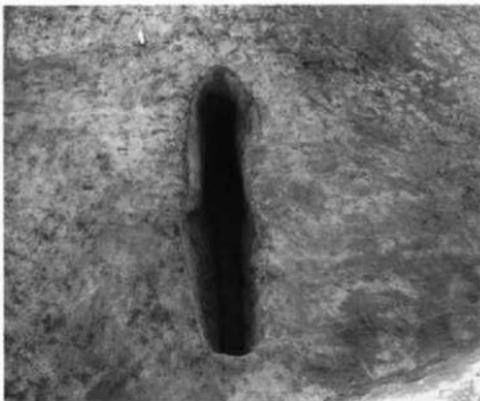
C297・300



D331



D402・405



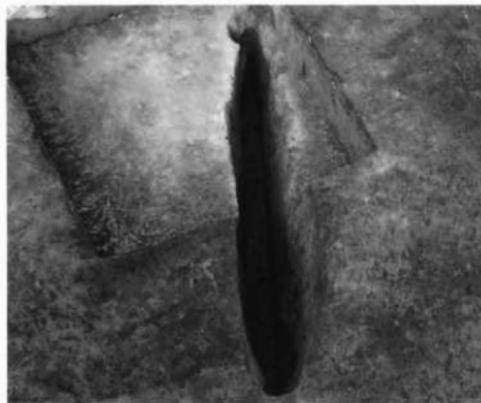
E131



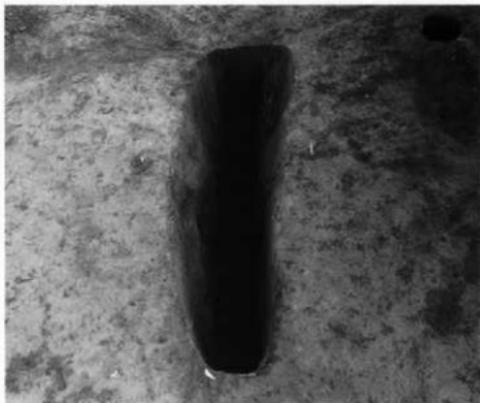
E274



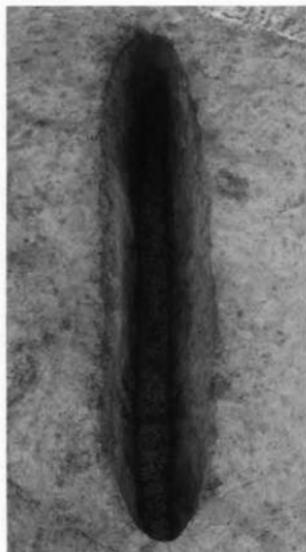
E275



G112



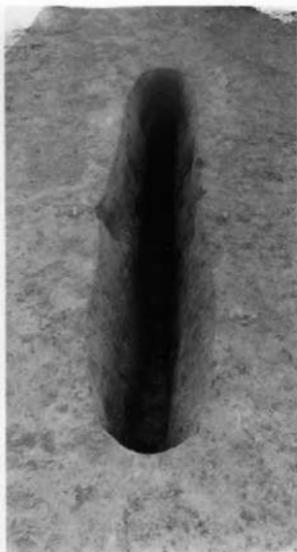
P064



G114



G116



P069



P093

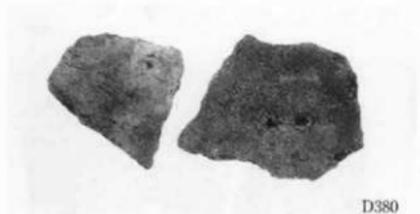


D区遺物集中区

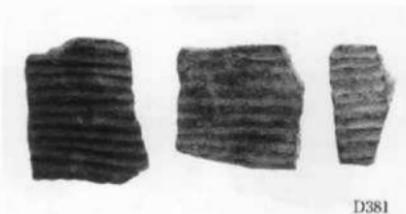
陥七穴II・包含層



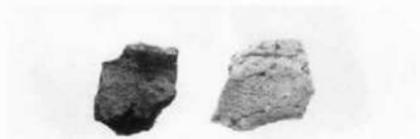
C192



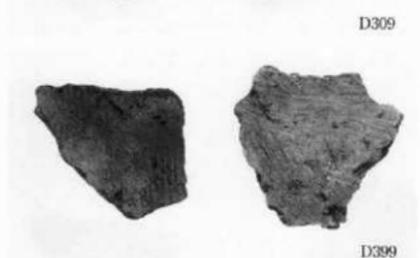
D380



D381



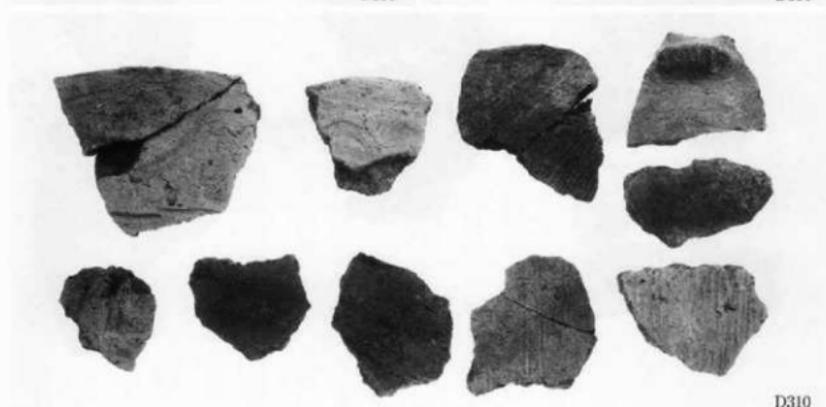
D309



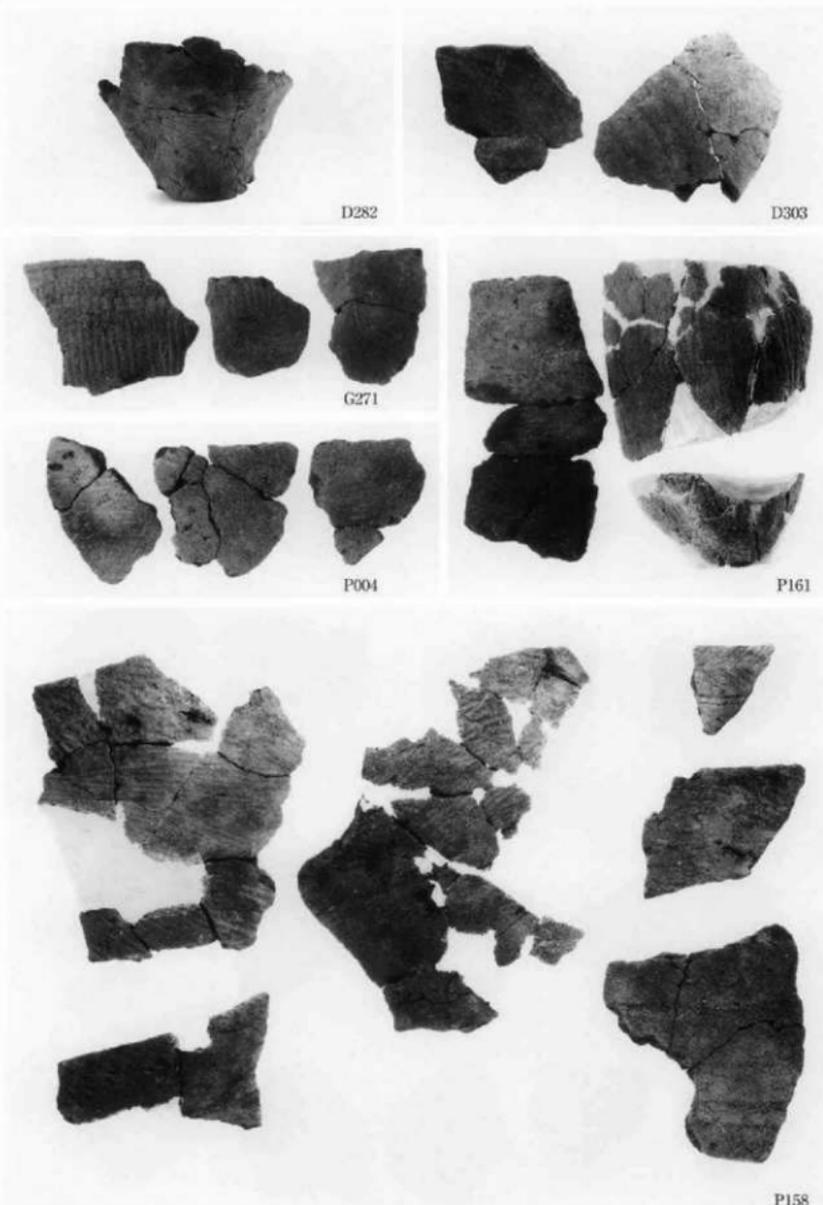
D399



D356



D310



早期遺構出土土器 2



C015



C015



C015



C015



C015



C015



C015

中期住居出土土器 1



C015



C043



C040A



C054



C054



C054



C055

中期住居出土土器 2



C055



C056



C080



C173



D002

中期住居出土土器 3



D002



D039



P001



P001



P001



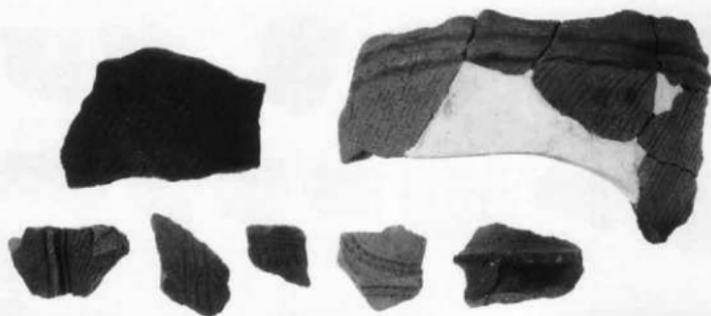
P001



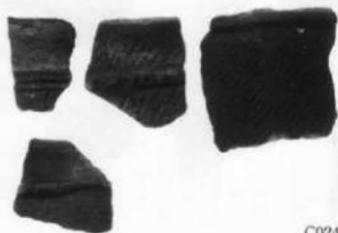
P037



C015



C017

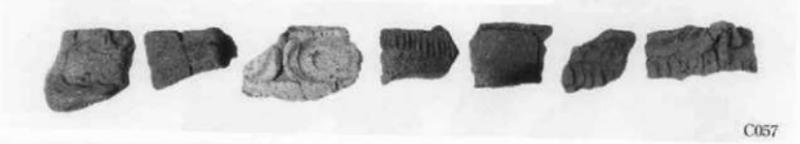
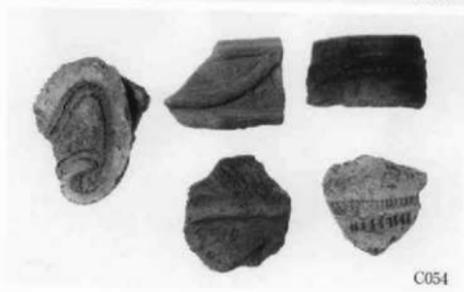
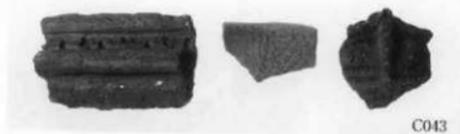


C024A



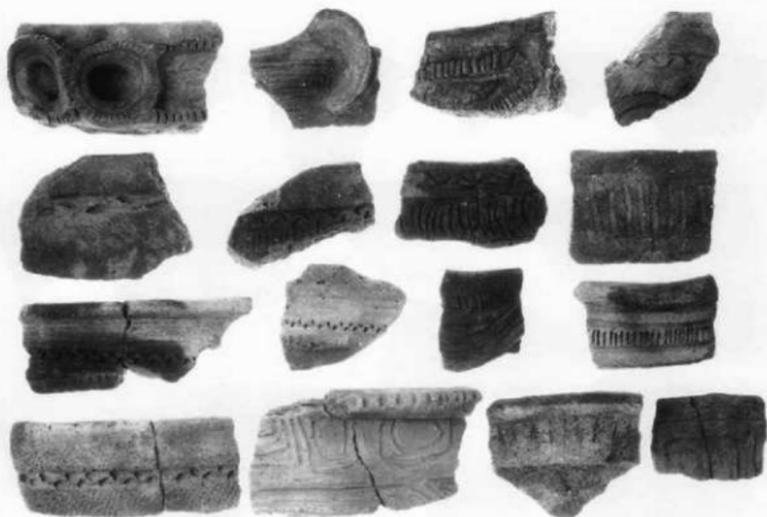
C027

中期住居出土土器 5





C080A



C177B

中期住居出土土器 7

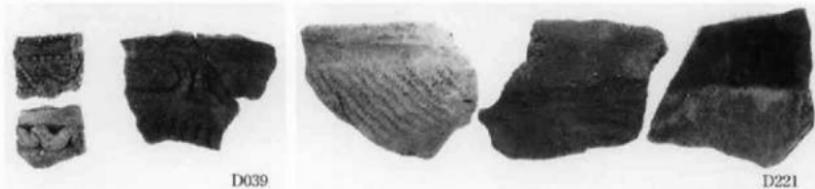


D024B



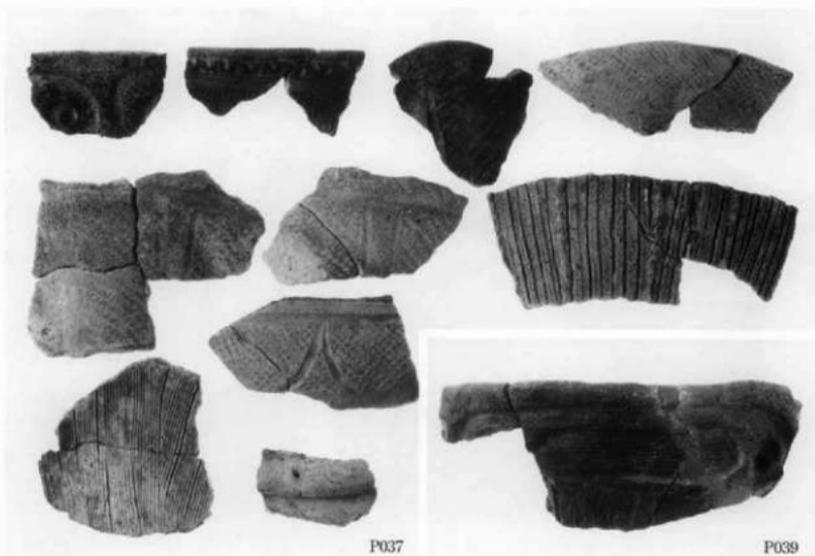
D002

D086B



D039

D221



P037

P039



C142



C142



P052



P058



C142



P052

中期小墾穴・土坑出土土器 1



P148



C038



C038



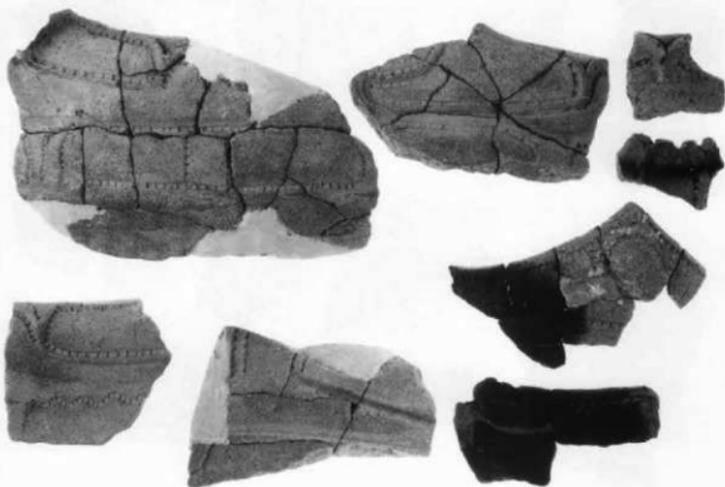
C105



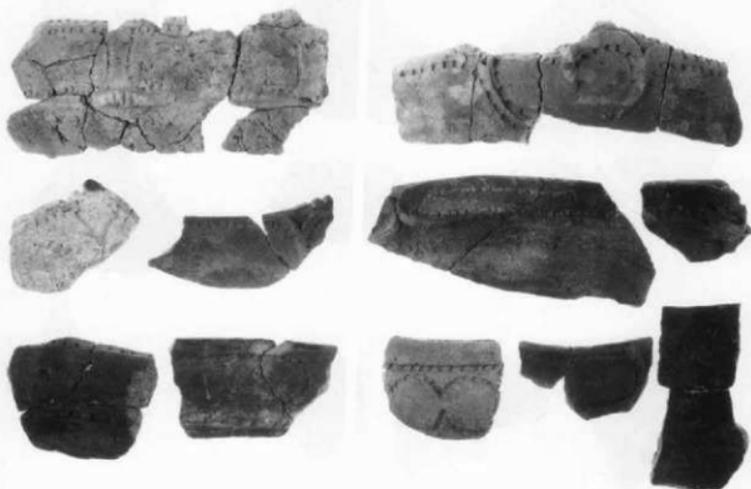
C105



C090



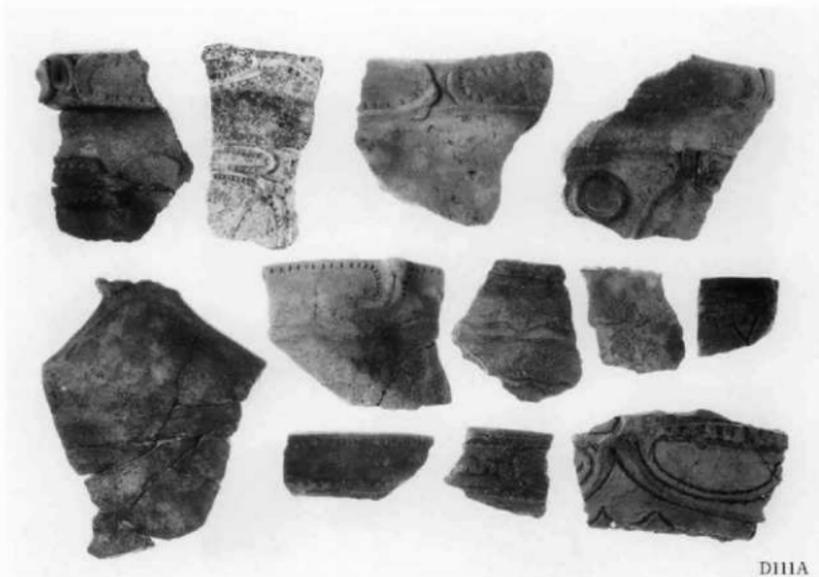
C142



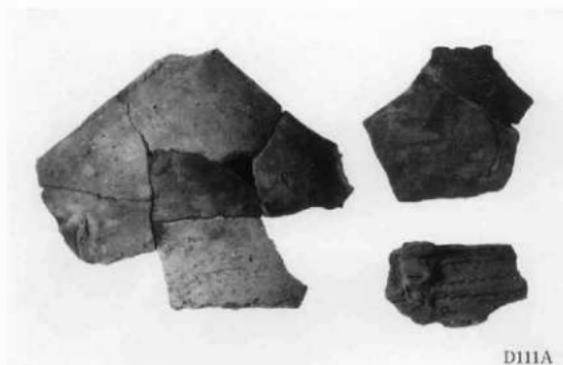
C143

中期小墾穴・土坑出土土器 3

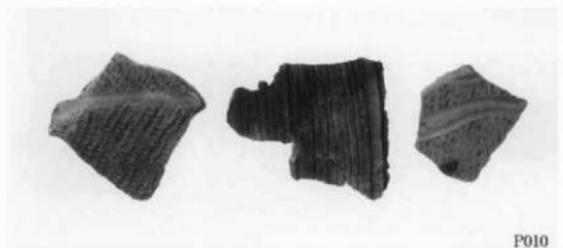
D110



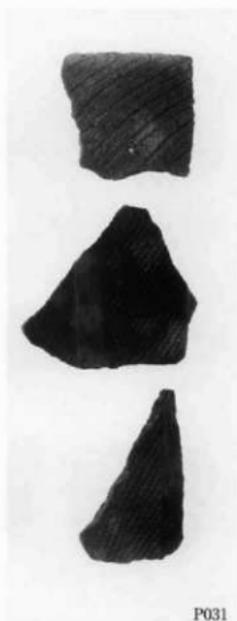
D111A



D111A



P010



P031

中期小豎穴・土坑出土土器4



P035



P038



P058



P048



P049



P052



P062



P068

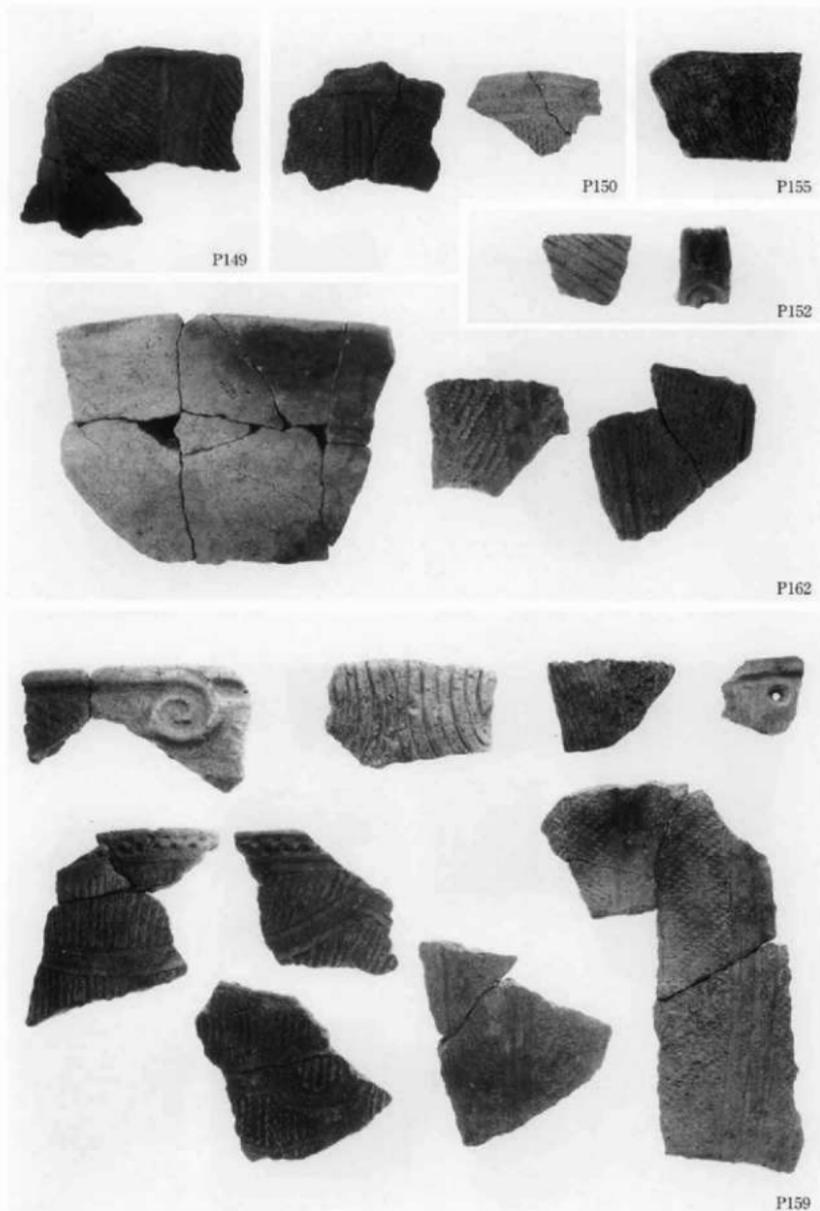


P146



P149

中期小竖穴・土坑出土土器 5



中期小竖穴·土坑出土土器 6



C038



C044



C090



D239



D336

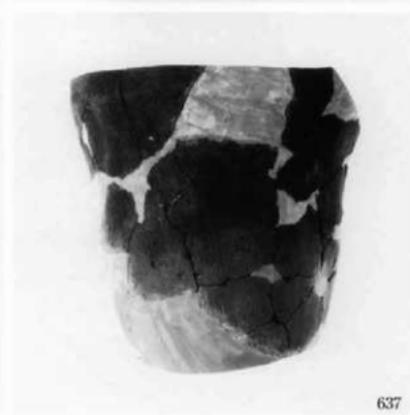


C120



D064

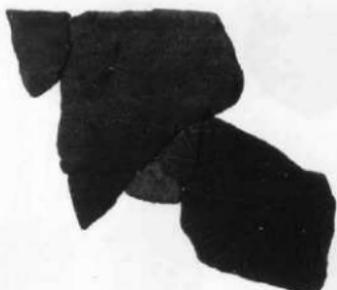
中期小竖穴・土坑出土土器 7



道構外出土土器 1



30



31



623



624



625



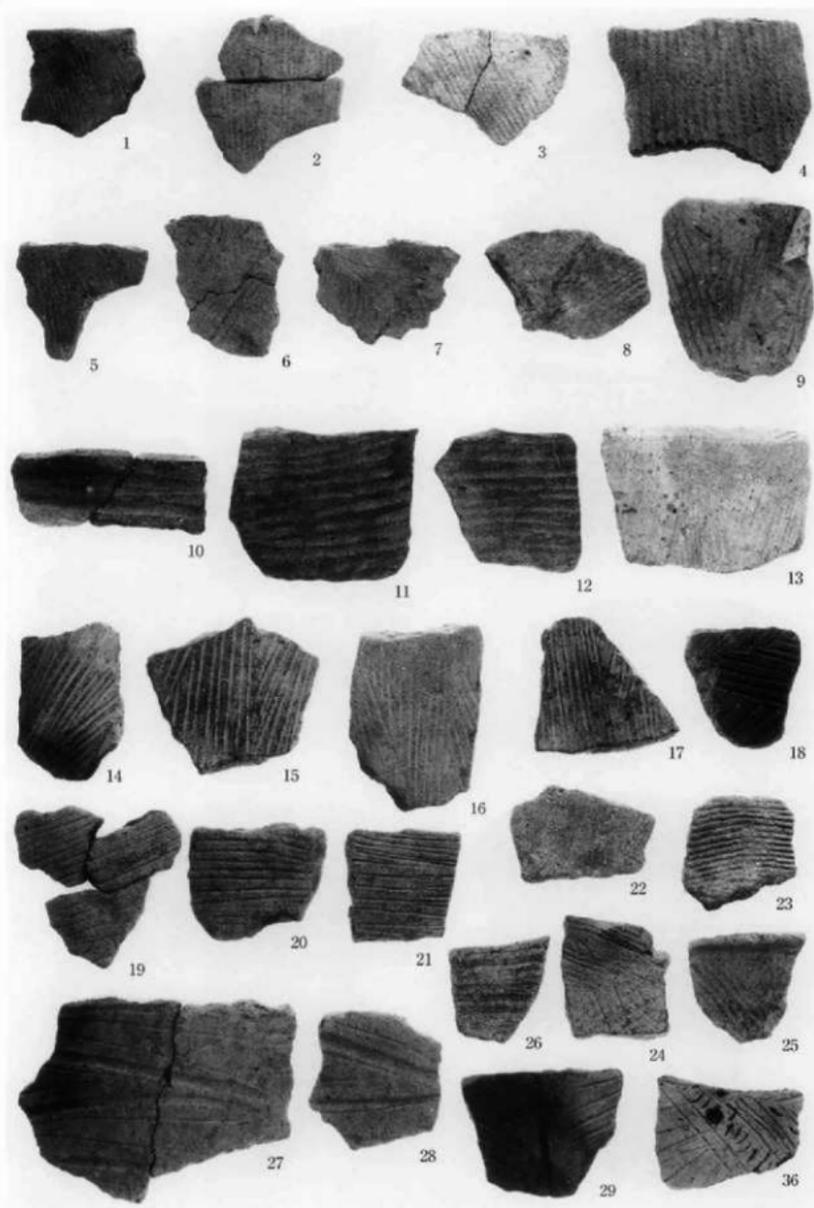
561



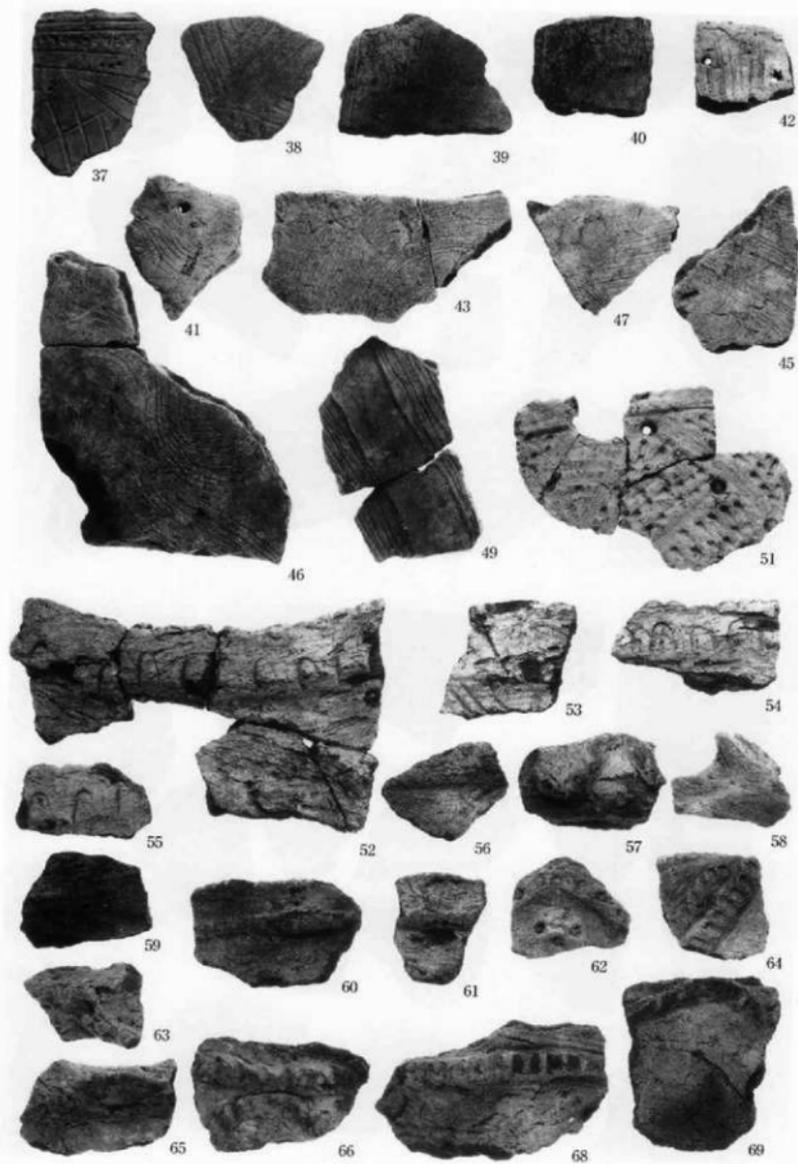
634



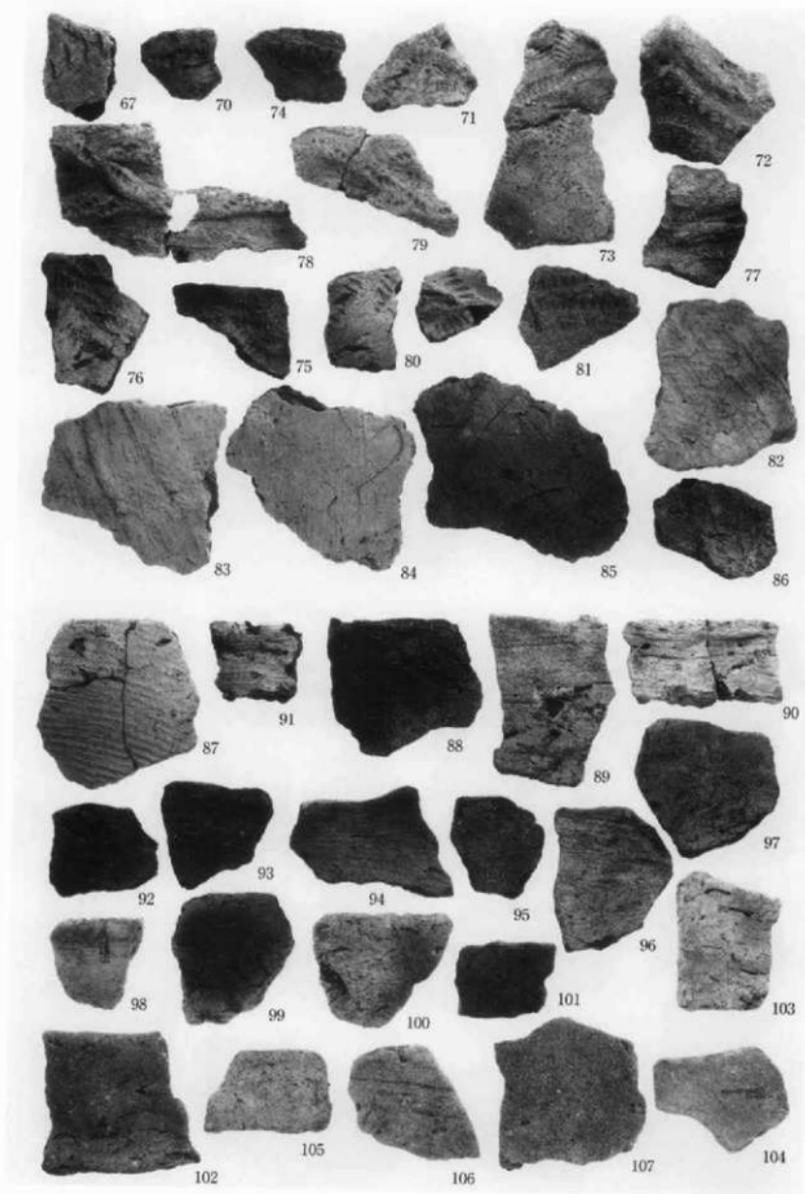
135



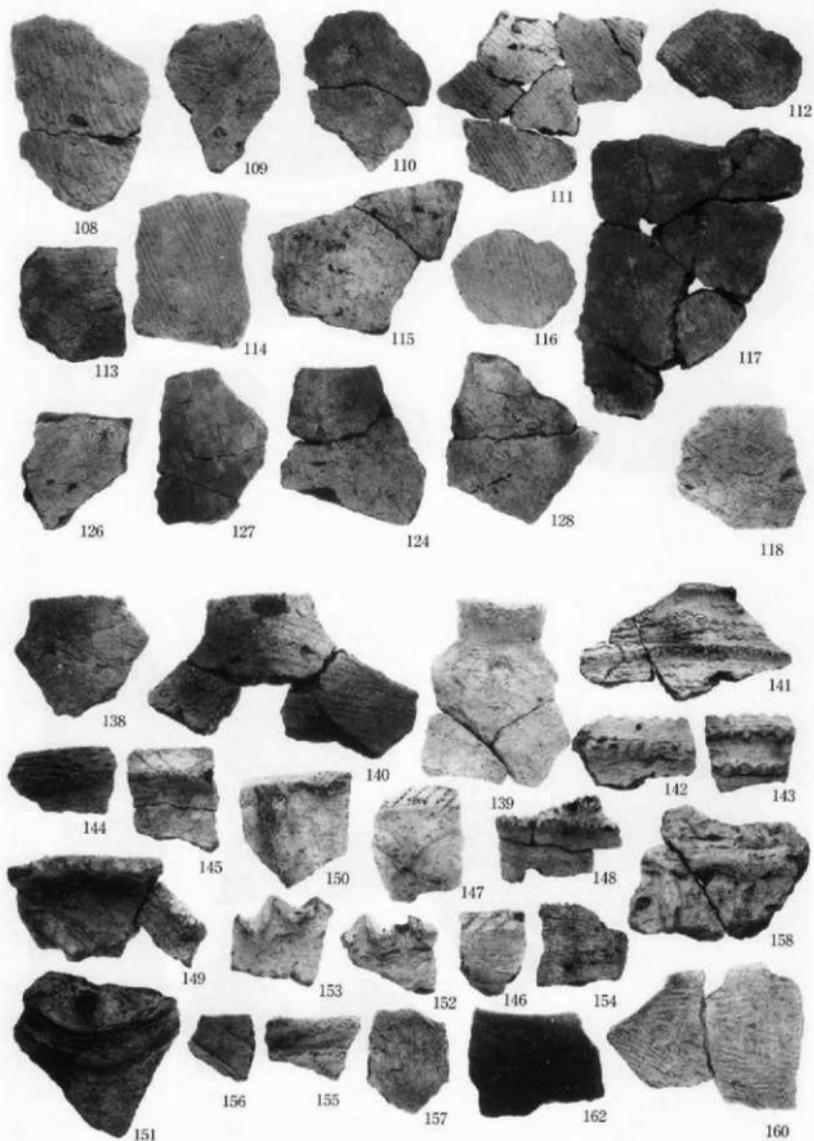
遺構外出土器 3



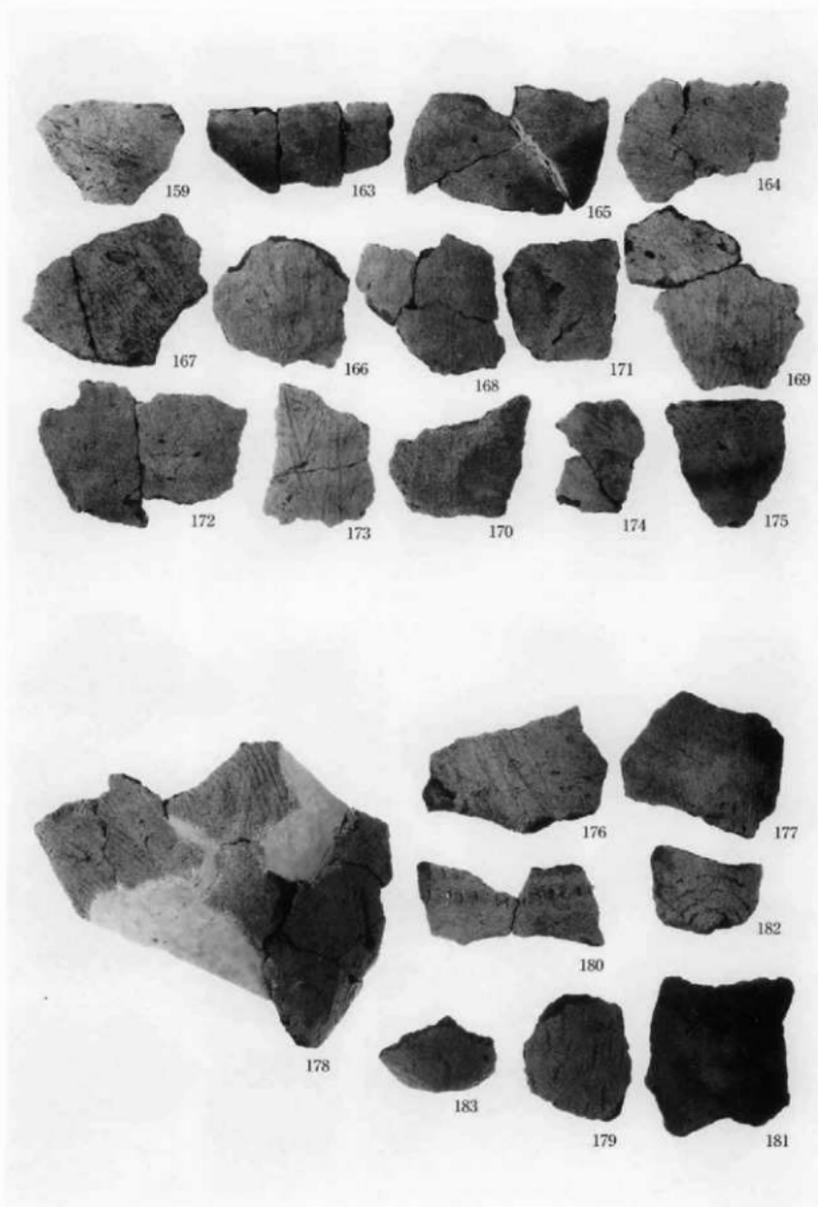
道橋外出土土器4



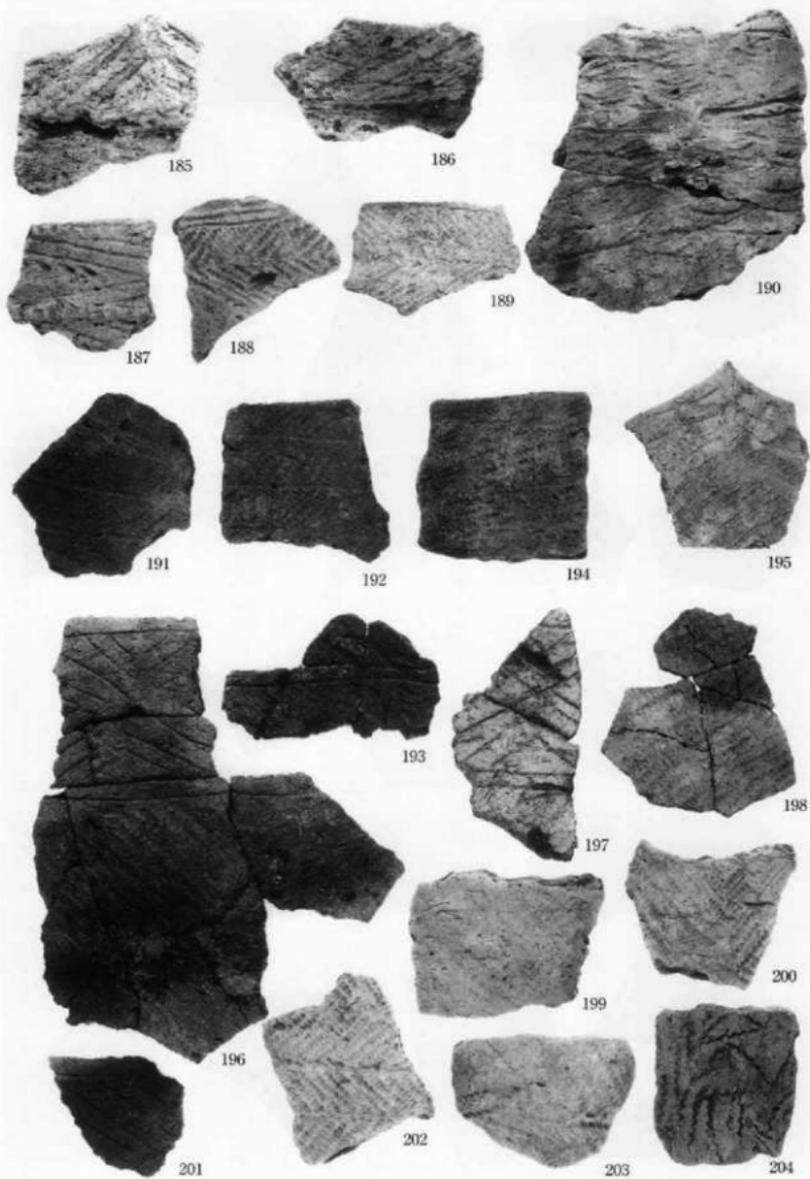
遺構外出土土器 5



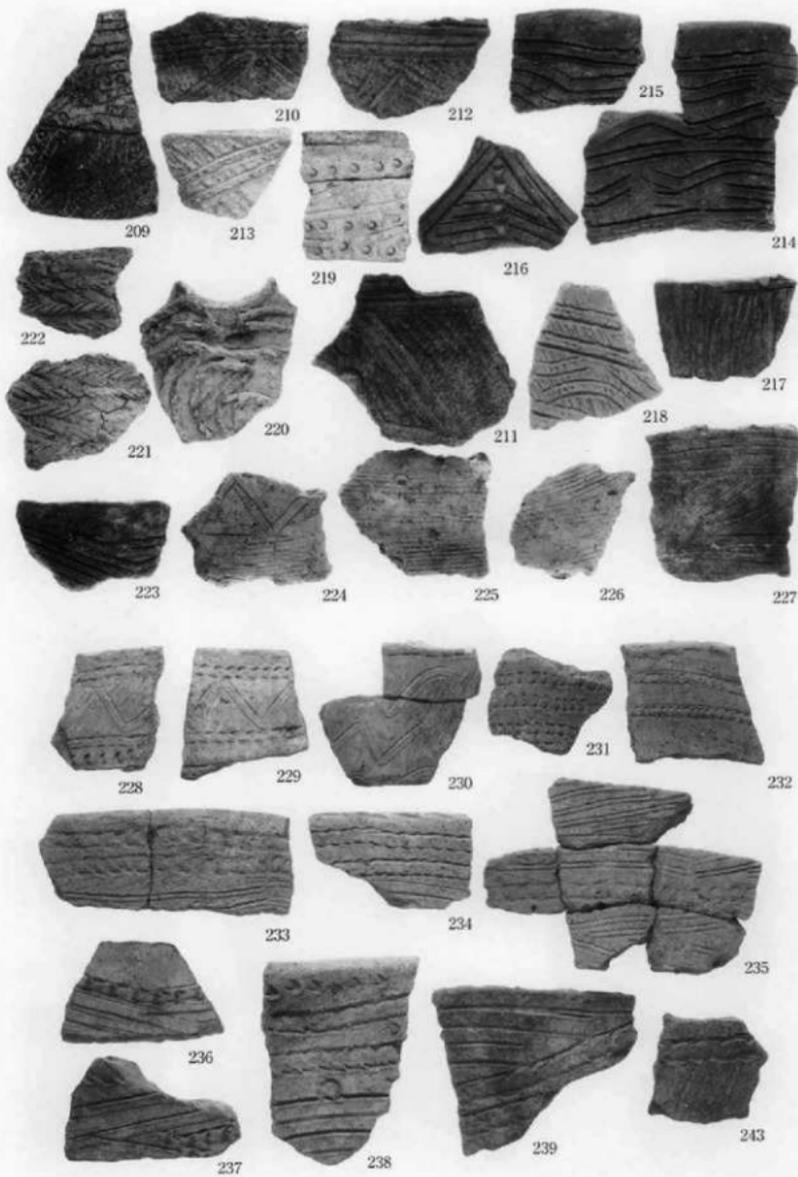
遺構外出土土器 6



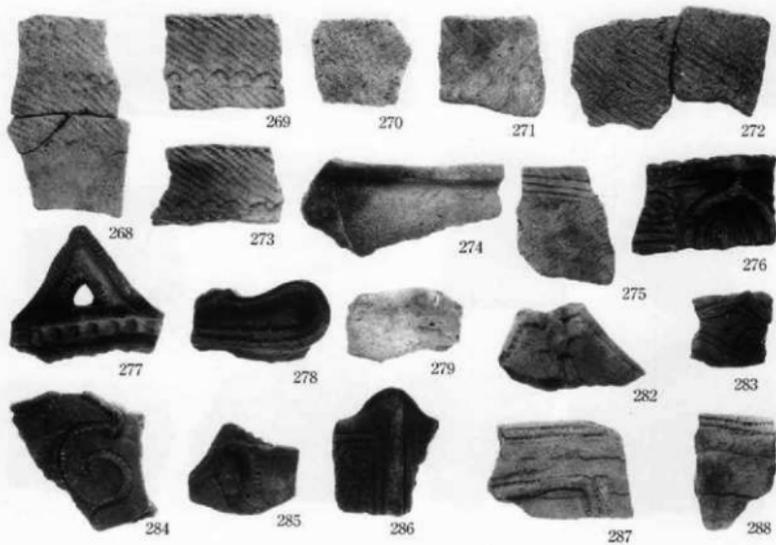
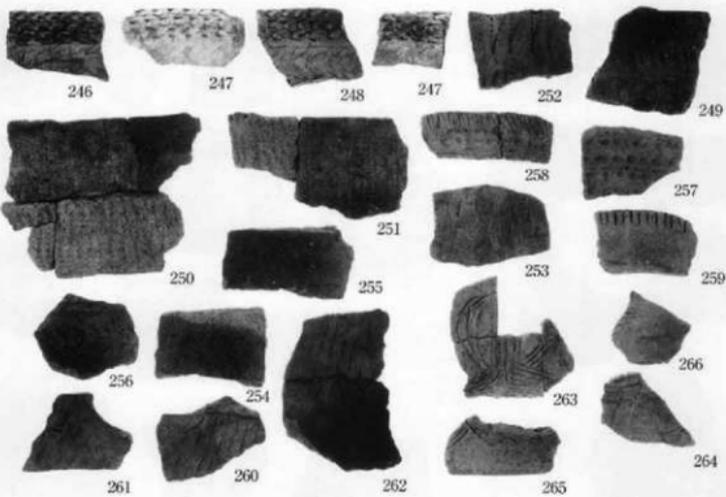
遺構外出土土器 7



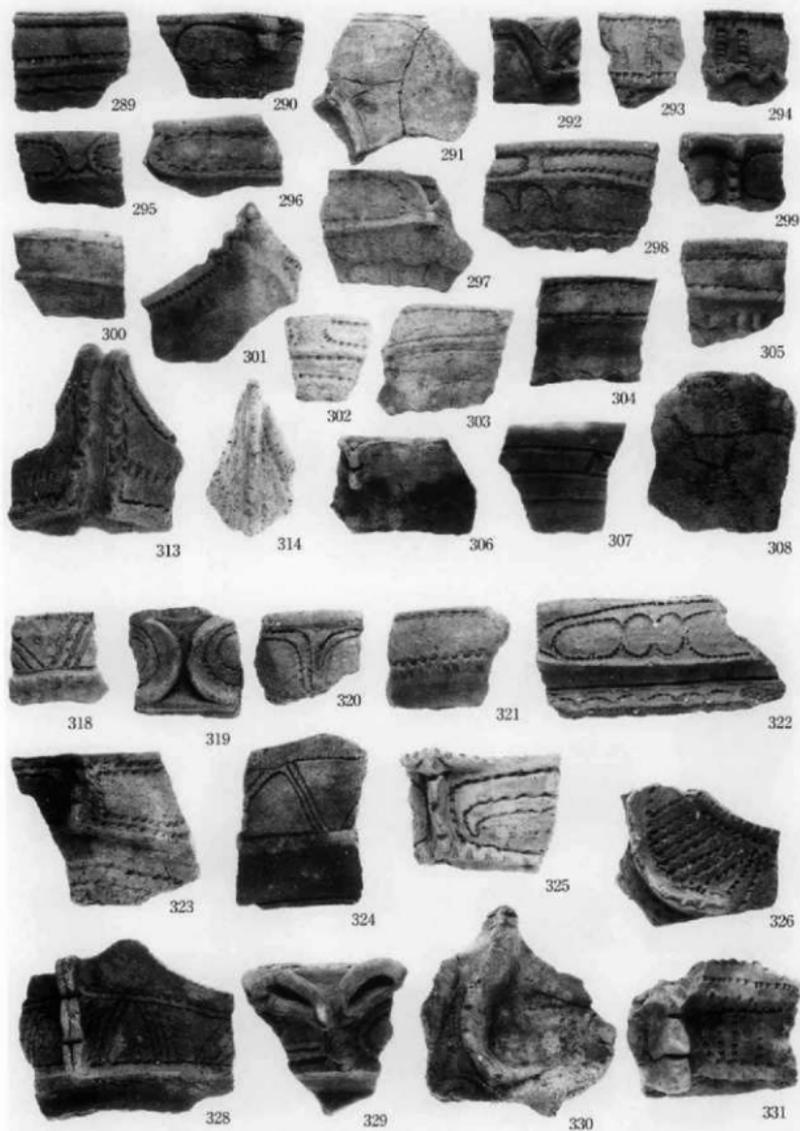
遺構外出土土器 8



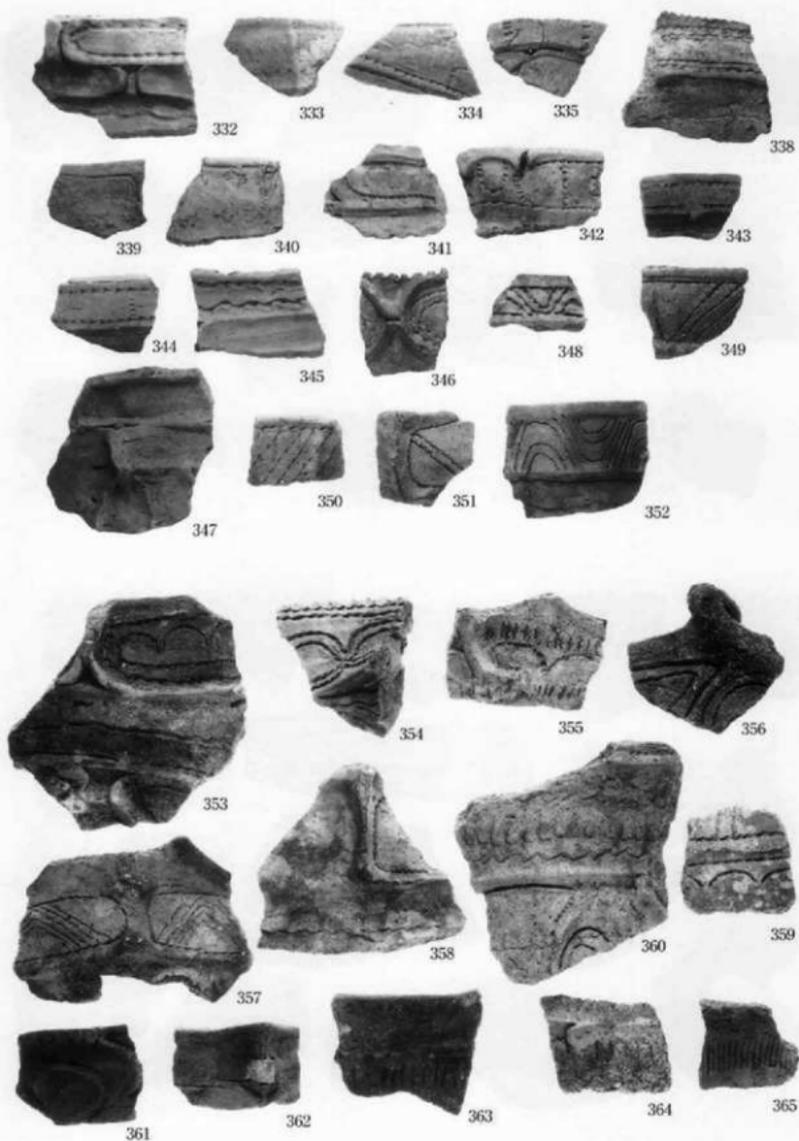
遺構外出土土器 9



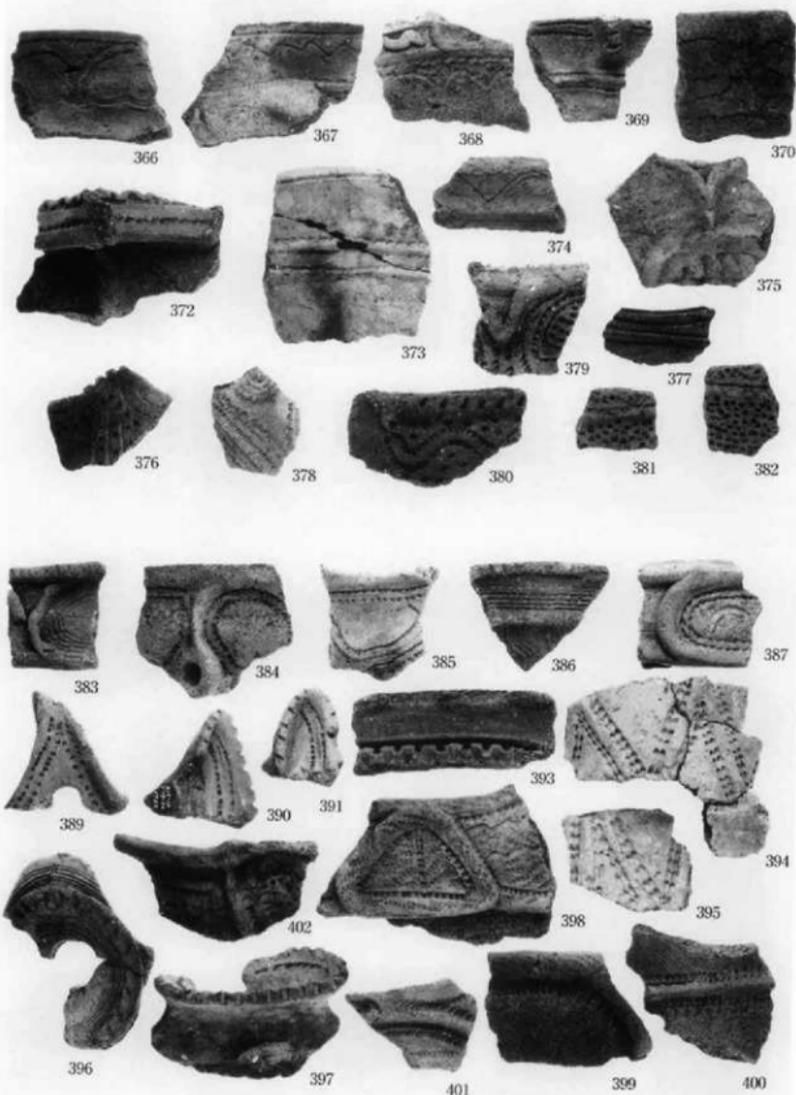
遺構外出土器10



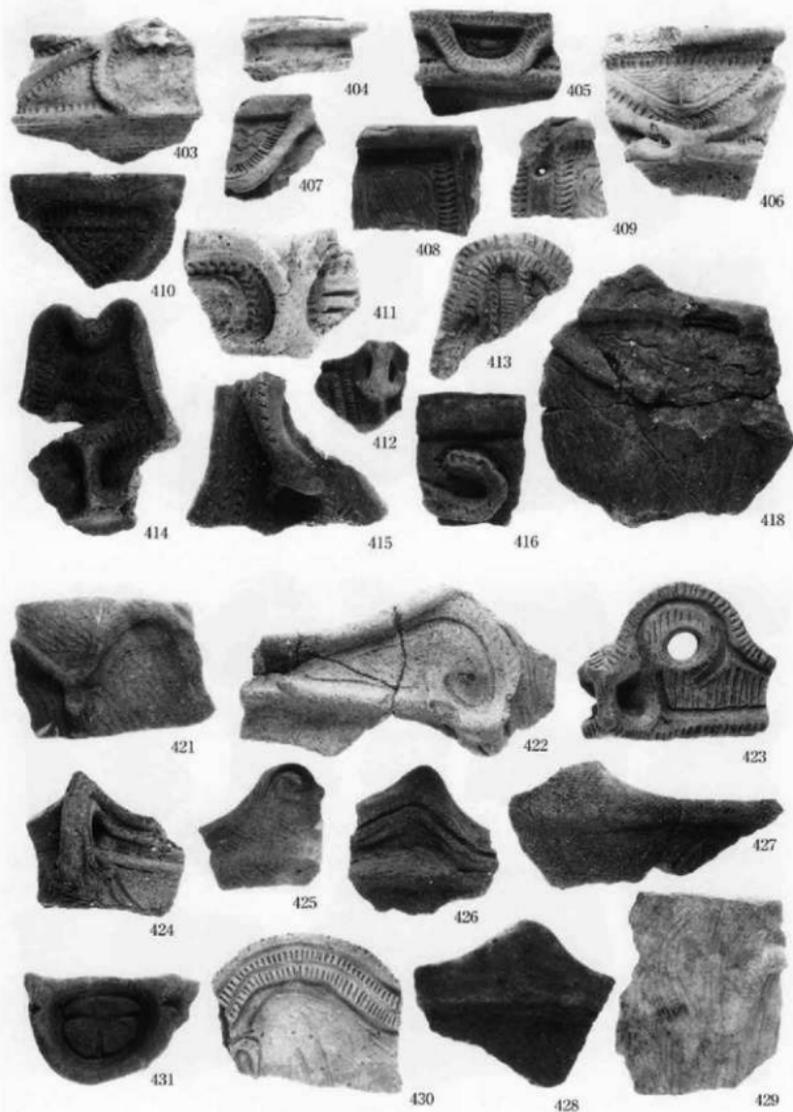
遺構外出土土器11



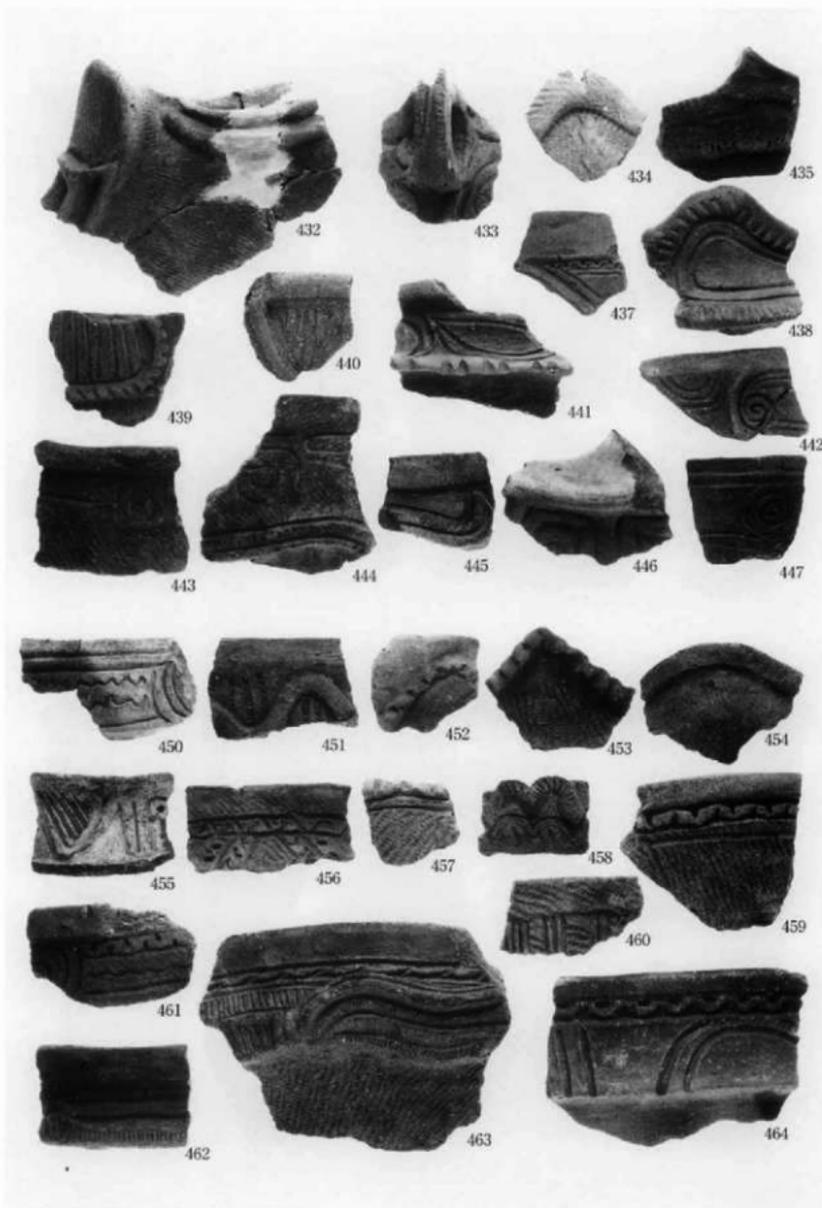
道溝外出土土器12



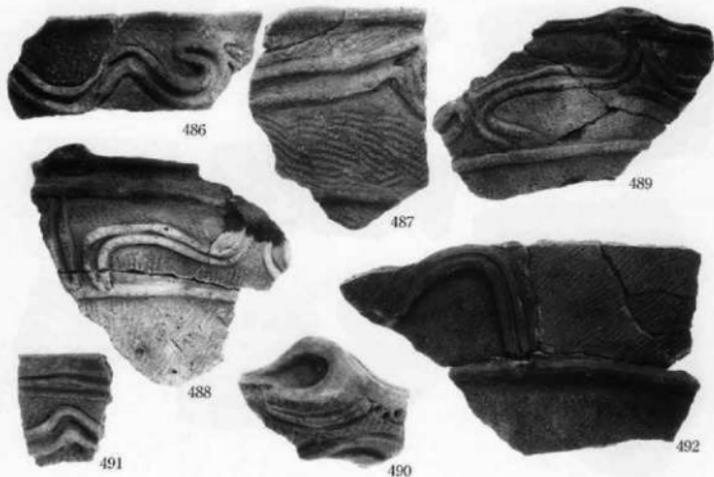
遺構外出土土器13



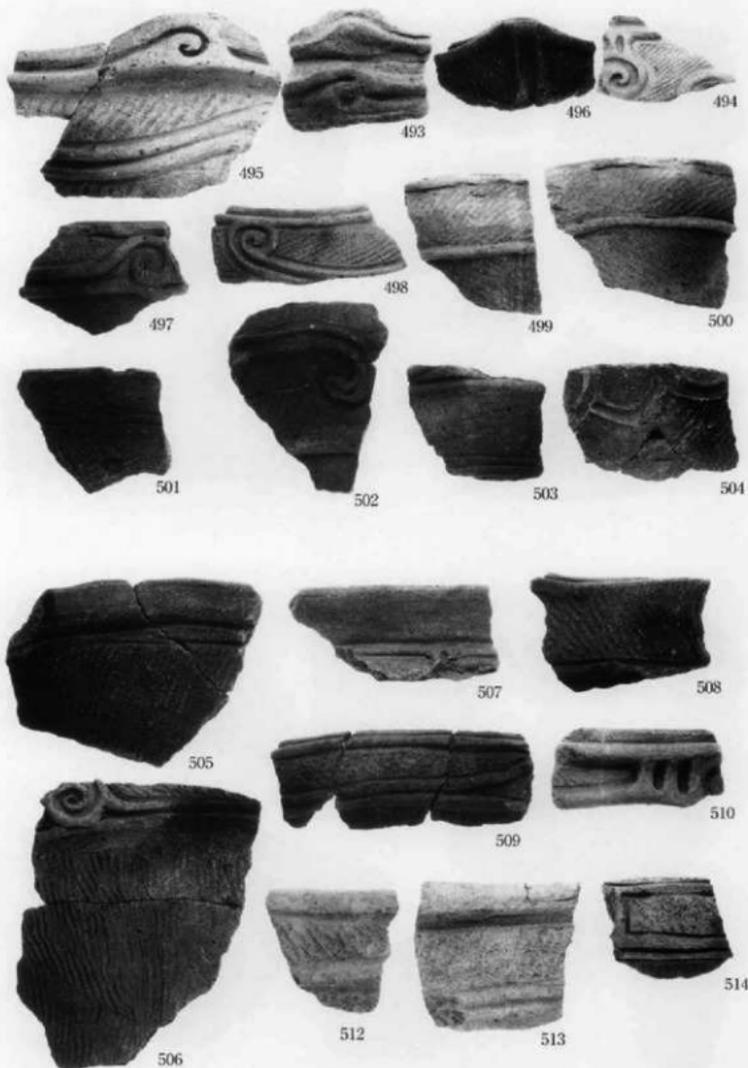
遺構外出土土器14



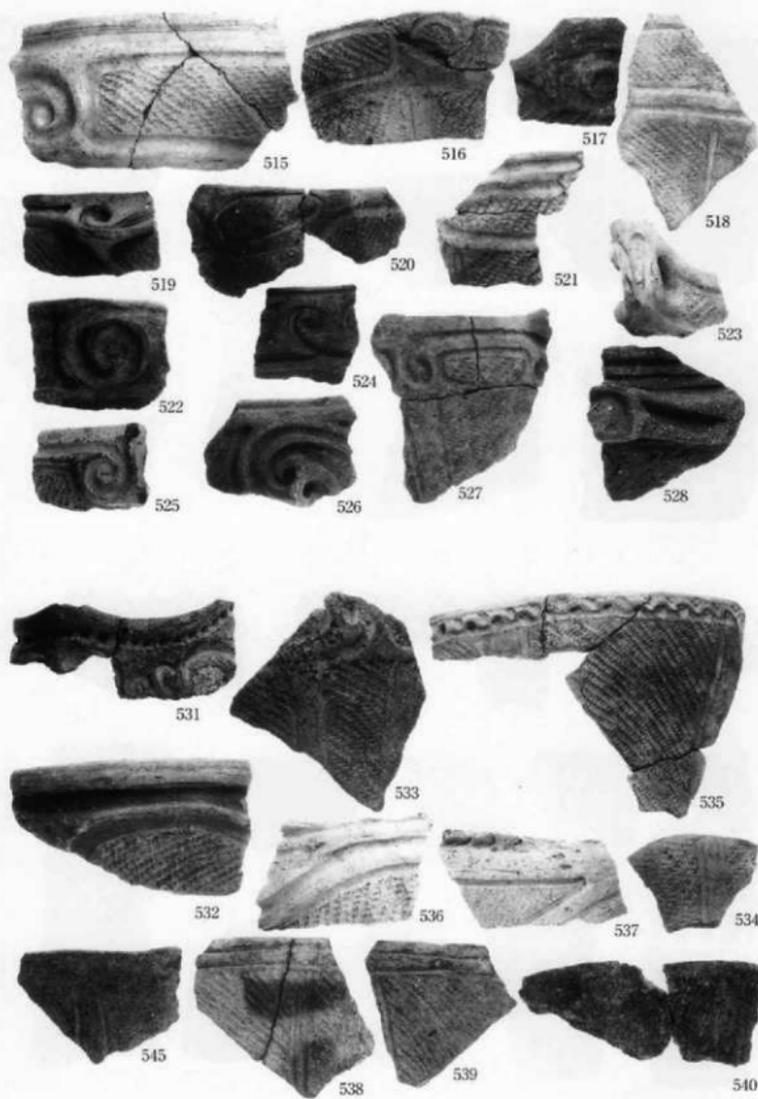
遺構外出土土器15



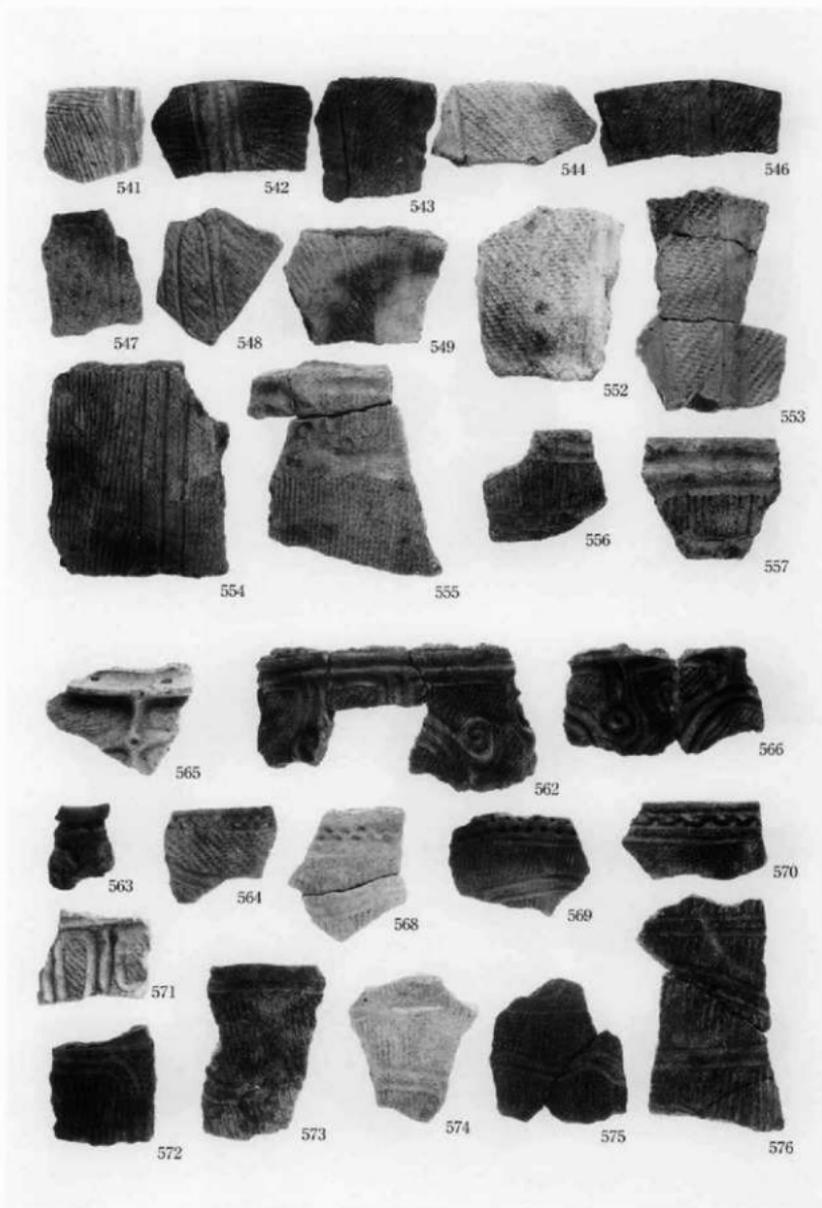
遺構外出土土器16



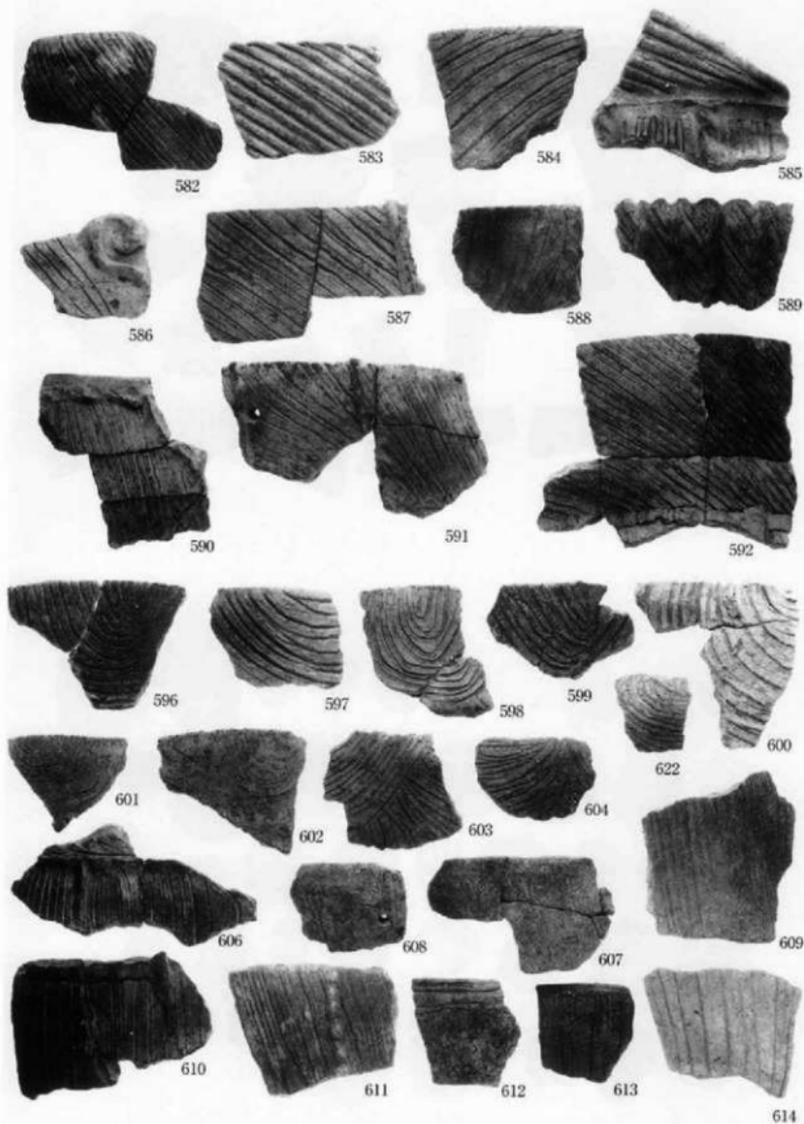
道溝外出土土器17



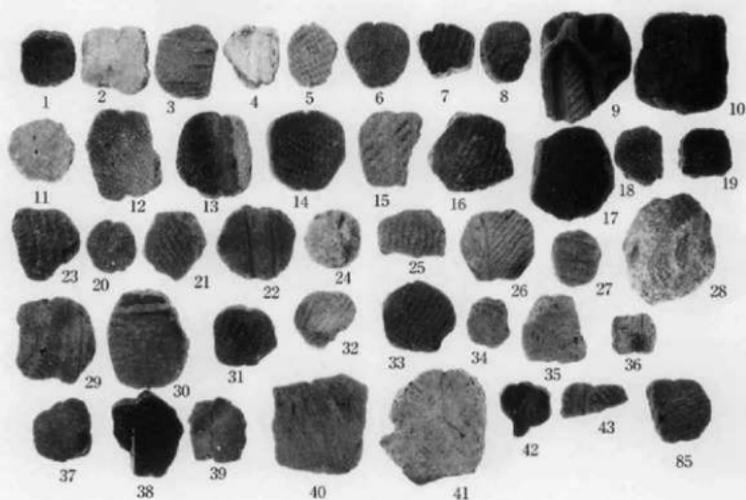
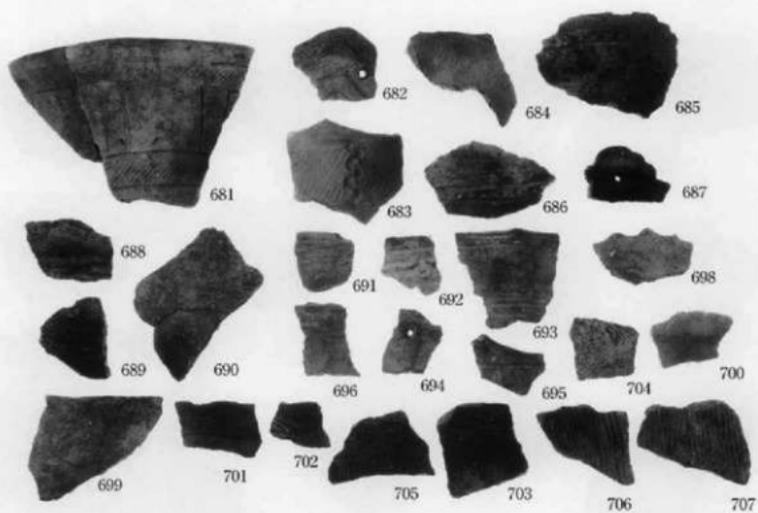
遺構外出土土器18



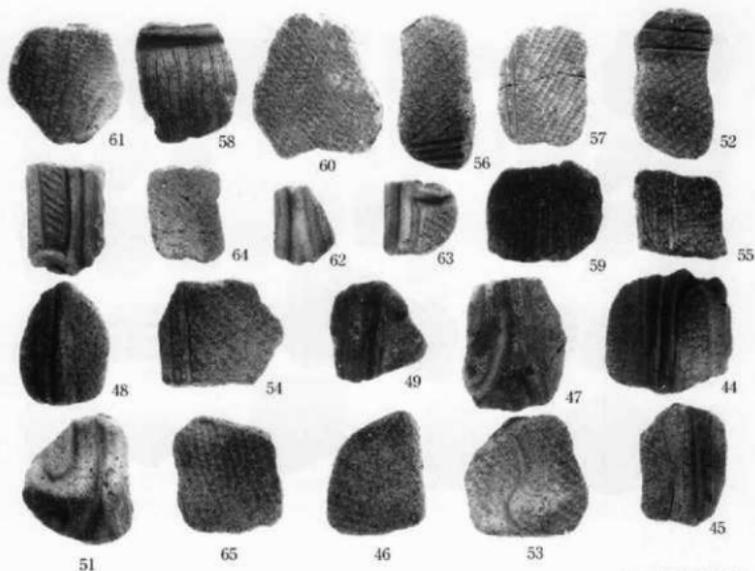
遺構外出土土器19



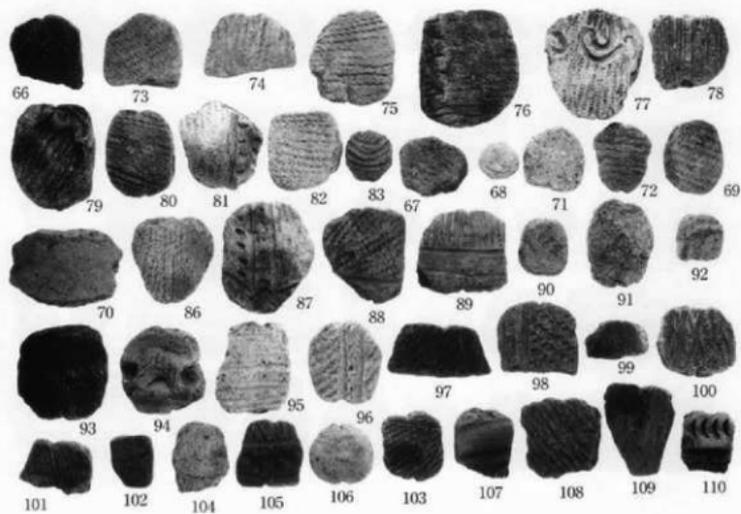
遺構外出土土器20



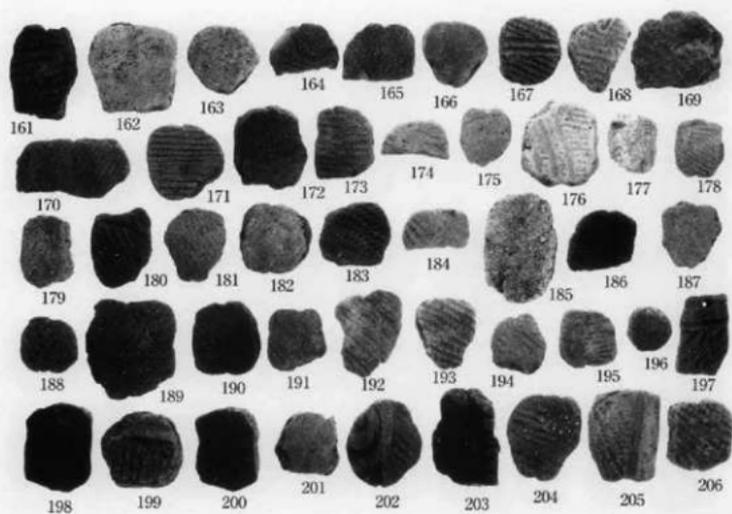
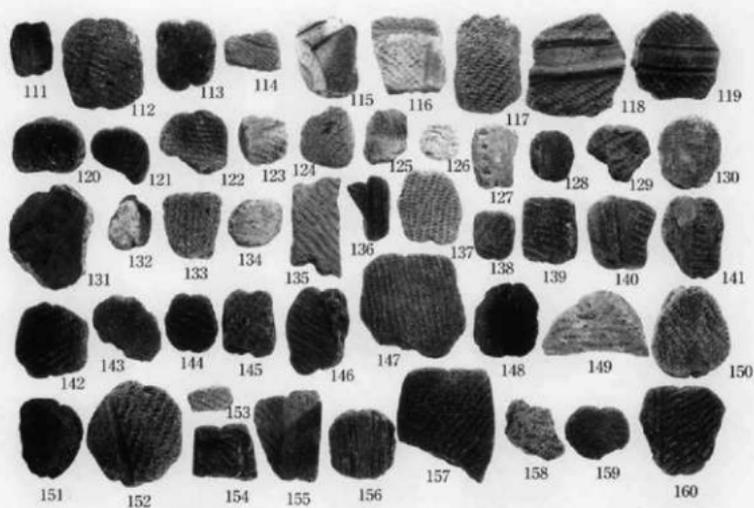
遺構外出土土器21・土器片録1



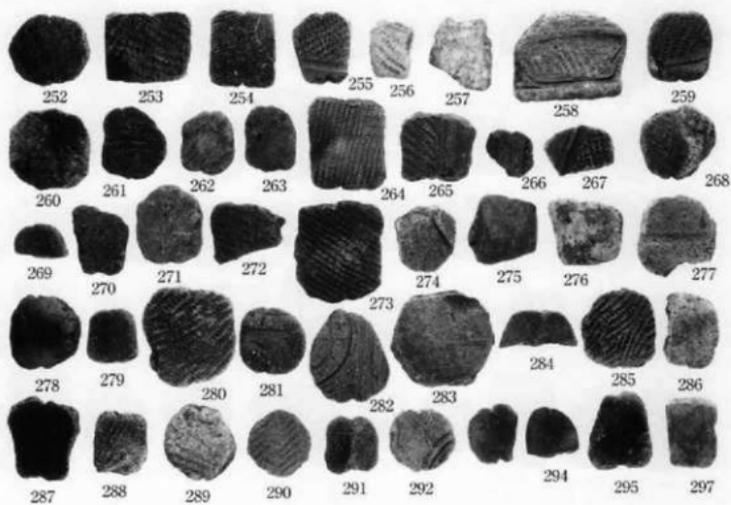
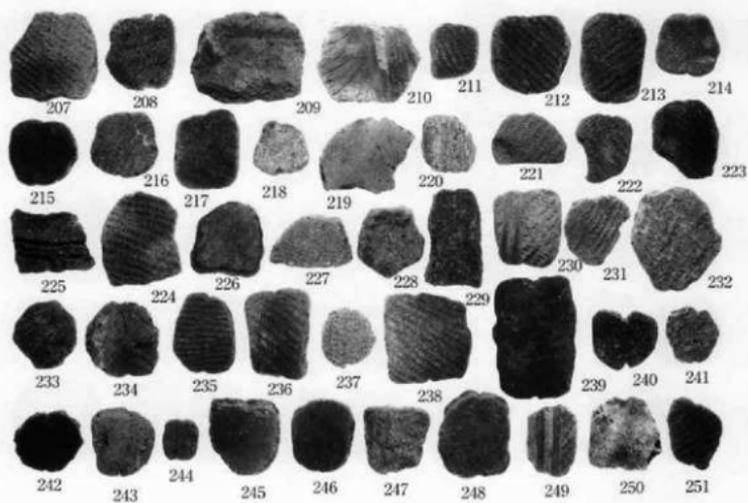
(C069集中出土品)



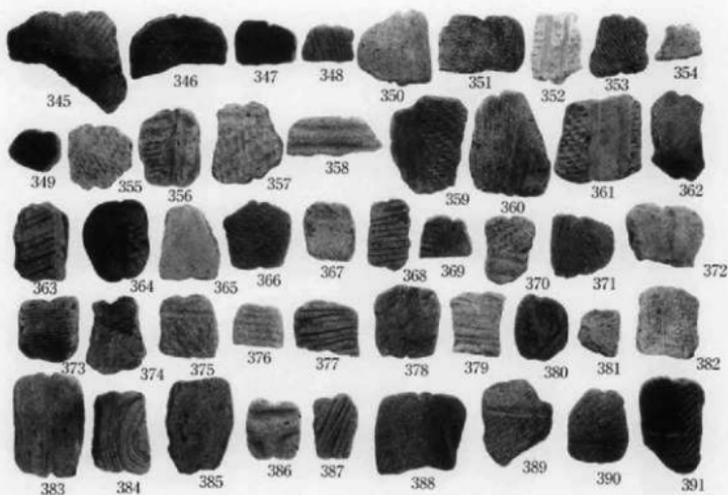
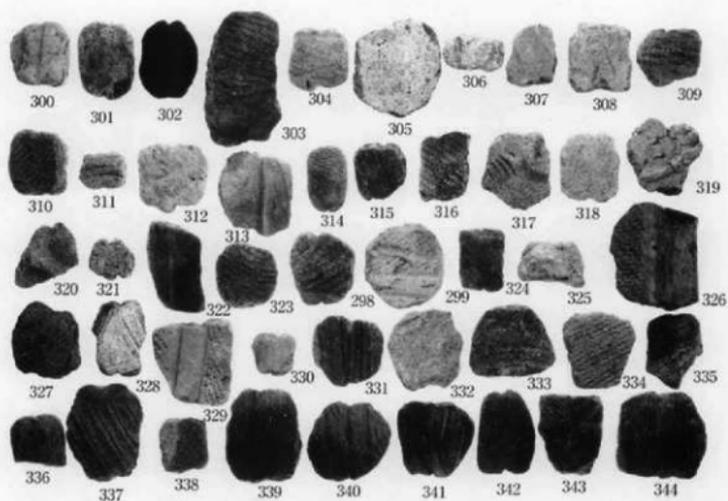
土器片録 2

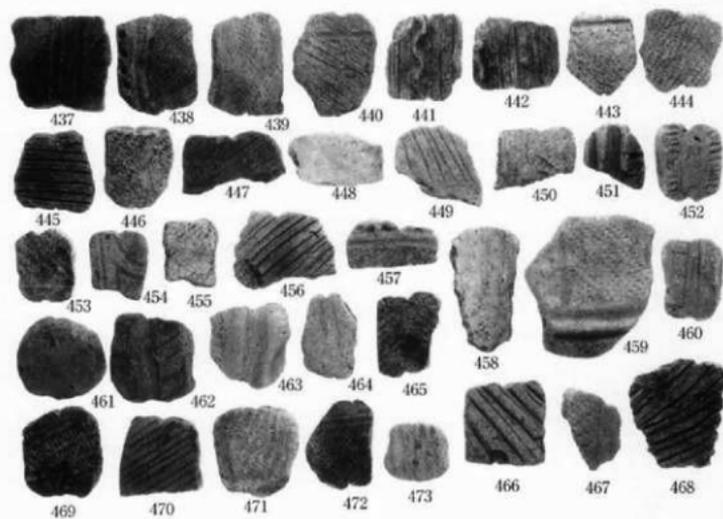
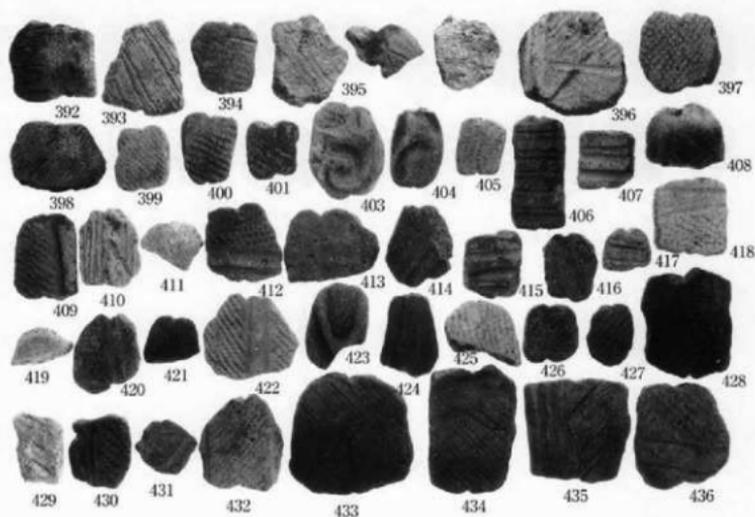


土器片鏟 3

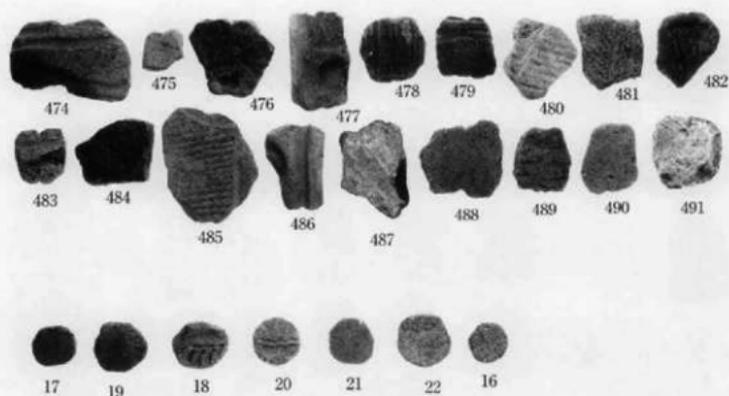


土器片 4





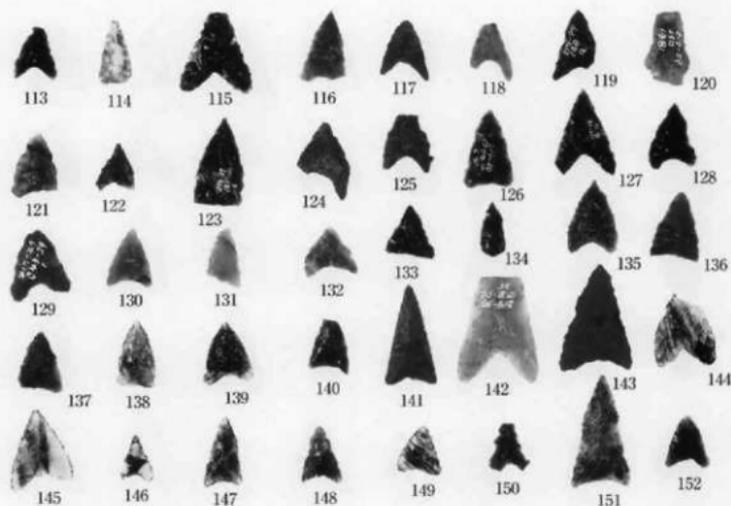
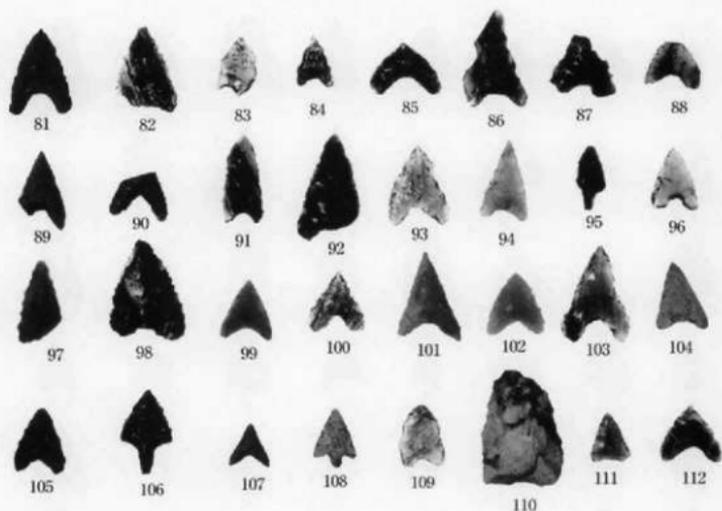
土器片 鍾 6

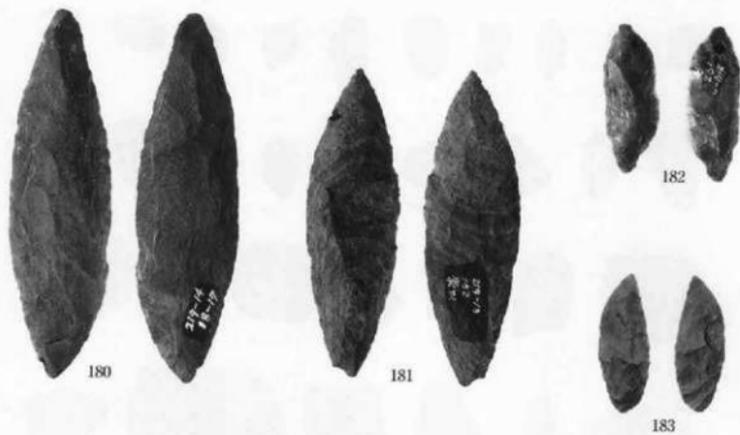
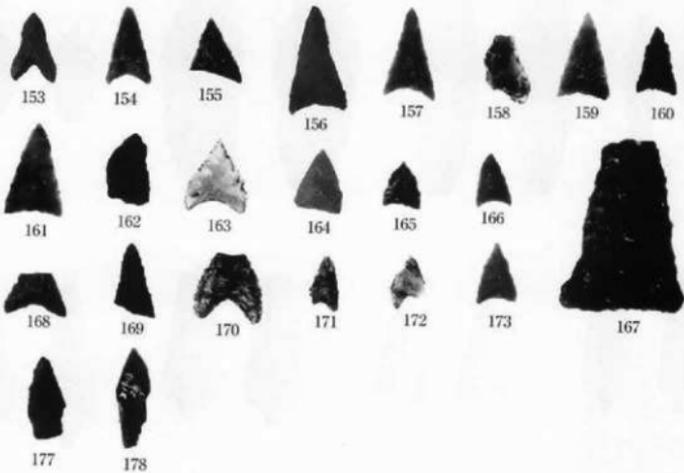


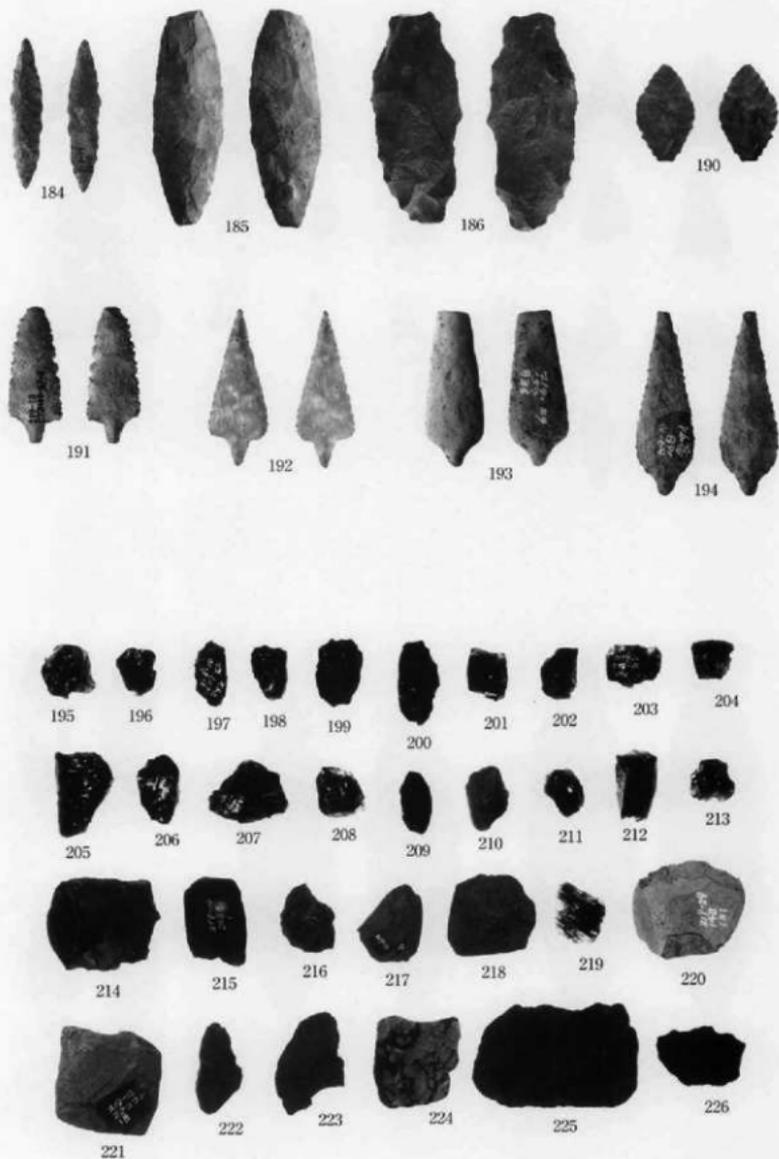
土器片鉢7・土器片円板

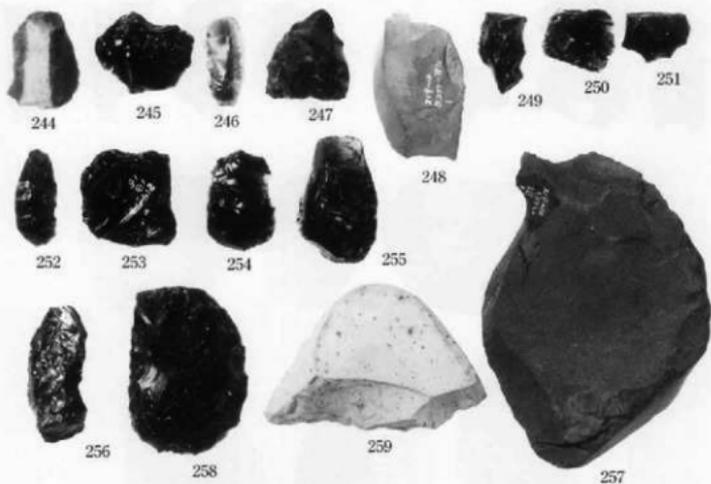
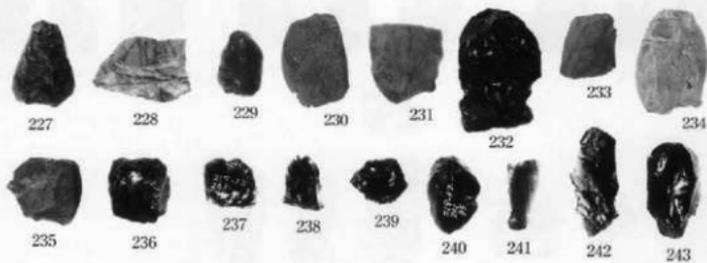


石器 1





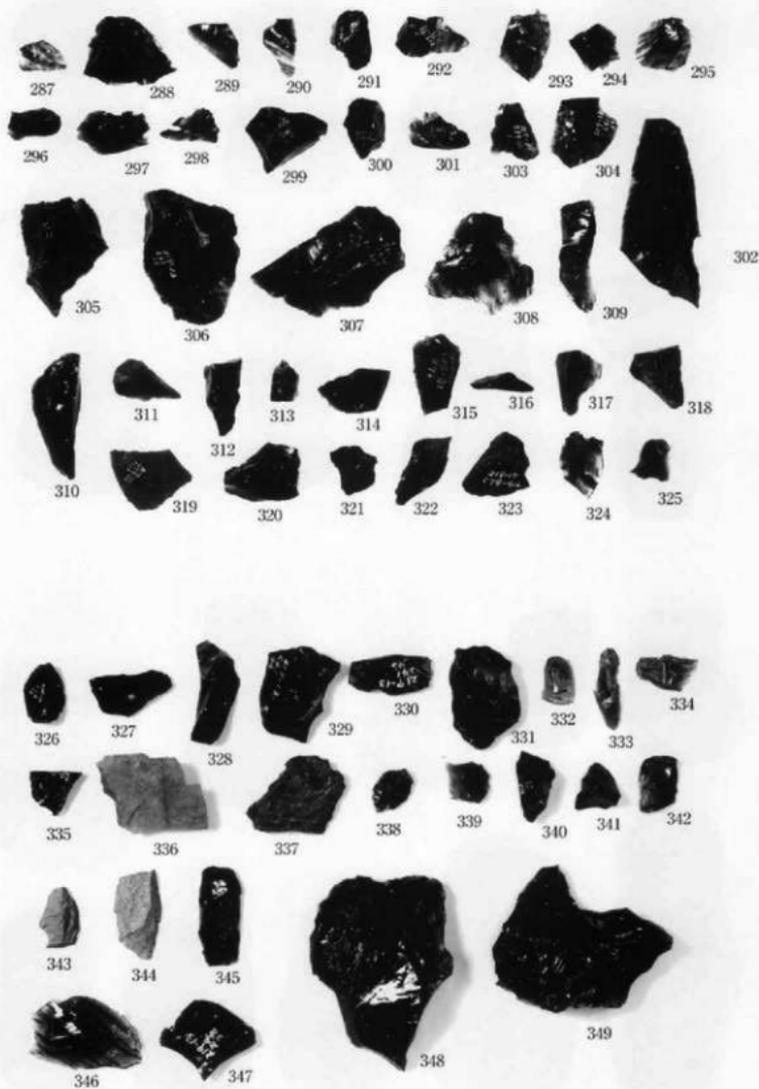


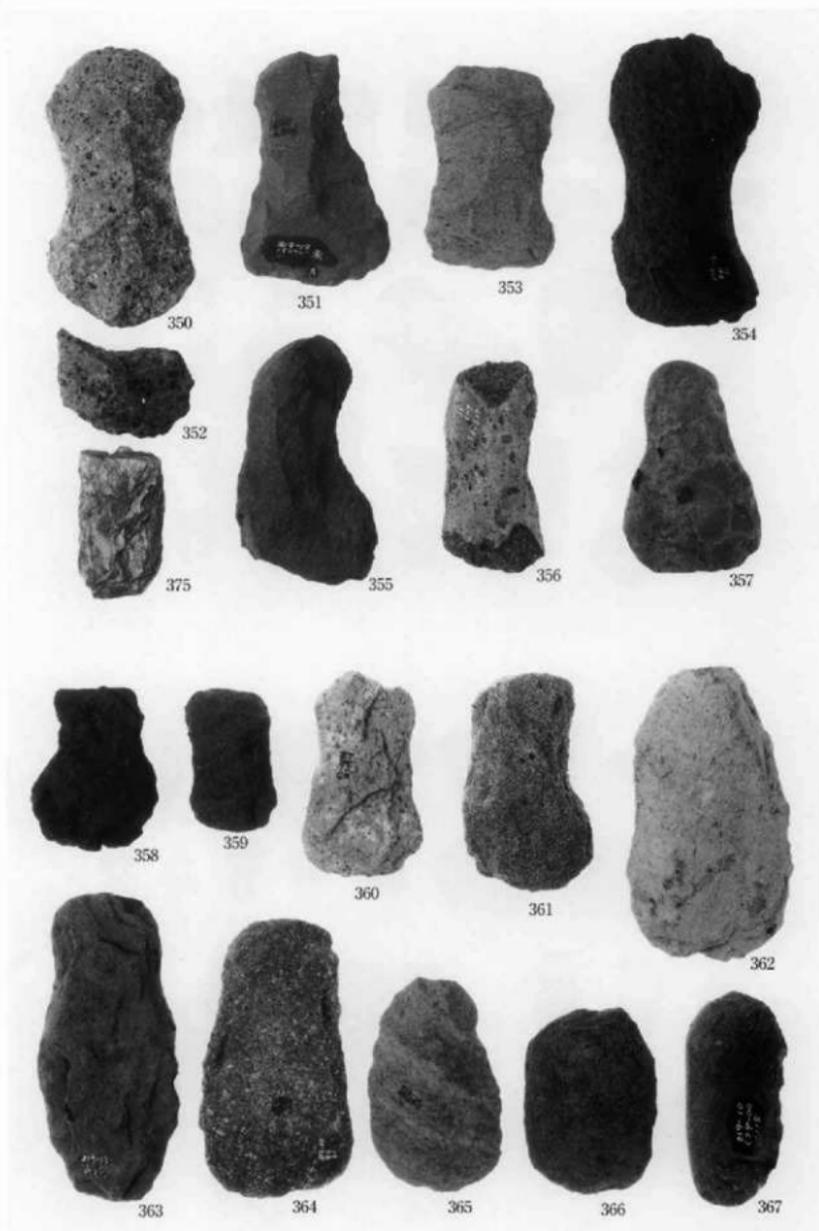


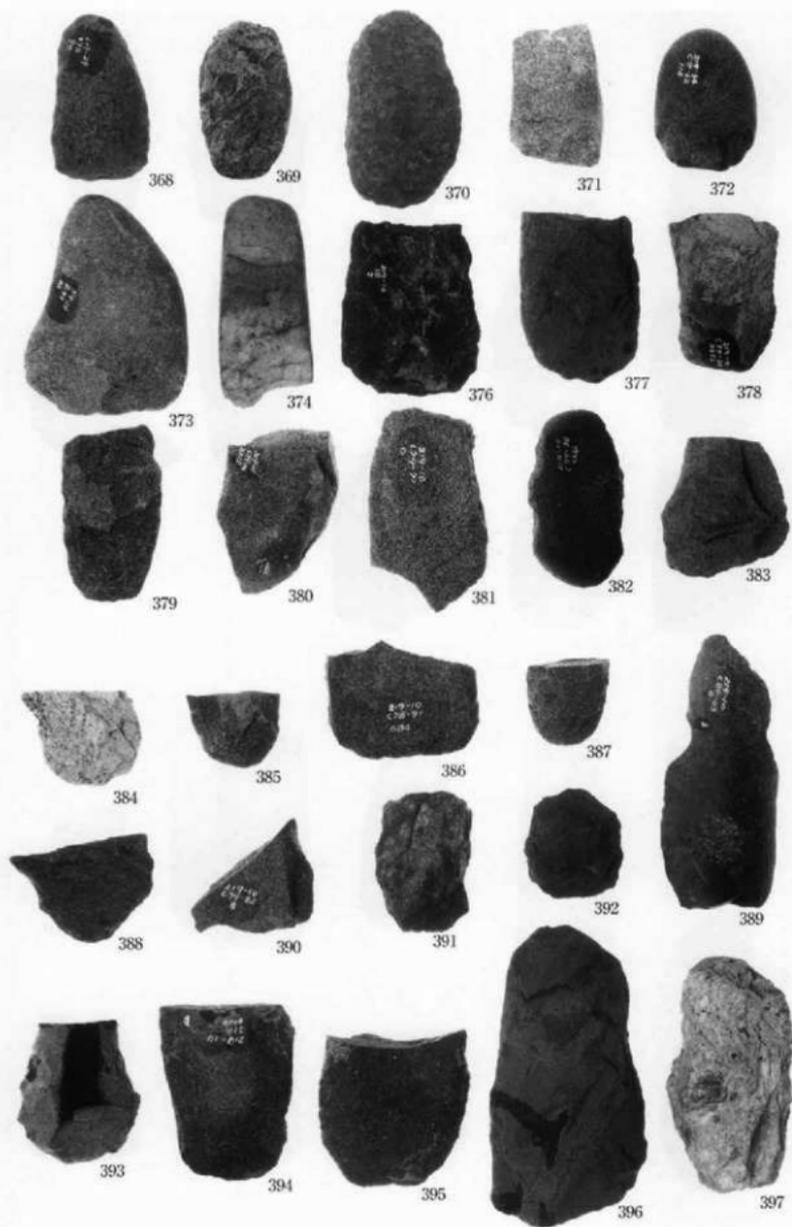
石器 5



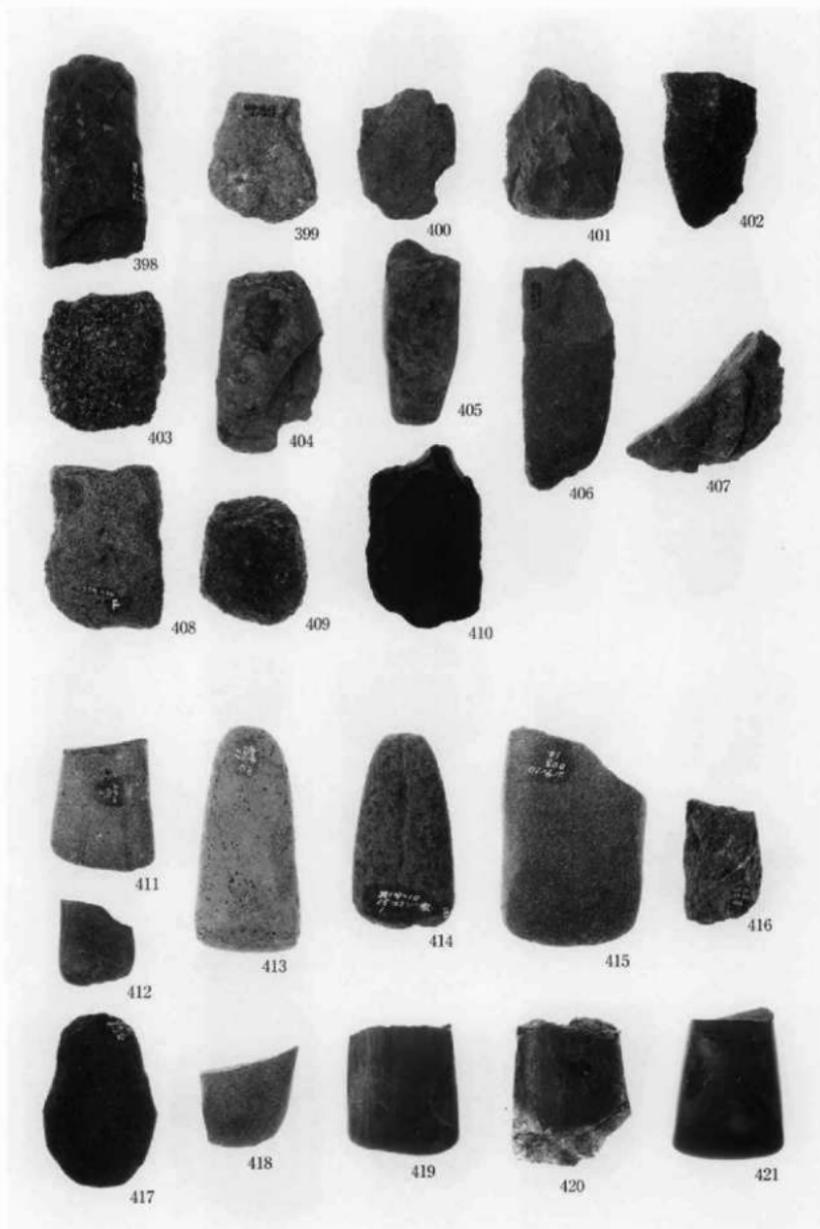
石器 6



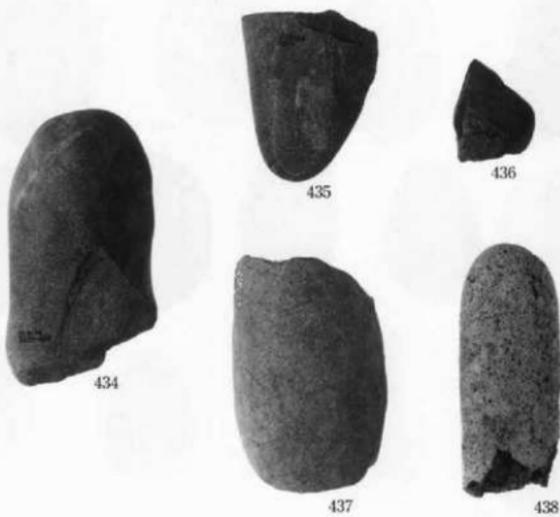




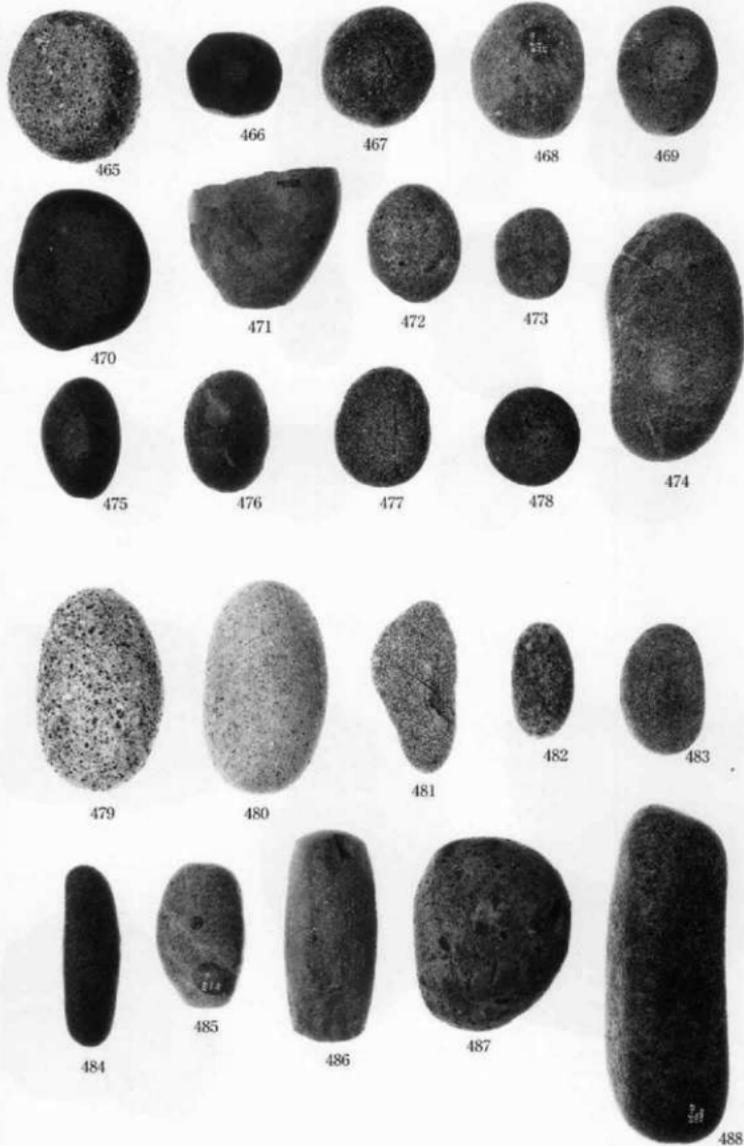
石器 9



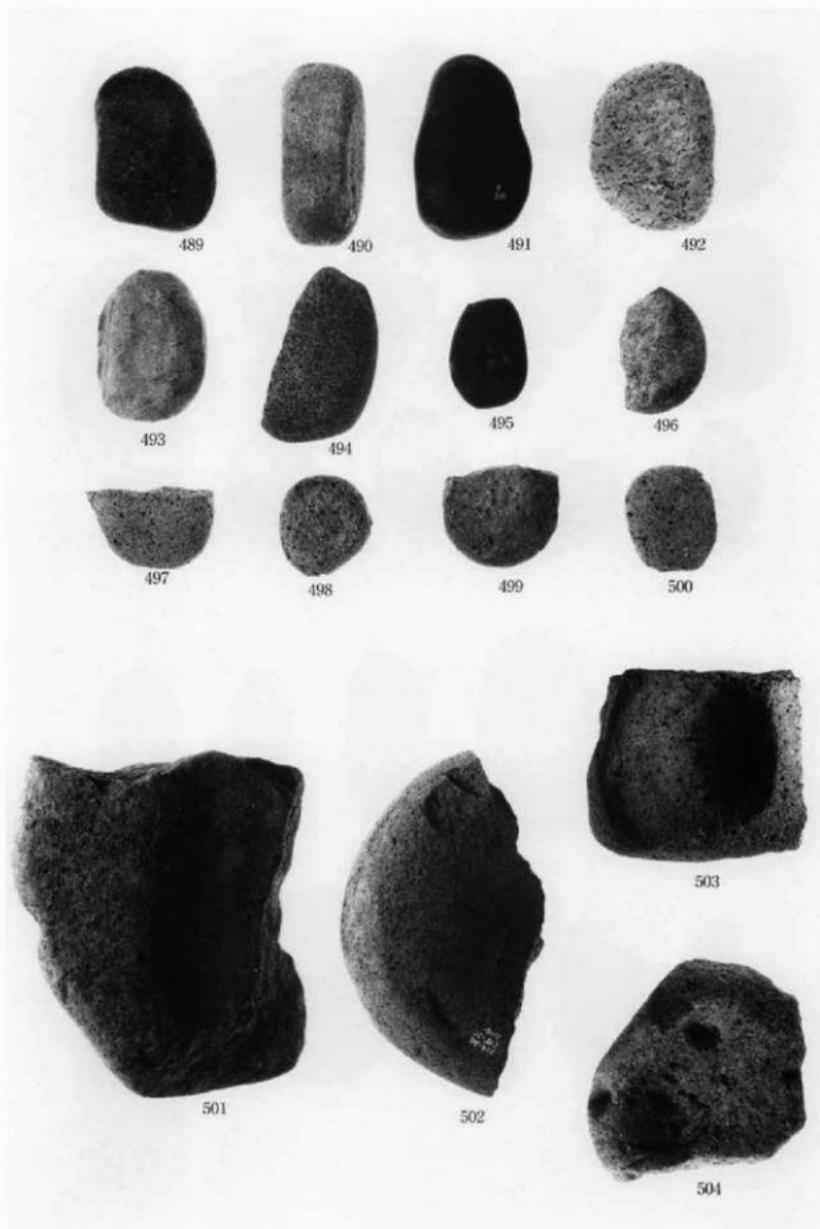
石器10







石器13





505



506



507



509



510



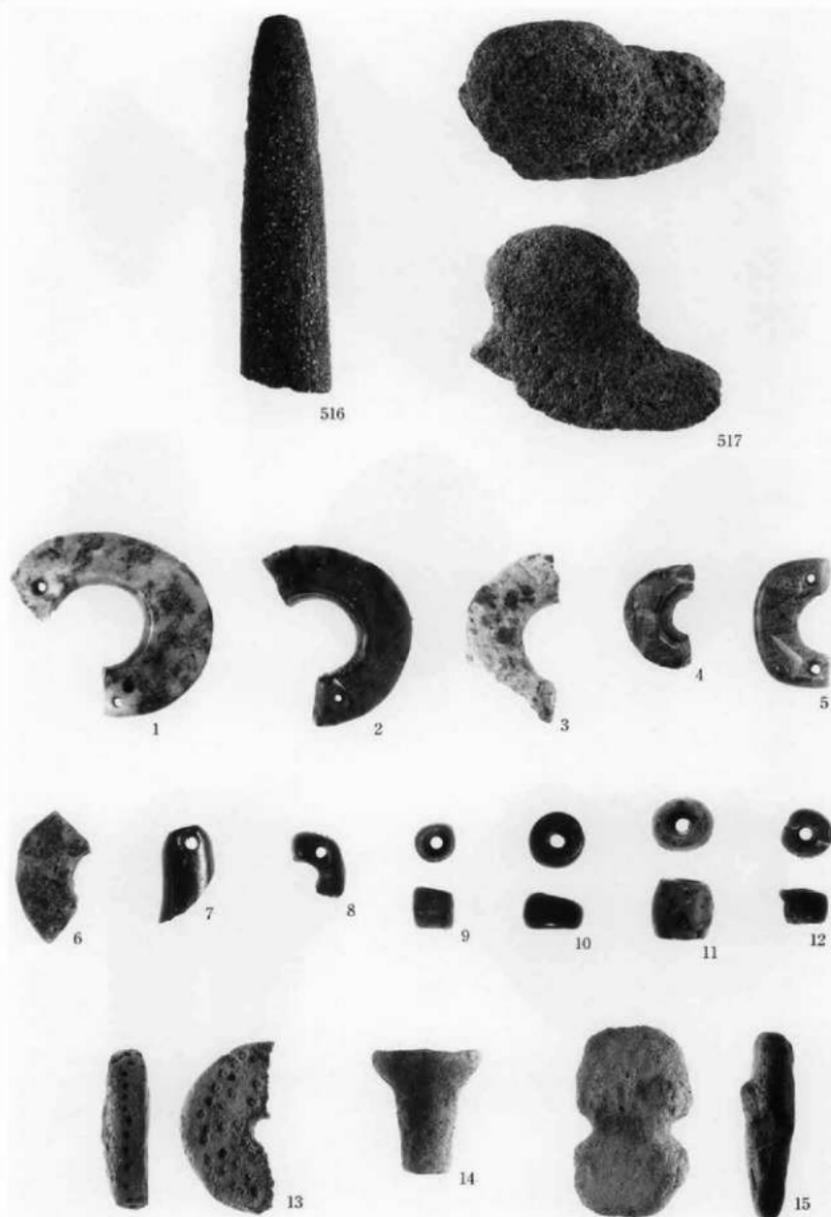
512



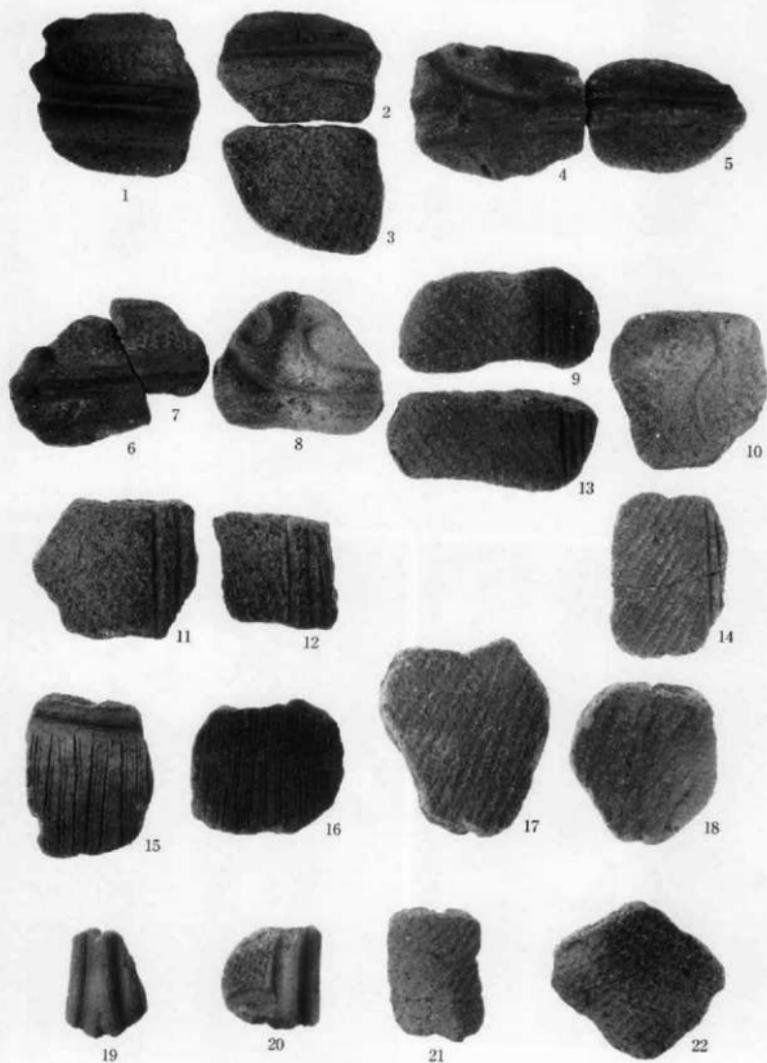
513



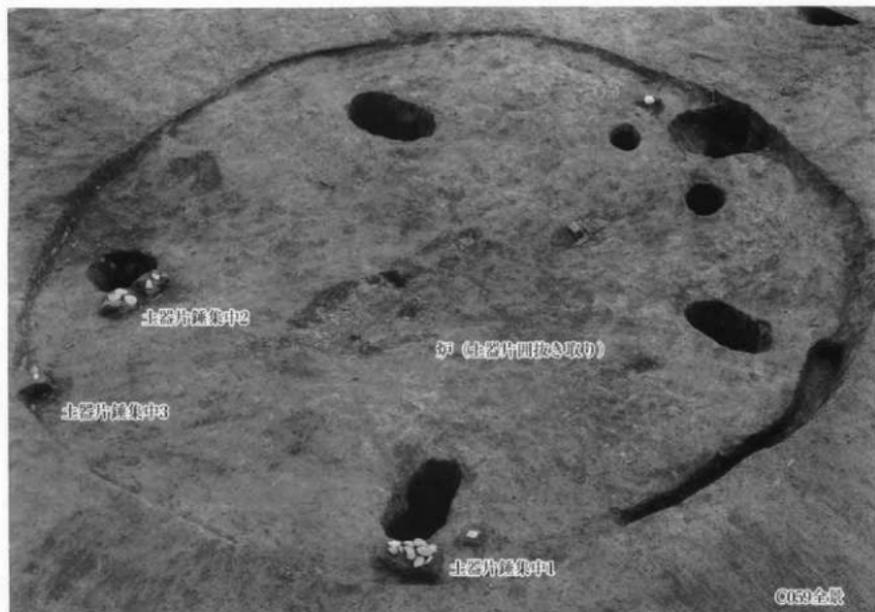
515



石器16·土製品



C059住居跡出土土器片鏟



報告書抄録

ふりがな	ちはらだいにゅーたうん 遺
書名	千原台ニュータウン 遺
副書名	市原市草刈遺跡(東部地区縄文時代)
巻次	8
シリーズ名	千葉県文化財センター調査報告
シリーズ番号	第448巻
編著者名	伊藤智樹・大谷弘幸・西野雅人
編集機関	財団法人 千葉県文化財センター
所在地	〒284-0003 千葉県西街道市寛濃809番地2 TEL043-422-8811
発行年月日	西暦 2003年3月25日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積㎡	調査原因
		市町村	道路番号					
草刈	千葉県市原市ちはら台西3丁目3番ほか		010 029	35度	140度	1978 127	168,500	千原台地区土地区画整理事業に伴う事前調査
		12219	013 034	31分	10分	～		
			014 075	40秒	32秒	1996 226		

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
草刈	集落跡 包蔵地	縄文時代	竪穴住居跡	32軒	縄文土器(早期・前期・中期・後期・晩期)	早期の陥し穴群が谷筋に沿って展開するほか、草刈貝塚の外縁部に相当する中期の小竪穴群と竪穴住居群を検出した。
			小竪穴	46基	石器(石鏃・石斧)	
			陥し穴	161基	石製品(けつ状耳飾・玉類など)	
			竪穴	22基	土製品(早期土偶・耳飾・土器片鏃)	
			土坑	55基		
			溝	1条		
			土坑	79基		

千葉県文化財センター調査報告第448集

## 千原台ニュータウンⅧ

- 市原市草刈遺跡（東部地区縄文時代） -

---

平成15年3月25日発行

編 集 財団法人 千葉県文化財センター

発 行 都市基盤整備公団千葉地域支社  
千葉県美浜区中瀬1-3

財団法人 千葉県文化財センター  
四街道市鹿渡809-2

印 刷 株式会社 み つ わ  
千葉県美浜区新港213-5

---